

ORIENTATION BOOK

オリエンテーションブック

[2022年合格目標]

公務員

地方上級・市役所・国家一般職（大卒）
（行政事務職・技術職）

はじめに

本書は、公務員試験の受験対策を本格的に始めるにあたって、公務員の職種・仕事内容や公務員試験の全体像を把握できるように作成された情報データブックです。

公務員試験において合格レベルに到達するためには、多くの時間と努力を必要とします。最終合格まで到達できるかは、限られた時間の中で、いかに効率的かつ適切な方法で着実に受験対策を進めることができたかによって大きく左右されます。

本書は、過去の試験情報（主に令和2年度）を元に、公務員試験を受験するにあたり知っておいていただきたい各種の試験情報や受験対策の方法などがまとめられています。今後、受験対策を進めていく中で、必要に応じてご活用ください。

本書が、公務員試験において最終合格・内定を目指す皆様の一助になれば幸いです。
皆様の最終合格・内定を心より祈念いたします。

2021年1月
TAC公務員講座

オリエンテーションブックに掲載されている情報について

本書は、一部の例外を除き、令和2年度の大学卒業程度試験の試験案内やTAC受講生から寄せられた試験情報（主に行政事務職・技術職）などを元に作成されています。

《注意》

公務員試験は、年度により試験制度や実施日程等が変更になる場合があります。公務員試験を受験される際は、必ず最新の試験案内などをご自身で確認いただきますよう、よろしくお願いいたします。

2022 年合格目標 オリエンテーションブック

公務員講座（地方上級・市役所・国家一般職）

行政事務職 / 技術職

目 次

第1章 公務員の職種と仕事内容		財務専門官	P 75
公務員の種類	P 4	労働基準監督官	P 77
国家公務員	P 4	食品衛生監視員	P 79
地方公務員	P 9	航空管制官	P 80
		裁判所総合職（大卒程度区分）	P 82
		裁判所一般職（大卒程度区分）	P 86
第2章 公務員試験ガイド		衆議院事務局職員（大卒程度）	P 88
受験資格	P 14	衆議院法制局職員（総合職）	P 90
試験の『〇〇程度』とは	P 14	参議院事務局職員総合職（大卒程度）	P 91
試験区分	P 14	参議院法制局職員（総合職）	P 92
試験概要	P 15	国立国会図書館職員	P 93
教養試験・専門試験	P 21	外務省専門職員	P 95
論文試験	P 26	防衛省専門職員	P 96
人物試験	P 27	自衛隊一般幹部候補生（大卒程度）	P 98
今からできる面接対策の準備	P 29	国立大学法人等職員	P 100
最終合格者の決定方法	P 31	・地方公務員	
第3章 公務員試験の学習法		都道府県	
総論	P 36	北海道地方（北海道）	P 101
筆記試験対策	P 41	東北地方（青森・岩手・宮城・秋田・山形・福島）	P 107
人物試験対策	P 49	関東地方（茨城・栃木・群馬・埼玉・千葉・東京・神奈川）	P 120
		中部地方（新潟・富山・石川・福井・山梨・長野・岐阜・静岡・愛知）	P 147
第4章 公務員試験の実施日程・実施状況		近畿地方（三重・滋賀・京都・大阪・兵庫・奈良・和歌山）	P 175
試験日程一覧（令和2年度）	P 54	中国地方（鳥取・島根・岡山・広島・山口）	P 199
主な公務員試験の実施状況一覧	P 56	四国地方（徳島・香川・愛媛・高知）	P 217
		九州地方（福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島・沖縄）	P 227
第5章 本試験データ集（令和2年度）		特別区	P 248
・国家公務員		政令指定都市	P 250
国家総合職（大卒程度）	P 60	市役所（政令都市以外）	P 303
国家総合職（院卒者）	P 64	巻末	
国家総合職（大卒程度）教養区分	P 66	ナビゲーションチェックシート	P 336
国家一般職（大卒程度）	P 68		
法務省専門職員（人間科学）	P 71		
国税専門官	P 73		

第1章

公務員の職種と仕事内容

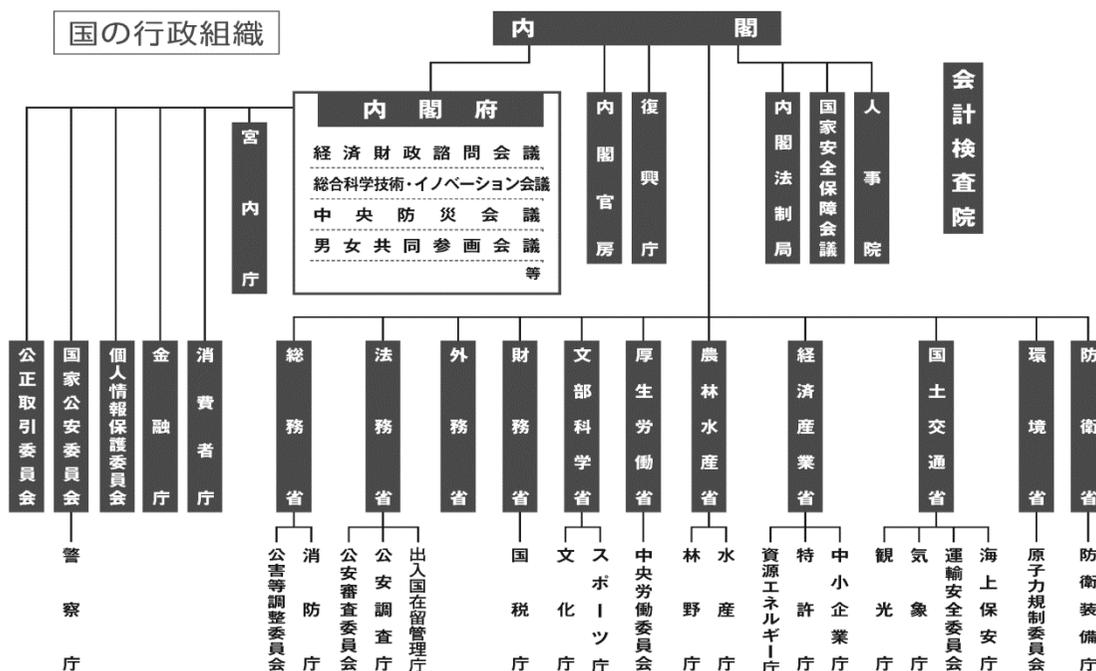
1 公務員の種類

公務員とは、国や地方自治体の機関などの職員として、人と社会のために幸せな生活の舞台をつくりだし支える仕事を担う職業です。公務員の世界には、民間企業ではできないやりがいや魅力があふれています。

公務員は、大きく分けて国家公務員と地方公務員の2つに大別されます。

国家公務員 日本全体を支える各分野のスペシャリスト	地方公務員 地域住民を支えるゼネラリスト
行 政 府： 各府省及び機関の職員（1府12省庁） 国税専門官・財務専門官・ 労働基準監督官 など	都道府県： 行政事務職・技術系職種（土木・建築・化学など） 学校事務職・警察事務職 資格免許職・警察官 など
司 法 府： 裁判所事務官 など	市 町 村： 行政事務職・技術職 資格免許職・消防官 など
立 法 府： 衆議院事務局職員 参議院事務局職員	

2 国家公務員



各府省及び機関の仕事内容

会計検査院： 国会や裁判所に属さず、内閣からも独立した機関として、国や各法人等の会計検査を行い、納税者である国民の期待に応えるために、あらゆる行政活動の会計検査を行います。なお、会計検査院は出向などを除き、基本的に転勤はありません。

内閣官房： 内閣総理大臣や内閣全体の手足となって補佐する最も身近な補助機関であり、官僚組織としてはすべての府省の上に立つ。そして、中央省庁等改革以降、各省庁に対する総合調整機能が強化され、また省庁間をまたがるような企画立案も行うことができます。

- 復興庁**： 2011年3月の東日本大震災を機に、その復興目的に設置された機関です。震災からの復興を成し遂げられるよう、被災地に寄り添いながら、前例にとらわれず、果敢に復興事業を実施するための組織として、内閣に設置された組織です。
- 人事院**： 国家公務員採用試験の実施、給与や勤務時間等の勤務条件の改善に関する勧告、行政研修等の企画・実施など担う内閣の所轄の下に設置された、中央人事行政機関です。
- 内閣府**： 国政上の重要課題に対し、行政を分野ごとに管轄する各府省等が一段上の立場から企画立案や調整等を行うなど、内閣総理大臣を直接支え、政策立案を支援します。
- 宮内庁**： 宮内庁は、皇族と国民との間にあり、宮中の儀式・行事や国内外にお出ましにかかる事務などに幅広く携わり、皇族のご活動をお世話する仕事に携わります。
- 公正取引委員会**： 市場の番人として、独占禁止法や下請法を運用する独立行政委員会です。政策官庁として競争政策の企画・立案、法執行官庁として独占禁止法に違反する行為の取り締まりなどを行います。
- 国家公安委員会**： 国務大臣である委員長と5人の委員の計6人で構成される合議制の行政委員会です。この制度は、戦後新たに導入されたもので、国民の良識を代表する者が警察を管理することにより、警察行政の民主的管理と政治的中立性の確保を図ろうとするものです。
- 警察庁**： 全国の警察組織の中核機関としての各種施策の企画・立案や、都道府県警察の指揮・監督・調査等を行うことで、個人の権利と自由を保護し、公共安全・秩序を維持することを任務としています。
- 個人情報保護委員会**： 平成28年1月に特定個人情報保護委員会を改組した個人情報保護委員会は、マイナンバー（個人番号）の適正な取り扱いの確保を図る業務や個人情報保護法を所管し、適正な個人情報の取り扱いの確保に関する業務を担います。
- 金融庁**： 金融システムの安定、利用者の保護、公正・適正な市場の確立と維持を目的として、金融を仲介する銀行や保険会社などの金融機関の検査・監督、株式などの金融商品が取引される市場でのルール作りや取引の監視を行います。
- 消費者庁**： 消費者行政の各省庁、国民生活センター、地方自治体などと連携しながら、消費者行政の司令塔・エンジン役を担い、消費者の権利の尊重、消費者の自立支援などの政策を推進しています。
- 総務省**： 効率的な行政の実現を目指し、行政改革の推進、あらたな地方行財政の枠組みの構築、知識情報社会の実現、優先行政の展開など、我が国の行政・経済・社会にかかわる根幹的な業務を幅広く担うことで、安全で便利な社会を構築しています。

- 法 務 省：** 社会における基本法制を定め、そのルールをきちんと守られる司法の基本的な仕組みや刑罰を受けた人の社会復帰を援助するための制度や権利の実現を助けるための制度の運営に携わります。また、出入国が適切に行われること、人権が尊重されるよう努めたり、社会の安全を護るために必要な調査などを行います。
- 外 務 省：** 国益（日本及び日本国民の安全と繁栄）を確保することを使命とし、本省（東京）と大使館・総領事館・政府代表部などの在外公館が一丸となって、外交政策に取り組みます。なお、主に在外公館に勤務する職員は、外務専門職員採用試験を通じて採用されます。
- 財 務 省：** 国の予算編成や執行状況調査、税制の企画及び租税の賦課徴収、関税政策・税関行政、国債管理、財政投融资、国際通貨・金融システムの安定など、広い分野に渡って行政事務を行います。本省は、財務省全体の事務全体の総指揮、企画・立案を行います。
- 文 部 科 学 省：** 全国の教育水準・維持促進、大学・大学院等の振興、科学技術系人材の育成、研究開発の推進、青少年の健全推進などの様々な施策に取り組み、教育、科学技術・学術、スポーツ、文化分野の様々な政策を実行します。
- 厚 生 労 働 省：** 少子高齢化への取り組み、社会保障の充実、公衆衛生、社会福祉、労働環境整備、雇用の安定・確保などの役割を担い、国民生活の保護・向上や経済発展に寄与します。
- 農 林 水 産 省：** 食を将来にわたり支えていくために、食の安全と消費者の信頼を確保に務めるなど、生産～消費まで幅広い視野をもって政策を実行していきます。
- 経 済 産 業 省：** 企業の枠を越えて産業全体、産業の枠を越えて経済全体という大きなフィールドで、経済活力の向上を図ります。
- 国 土 交 通 省：** より安全・安心な地域や交通体系を実現する政策、インフラ技術の海外展開政策まで、ローカルからグローバルまで、非常に多岐にわたる政策を担います。こうした政策を通じて、安全・安心で魅力ある国を構築していきます。
- 環 境 省：** 東日本大震災への対応、低炭素社会づくりの推進、循環型社会の形成、自然共生社会の構築などの環境行政全般を担います。
- 防 衛 省：** 防衛政策の基本的方針である戦略文書作成、戦略実現のための法律・予算策定、政策実現など、我が国の存立に直接関わる政策に従事します。

など

国家総合職

1府12省庁職員採用試験の1つ、国家総合職は、「政策の企画及び立案又は調査及び研究に関する事務をその職務とする係員の採用試験」と位置付けられており、主に中央省庁でその分野の政策立案を支えます。最終合格後の官庁訪問を経て、勤務先を選択することができます。機関ごとに採用・内定が出る仕組みになっており、複数の機関を官庁訪問することも可能です。

国家一般職（大卒）

1府12省庁職員採用試験の1つ、国家一般職（大卒）は、「定型的な事務をその職務とする係員の採用試験」と位置付けられており、中央省庁や出先機関でその分野の政策立案を支えます。最終合格発表後の官庁訪問を経て、中央省庁のみならず税関や労働局などの地方出先機関からも、幅広く勤務先を選択することができます。また、機関ごとに採用・内定が出る仕組みになっており、複数の機関を官庁訪問することも可能です。



国家一般職（大卒）には、行政区分の他に9つの技術系区分（電気・電子・情報、機械、土木、建築、物理、化学、農学、農業農村工学、林学）があります。行政区分は北海道、東北、関東甲信越、東海北陸、近畿、中国、四国、九州、沖縄の各地域別の採用、技術系区分は全国採用です。

行政区分、技術系区分共に1次試験は受験に便利な一都市を選ぶことができます。なお、行政区分の2次試験は採用を希望する地域の2次試験地を選択します（本府省は全ての地域の合格者から採用することが可能で、受験者はその地域の機関と本府省の両方を希望することも可能）。

国税専門官

国税専門官は、国税局や税務署に勤務する国家専門職の1つです。納税者の申告が適正に行われているか調査・指導する国税調査官、税金の督促・納税指導・滞納処分を行う国税徴収官、悪質な脱税の疑いのある者に対して強制捜査・差押え・告発などを行う国税査察官（マルサ）があり、国の礎である税制を支えます。充実した研修制度や、勤続年数に応じて税理士資格の取得が可能な点も、魅力の1つです。

なお、国税専門官採用試験は全国共通ですが、採用は国税局単位（札幌・仙台・東京・関東信越・金沢・名古屋・大阪・広島・高松・福岡・熊本・沖縄）です。

財務専門官

財務専門官は、主に財務局や財務事務所に勤務する国家専門職の1つです。主に各地の財務局において、国の予算及び決算、国有財産の管理、金融機関等の検査など、幅広い業務に従事します。希望すれば、財務省・金融庁の本省に出向する機会が得られる場合もあります。

労働基準監督官

労働基準監督官は、労働局や労働基準監督署に勤務する厚生労働省の専門職です。労働基準関係法令に基づいてあらゆる職場に立ち入り、法に定める基準を事業主に守らせることにより、労働条件の確保・向上、働く人の安全や健康の確保を図り、また、不幸にして労働災害にあわれた方に対する労災補償の業務を行うことを任務としています。

法務省専門職員（人間科学）

<矯正心理専門職> 心理学の専門的な知識、技術等をいかし非行を犯した少年や刑事施設に収容されている受刑者を対象に職務に従事します。

<法務教官> 専門的な知識・技術と懇切で誠意のある態度をもって、少年院・少年鑑別所に収容されている少年や刑事施設に収容されている受刑者を対象に職務に従事します。

<保護観察官> 地方更生保護委員会や保護観察所に勤務し、心理学、教育学、福祉及び社会学等の更生保護に関する専門的知識に基づき、社会の中において、犯罪をした人や非行のある少年の再犯・再非行を防ぎ改善更生を図るための業務に従事します。

航空管制官

航空管制官は、全国各地の航空交通管制部や空港の管制塔に勤務し、航空機の運行に関わる安全を監視している国土交通省航空局の職員です。航空機に管制指示などを与えることで、航空機同士の異常接近や衝突を防ぎ、航空交通管理を行い、安全で円滑な航空機の運行を支えます。

食品衛生監視員

全国の主要な海・空港の検疫所において、輸入食品の安全監視及び指導（輸入食品監視業務）、輸入食品等に係る理化学的、微生物学的試験検査（試験検査業務）、検疫感染症の国内への侵入防止（検疫衛生業務）の業務に従事します。

外務省専門職員

外務省専門職員は、世界各国との関わりが重要視される中で、諸外国との政治的・経済的な連携や駆け引きを通じて、日本の国益を守る役割を担っています。外務専門職員は、外務省が独自に実施しており、この試験から採用された職員は各言語の専門家として活躍することが期待されています。

防衛省専門職員

防衛省専門職は、①特定の語学（英語・ロシア語・中国語）に係る高度の能力を用いた防衛に関する行政事務、②自衛官等に対する語学教育、③海外資料の収集整理、④通訳及び⑤国際関係、地域情勢及び軍事情勢等に関する情報収集・分析等の業務に従事する係員を採用するための採用試験が実施されます。

国立国会図書館

国会と同じ立法院に属する国立国会図書館（東京本館・関西館・国際子ども図書館）において、一体的な業務運営を担うのが、国立国会図書館の職員です。調査業務（法案などの分析・評価、政治・経済・社会の調査など）、司書業務（資料の収集・管理など）、一般事務（総務、人事、連絡調整など）を通じて、主に国会の諸活動を補佐する役割を担っています。

衆議院事務局／参議院事務局

法案などが審議される国政の最前線である国権の最高機関（国会）において、各議会や委員会などを円滑に運営するための仕事に従事するのが、衆議院事務局職員・参議院事務局職員です。採用試験は衆議院と参議院がそれぞれ別々の採用試験を実施しています。

裁判所事務官（裁判所一般職・総合職）

裁判所事務官は、裁判所一般職及び総合職採用試験を通じて採用される裁判所職員の職種の一つです。最終合格し採用されると、各裁判所の裁判部や事務局に配属され、裁判部では裁判所書記官（※）のもとで各種裁判事務に、事務局では総務部・人事課・会計課などで司法行政事務全般に従事します。

※裁判所書記官とは

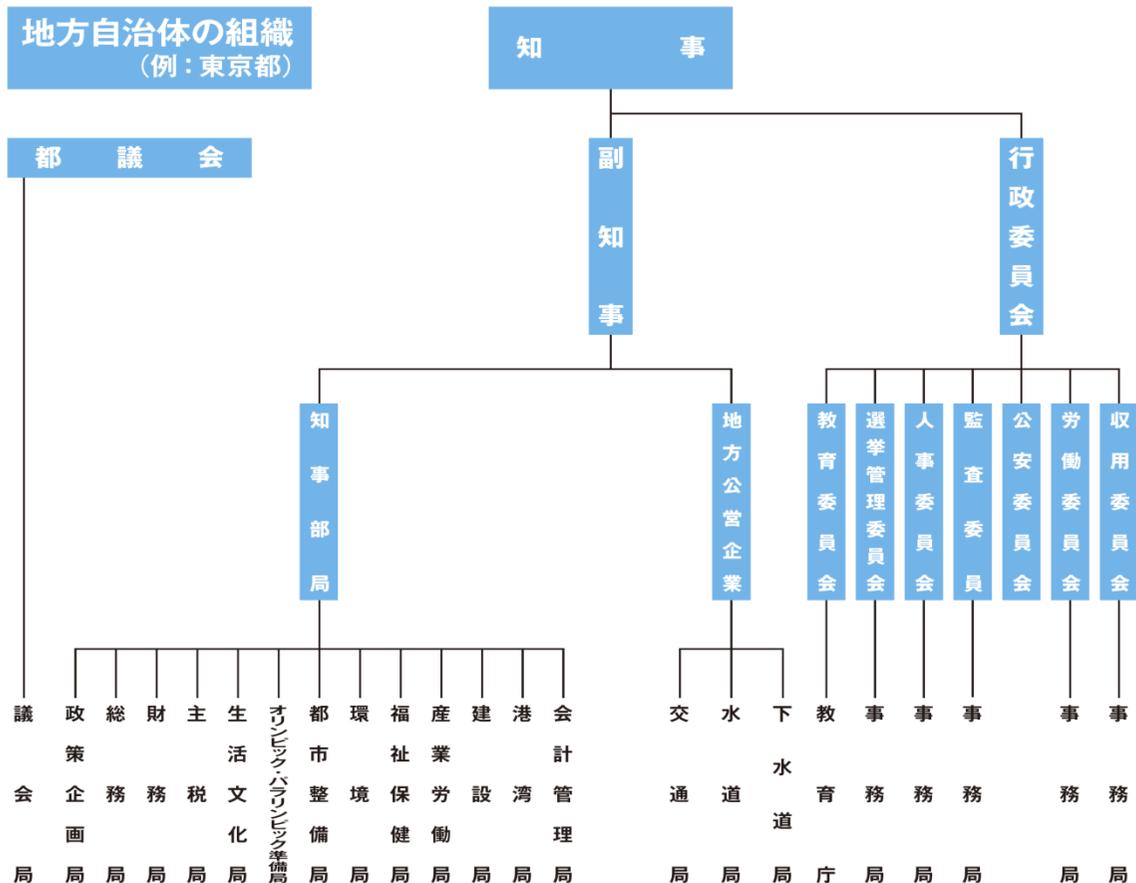
法律の専門家として固有の権限が付与されており、その権限に基づき、法廷立会・調書作成・訴訟上の事項に関する証明・執行文の付与、支払督促の発付等を行います。裁判所書記官になるには、裁判所職員として一定期間勤務した後、裁判所職員総合研修所入所試験に合格し、同研修所で1～2年の研修を受ける必要があります。

家庭裁判所調査官補（裁判所総合職）

家庭裁判所調査官補は、裁判所総合職（家庭裁判所調査官補）採用試験を通じて採用される、裁判所職員の職種の1つです。夫婦や親族間の争いなど、家庭に関する問題を解決するほかに、非行をした少年についての処分を決定します。家庭裁判所調査官になるには、家庭裁判所調査官補として採用後に裁判所職員総合研修所に入所して、同研修所において約2年間の研修を受ける必要があります。

上記では、国家公務員（大卒程度）を中心に紹介しましたが、これら以外にも多くの職種があります。ご自身の興味に合わせて、HPなどで調べてみてください。

3 地方公務員



地方公務員（都道府県・市）の上級（大卒程度）試験で採用された職員は、その自治体の幹部候補生として、幹部に必要な「様々な角度から自治体の状況を理解・把握できる力」を養うため、2～3年程度のサイクルで部局を移動しながら、幅広い分野の業務に携わります。都道府県（広域的自治体）と市（基礎的自治体）、そして自治体の規模や現状により、取り組むべき課題などは異なりますが、様々な分野の仕事に携われることは、地方公務員の大きな魅力です。

地方公務員の受験区分

地方公務員試験の受験区分は、採用後の職務内容に応じて分かれており、受験者は出願時にこれらの中から希望する区分を選択して受験することになります。

行政事務職： 県庁・市役所・区役所や出先機関に勤務する行政事務職の職員は、ゼネラリストとして行政全般の幅広い分野・業務に従事する、民間企業の総合職にあたります。大卒程度試験を通じて採用された職員は、採用された自治体の幹部候補として採用されることから、2～3年程度で様々な部課局を異動しながら、幹部としての素養を養成されていきます。

技術職： 技術職は、それぞれの専門分野が関連する部署に配属され、採用された区分のスペシャリストとして活躍する、各分野のプロフェッショナルです。その役割は、専門知識を活かして暮らしやすい社会を作ることです。交通網や通信ネットワークの整備、災害に強い都市計画、再生可能エネルギーの開発など、多彩な分野で私たちの生活を支える仕事に従事します。

資格免許職： 福祉職、保健師、看護師、管理栄養士、栄養士など、資格や免許が必要な職種の採用区分が、資格免許職です。これらの区分は、採用時期までに資格・免許を取得、または取得見込みであることが受験資格となっているため、注意が必要です。

公安職： 都道府県における警察官、市町村における消防官（東京消防庁は東京都）が代表的で、住民の安全を守る職種が公安職です。警察官採用試験は都道府県の他の試験区分とは別日程で実施されますが、市町村の消防官は行政事務職などの他の試験区分と同日程で実施されることが多く、その場合は他の試験区分との併願受験はできませんので、注意が必要です。

広域的自治体と基礎的自治体

都道府県： 都道府県は、**市町村単位では処理が困難な業務**（総合開発計画、治山・治水事業、産業立地条件の整備、道路・河川・公共施設の管理及び建設など）や**都道府県全体で統一すべき業務**（義務教育の水準維持、社会福祉の水準維持、各種認可など）といった、**広域的行政サービスを担います**。直接住民と関わる機会は市町村ほど多くなく、仕事をする際の主な相手は国、市町村、民間企業などです。

市町村： 市町村は、**地域住民の行政窓口**として、戸籍住民登録、諸証明の発行などの基礎手続、消防、ごみ処理、上下水道の整備、公園や緑地の整備、まちづくり、各種施設（公民館、保育所、小中学校、図書館など）の運営管理といった、**基礎的行政サービスを担います**。市町村職員は最も身近で、なおかつ地域住民に密着した存在として、住民と協働しながら仕事に従事します。

政令指定都市

政令指定都市は、都道府県と同格の扱いを受ける、法律上は50万人以上の大規模都市です。行政区が置かれ、市町村業務に加え道府県に代わり、福祉や都市計画などの業務も担っています。一般的な市町村に比べ、携わることができる仕事の幅が広いことや一般的な市町村に比べると採用予定数が多いことが魅力です。

<政令指定都市一覧> ※2021年1月時点

札幌市、仙台市、さいたま市、千葉市、横浜市、川崎市、相模原市、新潟市、静岡市、浜松市、名古屋市、京都市、大阪市、堺市、神戸市、岡山市、広島市、北九州市、福岡市、熊本市

東京特別区（東京23区）

東京特別区とは、東京23区のことを意味します。23区それぞれが区長公選制、区議会、条例制定権、課税権を持ち、区民に対して第一義的に責任を負っています。23区の区役所職員は、特別区人事委員会が実施する特別区職員採用試験で一括して採用されます。なお、受験時に3つまで希望の区を申請することができ、最終合格後の各区の採用面接を経て、区ごとに採用内定を得ることになります。

<特別区>

千代田区、中央区、港区、新宿区、文京区、台東区、墨田区、江東区、品川区、目黒区、大田区、世田谷区、渋谷区、中野区、杉並区、豊島区、北区、荒川区、板橋区、練馬区、足立区、葛飾区、江戸川区、特別区人事・厚生事務組合、特別区競馬組合、東京23区清掃一部事務組合

第2章

公務員試験ガイド

- ※ 次ページからの公務員試験ガイドは、主に行政事務職及び技術職の試験を対象とした内容です。
- ※ 当オリエンテーションブックでは、主に教養（基礎能力）試験・専門試験・論文試験・人物試験について掲載していますが、これら以外に適性検査や適性試験などが課される場合があります。また、各種情報や解説の内容は、試験種や年度により異なる場合があります。受験の際は必ず最新の試験案内などをご確認ください。

1 受験資格

公務員試験の受験資格は、概ね年齢要件と国籍要件のみとなっており、試験種や自治体ごとに独自に定められています。当オリエンテーションブックに昨年の受験案内の情報を元に試験種や自治体ごとの受験資格を掲載していますが、公務員試験は就職試験であることから、受験資格は年度により変更になる場合があります。受験の際は、必ず最新の試験案内をご確認ください。

※市役所では、受験先の自治体に居住していることが受験資格となっている場合があります。また、高卒程度試験でありながら大卒(見込)者が受験できる場合があります。

※技術系区分や福祉職などの資格免許職などにおいて、大学などの履修科目が要件として設けられている場合があります。また、経験者採用試験には職歴要件が設けられているものがほとんどです。

【受験資格例】2020年度 国家一般職(大卒)の場合

- 1 平成2年4月2日～平成11年4月1日生まれの者
- 2 平成11年4月2日以降生まれの者で次に掲げるもの
 - (1) 大学を卒業した者及び2021年3月までに大学を卒業する見込みの者並びに人事院がこれらの者と同等の資格があると認める者
 - (2) 短期大学又は高等専門学校を卒業した者及び2021年3月までに短期大学又は高等専門学校を卒業する見込みの者並びに人事院がこれらの者と同等の資格があると認める者

2 試験の『○○程度』とは

公務員試験の受験案内には、「大学卒業程度(Ⅰ種・上級など)」や「高校卒業程度(Ⅲ種・初級など)」という言葉が出てきますが、これらは主に学歴要件を意味するわけではなく、試験問題のレベルを示していることがほとんどです。つまり、「大学卒業程度試験」と記載してある試験であっても、必ずしも4年制大学を卒業または卒業見込である必要があるわけではなく、また近年、学歴要件を課す試験種は減少傾向にあります。

なお、高校卒業程度試験には、高校卒業見込み及び卒業後2年以内などの要件が設けられていることが多い傾向にありますので、大学生や大卒の社会人の方は、受験資格の観点から受験できないケースがほとんどです。

3 試験区分

3-1 事務系職種

行政事務：自治体や試験種により呼称はさまざま(行政、事務、行政事務 など)ですが、特定の部局に限定されることなく、本庁や出先機関の幅広い業務に従事します。

警察事務：警察本部や警察署に勤務し、警察官のサポートや運転免許証の発行・更新等に関する業務に携わります。

学校事務：公立学校に勤務し、公立学校の運営全般にわたる事務に携わります。

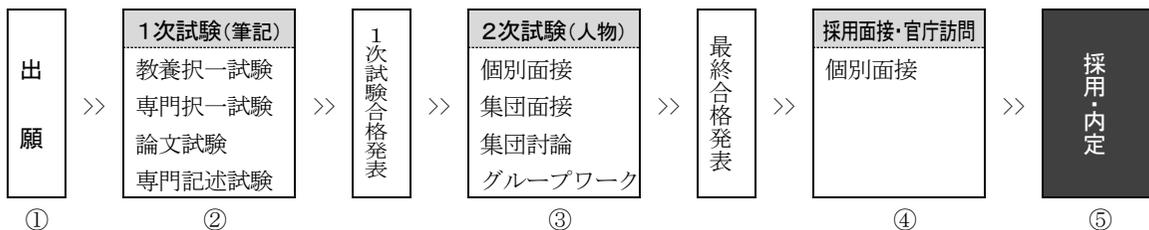
3-2 技術系職種(一部抜粋)

土木職：地方自治体の場合は本庁の各部局(土木、建設、水道、下水道、都市など)、国家公務員の場合は国土交通省、経済産業省、農林水産省などに勤務し、主にインフラ整備に携わります。

- 建築職：** 地方公務員の場合は建設、土木、住宅、都市部門や出先機関、国家公務員の場合は国土交通省、経済産業省などに勤務し、都市開発や再開発、また建築物の審査・規制・指導に携わります。
- 機械職：** 建築、土木、環境、交通、上下水道など、幅広い分野で機械設備の設計や工事監督、設備の運転・管理に携わります。国家公務員は、総務省、警察庁、経済産業省、国土交通省、労働局などに勤務します。
- 電気・電子・情報職：** 電気技術のプロとして、公共施設の安全を守ることが職務です。公共施設の電気設備の維持管理や、電波障害の対応、清掃工場の電気設備の設計・工事などに携わります。また、学校や福祉施設のメンテナンスを計画的に実施するための調査や施設の職員に対する保全指導も行います。
- 化学職：** 地方公務員の場合は環境、衛生、保健福祉、上下水道、大気、廃棄物の検査や許認可事務、国家公務員の場合は農林水産省、経済産業省、特許庁、環境省や研究機関などに勤務します。

これらは主に行政事務職や技術職区分ですが、上記以外に都道府県の公安職である警察官、市町村の公安職である消防官（東京消防庁は東京都）などがあり、また栄養士や福祉職などの資格免許職などの区分もあります。試験区分は、自治体ごとに異なりますので、受験の際は必ず最新の試験案内をご確認ください。

4 試験概要



- ① **出願：** 例年、受験年の2～5月頃にその年の試験案内が、自治体・試験種ごとにHPにて公表され、4月から受験申込受付がスタートします。近年、インターネットによる受験申込受付が主流です。
- ② **1次試験：** 主に**教養択一・専門択一・論文試験**が実施されます。専門記述試験は東京都・裁判所一般職（大卒）・国税専門官・財務専門官・労働基準監督官など、一部の試験種のみで実施されます。
※択一＝五肢択一式でマークシートに解答する形式です。
- ③ **2次試験：** 1次試験合格者を対象に、人物試験として**個別面接**などが実施され、**質問内容は、志望理由や自己PRに関するものが中心**です。個別面接はほぼ全ての公務員試験で、集団面接・集団討論は地方自治体などで実施される傾向にあります。
- ④ **採用面接：** 最終合格者を対象に、主に個別面接が実施されており、**受験者の意思確認を行う場**です。併願状況や複数の試験に合格した場合はどうするのかなどが問われます。なお、**国家一般職(大卒)や国家総合職は、各府省及び機関が実質的には採用面接として『官庁訪問』を実施**します。
- ⑤ **採用内定：** 原則として翌年の4月1日からの採用ですが、既卒者・社会人は、10月から採用されるケースもあります。

※上記は、一般的な公務員試験のモデルケースです。試験実施時期や試験の内容は、自治体・試験種・年度により異なる場合がありますので、受験の際は必ず最新の試験案内をご確認ください。

4-1 1次試験実施日

例：2020（令和2）年度		
4月	26日（日）	国家総合職
5月	2日（土）	参議院事務局総合職
	3日（日）	特別区I類（東京23区） 東京都I類B（一般方式）
	9日（土）	裁判所一般職（大卒）
6月	10日（日）	東京都I類A 衆議院事務局一般職（大卒）
	7日（日）	国税専門官 財務専門官 労働基準監督官 食品衛生監視員 など
	14日（日）	国家一般職（大卒）
7月	28日（日）	地方上級（県・政令指定都市） 市役所A日程
	5日（日）	国立大学法人等
	12日（日）	市役所B日程
9月	20日（日）	市役所C日程

※上記の日程は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止による変更前の日程です。

※試験実施日程は、年度により異なる場合があります。受験の際は必ず最新の試験案内をご確認ください。

4-2 併願受験を考える

公務員試験は就職試験であり、公務員試験は科目ごとの傾向や難易度は異なりますが出題傾向が似通っていること、また1次試験日が重なっていなければ併願受験できることから、受験の際は3～5つ程度の試験種をできる限り併願受験することをおすすめします。

<併願受験の例 ※行政事務職の場合>

パターン	併願受験する試験種
幅広く併願	特別区I類、裁判所一般職（大卒）、国税専門官、国家一般職（大卒）、地方上級、国立大学法人等、市役所B日程、市役所C日程
地方公務員のみで併願	特別区I類、地方上級、市役所B日程、市役所C日程
国家公務員のみで併願	裁判所一般職（大卒）、国税専門官、国家一般職（大卒）
教養試験のみで併願	東京都I類B（新方式）、市役所A日程、市役所B日程、国立大学法人等、市役所C日程

4-3 より確実に合格を目指すために

数ある公務員試験の中でも、地方上級（都道府県・政令指定都市）や国家公務員は、例年ある程度の採用人数が見込める試験種です。より確実に合格を目指すために、C日程（9月実施）の市役所が第一志望という方も、できる限り5～6月に実施される地方上級や国家公務員を受験先として考えておくことをおすすめします。

4-4 筆記試験の試験種目

試験種		教養択一 (基礎能力)	専門択一	論文	専門記述
国家公務員	国家一般職 (大卒/行政)	●	●	●	—
	国家一般職 (大卒/技術)	●	●	—	●
	国税専門官	●	●	—	●
	財務専門官	●	●	—	●
	労働基準監督官	●	●	—	●
	裁判所一般職 (大卒)	●	●	●	●
地方公務員	特別区I類 (事務 一般方式)	●	●	●	—
	特別区I類 (技術 一般方式)	●	—	●	●
	特別区I類 (技術 新方式)	適性検査	—	—	●
	東京都I類B (行政/技術 一般方式)	●	—	●	●
	東京都I類B (行政/技術 新方式)	●	—	プレゼンテーションシート作成	
	地方上級 (県・政令指定都市)	●	●	●	▲
	市役所 (行政: 教養+専門型/技術)	●	●	●	—
	市役所 (行政: 教養型)	●	—	●	—
他	国立大学法人等	●	—	—	—

「●」=実施あり 「▲」=一部実施あり 「—」=実施なし

※上記の表は、試験案内及びTAC生からの情報(行政事務職・技術職)を元に作成しています。その他の試験区分(資格免許職・経験者採用試験など)及び詳細な情報は必ず最新の試験案内をご確認ください。

4-5 教養+専門+論文対策をしておく、併願受験がしやすい

東京都・裁判所一般職(大卒)・国家専門職などにおいては専門記述試験が課されますが、多くの公務員試験は、**教養択一(基礎能力)試験+専門択一試験+論文試験**という構成になっています。したがって、この3つの試験種目の対策を講じることで、幅広く併願受験がしやすくなります。

市役所(教養型)や国立大学法人等、専門試験が課されない試験種も一部存在しますが、採用人数が例年それほど多くない傾向にありますので、確保できる学習時間が極端に少ない場合は、**専門試験対策を含めた受験対策をしておくことをおすすめします。**

4-6 配点比率を意識した効率的な学習を

対策すべき試験種目・科目数が多い公務員試験を攻略するためには、**それぞれの重要度に応じた学習のメリハリが大切です。**

例えば、国家一般職(大卒)の場合は、右記のとおり**専門択一試験は基礎能力試験の2倍の配点**となっていますので、基礎能力試験よりも専門択一試験対策を優先するほうが、得点効率が良いということになります。

また、地方公務員の場合は人物試験重視の配点比率となっていることが多い傾向ですが、**人物試験(2次試験)は1次試験合格者のみが受験できるようになっていますので、面接試験対策をしっかりと行う必要がある一方で、まずは筆記試験対策が重要**ということになります。

2020年 国家一般職 (大卒・行政)			
基礎能力	専門択一	論文	面接
2/9	4/9	1/9	2/9

2020年 埼玉県 (一般行政)			
教養択一	専門択一	論文	面接
1/7	1/7	1/7	4/7

4-7 地方上級の出題タイプ

地方上級は、出題科目・科目ごとの出題数によって、以下のようにいくつかのタイプに分けることができます。出題タイプにより、出題科目・科目ごとの出題数・傾向が異なりますので、**志望先の出題タイプは事前にチェック**しておいてください。

●地方上級 全国型

特 徴	全国的に広く分布している地方上級試験のベースとなっている出題タイプ 東北・関西～九州・沖縄の府県や政令指定都市が該当する
教 養 試 験	50問中50問 必須解答(120～150分)
専 門 試 験	40問中40問 必須解答(120分)
変 形 タイプ	全国型の問題に独自問題・科目を加除して出題数が増減され、選択解答制が導入される

●地方上級 関東型

特 徴	名称の通り関東地区の県や静岡県で見られる出題タイプ 全国型に比べて経済学の出題数が多く、経済史や経済政策が出題される
教 養 試 験	50問中40問 必須&選択解答(120～150分) ※一般知能分野20～25問は必須解答
専 門 試 験	50問中40問 選択解答(120分) ※問題選択制
変 形 タイプ	関東型の問題に独自問題・科目が加わり、出題数・解答数が増える

●地方上級 中部・北陸型

特 徴	名称の通り愛知県・三重県・石川県など、中部・北陸地方の県で見られる出題タイプ 民法・行政法の出題数が多く、社会学・社会政策・経済事情が出題される
教 養 試 験	50問中50問 必須解答(150分)
専 門 試 験	50問中40問 選択解答(120分)

●地方上級 法律専門型/経済専門型

特 徴	京都府・広島県・名古屋市など、法律/経済区分がある自治体の専門試験が該当 40問中35問が各々の専門分野から出題され、残り5問はもう一方の分野から出題される
教 養 試 験	50問中40問 必須&選択解答(150分) ※一般知能分野20～25問は必須解答
専 門 試 験	40問中40問 必須解答(105～120分)

※北海道・神奈川県(専門)・徳島県(専門)・札幌市・横浜市(教養)・相模原市(教養)など、上記のどのタイプにも当てはまらない独自の出題構成の試験もあります。また、東京都・特別区は出題構成および出題内容が完全に独自となります。

●近年増加傾向の“新方式”

東京都I類B(行政 新方式)が代表的ですが、近年専門試験を課さない公務員試験が増加傾向にあります。学習ボリュームが少ないことから飛びつきたくなる方もいらっしゃるかもしれませんが、これらの区分の採用予定数が一般的な公務員試験に比べると少ない傾向にあり、また倍率が高くなりがちです。急がば回れという言葉もあります。なるべく専門試験がある一般的な方式の試験区分で受験されることを、おすすめします。

4-8 択一試験概要 (都道府県)

自治体名	試験区分	分野	教養試験			専門試験			
			出題タイプ	時間(分)	解答数/出題数	出題タイプ	時間(分)	解答数/出題数	
北海道 一般行政 A									
職務基礎力試験 (110分・60問)									
青森県	行政	—	全国型	120	40/40	全国型	120	40/40	
岩手県	行政	—	全国型	120	40/50	全国型	120	40/50	
宮城県	行政	—	全国型	150	50/50	全国型	120	40/40	
秋田県	行政	—	全国型	120	40/40	全国型	120	40/40	
山形県	行政	—	全国型	150	50/50	全国型	120	40/40	
福島県	行政事務	—	全国型	120	40/40	その他	60	20/20	
茨城県	事務(知事部局)	—	関東型	120	40/50	関東型	120	40/50	
栃木県	行政	—	関東型	120	40/50	関東型	120	40/50	
群馬県	行政事務	—	関東型	120	40/50	関東型	120	40/50	
埼玉県	行政	—	関東型	120	40/50	関東型	120	40/50	
千葉県	行政	—	関東型	120	40/50	関東型	120	40/50	
東京都	I 類 B 行政	一般方式	独自	130	40/40	記述式	120	3/10	
神奈川県	行政	—	関東型	120	40/50	その他	120	40/80	
新潟県	行政	—	関東型	120	40/50	関東型	120	40/50	
富山県	総合行政	—	中部・北陸型	150	50/50	中部・北陸型	120	40/50	
石川県	行政	—	中部・北陸型	150	50/50	中部・北陸型	120	40/50	
福井県	行政	—	中部・北陸型	150	50/50	中部・北陸型	120	40/60	
山梨県	行政	I	—	関東型	120	40/50	関東型	120	40/50
長野県	行政	A	—	関東型	120	40/50	関東型	120	40/50
岐阜県	行政	I	—	中部・北陸型	150	50/50	中部・北陸型	120	40/50
静岡県	行政	I	—	中部・北陸型	120	40/50	関東型	120	40/55
愛知県	行政	I	—	中部・北陸型	150	50/50	中部・北陸型	120	40/50
三重県	行政	I	—	中部・北陸型	150	50/50	中部・北陸型	120	40/50
滋賀県	行政	—	中部・北陸型	150	50/50	中部・北陸型	120	40/50	
京都府	行政 I A	専門試験型	全国型	120	40/47	全国型	120	40/50	
		総合政策	その他	120	40/40	全国型	90	40/40	
		法経	その他	120	40/40	法律専門型	90	40/40	
大阪府	行政 22-25	—	—	—	—	—	—	—	
		SPI3 (70分)							
		兵庫県	一般事務職	—	全国型	150	45/55	全国型	120
奈良県	総合職	行政	—	全国型	105	35/50	全国型	90	30/55
		法経	—	全国型	150	50/55	法律専門型	120	40/40
		法経	—	全国型	150	50/55	経済専門型	120	40/40
		総合 A	—	全国型	150	50/55	全国型	120	40/60
和歌山県	一般行政職(通称枠)	総合 B	—	全国型	150	50/55	その他	120	40/60
		—	—	全国型	150	50/50	全国型	120	40/40
鳥取県	事務	—	全国型	150	50/50	全国型	120	40/40	
島根県	行政	A	—	全国型	150	50/50	その他	90	20/55
岡山県	行政	—	全国型	150	50/50	全国型	120	40/40	
広島県	行政一般事務 A	行政	—	全国型	150	45/55	全国型	120	40/40
		法経	—	全国型	150	45/55	法律専門型	120	40/40
山口県	行政	—	—	全国型	150	50/50	全国型	120	40/40
		—	—	全国型	150	50/50	その他	135	45/95
徳島県	行政事務	—	全国型	150	50/50	その他	135	45/95	
香川県	一般行政事務 A	—	全国型	150	50/50	全国型	120	40/40	
愛媛県	行政事務 A	—	全国型	150	50/50	全国型	120	40/40	
高知県	行政	—	全国型	150	45/55	全国型	120	40/40	
福岡県	行政	—	全国型	150	50/50	全国型	120	40/40	
佐賀県	行政	—	全国型	150	50/50	全国型	120	40/40	
長崎県	行政	—	全国型	150	50/50	全国型	120	40/40	
熊本県	行政	—	全国型	150	40/50	その他	120	40/80	
大分県	行政	—	全国型	150	50/50	全国型	120	40/40	
宮崎県	一般行政	—	全国型	150	50/50	全国型	120	40/40	
鹿児島県	行政	必須解答型	全国型	150	50/50	全国型	120	40/40	
沖縄県	行政 I	選択解答型	—	—	—	—	—	—	
		—	—	全国型	150	50/50	その他	120	40/80
沖縄県	行政 I	—	全国型	150	50/50	全国型	120	40/40	

※上記は、各自治体の令和2年度の試験案内を基に作成した表です。受験の際は、必ず最新の試験案内をご確認ください。

4-9 択一試験概要（政令指定都市・特別区）

自治体名	試験区分	分野	教養試験			専門試験			
			出題タイプ	時間 (分)	解答数 /出題数	出題タイプ	時間 (分)	解答数 /出題数	
札幌市	一般事務	行政コース	教養系（20問必須解答）			専門系（45問中20問選択解答）			120分
仙台市	事務	—	全国型	120	40/45	全国型	120	40/56	
さいたま市	行政事務A	—	全国型	120	40/50	全国型	120	40/50	
千葉市	事務	行政A	全国型	150	45/55	全国型	120	40/50	
特別区	I類	事務	独自	120	40/48	独自	90	40/55	
横浜市	事務	—	その他	150	50/50	—	—	—	
川崎市	行政事務	—	総合筆記試験（60問解答）			180分			
相模原市	行政	—	その他	90	30/30	—	—	—	
新潟市	一般行政A	—	全国型	120	40/40	全国型	120	40/40	
	一般行政B	—	全国型	120	40/40	—	—	—	
静岡市	事務A	—	全国型	150	55/55	—	—	—	
	事務B	—	—	—	—	全国型	150	55/55	
浜松市	事務	行政A	全国型	150	50/50	全国型	120	40/40	
	—	行政一般	全国型	150	50/50	—	—	—	
名古屋市	事務	法律	その他	90	30/30	法律専門型	120	40/40	
		経済	その他	90	30/30	経済専門型	120	40/40	
京都市	行政	一般方式	その他	90	30/30	全国型	90	30/40	
大阪市	事務行政 22-25	—	適性試験	60	—	—	—	—	
		—	適性試験	60	—	法律専門型	90	25/30	
堺市	事務	一般枠	その他	90	30/30	全国型	120	40/40	
神戸市	一般行政	総合事務	独自	150	40/45	独自	80	25/110	
岡山市	事務	一般枠A	その他	120	40/40	全国型	120	40/40	
		法律	全国型	150	45/55	法律専門型	120	40/40	
広島市	行政事務	経済	全国型	150	45/55	経済専門型	120	40/40	
		行政	全国型	150	45/55	全国型	120	40/40	
北九州市	一般事務員	行政総合	全国型	150	50/50	全国型	120	40/40	
		行政I	全国型	150	50/50	—	—	—	
福岡市	行政事務	行政	全国型	150	50/50	全国型	120	40/40	
熊本市	事務職	—	全国型	150	50/50	全国型	120	40/40	

※上記は、各自治体の令和2年度の試験案内を基に作成した表です。受験の際は、必ず最新の試験案内をご確認ください。

4-10 択一試験の解答方法

科目選択解答制： 出題科目のうち、指定された科目数を選択して解答する方式で、国家一般職(大卒・行政)、国税専門官、財務専門官などで導入されています。

解答する科目を選択する、つまり選択した科目の問題を全問解答しなければならない、難問が含まれていても解答しなければならないため、各科目を深く学習しておくことはもちろん、必要とされている科目数よりも多く科目を準備しておく必要があります。

問題選択解答制： 出題された問題のうち、指定された題数を選択して解答する方式で、地方上級の一部試験で導入されています。教養試験の場合は一般知能分野（数的処理・文章理解）が必須解答、一般知識分野（人文科学・自然科学・社会科学・時事）は選択解答になっている場合が多く、専門試験の場合は出題された全問題の中から任意に問題を選択解答するケースがほとんどです。

解答する問題を選択する、つまり解きやすく自信のある問題を選んで解答できることから得点が稼ぎやすいですが、一方で確実な得点力を身に付けておく必要があります。

5 教養試験・専門試験

5-1 教養択一試験（行政事務職／技術職）

教養択一 (基礎能力)	一般知能分野					一般知識分野											合 計	合 計	解 答 時 間					
	数的処理		文章理解			人文科学					自然科学			社会科学						他				
	数 的 推 理	判 断 推 理	空 間 推 理	資 料 把 握	現 代 文 学	英 文	世 界 史	日 本 史	地 理 理 想	思 想 文 化	数 学	物 理	化 学	生 物	地 球 学	法 律					政 治	経 済	社 会	時 事
国家一般職	5	6	2	3	6	5	1	1	1	1	—	—	1	1	1	—	1	1	1	—	3	40	40	140
国税専門官 財務専門官	5	6	2	3	6	5	1	1	1	1	—	—	1	1	1	—	1	1	1	3	40	40	140	
労働基準監督官A 裁判所一般職	6	6	4	1	5	5	1	1	1	1	—	—	1	1	1	1	3	1	1	—	—	40	40	180
特別区I類	5	6	4	4	5	4	1	1	1	—	—	—	2	2	2	2	2	1	1	1	4	48	40	120
東京都I類B	5	3	4	4	4	4	1	1	1	—	1	—	1	1	1	1	1	1	1	—	5	40	40	130
地方上級 全国型	6	5	4	1	4	5	2	2	2	—	—	1	1	2	2	1	3	1	3	5	50	50	150	
地方上級 関東型	5	3	3	1	4	5	3	3	2	—	1	1	1	2	2	1	3	1	3	6	50	40	120	
地方上級 中北型	6	5	4	1	4	5	2	3	2	—	1	1	1	2	2	1	2	1	2	5	50	50	150	
横浜市	6	8	2	1	3	5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	9	3	1	12	50	50	150		
市役所A日程	5	4	3	1	4	3	2	2	2	—	1	1	1	2	1	2	—	1	4	—	40	40	120	
市役所B日程	5	4	3	2	3	3	2	2	1	—	—	—	1	1	2	1	5	5	5	40	40	120		
市役所C日程	7	5	3	3	5	4	2	2	1	—	—	—	—	—	—	—	5	5	5	40	40	120		
国立大学法人等	6	4	2	1	3	4	2	2	2	2	1	1	1	2	1	2	2	2	2	—	40	40	120	

※太字の数字は、必須解答の科目です。
 ※左記は過去の試験情報を元に作成していますので、実際とは出題内容が異なる場合があります。
 ※東京都I類Bは、一般方式の情報です。
 ※地方上級（法律／経済専門型）は、地方上級（全国型）と同様です。
 ※横浜市は、教養試験のみと受験案内にありますが、例年、専門科目（憲法・民法・行政法・ミクロ経済学・マクロ経済学・財政学・経済事情・行政学・国際関係など）が、社会科学として出題されています。
 ※市役所B日程及びC日程は、上段が Standard I、下段が Logical I の出題内訳を示しています。詳細は第5章 (p. 303) の「新教養試験について」を確認してください。

教養試験は、公務員試験独自の数的処理・文章理解、主に高校時代の学習内容である人文科学・自然科学・社会科学・時事が出題されます。なお、地方上級では人文科学・自然科学が出題されない自治体があります。

一般知能	<p>【数的処理&文章理解】</p> <p>一般知能分野で出題される文章理解と数的処理は、教養試験（基礎能力試験）の解答数に占める割合が 50～65%以上を上ります。これらの科目は、論理的に思考する能力と、与えられた情報から推理・整理することが求められます。単純暗記では対応できないため、攻略するためには基礎的計算能力（文章理解を除く）・論理的思考力・経験学習力が必要とされ、それらは「習うこと」も「慣れること」も必要です。</p>
一般知識	<p>【人文・自然・社会科学】</p> <p>人文科学・自然科学・社会科学の各分野から出題される一般知識は、ある意味単純暗記で対応可能といえるでしょう。しかし、膨大な範囲を覚えるのは「至難の業」です。効率的な学習が必要であり、それは頻出分野を徹底的に攻略することです。そのために講義があります。講義で扱った分野を学習することが必然的に「効率的な学習」になっており、結果的にライバルに差をつけることに繋がるでしょう。</p>

5-2 専門択一試験（行政事務職）

専門択一 目標 約7割	法律系			経済系					政治系				その他						合計 出題数	合計 解答時間																			
	憲法	民法 (総則・物権)	民法 (債権・親権)	行政法	刑法	労働法	商法	ミクロ 経済学	マクロ 経済学	財政学	経済事情	経済政策	経済史	労働経済	政治学	行政学	社会学	社会政策			国際関係	社会事情	社会保険	経営学	会計学	労働事情	英語 (基礎)	英語 (一般)	英語 (商業)	情報工学	情報数学	統計学	心理学	教育学					
国家一般職	5	5	5	5	—	—	—	5	5	5	—	—	—	5	5	5	—	5	—	—	—	5	—	—	5	5	—	—	—	5	5	80	40	180					
国税専門官	3	6	3	—	—	—	2	2	2	6	2	—	—	—	3	—	2	—	—	—	1	—	6	8	—	—	6	6	6	6	—	—	—	70	40	140			
財務専門官	6	5	8	—	—	—	1	3	3	6	2	—	—	—	3	—	3	—	—	—	—	6	6	—	—	6	—	6	6	6	—	—	—	76	40	140			
労働基準監督官A	4	5	4	3	7	—	—	9	—	—	—	—	—	—	—	—	2	—	—	—	—	—	—	5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	48	40	140			
裁判所一般職	7	13	—	10	—	—	—	5	5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	40	30	90			
特別区I類	5	10	5	—	—	—	—	5	5	5	—	—	—	—	5	5	5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	55	40	90		
地方上級 全国型	4	4	5	2	2	—	5	4	3	—	—	—	—	—	2	2	—	3	2	—	—	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	40	40	120		
地方上級 関東型	4	6	5	2	2	—	5	6	4	—	3	1	—	—	2	2	—	3	3	—	—	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	50	40	120	
地方上級 中北型	5	7	8	2	2	—	4	4	3	3	2	—	—	—	2	2	2	2	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	50	40	120	
地方上級 法専型	5	12	12	3	3	—	—	4	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	40	40	120	
地方上級 経専型	2	3	—	—	—	—	18	5	4	4	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	40	40	120	
市役所A日程	4	4	5	2	2	—	4	7	3	—	—	—	—	—	2	2	—	3	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	40	40	120
市役所B日程	4	4	5	2	2	—	6	5	3	—	—	—	—	—	2	2	—	3	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	40	40	120
市役所C日程	憲法、行政法、民法、経済理論、経済政策・経済事情、財政学・金融論、社会政策、政治学・行政学、国際関係、社会学・教育学、(10分野各5問) ※50 ※																																						

※太字の数字は、必須解答の科目です。(上記は、過去の試験情報を元に作成していますので、実際とは出題内容が異なる場合があります。)
 ※市役所B日程及びC日程欄の下段は、2017年より導入された選択解答方式の専門択一試験、「行政S-8(8分野40問選択/120分)」と、「行政S-6(6分野30問選択/90分)」の出題内訳です。

専門試験は、法律系・経済系・政治系の3つの分野を中心に、大学の専門課程レベルの問題が出題されます。科目が非常に多いため、メリハリを付けながら、多くの試験で出題される科目を中心に、志望先ごとに必要な科目を必要に応じて選択学習する必要があります。

基本講義科目	多くの試験で出題される憲法・民法・行政法・ミクロ経済学・マクロ経済学・財政学・政治学は、講義及び演習で徹底的に攻略します。これらの科目は、合否を左右する可能性が高い科目ですので、優先的に学習するようにしてください。
選択科目	行政学・社会学・経営学などの選択講義に分類されている科目は、全科目を学習する必要はなく、志望先(併願先を含む)で出題される科目のみを選択学習します。これらの科目は、基本講義を受講した後に学習すべき科目が多くあります。また、志望先によって必要な科目が異なりますので、科目の選択方法などの詳細は、ホームルーム(HR)などでお伝えします。

POINT 専門科目は得点が伸ばしやすい!

専門科目は、出身学部による有利不利があるといわれることもありますが、TACの各科目の講義は各科目に関する知識がゼロであることを前提として、最終的に合格レベルを目指せるように組んでいます。また、合格者の多くは、最終的には専門科目を得点源としており、学習開始の段階で既に苦手意識がある科目が含まれる教養科目よりも点数が伸ばしやすい傾向にあります。

TACのカリキュラムに従い、科目ごとの重要度に応じたメリハリを付けながら、地道にコツコツと努力を積み重ねて学習を進めてください。

5-3 専門記述試験（行政事務職）

東京都I類B・国家専門職（国税専門官・財務専門官・労働基準監督官Aなど）・裁判所一般職（大卒）などを受験する場合は、**専門択一对策に加え専門記述対策が必要**です。専門記述対策は、各科目の専門択一对策をしながらで専門記述独自に必要な知識や答案構成の練り方、また予想・頻出論点などを専門記述対策講義で学習し答案添削を受け、対策を行っていきましょう。

試験種	出題科目	解答数／出題数	解答時間
東京都I類B (行政一般方式)	憲法、行政法、民法、経済学、財政学、政治学、行政学、社会学、会计学、経営学	3 / 10	120分
国税専門官	憲法、民法、経済学、会计学、社会学	1 / 5	80分
財務専門官	憲法、民法、経済学、会计学、財政学	1 / 5	80分
労働基準監督官A	労働法、労働事情 (就業構造、労働需給、労働時間、賃金、労使関係)	2 / 2	120分
裁判所一般職 (大卒)	憲法	1 / 1	60分

5-4 専門試験（技術職）

- 例：国家一般職（大卒）

試験区分	専門試験（多肢選択式）	専門試験（記述式）
土木	40題出題 40題解答 *工学に関する基礎⑩ *構造力学（土木）・水理学・土質力学・測量⑪、土木材料、土木設計、土木施工③、土木計画④、環境工学（土木）・衛生工学②	必須問題1題 土木工学に関連する領域
機械	40題出題 40題解答 *工学に関する基礎⑩ *材料力学④、機械力学④、流体力学④、熱工学④、機械設計・機械材料・機械工作④	必須問題1題 機械工学に関連する領域
建築	33題出題 33題解答 *工学に関する基礎⑩ *構造力学（建築）・建築構造④、建築材料・建築施工②、環境工学（建築）・建築設備③、建築史・建築計画・建築法規・都市計画④	必須問題1題 建築設計製図
電気・電子・情報	40題出題 40題解答 *工学に関する基礎⑩ *電磁気学・電気回路・電気計測・制御・電気機器・電力工学⑧、電子工学・電子回路③、通信工学・情報工学⑨	必須問題1題 電気・電子・通信・情報工学に関する領域

化	学	44 題出題 40 題解答 * 必須問題 数学・物理⑨、物理化学・分析化学・無機化学・有機化学・工業化学⑺ * 選択問題 生物化学④、化学工学④の 8 題から 4 題を選択	必須問題 1 題 化学に関連する領域
物	理	50 題出題 40 題解答 * 必須問題 物理 [物理数学を含む基礎的な物理] ⑩ * 選択問題 応用物理 [現代物理等] ⑩、地球物理⑩の 20 題から 10 題を選択	必須問題 1 題 物理に関連する領域

• 例:労働基準監督官

試験区分	専門試験(多肢選択式)	専門試験(記述式)
B (理工系)	46 題出題 40 題解答 * 必須: ⑧ 労働事情(就業構造、労働需給、労働時間・賃金、労使関係、労働安全衛生) ⑧ * 選択: 38 題中 32 題選択 工学に関する基礎(工学系に必要な基礎としての数学、物理、化学) ⑩	4~6 題出題 2 題解答 * 必須 工業事情 1 題 * 選択 工学に関する専門基礎(機械系、電気系、土木系、建築系、衛生・環境系、応用化学系、応用数学系、応用物理系等の工学系の専門工学に関する専門基礎分野)から 3~5 題出題し、うち 1 題選択

• 例:東京都 I 類 B(一般方式) ※出題される5題中3題を本試験時に選択

試験区分	専門試験(記述式)
土 木	構造力学、水理学、土質工学、土木材料・測量、都市・土木計画、交通・道路工学、衛生工学、橋梁工学、河川・海岸工学、港湾工学、土木施工、技術情勢
建 築	建築史、都市計画、建築計画、建築環境工学、建築設備、構造力学、建築構造、建築材料、建築施工、建築法規、技術情勢
機 械	物理、材料力学、熱力学、熱機関、流体力学、流体機械、機械工作、機械材料、計測・制御、管理工学、技術情勢
電 気	数学、電気磁気学、電気回路、電気機器、電子回路、発送配電、計測・制御、情報・通信、電気応用、電気法規、技術情勢
環 境 検 査	有機化学、無機化学、分析化学、物理化学、応用化学、生化学、生物学概論、生態学、微生物学

• 例:特別区 I 類(一般方式) ※出題される6題中4題を本試験時に選択

試験区分	専門試験(記述式)
土木造園(土木)	応用力学、土質工学、測量、土木施工、道路・橋梁、都市計画
建 築	建築史、建築計画、都市計画、建築設備、建築構造、建築施工、建築法規
機 械	物理、材料力学、熱力学・熱機関、流体力学・流体機械、計測・制御、機械材料
電 気	電気・電子回路、電磁気学、材料・制御(電気応用を含む)、電気機器、発送配電、情報・通信
衛生監視(化学)	有機化学、無機化学、分析化学、物理化学、生化学、応用化学

• 例：地方上級（県・政令指定都市）

試験区分		専門試験（主に多肢選択式）
土	木	数学・物理、応用力学、水理学、土質工学、測量、都市計画、土木計画、材料・施工
総合	土木	数学・物理、応用力学、水理学、土質工学、測量、材料・施工、農業水利・土地改良・農村環境整備、都市計画、土木計画
農業	土木	数学、応用力学、水理学、測量、土壌物理、農業水利、土地改良、農地造成、農業造構、材料・施工、農業機械、農業一般
建	築	数学・物理、構造力学、材料学、環境原論、建築史、建築構造、建築計画、都市計画、建築設備、建築施工
機	械	数学・物理、材料力学、流体力学、熱力学、電気工学、機械力学、機械設計、機械材料、機械工作
電	気	数学・物理、電磁気学・電気回路、電気計測・制御、電気機器・電力工学、電気工学、電子工学、情報・通信工学
化学	／総合化学	数学・物理、物理化学、分析化学、無機化学・無機工業化学、有機化学・有機工業化学、化学工学
農芸	化学	物理化学、分析化学、無機化学、有機化学、生物化学、土壌学・植物栄養学・肥料学、食品化学・食品貯蔵加工学、応用微生物学
農学	／農業	栽培学汎論、作物学、園芸学、育種遺伝学、植物病理学、昆虫学、土壌肥料学、植物生理学、畜産一般、農業経営一般
畜	産	家畜育種学、家畜繁殖学、家畜生理学、家畜飼養学、家畜栄養学、飼料学、畜産物利用学、家畜管理学、畜産経営一般
林業	／林学	林業政策、林業経営学、造林学、林業工学、林産一般、砂防工学
水	産	水産事情・水産経済・水産法規、水産環境科学、水産生物学、水産資源学、漁業学、増養殖学、水産化学、水産利用学
造	園	造園学原論、造園材料・施工、造園管理、造園計画・設計（都市・地方計画を含む）、造園関連基礎

5-5 専門試験（社会福祉・心理）

• 社会福祉の出題例

自治体・区分	専門試験（多肢選択式）
地方上級	社会福祉概論（社会保障を含む）、社会学概論、心理学概論（社会心理学を含む）、社会調査
特別区Ⅰ類（福祉）	社会学概論、社会福祉論、社会心理学、児童心理学、ケースワーク

• 心理の出題例

自治体・区分	専門試験（多肢選択式）
地方上級	一般心理学（心理学史、発達心理学、社会心理学を含む）、応用心理学（教育心理学・産業心理学・臨床心理学）、調査・研究法、統計学
東京都Ⅰ類B（心理）	心理学基礎論、心理学特論、臨床心理学 ※東京都Ⅰ類Bの専門試験は、記述式です。

社会福祉・心理区分などの資格免許職の専門試験は、各資格免許職に必要とされる国家試験の専門試験の学習をそのまま公務員試験対策として活かすことができます。教養試験対策・論文試験対策・面接試験対策においては、受験対策予備校のノウハウが役立ちますので、他の受験者と差をつけ、より確実に合格を目指すために、これらの対策において、受験対策予備校のノウハウやカリキュラムを活用しましょう。

6 論文試験

論文試験は、多くの公務員試験において実施される試験種目です。60分～90分程度の解答時間で、客観的な事実に基づいて社会問題などを分析し、それに対して自分の考えを盛り込んだ800字～1,200字前後の文章を手書きで書くことが求められています。論文対策も、まずは講義を受けることから始めます。講義で原稿用紙の使い方、敬体・常体、頻出テーマ、予想テーマなどの基礎知識などを学び、その後は自分の手で実際に論文を書き、繰り返し答案添削指導を受けることで、合格答案作成力を身につけていってください。

<出題例 ※主に行政事務職>

試験種	出題テーマ
国家一般職（大卒） 2019年度	<p>我が国は、「日本再興戦略2016」において、キャッシュレス*決済の普及による決済の利便性・効率性の向上を掲げ、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催等を視野に入れたキャッシュレス化の推進を示している。さらに、2017年6月に閣議決定された「未来投資戦略2017」においては、KPI（Key Performance Indicator：重要な評価指標）として、2027年6月までにキャッシュレス決済比率を4割程度とすることが新たな指標として掲げられた。</p> <p>* キャッシュレス：物理的な現金（紙幣・硬貨）を使用しなくても活動できる状態</p> <p>このような状況に関して、以下の図①、②を参考にしながら、次に（1）、（2）の問いに答えなさい。</p> <p>（1） キャッシュレス化のメリット・デメリットを述べた上で、我が国がキャッシュレス化を推進する必要性や意義について、あなたの考えを述べなさい。</p> <p>（2） （1）に照らして、キャッシュレス化を推進するためにはどのような取組が必要となるか。あなたの考えを具体的に述べなさい。</p>
特別区I類（事務） 令和元年度	<p>特別区では、2020年東京オリンピック・パラリンピック開催に向けて、多くの来日が予想される外国人観光客への対応を進めているところです。さらに、国内労働者人口の減少を背景とし、外国人労働者も増え続けています。それらに伴う多様な言語を話す外国人の増加は、地域社会に様々な課題を投げかけることが予想されます。</p> <p>このような状況を踏まえ、これらの外国人の増加に伴い生じる新たな課題に対して、特別区の職員としてどのように取り組むべきか、あなたの考えを論じなさい。</p>
埼玉県 平成30年度	<p>今後、全国一のスピードで高齢化が進むことが見込まれる埼玉県では、子供や若者から高齢者まで県民の誰もが毎日を健康で生き生きと暮らすことができる健康長寿社会を実現することが重要な課題となっている。</p> <p>その実現に向け、県では全国に先駆けて「健康長寿埼玉プロジェクト」をスタートさせ、「毎日1万歩運動」や「埼玉県コバトン健康マイレージ」などの取組を推進している。</p> <p>そこで、次の2点について900字以上1,100字以内で論じなさい。</p> <ol style="list-style-type: none"> 健康長寿社会の実現が求められている背景としてどのようなことが考えられるか。 県民の誰もが健康づくりを意識した生活を送るために行政が取り組むべきことは何か。
特別区経験者 （2級職） 平成30年度	<p>■職務経験者論文</p> <p>職務を進める上での課題解決に向けた取組について、あなたの職務経験を簡潔に述べてから、その経験を踏まえて論じてください。</p> <p>■課題式論文（2題中1題を選択）</p> <ol style="list-style-type: none"> 行政運営の効率化と信頼性の確保について 区民への情報発信のあり方について

など

7 人物試験

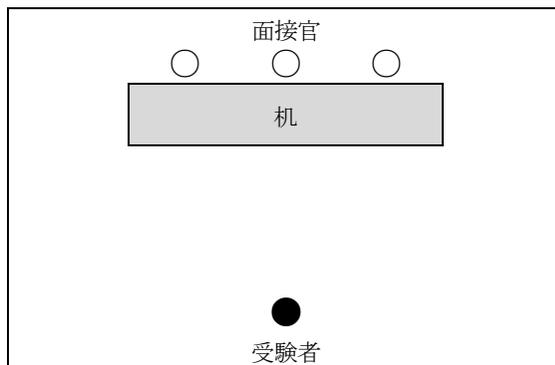
7-1 人物試験の形式

公務員試験の人物試験は、主に『個別面接』『集団面接』『集団討論／グループ・ワーク』が実施されます。人物試験の実施形式は、試験種や年度により異なります。また、人物試験に進むことができるのは、筆記試験合格者のみという場合がほとんどです。

• 個別面接

個別面接は、受験者1人に対して面接官3～5人程度で、時間は概ね15～30分で実施されており、公務員試験の人物試験の中で最もオーソドックスな人物試験の形式です。質問内容は、主に志望理由と自己PRに関するもので、事前または現場で提出する面接カードに沿った質問及びその掘り下げが中心です。

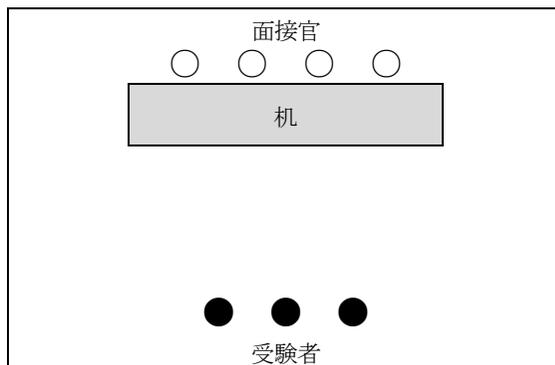
受験者が1人のため、面接官はじっくりと受験者の話を聞くことができ、また面接の様子を観察することができます。受験者は質問への回答を通じて、じっくりと自身の想いを伝えることができます。



• 集団面接

集団面接は、受験者複数人に対して面接官も複数人で実施される形式で、個別面接や集団討論と併せて実施されることが多い傾向にあります。個別面接とは異なり受験者が複数いるため、詳細な人物評価がし難い反面、共通の質問を全員に回答させることで、相対的な評価がしやすいという特徴があります。また、全ての試験種で実施されるわけではありません。

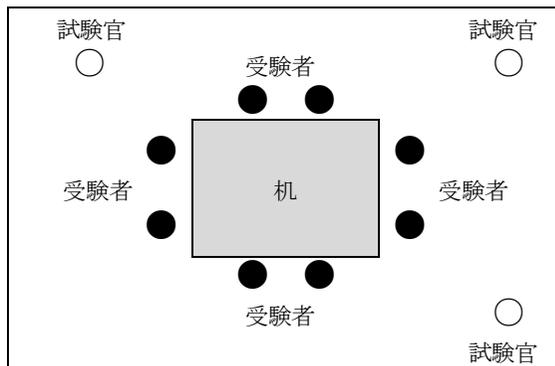
集団面接では、指名式や挙手式で答えさせる場合もあり、また、受験者が複数のため、簡潔かつ要点をおさえた回答が求められています。



• 集団討論(グループ・ディスカッション)／グループ・ワーク

多くの地方上級や市役所や国家一般職の官庁訪問などで実施されている形式で、個別面接や集団面接と併せて実施されることがほとんどです。課題が与えられ、受験者同士で討論や共同作業をする様子を観察することで、受験者の人物像やキャラクターを詳細に把握でき、また相対評価がしやすいという特徴があります。

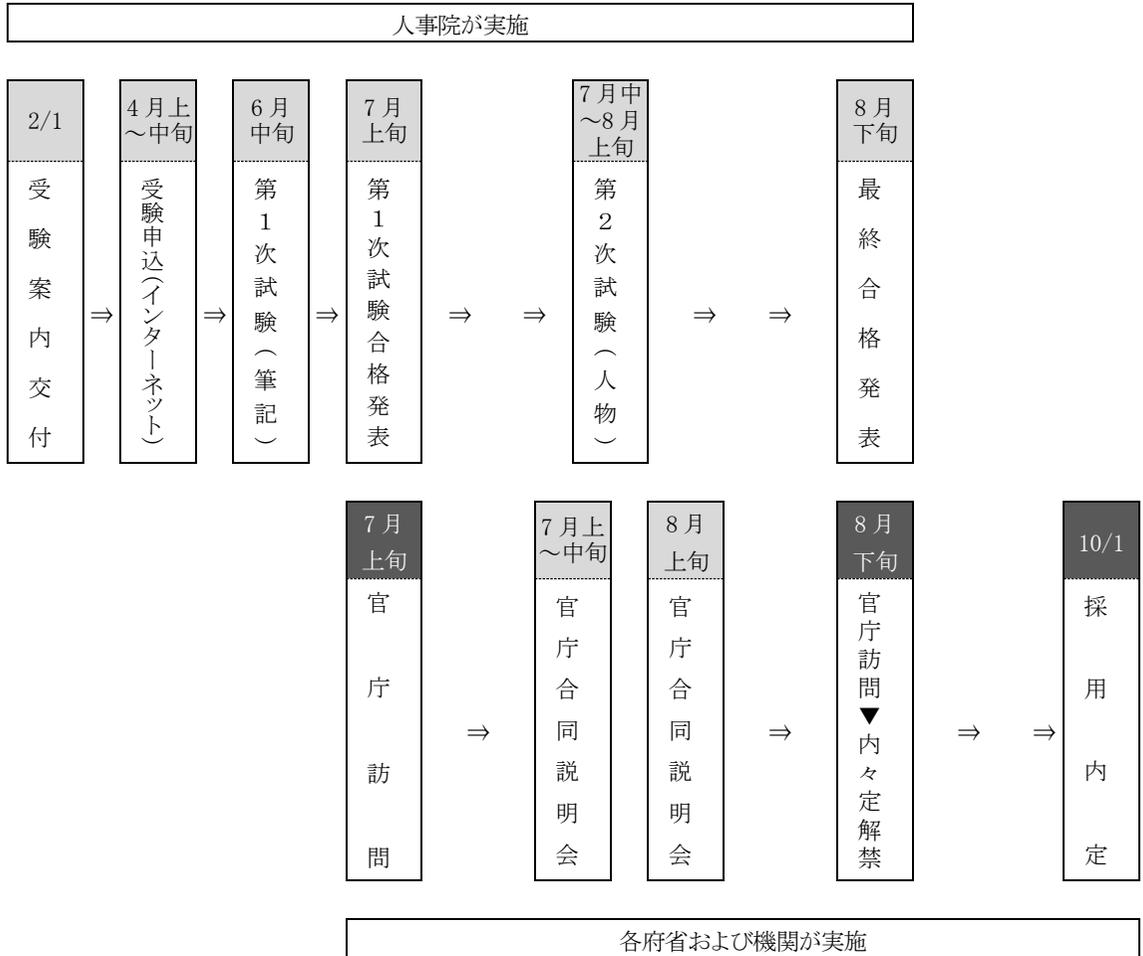
集団討論は、グループで仕事を進める公務員の職場のシミュレーションともいえます。自分自身が目立つとするよりも、いかに受験者同士で協調しながら自分の特徴を発揮できるかが重要です。



7-2 国家一般職（大卒）の官庁訪問とは

国家一般職（大卒）は、最終合格≠採用です。国家一般職（大卒）で最終合格を得る＝採用候補者名簿に載っただけに過ぎず、人事院が実施する2次試験（個別面接）とは別途で官庁ごとに実施される『官庁訪問』を経て、内々定を得る必要があります。

例：国家一般職（大卒）



※官庁合同業務説明会は、地域及び受験区分により実施日が異なります。
実施日程は1次試験合格発表日頃に国家公務員採用情報NAVIなどにて発表されます。

官庁訪問は、国家一般職（大卒）の最終合格者が就職を希望する官庁を直接訪問し（事前予約が必要な場合がほとんど）、官庁ごとの採用プロセスに参加して業務説明や面接を受ける、**実質的には採用面接の場**です。

官庁訪問の原課の職員の説明や面接の場では、実際の業務内容などの立ち入った話や質問もなされることから、志望官庁の情報収集や自己分析などの事前準備が必要です。また、強い意志を持ち積極的に官庁訪問することが大切です。

官庁訪問の成否は、**情報収集や面接対策などの万全な事前準備、早めの勝負、粘り強さ**で決まります。多くの受験者が夏に内々定を勝ち取る一方で、長期戦を強いられた末に、採用・内定が得られるケースもあります。

8 今からできる面接対策の準備

8-1 官公庁や自治体のHPで調べる

民間就活の場合は、就職情報サイトなどを通じて採用情報などを発信されることがほとんどですが、官公庁や自治体の場合は、各官公庁・自治体のHPやSNSを通じて、随時発信しています。したがって、公務員受験生は、筆記試験対策などと並行して、空き時間などにこまめにHPやSNSをチェックする必要があります。

• 国家公務員

国家総合職、国家一般職（大卒）、国家専門職（国税専門官・財務専門官・労働基準監督官 など）

- ⇒ 国家公務員試験採用情報NAV I
- ⇒ 国税庁HP内 国税専門官採用試験
- ⇒ 厚生労働省HP内 採用情報 労働基準監督官

裁判所一般職（大卒）、裁判所総合職、家庭裁判所調査官補

- ⇒ 最高裁判所HP内 採用試験情報

など

• 地方公務員

道府県、政令指定都市、市町村など

- ⇒ 各自治体のHP内 職員採用情報 〇〇県 職員採用 などで検索！

特別区（東京23区）

- ⇒ 特別区人事委員会採用試験情報HP

東京都

- ⇒ 東京都職員採用HP

など

上記は、代表的な試験種のHPのみ掲載しています。HP以外にも、TwitterやFacebookなどのSNSを活用して情報発信をしている場合もありますので、志望先の情報を逃さぬよう各自確認しておきましょう。

8-2 説明会などの採用関連イベントに参加する

民間企業の場合は、大規模なイベントホールなどに複数の企業を集めて合同説明会を実施していますが、公務員の説明会や採用関連イベントは、一部の国家公務員などの合同イベントを除き、各自治体及び官公庁が単独かつ独自に実施するケースがほとんどです。

• 官公庁・自治体講演会 @TAC主催

- ⇒ 例年11月より順次、TAC校舎に現役職員や採用担当者などをお招きして実施するTAC主催の説明会です。実施情報はTACホームページ及びFacebook・Twitter、各校舎の掲示板などでお知らせします。

• 各官公庁・自治体ごとの説明会／採用関連イベント

- ⇒ 各官公庁や自治体が主催するオフィシャルな説明会／採用関連イベントは、随時実施されています。官公庁・自治体講演会同様、例年秋～受験申込の始まる春・夏にかけて実施情報が発表されます。なお、一部の説明会は要事前申込（先着順）の場合がありますので志望先のHPなどをこまめに確認してください。

8-3 インターンシップに参加する

すべての自治体・官公庁が実施するわけではありませんが、一部の官公庁や自治体では民間企業と同じように、**インターンシップ(就業体験)が実施**されています。採用・内定を勝ち取るために必須というわけではありませんが、公務に対する理解を深めたり、パンフレット等では伝わりにくい職場の雰囲気や体感を体感できたりするなど、多くのメリットがありますので、ご興味がある方はぜひ積極的に参加を検討してみてください。

- **対象者**

公務員のインターンシップの対象者は、現役の学生を対象としたものが多い傾向にあります。

- **実施情報**

実施情報は、各官公庁・自治体のHPの他、大学の就職課やキャリアセンターなどで得ることができます。多くのインターンシップは夏季休暇期間などに実施されており、その参加申込みは春先（4～6月頃）となっていますので、希望される方は、早めに実施情報をチェックして、準備を始める必要があります。

- **申込方法**

申込窓口は、一部の官公庁・自治体を除き、大学の就職課やキャリアセンター経由となっていることがほとんどです。また、参加申込にあたり、応募書類の作成（志望理由・自己PRなど）や大学からの推薦状が必要な場合が多いことから、事前準備に時間を要する点には注意が必要です。人気の自治体や官公庁の場合は、インターンシップ参加者の決定にあたり、書類選考や面接が実施されることがありますので、しっかりと内容を練り上げておきましょう。



採用関連イベントに参加する

公務員試験は、資格試験ではなく就職試験です。筆記試験の重要度が民間企業の就職試験よりも高いことから、筆記試験対策ばかりに時間をとられてしまいがちですが、1次試験（筆記）後には、人物試験が設けられています。面接カードの作成や模擬面接などの本格的な面接対策は、1次試験（筆記）後からでも構いませんが、情報収集は筆記試験対策と同時並行で進めておきたいところです。

勉強の合間などに説明会や採用関連イベントに参加することで、有益な情報が入手できることはもちろん、目指すものが明確になり、モチベーションアップにも繋がりますので、ぜひ積極的に参加してみてください

9 最終合格者の決定方法

多くの試験種では、筆記試験と人物試験の結果が点数化され、主にその合計点により、公平公正に最終合格者が決定されます。学歴・職歴・性別などによる有利不利などがうわさされることもあります。そのようなものが入り込む余地は無いといって良いでしょう。地道にコツコツと必要な対策をしっかりとやりきった方が合格に近付ける、つまり努力した分、着実に合格へと近づくことができる試験です。

試験種ごとの合格者の決定方法は、第5章 本試験データ集及び最新の受験案内にてご確認ください。

(参考)2020年度国家公務員採用一般職試験(大卒程度試験)合格者の決定方法

1. 得点についての考え方

①受験者の筆記試験の得点は、各試験種目の素点（多肢選択式試験の場合は正解数、記述式試験の場合は複数の評価者による評点を総合した値）ではなく、試験種目ごとに平均点、標準偏差^{註1}を用いて下記の方法で算出した「標準点^{註2}」としています。なお、標準点は小数点以下を切り捨てます。

各試験種における標準点の算出方法

$$\text{標準点} = 10 \times \frac{\text{当該試験種目の素点}}{\text{当該試験種目の配点比率}} \times \left(15 \frac{X - M}{\sigma} + 50 \right)$$

ただし、 X ：ある受験者の素点、 M ：当該試験種目の平均点、 σ ：当該試験種目の標準偏差

(例) 基礎能力試験（配点比率は下表参照）において、ある受験者の素点が24点、平均点が21点、標準偏差が5.5点の場合、この受験者の標準点は129点になります。

$$10 \times \frac{24}{9} \times \left(15 \times \frac{24 - 21}{5.5} + 50 \right) = 129.292 \dots$$

②人物試験においては、各受験者についてA～Eの5段階で評価し、この評価結果が正規分布するものとみなして、各段階の標準点を算出しています。

2. 各試験種目の配点比率

標準点を算出する際の各試験種目の配点比率は次のとおりです。

試験種目 区分	基礎能力 試験	専門試験 (多肢選択式)	一般論文 試験	専門試験 (記述式)	人 物 試 験
行政区分	2/9	4/9	1/9	—	2/9
建築区分	2/9	2.5/9	—	2.5/9	2/9
行政及び建築 以外の区分	2/9	4/9	—	1/9	2/9

※標準点の合計は概ね0～1000点の範囲の点数になります。また、全ての試験種目で平均的な成績であれば、標準点の合計はおよそ500点になります。

3. 基準点等について

基準点（人物試験においては、Dの評価）に達しない試験種目が一つでもある受験者は、他の試験種目の成績にかかわらず不合格となります。

筆記試験の各試験種目の基準点は、多肢選択式試験については原則として満点の30%とし、記述式試験については個別に定めることとしています。

4. 第1次試験合格者の決定

第1次試験の受験者のうち、基礎能力試験及び専門試験(多肢選択式)において基準点以上である者について、両試験種目の標準点を合計した得点に基づいて第1次試験合格者を決定します。

なお、第1次試験で実施している「一般論文試験」又は「専門試験(記述式)」は、第1次試験合格者を対象に評定しています。

5. 最終合格者の決定

第1次試験合格者のうち、一般論文試験又は専門試験(記述式)において基準点以上であり、かつ、人物試験においてA～Dの評価である者について、1次試験を含む全ての試験種目の標準点を合計した得点に基づいて最終合格者を決定します。

(注1) 標準偏差(σ)は、素点のばらつき具合を示す指標です。一般に、ある試験の標準偏差が小さいということは、受験者の素点が平均点付近に多く分布していることを表し、逆に標準偏差が大きいということは、受験者の素点が幅広く分布していることを表しています。標準偏差の算出式は次のとおりです。

$$\sigma = \sqrt{\frac{1}{N} \sum_i (X_i - M)^2}$$

ただし、 X_i : 受験者 i の素点、 M : 当該試験種目の平均点、 N : 当該試験種目の受験者数

(注2) 標準点は、試験種目によって満点(要解答題数)が異なっていること、受験者の素点のばらつきが異なっていることの影響を修正するために用いられるもので、各受験者の成績が受験者全体の成績の分布の中でどの辺りにあるかを相対的に示しています。

(参考)1次試験合格ライン

• 2020 (令和2) 年度 国家一般職 (大卒 行政)

北海道 地域	基	12	13	14	15	16	17	18	19	20																					
	専	18	17	17	16	15	15	14	13	12																					
東北 地域	基	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32									
	専	26	25	24	24	23	22	22	21	20	19	19	18	17	17	16	15	15	14	13	13	12									
関東甲信越 地域	基	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	
	専	33	32	31	30	30	29	28	28	27	26	26	25	24	24	23	22	21	21	20	19	19	18	17	17	16	15	14	14	13	
東海北陸 地域	基	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39		
	専	31	31	30	29	28	28	27	26	26	25	24	24	23	22	21	21	20	19	19	18	17	17	16	15	15	14	13	12		
近畿 地域	基	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	
	専	32	32	31	30	30	29	28	27	27	26	25	25	24	23	23	22	21	20	20	19	18	18	17	16	16	15	14	14	13	
中国 地域	基	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27														
	専	23	22	21	21	20	19	18	18	17	16	16	15	14	14	13	12														
四国 地域	基	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28													
	専	23	23	22	21	20	20	19	18	17	17	16	15	15	14	13	13	12													
九州 地域	基	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34							
	専	27	27	26	25	25	24	23	23	22	21	20	20	19	18	18	17	16	16	15	14	13	13	12							
沖縄 地域	基	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34							
	専	28	27	26	26	25	24	24	23	22	21	21	20	19	19	18	17	17	16	15	15	14	13	12							

• 2020 (令和2) 年度 国税専門官/財務専門官/労働基準監督官A

国税専門官	基	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23																				
	専	21	20	20	19	18	17	16	15	15	14	13	12																				
財務専門官	基	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36							
	専	33	32	31	30	30	29	28	27	26	25	24	23	23	22	21	20	19	18	17	16	16	15	14	13	12							
労働基準 監督官A	基	12	13	14	15	16	17	18	19	20																							
	専	19	18	17	16	15	15	14	13	12																							

※上記の1次試験合格ラインは、人事院が公表している各試験種の『合格者の決定方法』『合格点及び平均点等一覧』に基づいて、1次試験の基準点以上に到達するために必要な択一試験（基礎能力・専門択一）の最低点を元に作成しています。

第3章

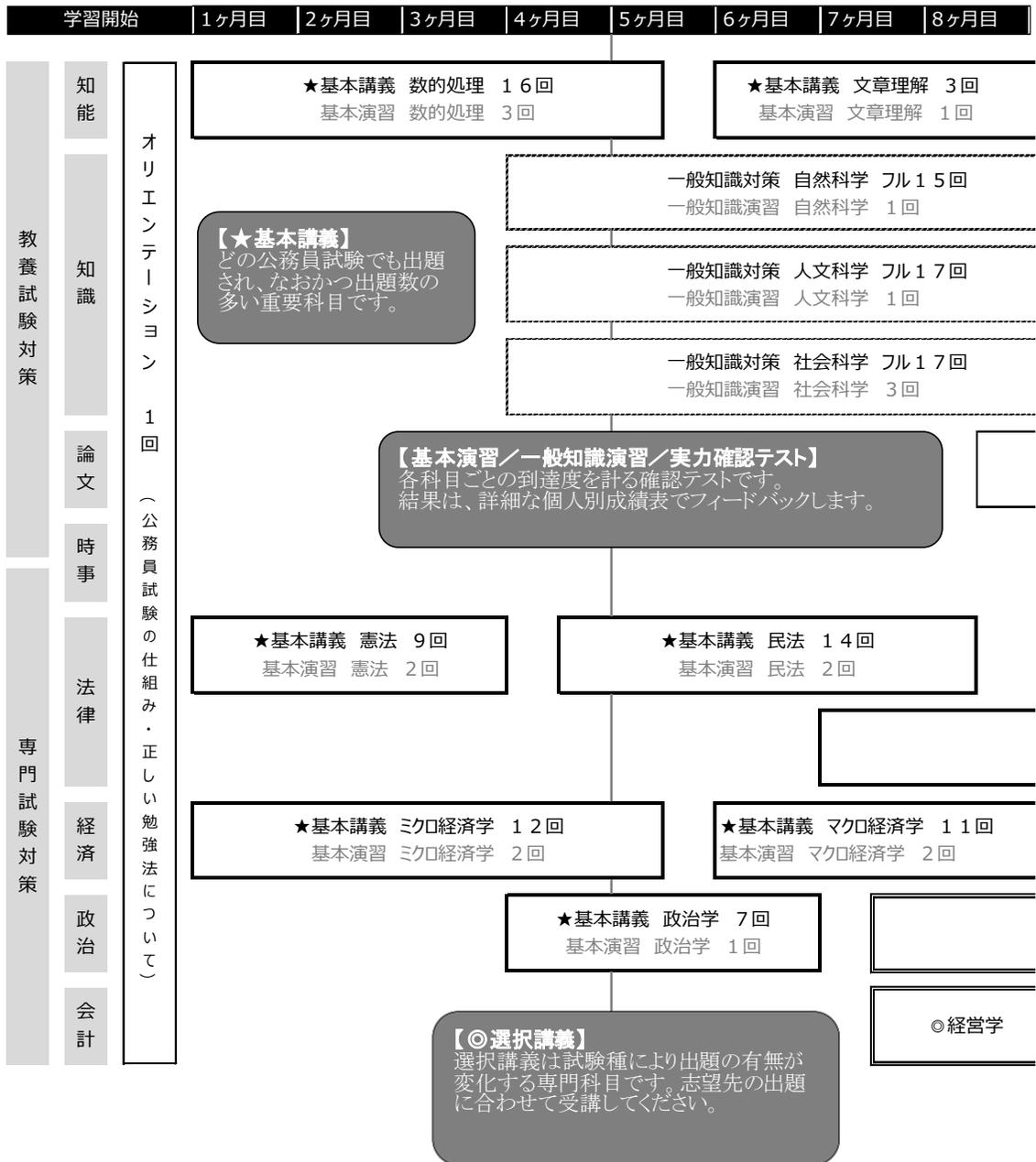
公務員試験の学習法

第3章

公務員試験の学習法

1 総論

TAC総合本科生 学習モデルプラン



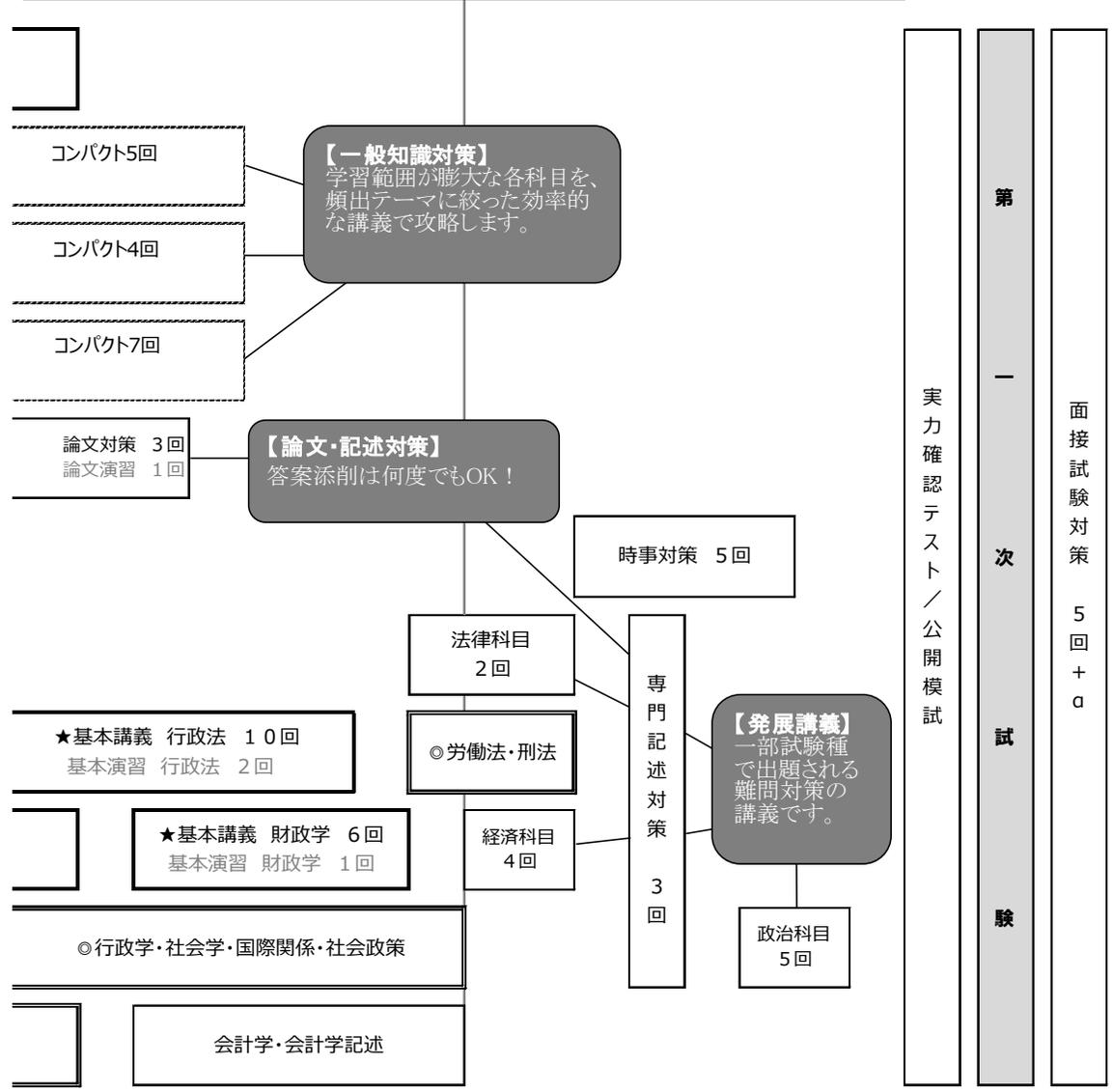
※上記プランは、約1年間の学習期間を目安としております。

学習開始時期によって履修内容が異なりますので、上記スケジュールはあくまで目安とお考えください。

※お申込みのコースにより受講していただく内容が異なります。コースに含まれている科目を受講してください。

なお、コースに含まれている科目は会員証に記載されています。

9ヶ月目 | 10ヶ月目 | 11ヶ月目 | 12ヶ月目 | 直前期



《社会科学を受講する際の留意事項》
 ～総合本科生など主な専門科目が含まれているコースで学習される予定の方へ～

社会科学	政治社会 フル (7回) コンパクト (5回)	「国際関係」「社会政策」「時事対策 (社会事情・国際事情)」で扱う内容を学習する上で必要な内容を扱います。	できる限り、左記「」内の講義を学習する前にコンパクト5回の受講を推奨します。
	法律 フル (5回) コンパクト (1回)	「憲法」で扱う内容と重複します。 ※第1回講義の法学の内容は触れておくことを推奨します。 ※第5回講義では「民法」「刑法」で扱う内容も含まれます。	左記「」内の講義を受講予定 (受講済み) の方は必ずしも受講する必要はありません。
	経済 フル (5回) コンパクト (1回)	「ミクロ経済学」「マクロ経済学」「財政学」で扱う内容と重複します。	左記「」内の講義を受講予定 (受講済み) の方は必ずしも受講する必要はありません。

※教養本科生など教養科目を中心に学習される予定の方は、社会科学 (フル17回) の受講を推奨します。

適切な学習方法

• 適切な方法で受験対策をする

やる気があっても、ただやみくもに勉強しては、最終合格は勝ち取れません。最終合格を勝ち取るために最も大切なこと、それは**適切な方法でコツコツと努力を積み重ねること**です。TAC公務員講座には、公務員試験において最終合格を勝ち取るために必要なツールが全て揃っています。あとは、この**ツールをあなたが正しい方法で使いこなし、地道な努力を積み重ねてさえくれれば**、自ずと最終合格は見えてきます。

これまで、多くの受験生がTACを活用して最終合格を勝ち取ってきました。次は、あなたの番です。

• 重要科目を把握 & 広く浅くを意識して学習する

公務員試験は、対策すべき試験種目や試験科目が多いため、すべての科目を完璧にすることは難しいといえます。そこで大切なことは、**志望先の出題科目を把握し、さらに科目ごとの出題数を把握**することで、全科目を全力で学習するのではなく、重要度に応じて**メリハリを付けて学習**することです。公務員試験に最終合格するために必要な点数の目安は、**教養試験が6割程度、専門試験が7割程度**であり、満点は求められていません。この特徴を意識しながら、重要科目を中心に広く浅く学習していきましょう。

• 講義はカリキュラム通りに受講する

TACの講義は、科目ごとに適正な順番で学習ができるようにカリキュラムが設計されています。毎回の講義は前回の内容を踏まえて解説を進めますので、**講義の順番はカリキュラム通りに受講**してください。

ビデオブース講座や通信講座で学習されている方は、教室講座の講義日程をベースにして、自分なりに学習スケジュールを立て、着実に学習を進めるようにすると効率的です。

• 学習の優先順位を守る

科目数が多くどの科目を優先的に学習するべきか悩むところですが、公務員試験の重要科目は科目ごとの出題数や配点比率に応じて決まります。特に学習計画を立てる際や問題演習をする際は、**<優先順位①>基本講義の科目、<優先順位②>選択講義・一般知識分野などを基本**としながら、志望先の出題科目と科目ごとの出題数に応じて、自分なりにカスタマイズしていきましょう。

• 講義はできる限り休まない & 休んだ場合はフォロー制度を活用する

学生生活や仕事などと両立しながら学習する受験生にとって、すべての講義に出席することは難しい場合があります。まずは講義をできる限り休まないことを意識しながら、**欠席した場合はクラス振替出席フォロー**などを活用して、次の講義までに欠席した講義を受講するようにしてください。

• あきらめるのではなく、工夫する

受験生活を過ごしていると、学習時間が確保できない、どうしてもこの科目が理解できないなどの状況が生じ、受験自体をあきらめたり進路変更を検討し始めたりする受講生が一定数生じてきますが、少し考えてみてください。そういった状況が生じているのは、あなただけとは限りませんし、合格者たちはその現状を把握し、**どうしたらこの状況を改善することができるかを考え、自分なりの工夫**をして乗り越え、見事に最終合格を勝ち取っています。

その工夫は立派なものや到底真似できないものばかりではありません。あなたにもできるちょっとした工夫だったりもします。正しい方法で努力を継続し、またちょっとした工夫をしながら、受験生活を乗り越えていきましょう。

各科目の学習で使用する教材

- Vテキスト

TAC講師陣の講義で効率的かつ効果的に問題を解くために必要な知識をINPUT&復習をした後は、カラーのイラスト・資料・図解を用いた解説が充実しているVテキストを読み、必要な知識を補完してください。

Vテキストは、講義受講後の参考書として有効なツールです。



- V問題集

V問題集（通称：V問）は、主に過去問の中から頻出テーマを中心に良問を集めたTACオリジナルの問題集です。V問は、各講義の復習時に必ず各回の該当範囲の問題を、難易度と頻出度のランクを参考にしながら解いてください。

V問題集を繰り返し解き、基本～標準レベルの問題を解けるようになれば、合格レベルに達することができますので、講義後の復習時はもちろん、その後も本試験まで計画的に何度も問題を解いて、V問に掲載されている問題を確実に解ける力を身に付けてください。また、V問には必要十分な問題数を掲載していますので、他の問題集に手を出す必要はありません。



- 講義ノート

TACの講義は、講義ノートを中心に必要な知識を解説します。講義を受講する際は、板書や講師の解説を講義ノートに書き込んだりマーカーで重要ポイントを色付けしたりすることで、講義後の復習や疑問点解消の際にひと目でわかるようにしていきましょう。情報が一元化された講義ノートを見れば必要な情報が全て振り返れるため、直前期の学習を効率化できます。



- 基本演習

基本演習は、科目ごとの到達度確認テストです。講義の前半で問題を解き、後半は問題の解説を行います。また、演習の成績処理した結果を、詳細な『個人別成績表』として返却します（TAC WEB SCHOOLのマイページに掲載）。演習の点数・順位・問題ごとの正答率などに着目して、ご自身の苦手分野を分析したうえで、その後の学習計画や学習自体に活かしていきましょう。

また、基本講義の各科目は、基本演習を目標にある程度完成させ、必ず基本演習を講義日程に沿って受験するようにしましょう。



※上記は、各科目の学習時に使用する教材の紹介となります。論文対策、専門記述対策、面接対策については、別途、専用の教材があります。

学習の進め方（各科目の学習）

① オリエンテーションを受講する

オリエンテーションでは、公務員試験全般の解説はもちろん、これから本試験までの学習の進め方(学習する科目の順番など)についても、詳しく解説いたします。公務員試験は、学習すべき科目数が多いため、正しい学習方法で効率的&効果的な学習が不可欠です。

学習開始前に、必ずオリエンテーションを受講して、これから本試験までの正しい学習法を身に付けてください。



② 講義を受講する【INPUT】

TACの講義は、予習不要です。まずは、各科目の必要な知識をINPUTするため、講義を受講してください。講義は、主に講義ノートを使用して進めます。講義において重要なポイントや講師の解説などは、講義ノートにどんどん書き込みしたりマーカーで色をつけたりしながら、自分だけのオリジナル教材にしていってください。

※使用教材については、各講師の指示に従ってください。



③ 講義の復習をする【OUTPUT】

TACの講義は予習不要ですが、復習は絶対です！各回の講義の復習は、必ず次回の講義前までに完了させるように心がけてください。

講義を受講したら、なるべく記憶が鮮明なうちにテキストや講義ノートを読み返し、該当範囲の例題や基本問題などを解いて、講義内容を確認するとともに、理解度を確認しましょう。V問題集の各問題には、A～Cの3段階で問題の難易度と頻出度を示してありますので、問題を解く際の参考にしてください。



○ 講師に質問する【質問コーナー】

講義の前後はもちろん、講義以外にも講師に直接質問できる『質問コーナー』や『質問メール』を設けています。学習上の疑問点などは、早めに解決することが大切です。各科目の学習において疑問点が生じたら、どんどん質問コーナーや質問メールを使って、解消してください。

※質問コーナー及び質問メールの利用方法は、受講ガイドを参照してください。



○ 講義を欠席したら【欠席フォロー】

講義を欠席した際は、クラス振替出席フォローやWebフォロー・ビデオブース振替フォロー(有料)を利用して、次の講義までに欠席回の講義を必ず受講してください。



○ 基本講義は何度でも受講OK！(本科生)

基本講義と面接対策講義は、日程上可能であれば何度でも講義を受講することができます(クラス重複出席フォロー)。特に基本講義の科目は合否を分ける重要科目です。繰り返しの学習で、理解度を深めてください。

新宿校 4月入学(夜中心クラス)			池袋校 8月入学		
日程	講義名		日程	講義名	
4月 14(木) 夜	ミクロ経済学①		8月 5(金) 夜	数的地理①	復習
18(月) 夜	憲法①		18(木) 夜	ミクロ経済学②	
19(火) 夜	数的地理②		22(月) 昼	憲法②	
21(木) 夜	ミクロ経済学③		23(火) 昼	文章理解①	
25(月) 夜	憲法②		23(火) 夜	数的地理②	復習
26(火) 夜	数的地理③		25(木) 昼	憲法③	

2 筆記試験対策

教養科目対策（行政事務職／技術職）

⑧ 一般知能分野

＜数的処理＞

数的推理	数的推理は、数学より算数のイメージを持っておくとよいでしょう。しかし、単に方程式を解けというのではなく、文章を読み込み、そこから方程式を作っていくことが求められ、この部分に多くの時間を割いて学習していかなければなりません。また、やや数学的な内容として、場合の数、確率、図形などの内容も出題されます。特に、確率、図形は、いろいろな試験種で、少なくとも1題ずつは出題されているのが現状です。
判断推理	判断推理は、言葉のパズルというイメージを持っておくとよいでしょう。複数の条件を組立てて、確実にいえることを判断していきます。具体的には、命題、対応、順序、位置などが挙げられます。また、複数人の発言をもとに嘘を言っている人を決めるなどの嘘つき問題なども有名です。一方で、集合や数量推理のような数値を伴う問題もあります。
空間把握	空間把握は、図形の問題です。長さ、面積などを求めるケースもありますが、多くは、図形の形状、見え方、個数などと求める内容は単純です。しかし、見えていない部分を判断することや実際に折ったり、切ったりする操作が伴い、平面上での確認は難しいです。想像で解けるなら一番よいのですが、なかなかそうはいかない問題が多く、そのために、他の分野以上に、解き方には様々なテクニックが必要となります。
資料解釈	資料解釈は、統計資料を読み、数値計算をすることで正解肢を見つけていく問題です。数値の判断は、殆どが、「大小を比べる」、「ある値を超えるか超えないか」であり、正確な計算よりは、大まかに計算して判断することが求められます。資料の種類もさまざまあり、実数、指数、総量と構成比、増加率などを扱ったものがあり、さまざまな資料に対応しておく必要があります。

＜文章理解＞

現代文	現代文は、600字～1200字程度の文章の読解に関する問題が出題されます。一般的な長文読解に加えて、空欄補充や文章整序なども出題されます。出題数が多いので、まとまった文章を2～3分で正確にいくつも読みこなす力を養うことが重要です。そのためにはなるべく多くの問題を解き、文章を読むことに慣れましょう。一度解いたことのある問題を2～3回繰り返して解くことも効果的です。
英文	英文は、200語～500語程度の英文の読解問題が中心に出題されます。難しい単語や細かな文法にはこだわらず、文章全体の流れや、選択肢と関わる本文の箇所の内容をしっかりと読めるようにしましょう。大学入試初級～中級の単語をマスターすることを目標とするとよいです。英語が苦手な人は、短い本文の問題から少しずつ始めて基礎力を身につけてから、長い本文の問題に挑戦するとよいでしょう。

⑨ 一般知識分野

人文科学	科目ごとの出題数はそれほど多くはありませんが、一般知識分野の中で最も学習範囲が広い分野ですので、頻出テーマに絞り込んだ効率的な学習を心がける必要があります。暗記科目ではありますが、ストーリーを意識しながら学習することをおすすめします。また、世界史と日本史の知識が政治系科目と関連しているため、学習することで相乗効果が期待できます。
自然科学	文系の受講生を中心に苦手意識を持ちやすい科目ですが、頻出テーマを薄く広く学習すること、また、暗記科目である化学・生物・地学など、知識だけで解ける科目は力を入れて学習するなどの工夫しながら学習することをおすすめします。

社会科学	<p>専門科目の法律系・経済系・政治系の基本的な知識が問われるのが、社会科学です。したがって、専門試験の学習をすることで、教養（基礎能力）試験の社会科学の問題にも十分に対応できるといえますので、専門科目の学習をしっかりと学習することをおすすめします。</p> <p>なお、専門科目が含まれていない本科生の場合は、教養試験の科目の中でも出題数の多い分野ですので、力を入れて学習しておくことをおすすめします。</p>
時事	<p>主に本試験の1年前～直前までに話題になったニュースや白書を元にした問題が、択一試験はもちろん論文試験、面接試験および集団討論でも問われます。講義自体は受験年の3月以降に実施しますが、普段から新聞やニュースに興味を持ち、話題になっている社会問題などに触れておくと、効率的に学習を進めることができます。</p>

専門科目対策（行政事務職）

④法律系科目

憲法	<p>憲法は、国家権力のルールを定めています。そして、①人権と②統治（政治システム）から出題されます。出題数は、およそ半々です。出題内容は、①人権では最高裁判例、②統治（政治システム）では憲法の条文からの出題が中心です。憲法は、政治経済等でなじみのある科目であり、とっつきやすい科目です。分量も、民法や行政法に比べると少なく済みます。また、過去問が繰り返し出題されていますので、過去問演習をしっかりとこなせば、高得点が期待できます。合格者にとって憲法は得意科目にしてあたり前といっても過言ではありません。是非、得意科目にしましょう。</p>
民法	<p>民法は、市民の法として、財産と家族に関するルールを定めています。そして、①財産法（総則・物権・債権）②家族法（親族・相続）から出題されます。出題数は、①財産法から8割程度、②家族法から2割程度で、①財産法が圧倒的に出題されます。出題内容としては、①条文②判例からの出題が中心となります。民法は、財産と家族に関するルールであり、日常的なものでもあり、具体的なイメージはつかみやすいといえます。しかし、1050条も条文があることが示す通り、その膨大な分量が、立ちはだかります。そのため、公務員試験の中でも、もっとも対策の難しい科目の一つといわれます。しかし、合格者も多くが不得意科目としているわけですから、悲観する必要はありません。基本的な条文・判例を中心に学習すれば十分合格ラインに達しますので、あまり瑣末な条文・判例にとらわれないようにしましょう。</p>
行政法	<p>行政法は、行政に関するルールを定めています。しかし、「行政法」という名の法律はありません。行政に関する法律全般を、行政法として学習します。そして、①組織法②作用法③救済法から出題されます。出題数は①組織法から1割程度、②作用法から4割程度、③救済法から5割程度の出題です。出題内容としては、①行政法の概念・用語②条文③判例の出題が中心です。行政法は、行政に関するルールなので、なじみの薄い法律であり、具体的なイメージがつかみにくいのが特徴です。また、行政に関する法律全般を学者が整理分類しているので、理論的な側面が強い科目でもあります。そのため、苦手にする受験生が比較的多い科目です。しかし、過去問の焼き直しが非常によく出るので、過去問をしっかりとこなせば、高得点が期待できます。過去問中心の学習で、得意科目になるよう頑張りましょう。</p>
刑法	<p>刑法は、犯罪と刑罰に関するルールです。そして、①総論：犯罪の一般的成立要件②各論：殺人罪等の個別の犯罪類型について定めています。①総論②各論からの出題数は、およそ半々です。出題内容としては、①判例②条文からの出題が中心です。刑法は、犯罪についてのルールなので、ドラマや映画等でおなじみであり、具体的なイメージはつかみやすい法律です。しかし、非常に理論的な科目であり、学説が倒錯し、さらに分量も多いため、攻略が難しい法律でもあります。そこで、理論的な問題にはあまり深入りせずに、判例・条文中心の学習で、効率的な学習を心がけましょう。</p>

労働法	労働法は、労働者と使用者（会社）に関するルールです。①個別的労働関係と②集团的労働関係から出題されます。出題数は、①個別的労働関係からの出題が比較的多いです。出題内容としては、①条文からの出題が中心で、②判例の出題もあります。労働法は、アルバイトや働いた経験があれば、具体的なイメージはつかみやすい法律です。しかも、単純記憶で解ける出題が多いので、比較的攻略しやすい科目です。マイナー科目は、捨て科目にしてしまいがちですが、しっかり得点源にすべき科目といえます。
商法	商法は、商人についてのルールです。①商法総則②会社法③手形小切手法から出題されます。出題数は、②会社法からの出題が圧倒的に多いです。出題内容としては、①条文からの出題が中心です。商法は、なじみの薄い法律でもあり、具体的なイメージをつかみづらい法律です。しかも、条文数が膨大であり、攻略の難しい科目です。マイナー科目でもありますので、あまり入れ込まずに、頻出分野に絞って学習すべき科目といえます。

㊦ 経済系科目

ミクロ・マクロ 経済学 (経済原論)	ミクロ経済学分野は生産者理論、消費者理論、市場理論、貿易論等からなり、マクロ経済学分野は、国民経済計算(統計)、財市場理論、貨幣市場理論、労働市場理論、経済成長論等から構成されています。概ね基本的な知識・理解を問うものや、定型的な計算問題が出題されているので、学習方針としては、経済用語の定義を理解することと、計算問題の繰り返し演習を行うことで解法を整理しておくことが重要となります。
財政学	財政学は、国家・地方の税財政制度の内容や時事データに関する基本的な知識・理解を問うもの、財政にまつわる諸学説・理論に関する問題が出題されます。学習方針としては、基本的な税・財政制度、時事データ、諸学説・理論を整理することが大事なのですが、むやみに内容を暗記するのではなく、時代背景やデータの趨勢(傾向)をとらえて整理するように心がけることで効率よく得点できるようになります。
経済史・経済 事情	経済史は、概ね第2次大戦以降の戦後復興期からバブル経済崩壊までの内容が出題され、国際通貨体制や為替相場制度の変遷、高度成長期の景気拡大要因、プラザ合意以降の経済・財政情勢等が頻出テーマとなっています。また、経済事情は白書等で掲載されているマクロ指標、トピック等が中心に出題されています。対策としては時代背景やデータの趨勢(傾向)をとらえて整理するように心がけることで効率よく得点できるようになります。

㊦ 政治系科目

政治学	政治学では、①各国の政治制度、②政治思想、③政治過程（選挙、政党、利益団体）などの分野が主に問題出されます。政治現象全体を対象とする学問であるため、範囲も広く覚えるべき事項が非常に多いことが特徴です。また、いわゆる政治系科目の基礎となる科目であり、教養科目の歴史や思想とも重複する部分も多くあります。したがって、勘所をつかみ、効率よく暗記を進めていくことが重要になります。
行政学	行政学とは、簡単に言えば「行政組織の運営方法」について研究する学問であり、国や地方の行政組織の実態やその理論などについて幅広く出題されます。政治学よりは暗記すべき事項は少なくなりますが、行政の最近の動向や変化について時事的な観点からの出題も多く見られるため、時事対策などと併せて学習しておくことが重要になります。
社会学	社会学では、社会学者の学説（社会学説史）と、社会変動・社会集団・家族・都市等の分野ごとの学説、社会調査法等が出題されます。学者や分野ごとの学説については人名やキーワード等をたくさん覚えることが必要になりますが、それぞれの学説の意味・理由を考えつつ、重複する部分が多い政治学・行政学・思想と併せて学習すると効率よく覚えられます。
経営学	経営学では、経営管理學説、経営組織論、経営戦略論などが出題されます。出題内容としては平易で、内容理解の難易度が高い科目ではありません。しかし、学習範囲が多岐にわたるため、薄く広いタイプの学習が必要な科目です。研究者名と内容との対応や経営用語の意義を覚えていく必要があります。

国際関係	国際関係は範囲が広く難しいとされています。近代・現代における国際政治史や、日本外交史、国際経済国際機構、条約、国際関係理論、地域紛争が主な出題範囲なので多岐に渡るように見えます。もともと様々な分野が集まった学際的な分野ですから当然なのですが、そこまで心配することはありません。まずは人文科学の知識を基礎に、国内社会とは違う国際社会の仕組みを理解することが重要です。
社会政策	社会政策は、社会問題（特に貧困問題）の解決を志向する学問であり、労働経済と社会保障に大別されます。社会学・財政学・労働法・経営学・政治学等、様々な科目と関連しているため、他の専門科目の学習後に取り組んだ方が理解しやすいです。「社会政策」という題目での出題は地方上級試験ですが、実際は様々な科目で社会政策の内容は出題されていますし、論文対策にもつながります。
社会事情	社会事情では、出題範囲が明確な経済事情・国際事情以外の時事的な内容を扱います。たとえば、司法・政治行政・科学技術・防災・エネルギー・環境・消費者・農林漁業・労働経済・社会保障・教育等です。これらの知識を網羅するのは困難ですが、勘所を押さえて学習すれば対応できることが多いですし、その出来事や数値自体を知らなくても解けるように出題されていることもあります。

㊦ 会計系科目

会計学	会計学では、会計基準に関する問題が出題されます。簿記の仕訳問題や計算問題が出題されることもあります。会計学を理解する上では、前提として、簿記3級レベルの知識が必要となります。会計学は、学習には時間がかかりますが、出題範囲が明確で、過去問と類似の問題が多いので、まじめに学習すれば比較的得点はしやすい科目といえます。
-----	---



学習の順番とメリハリ付けを大切にしよう！

専門科目は、学習すべき科目数が大変多いことから、すべての科目を完璧にすることは、限られた時間の中で合格レベルを目指す受講生にとって、事実上不可能に近いです。そこで大切なのは、学習の順番とメリハリです。例えば、法律系科目の民法は憲法のあとに、経済系科目のマクロ経済学はミクロ経済学の後に学習すると学習がしやすいなど、学習するうえでの望ましい順番が存在します。また、試験種により出題科目や科目ごとの出題数が異なりますので、特に選択講義を学習する際は、志望先での出題内容を確認のうえ、各科目の重要度に応じた学習をするように心がけましょう。

選択講義の選択方法については、ホームルーム（HR）などでもご案内予定です。

専門科目対策（福祉職などの資格免許職）

多くの資格免許職の専門試験の出題内容は、各区分で取得が求められる各資格試験の内容が重複する分野があり、各資格を取得するための受験対策をそのまま公務員試験の専門試験対策として活かすことができます。

すべての自治体ではありませんが、各自治体HPの職員採用案内ページに、過去の例題が掲載されていますので、志望先については事前に確認し、学習計画を立てることをおすすめします。

④ 土木職本科生

工学の基礎	基本講義	数学 物理	6回 6回
	基本演習	数学 物理	2回 2回
土木職区分	専門講義	構造力学	8回
		土質力学	7回
		水理学	8回
		測量、土木材料、設計・施工	4回
		都市・国土計画	4回
		環境・衛生工学	3回
	専門演習	土木職	6回
	専門記述	土木職	3回

土木区分は、**構造力学・土質力学・水理学の本試験における出題数が比較的多い**ようです。これらの知識および計算をしっかりと学ぶことが得点源となります。他の科目の出題範囲は広く、これらの知識および計算をしっかりと学ぶことが得点源となります。また、**社会的背景や法改正が出題に影響**するので、覚えるポイントを絞りながら時間をより有効に使いましょう。都市・国土計画では、白書や自治体の施策（マスタープラン）も参考になります。講義内容を復習し、演習で弱点確認を行いながら、より確実に得点力を養います。

④ 建築職本科生

工学の基礎	基本講義	数学 物理	6回 6回
	基本演習	数学 物理	2回 2回
建築職区分	専門講義	構造力学	5回
		構造一般	4回
		建築施工	3回
		計画原論・設備	3回
		建築計画・建築史	3回
		法規・都市計画	6回
		専門演習	建築職
	専門記述	建築職	1回
	設計製図	建築職	1回

計算問題は、**構造計算と建築基準法**について多く出題されます。構造計算は、曲げモーメントやトラス、断面の性質、**屈座、たわみ**などの基本について数式や基本公式をつかう問題が頻出です。また、問題数自体は多くありませんが、建築基準法の計算問題についても出題があるので、問題演習を通じて正確な計算力を養いましょう。

計画（計画原論）は建築環境に関して幅広く出題されます。建築史と都市計画理論は、基礎的な内容を確認する知識問題が非常に多いことが特徴です。いずれの分野も、**1つの用語に対する説明をいくつかのキーワードに分け、定義を学習し、さらに内容を100字程度にまとめる練習**をすれば、専門記述試験だけでなく専門択一試験にも役立ちます。

建築計画、施工、材料は実務に即した範囲から広く出題されます。多くの知識が必要となりますので、用語の定義や材料の説明を正しく理解し、具体的な説明内容を自分でまとめられるようにしましょう。都市計画法・法規は専門知識と共に、試験時に法令集を参照できないため、判断に迷う問題が多いと思います。学習量がすぐに得点に反映される分野ではありませんので、知識の地道な積み立てと理解が必要です。建築士試験用の用語集をサブテキストとして利用するのも良いでしょう。

なお、国家一般職（大卒）における製図の問題は建築士試験と異なり、試験当日に内容が提示、フリーハンドでの製図となります。

㊦ 機械職本科生

工学の基礎	基本講義	数学 物理	6回 6回
	基本演習	数学 物理	2回 2回
機械職区分	専門講義	材料力学	3回
		機械力学	3回
		流体力学	3回
		熱力学	3回
機械区分知識		2回	
	専門演習	機械職	2回
	専門記述	機械職	1回

機械区分は、材料力学・機械力学・流体力学・熱力学(伝熱工学を含む)からまんべんなく出題され、そのほとんどは計算問題です。さらに、機械区分(特に専門択一試験)の出題科目は、「工学の基礎」で学ぶ力学と関連します。機械区分の問題演習と工学の基礎の演習・復習をしっかりと行い、相互に得点力をつけることは、機械区分対策として有効です。

材料力学では(引張およびせん断)応力とひずみエネルギー、梁のたわみの基本を理解し、問題演習を通じて正確な計算力を鍛えましょう。機械力学は高校物理の内容を多く含むので、自然科学(物理)の問題を通じた高校知識の復習が効果的です。流体力学は連続の式とベルヌーイの定理、流体の力、そしてレイノルズ数が4大頻出内容なので、まずこれらの解法を理解しましょう。熱力学では状態方程式、熱力学第一法則、エントロピー、そして熱流束に関する出題が多いので、これらを理解しましょう。熱力学第一法則とエントロピーは理解しにくいと感じる方もいると思いますので、講義や問題を通じてゆっくりと理解度を高めていきましょう。

機械区分の特徴として、各種熱機関サイクルの特徴やグラフ形状についての出題があります。機械区分知識は、鉄鋼・非鉄金属、工具の名称と特徴など、機械全般からの出題となり、覚える内容は多いです。講義を通じてポイントを押さえましょう。

㊦ 電気・電子・情報職本科生

工学の基礎	基本講義	数学	6回
		物理	6回
	基本演習	数学	2回
		物理	2回
電気・電子・情報職区分	専門講義	電磁気学・電気回路	7回
		電力工学	4回
		電気計測・制御	4回
		電子工学	6回
		情報・通信	6回
	専門演習	電気・電子・情報職	6回
	専門記述	電気・電子・情報職	1回

国家一般職で「電気・電子・情報」、自治体などでは一般に「電気」という名称です。「電気」でも電子工学や情報・通信などを範囲に含むので注意しましょう。多くの大学では電気または情報どちらかを専攻します。どちらが有利というものではなく、ほぼすべての受験生はどちらかが初学となるので学習スタートは同じと考えましょう。

電磁気学は出題数の多いことが特徴です。高校の電磁気学に加え、ブロック線図や複雑な電気回路、三相交流と Δ (デルタ)、Y(スター)回路の理解も必要です。電力の基礎計算、計測機器や制御工学の知識、ラプラス変換も出題されます。

電子工学ではダイオード、トランジスタや集積回路、オペアンプの計算・知識とも出題されます。

情報・通信では論理回路やアルゴリズム、探索木、データベースやネットワークといった、情報処理資格試験と類似した内容が出題されます。資格保持者は学習に余裕が持てるかもしれませんが、初学者は資格試験を狙ってもよいでしょう。

㊦ 化学職本科生

工学の基礎	基本講義	数学	6回
		物理	6回
	基本演習	数学	2回
		物理	2回
化学職区分	専門講義	物理化学	6回
		有機化学	7回
		無機化学	4回
		化学工学	4回
		分析化学	4回
		生物化学	3回
	専門演習	化学職	6回
	専門記述	化学職	1回

化学区分は、基本となる有機・無機・物理化学をまずしっかりと学習しましょう。この3科目は、他の科目より若干出題数が多いことが特徴であり、重要分野といえます。また、化学工学は工業化学の内容を含み、一般的な化合物等の工業的製法（ハーバー・ボッシュ法、ソルベー法）や蒸留などを学ぶ（復習する）ことが得点源につながります。大学等で分析化学や生物化学を学んでいない方もいると思いますが、新たに学ぶ分野と考えてしっかり学習

しましょう。「同じ境遇の受験生は他にもたくさんいる」と考えた上でしっかりと学べば、総合点の向上にとっても役立ちます。

高校化学を基本とする部分が比較的多いので、心配な方は高校化学の復習と並行して講義を受け、演習に臨みましょう。高校化学の教科書をもう一度開いてみることも有効です。

一般に、化学区分では「工学の基礎」が「数学・物理」という名称になります。問題内容は工学の基礎と同じなので、そちらの復習も怠らないように（本試験における出題数は9問前後と、他の工学系区分よりも少なくなります）。

記述試験対策

● 論文対策(行政事務職／技術職)

① 論文対策講義を受講する

択一試験対策同様に、論文試験対策の最初の一步は、講義からです。まずは、3回の講義で文章の書き方、答案構成の練り方、頻出&出題予想テーマなどを学んでください。



② 論文を書き答案添削を受ける

講義を受講したら、実際に自分の手を動かし論文を書き、答案添削を受けてください。論文がうまく書けているかどうかは、誰かに見てもらわないとわかりませんので論文を書いたらその都度、答案添削を受けましょう。



③ 添削の評価やアドバイス・指摘を参考に書き直す

提出した答案は、後日総合評価（A～Eの5段階）とアドバイスが書かれた状態で返却されます。各テーマについて、安定的にC以上の評価が得られる力を付けることを目標に取り組み、自分なりの型(論文の書き方)を構築していきましょう。

● 専門記述対策(行政事務職)

① 基本講義・選択講義を受講する

専門記述対策の各講義は、各科目の択一試験対策を終えていることを前提とした講義ですので、専門記述の講義を受講する前に、ひととおりの学習を終えてください。

② 専門記述対策講義を受講する

専門記述対策講義では、出題予想テーマやテーマごとの答案構成や必要なキーワードなどを解説します。

③ 答案を書き、添削を受ける

論文試験同様に、専門記述の答案についても本科生は何度でも答案添削を受けられます。出題が予想されるテーマは答案添削を受けたり答案構成をストックしたりすることで、答案作成力を養成していきましょう。

● 専門記述対策(技術職)

① 専門講義を受講する

専門記述対策の各講義は、各科目の択一試験対策を終えていることを前提とした講義ですので、専門記述の講義を受講する前に、ひととおりの学習を終えてください。

②本試験問題の形式を理解する。

専門記述試験には2つの形式があります。

《専門記述試験①》問題を解く試験

専門記述試験を課す多くの国家および地方公務員試験は、この形をとります。内容は大きく、(i) 計算問題、(ii) 語句説明問題、(iii) 語句選択問題の3つに分かれます。

なお、専門択一試験の有無は試験種によって異なり、「工学の基礎」を専門択一試験で扱い、区分ごとの専門分野を記述試験にする型があります。

《専門記述試験②》自分の意見を文章にまとめる試験

(1) 国家一般職（大卒）

形式は（教養）論文にとっても似ていますが、それぞれの区分でテーマは異なります。

(2) 労働基準監督官B

専門は択一試験と記述試験があり、専門択一試験は「工学の基礎」からの出題です。専門記述試験は区分ごとの問題（問題は当日選択できます）に加え、工業事情・労働事情などの労働状況に関するテーマが必須科目として出題されます。

(3) その他

自治体によっては、区分によらず技術職で共通のテーマを用いる場合があります。また、東京都や特別区では行政・事務職と同じテーマを用いた論文試験が課されます（2020年現在）。

計算、語句説明、空欄補充とも、《白紙部分は採点対象とならない》ことを考え、不安に思っても、**白紙部分を作らずに、何かしら語句・文章を記載することが大切です。**また、語句説明では上記のように、《その区分の受験生の多くが知らない語句》があるかもしれませんが、事前の対策は困難となりますし、**特段に有効な対策方法もないに等しいと考えられます。**とはいえ、合格のためには難解語句の対策も必要です。これまで学習した部分を補強したうえで、**時事用語や白書などに触れる機会**を設けましょう。

3 人物試験対策

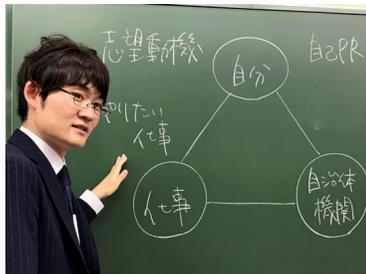
事前準備

• 面接対策講義／官庁訪問対策講義

本格的な面接対策は、面接対策講義からスタートします。公務員試験の面接試験は、主に志望理由と自己PRに関する質問が問われる一般的な就職面接ですが、決して油断はできません。まずは講義を受講して、ひととおりの面接のマナー・面接カードの書き方・よくある質問への対応方法などを学んでください。また、面接対策講義は基本講義同様にクラス重複出席フォローがご利用いただけます。

<講義内容例>

面接のマナー、自己分析のやり方、志望動機の組み立て方、面接カードの書き方、試験種ごとの傾向と対策、よくある質問への対応方法 など

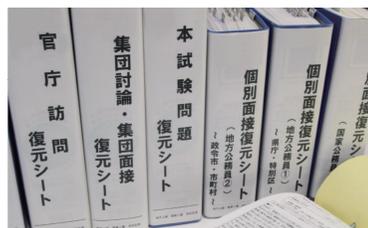


情報収集

面接復元シート／面接対策・官庁訪問対策テキスト

面接／官庁訪問対策テキストには、面接復元シートが多数掲載されていますので、想定問答を練る際に参考にしてください。

また、TACの本科生はTAC各校受付にて**面接復元シートを自由に閲覧することができます**。復元シートには、面接の質問内容、雰囲気、時間、集団討論のテーマなどが詳細に記載されています。また、復元シートは全国のTAC校舎で情報を共有していますので、どこの校舎でも全国の公務員試験の情報を見ることができます。



復元シートとは…

本試験を実際に受験されたTAC受講生から、面接の質問内容、雰囲気など、本試験に関する生の情報を集めて作成されたシート集のことです。

本試験受験後は、次はあなたが後輩のために情報をご提供ください！

(募集に関するご案内はマイページにてお知らせいたします。)

実践練習

模擬面接／模擬集団面接／模擬集団討論

講義を受講して必要な知識をINPUTした後は、繰り返しの実践練習を通じて、**面接そのものに慣れることはもちろん、ご自身の想定問答などをブラッシュアップ**しましょう。TACの本科生は、模擬面接を何度でも受けられます。また、模擬面接は面接復元シートを参考にしながら、志望先の傾向に合わせた質問で行いますので、的を射た対策ができます。

模擬面接を受ける際は、毎回自分なりのテーマ・課題を持って臨み、**面接官のアドバイスなどを1つ1つ自分のものにしていくことが大切です**。繰り返しの実践練習を通じて、合格レベルを目指して行ってください。



POINT ① まずは筆記試験対策を万全に！

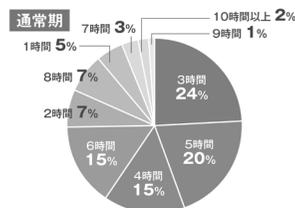
近年、人物試験の重要度が高まる傾向にありますが、ほとんどの公務員試験においては、人物試験を受験できるのは、筆記試験合格者のみです。つまり、人物試験重視とはいえ、まずは筆記試験対策を十分に講じる必要があります。もちろん、人物試験を見据えて各自治体・官公庁の説明会や採用関連イベントに参加しておくことは必要です。合格者の多くは、筆記試験対策中にある程度の情報収集はしていますが、本格的な対策は1次試験終了後から始めていますので、まずは筆記試験対策に多くの時間を費やすことをおすすめします。

合格者 DATA BOOK

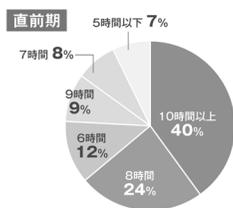
TAC合格者アンケート

2020年公務員試験合格者によるアンケートを実施しました。今後の学習にお役立てください。

Q1 1日あたりの平均学習時間はどれくらいですか？(TACの講義時間含む)



通常期の平均学習時間は3時間と答えた方が24%で1位。次いで5時間・4時間となりました。ちなみに全回答者の平均は4.6時間でした。



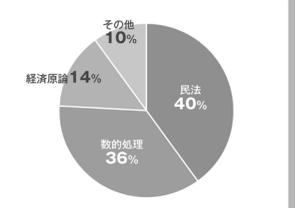
直前期になると、平均学習時間は大幅に伸び、10時間以上と答えた方が40%で半分近くを占めました。また、全回答者の平均は8.6時間で、通常期の約2倍近くとなりました。

Q2 受験回数は何回目ですか？



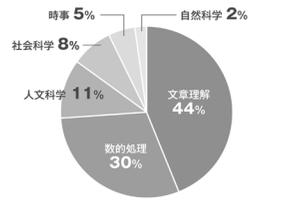
はじめての受験で合格したという方が91%となりました。予備校を活用することで、今回の受験で一発合格を目指すことが可能と言えるでしょう。

Q3 最も力を入れた科目は何ですか？



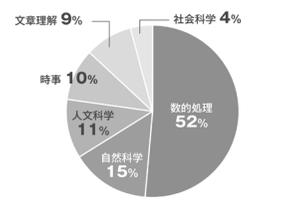
力を入れた科目は、民法・数的処理・経済原論の3科目で90%近くを占めています。これらの科目はいずれも、暗記よりも理解が重要で、予備校生と独学生とでは最も差のつく科目です。

Q4 教養試験の得意科目は何ですか？



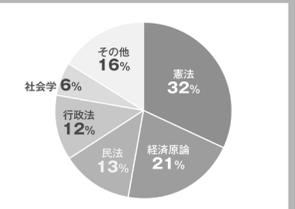
行政事務職を受験される方は文系の方が多いため、文章理解を得意科目とされる方が多いですが、苦手としやすい数的処理を日々の学習で克服して得意科目としている方も多いようです。

Q5 教養試験の不得意科目は何ですか？



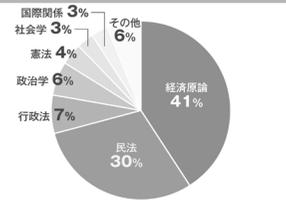
不得意科目の上位は、やはり文系の方の多くが苦手とする数的処理や自然科学といった理系分野の科目でした。つまり、この2分野を克服することが合格へのポイントとなります。

Q6 専門試験の得意科目は何ですか？



専門試験の得意科目は憲法が32%で1位、経済原論が21%で2位となりました。経済原論はTACで学習をはじめてから得意とされた方が多くいらっしゃるようです。

Q7 専門試験の不得意科目は何ですか？



専門試験の不得意科目は、経済原論が41%で1位、民法が30%で2位、以下行政法と続きます。いずれも重要な科目ですので、ぜひ克服していただきたいところです。

アンケート対象者
TAC公務員講座本科生
2020年度公務員試験 合格者
アンケート回答者数
213名
※アンケートの数値は小数点以下を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合がございます。



第4章

公務員試験の実施日程・実施状況

試験日程一覧（令和2年度）

・ 地方上級（都道府県）

自治体名	試験区分	分野など	受験申込 ※主にインターネット	1次試験		2次試験以降	最終合格 発表
				実施日	合格発表		
北海道	一般行政A(第1回)	—	3/25(水)~4/3(金)	6/28(日)	7/15(水)	7月下旬~8月上旬	8月下旬
青森県	行政 政	—	5/ 8(金)~5/27(水)	6/28(日)	7/ 7(火)	7/20(月)~30(木)	8月中旬
岩手県	一般行政A	—	5/ 7(木)~5/22(金)	6/28(日)	7/ 3(金)	7/ 9(木)~8/ 7(金)	8/18(火)
宮城県	行政 政	—	5/8(金)~5/29(金)	6/28(日)	7/ 9(木)	7/27(月)~8/5(水)	8月下旬
秋田県	行政 A	—	5/12(火)~5/25(月)	6/28(日)	7月上旬	7/14(火)~8月上旬	8月下旬
山形県	行政 政	—	5/15(金)~6/4(木)	6/28(日)	7/ 6(月)	7/11(土)~8/ 4(火)	8月中旬
福島県	行政事務	—	4/16(木)~5/22(金)	6/28(日)	7/ 7(火)	7/15(水)~8/ 7(金)	8/19(水)
茨城県	事務(知事部局等)	—	5/14(木)~5/29(金)	6/28(日)	7/ 7(火)	7/15(水)~8/24(月)	9/ 1(火)
栃木県	行政 政	—	4/24(金)~5/15(金)	6/28(日)	7/ 7(火)	7/15(水)~7/23(木)	8/20(木)
群馬県	行政事務	—	5/14(木)~5/28(木)	6/28(日)	7/10(金)	7/20(月)~8/26(水)	9/ 4(金)
埼玉県	一般行政	—	5/ 8(金)~5/21(木)	6/28(日)	7/ 7(火)	7/14(火)~8/21(金)	9/ 1(火)
千葉県	一般行政A・B	—	5/19(火)~6/2(火)	6/28(日)	7/ 8(水)	7/20(月)~8/26(水)	9月上旬
東京都	I 類 B	一般方式	6/ 2(火)~6/ 9(火)	7/26(日)	8/27(木)	9/15(水)~10/2(金)	10/22(木)
		新方式	6/ 2(火)~6/ 9(火)	7/26(日)	8/21(金)	9/ 1(火)~10/7(水)	10/21(水)
神奈川県	行政 I	—	4/27(月)~5/11(月)	6/28(日)	7/ 8(水)	7/13(月)~8/25(火)	9/ 4(金)
新潟県	一般行政	—	5/12(火)~6/ 1(月)	6/28(日)	7/ 8(水)	7/15(水)~8/ 5(水)	8月中旬
富山県	総合行政	—	5/20(水)~6/ 2(火)	6/28(日)	7/ 7(火)	7/17(金)~8/ 7(金)	8/21(金)
石川県	行政 政	—	5/20(水)~6/ 8(月)	6/28(日)	7月下旬	7月下旬~8月上旬	8月下旬
福井県	行政 政	—	5/15(金)~6/ 2(火)	6/28(日)	7/ 9(木)	7/25(土)~7/30(木)	8月中旬
山梨県	行政 I 行政	—	5/13(火)~6/ 1(月)	6/28(日)	7/ 3(金)	7/12(日)~8/13(木)	8/28(金)
長野県	行政 A	—	5/ 7(木)~5/29(金)	6/28(日)	7/ 7(火)	7月中旬~8月上旬	8月下旬
岐阜県	行政 I	—	4/24(金)~5/15(金)	6/28(日)	7/ 7(火)	7月中旬~8月上旬	8月下旬
静岡県	行政(従来型)	—	5/15(金)~5/29(金)	6/28(日)	7/ 9(木)	7/20(月)~8/18(火)	8月下旬
愛知県	行政 I	—	4/22(水)~5/25(月)	6/28(日)	7/10(金)	7/18(土)~8/ 3(月)	8/17(月)
三重県	行政 I	—	5/15(金)~6/ 8(月)	6/28(日)	7/15(水)	7/23(木)~8/10(月)	8/17(月)
滋賀県	行政 政	専門試験型	5/18(月)~6/ 8(月)	6/28(日) 7月中旬	7月中旬	7月下旬~8月上旬	8月中旬
京都府	行政 I A	総合政策	—	—	—	—	—
		法律 経 済	5/11(月)~6/ 1(月)	6/28(日)	7/22(水)	7/30(木)~8/ 9(日)	8/18(火)
大阪府	行政 2.2-2.5	—	4/ 1(水)~4/20(月)	6/28(日)	7/13(月)	7/25(土)~8/23(日)	9/16(水)
兵庫県	行政 A	—	5/11(月)~5/27(水)	6/28(日)	7/ 3(金)	7/ 9(木)~8/21(金)	8/31(月)
奈良県	行政 A	—	5/14(木)~6/ 1(月)	6/28(日)	7/21(火)	7/30(木)~8/16(日)	8/21(金)
和歌山県	一般行政職(通常枠)	通常枠	4/21(火)~5/22(金)	6/28(日)	7/10(金)	7/21(火)~8/28(金)	9/ 4(金)
鳥取県	事務(一般コース)	—	4/30(木)~5/25(月)	6/28(日)	7/ 9(木)	8/ 4(火)~8/30(日)	9/ 4(金)
島根県	行政 A	—	5/ 1(金)~5/27(水)	6/28(日)	7/22(水)	8/ 1(土)~8/ 7(金)	8月下旬
岡山県	行政 政	—	4/24(金)~5/22(金)	6/28(日)	7/ 8(水)	7/21(火)~8/25(火)	8/31(月)
広島県	一般事務 A	行政	—	—	—	—	—
		法律 経 済	5/19(火)~6/10(水)	6/28(日)	7/10(金)	7/21(火)~8/12(水)	8/17(月)
山口県	行政 政	—	5/15(金)~5/29(金)	6/28(日)	7/ 9(木)	7/25(土)~8/ 4(火)	8月下旬
徳島県	行政事務	—	5/15(金)~6/ 2(火)	6/28(日)	7月上旬	7/16(木)~8/ 5(水)	8月中旬
香川県	一般行政事務	—	5/21(木)~6/ 5(金)	6/28(日)	7/10(金)	7月中旬~8月中旬	8月中下旬
愛媛県	行政事務 A	—	5/18(月)~6/ 5(金)	6/28(日)	7月上旬	7月中旬~8月上旬	8月中旬
高知県	行政 政	—	4/10(金)~5/22(金)	6/28(日)	7月上旬	7/19(日)~8/ 9(日)	8月中旬
福岡県	行政 政	—	5/11(月)~5/19(火)	6/28(日)	7月上旬	7月中旬~7月下旬	8月中旬
佐賀県	行政 政	—	5/11(月)~5/29(金)	6/28(日)	7/ 8(水)	7/15(水)~7/24(金)	8月上旬
長崎県	行政 政	—	5/11(月)~5/29(金)	6/28(日)	7/ 6(月)	7月中旬~8月上旬	8月下旬
熊本県	行政 政	—	4/30(木)~5/17(日)	6/28(日)	7/ 3(金)	7/13(月)~8/6(木)	8月中旬
大分県	行政 政	—	5/11(月)~5/29(金)	6/28(日)	7/ 7(火)	7/15(水)~8月上旬	8月下旬
宮崎県	一般行政	—	5/11(月)~5/29(金)	6/28(日)	7/ 6(月)	7/13(月)~8/ 6(木)	8/17(月)
鹿児島県	行政 政	—	5/11(月)~5/25(月)	6/28(日)	7/ 7(火)	7/21(火)~8/ 6(木)	8月下旬
沖縄県	行政 I	—	5/11(月)~5/20(水)	6/28(日)	7/ 8(水)	7月中旬~8月上旬	8月中旬

• 地方公務員(政令指定都市・特別区)

自治体名	試験区分	分野	受験申込 ※主にインターネット	1次試験		2次試験以降	最終合格 発表表
				実施日	合格発表		
札幌市	一般事務	行政コース	4/28(火)~5/15(金)	6/28(日)	7/17(金)	7月上旬~8月上旬	8月中旬
仙台市	事務	-	4/22(水)~5/19(火)	6/28(日)	7/17(金)	7/30(木)~8月下旬	9/2(水)
さいたま市	行政事務	-	5/7(木)~5/20(水)	6/28(日)	7/7(火)	7月中旬~8月中旬	8月下旬
千葉市	事務	-	5/18(月)~6/1(月)	6/28(日)	7/17(金)	7/28(火)~8/28(金)	8月下旬~9月上旬
特別区	I類(一般方式)	事務	3/19(木)~5/1(金)	7/26(日)	10/8(木)	11/2(月)~11/9(月)	11/20(金)
横浜市	事務	-	4/15(水)~5/13(水)	6/28(日)	7/14(火)	7/19(日)~8/20(木)	8/28(金)
川崎市	行政事務	-	4/15(水)~5/22(金)	6/28(日)	7/27(月)	7/31(金)~8/20(木)	8/27(木)
相模原市	行政	-	4/15(水)~5/13(水)	6/28(日)	7/2(木)	7/11(土)~8月中旬	8/25(火)
新潟市	一般行政A・B	-	4/27(月)~5/15(金)	6/28(日)	7/8(水)	7/14(火)~8/20(木)	8/28(金)
静岡市	事務A・B	-	5/7(木)~5/26(火)	6/28(日)	7/28(火)	8/1(土)~8/28(金)	9月上旬
浜松市	行政A	-	5/7(木)~5/29(金)	6/28(日)	7月上旬	7月中旬~8月下旬	9月上旬
名古屋市	事務	行政一般	4/30(木)~5/18(月)	6/28(日)	7/8(水)	7/16(木)~8/15(土)	8/25(火)
		法律 経済 行政					
京都市	一般事務職	行政(一般方式)	5/14(木)~6/1(月)	6/28(日)	7月中旬	7月下旬~8月下旬	9月上旬
大阪市	行政22-25	-	5/15(金)~5/25(月)	6/28(日)	7/7(火)	7/27(月)~8/28(金)	9/8(火)
堺市	事務(一般枠)	-	5/11(月)~5/25(月)	6/28(日)	7月上旬	7/19(日)~8/23(日)	8月下旬
神戸市	一般行政	総合事務	4/24(金)~5/22(金)	6/28(日)	7月上旬	7/17(金)~8/20(木)	8月下旬
岡山市	事務(一般枠)	-	4/24(金)~5/15(金)	6/28(日)	7/8(水)	7月中旬~8月下旬	9月上旬~中旬
広島市	行政事務	法律	5/19(火)~6/3(水)	6/28(日)	7/3(金)	7/9(木)~8/28(金)	9/4(金)
		経済 行政					
北九州市	行政(総合)	-	5/7(木)~5/25(月)	6/28(日)	7/28(火)	8/2(日)~8/21(金)	8月下旬
		行政I					
福岡市	行政事務	行政	5/1(金)~5/19(火)	6/28(日)	7/22(水)	8月上旬~9月上旬	9月中旬
熊本市	事務職	-	4/17(金)~5/8(金)	6/28(日)	7/21(火)	6/28(日)~8/21(金)	8/28(金)

• 国家公務員・国立大学法人等

試験種	区分	受験申込 ※主にインターネット	1次試験		2次試験以降	最終合格 発表表
			実施日	合格発表		
国家総合職	大卒程度	3/27(金)~4/6(月)	7/5(日)	7/17(金)	7/26(日)~8/11(火)	8/21(金)
	大卒程度(教養)	7/31(金)~8/24(月)	10/4(日)	10/21(水)	11/17(火)~11/25(水)	12/11(金)
	院卒者	3/27(金)~4/6(月)	7/5(日)	7/17(金)	7/26(日)~8/11(火)	8/21(金)
	院卒者(法務)	21/1/20(水)~1/27(水)	21/2/7(日)	21/2/16(火)	21/2/18(木)~2/19(金)	21/2/26(金)
国家一般職(大卒)	共通	4/3(金)~4/15(水)	8/9(日)	9/2(水)	9/9(水)~9/25(金)	10/13(火)
法務省専門職員(人間科学)	-	3/27(金)~4/8(水)	8/2(日)	8/25(火)	8/31(月)~9/3(木)	10/13(火)
国税専門官	-	3/27(金)~4/8(水)	8/2(日)	8/25(火)	9/1(火)~9/14(月)	10/13(火)
財務専門官	-	3/27(金)~4/8(水)	8/2(日)	8/25(火)	8/27(木)~8/31(月)	9/25(金)
労働基準監督官	共通	3/27(金)~4/8(水)	8/2(日)	8/25(火)	9/2(水)~9/4(金)	10/13(火)
食品衛生監視員	-	3/27(金)~4/8(水)	8/2(日)	9/2(水)	9/8(火)~9/16(水)	10/13(火)
航空管制官	-	3/27(金)~4/8(水)	8/2(日)	8/25(火)	9/2(水)~10/23(金)	11/27(金)
裁判所総合職	裁判所事務官	4/1(水)~4/9(木)	8/9(日)	8/27(木)	9/5(土)~10/13(火)	10/30(金)
	家庭裁判所調査官補	追加日程	8/9(日)	8/27(木)	9/5(土)~9/25(金)	10/13(火)
裁判所一般職	大卒程度	6/22(月)~6/26(金)	8/9(日)	8/27(木)	9/7(月)~10/6(火)	10/30(金)
衆議院事務局職員	総合職	3/27(金)~4/10(金)	7/4(土)	7/10(金)	7/16(木)~8/6(木)	8月下旬
	一般職(大卒)	3/27(金)~4/10(金)	7/18(土)	7/27(月)	8/8(土)~9/11(金)	10月上旬
参議院事務局職員	総合職(大卒)	3/2(月)~4/7(火)	7/12(日)	7/16(木)	7/23(木)~8月中旬	9/30(水)
		追加日程 6/4(木)~6/19(金)				
国立国会図書館	大卒程度	3/27(金)~4/10(金)	7/19(日)	7/31(金)	8/16(日)~9/16(水)	9/30(水)
防衛省専門職	共通	4/1(水)~4/17(金)	8/2(日)	8/26(水)	8/31(月)~9/6(日)	9/16(水)
国立大学法人等	共通	5/13(水)~5/27(水)	7/5(日)	7/22(水)	2次試験以降は各法人が独自に実施	

主な公務員試験の実施状況

・ 地方公務員(都道府県)

自治体名	試験区分	分野など	採用予定数		申込者数		1次試験				最終		最終倍率	
			2020年	2019年	2020年	2019年	受験者数		合格者数		2020年	2019年	2020年	2019年
							2020年	2019年	2020年	2019年				
北海道	一般行政 A(第1回)	—	100	150	1,207	1,551	748	1,367	401	721	191	296	3.9	4.6
青森県	行 政	—	63	64	344	282	265	225	122	131	63	64	4.2	3.5
岩手県	一般行政 A	—	61	49	302	301	231	236	152	126	78	70	3.0	3.4
宮城県	行 政	—	65	55	566	553	418	415	184	157	89	65	4.7	6.4
秋田県	行 政 A	—	29	29	268	305	243	256	59	58	44	39	5.5	6.6
山形県	行 政	—	60	45	377	383	300	319	112	113	63	70	4.8	4.6
福島県	行政事務	—	70	97	591	590	418	432	147	201	94	119	4.4	3.6
茨城県	事務(知事部局等)	—	67	64	757	659	580	487	186	173	86	84	6.7	2.1
栃木県	行 政	—	40	50	354	472	269	327	122	146	75	62	3.6	5.3
群馬県	行政事務	—	85	64	536	558	435	461	213	166	106	80	4.1	5.8
埼玉県	一般行政	—	193	149	1,765	1,761	1,260	1,251	756	583	333	241	3.8	5.2
千葉県	一般行政 A	—	100	70	1,096	1,021	746	715	329	186	206	110	3.6	6.5
東京都	I 類 B	行政一般方式	265	290	3,400	3,198	1,626	2,276	776	843	352	403	4.6	5.6
		行政新方式	90	100	886	1,070	494	806	299	329	115	123	4.3	6.6
神奈川県	行 政 I	—	110	110	1,223	1,234	705	757	516	385	217	187	3.2	4.0
新潟県	一般行政	—	38	56	387	427	294	328	130	183	50	69	5.9	4.8
富山県	総合行政	—	53	49	279	295	228	244	97	93	63	60	3.6	4.1
石川県	行 政	—	46	43	301	269	213	194	75	71	58	53	3.7	3.7
福井県	行 政	—	60	45	239	219	199	174	102	90	69	54	2.9	3.2
山梨県	行政 I	—	57	50	415	421	346	364	122	102	65	98	5.3	5.2
長野県	行政 A	—	50	40	382	409	283	325	164	146	71	138	4.0	4.9
岐阜県	行政 I	—	50	65	292	301	227	232	130	150	63	80	3.6	2.9
静岡県	行政(従来型)	—	71	73	408	404	318	316	217	221	81	106	3.9	3.0
愛知県	行政 I	—	130	130	1,051	930	769	688	384	383	208	208	3.7	3.3
三重県	行政 I	—	58	44	340	305	274	247	115	101	78	63	3.5	3.9
滋賀県	行 政	専門試験型	50	55	441	400	351	305	100	112	63	71	5.6	4.3
京都府	行政 I A	総合政策	115	85	614	514	384	336	226	196	115	97	3.3	3.5
		経 済												
大阪府	行政 22-25	—	115	120	2,013	1,709	693	1,018	578	720	181	174	3.8	5.9
兵庫県	一般事務職	—	83	84	795	737	541	510	408	408	103	106	5.3	4.8
奈良県	行政 A	—	58	65	313	411	229	245	116	130	59	69	3.9	3.6
和歌山県	一般行政職(通常枠)	—	82	62	428	442	328	321	247	189	87	74	3.8	4.3
鳥取県	事務(一般コース)	—	33	20	131	154	89	108	65	58	33	29	2.7	3.7
島根県	行 政	—	56	49	149	155	118	122	97	95	57	49	2.1	2.5
岡山県	行 政	—	49	50	456	429	306	312	148	152	74	70	4.1	4.5
広島県	一般事務 A	行 政	55	78	481	474	363	352	179	229	84	113	3.1	3.1
		法 律 経 済												
山口県	行 政	—	40	40	331	256	260	197	127	143	86	75	3.0	2.6
徳島県	行政事務	—	55	56	502	501	403	408	110	103	70	66	5.8	6.2
香川県	一般行政事務	—	60	65	343	395	281	298	102	105	73	69	3.8	4.3
愛媛県	行政事務 A	—	70	71	460	521	359	391	177	179	79	76	4.5	5.1
高知県	行 政	—	50	44	247	269	187	220	100	88	50	52	3.7	4.2
福岡県	行 政	—	45	40	826	668	520	450	90	84	55	45	9.5	10.0
佐賀県	行 政	—	23	29	217	218	187	175	46	82	23	29	8.1	6.0
長崎県	行 政	—	27	18	218	191	162	143	50	36	37	22	4.4	6.5
熊本県	行 政	—	74	75	621	488	422	357	223	225	74	75	5.7	4.8
大分県	行 政	—	95	86	394	380	332	311	195	146	114	86	2.9	3.6
宮崎県	一般行政	—	39	54	228	311	170	239	104	126	60	70	2.8	3.1
鹿児島県	行 政	—	25	42	395	340	321	277	92	131	50	65	6.4	4.3
沖縄県	行 政 I	—	25	40	1,020	909	845	795	78	98	64	79	13.2	10.1

• 地方公務員(政令指定都市・特別区)

自治体名	試験区分	分野	採用予定数		申込者数		1次試験				最終合格者数		最終倍率		
							受験者数		合格者数						
			2020年	2019年	2020年	2019年	2020年	2019年	2020年	2019年	2020年	2019年	2020年	2019年	
札幌市	一般事務	行政コース	155	125	1,125	1,229	756	875	252	206	147	121	5.1	7.2	
仙台市	事務	—	90	90	729	822	623	702	126	127	98	90	6.4	7.8	
さいたま市	行政事務	A	—	100	89	958	1,149	659	864	351	318	207	149	3.2	5.8
千葉市	行政	A	—	50	50	594	489	479	392	203	174	91	81	5.3	4.8
特別区	I	類事務	906	966	14,339	13,296	8,121	11,501	4,791	4,244	1,741	2,032	4.7	5.7	
横浜市	事務	—	260	270	2,534	2,053	1,918	1,635	1,222	1,262	381	391	5.0	4.2	
川崎市	行政事務	—	120	115	1,483	1,378	901	962	361	413	209	195	4.3	4.9	
相模原市	行政	—	76	98	936	815	632	577	328	342	70	107	9.0	5.4	
新潟市	一般行政	A	—	12	20	264	307	175	197	92	120	13	21	13.5	9.4
	一般行政	B	—	3	5	73	101	60	66	21	42	2	4	30.0	16.5
静岡市	事務	A	—	80	90	488	537	389	432	132	149	73	84	5.3	5.1
	事務	B	—	—	—	42	33	29	27	11	11	6	5	4.8	5.4
浜松市	行政	行政 A	55	36	195	177	145	133	93	89	50	34	2.9	3.9	
	事務	行政一般	100	110	994	1,035	623	713	306	335	125	112	5.0	6.4	
		法律	50	55	330	356	232	264	149	177	78	72	3.0	3.7	
名古屋市	事務	経済	50	55	224	224	178	172	157	146	78	62	2.3	2.8	
		行政(一般方式)	100	100	647	672	506	563	232	248	93	84	5.4	6.7	
		—	240	130	1,176	1,321	734	822	403	389	282	150	2.6	5.5	
京都市	一般事務職	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
大阪市	行政 22-25	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
堺市	事務(一般枠)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
神戸市	一般行政	総合事務	75	80	642	582	504	460	351	364	105	102	4.8	4.5	
岡山市	事務(一般枠)	—	38	40	338	256	193	193	115	117	44	41	4.4	4.7	
広島市	行政事務	法律	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		経済行政	70	100	660	673	488	542	210	303	93	136	5.2	4.0	
北九州市	行政(総合)	—	22	20	292	254	187	176	33	30	26	23	7.2	7.7	
	行政 I	—	15	10	151	138	118	103	23	16	17	12	6.9	8.6	
福岡市	行政事務	行政	60	40	773	606	471	366	194	77	70	45	6.7	8.1	
熊本市	事務職	—	44	80	627	576	365	391	89	120	44	80	8.3	4.9	

※神戸市：2019年の数値は、一般行政の法律・経済・経営・国際関係の合計値です。

• 国家一般職(大卒)

区分	採用予定数		申込者数		1次試験				最終合格者数		最終倍率		
					受験者数		合格者数						
	2020年	2019年	2020年	2019年	2020年	2019年	2020年	2019年	2020年	2019年	2020年	2019年	
行 ※本府省:560名	北海道	200	180	1,035	1,074	656	848	535	581	314	393	2.1	2.2
	東北	200	180	1,652	1,634	1,023	1,275	645	693	325	473	3.1	2.7
	関東甲信越	680	670	9,382	10,146	5,378	7,212	2,310	2,565	1,572	1,792	3.4	4.0
	東海北陸	300	300	2,761	2,655	1,761	2,177	939	1,135	518	770	3.4	2.8
	近畿	320	370	3,265	3,442	1,966	2,624	948	873	566	641	3.5	4.1
	中国	220	220	1,500	1,535	938	1,235	716	629	480	486	2.0	2.5
	四国	90	90	1,020	1,049	633	843	430	353	248	231	2.6	3.6
九州	300	300	2,821	2,784	1,776	2,225	933	944	605	689	2.9	3.2	
沖縄	110	100	744	769	492	600	209	252	143	200	3.4	3.0	
電気・電子・情報	250	240	427	482	240	329	203	280	136	213	1.8	1.5	
機械	110	120	293	301	182	203	160	172	106	135	1.7	1.5	
土木	320	240	1,200	1,408	709	115	624	881	306	622	2.3	1.8	
建築	80	70	201	244	99	162	95	128	46	89	2.2	1.8	
物理	150	150	303	328	204	230	180	198	129	156	1.6	1.5	
化学	70	70	557	584	304	373	271	263	177	176	1.7	2.1	
農学	100	90	766	804	437	609	361	367	190	234	2.3	2.6	
農業農村工学	40	40	206	256	125	208	121	191	46	116	2.7	1.8	
林学	80	70	388	398	245	321	237	273	124	189	2.0	1.7	

※行政区分における本府省への採用については、行政関東甲信越地域からの採用が中心となりますが、全国から有為の人材を確保できるようにするという観点から、それ以外の地域からも採用が可能となっています。

● 国家総合職(大卒程度)

区分		採用予定数		申込者数		1次試験				最終		最終倍率	
						受験者数		合格者数		合格者数			
						2020年	2019年	2020年	2019年	2020年	2019年		
法文系	政治・国際	40	30	1,101	1,166	413	852	211	160	125	86	3.3	9.9
	法律	155	160	8,882	8,956	3,466	7,614	885	965	401	449	8.6	17.0
	経済	60	60	1,641	1,778	631	1,438	332	345	141	168	4.5	8.6
	人間科学	10	15	388	435	195	336	61	73	32	39	6.1	8.6
理工系	工学	75	70	1,386	1,521	773	1,212	426	386	292	199	2.6	6.1
	数理学・物理・地球科学	10	10	208	209	127	170	53	44	28	21	4.5	8.1
	化学・生物・薬学	15	15	463	473	264	358	58	57	31	30	8.5	11.9
農学系	農業科学・水産	25	30	481	430	253	379	141	170	81	88	3.1	4.3
	農業農村工学	20	15	198	204	114	176	87	72	52	38	2.2	4.6
	森林・自然環境	10	10	217	263	132	229	56	50	33	27	4.0	8.5

● 国家専門職

区分		採用予定数		申込者数		1次試験				最終		最終倍率	
						受験者数		合格者数		合格者数			
						2020年	2019年	2020年	2019年	2020年	2019年		
国税専門官	—	1,350	1,200	14,131	14,238	9,052	10,490	7,189	6,154	3,903	3,514	2.3	3.0
財務専門官	—	160	150	2,796	2,961	1,338	1,721	911	850	560	526	2.4	3.3
労働基準監督官	A (法文系)	185	200	2,699	2,703	1,318	1,560	1,119	1,111	358	379	3.7	4.1
	B (理工系)	45	60	747	805	355	546	307	475	118	194	3.0	2.8
食品衛生監視員	—	25	45	351	427	172	282	127	216	77	134	2.2	2.1

● 裁判所一般職(大卒)

区分		採用予定数		申込者数		1次試験				最終		最終倍率	
						受験者数		合格者数		合格者数			
						2020年	2019年	2020年	2019年	2020年	2019年		
裁判所事務官	東京高等裁判所管轄	200	180	4,870	4,709	1,010	3,196	794	1,385	514	520	2.0	6.1
	大阪高等裁判所管轄	55	55	2,007	1,943	358	1,427	283	433	171	150	2.1	9.5
	名古屋高等裁判所管轄	35	30	1,460	1,364	197	1,076	165	453	88	150	2.2	7.2
	広島高等裁判所管轄	20	25	752	822	90	642	60	298	38	90	2.4	7.1
	福岡高等裁判所管轄	40	35	1,900	1,664	260	1,189	172	555	85	150	3.1	7.9
	仙台高等裁判所管轄	15	15	767	635	99	478	74	268	41	88	2.4	5.4
	札幌高等裁判所管轄	15	15	435	477	51	380	42	189	18	62	2.8	6.1
	高松高等裁判所管轄	10	10	593	588	70	460	48	151	15	45	4.7	10.2

● 国会職員(衆議院・参議院・国立国会図書館)

区分		採用予定数		申込者数		1次試験				最終		最終倍率	
						受験者数		合格者数		合格者数			
						2020年	2019年	2020年	2019年	2020年	2019年		
衆議院事務局	総合職(大卒)	若干名	若干名	303	247	158	176	53	74	2	2	79.0	88.0
	一般職(大卒)	20	20	529	268	301	173	144	115	16	15	18.8	11.5
参議院事務局	総合職(大卒)	15	15	非公表									
国立国会図書館	総合職	若干名	若干名	458	401	296	339	129	103	不明	4	不明	84.8
	一般職(大卒)	若干名	若干名	694	756	435	638	125	188	不明	33	不明	138.4

第5章

本試験データ集（令和2年度）

※ 次ページからの本試験データ集は、令和元年度の主に大卒程度の行政事務職及び技術職の試験の内容を掲載しています（資格免許職や経験者採用試験などについては掲載しておりません）。

※ 受験資格 主に各試験区分の年齢要件を掲載しています。なお、主に技術職や資格免許職などにおいて、年齢要件とは別途、各試験区分に応じた要件などが設けられている場合があります。

※ 試験概要 主に教養（基礎能力）試験・専門試験・論文試験・人物試験について掲載しています。なお、これら以外に別途、適性検査や適性試験などが課される場合があります。また、合否判定方法や各種試験種目の評価のタイミングは試験ごとに異なります。

➡試験情報は試験種や年度により異なる場合がありますので、受験の際は必ず最新の試験案内などをご確認ください。

国家総合職（大卒程度）

●受験資格（令和2年度）

共 通	平成2年4月2日から平成11年4月1日までに生まれた方
-----	-----------------------------

●試験日程（令和2年度）

受験申込受付(WEB)	3月27日(金)～4月6日(月)
1次試験日	7月5日(日)
1次試験合格発表日	7月17日(金)
2次試験日	7月26日(日)～8月11日(火)
最終合格発表日	8月21日(金)

●試験概要（令和2年度）

試験種目		区分	解答時間	試験内容
1次試験	基礎能力試験	共通	180分	多肢選択式(40問) 公務員として必要な基礎的な能力(知能及び知識)についての筆記試験
	専門試験	共通	210分	多肢選択式(40問) 各試験の区分に応じて必要な専門的知識などについての筆記試験
2次試験	政策論文試験	共通	120分	(1問) 政策の企画立案に必要な能力その他総合的な判断力及び思考力についての筆記試験(資料の中に英文によるものを含む。)
	人物試験	共通	—	人柄、対人的能力などについての個別面接
英語試験		共通	—	外部英語試験(TOEFL iBT)、TOEIC Listening & Reading Test(平成28年8月5日に名称が変更される前のTOEICテストを含み、公開テストに限る。)、IELTS、実用英語技能検定)を活用し、スコア等に応じて総得点に15点又は25点を加算

●配点比率（令和2年度）

共通			
基礎能力試験	専門試験(択一)	政策論文試験	人物試験
2/10	3/10	2/10	3/10

●筆記試験 出題科目一覧 (令和2年度)

試験種目	区分	試験内容・出題科目など
教養試験	共通	【知能分野】27問 文章理解①、判断・数的推理(資料解釈を含む。)⑩ 【知識分野】13問 自然・人文・社会⑬(時事を含む。)
専門試験 (多肢選択式)	政治・国際	55問中40問解答 【必須問題】 政治学⑩、国際関係⑩、憲法⑤の計25問 【選択問題】 行政学⑤、国際事情③、国際法⑤、行政法⑤、民法(担保物権、親族及び相続を除く。)③、経済学③、財政学③、経済政策③の30問から任意の計15問解答
	法律	49問中40問解答 【必須問題】 憲法⑦、行政法⑫、民法⑫の計31問 【選択問題】 商法③、刑法③、労働法③、国際法③、経済学・財政学⑥の18問から任意の計9問解答
	経済	46問中40問解答 【必須問題】 経済理論⑩、財政学・経済政策⑤、経済事情⑤、統計学・計量経済学⑤の計31問 【選択問題】 経済史・経済事情③、国際経済学③、経営学③、憲法③、民法(担保物権、親族及び相続を除く。)③の15問から任意の計9問解答
	人間科学	105問中40問解答 【Ⅰ部】5問 人間科学に関する基礎[人間科学における調査・分析に関する基礎、人間科学における行政的問題を含む。] 【Ⅱ部】15問 次の選択A、B(各15問)から一つを選択 ・選択A 心理系 人間の資質及び行動並びに人間関係の理解に関する心理学的基礎(心理学史、生理、知覚、学習等)⑪、心理学における研究方法に関する基礎④ ・選択B 教育・福祉・社会系 教育学、福祉及び社会学に関する基礎⑫ 教育学、福祉及び社会学における調査・分析に関する基礎③ 【Ⅲ部】20問 次の14科目(各5問)から4科目を選択し、計20問解答 認知心理学、臨床心理学、教育環境学、教育心理学、教育経営学、教育方法学、社会福祉総論、社会福祉各論、福祉計画論、地域福祉論、社会学(理論)、社会学(各論)、社会心理学、現代社会論
工学	165問中40問解答 【必須問題】 工学に関する基礎[数学及び物理の基礎的な知識に基づく工学的手法の応用能力を問うもの等]の計20問 【選択問題】 次の29科目(各5問)から4科目、5科目又は6科目を選択し、その20～30問のうちから任意の計20問解答 1.技術論[技術の歴史、技術と社会との関連等]、2.基礎化学、3.工学基礎実験、4.情報基礎、5.電気工学、6.電磁気学、7.材料力学[機械系]、8.流体力学[機械系]、9.構造力学(土木)・土木材料・土木施工、10.土質力学・水理学、11.環境工学(土木)・衛生工学、12.構造力学(建築)、13.建築構造・建築材料・建築施工、14.計測工学・制御工学、15.情報工学(ハードウェア)、16.情報工学(ソフトウェア)、17.電子工学、18.通信工学、19.機	

	<p>械力学、20.熱力学・熱機関〔機械系〕、21.土木計画、22.建築計画・建築法規・建築設備、23.建築史・都市計画、24.材料工学(材料科学)〔材料物理、材料化学〕、25.材料工学(金属材料・無機材料)、26.原子力工学(原子核・放射線)、27.原子力工学(原子炉・核燃料サイクル)、28.船舶海洋工学(流体)〔船体復原性、船体抵抗・推進、船体運動〕、29.船舶海洋工学(構造)〔船体強度・振動、船体設計・艤装〕</p> <p>(注)8(流体力学〔機械系〕)と10(土質力学・水理学)の同時選択不可。7(材料力学〔機械系〕)と9(構造力学(土木)・土木材料・土木施工)と12(構造力学(建築))の3科目のうち、2科目又は3科目の同時選択不可。</p>
数理学・物理・地球科学	<p>115 問中 40 問解答</p> <p>【I部】5 問 基礎数学・情報数学</p> <p>【II部】10 問 次の選択 A、B(各 10 問)から一つを選択 ・選択 A 数理学系:線形代数、解析、確率・統計 ・選択 B 物理・地球科学系:基礎物理、地球科学</p> <p>【III部】25 問 次の 17 科目 90 問のうち任意の計 25 問解答 集合・位相、代数、幾何、解析、確率・統計、情報理論、計算機数学、離散数学、数値計算、数学モデル、オペレーションズ・リサーチ、経営工学(経営数学・生産管理・品質管理)、物理学、古典物理学、現代物理学(物性物理学を含む。)、地球物理学、地質学</p>
化学・生物・薬学	<p>106 問中 40 問解答</p> <p>【必須問題】 基礎数学、基礎物理、基礎化学、基礎生物学の計 10 問</p> <p>【選択問題】 次の 16 科目(各 6 問)から 5 科目又は 6 科目を選択し、その 30～36 問のうちから任意の計 30 問解答 1.数学・物理、2.基礎物理化学・基礎無機化学、3.物理化学・無機化学、4.有機化学、5.工業化学・化学工学、6.分析化学・薬化学、7.薬理学、8.薬剤学・衛生化学、9.食品学、10.土壤肥料学・環境科学・農薬、11.生化学・分子生物学、12.応用微生物学・生物工学、13.発生生物学・生理学、14.細胞生物学(形態学を含む。)、放射線生物学、15.遺伝学・進化学、16.生態学(動物行動学を含む。)、系統分類学</p>
農業科学・水産	<p>140 問中 40 問解答</p> <p>【I部】5 問 生物資源に関する基礎〔生物資源科学、食料事情、統計学〕</p> <p>【II部】10 問 次の選択 A、B(各 10 問)から一つを選択 ・選択 A 農業科学系:農業科学に関する基礎〔農業・畜産業、生物学に関する基礎〕 ・選択 B 水産系:水産学に関する基礎</p> <p>【III部】25 問 次の 23 科目(各 5 問)から 5 科目を選択し、計 25 問解答 1.作物学、2.園芸学、3.育種遺伝学、4.植物病理学、5.昆虫学、6.土壤肥料学・植物生理学、7.経済学、8.農業資源経済学(基礎)、9.農業資源経済学(応用)、10.農業経営学、11.食料政策・農業政策・農業関係法律、12.家畜育種学、13.家畜繁殖学、14.家畜生理学、15.家畜飼養学・家畜栄養学・飼料学・家畜管理学、16.畜産一般〔畜産物生産・畜産物加工・畜産物流通〕、17.水産経済学・水産経営学、18.漁政、19.漁業学・水産資源学、20.水産海洋学・水産環境保全、21.水産生物学・増養殖学、22.水産化学・水産利用学、23.水産一般〔水産物生産・水産物加工・水産物流通〕</p>
農業農村工学	<p>76 問中 40 問解答</p> <p>【必須問題】</p>

	<p>農業農村工学に関する基礎〔農業・農村一般③、農業生産・環境一般②、数学・情報処理③、農業農村工学一般⑥、応用力学④、水理学④〕の計22問</p> <p>【選択問題】</p> <p>次の9科目(各6問)から3科目を選択し、計18問解答</p> <p>1.設計・施工、2.農業水理学、3.土地改良、4.農村計画学・公共経済学、5.農村環境整備、6.機械基礎工学〔機械力学及び機械要素・設計〕、7.生物生産機械工学、8.食料機械工学・生物生産施設工学、9.環境調節工学〔農業気象学及び生物工学を含む。〕</p>
森林・自然環境	<p>121問中40問解答</p> <p>【必須問題】</p> <p>森林・自然環境に関する基礎〔森林・自然環境に関する基礎科学④、森林・自然環境の現状と基本政策⑤、森林・自然環境の機能・効用に関する基礎④〕の計13問</p> <p>【選択問題】</p> <p>次の12科目(各9問)から3科目を選択し、計27問解答</p> <p>1.森林環境科学(森林政策及び林業動向を含む。)、2.森林資源科学(森林立地及び森林保護を含む。)、3.森林生物生産科学(森林経営・育林技術、森林工学)、4.砂防学基礎、5.砂防工学、6.流域管理、7.造園学原論・造園材料、8.造園計画(自然公園)〔自然環境保全を含む。〕、9.造園計画(都市公園)〔都市計画を含む。〕、10.木材特性・木質構造〔木材需給を含む。〕、11.木材加工・材質改良、12.木材成分利用(特用林産を含む。)</p>

※○の数字は出題予定数

●合格者の決定方法（令和2年度）

1次試験	第1次試験の受験者のうち、基礎能力試験及び専門試験(多肢選択式)において基準点以上である者について、両試験種目の標準点を合計した得点に基づいて第1次試験合格者を決定します。
最終合格者	第1次試験合格者のうち、政策論文試験において基準点以上であり、かつ、人物試験においてA～Dの評価である者について、基礎能力試験、専門試験(多肢選択式)、政策論文試験及び人物試験の標準点を合計し、さらに英語試験による加算点を加えた得点に基づいて最終合格者を決定します。

●試験実施状況（令和2年度）

区分	採用予定	申込者	1次受験者	1次合格者	最終合格者	最終倍率
政治・国際	40	1,101	413	211	125	3.3
法律	155	8,882	3,466	885	401	8.6
経済	60	1,641	631	332	141	4.5
人間科学	10	388	195	61	32	6.1
工学	75	1,386	773	426	292	2.6
数理科学・物理・地球科学	10	208	127	53	28	4.5
化学・生物・薬学	15	463	264	58	31	8.5
農業科学・水産	25	481	253	141	81	3.1
農業農村工学	20	198	114	87	52	2.2
森林・自然環境	10	217	132	56	33	4.0

国家総合職（院卒者）

●受験資格（令和2年度）

共 通	平成2年4月2日以降生まれの者で次に掲げるもの 大学院修士課程又は専門職大学院の過程を修了した者及び令和3年3月までに大学院修士課程又は専門職大学院の過程を修了する見込みの者
-----	--

●試験日程（令和2年度）

受験申込受付（WEB）	3月27日（金）～4月6日（月）
1 次 試 験 日	7月5日（日）
1次試験合格発表日	7月17日（金）
2 次 試 験 日	7月26日（日）～8月11日（火）
最終合格発表日	8月21日（金）

●試験概要（令和2年度）

試験種目		区分	解答時間	試験内容
1次試験	基礎能力試験	共通	140分	多肢選択式(30問) 公務員として必要な基礎的な能力(知能及び知識)についての筆記試験
	専門試験	共通	210分	多肢選択式(40問) 各試験の区分に応じて必要な専門的知識などについての筆記試験
2次試験	専門試験	行政	240分	記述式(3問) 各試験の区分に応じて必要な専門的知識などについての筆記試験
		その他の区分	210分	記述式(2問) 各試験の区分に応じて必要な専門的知識などについての筆記試験
	人物試験	共通	—	人柄、対人的能力などについての個別面接
英 語 試 験		共通		外部英語試験(TOEFL iBT)、TOEIC Listening & Reading Test(平成28年8月5日に名称が変更される前のTOEICテストを含み、公開テストに限る。)、IELTS、実用英語技能検定)を活用し、スコア等に応じて総得点に15点又は25点を加算

●配点比率（令和2年度）

共通			
基礎能力試験	専門試験(択一)	専門試験(記述)	人物試験
2/13	3/13	5/13	3/13

●筆記試験 出題科目一覧（令和2年度）

試験種目	区分	試験内容・出題科目など
教 養 試 験	共通	【知能分野】24問 文章理解⑧、判断・数的推理(資料解釈を含む。)⑩ 【知識分野】6問 自然・人文・社会⑥(時事を含む。)
専 門 試 験 (多肢選択式)	行政	次の選択Ⅰ、Ⅱ、Ⅲからいずれかを選択し解答 〔選択Ⅰ 政治・国際系〕55問中40問解答 【必須問題】 政治学⑩、国際関係⑩、憲法⑤の計25問 【選択問題】 行政学⑤、国際事情③、国際法⑤、行政法⑤、民法(担保物権、親族及び相続を除く。)③、経済学③、財政学③、経済政策③の30問から任意の計15問解答 〔選択Ⅱ 法律系〕49問中40問解答 【必須問題】 憲法⑦、行政法⑫、民法⑫の計31問 【選択問題】 商法③、刑法③、労働法③、国際法③、経済学・財政学⑥の18問から任意の計9問解答

		<p>[選択Ⅲ 経済系]46問中40問解答</p> <p>【必須問題】 経済理論⑩、財政学・経済政策⑤、経済事情⑤、統計学・計量経済学⑤の計31問</p> <p>【選択問題】 経済史・経済事情③、国際経済学③、経営学③、憲法③、民法(担保物権、親族及び相続を除く。)③の15問から任意の計9問解答</p>
	人間科学	※出題内容は、国家総合職(大卒)と同じです。
	工学	
	数理科学・物理・地球科学	
	化学・生物・薬学	
	農業科学・水産	
	農業農村工学	
	森林・自然環境	
専門試験 (記述式)	行政	<p>【選択問題】3問</p> <p>次の14科目から3科目選択</p> <p>政治学、行政学、国際関係②、公共政策②、憲法、行政法、民法、商法、刑法、民事訴訟法、国際法、経済理論、財政学、経済政策</p> <p>(注)国際関係又は公共政策を含む選択をする場合にあっては、2科目又は3科目</p>
	人間科学	※人事院のHP等を参照
	工学	
	数理科学・物理・地球科学	
	化学・生物・薬学	
	農業科学・水産	
	農業農村工学	
	森林・自然環境	

※○の数字は出題予定数

●合格者の決定方法(令和2年度)

1次試験	第1次試験の受験者のうち、基礎能力試験及び専門試験(多肢選択式)において基準点以上である者について、両試験種目の標準点を合計した得点に基づいて第1次試験合格者を決定します。
最終合格者	第1次試験合格者のうち、専門試験(記述式)において基準点以上であり、かつ、人物試験においてA～Dの評価にある者について、基礎能力試験、専門試験(多肢選択式)、専門試験(記述式)及び人物試験の標準点を合計し、さらに英語試験による加算点を加えた得点に基づいて最終合格者を決定します。

●試験実施状況(令和2年度)

区分	採用予定	申込者	1次受験者	1次合格者	最終合格者	最終倍率
行政	60	428	221	202	127	1.7
人間科学	15	116	85	80	45	1.9
工学	100	438	262	218	132	2.0
数理科学・物理・地球科学	20	179	125	90	46	2.7
化学・生物・薬学	30	319	193	110	58	3.3
農業科学・水産	30	165	87	82	45	1.9
農業農村工学	5	25	16	14	9	1.8
森林・自然環境	25	95	61	60	39	1.6

国家総合職（大卒程度）教養区分

●受験資格（令和2年度）

共 通	平成2年4月2日から平成12年4月1日までに生まれた者
-----	-----------------------------

●試験日程（令和2年度）

受験申込受付(WEB)	7月31日(金)～8月24日(月)
1次試験日	10月4日(日)
1次試験合格発表日	10月21日(水)
2次試験日	11月17日(火)～11月25日(水)
最終合格発表日	12月11日(金)

●試験概要（令和2年度）

試験種目		区分	解答時間	試験内容
1次試験	総合論文試験	教養	240分	幅広い教養や専門的知識を土台とした総合的な判断力、思考力についての筆記試験 I：政策の企画立案の基礎となる教養・哲学的な考え方に関するもの(1問) II：具体的な政策課題に関するもの(1問)
	基礎能力試験(Ⅰ)	教養	120分	多肢選択式(24問) 公務員として必要な基礎的な能力(知能)についての筆記試験
	基礎能力試験(Ⅱ)	教養	90分	多肢選択式(30問) 公務員として必要な基礎的な能力(知識)についての筆記試験
2次試験	企画提案試験(Ⅰ)	教養	120分	企画力、建設的な思考力及び説明力などについての試験 小論文:課題と資料を与え、解決策を提案させる
	企画提案試験(Ⅱ)	教養	60分	企画力、建設的な思考力及び説明力などについての試験 プレゼンテーション及び質疑応答:小論文の内容について試験官に説明、その後質疑応答を受ける
	政策課題討議試験	教養	120分	課題に対するグループ討議によるプレゼンテーション能力やコミュニケーション力などについての試験 6人1組のグループを基本として実施 レジュメ作成(20分)→個別発表(1人当たり2分)→グループ討議(30分)
	人物試験	教養	—	人柄、対人的能力などについての個別面接
英語試験	教養	—	外部英語試験(TOEFL iBT)、TOEIC Listening & Reading Test(平成28年8月5日に名称が変更される前のTOEICテストを含み、公開テストに限る。)、IELTS、実用英語技能検定)を活用し、スコア等に応じて総得点に15点又は25点を加算	

●配点比率（令和2年度）

教養					
総合論文試験	基礎能力試験Ⅰ	基礎能力試験Ⅱ	企画提案試験	政策課題討議試験	人物試験
8/28	3/28	2/28	5/28	4/28	6/28

●筆記試験 出題科目一覧（令和2年度）

試験種目	区分	試験内容・出題科目など
基礎能力試験(Ⅰ)	教養	【知能分野】文章理解⑧、判断・数的推理(資料解釈を含む。)⑩
基礎能力試験(Ⅱ)	教養	【知識分野】自然⑩、人文⑩、社会⑩ ※時事を含む。

※○の数字は出題予定数

●合格者の決定方法（令和2年度）

1次試験	第1次試験の受験者のうち、基礎能力試験のⅠ部及びⅡ部において基準点以上である者について、各部の標準点を合計した得点に基づいて第1次試験合格者を決定します。
最終合格者	第1次試験合格者のうち、総合論文試験及び企画提案試験において基準点以上であり、かつ、政策課題討議試験及び人物試験においてA～Dの評価である者について、基礎能力試験、総合論文試験、政策課題討議試験、企画提案試験及び人物試験の標準点を合計し、さらに英語試験による加算点を加えた得点に基づいて最終合格者を決定します。

●試験実施状況（令和2年度）

区分	採用予定	申込者	1次受験者	1次合格者	最終合格者	最終倍率
教 養	※	3,172	1,989	300	163	12.2

※令和3年4月採用予定

経済産業省において、10名程度以上の採用予定があります。

内閣府、警察庁、金融庁、総務省、財務省本省、国税庁、文部科学省、厚生労働省、農林水産省、国土交通省、環境省において4名以下の採用予定があります。

令和4年4月採用予定

警察庁、金融庁、外務省、財務省本省、農林水産省、経済産業省、国土交通省、環境省、防衛省において採用予定があります。

国家一般職（大卒程度）

●受験資格（令和2年度）

共	通	平成2年4月2日から平成11年4月1日までに生まれた者
---	---	-----------------------------

●試験日程（令和2年度）

受験申込受付(WEB)	4月3日(金)～4月15日(水)
1次試験日	8月9日(日)
1次試験合格発表日	9月2日(水)
2次試験日	9月9日(水)～9月25日(金)
最終合格発表日	10月13日(火)

●試験概要（令和2年度）

試験種目		区分	解答時間	試験内容
1次試験	基礎能力試験	共通	140分	多肢選択式(40問) 公務員として必要な基礎的な能力(知能及び知識)についての筆記試験
	専門試験	建築	120分	多肢選択式(33問) 各試験の区分に応じて必要な専門的知識などについての筆記試験
		建築以外	180分	多肢選択式(40問) 各試験の区分に応じて必要な専門的知識などについての筆記試験
	一般論文試験	行政	60分	記述式(1問) 文章による表現力、課題に関する理解力などについての短い論文による筆記試験
	専門試験	建築	120分	記述式(1問) 各試験の区分に応じて必要な専門的知識などについての筆記試験
		行政・建築以外	60分	記述式(1問) 各試験の区分に応じて必要な専門的知識などについての筆記試験
2次試験	人物試験	共通	—	人柄、対人的能力などについての個別面接

●配点比率（令和2年度）

行政			
基礎能力試験	専門試験(択一)	一般論文試験	人物試験
2/9	4/9	1/9	2/9
建築			
基礎能力試験	専門試験(択一)	専門試験(記述)	人物試験
2/9	2.5/9	2.5/9	2/9
行政・建築以外			
基礎能力試験	専門試験(択一)	専門試験(記述)	人物試験
2/9	4/9	1/9	2/9

●筆記試験 出題科目一覧 (令和2年度)

試験種目	区分	試験内容・出題科目など
基礎能力試験	共通	【知能分野】27問 文章理解⑩、判断推理⑧、教的推理⑤、資料解釈③ 【知識分野】13問 自然・人文・社会⑬(時事を含む。)
専門試験 (多肢選択式)	行政	80問中40問解答 次の16科目(各5問)から8科目を選択し、計40問解答 政治学、行政学、憲法、行政法、民法(総則及び物権)、民法(債権、親族及び相続)、ミクロ経済学、マクロ経済学、財政学・経済事情、経営学、国際関係、社会学、心理学、教育学、英語(基礎)、英語(一般)
	電気・電子・情報	40問必須解答 工学に関する基礎⑳ 電磁気学・電気回路・電気計測・制御・電気機器・電力工学⑧ 電子工学・電子回路③、通信工学・情報工学⑨
	機械	40問必須解答 工学に関する基礎⑳ 材料力学④、機械力学④、流体力学④、熱工学④、機械設計・機械材料・機械工作④
	土木	40問必須解答 工学に関する基礎⑳ 構造力学(土木)・水理学・土質力学・測量⑩、土木材料・土木設計・土木施工③、土木計画④、環境工学(土木)・衛生工学②
	建築	33問必須解答 工学に関する基礎⑳ 構造力学(建築)・建築構造④、建築材料・建築施工②、環境工学(建築)・建築設備③、建築史・建築計画・建築法規・都市計画④
	物理	50問中40問解答 【必須問題】物理[物理数学を含む基礎的な物理]⑩ 【選択問題】応用物理[現代物理等]⑩、地球物理⑩の20問から10問
	化学	44問中40問解答 【必須問題】数学・物理⑨、物理化学・分析化学・無機化学・有機化学・工業化学⑦ 【選択問題】生物化学④、化学工学④の8問から4問選択
	農学	40問必須解答 栽培学汎論⑦、作物学⑦、園芸学⑦、育種遺伝学③、植物病理学③、昆虫学③、土壤肥料学・植物生理学④、畜産一般③、農業経済一般③
	農業農村工学	40問必須解答 数学③、水理学④、応用力学④、土壌物理・土質力学②、測量②、農業水利学・土地改良・農村環境整備⑬、農業造構・材料・施工⑦、農業機械②、農学一般③
	林学	40問必須解答 林業政策⑦、林業経営学⑦、造林学⑩、林業工学④、林産一般⑥、砂防工学⑤
専門試験 (記述式)	電気・電子・情報	電気・電子・通信・情報工学に関連する領域
	機械	機械工学に関連する領域
	土木	土木工学に関連する領域
	建築	建築設計製図
	物理	物理に関連する領域
	化学	化学に関連する領域
	農学	農学に関連する領域
	農業農村工学	農業農村工学に関連する領域
林学	林学に関連する領域	

※○の数字は出題予定数

●合格者の決定方法（令和2年度）

1次試験	第1次試験の受験者のうち、基礎能力試験及び専門試験（多肢選択式）において基準点以上である者について、両試験種目の標準点を合計した得点に基づいて第1次試験合格者を決定します。 なお、第1次試験で実施している「一般論文試験」又は「専門試験（記述式）」は、第1次試験合格者を対象に評定しています。
最終合格者	第1次試験合格者のうち、一般論文試験又は専門試験（記述式）において基準点以上であり、かつ、人物試験においてA～Dの評価である者について、第1次試験を含む全ての試験種目の標準点を合計した得点に基づいて最終合格者を決定します。

●試験実施状況（令和2年度）

区分		採用予定	申込者	1次受験者	1次合格者	最終合格者	最終倍率
行政	北海道	200	1,035	656	535	314	2.1
	東北	200	1,652	1,023	645	325	3.1
	関東甲信越	680	9,382	5,378	2,310	1,572	3.4
	東海北陸	300	2,761	1,761	939	518	3.4
	近畿	320	3,265	1,966	948	566	3.5
	中国	220	1,500	938	716	480	2.0
	四国	90	1,020	633	430	248	2.6
	九州	300	2,821	1,776	933	605	2.9
	沖縄	110	744	492	209	143	3.4
技術	電気・電子・情報	250	427	240	203	136	1.8
	機械	110	293	182	160	106	1.7
	土木	320	1,200	709	624	306	2.3
	建築	80	201	99	95	46	2.2
	物理	150	303	204	180	129	1.6
	化学	70	557	304	271	177	1.7
	農学	100	766	437	361	190	2.3
	農業農村工学	40	206	125	121	46	2.7
	林学	80	388	245	237	124	2.0

※行政区分における本府省への採用については、行政関東甲信越地域からの採用が中心となりますが、全国から有為の人材を確保できるようにするという観点から、それ以外の地域からも採用が可能となっています。

※採用予定数は、2月1日現在の見込みです。

参考：行政区分の採用後の勤務地等

試験の区分	採用時の勤務地等
行政 北海道	北海道
行政 東北	青森県 岩手県 宮城県 秋田県 山形県 福島県
行政 関東甲信越	茨城県 栃木県 群馬県 埼玉県 千葉県 東京都 神奈川県 山梨県 新潟県 長野県
行政 東海北陸	岐阜県 静岡県 愛知県 三重県 富山県 石川県 福井県
行政 近畿	滋賀県 京都府 大阪府 兵庫県 奈良県 和歌山県
行政 中国	鳥取県 島根県 岡山県 広島県 山口県
行政 四国	徳島県 香川県 愛媛県 高知県
行政 九州	福岡県 佐賀県 長崎県 熊本県 大分県 宮崎県 鹿児島県
行政 沖縄	沖縄県

本府省
(東京)

法務省専門職員（人間科学）

●受験資格（令和2年度）

共 通	平成2年4月2日から平成11年4月1日までに生まれた者 ※法務教官(社会人)においては、昭和55年4月2日から平成2年4月1日までに生まれた者
-----	--

●試験日程（令和2年度）

受験申込受付(WEB)	3月27日(金)～4月8日(水)
1次試験日	8月2日(日)
1次試験合格発表日	8月25日(火)
2次試験日	8月31日(月)～9月3日(木)
最終合格発表日	10月13日(火)

●試験概要（令和2年度）

試験種目		区分	解答時間	試験内容
1次試験	基礎能力試験	共通	140分	多肢選択式(40問) 公務員として必要な基礎的な能力(知能及び知識)についての筆記試験
		矯正心理専門職	140分	多肢選択式(60問中40問解答) 法務省専門職員(人間科学)として必要な専門的知識などについての筆記試験
	法務教官、保護観察官	140分	多肢選択式(40問) 法務省専門職員(人間科学)として必要な専門的知識などについての筆記試験	
	矯正心理専門職	105分	記述式(1問) 法務省専門職員(人間科学)として必要な専門的知識などについての筆記試験	
	法務教官、保護観察官	105分	記述式(4問中1問解答) 法務省専門職員(人間科学)として必要な専門的知識などについての筆記試験	
2次試験	人物試験	共通	—	人柄、対人的能力などについての個別面接 (矯正心理専門職区分:心理臨床場面において必要になる判断力等についての質問も含む)
	身体検査	矯正心理専門職、 法務教官	—	主として胸部疾患(胸部エックス線撮影を含む。)、血圧、尿、眼・聴器その他一般内科系検査
	身体測定	矯正心理専門職、 法務教官	—	視力についての測定

●配点比率（令和2年度）

矯正心理専門職					
基礎能力試験	専門試験(択一)	専門試験(記述)	人物試験	身体検査	身体測定
2/11	3/11	3/11	3/11	合否判定のみ	合否判定のみ
法務教官					
基礎能力試験	専門試験(択一)	専門試験(記述)	人物試験	身体検査	身体測定
2/10	3/10	3/10	2/10	合否判定のみ	合否判定のみ
保護観察官					
基礎能力試験	専門試験(択一)	専門試験(記述)	人物試験		
2/10	3/10	3/10	2/10		

●筆記試験 出題科目一覧（令和2年度）

試験種目	区分	試験内容・出題科目など
基礎能力試験	共通	【知能分野】27問(文章理解①、判断推理⑧、数的推理⑤、資料解釈③) 【知識分野】13問(自然・人文・社会⑬(時事を含む。))
専門試験 (多肢選択式)	矯正心理専門職	60問中40問解答 【必須問題】心理学に関連する領域② 【選択問題】次の40問から任意の計20問選択 心理学、教育学、福祉及び社会学に関する基礎 〔心理学⑩、教育学⑩、福祉⑩、社会学⑩〕
	法務教官、保護観察官	40問必須解答 心理学、教育学、福祉及び社会学に関する基礎 〔心理学⑩、教育学⑩、福祉⑩、社会学⑩〕
専門試験 (記述式)	矯正心理専門職	心理学に関連する領域 1問
	法務教官、保護観察官	【選択問題】次の領域から1問ずつ計4問出題、任意の1問選択 心理学に関連する領域、教育学に関連する領域、福祉に関連する領域、社会学に関連する領域

※○の数字は出題予定数

●合格者の決定方法（令和2年度）

矯正心理専門職、法務教官	
1次試験	第1次試験の受験者のうち、基礎能力試験及び専門試験(多肢選択式)において基準点以上である者について、両試験種目の標準点を合計した得点に基づいて第1次試験合格者を決定します。 なお、第1次試験で実施している「専門試験(記述式)」は、第1次試験合格者を対象に評定しています。
最終合格者	第1次試験合格者のうち、専門試験(記述式)において基準点以上であり、かつ、人物試験においてA～Cの評価であり、かつ、身体検査及び身体測定に合格した者について、基礎能力試験、専門試験(多肢選択式)、専門試験(記述式)及び人物試験の標準点を合計した得点に基づいて最終合格者を決定します。

保護観察官	
1次試験	第1次試験の受験者のうち、基礎能力試験及び専門試験(多肢選択式)において基準点以上である者について、両試験種目の標準点を合計した得点に基づいて第1次試験合格者を決定します。 なお、第1次試験で実施している「専門試験(記述式)」は、第1次試験合格者を対象に評定しています。
最終合格者	第1次試験合格者のうち、専門試験(記述式)において基準点以上であり、かつ、人物試験においてA～Cの評価である者について、第1次試験を含む全ての試験種目の標準点を合計した得点に基づいて最終合格者を決定します。

●試験実施状況（令和2年度）

区分	採用予定	申込者	1次受験者	1次合格者	最終合格者	最終倍率
矯正心理専門職 A	30	142	101	91	45	2.2
矯正心理専門職 B	20	246	179	114	75	2.4
法務教官 A	100	1,052	719	513	241	3.0
法務教官 B	40	400	286	183	95	3.0
法務教官 A(社会人)	35	93	52	38	24	2.2
法務教官 B(社会人)	15	35	17	16	12	1.4
保護観察官	40	281	165	159	94	1.8

国税専門官

●受験資格（令和2年度）

共 通	平成2年4月2日から平成11年4月1日までに生まれた者
-----	-----------------------------

●試験日程（令和2年度）

受験申込受付(WEB)	3月27日(金)～4月8日(水)
1次試験日	8月2日(日)
1次試験合格発表日	8月25日(火)
2次試験日	9月1日(火)～9月14日(月)
最終合格発表日	10月13日(火)

●試験概要（令和2年度）

試験種目		区分	解答時間	試験内容
1次試験	基礎能力試験	—	140分	多肢選択式(40問) 公務員として必要な基礎的な能力(知能及び知識)についての筆記試験
	専門試験	—	140分	多肢選択式(70問中40問) 国税専門官として必要な専門的知識などについての筆記試験
		—	80分	記述式(1問) 国税専門官として必要な専門的知識などについての筆記試験
2次試験	人物試験	—	—	人柄、対人的能力などについての個別面接
	身体検査	—	—	主として胸部疾患(胸部エックス線撮影を含む。)、尿、その他一般内科系検査

●配点比率（令和2年度）

国税専門官				
基礎能力試験	専門試験(択一)	専門試験(記述)	人物試験	身体検査
2/9	3/9	2/9	2/9	合否判定のみ

●筆記試験 出題科目一覧（令和2年度）

試験種目	区分	試験内容・出題科目など
基礎能力試験	—	【知能分野】27問(文章理解①、判断推理③、数的推理⑤、資料解釈③) 【知識分野】13問(自然・人文・社会⑩(時事を含む。))
専門試験 (多肢選択式)	—	【必須】2科目16問(民法・商法、会計学(簿記を含む。)) 【選択】次の9科目54問(各6問)から4科目24問選択 憲法・行政法、経済学、財政学、経営学、政治学・社会学・社会事情、英語、商業英語、情報数学、情報工学
専門試験 (記述式)	—	次の5科目(各1問)のうち1科目選択 憲法、民法、経済学、会計学、社会学

※○の数字は出題予定数

●合格者の決定方法（令和2年度）

1次試験	第1次試験の受験者のうち、基礎能力試験及び専門試験(多肢選択式)において基準点以上である者について、両試験種目の標準点を合計した得点に基づいて第1次試験合格者を決定します。 なお、第1次試験で実施している「専門試験(記述式)」は、第1次試験合格者を対象に評定しています。
最終合格者	第1次試験合格者のうち、専門試験(記述式)において基準点以上であり、かつ、人物試験においてA～Cの評価であり、かつ、身体検査に合格した者について、基礎能力試験、専門試験(多肢選択式)、専門試験(記述式)及び人物試験の標準点を合計した得点に基づいて最終合格者を決定します。

●試験実施状況（令和2年度）

区分	採用予定	申込者	1次受験者	1次合格者	最終合格者	最終倍率
国 税 専 門 官	1,350	14,131	9,052	7,189	3,903	2.3

参考:各国税局の管轄区域

国税局	管轄区域	国税局	管轄区域
札幌国税局	北海道	大阪国税局	滋賀県 京都府 大阪府 兵庫県 奈良県 和歌山県
仙台国税局	青森県 岩手県 宮城県 秋田県 山形県 福島県	広島国税局	鳥取県 島根県 岡山県 広島県 山口県
関東信越国税局	茨城県 栃木県 群馬県 埼玉県 新潟県 長野県	高松国税局	徳島県 香川県 愛媛県 高知県
東京国税局	千葉県 東京都 神奈川県 山梨県	福岡国税局	福岡県 佐賀県 長崎県
金沢国税局	富山県 石川県 福井県	熊本国税局	熊本県 大分県 宮崎県 鹿児島県
名古屋国税局	岐阜県 静岡県 愛知県 三重県	沖縄国税事務所	沖縄県

参考:税務署訪問

国税専門官には、国家一般職(大卒)の官庁訪問のような公式な制度はありませんが、希望者は主に第2次試験後の期間に『税務署訪問』をすることができます。なお、一部の税務署では税務署訪問日程が指定されている場合があります。

財務専門官

●受験資格（令和2年度）

共 通	平成2年4月2日から平成11年4月1日までに生まれた者
-----	-----------------------------

●試験日程（令和2年度）

受験申込受付(WEB)	3月27日(金)～4月8日(水)
1次試験日	8月2日(日)
1次試験合格発表日	8月25日(火)
2次試験日	8月27日(木)～8月31日(月)
最終合格発表日	9月25日(金)

●試験概要（令和2年度）

試験種目	区分	解答時間	試験内容
1次試験	基礎能力試験	—	140分 多肢選択式(40問) 公務員として必要な基礎的な能力(知能及び知識)についての筆記試験
	専門試験	—	140分 多肢選択式(76問中40問解答) 財務専門官として必要な専門的知識などについての筆記試験
		—	80分 記述式(1問) 財務専門官として必要な専門的知識などについての筆記試験
2次試験	人物試験	—	人柄、対人的能力などについての個別面接

●配点比率（令和2年度）

財務専門官			
基礎能力試験	専門試験(択一)	専門試験(記述式)	人物試験
2/9	3/9	2/9	2/9

●筆記試験 出題科目一覧（令和2年度）

試験種目	区分	試験内容・出題科目など
基礎能力試験	—	【知能分野】27問(文章理解①、判断推理⑧、数的推理⑤、資料解釈③) 【知識分野】13問(自然・人文・社会⑬(時事を含む。))
専門試験 (多肢選択式)	—	【必須】2科目28問(憲法・行政法、経済学・財政学・経済事情) 【選択】次の8科目48問(各6問)から2科目12問選択 民法・商法、統計学、政治学・社会学、会計学(簿記を含む。)、経営学、英語、情報数学、情報工学
専門試験 (記述式)	—	次の5科目(各1問)のうち1科目選択 憲法、民法、経済学、財政学、会計学

※○の数字は出題予定数

●合格者の決定方法（令和2年度）

1次試験	第1次試験の受験者のうち、基礎能力試験及び専門試験(多肢選択式)において基準点以上である者について、両試験種目の標準点を合計した得点に基づいて第1次試験合格者を決定します。 なお、第1次試験で実施している「専門試験(記述式)」は、第1次試験合格者を対象に評定しています。
最終合格者	第1次試験合格者のうち、専門試験(記述式)において基準点以上であり、かつ、人物試験においてA～Cの評価である者について、第1次試験を含む全ての試験種目の標準点を合計した得点に基づいて最終合格者を決定します。

●試験実施状況（令和2年度）

区分	採用予定	申込者	1次受験者	1次合格者	最終合格者	最終倍率
財務専門官	160	2,796	1,338	911	560	2.4

参考:各財務局 業務説明会

第1次試験合格発表後～第2次試験の間で、各財務局で財務専門官受験者向けの業務説明会が実施されます(実施日程などの詳細は、財務局のHPに掲載されます)。

参考:各財務局 職場訪問

第2次試験後～最終合格発表の間で、第2次試験受験者を対象とした職場訪問(要事前予約)が実施されています。例年、内容は国家一般職(大卒)の官庁訪問に近く面接などが実施されていますので、第2次試験の準備をベースに事前準備をしたうえで臨む必要があります。

労働基準監督官

●受験資格（令和2年度）

共 通	平成2年4月2日から平成11年4月1日までに生まれた者
-----	-----------------------------

●試験日程（令和2年度）

受験申込受付(WEB)	3月27日(金)～4月8日(水)
1 次 試 験 日	8月2日(日)
1次試験合格発表日	8月25日(火)
2 次 試 験 日	9月2日(水)～9月4日(金)
最終合格発表日	10月13日(火)

●試験概要（令和2年度）

試験種目		区分	解答時間	試験内容
1次試験	基礎能力試験	共通	140分	多肢選択式(40問) 公務員として必要な基礎的な能力(知能及び知識)についての筆記試験
		専門試験		
	A(法文系)	140分	多肢選択式(48問中40問解答)	
	B(理工系)	140分	多肢選択式(46問中40問解答)	
	A(法文系)	120分	記述式(2問必須解答)	
	B(理工系)	120分	記述式(4～6問中2問解答)	
2次試験	人物試験	共通	—	人柄、对人的能力などについての個別面接
	身体検査	共通	—	主として胸部疾患(胸部エックス線撮影を含む。)、血圧、尿、その他一般内科系検査

●配点比率（令和2年度）

共通				
基礎能力試験	専門試験(択一)	専門試験(記述)	人物試験	身体検査
2/7	3/7	2/7	合否判定のみ	合否判定のみ

●筆記試験 出題科目一覧（令和2年度）

試験種目	区分	試験内容・出題科目など
基礎能力試験	共通	【知能分野】27問(文章理解①、判断推理③、数的推理⑤、資料解釈③) 【知識分野】13問(自然・人文・社会⑬(時事を含む。))
専門試験 (多肢選択式)	A(法文系)	【必須】12問 労働法⑦、労働事情(就業構造、労働需給、労働時間・賃金、労使関係)⑤ 【選択】36問中28問選択 憲法、行政法、民法、刑法⑩、経済学、労働経済・社会保障、社会学⑭
	B(理工系)	【必須】8問 労働事情(就業構造、労働需給、労働時間・賃金、労使関係、労働安全衛生)⑧ 【選択】38問中32問選択 工学に関する基礎(工学系に共通な基礎としての数学、物理、化学)⑮
専門試験 (記述式)	A(法文系)	2問必須解答 労働法⑦、労働事情(就業構造、労働需給、労働時間・賃金、労使関係)①
	B(理工系)	4～6問中2問解答 【必須】工業事情 1問 【選択】工学に関する専門基礎(機械系、電気系、土木系、建築系、衛生・環境系、応用化学系、応用数学系、応用物理系等の工学系の専門工学に関する専門基礎分野)から3～5問出題し、うち1問選択

※○の数字は出題予定数

●合格者の決定方法（令和2年度）

1次試験	第1次試験の受験者のうち、基礎能力試験及び専門試験(多肢選択式)において基準点以上である者について、両試験種目の標準点を合計した得点に基づいて第1次試験合格者を決定します。 なお、第1次試験で実施している「専門試験(記述式)」は、第1次試験合格者を対象に評定しています。
最終合格者	第1次試験合格者のうち、専門試験(記述式)において基準点以上であり、かつ、人物試験及び身体検査に合格した者について、基礎能力試験、専門試験(多肢選択式)及び専門試験(記述式)の標準点を合計した得点に基づいて最終合格者を決定します。

●試験実施状況（令和2年度）

区分	採用予定	申込者	1次受験者	1次合格者	最終合格者	最終倍率
労働基準監督官A(法文系)	185	2,699	1,318	1,119	358	3.7
労働基準監督官B(理工系)	45	747	355	307	118	3.0

食品衛生監視員

●受験資格（令和2年度）

共通	平成2年4月2日から平成11年4月1日までに生まれた者で次に掲げるもの (1) 大学において薬学、畜産学、水産学又は農芸化学の過程を修めて卒業した者及び 2021年3月までに当該課程を修めて大学を卒業する見込みの者 (2) 都道府県知事の登録を受けた食品衛生監視員の養成施設（平成27年4月1日前に厚生労働大臣の登録を受けた食品衛生監視員の養成施設を含む。）において所定の課程を修了した者及び 2021年3月までに当該課程を修了する見込みの者
----	---

●試験日程（令和2年度）

受験申込受付(WEB)	3月27日(金)～4月8日(水)
1次試験日	8月2日(日)
1次試験合格発表日	9月2日(水)
2次試験日	9月8日(火)～9月16日(水)
最終合格発表日	10月13日(火)

●試験概要（令和2年度）

試験種目	区分	解答時間	試験内容
1次試験	基礎能力試験	140分	多肢選択式(40問) 公務員として必要な基礎的な能力(知能及び知識)についての筆記試験
	専門試験	100分	記述式(6問中3問解答) 食品衛生監視員として必要な専門的知識などについての筆記試験
2次試験	人物試験	—	人柄、対人能力などについての個別面接

●配点比率（令和元年度）

食品衛生監視員		
基礎能力試験	専門試験	人物試験
1/4	2/4	1/4

●筆記試験 出題科目一覧（令和2年度）

試験種目	区分	試験内容・出題科目など
基礎能力試験	—	知能分野 27問(文章理解①、判断推理⑧、数的推理⑤、資料解釈③) 知識分野 13問(自然・人文・社会⑬(時事を含む。))
専門試験 (記述式)	—	次の6問から3問選択 分析化学①又は食品化学①のいずれか1問 微生物学①又は毒性学①のいずれか1問 公衆衛生学①又は食品衛生学①のいずれか1問

※○の数字は出題予定数

●合格者の決定方法（令和2年度）

1次試験	第1次試験の受験者のうち、基礎能力試験及び専門試験(記述式)において基準点以上である者について、両試験種目の標準点を合計した得点に基づいて第1次試験合格者を決定します。
最終合格者	第1次試験合格者のうち、人物試験においてA～Cの評価である者について、第1次試験を含む全ての試験種目の標準点を合計した得点に基づいて最終合格者を決定します。

●試験実施状況（令和2年度）

区分	採用予定	申込者	1次受験者	1次合格者	最終合格者	最終倍率
食品衛生監視員	25	351	172	127	77	2.2

航空管制官

●受験資格（令和2年度）

共 通	平成2年4月2日から平成11年4月1日までに生まれた者
-----	-----------------------------

●試験日程（令和2年度）

受験申込受付(WEB)	3月27日(金)～4月8日(水)
1 次 試 験 日	8月2日(日)
1次試験合格発表日	8月25日(火)
2 次 試 験 日	9月2日(水)
2次試験合格発表日	10月13日(火)
3 次 試 験 日	10月21日(水)～10月23日(金)
最終合格発表日	11月27日(金)

●試験概要（令和2年度）

試験種目		区分	解答時間	試験内容
1次試験	基礎能力試験	—	140分	多肢選択式(40問) 公務員として必要な基礎的な能力(知能及び知識)についての筆記試験
	適性試験 I 部	—	記憶 20分 空間 25分	多肢選択式(60問) 航空管制官として必要な記憶力、空間把握力についての筆記試験
	外国語試験(聞き取り)	—	40分	聞き取り(10問) 英語のヒアリング
	外国語試験	—	120分	多肢選択式(30問) 英文解釈、和文英訳、英文法などについての筆記試験
2次試験	外国語試験(面接)	—	—	英会話
	人物試験	—	—	人柄、対人的能力などについての個別面接
3次試験	適性試験 II 部	—	—	航空管制官として必要な記憶力、空間把握力についての航空管制業務シミュレーションによる試験
	身体検査	—	—	主として胸部疾患(胸部エックス線撮影を含む。)、血圧、尿、その他一般内科系検査
	身体測定	—	—	視力、色覚、聴力についての測定

●配点比率（令和2年度）

航空管制官								
基礎能力試験	適性試験 I 部	外国語(聞き取り)	外国語(択一)	外国語(面接)	人物試験	適性試験 II 部	身体検査	身体測定
2/12	2/12	1/12	3/12	1/12	3/12	合否判定のみ	合否判定のみ	合否判定のみ

●筆記試験 出題科目一覧（令和2年度）

試験種目	区分	試験内容・出題科目など
基礎能力試験	—	知能分野 27問(文章理解①、判断推理⑧、数的推理⑤、資料解釈③) 知識分野 13問(自然・人文・社会⑬(時事を含む。))
適性試験 I 部	—	60問出題 記憶についての検査(示された図や記号、数値などを記憶するもの)⑬ 空間関係についての検査(空間的な方向や移動などの状態を判断するもの)⑭

※○の数字は出題予定数

●合格者の決定方法（令和2年度）

1次試験	第1次試験の受験者のうち、基礎能力試験、適性試験Ⅰ部及び外国語試験(多肢選択式)において基準点以上である者について、これらの試験種目の標準点を合計した得点に基づいて第1次試験合格者を決定します。なお、第1次試験で実施している「外国語試験(聞き取り)」は、第1次試験合格者を対象に評定しています。
2次試験	第1次試験合格者のうち、外国語試験(聞き取り)及び外国語試験(面接)において基準点以上であり、かつ、人物試験においてA～Cの評価である者について、基礎能力試験、適性試験Ⅰ部、外国語試験(多肢選択式)、外国語試験(聞き取り)、外国語試験(面接)及び人物試験の標準点を合計した得点に基づいて第2次試験合格者を決定します。
最終合格者	第2次試験合格者のうち、適性試験Ⅱ部、身体検査及び身体測定に合格した者について、基礎能力試験、適性試験Ⅰ部、外国語試験(多肢選択式)、外国語試験(聞き取り)、外国語試験(面接)及び人物試験の標準点を合計した得点に基づいて最終合格者を決定します。

●試験実施状況（令和2年度）

区分	採用予定	申込者	1次受験者	1次合格者	2次合格者	最終合格者	最終倍率
航空管制官	35	767		88	50	41	

裁判所総合職（大卒程度区分）

裁判所事務官（大卒程度区分）

●受験資格（令和2年度）

共通 平成2年4月2日から平成11年4月1日までに生まれた者

●試験日程（令和2年度）

受験申込受付（WEB）	4月1日（水）～4月9日（木）
1次試験日	8月9日（日）
1次試験合格発表日	8月27日（木）
2次試験日	9月5日（土）～9月17日（木）
2次試験合格発表日	10月1日（木）
3次試験日	10月9日（金）～10月13日（火）
最終合格発表日	10月30日（金）

●試験概要（令和2年度）

試験種目		区分	解答時間	試験内容
1次試験	基礎能力試験	—	180分	多肢選択式(40問) 公務員として必要な基礎的な能力(知能及び知識)についての筆記試験
	専門試験	—	90分	多肢選択式(30問) 裁判所事務官に必要な専門的知識などについての筆記試験
2次試験	論文試験	—	60分	記述式(1問)【1次試験日に実施】 文章による表現力、課題に対する理解力などについての記述式による筆記試験 ※特例希望者のみ実施(一般職試験(裁判所事務官、大卒程度区分)での合否判定用)
	専門試験	—	60分	記述式(憲法1問)【1次試験日に実施】 裁判所事務官(大卒程度区分)に必要な専門的知識などについての筆記試験※六法の使用不可
		—	120分	記述式(民法1問、刑法1問) 裁判所事務官(大卒程度区分)に必要な専門的知識などについての筆記試験※六法を試験場において各受験者に貸与し、その六法の使用可
	政策論文試験	—	90分	記述式(1問) 組織運営上の課題を理解し、解決策を企画立案する能力などについての筆記試験
3次試験	人物試験	—	—	人柄、資質、能力などについての個別面接
	人物試験	—	—	人柄、資質、能力などについての集団討論及び個別面接

●配点比率（令和2年度）

裁判所事務官（大卒程度区分）					
基礎能力試験	専門試験(択一)	専門試験(記述)	政策論文試験	人物試験(2次)	人物試験(3次)
2/15	2/15	4/15	1/15	合否判定のみ	6/15

●筆記試験 出題科目一覧（令和2年度）

試験種目	区分	試験内容・出題科目など
基礎能力試験	—	知識分野 27問、知能分野 13問
専門試験 (多肢選択式)	—	【必須】憲法7問、民法13問 【選択】刑法又は経済理論10問 ※どちらの科目を解答するかについては、試験当日に問題を見て判断可

●合格者の決定方法（令和2年度）

1次試験	第1次試験の受験者（第1次試験日に実施される第2次試験の試験種目も有効に受験している者に限る。）のうち、第1次試験の基礎能力試験及び専門試験の各素点がいずれも下限の得点以上である者につき、両試験種目の標準点の合計順に第1次試験の合格者を決定します。 なお、第1次試験日に実施される第2次試験の試験種目を有効に受験していない場合は、第1次試験の試験種目も採点の対象になりません。
2次試験	第2次試験の受験者のうち、専門試験及び政策論文試験の各素点並びに専門試験の各科目の素点がいずれも下限の得点以上であり、人物試験の判定がAからCである者につき、人物試験の判定を考慮し、また、第1次試験の基礎能力試験及び専門試験並びに第2次試験の専門試験及び政策論文試験の各標準点の合計順に第2次試験の合格者を決定します。
最終合格者	第3次試験の受験者のうち、人物試験の判定がAからCである者について、全ての試験種目（第2次試験の人物試験を除く。）の標準点の合計順に最終合格者を決定します。

●試験実施状況（令和2年度）

区分	採用予定	申込者	1次受験者	1次合格者	2次受験者	2次合格者	3次受験者	最終合格者	最終倍率
東京高裁管轄	5	333	76	56	41	17	16	7	10.9
大阪高裁管轄	3	89	22	10	9	3	3	2	11.0
名古屋高裁管轄	2	55	14	13	12	3	3	1	14.0
広島高裁管轄	2	33	7	4	3	3	3	1	7.0
福岡高裁管轄	3	85	16	11	9	1	1	0	-
仙台高裁管轄	2	30	4	3	3	2	2	1	4.0
札幌高裁管轄	1	18	6	6	5	1	1	1	6.0
高松高裁管轄	1	30	3	2	2	0	-	-	-

参考：総合職試験（裁判所事務官、大卒程度区分）の特例希望の受験者の取扱い

受験の申込みに際して、特例を希望して、総合職試験（裁判所事務官、大卒程度区分）の各試験種目を有効に受験すると、同試験に加え、一般職試験（裁判所事務官、大卒程度区分）の受験者としても合否判定を受けることができます。

具体的には、総合職試験（裁判所事務官、大卒程度区分）の第1次試験において不合格となった場合には一般職試験（裁判所事務官、大卒程度区分）の第1次試験の、総合職試験（裁判所事務官、大卒程度区分）の第2次試験又は第3次試験において不合格となった場合には一般職試験（裁判所事務官、大卒程度区分）の第2次試験の、それぞれ有効受験者として扱われ、改めて一般職試験（裁判所事務官、大卒程度区分）の受験者としての合否判定を受けることができます。また、総合職試験（裁判所事務官、大卒程度区分）の第3次試験に合格した場合にも、一般職試験（裁判所事務官、大卒程度区分）の第2次試験の有効受験者として扱われ、一般職試験（裁判所事務官、大卒程度区分）の合否判定を受けることができます。

家庭裁判所調査官補（大卒程度区分）

●受験資格（令和2年度）

共 通	平成2年4月2日から平成11年4月1日までに生まれた者
-----	-----------------------------

●試験日程（令和2年度）

受験申込受付(WEB)	4月1日(水)～4月9日(木)
1次試験日	8月9日(日)
1次試験合格発表日	8月27日(木)
2次試験日	9月5日(土)～9月25日(金)
最終合格発表日	10月13日(火)

●試験概要（令和2年度）

試験種目		区分	解答時間	試験内容
1次試験	基礎能力試験	—	180分	多肢選択式(40問) 公務員として必要な基礎的な能力(知能及び知識)についての筆記試験
2次試験	専門試験	—	120分	記述式(15問中2問) 家庭裁判所調査官補に必要な専門的知識などについての筆記試験
	政策論文試験	—	90分	記述式(1問) 組織運営上の課題を理解し、解決策を企画立案する能力などについての筆記試験
	人物試験Ⅰ	—	—	人柄、資質、能力などについての個別面接
	人物試験Ⅱ	—	—	人柄、資質、能力などについての集団討論及び個別面接

●配点比率（令和2年度）

家庭裁判所調査官補(大卒程度区分)				
基礎能力試験	専門試験(記述式)	政策論文試験	人物試験Ⅰ	人物試験Ⅱ
4/15	4/15	1/15	2/15	4/15

●筆記試験 出題科目一覧（令和2年度）

試験種目	区分	試験内容・出題科目など
基礎能力試験	—	知能分野 27問、知識分野 13問
専門試験(記述式)	—	次の5領域から出題される15問のうち選択する2問 心理学に関する領域(3問) 教育学に関する領域(3問) 福祉に関する領域(3問) 社会学に関する領域(2問) 法学に関する領域(民法2問、刑法2問) ※どの問題を解答するかについては、試験当日に問題を見て判断可 ※六法を試験場において各受験者に貸与し、その六法の使用可。その他の試験では六法の使用不可。

●合格者の決定方法（令和2年度）

1次試験	第1次試験の受験者のうち、基礎能力試験の素点が下限の得点以上である者につき、同試験の標準点の高点順に第1次試験の合格者を決定します。
最終合格者	第2次試験の受験者のうち、専門試験及び政策論文試験の各素点がいずれも下限の得点以上であり、人物試験Ⅰ及びⅡの判定がいずれもAからCである者につき、全ての試験種目の標準点の合計順に最終合格者を決定します。

●試験実施状況（令和2年度）

区分	採用予定	申込者	1次受験者	1次合格者	2次受験者	最終合格者	最終倍率
家庭裁判所調査官補	40	874	495	264	209	64	7.7

裁判所一般職（大卒程度区分）

●受験資格（令和2年度）

共 通	平成2年4月2日から平成11年4月1日までに生まれた者
-----	-----------------------------

●試験日程（令和2年度）

受験申込受付(WEB)	4月1日(水)～4月9日(木)
1次試験日	8月9日(日)
1次試験合格発表日	8月27日(木)
2次試験日	8月9日(日)～10月6日(火)
最終合格発表日	9月7日(月)

●試験概要（令和2年度）

試験種目		区分	解答時間	試験内容
1次試験	基礎能力試験	—	180分	多肢選択式(40問) 公務員として必要な基礎的な能力(知能及び知識)についての筆記試験
	専門試験(多肢選択式)	—	90分	多肢選択式(30問) 裁判所事務官に必要な専門的知識などについての筆記試験
2次試験	論文試験(小論文)	—	60分	記述式(1問)【1次試験日に実施】 文章による表現力、課題に対する理解力などについての筆記試験
	専門試験(記述式)	—	60分	記述式(1問)【1次試験日に実施】 裁判所事務官(大卒程度区分)に必要な専門的知識などについての筆記試験
	人物試験	—	—	人柄、資質、能力などについての個別面接

●配点比率（令和2年度）

裁判所事務官(大卒程度区分)				
基礎能力試験	専門試験(多肢選択式)	論文試験(小論文)	専門試験(記述式)	人物試験
2/10	2/10	1/10	1/10	4/10

●筆記試験 出題科目一覧（令和2年度）

試験種目	区分	試験内容・出題科目など
基礎能力試験	—	知能分野 27問、知識分野 13問
専門試験(多肢選択式)	—	【必須】憲法 7問、民法 13問 【選択】刑法又は経済理論 10問 ※どちらの科目を解答するかについては、試験当日に問題を見て判断可
専門試験(記述式)	—	憲法 1問 ※六法の使用不可

●合格者の決定方法（令和2年度）

1次試験	第1次試験の受験者(第1次試験日に実施される第2次試験の試験種目も有効に受験している者に限る。)のうち、第1次試験の基礎能力試験及び専門試験の各素点がいずれも下限の得点以上である者につき、両試験種目の標準点の合計順に第1次試験の合格者を決定します。 なお、第1次試験日に実施される第2次試験の試験種目を有効に受験していない場合は、第1次試験の試験種目も採点の対象になりません
最終合格者	第2次試験の受験者のうち、論文試験及び専門試験の各素点がいずれも下限の得点以上であり、人物試験の判定がAからCである者につき、全ての試験種目の標準点の合計順に最終合格者を決定します。

●試験実施状況（令和2年度）

区分	採用予定	申込者	1次受験者	1次合格者	2次受験者	最終合格者	最終倍率
東京高裁管轄	200	4,870	1,010	794	740	514	2.0
大阪高裁管轄	55	2,007	358	283	276	171	2.1
名古屋高裁管轄	35	1,460	197	165	142	88	2.2
広島高裁管轄	20	752	90	60	57	38	2.4
福岡高裁管轄	40	1,900	260	172	156	85	3.1
仙台高裁管轄	15	767	99	74	65	41	2.4
札幌高裁管轄	15	435	51	42	46	18	2.8
高松高裁管轄	10	593	70	48	37	15	4.7

※2次試験受験者数は、総合職(裁判所事務官)特例希望者を含みます。

参考:各裁判所の管轄区域

管轄区域	
東京高等裁判所	東京都 神奈川県 埼玉県 千葉県 茨城県 栃木県 群馬県 静岡県 山梨県 長野県 新潟県 福岡県 佐賀県 長崎県 大分県 熊本県 鹿児島県 宮崎県 沖縄県
大阪高等裁判所	大阪府 京都府 兵庫県 奈良県 滋賀県 和歌山県 仙台高等裁判所 宮城県 福島県 山形県 岩手県 秋田県 青森県
名古屋高等裁判所	愛知県 三重県 岐阜県 福井県 石川県 富山県 札幌高等裁判所 北海道
広島高等裁判所	広島県 山口県 岡山県 鳥取県 島根県 高松高等裁判所 香川県 徳島県 高知県 愛媛県

衆議院事務局職員（大卒程度）

総合職（大卒程度）

●受験資格（令和2年度）

共通 平成2年4月2日から平成11年4月1日までに生まれた者

●試験日程（令和2年度）

受験申込受付	3月27日(金)～4月10日(金)
1次試験日	7月4日(土)
1次試験合格発表日	7月10日(金)
2次試験日	7月16日(木)～7月22日(水)
2次試験合格発表日	8月3日(月)
3次試験日	8月6日(木)
最終合格発表日	8月下旬

●試験概要（令和2年度）

試験種目	区分	解答時間	試験内容	
1次試験	基礎能力試験	—	120分	多肢選択式
	専門試験	—	90分	多肢選択式
2次試験	論文試験	—	180分	記述式(3問)
	個別面接試験	—	—	個別面接
3次試験	口述試験	—	—	口述試験

●配点比率（令和2年度）

非公表

●筆記試験 出題科目一覧（令和2年度）

試験種目	区分	試験内容・出題科目など
専門試験	—	憲法、行政法、民法、刑法、政治学、行政学、経済学、財政学、社会政策、国際関係、英語
論文試験	—	【必須】憲法(1問) 【選択】行政法(1問)、民法(1問)、政治学(1問)、経済学(1問) いずれか2科目を選択

●合格者の決定方法（令和2年度）

非公表

●試験実施状況（令和2年度）

区分	採用予定	申込者	1次受験者	1次合格者	2次受験者	2次合格者	3次受験者	最終合格者	最終倍率
総合職（大卒程度）	若干名	303	158	53	27	11	10	2	79.0

一般職（大卒程度）

●受験資格（令和2年度）

共 通	平成2年4月2日から平成11年4月1日までに生まれた者
-----	-----------------------------

●試験日程（令和2年度）

受 験 申 込 受 付	3月27日(金)～4月10日(金)
1 次 試 験 日	7月18日(土)
1次試験合格発表日	7月27日(月)
2 次 試 験 日	8月8日(土)
2次試験合格発表日	8月28日(金)
3 次 試 験 日	9月7日(月)～9月11日(金)
最 終 合 格 発 表 日	10月上旬

●試験概要（令和2年度）

試験種目		区分	解答時間	試験内容
1次試験	基礎能力試験	—	120分	多肢選択式
	専門試験	—	90分	多肢選択式
2次試験	論文試験	—	120分	記述式(2問)
3次試験	個別面接試験	—	—	個別面接

●配点比率（令和2年度）

非公表

●筆記試験 出題科目一覧（令和2年度）

試験種目	区分	試験内容・出題科目など
専門試験	—	憲法、行政法、民法、刑法、政治学、行政学、経済学、財政学、社会政策、国際関係、英語
論文試験	—	【必須】憲法(1問) 【選択】行政法(1問)、政治学(1問)、経済学(1問)いずれか1科目を選択

●合格者の決定方法（令和2年度）

非公表

●試験実施状況（令和2年度）

区分	採用予定	申込者	1次受験者	1次合格者	2次受験者	2次合格者	3次受験者	最終合格者	最終倍率
一般職（大卒程度）	20	529	301	144	108	68	48	16	18.8

衆議院法制局職員（総合職）

●受験資格（令和2年度）

共 通	平成2年4月2日から平成11年4月1日までに生まれた者
-----	-----------------------------

●試験日程（令和2年度）

受験申込受付	3月9日(月)～4月6日(月)
1次試験日	4月18日(土)
1次試験合格発表日	4月22日(水)以降
2次試験日	5月30日(土)
2次試験合格発表日	6月12日(金)以降
3次試験日	6月20日(土)
最終合格発表日	6月29日(月)以降

●試験概要（令和2年度）

試験種目		区分	解答時間	試験内容
1次試験	基礎能力試験	—	120分	多肢選択式
	専門試験	—	120分	多肢選択式
2次試験	論文試験	—	240分	3問
	面接試験	—	—	面接試験
3次試験	口述試験	—	—	憲法を中心とする法律問題
	面接試験	—	—	面接試験

●配点比率（令和2年度）

非公表

●筆記試験 出題科目一覧（令和2年度）

試験種目	区分	試験内容・出題科目など
基礎能力試験	—	文章理解、判断推理、数的推理及び資料解釈に関する一般知能並びに社会、人文及び自然に関する一般知識
専門試験	—	憲法、行政法、民法、刑法、労働法、経済学・財政学
論文試験	—	憲法(1問)、行政法(1問)、民法(1問)

●合格者の決定方法（令和2年度）

非公表

●試験実施状況（令和2年度）

区分	採用予定	申込者	1次受験者	1次合格者	2次受験者	最終合格者	最終倍率
衆議院法制局職員	若干名	非公表	非公表	非公表	非公表	非公表	非公表

参議院事務局総合職（大卒程度）

●受験資格（令和2年度）

共 通	平成5年4月2日から平成11年4月1日までに生まれた者
-----	-----------------------------

●試験日程（令和2年度）

受験申込受付	3月2日(月)～4月7日(火)
1次試験日	7月12日(日)
1次試験合格発表日	7月16日(木)
2次試験日	7月23日(木)～8月9日(日)
2次試験合格発表日	8月上旬以降
3次試験日	8月中旬以降のいずれか指定する日
最終合格発表日	9月30日(水)以降

●試験概要（令和2年度）

試験種目	区分	解答時間	試験内容	
1次試験	基礎能力試験	—	150分	多枝選択式(50問)
	専門試験	—	150分	多枝選択式(80問中40問)
2次試験	専門試験	—	120分	論文式(2問)
	人物試験	—	—	個別面接
3次試験	人物試験	—	—	個別面接

●配点比率（令和2年度）

参議院事務局職員総合職（大卒程度）			
基礎能力試験	専門試験(択一)	専門試験(論文)	人物試験(個別面接)
1/10	1/10	4/10	4/10

●筆記試験 出題科目一覧（令和2年度）

試験種目	区分	試験内容・出題科目など
基礎能力試験	—	社会科学(時事を含む)[5問]、人文科学[13問]、自然科学[7問]、文章理解[9問]、判断推理・数的推理・資料解釈[16問]
専門試験 (多枝選択式)	—	次の80問から合計40問となるように科目を選択して解答 憲法[5問]、行政法[10問]、民法[10問]、刑法[5問]、労働法[5問]、経済政策[10問]、経済理論[10問]、経済事情・経済史[5問]、財政学[10問]、国際関係[5問]、政治学・行政学[5問]
専門試験 (論文式)	—	「法律部門」を選択した場合 合計2問解答 【必須】憲法[1問] 【選択】次の3問から合計1問選択 行政法[1問]、民法(総則、物権)[1問]、民法(債権、親族・相続)[1問] 「経済部門」を選択した場合 合計2問解答 【必須】経済理論[1問] 【選択】次の2問から1問選択 財政学[1問]、経済政策[1問] ※受験申込時に法律部門及び経済部門のうち1部門を選択。

●合格者の決定方法（令和2年度）

最終合格者	第3次試験の結果に基づいて決定します。
-------	---------------------

●試験実施状況（令和2年度）

区分	採用予定	申込者	1次受験者	1次合格者	2次受験者	最終合格者	最終倍率
参議院事務局総合職	15	非公表	非公表	非公表	非公表	非公表	非公表

参議院法制局職員（総合職）

●受験資格（令和2年度）

共 通	平成2年4月2日から平成11年4月1日までに生まれた者
-----	-----------------------------

●試験日程（令和2年度）

受験申込受付	4月1日(月)～4月9日(木)
1次試験日	6月21日(日)
1次試験合格発表日	6月25日(木)
2次試験日	7月6日(月)～7月12日(日)
3次試験日	第2次試験に合格した方に個別に通知
最終合格発表日	不明

●試験概要（令和2年度）

試験種目		区分	解答時間	試験内容
1次試験	基礎能力試験	—	80分	多肢選択式(40問)
	専門試験	—	80分	多肢選択式(40問)
2次試験	論文試験	—	80分	論文試験(1次試験日に実施)
	面接試験	—	—	面接試験
3次試験	口述試験	—	—	憲法を中心とする法律問題
	面接試験	—	—	面接試験

●配点比率（令和2年度）

非公表

●筆記試験 出題科目一覧（令和2年度）

試験種目	区分	試験内容・出題科目など
基礎能力試験	—	知能分野（文章理解、判断推理、数的推理及び資料解釈） 知識分野（社会、人文及び自然）
専門試験	—	憲法、行政法、民法及び刑法
論文試験	—	憲法及び行政法

●合格者の決定方法（令和2年度）

非公表

●試験実施状況（令和2年度）

区分	採用予定	申込者	1次受験者	1次合格者	2次受験者	最終合格者	最終倍率
参議院法制局職員	若干名	非公表	非公表	非公表	非公表	非公表	非公表

国立国会図書館職員

●受験資格（令和2年度）

共	通	昭和61年4月2日から平成12年4月1日までに生まれた者
---	---	------------------------------

●試験日程（令和2年度）

受験申込受付（郵送のみ）	3月2日（月）～4月10日（金）
1次試験日	7月19日（日）
1次試験合格発表日	7月31日（金）
2次試験日	8月16日（日）～8月31日（月）
2次試験合格発表日	9月9日（水）
3次試験日	9月14日（月）～9月16日（水）
最終合格発表日	9月30日（水）以降

●試験概要（令和2年度）

試験種目	区分	解答時間	試験内容
1次試験	教養試験 共通	120分	多肢選択式 一般的知識、知能を問う試験
2次試験	専門試験	総合職	120分 記述式
		一般職	90分 記述式
	英語試験	共通	60分 記述式 長文読解
	小論文試験	総合職	60分
3次試験	人物試験	共通	— 個別面接
	人物試験	共通	— 個別面接

●配点比率（令和2年度）

非公表

●筆記試験 出題科目一覧（令和2年度）

試験種目	区分	試験内容・出題科目など
専門試験	共通	次のうち、受験者があらかじめ選択する1科目についての筆記試験 法学(憲法、民法、行政法、国際法から受験時に2分野選択)、政治学、経済学、社会学、文学、史学(日本史、東洋史、西洋史から受験時に1分野選択)、図書館情報学、物理学、化学、数学、工学・情報工学(工学全般、情報工学から受験時に1分野選択)、生物学

●合格者の決定方法（令和2年度）

総合職		
1次試験		—
2次試験	専門試験、英語試験及び人物試験の成績を総合して行います。	
最終合格者	第3次試験の結果と小論文試験を総合して行います。	
一般職		
1次試験		—
2次試験		—
最終合格者		—

●試験実施状況（令和2年度）

区分	採用予定	申込者	1次受験者	1次合格者	2次受験者	2次合格者	3次受験者	最終合格者	最終倍率
総合職	若干名	458	296	129	91	12	11	4	74.0
一般職	若干名	694	435	125	83	42	37	8	54.4

参考:総合職試験の特例制度

総合職試験に不合格になった場合に、一般職試験(大卒程度試験)の受験者としての取扱いを受けることができる制度です。総合職試験の受験申込みの際に「特例」を希望し、総合職試験の各試験種目を有効に受験すると(1種目でも欠席又は棄権があった場合、特例は適用されません。)、総合職試験の第1次試験において不合格になった場合には一般職試験(大卒程度試験)の第1次試験の、第2次試験において不合格になった場合には一般職試験(大卒程度)の第2次試験の、第3次試験において不合格になった場合には一般職試験(大卒程度試験)の第3次試験の、それぞれ有効な受験者として扱われ、改めて一般職試験(大卒程度試験)受験者としての合否判定がなされます。なお、特例の希望の有無が合否に影響することはありません。また、採用時や採用後に有利又は不利に扱われることもありません。

外務省専門職員

●受験資格（令和2年度）

共 通	平成2年4月2日から平成11年4月1日までに生まれた者
-----	-----------------------------

●試験日程（令和2年度）

受験申込受付	3月27日(金)～4月10日(金)
1次試験日	8月8日(土)～8月9日(日)
1次試験合格発表日	9月1日(火)
2次試験日	9月7日(月)～9月16日(水)
最終合格発表日	9月30日(水)

●試験概要（令和2年度）

試験種目	区分	解答時間	試験内容
1次試験	専門試験	120分	【必須】記述式 国際法(3問中2問解答)
		120分	【選択】記述式 憲法(3問中2問解答)または、記述式 経済学(3問中2問解答)
	時事論文試験	90分	記述式(1問)
	基礎能力試験	140分	多肢選択式(40問) 知能分野27問、知識分野13問
	外国語試験	120分	記述式 外国語文和訳(2問)、和文外国語訳(2問)
2次試験	外国語試験(面接)	—	外国語会話 1次試験で受験した外国語で実施
	人物試験	—	個別面接(2回)、グループ討議
	身体検査	—	胸部X線撮影などを含む一般的な身体検査

●配点比率（令和2年度）

外務省専門職員					
基礎能力試験	専門試験	外国語試験(記述式)	時事論文試験	人物試験	外国語試験(面接)
1/11	2/11	1/11	1/11	5/11	1/11

●筆記試験 出題科目一覧（令和2年度）

試験種目	区分	試験内容・出題科目など
外国語試験(記述式)	—	英語・フランス語・ドイツ語・ロシア語・スペイン語・ポルトガル語・イタリア語・アラビア語・ペルシヤ語・ミャンマー語・タイ語・ベトナム語・インドネシア語・中国語・朝鮮語のうちから1カ国語を選択

●合格者の決定方法（令和2年度）

非公表

●試験実施状況（令和2年度）

区分	採用予定	申込者	1次受験者	1次合格者	2次受験者	最終合格者	最終倍率
外務省専門職員	50	368	217	105	非公表	51	4.3

防衛省専門職員

●受験資格（令和2年度）

共	通	平成2年4月2日から平成11年4月1日までに生まれた者
---	---	-----------------------------

●試験日程（令和2年度）

受験申込受付	4月1日(水)～4月17日(金)	
1次試験日	8月2日(日)	
1次試験合格発表日	8月26日(水)	
2次試験日	8月31日(月)～9月6日(日)	
最終合格発表日	9月16日(水)	

●試験概要（令和2年度）

試験種目		区分	解答時間	試験内容
1次試験	基礎試験	共通	140分	多肢選択式(40問) 公務員として必要な基礎的な能力(知能及び知識)についての筆記試験
	専門試験	語学	120分	記述式 各試験区分に応じて必要な専門的知識などについての筆記試験
	論文試験	共通	60分	一般論文又は時事論文 課題に対する総合的な判断力、思考力及び表現力についての筆記試験
2次試験	口述試験	共通	—	人柄、対人的能力などについての個別面接
	身体検査	共通	—	主として胸部疾患(胸部エックス線撮影を含む。)、尿、その他一般内科系検査

●配点比率（令和2年度）

語学(英語、ロシア語、中国語、朝鮮語)		
基礎能力試験	専門試験	論文試験
1/3	2/3	合否の判定のみ

●筆記試験 出題科目一覧（令和2年度）

試験種目	区分	試験内容・出題科目など
基礎能力試験	共通	知能分野 27問(文章理解①、判断推理⑧、数的推理⑤、資料解釈③) 知識分野 13問(自然・人文・社会⑬(時事を含む。))
専門試験 (記述式)	語学(英語)	英文解釈②、語彙問題①、英文法①、英作文①の計5問
	語学(ロシア語)	露文和訳②、和文露訳①、露語文法②の計5問
	語学(中国語)	中文和訳②、和文中訳②、中国語文法①の計5問
	語学(朝鮮語)	朝文和訳②、和文朝訳②、朝鮮語文法①の計5問

※○の数字は出題予定数

●合格者の決定方法（令和2年度）

語学(英語、ロシア語、中国語、朝鮮語)	
1次試験	筆記試験の粗点を、各試験種目別にウエイト換算(配点比率参照)し、換算合計点の満点を100点として、個々の得点を算定する。その上で、採用予定者数に過去の辞退率等を加味して必要な合格者数を算定し、成績上位者より第1次試験合格者とする。
2次試験	口述試験の評定をA～Eの5段階で評定し、D以下については不合格とする。身体検査については、勤務に支障があるか否かを医官が判定し合否を決定する。
最終合格者	過去の辞退率等から、必要な合格者数を算定した上で、口述試験の評定Aの者から順次決定する。

●試験実施状況（令和2年度）

区分	採用予定	申込者	1次受験者	1次合格者	2次受験者	最終合格者	最終倍率
語学（英語）	30	254	177	73	67	62	4.1
語学（ロシア語）	若干名	19	15	3	3	3	6.3
語学（中国語）	若干名	23	21	6	6	5	4.6
語学（朝鮮語）	若干名	18	15	5	5	5	3.6

自衛隊一般幹部候補生（大卒程度）

●受験資格（令和2年度）

共通	令和3年4月1日現在、22歳以上26歳未満の者 現に自衛官である者については、22歳以上28歳未満の者
----	--

●試験日程（令和2年度）第1回

	一般要員	飛行要員
受験申込受付(WEB)	3月1日(日)～6月12日(金)	
1次試験日	6月20日(土) 筆記試験	6月20日(土) 筆記試験 6月21日(日) 筆記式操縦適性検査
1次試験合格発表日	7月13日(月)	
2次試験日	7月21日(火)～7月27日(月)のうち指定する日	
2次試験合格発表日	—	8月10日(月) 海上自衛隊 8月14日(金) 航空自衛隊
3次試験日	—	8月17日(月)～8月21日(金) 海上自衛隊 8月22日(土)～9月3日(木) 航空自衛隊
最終合格発表日	9月2日(水) 陸上自衛隊、9月11日(金) 海上自衛隊、9月30日(水) 航空自衛隊	

●試験日程（令和2年度）第2回

	一般要員	飛行要員
受験申込受付(WEB)	5月29日(金)～7月31日(金)	
1次試験日	8月8日(土) 筆記試験	8月8日(土) 筆記試験 8月9日(日) 筆記式操縦適性検査
1次試験合格発表日	9月2日(水)	
2次試験日	9月10日(火)～9月14日(月)のうち指定する日	
2次試験合格発表日	—	9月28日(月) 海上自衛隊 10月2日(金) 航空自衛隊
3次試験日	—	10月5日(月)～10月9日(金) 海上自衛隊 10月24日(土)～10月29日(木) 航空自衛隊
最終合格発表日	10月21日(水) 陸上自衛隊、10月30日(金) 海上自衛隊、11月27日(水) 航空自衛隊	

●試験概要（令和2年度）

試験種目	区分	解答時間	試験内容
1次試験	一般教養試験	—	択一式
	専門試験	共通	—
共通		—	記述式 ※採点は第1次試験合格者について行い、第2次試験の結果とあわせて最終合格の決定に用います。
2次試験	小論文試験	—	小論文試験
	口述試験	—	口述試験
	身体検査	—	飛行要員希望者のみ航空身体検査を実施
3次試験	航空身体検査(一部)	—	航空身体検査
	操縦適性検査	—	実際に航空機(複座機)に搭乗して行う飛行適性の検査及び面接検査を行います。
	医学適性検査	—	医学適性検査

●配点比率（令和2年度）

非公表

●筆記試験 出題科目一覧（令和2年度）

試験種目	区分	試験内容・出題科目など
一般教養試験	共通	第I分野(人文科学、社会科学、自然科学及び英語) 第II分野(文章理解、数的推理、判断推理及び資料解釈)
専門択一	共通	人文科学、社会科学、理・工学のうちから1科目選択
専門記述	共通	心理、教育、英語、行政、法律、経済、国際関係、社会、数学、物理、化学、情報工学、電気、電子、機械(造船を含む。)、土木、建築、航空工学、海洋・航海のうちから1科目選択

●合格者の決定方法（令和2年度）

非公表

●試験実施状況（令和2年度）第1回

区分		採用予定		申込者	1次受験者	1次合格者	2次受験者	最終合格者		最終倍率
		男子	女子					男子	女子	
陸上自衛隊	一般要員	160	20	非公表	非公表	非公表	非公表	235	40	非公表
	一般要員	45	15					56	13	
海上自衛隊	飛行要員							2		
航空自衛隊	一般要員	50						49	28	

国立大学法人等職員

●受験資格（令和2年度）

共 通	平成2年4月2日以降に生まれた者
-----	------------------

●試験日程（令和2年度）

受験申込受付(WEB)	5月13日(水)～5月27日(水)
1 次 試 験 日	7月5日(日)
1次試験合格発表日	7月22日(水)
2 次 試 験 日	各国立大学法人等で実施

●試験概要（令和2年度）

試験種目	区分	解答時間	試験内容
1次試験 教養試験	—	120分	多肢選択式(40問) 多肢選択式による筆記試験(大学卒業程度)
2次試験 面 接 考 査 等	—	—	国立大学法人等ごとに、第一次試験合格者に対して個別に日程を設定して実施します。

●配点比率（令和2年度）

非公表

●筆記試験 出題科目一覧（令和2年度）

試験種目	区分	試験内容・出題科目など
教 養 試 験	—	一般知識 社会⑦、人文⑦及び自然⑥:20問 一般知能 文章理解⑦、判断推理⑧、数的推理及び資料解釈⑤:20問

※○の数字は出題予定数

●合格者の決定方法（令和2年度）

1 次 試 験	<p>教養試験の結果に基づき決定します。</p> <p>※第1次試験の合格者は「第一次試験合格者名簿」に登録され、実施委員会において第1次試験合格者発表日から原則として翌年度の合格発表日の前日まで保管します。各国立大学法人等は、欠員が生じた場合にその都度、この名簿に基づき第2次試験を実施します。</p>
---------	--

●試験実施状況（令和2年度）

区分	採用予定	申込者	1次合格者	倍率	
事務	北海道地区	52	1,135	507	2.2
	東北地区	68	1,951	570	3.4
	関東甲信越地区	173	8,173	1,611	5.1
	東海・北陸地区	108	2,987	976	3.1
	近畿地区	53	3,411	644	5.3
	中国・四国地区	86	2,567	1,102	2.3
	九州地区	151	4,486	1,579	2.8

一般行政A、教育行政A、警察行政A（第1回）

●受験資格（令和2年度）

共通 平成2年4月2日から平成11年4月1日までに生まれた方

●試験日程（令和2年度）

受験申込受付（WEB）	3月25日（水）～4月3日（金）
1次試験日	6月28日（日）
1次試験合格発表日	7月15日（水）
2次試験日	7月下旬～8月上旬（警察行政は8月上旬）
最終合格発表日	8月下旬

●試験概要（令和2年度）

試験種目	区分	解答時間	試験内容・出題科目など
1次試験	職務基礎力試験 一般行政A（第1回） 教育行政A（第1回） 警察行政A（第1回）	40分	択一式（30問） 社会事情・言語能力
	一般行政A（第1回） 教育行政A（第1回） 警察行政A（第1回）	70分	択一式（30問） 数的・論理的能力
	警察行政A（第1回）	90分	記述式（1問） 文章による表現力、理解力・論理的思考力などについての筆記試験
2次試験	小論文試験 一般行政A（第1回） 教育行政A（第1回）	90分	記述式（1問） 文章による表現力、理解力・論理的思考力などについての筆記試験
	口述試験 一般行政A（第1回） 教育行政A（第1回） 警察行政A（第1回）	—	個別面接 コミュニケーション能力、協調性、主体性、行動力、積極性などについての評定

●配点比率（令和2年度）

非公表

●筆記試験 出題科目一覧（令和2年度）

試験種目	区分	試験内容・出題科目など
職務基礎力試験	一般行政A（第1回）	社会事情・言語能力
	教育行政A（第1回）	数的・論理的能力
	警察行政A（第1回）	:社会事情、文章理解、長文読解、言葉の用法 :数的理解、論理的理解、資料理解

●合格者の決定方法（令和2年度）

一般行政A（第1回）、教育行政A（第1回）	
1次試験	職務基礎力試験の結果に基づいて決定します。
2次試験	第2次試験（小論文試験及び人物試験）の結果に基づいて決定します。
警察行政A（第1回）	
1次試験	職務基礎力試験の結果に基づいて決定します。
2次試験	第2次試験及び小論文試験の結果に基づいて決定します。

●試験実施状況（令和2年度）

区分	採用予定	申込者	1次受験者	1次合格者	最終合格者	最終倍率
一般行政A（第1回）	100	1207	748	401	191	3.9
教育行政A（第1回）	40	148	114	91	62	1.8
警察行政A（第1回）	34	222	98	74	53	1.8

技術系A区分(第1回)

●受験資格 (令和2年度)

共 通	平成2年4月2日から平成11年4月1日までに生まれた方
-----	-----------------------------

●試験日程 (令和2年度)

受験申込受付(WEB)	5月11日(月)～5月22日(金)
1次試験日	6月28日(日)
1次試験合格発表日	7月10日(金)
2次試験日	7月中旬～下旬
最終合格発表日	8月上旬

●試験概要 (令和2年度)

試験種目	区分	解答時間	試験内容・出題科目など
1次試験	専門試験	120分	択一式及び記述式
		120分	択一式(40問)
2次試験	口述試験	—	個別面接(プレゼンテーション要素を含む。)コミュニケーション能力、協調性、主体性、行動力、積極性などについての評定

●配点比率 (令和2年度)

非公表

●筆記試験 出題科目一覧 (令和2年度)

試験種目	区分	試験内容・出題科目など
専門試験	環境科学A	環境法概論、環境政策概論、環境保全対策、廃棄物対策、自然環境政策、大気・水環境・水道工学、廃棄物処理工学、生態学
	社会福祉A	社会福祉概論(社会保障を含む)、社会学概論、心理学概論(社会心理学を含む)、社会調査
	農業A	作物学、園芸学、育種遺伝学、植物病理学、土壌肥科学、植物生理学、食品科学、家畜育種学・家畜繁殖学・家畜生理学、家畜飼養学・家畜管理學、飼料学、経済学、農業経済学、農業経営学、食料政策・農業政策
	水産A	水産事情・水産経済・水産法規、水産環境科学、水産生物学、水産資源学、漁業学、増養殖学、水産化学、水産利用学
	林業A	森林政策・森林経営学、造林学(森林生態学、森林保護学を含む)、林業工学、林産一般、砂防工学
	総合土木A(農業)	数学、応用力学、水理学、測量、土壌物理、農業水利・土地改良・農村環境整備、農業土木構造物、材料・施工、農業機械、農学一般
	総合土木A(建設)	数学・物理、応用力学、水理学、土質工学、測量、都市計画、土木計画、材料・施工
	建築A	数学・物理、構造力学、材料学、環境原論、建築史、建築構造、建築計画、都市計画、建築設備、建築施工
	普及職員(農業)A	作物学、園芸学、育種遺伝学、植物病理学・昆虫学、土壌肥科学、植物生理学、食品科学、家畜育種学・家畜繁殖学・家畜生理学、家畜飼養学・家畜管理學、飼料学、農業経済学、農業経営学、農業政策
普及職員(水産)A	水産事情・水産経済・水産法規、水産環境科学、水産生物学、水産資源学、漁業学、増養殖学、水産化学、水産利用学	

●合格者の決定方法（令和2年度）

環境科学A、社会福祉A、農業A、水産A、林業A、総合土木A、建築A、普及職員(農業)A、普及職員(水産)A	
1次試験	専門試験の結果に基づいて決定します。
最終合格者	第2次試験の結果に基づいて決定します。

●試験実施状況（令和2年度）

区分	採用予定	申込者	1次受験者	1次合格者	最終合格者	最終倍率
環境科学A	5	22	19	17	6	3.2
社会福祉A(第1回)	10	31	29	28	21	1.4
農業A	15	12	11	11	11	1.0
水産A(第1回)	6	14	14	14	9	1.6
林業A(第1回)	7	15	13	13	13	1.0
総合土木(農業)A (第1回)	5	11	9	7	7	1.3
総合土木(建設)A (第1回)	11	22	18	17	11	1.6
建築A(第1回)	5	10	9	9	7	1.3
普及職員(農業)A(第1回)	47	37	34	23	22	1.5
普及職員(水産)A(第1回)	3	9	8	8	4	2.0

総合土木A（専門試験口述型）

●受験資格（令和2年度）

共 通	平成2年4月2日から平成11年4月1日までに生まれた方
-----	-----------------------------

●試験日程（令和2年度）

受験申込受付（WEB）	3月25日（水）～4月3日（金）
試 験 日	6月20日（土）又は21日（日）の指定する1日
試験合格発表日	7月上旬以降

●試験概要・出題科目一覧（令和2年度）

試験種目	区分	解答時間	試験内容・出題科目など
2次試験	専門性確認のための個別面接	—	個別面接（土木技術者としての専門知識などについての評定） ※専門性確認シートを事前に作成
	人物評価に係る個別面接	—	個別面接 コミュニケーション能力、協調性、主体性、行動力、積極性などについての評定

●筆記試験 出題科目一覧（令和2年度）

試験種目	区分	試験内容・出題科目など
専門性確認シート、専門性の確認のための個別面接	総合土木A（専門試験口述型）	【農業土木】 ①土質、基礎 ②構造、材料 ③水文、水理 ④土壌物理 ⑤土地改良 ⑥農業水利 ⑦農業機械、施工、測量 ⑧農村計画、農村環境、農村振興 【建設土木】 ①物理 ②地質、地形 ③土質、基礎 ④構造、材料 ⑤都市及び地方計画、交通 ⑥河川、砂防 ⑦海岸、港湾、空港 ⑧道路、施工、測量 ⑨環境、衛生、上下水道 ※選択した3つ以内の分野から出題

●配点比率（令和2年度）

非公表

●合格者の決定方法（令和2年度）

総合土木A（専門試験口述型）	
最 終 合 格 者	第2次試験（専門性の確認のための個別面接及び人物評価に係る個別面接）の結果に基づいて決定します。

●試験実施状況（令和2年度）

区分	採用予定	申込者	1次受験者	1次合格者	最終合格者	最終倍率
総合土木A（専門試験口述型） 農業土木	8	29	28	28	22	1.3
総合土木A（専門試験口述型） 建設土木	20	53	46	46	39	1.2

一般行政A、教育行政A、警察行政A（第2回）

●受験資格（令和2年度）

共 通	平成2年4月2日から平成11年4月1日までに生まれた方
-----	-----------------------------

●試験日程（令和2年度）

受験申込受付（WEB）	8月17日（月）～8月26日（水）
1次試験日	9月27日（日）
1次試験合格発表日	10月16日（金）
2次試験日	一般行政A、教育行政A 11月中旬～下旬 警察行政A 10月下旬
最終合格発表日	一般行政A、教育行政A 12月中旬 警察行政A 11月下旬

●試験概要・出題科目一覧（令和2年度）

試験種目	区分	解答時間	試験内容・出題科目など
1次試験 職務基礎力試験	一般行政A（第2回） 教育行政A（第2回） 警察行政A（第2回）	40分	択一式（30問） 社会事情・言語能力
	一般行政A（第2回） 教育行政A（第2回） 警察行政A（第2回）	70分	択一式（30問） 数的・論理的能力
2次試験 口述試験	一般行政A（第2回） 教育行政A（第2回） 警察行政A（第2回）	—	個別面接 コミュニケーション能力、協調性、主体性、行動力、積極性などについての評定

●筆記試験 出題科目一覧（令和2年度）

試験種目	区分	試験内容・出題科目など
職務基礎力試験	一般行政A（第2回）	社会事情・言語能力
	教育行政A（第2回）	数的・論理的能力
	警察行政A（第2回）	社会事情、文章理解、長文読解、言葉の用法 : 数的理解、論理的理解、資料理解

●配点比率（令和2年度）

非公表

●合格者の決定方法（令和2年度）

一般行政A（第2回）、教育行政A（第2回）、警察行政A（第2回）	
1次試験	職務基礎力試験の結果に基づいて決定します。
2次試験	第2次試験の結果に基づいて決定します。

●試験実施状況（令和2年度）

区分	採用予定	申込者	1次受験者	1次合格者	最終合格者	最終倍率
一般行政A（第2回）	10	396	311	40	12	25.9
教育行政A（第2回）	15	110	93	60	26	3.6
警察行政A（第2回）	2	28	19	7	2	9.5

社会福祉A、水産A、林業A、総合土木A、建築A、普及職員（農業・水産）A（第2回）

●受験資格（令和2年度）

共通 平成2年4月2日から平成11年4月1日までに生まれた方

●試験日程（令和2年度）

受験申込受付(WEB)	8月17日(月)～8月26日(水)
1次試験日	9月27日(日)
1次試験合格発表日	10月16日(金)
2次試験日	10月下旬
最終合格発表日	11月下旬

●試験概要・出題科目一覧（令和2年度）

試験種目		区分	解答時間	試験内容・出題科目など
1次試験	専門試験	社会福祉A(第2回) 水産A(第2回) 林業A(第2回) 総合土木A(第2回) 建築A(第2回) 普及職員A(水産) (第2回)	120分	択一式(40問)
		普及職員A(農業) (第2回)	120分	択一式及び記述式
2次試験	口述試験	社会福祉A(第2回) 水産A(第2回) 林業A(第2回) 総合土木A(第2回) 建築A(第2回) 普及職員A(水産) (第2回) 普及職員A(農業) (第2回)	—	個別面接(プレゼンテーションを含む) コミュニケーション能力、協調性、主体性、行動力、積極性などについての評定

●配点比率（令和2年度）

非公表

●合格者の決定方法（令和2年度）

社会福祉A(第2回)、水産A(第2回)、林業A(第2回)、総合土木A(第2回)、建築A(第2回)、普及職員A(水産)(第2回)、普及職員A(農業)(第2回)	
1次試験	専門試験の結果に基づいて決定します。
2次試験	第2次試験の結果に基づいて決定します。

●試験実施状況（令和2年度）

区分	採用予定	申込者	1次受験者	1次合格者	最終合格者	最終倍率
社会福祉A(第2回)	6	16	12	11	8	1.5
水産A(第2回)	2	16	13	8	3	4.3
林業A(第2回)	3	8	6	4	2	3.0
総合土木(農業)A (第2回)	2	7	6	4	4	1.5
総合土木(建設)A (第2回)	5	12	10	10	6	1.7
建築A(第2回)	2	5	4	3	1	4.0
普及職員(農業)A(第2回)	10	32	25	18	15	1.7
普及職員(水産)A(第2回)	1	3	2	2	2	1.0

●受験資格（令和2年度）

共 通	平成3年4月2日から平成11年4月1日までに生まれた方
-----	-----------------------------

●試験日程（令和2年度）

受験申込受付(WEB)	5月8日(金)～5月27日(水)
1 次 試 験 日	6月28日(日)
1次試験合格発表日	7月7日(火)
2 次 試 験 日	7月20日(月)～30日(木)
2次試験合格発表日	8月中旬

●試験概要（令和2年度）

試験種目		区分	解答時間	試験内容
1次試験	教養試験	行政、警察行政、病院運営、化学、農学、畜産、林業、水産、総合土木、建築、設備、警察科学(機械)	120分	公務員として必要な一般的知識及び知能について、択一式による筆記試験(40問)
	専門試験	行政、警察行政、病院運営、化学、農学、畜産、林業、水産、総合土木、建築、設備、警察科学(機械)	120分	試験職種ごとに、それぞれの専門的知識及び能力について、択一式による筆記試験(40問)
2次試験	論文試験	行政、警察行政、病院運営、化学、農学、畜産、林業、水産、総合土木、建築、設備、警察科学(機械)	60分	一般的課題により職務の遂行に必要な識見、判断力、思考力等についての記述試験(800字以内) ※内容(論理性・思考力)、表現・国語力等を評価 ※1次試験日に実施
	適性検査	行政、警察行政、病院運営、化学、農学、畜産、林業、水産、総合土木、建築、設備、警察科学(機械)	—	公務員としての適性について、作業検査法による検査
	面接試験	行政、警察行政、病院運営、化学、農学、畜産、林業、水産、総合土木、建築、設備、警察科学(機械)	—	人物について、グループワーク及び個別面接による試験(思考力・表現力、協調性・社会性、使命感・責任感、積極性、課題認識力・経験学習力等を評価)

●配点比率（令和2年度）

行政、警察行政、病院運営					合計
1次試験		2次試験			
教養試験	専門試験	論文試験	グループワーク	個別面接	
50	50	50	150		300

化学、心理、農学、畜産、林業、水産、総合土木、建築、設備、警察科学(機械)					合計
1次試験		2次試験			
教養試験	専門試験	論文試験	グループワーク	個別面接	
40	60	50	150		300

保健師					合計
1次試験		2次試験			
教養試験	専門試験	論文試験	グループワーク	個別面接	
—	100	50	150		300

●筆記試験 出題科目一覧（令和2年度）

試験種目	区分	試験内容・出題科目など
教 養 択 一	行政、警察行政、病院運営、化学、農学、畜産、林業、水産、総合土木、建築、機械、電気	社会科学、人文科学、自然科学、文章理解、判断推理、数的推理、資料解釈
専 門 択 一	行政、警察行政、病院運営	政治学、行政学、憲法、行政法、民法、刑法、労働法、経済学、財政学、社会政策、国際関係
	化学	数学・物理、物理化学、分析化学、無機化学・無機工業化学、有機化学・有機工業化学、化学工学
	農学	栽培学汎論、作物学、園芸学、育種遺伝学、植物病理学、昆虫学、土壌肥科学、植物生理学、畜産一般、農業経済一般
	畜産	家畜育種学、家畜繁殖学、家畜生理学、家畜飼養学、家畜栄養学、飼料学、家畜管理学、畜産物利用学、畜産経営一般
	林業	森林政策・森林経営学、造林学(森林生態学、森林保護学を含む。)、林業工学、林産一般、矚功工学
	水産	水産事情・水産経済・水産法規、水産環境科学、水産生物学、水産資源学、漁業学、増養殖学、水産化学、水産利用学
	総合土木	受験申込時に、土木又は農業土木のいずれかの出題分野を選択し申込み(受験申込後の変更は認めません。) 【土木】 数学・物理、応用力学、水理学、土質工学、測量、都市計画、土木計画、材料・施工 【農業土木】 数学、応用力学、水理学、測量、土壌物理、農業水利・土地改良・農村環境整備、農業土木構造物、材料・施工、農業機械、農学一般
	建築	数学・物理、構造力学、材料学、環境原論、建築史、建築構造、建築計画、都市計画、建築設備、建築施工
	設備	受験申込時に、「機械」又は「電気」のいずれかの出題分野を選択し申込み。 【機械】 数学・物理、材料力学、流体力学、熱力学、電気工学、機械力学・制御、機械設計、機械材料、機械工作 【電気】 数学・物理、電磁気学・電気回路、電気計測・制御、電気機器・電力工学、電子工学、情報・通信工学
警察科学(機械)	数学・物理、材料力学、流体力学、熱力学、電気工学、機械力学・制御、機械設計、機械材料、機械工作	

●合格者の決定方法（令和2年度）

1 次 試 験	各試験種目の合計得点の高い順に決定します。
2 次 試 験	第1次試験及び第2次試験の総合得点による順位で決定します。

●試験実施状況（令和2年度）

区分	採用予定	申込者	1次受験者	最終合格者	最終倍率
行 政	63	344	265	63	4.2
警 察 行 政	5	23	18	5	3.6
病 院 運 営	4	8	6	4	1.5
化 学	1	10	7	1	7.0
心 理	3	6	6	3	2.0
福 祉	8	18	17	8	2.1
農 学	4	16	14	4	3.5
畜 産	1	3	3	1	3.0
林 業	6	8	7	6	1.2
水 産	3	10	9	3	3.0
総 合 土 木	32	52	46	32	1.4
建 築	4	7	6	4	1.5
設 備	3	13	8	3	2.7
警 察 科 学 (機 械)	1	7	6	1	6.0

一般行政A、農学、畜産、林学、水産、総合土木A、建築、機械、電気、総合化学

●受験資格（令和2年度）

共 通	昭和63年4月2日から平成11年4月1日までに生まれた者
-----	------------------------------

●試験日程（令和2年度）

受験申込受付(WEB)	5月7日(木)～5月22日(金)
1次試験日	6月28日(日)
1次試験合格発表日	7月3日(金)
2次試験日	7月9日(木)～7月17日(金)
3次試験日	8月3日(月)～8月7日(金)
最終合格発表日	8月18日(火)

●試験概要（令和2年度）

試験種目		区分	解答時間	試験内容
1次試験	教養試験	一般行政A、社会福祉、心理、農学、畜産、林学、水産、総合土木A、建築、機械、電気、総合化学	120分	公務員として必要な一般的知識及び知能についての筆記試験(多肢選択式、50題中40題選択解答)
	専門試験	一般行政A、社会福祉、心理、農学、畜産、林学、水産、総合土木A、建築、機械、電気、総合化学	120分	多肢選択式40題解答 各職種に応じた専門的知識等についての筆記試験(一般行政Aは、10題の必須解答を含む50題中40題の選択解答制)、(総合土木A及び総合化学は、50題中40題の選択解答制)
2次試験	論文試験	一般行政A、社会福祉、心理、農学、畜産、林学、水産、総合土木A、建築、機械、電気、総合化学	80分	各職種に応じた識見、表現力、判断力、思考力等についての筆記試験(1題) ※1次試験の日に行います。 ※一般行政A以外では1次の配点です。
	人物試験	一般行政A、社会福祉、心理、農学、畜産、林学、水産、総合土木A、建築、機械、電気、総合化学	—	適性などをみるための個別面接、グループワーク及び適性検査 ※一般行政A以外では個別面接を1日に2回実施し、グループワークは行いません。
	身体検査	一般行政A、農学、社会福祉、心理、畜産、林学、水産、総合土木A、建築、機械、電気、総合化学	—	職務遂行に必要な健康度を有するかどうかを見るための検査(健康についての問診票の提出)
3次試験	人物試験	一般行政A	—	適性などをみるための個別面接

●配点比率（令和2年度）

一般行政A					合計
1次試験		2次試験		3次試験	
教養試験	専門試験	論文試験	人物試験	人物試験	
200	300	100	400	300	1,300

社会福祉、心理、農学、畜産、林学、水産、総合土木A、建築、機械、電気、総合化学					合計
1次試験		2次試験			
教養試験	専門試験	論文試験	人物試験	人物試験	
200	300	100	650		1,250

●筆記試験 出題科目一覧 (令和2年度)

試験種目	区分	試験内容・出題科目など
教 養 択 一	共通	社会、人文、自然、文章理解、判断推理、数的推理、資料解釈、現代の社会に関する問題
専 門 択 一	一般行政A	【必須解答】10 題 行政学、行政法、民法、経済学、財政学、 【選択解答】40 題中 30 題 政治学、行政学、憲法、行政法、民法、刑法、労働法、経済学、財政学、社会政策、国際関係
	農学	栽培学汎論、作物学、園芸学、育種遺伝学、植物病理学、昆虫学、土壤肥科学、植物生理学、畜産一般、農業経済一般
	畜産	家畜育種学、家畜繁殖学、家畜生理学、家畜飼養学、家畜栄養学、飼料学、家畜管理學、畜産物利用学、畜産経営一般
	林学	森林政策・森林経営学、造林学(森林生態学、森林保護学を含む。)、林業工学、林産一般、砂防工学
	水産	水産事情・水産経済・水産法規、水産環境科学、水産生物学、水産資源学、漁業学、増養殖学、水産化学、水産利用学
	総合土木A	数学・物理、応用力学、水理学、土質工学、測量、材料・施工、都市計画、土木計画、農業水利・土地改良・農村環境整備、農業土木構造物
	建築	数学・物理、構造力学、材料学、環境原論、建築史、建築構造、建築計画、都市計画、建築設備、建築施工
	機械	数学・物理、材料力学、流体力学、熱力学、電気工学、機械力学・制御、機械設計、機械材料、機械工作
	電気	数学・物理、電磁気学・電気回路、電気計測・制御、電気機器・電力工学、電子工学、情報・通信工学
	総合化学	数学・物理、物理化学、分析化学、無機化学・無機工業化学、有機化学・有機工業化学、化学工学、生物有機化学、生物化学、土壤学・植物栄養学、食品科学、応用微生物学

●合格者の決定方法 (令和2年度)

1 次 試 験	第1次試験、第2次試験及び第3次試験の合格者は、各試験までの合計得点により決定します。 各試験方法において、一定の基準に達しない試験方法が1つでもある場合には、他の試験方法の結果に関わらず不合格となります。
2 次 試 験	
3 次 試 験	

●試験実施状況 (令和2年度)

区分	採用予定	申込者	1次受験者	1次合格者	最終合格者	最終倍率
一 般 行 政 A	61	302	231	152	78	3.0
農 学	15	26	21	21	18	1.2
畜 産	2	2	2	2	1	2.0
林 学	4	10	8	6	5	1.6
水 産	2	17	11	6	2	5.5
総 合 土 木 A	22	42	37	35	28	1.3
建 築	3	5	5	4	3	1.7
機 械	1	2	2	2	1	2.0
電 気	3	9	8	8	3	2.7
総 合 化 学	6	16	12	11	7	1.7

大学卒業程度 行政、総合土木、建築、農業、水産、林業、畜産、園芸、農芸化学

●受験資格（令和2年度）

共	通	昭和60年4月2日から平成11年4月1日までに生まれた者
---	---	------------------------------

●試験日程（令和2年度）

受験申込受付(WEB)	5月8日(金)～5月29日(金)
1次試験日	6月28日(日)
1次試験合格発表日	7月9日(木)
2次試験日	7月27日(月)～8月5日(水)
最終合格発表日	8月下旬

●試験概要（令和2年度）

試験種目	区分	解答時間	試験内容
1次試験	教養試験	150分	択一式(50問) 公務員として必要な大学卒業程度の一般知識及び知能についての筆記試験
	専門試験	120分	択一式(40問) 各職種に応じて必要な大学卒業程度の専門的知識についての筆記試験
2次試験	論文試験	120分	公務員として必要な識見、判断力、思考力等についての筆記試験(1,600字)
		80分	公務員として必要な識見、判断力、思考力等についての筆記試験(1,200字)
	適性検査	—	職務を行うのに必要な適性についての検査
	人物試験	—	個別面接、集団討論 公務員としての適格性についての人物面からの試験

●配点比率（令和2年度）

行政、少年警察補導員、総合土木、建築、農業、水産、林業、畜産、園芸、農芸化学、福祉、心理、				
1次試験		2次試験		合計
教養試験	専門試験(択一式)	論文試験	人物試験	
100	100	100	300	600

●筆記試験 出題科目一覧（令和2年度）

試験種目	区分	試験内容・出題科目など
教養試験（択一式）	行政、少年警察補導員、総合土木、建築、農業、水産、林業、畜産、園芸、農芸化学、	社会科学、人文科学、自然科学、文章理解、判断推理、数的推理、資料解釈
専門試験（択一式）	行政	政治学、行政学、憲法、行政法、民法、刑法、労働法、経済学、財政学、経営学、社会政策、国際関係
	少年警察補導員	社会福祉概論(社会保障を含む。), 社会学概論, 心理学概論(社会心理学を含む。), 教育心理学, 社会調査
	総合土木	数学・物理、応用力学、水理学、土質工学、測量、材料・施工、都市計画、土木計画、農業水利・土地改良・農村環境整備、農業土木構造物
	建築	数学・物理、構造力学、材料学、環境原論、建築史、建築構造、建築計画、都市計画、建築設備、建築施工
	農業	栽培学汎論、作物学、園芸学、育種遺伝学、植物病理学、昆虫学、土壤肥科学、植物生理学、畜産一般、農業経済一般
	水産	水産事情・水産経済・水産法規、水産環境科学、水産生物学、水産資源学、漁業学、増養殖学、水産化学、水産利用学
	林業	森林政策・森林経営学、造林学(森林生態学、森林保護学を含む。)、林業工学、林産一般、砂防工学
	畜産	家畜育種学、家畜繁殖学、家畜生理学、家畜飼養学、家畜栄養学、飼料学、家畜管理学、畜産物利用学、畜産経営一般
	園芸	果樹園芸学、蔬菜園芸学、花卉園芸学、施設環境学、作物学、育種遺伝学、植物病理学、昆虫学、土壤肥科学、植物生理学、農業経済一般
	農芸化学	一般化学、分析化学、有機化学、生物有機化学、生物化学、土壌学・植物栄養学、食品科学、応用微生物学

●合格者の決定方法（令和2年度）

最終合格者	第1次試験、第2次試験の結果を総合して決定します。 各試験種目において、それぞれの合格基準に満たない種目がある場合は、他の成績にかかわらず不合格になります。
-------	---

●試験実施状況（令和2年度）

区分	採用予定	申込者	1次受験者	1次合格者	2次受験者	最終合格者	最終倍率
行政	65	566	418	184	173	89	4.7
少年警察補導員	5	15	12	6	5	3	4.0
総合土木	15	42	26	17	17	9	2.9
建築	10	14	12	8	8	5	2.4
農業	10	27	22	18	17	12	1.8
水産	5	19	16	12	11	7	2.3
林業	5	10	8	4	4	4	2.0
畜産	5	11	10	9	8	5	2.0
園芸	5	7	5	4	4	4	1.3
農芸化学	5	12	9	7	6	4	2.3

●受験資格（令和2年度）

共 通	昭和61年4月2日から平成11年4月1日までにご生まれた者
-----	-------------------------------

●試験日程（令和2年度）

受験申込受付(WEB)	5月12日(火)～5月25日(月)
1次試験日	6月28日(日)
1次試験合格発表日	7月上旬
2次試験日	7月14日(火)～7月15日(水)および8月上旬
2次試験合格発表日	8月下旬

●試験概要（令和2年度）

試験種目		区分	解答時間	試験内容
1次試験	教養試験	各試験区分共通	120分	択一式(40問)
	専門試験	行政A、警察事務、化学、農芸化学、動物・食品衛生、農学(一般)、動物・食品衛生、農業農村工学、畜産、水産、林学、電気、土木、建築、少年補導職員	120分	択一式(40問)
	論文試験Ⅰ	各試験区分共通	60分	記述式(1問) 文章による課題把握力、論理的思考力、文章表現力等を問う試験(論文用紙1枚800字以内) ※評価は2次試験で行います。
	論文試験Ⅱ	行政BⅠ、Ⅱ	60分	記述式(1問) 試験区分に関連した課題の小論文によって、積極性、創造性、将来性や県政への意欲を問う試験(論文用紙1枚800字以内)
2次試験	口述試験	行政A、教育行政、警察事務、心理判定、化学、農芸化学、動物・食品衛生、農学(一般)、農業農村工学、畜産、水産、林学、電気、土木A、建築、教育行政、司書	—	集団面接
		行政A、警察事務、化学、農芸化学、農学(一般)、農業農村工学、動物・食品衛生、畜産、水産、林学、電気、土木、建築、少年補導職員	—	個別面接
		行政B	—	プレゼンテーション面接
	適性検査	行政A、教育行政、警察事務、心理判定、化学、農芸化学、農学(一般)、動物・食品衛生、農業農村工学、畜産、水産、林学、電気、土木A、建築、教育行政、司書、警察事務、少年補導職員	—	職務遂行に必要な適性についての検査
	身体検査(電気のみ)	電気	—	色覚について、職務遂行に支障がないかどうかの調査
	身体精密検査	少年補導職員	—	Ⅰ両眼とも裸眼視力が0.6以上、または矯正視力が1.0以上 Ⅱ色覚が職務遂行に支障がないこと Ⅲ健康であるかを診断書を提出することで確認

●配点比率（令和2年度）

行政A、化学、農芸化学、農学(一般)、農業農村工学、畜産、水産、林学、電気、土木A、建築、教育行政、司書					
一次試験		二次試験			合計
教養試験	専門試験	論文試験Ⅰ	集団面接	個別面接	
100	150	50	100	200	600

警察事務、少年補導職員				
一次試験		二次試験		合計
教養試験	専門試験	論文試験Ⅰ	個別面接	
100	150	50	300	600

行政BⅠ・Ⅱ					
一次試験		二次試験			合計
教養試験	論文試験Ⅱ	論文試験Ⅰ	集団面接	プレゼンテーション面接	
100	50	50	100	300	600

●筆記試験 出題科目一覧（令和2年度）

試験種目	区分	試験内容・出題科目など
教養試験	各試験区分共通	社会、人文、自然、文章理解、判断推理、数的推理・資料解釈
専門試験	行政A、警察事務、教育行政	政治学、行政学、憲法、行政法、民法、刑法、労働法、経済学、財政学、社会政策、国際関係
	心理判定	一般心理学(心理学史、発達心理学、社会心理学を含む)、応用心理学(教育心理学・産業心理学・臨床心理学)、調査・研究法、統計学
	化学	数学・物理、物理化学、分析化学、無機化学・無機工業化学、有機化学・有機工業化学、化学工学
	農芸化学	一般化学、分析化学、有機化学、生物有機化学、生物化学、土壌学・植物栄養学、食品科学、応用微生物学
	農学(一般)	栽培学汎論、作物学、園芸学、育種遺伝学、植物病理学、昆虫学、土壌肥料学、植物生理学、畜産一般、農業経済一般
	農業農村工学	数学、応用力学、水理学、測量、土壌物理、農業水利・土地改良・農村環境整備、農業土木構造物、材料・施工、農業機械、農学一般
	動物・食品衛生	家畜繁殖学、家畜繁殖学、家畜生理学、家畜飼養学、家畜栄養学、飼料学、家畜管理学、畜産物利用学、畜産経営一般
	畜産	家畜繁殖学、家畜繁殖学、家畜生理学、家畜飼養学、家畜栄養学、飼料学、家畜管理学、畜産物利用学、畜産経営一般
	水産	水産事情・水産経済・水産法規、水産環境科学、水産生物学、水産資源学、漁業学、増養殖学、水産化学、水産利用学
	林学	森林政策・森林経営学、造林学、林業工学、林産一般、砌防工学
	電気	数学・物理、電磁気学・電気回路、電気計測・制御、電気機器・電力工学、電子工学、情報・通信工学
	土木A	数学・物理、応用力学、水理学、土質工学、測量、都市計画、土木計画、材料・施工
	建築	数学・物理、構造力学、材料学、環境原論、建築史、建築構造、建築計画、都市計画、建築設備、建築施工
少年補導職員	政治学、行政学、憲法、行政法、民法、刑法、労働法、財政学、社会政策、国際関係、一般心理学(心理学史、発達心理学、社会心理学を含む)、応用心理学(教育心理学)	

●合格者の決定方法（令和2年度）

1次試験	行政BⅠ・Ⅱ以外の区分 第1次試験合格者は、総合得点の高い人から成績順に決定します。総合得点は、教養試験及び専門試験の合計得点。
	行政BⅠ・Ⅱ 教養試験及び論文試験Ⅱの合計点(教養試験の得点が一定の基準に達しない場合は、論文試験Ⅱは採点されません。)
最終試験合格者	論文試験Ⅰ及び口述試験の合計得点を第2次試験の得点とします。 最終合格者は、第1次試験及び第2次試験の合計得点の高い人から成績順に決定します。ただし、第1次試験及び第2次試験の合計得点が、一定の基準に達しない場合は、不合格となります。 ※行政B区分以外のすべての試験種において、英検や TOEIC、TOEFL、韓国語、中国語、ロシア語等の資格試験による第2次試験の総合得点への6点分の加算あり

●試験実施状況（令和2年度）

区分	採用予定	申込者	1次受験者	1次合格者	2次受験者	最終合格者	最終倍率
行政 A	29	268	243	59	58	44	5.5
心理判定	5	6	6	3	3	3	2.0
行政 B I	1	6	4	2	2	1	4.0
行政 B II	1	0	0	0	0	0	—
化学	3	12	11	8	7	5	2.2
農芸化学	2	5	4	3	3	2	2.0
農学（一般）	11	19	16	13	11	10	1.6
農業農村工学	4	6	4	4	4	4	1.0
畜産	2	4	4	3	3	2	2.0
水産	1	3	2	1	1	1	2.0
林学	5	4	3	3	3	3	1.0
電気	1	6	5	3	2	2	2.5
土木 A	6	15	14	10	10	6	2.3
建築	2	5	5	4	4	3	1.7
警察事務	5	33	25	15	15	4	6.3
少年補導職員	2	5	4	1	1	0	—

●受験資格（令和2年度）

共 通	昭和56年4月2日から平成11年4月1日までに生まれた者
-----	------------------------------

●試験日程（令和2年度）

受験申込受付(WEB)	5月15日(金)～6月4日(木)
1 次 試 験 日	6月28日(日)
1次試験合格発表日	7月6日(月)
2 次 試 験 日	1回目 7月11日(土) 2回目 7月22日(水)～8月4日(火)のうち指定する1日
最終合格発表日	8月中旬

●試験概要（令和2年度）

試験種目		区分	解答時間	試験内容
1次試験	教養試験	行政、警察行政、病院経営、総合土木、建築、化学、一般農業(農業)、一般農業(畜産)、林業、水産、電気、工業化学、警察建築	150分	多肢選択式(50問) 一般的な知識及び知能について、大学卒業程度の筆記試験
	専門試験	行政、警察行政、病院経営、総合土木、建築、化学、一般農業(農業)、一般農業(畜産)、林業、水産、電気、工業化学、警察建築	120分	多肢選択式(40問) それぞれの試験区分に応じた専門的な知識、技術その他の能力について、大学卒業程度の筆記試験
2次試験	論文試験	行政、警察行政、病院経営、総合土木、建築、化学、一般農業(農業)、一般農業(畜産)、林業、水産、電気、工業化学、警察建築	60分	論文記述式 総合的な判断力、思考力その他の能力についての筆記試験 (制限字数1,000字) ※第1次試験日に実施。
	人物試験	行政、警察行政、病院経営、総合土木、建築、化学、一般農業(農業)、一般農業(畜産)、林業、水産、電気、工業化学、警察建築	—	口述による個別面接(行政のみ2回実施)、集団討論及び適性検査及び外国語試験調査 ※適性検査は第1次試験日に実施。

●配点比率（令和2年度）

行政						合計
1次試験		2次試験			合計	
教養試験	専門試験	論文試験	集団討論	個別面接1		個別面接2
150	150	100	100	100	300	900

警察行政、病院経営、総合土木、建築、化学、一般農業(農業)、一般農業(畜産)、林業、水産、電気、工業化学、警察建築						合計
1次試験		2次試験			合計	
教養試験	専門試験	論文試験	集団討論	個別面接		
150	150	100	100	300		800

●筆記試験 出題科目一覧（令和2年度）

試験種目	区分	試験内容・出題科目など
教 養 試 験	行政、警察行政、病院経営、総合土木、建築、化学、一般農業(農業)、一般農業(畜産)、林業、水産、電気、工業化学、警察保健	社会、人文、自然、文章理解、判断推理、数的推理・資料解釈
	専 門 試 験	政治学、行政学、憲法、行政法、民法、刑法、労働法、経済学、財政学、社会政策、国際関係、経営学
	警察行政	政治学、行政学、憲法、行政法、民法、刑法、労働法、経済学、財政学、社会政策、国際関係、経営学
	病院経営	政治学、行政学、憲法、行政法、民法、刑法、労働法、経済学、財政学、社会政策、経営学、統計学
	総合土木	数学・物理、応用力学、水理学、土質工学、測量、都市計画、土木計画、材料・施工、農業水利・土地改良・農村環境整備、農業土木構造物
	建築	数学・物理、構造力学、材料学、環境原論、建築史、建築構造、建築計画、都市計画、建築設備、建築施工
	一般農業(農業)	栽培学汎論、作物学、園芸学、育種遺伝学、植物病理学、昆虫学、土壤肥科学、植物生理学、畜産一般、農業経済一般、食品科学、家政学一般、農村計画
	一般農業(畜産)	栽培学汎論、作物学、土壤肥科学、農業経済一般、食品科学、家畜育種学、家畜繁殖学、家畜生理学、家畜飼養学、家畜栄養学、飼料学、家畜管理学、畜産物利用学、畜産経営一般
	林業	森林政策・森林経営学、造林学(森林生態学、森林保護学を含む。)、林業工学、林産一般、砂防工学
	水産	水産事情・水産経済・水産法規、水産環境科学、水産生物学、水産資源学、漁業学、増養殖学、水産化学、水産利用学
	電気	数学・物理、電磁気学・電気回路、電気計測・制御、電気機器・電力工学、電子工学、情報・通信工学
	工業化学、化学	数学・物理、物理化学、分析化学、無機化学・無機工業化学、有機化学・有機工業化学、化学工学
	警察建築	数学・物理、構造力学、材料学、環境原論、建築史、建築構造、建築計画、都市計画、建築設備、建築施工

●合格者の決定方法（令和2年度）

1 次 試 験	第1次試験合格者は、第1次試験の試験種目についての結果に基づき決定します。
最 終 試 験 合 格 者	最終合格者は、第2次試験の試験種目についての結果に基づき決定します。 ※英検やTOEIC、TOEFL、中国語や韓国語の資格試験の得点に応じて、行政区分は20点、行政以外の区分は15点を、第2次試験で実施する人物試験で加算します。

●試験実施状況（令和2年度）

区分	採用予定	申込者	1次受験者	1次合格者	2次受験者	最終合格者	最終倍率
行 政	60	377	300	112	105	63	4.8
警 察 行 政	5	51	46	18	16	8	5.8
病 院 経 営	5	13	11	6	6	4	2.8
総合土木	10	30	25	16	15	13	1.9
建 築	若干名	3	3	2	1	1	3.0
化 学	5	17	10	6	6	3	3.3
一 般 農 業 (農 業)	5	26	23	15	14	8	2.9
一 般 農 業 (畜 産)	若干名	8	7	5	5	2	3.5
林 業	5	11	7	5	5	3	2.3
水 産	若干名	8	6	4	4	1	6.0
電 気	5	15	12	9	8	4	3.0
工 業 化 学	若干名	6	5	4	3	1	5.0
警 察 建 築	若干名	1	1	0	0	0	-

●受験資格（令和2年度）

共 通	昭和60年4月2日から平成11年4月1日までに生まれた者
-----	------------------------------

●試験日程（令和2年度）

受験申込受付(WEB)	4月16日(木)～5月22日(金)
1次試験日	6月28日(日)
1次試験合格発表日	7月7日(火)
2次試験日	7月15日(水)～7月20日(月)および7月31日(金)～8月7日(金)のうち指定する1日
最終合格発表日	8月19日(水)

●試験概要（令和2年度）

試験種目		区分	解答時間	試験内容
1次試験	教養試験	行政事務、警察事務	120分	多肢選択式(40問) 職員として必要な一般的知識及び知能についての筆記試験
		農業、農業土木、林業、 土木、建築、化学、農芸 化学、薬学、畜産、機械	60分	多肢選択式(20問) 職員として必要な一般的知識及び知能についての筆記試験
	専門試験	行政事務、警察事務	60分	多肢選択式(20問) 職員として必要な専門知識、技術及び能力についての筆記試験
		農業、農業土木、林業、 土木、建築、化学、農芸 化学、薬学、畜産、機械	120分	多肢選択式(40問) 職員として必要な専門知識、技術及び能力についての筆記試験
	論文試験	行政事務、警察事務 農業、農業土木、林業、 土木、建築、化学、農芸 化学、薬学、畜産、機械	60分	職員として必要な論理性、表現力等についての記述式による筆記試験(800字以内) ※評価は2次試験で行います。
2次試験	口述試験	行政事務、警察事務 農業、農業土木、林業、 土木、建築、化学、農芸 化学、薬学、畜産、機械	—	学業、サークル活動、ボランティアなどの社会貢献活動をはじめとした幅広い経験などに着目して職員としての素質を見る個別面接(2回)
	適性検査	行政事務、警察事務 農業、農業土木、林業、 土木、建築、化学、農芸 化学、薬学、畜産、機械	—	職務遂行に必要な適性についての検査

●配点比率（令和2年度）

行政事務、警察事務、農業、農業土木、林業、土木、建築、化学、農芸化学、薬学、畜産、機械				
1次試験		2次試験		合計
教養試験	専門試験	論文試験	口述試験	
180		30	220	430

●筆記試験 出題科目一覧 (令和2年度)

試験種目	区分	試験内容・出題科目など
教 養 試 験	行政事務、警察事務	社会科学⑤、人文科学⑨、自然科学⑤、文章理解⑥、判断推理⑨、数的推理・資料解釈⑥
	農業、農業土木、林業、土木、建築、化学、農芸化学、薬学、畜産、機械、心理、福祉	社会科学④、文章理解④、判断推理⑥、数的推理・資料解釈⑥
専 門 試 験	行政事務、警察事務	憲法④、行政法⑤、経済学⑧、財政学③
	農業	栽培学汎論⑤、作物学⑤、園芸学⑤、育種遺伝学⑤、植物病理学④、昆虫学④、土壌肥科学④、植物生理学④、畜産一般②、農業経済一般②
	農業土木	数学③、応用力学③、水理学④、測量②、土壌物理②、農業水利・土地改良・農村環境整備④、農業土木構造物⑤、材料・施工②、農業機械②、農学一般③
	林業	森林政策・森林経営学⑬、造林学(森林生態学、森林保護学を含む。)⑫、林業工学④、林産一般⑤、砂防工学⑥
	土木	数学・物理⑩、応用力学⑥、水理学⑥、土質工学④、測量②、都市計画②、土木計画⑥、材料・施工④
	建築	数学・物理⑩、構造力学⑤、材料学②、環境原論④、建築史②、建築構造④、建築計画⑤、都市計画③、建築設備②、建築施工③
	化学	数学・物理⑦、物理化学⑨、分析化学③、無機化学・無機工業化学⑥、有機化学・有機工業化学⑨、化学工学⑥
	農芸化学	一般化学④、分析化学④、有機化学⑥、生物有機化学②、生物化学⑥、土壌学・植物栄養学⑥、食品科学⑥、応用微生物学⑥
	薬学	物理・化学・生物⑨、衛生⑥、薬理⑥、薬剤⑥、病態・薬物治療⑦、法規・制度③、実務③
	畜産	家畜育種学⑤、家畜繁殖学④、家畜生理学④、家畜飼養学④、家畜栄養学④、飼料学③、家畜管理学⑥、畜産物利用学⑤、畜産経営一般⑤
	機械	数学・物理⑩、材料力学④、流体力学④、熱力学④、電気工学②、機械力学・制御④、機械設計⑥、機械材料③、機械工作③

●合格者の決定方法 (令和2年度)

1 次 試 験	第1次試験合格者は、教養試験と専門試験の合計得点の高い順に決定されます。
最 終 試 験 合 格 者	第2次試験は第1次試験合格者に対して行い、最終合格者は第1次試験と第2次試験の合計得点の高い順に決定されます。

●試験実施状況 (令和2年度)

区分	採用予定	申込者	1次受験者	1次合格者	2次受験者	最終合格者	最終倍率
行 政 事 務	70	591	418	147	140	94	4.4
警 察 事 務	5	40	27	15	15	5	5.4
農	11	35	26	24	23	13	2.0
農 業 土 木	11	18	12	12	10	8	1.5
林 業	7	15	12	9	9	9	1.3
土 木	18	30	20	18	16	14	1.4
建 築	3	10	9	9	8	4	2.3
化 学	6	21	17	14	14	6	2.8
農 芸 化 学	1	8	8	7	7	4	2.0
薬 学	5	3	2	2	2	2	1.0
畜 産	5	7	6	6	6	4	1.5
機 械	1	8	8	4	4	2	4.0

●受験資格（令和2年度）

薬剤師及び獣医師 以外の職種	平成3年4月2日から平成11年4月1日までに生まれた者
-------------------	-----------------------------

●試験日程（令和2年度）

受験申込受付(WEB)	5月14日(木)～5月29日(金)
1次試験日	6月28日(日)
1次試験合格発表日	7月7日(火)
2次試験日	7月15日(水)～8月24日(月)
最終合格発表日	9月1日(火)

●試験概要（令和2年度）

試験種目		区分	解答時間	試験内容
1次試験	教養試験	事務(知事部局等)、事務(警察本部)、電気、機械、土木、建築、化学、農業、農業土木、畜産、林業、水産	120分	択一式(50問中40問解答) 筆記試験とし、公務員として必要な一般の知識、知能について大学で履修した程度の問題を出題します。知識分野の問題は30問出題し、20問を選択して解答。知能分野の問題は20問出題し、全問必須解答です。
	専門試験	事務(知事部局等)、事務(警察本部)	120分	択一式(50問中40問解答) 筆記試験とし、職種に応じた専門的知識、能力、技術等について大学で履修した程度の問題を出題します。
		電気、機械、土木、建築、化学、農業、農業土木、畜産、林業、水産	120分	択一式(40問必須解答) 筆記試験とし、職種に応じた専門的知識、能力、技術等について大学で履修した程度の問題を出題します。
2次試験	論文試験	事務(知事部局等)、事務(警察本部)、電気、機械、土木、建築、化学、農業、農業土木、畜産、林業、水産	80分	文章による表現力、課題に対する理解力等をみます。 (制限字数1,000字程度) ※第1次試験日に実施
	口述試験	事務(知事部局等)、事務(警察本部)、電気、機械、土木、建築、化学、農業、農業土木、畜産、林業、水産	—	主として人物についての評定を行うものとし、個別面接(2回)及び集団討論を実施します。
	適性検査	事務(知事部局等)、事務(警察本部)、電気、機械、土木、建築、化学、農業、農業土木、畜産、林業、水産	—	通常の職務遂行に必要な適性の有無について検査します。

●配点比率（令和2年度）

事務(知事部局等)、事務(警察本部)					合計
1次試験		2次試験			
教養試験	専門試験	論文試験	集団討論	個別面接	
150	150	50	100	250	700

電気、機械、土木、建築、化学、農業、農業土木、畜産、林業、水産					合計
1次試験		2次試験			
教養試験	専門試験	論文試験	集団討論	個別面接	
120	180	50	100	250	700

●筆記試験 出題科目一覧 (令和2年度)

試験種目	区分	試験内容・出題科目など
教 養 試 験	事務(知事部局等)、事務(警察本部)、電気、機械、土木、建築、化学、農業、農業土木、畜産、林業、水産	知識分野⑩(社会科学、人文科学、自然科学、時事一般)、知能分野⑩(文章理解(英語を含む)、判断推理、数的推理、資料解釈)、
専 門 試 験	事務	政治学②、行政学②、憲法④、行政法⑤、民法⑥、刑法②、労働法②、経済原論・経済政策・経済史⑬、財政学④、経営学②、社会政策③、国際関係③
	電気	数学・物理⑩、電磁気学・電気回路⑩、電気計測・制御④、電気機器・電力工学⑥、電子工学⑥、情報・通信工学④
	機械	数学・物理⑩、材料力学④、流体力学④、熱力学④、電気工学②、機械力学・制御④、機械設計⑥、機械材料③、機械工作③
	土木	数学・物理⑩、応用力学⑥、水理学⑥、土質工学④、測量②、材料・施工④、都市計画②、土木計画⑥
	建築	数学・物理⑩、材料学②、構造力学⑤、環境原論④、建築史②、建築構造④、建築計画⑤、都市計画③、建築設備②、建築施工③
	化学	数学・物理⑦、物理化学⑨、分析化学③、無機化学・無機工業化学⑥、有機化学・有機工業化学⑨、化学工学⑥
	農業	栽培学汎論⑤、作物学⑤、園芸学⑤、育種遺伝学⑤、植物病理学④、昆虫学④、土壤肥科学④、植物生理学④、畜産一般②、農業経済一般②
	農業土木	数学③、応用力学③、水理学④、測量②、土壤物理②、農業水利・土地改良・農村環境整備④、農業土木構造物⑤、材料・施工②、農業機械②、農学一般③
	畜産	家畜育種学⑤、家畜繁殖学④、家畜飼養学④、家畜生理学④、畜産経営一般⑤、畜産物利用学⑤、家畜管理学⑥、飼料学③、家畜栄養学④
	林業	森林政策・森林経営学⑬、造林学⑭(森林生態学、森林保護学を含む。)、林業工学④、林産一般⑤、砂防工学⑥
水産	水産事情・水産経済・水産法規⑧、水産環境科学⑤、水産生物学⑤、水産資源学④、漁業学④、増養殖学④、水産化学⑤、水産利用学⑤	

※○の数字は出題予定数

●合格者の決定方法 (令和2年度)

最 終 合 格 者	合格者は、全ての試験項目の基準点を満たし、かつ、適性検査が適当と認められる人のうち、合計点の高い人から成績順に決定します。
-----------	---

●試験実施状況 (令和2年度)

区分	採用予定	申込者	1次受験者	1次合格者	2次受験者	最終合格者	最終倍率
事務(知事部局等)	67	757	580	186	178	86	6.7
事務(警察本部)	8	60	38	19	19	11	3.5
電 気	1	20	13	5	5	2	6.5
機 械	1	8	4	4	3	1	4.0
土 木	9	43	37	29	27	12	3.1
建 築	3	4	4	4	4	2	2.0
化 学	3	27	21	10	9	5	4.2
農 業	15	71	51	39	34	18	2.8
農 業 土 木	4	13	10	10	9	5	2.0
畜 産	3	15	10	9	9	4	2.5
林 業	6	14	9	6	5	4	2.3
水 産	5	30	16	12	9	4	4.0

行政、行政(福祉型)、総合土木、化学、農業、畜産、林業、建築、電気、機械、警察行政、小中学校事務、犯罪鑑識技術者

●受験資格（令和2年度）

行政、行政(福祉型) 総合土木	平成3年4月2日から平成11年4月1日までに生まれた者
化学、農業、畜産、林業、建築、電気、機械、水産、警察行政、小中学校事務	昭和63年4月2日から平成11年4月1日までに生まれた者

●試験日程（令和2年度）

受験申込受付(WEB)	4月24日(金)～5月15日(金)
1次試験日	6月28日(日)
1次試験合格発表日	7月7日(火)
2次試験日	行政、行政(福祉型)、総合土木化学、農業、畜産、林業、建築、電気、機械、水産、警察行政、小中学校事務 7月15日(水)～7月23日(木)のいずれか指定する1日と7月27日(月)～8月7日(金)のいずれか指定する1日
最終合格発表日	8月20日(木)

●試験概要（令和2年度）

試験種目	区分	解答時間	試験内容	
1次試験	教養試験	120分	択一式(50問中40問解答) 公務員として必要な一般的知識及び知能について、大学卒業程度の筆記試験を行います。(50問出題、20問必須解答、残り30問中20問選択解答)	
	専門試験	行政、総合土木、警察行政	120分	択一式(50問中40問解答) 各職種に応じた専門的知識及び能力について、択一式の筆記試験を行います。
		行政(福祉型)	120分	択一式合計40題解答 (福祉及び法律・経済の2分野から各25題出題各20題解答) 各職種に応じた専門的知識及び能力について、択一式の筆記試験を行います。
		化学、農業、畜産、林業、建築 電気、機械	120分	択一式合計40題解答 各職種に応じた専門的知識及び能力について、択一式の筆記試験を行います。
2次試験	論文試験	90分	公務員として必要な表現力、論理性等について、論文試験を行います。(1,100字程度) ※1次試験日に実施	
	口述試験	行政、行政(福祉型)、総合土木、化学、農業、畜産、林業、建築、電気、機械、警察行政、小中学校事務	約40分	口述試験Ⅰ あらかじめ提示した課題について受験者1名あたり2分程度(1グループ5名程度)で企画提案をした後、受験者間等で質疑応答などを行う集団面接を行います。
		行政、行政(福祉型)、総合土木、化学、農業、畜産、林業、建築、電気、機械、警察行政、小中学校事務	約30分	口述試験Ⅱ 主として人物について、個別面接試験を行います。
	適性検査	行政、行政(福祉型)、総合土木、化学、農業、畜産、林業、建築、電気、機械、警察行政、小中学校事務	—	公務員として必要な素質及び適性を有するかについて検査します。

●配点比率（令和2年度）

行政、行政(福祉型)、総合土木、化学、農業、畜産、林業、建築、電気、機械、警察行政					
1次試験		2次試験			合計
教養試験	専門試験	論文試験	口述試験Ⅰ	口述試験Ⅱ	
50	50	50	110	240	500

小中学校事務					
1次試験		2次試験			合計
教養試験		論文試験	口述試験Ⅰ	口述試験Ⅱ	
100		50	110	240	500

●筆記試験 出題科目一覧（令和2年度）

試験種目	区分	試験内容・出題科目など
教 養 試 験	行政、行政(福祉型)、総合土木、化学、農業、畜産、林業、建築、電気、機械、警察行政、小中学校事務	必須解答:文章理解、判断推理、数的推理、資料解釈 選択解答:社会科学、人文科学、自然科学
	専 門 試 験	行政、警察行政
	行政、警察行政	政治学、行政学、憲法、行政法、民法、刑法、労働法、経済学、経済原論、経済政策、経済史、財政学、社会政策、国際関係、経営学
	行政(福祉型)	【福祉分野】社会福祉概論(社会保障含む)、社会学概論、心理学概論(社会心理学含む)、社会調査 【法律・経済分野】行政学、憲法、行政法、民法、刑法、経済学、財政学、社会政策
	化学	数学・物理、物理化学、分析化学、無機化学、無機工業化学、有機化学・有機工業化学、化学工学
	農業	栽培学汎論、作物学、園芸学、育種遺伝学、植物病理学、昆虫学、土壤肥料学、植物生理学、畜産一般、農業経済一般
	畜産	家畜育種学、家畜繁殖学、家畜生理学、家畜飼養学、家畜栄養学、飼料学、家畜管理学、畜産物利用学、畜産経営一般
	林業	森林政策・森林経営学、造林学(森林生態学、森林保護学を含む。)、林業工学、林産一般、砂防工学
	総合土木	数学・物理、応用力学、水理学、土質工学、土壌物理、測量、材料・施工、都市計画、土木計画、農業水利・土地改良・農村環境整備、農業土木構造物
	建築	数学・物理、構造力学、材料学、環境原論、建築史、建築構造、建築計画、都市計画、建築設備、建築施工
	電気	数学・物理、電磁気学・電気回路、電気計測・制御、電気機器・電力工学、電子工学、情報・通信工学
	機械	数学・物理、材料力学、流体力学、熱力学、電気工学、機械力学・制御、機械設計、機械材料、機械工作

●合格者の決定方法（令和2年度）

最 終 合 格 者	最終合格者は、第1次試験の得点と第2次試験の得点を合計した総合得点の高い順に決定します。
-----------	--

●試験実施状況（令和2年度）

区分	採用予定	申込者	1次受験者	1次合格者	2次受験者	最終合格者	最終倍率
行 政	40	354	269	122	122	75	3.6
行 政 (福 祉 型)	10	15	12	9	9	6	2.0
化 学	5	38	27	15	14	7	3.9
農 業	20	36	30	27	27	18	1.7
畜 産	5	12	9	7	7	5	1.8
林 業	8	13	11	7	7	5	2.2
総 合 土 木	35	56	43	35	35	32	1.3
建 築	3	10	6	4	4	3	2.0
電 気	5	16	11	9	8	6	1.8
機 械	5	12	12	10	9	5	2.4
心 理	10	21	16	11	11	8	2.0
警 察 行 政	5	38	29	11	10	6	4.8
小 中 学 校 事 務	15	129	105	43	38	19	5.5

行政（特別枠）

●受験資格（令和2年度）

共 通	平成3年4月2日から平成11年4月1日までに生まれた者
-----	-----------------------------

●試験日程（令和2年度）

受験申込受付（WEB）	3月2日（月）～3月23日（月） ※追加募集 5月8日（金）～5月15日（金）
1次試験日	6月21日（日）
1次試験合格発表日	試験日程変更のため不明
2次試験日	7月23日（木）～7月26日（日）
最終合格発表日	8月20日（木）

●試験概要（令和2年度）

試験種目	区分	解答時間	試験内容
1次試験	基礎能力検査	行政（特別枠） 60分	択一式（120問） 一般的知識及び知能について択一式による筆記試験を行います。
	適性検査	行政（特別枠） 35分	職務遂行に必要な素質及び適性を有するかについて検査します。
	論文試験	行政（特別枠） 90分	表現力、論理性等について記述式による筆記試験を行います。 （1,100字程度）
2次試験	口述試験	行政（特別枠） 約40分	口述試験Ⅰ あらかじめ提示した課題について受験者1名当たり2分程度（1グループ5名程度）で企画提案した後、受験者間で質疑応答を行う 集団試験を行います。
		約30分	口述試験Ⅱ 主として人物について個別面接試験を行います。
資格調査	行政（特別枠）	—	受験資格の有無、申込書記載事項の真否等について調査します。

●配点比率（令和2年度）

行政（特別枠）				
1次試験		2次試験		合計
基礎能力検査	論文試験	口述試験Ⅰ	口述試験Ⅱ	
75	75	110	240	500

●筆記試験 出題科目一覧（令和2年度）

試験種目	区分	試験内容・出題科目など
基礎能力検査	行政（事務）	文章読解能力、数的能力、推理判断能力、時事・教養、基礎英語

●合格者の決定方法（令和2年度）

最終合格者	最終合格者は、第1次試験の得点と第2次試験の得点を合計した総合得点の高い順に決定します。ただし、基礎能力検査、論文試験及び口述試験Ⅱの得点にはそれぞれ合格基準を定めており、この基準に達しない場合は、他の試験の得点にかかわらず不合格となります。
-------	---

●試験実施状況（令和2年度）

区分	採用予定	申込者	1次受験者	1次合格者	2次受験者	最終合格者	最終倍率
行政（特別枠）	20	769	498	79	74	46	10.8

I 類試験 行政事務、森林、農業、化学、設備、建築、総合土木

●受験資格（令和2年度）

共 通	平成3年4月2日から平成11年4月1日までに生まれた者
-----	-----------------------------

●試験日程（令和2年度）

受験申込受付（WEB）	5月14日（木）～5月28日（木）
1 次 試 験 日	6月28日（日）
1次試験合格発表日	7月10日（金）
2 次 試 験 日	適性検査・論文試験 7月20日（月） 個別面接 7月22日（水）～7月30日（木）
2次試験合格発表日	8月14日（金）
3 次 試 験 日	8月21日（金）～8月26日（水）
最終合格発表日	9月4日（金）

●試験概要（令和2年度）

試験種目		区分	解答時間	試験内容
1次試験	教養試験	行政事務、森林、農業、 化学、設備、建築、 総合土木	120分	択一式(50問中40問解答) 公務員として必要な一般的知識及び知能について、大学卒業程度の試験を行います。 知識分野30問のうち20問を選択解答 知能分野20問は全問必須解答
		専門試験	120分	択一式(50問中40問解答) 各試験区分に応じて必要な専門的知識について、大学卒業程度の試験を行います。(必須解答なし)
	設備	120分	択一式(50問中40問解答) 各試験区分に応じて必要な専門的知識について、大学卒業程度の試験を行います。 50問のうち20問は必須解答、残り30問のうち20問を選択解答	
		森林、農業、化学、建築	120分	択一式(40問必須解答) 各試験区分に応じて必要な専門的知識について、大学卒業程度の試験を行います。
2次試験	人物試験	行政事務、森林、農業、 化学、設備、建築、 総合土木	—	個別面接及び適性検査を行い、人物について総合的に試験を行います。
	論文試験	行政事務、森林、農業、 化学、設備、建築、 総合土木	90分	識見、思考力、表現力等について試験を行います。(1200字) ※採点は3次試験で行います。
3次試験	人物試験	行政事務、森林、農業、 化学、設備、建築、 総合土木	—	個別面接(2回目)を行い、人物について試験を行います。 個別面接では、自己PRタイム(約1分間)を設けます。

●配点比率（令和2年度）

行政事務、森林、農業、化学、設備、建築、総合土木					
教養試験	専門試験	人物試験(2次)	人物試験(3次)	論文試験	合計
200	200	200	300	100	1000

●筆記試験 出題科目一覧（令和2年度）

試験種目	区分	試験内容・出題科目など
教 養 試 験	行政事務、森林、農業、 化学、設備、建築、 総合土木	【知識分野】社会科学、人文科学、自然科学 【知能分野】文章理解、判断推理、数的推理、資料解釈
	行政事務	政治学②、行政学②、憲法④、行政法⑤、民法⑥、刑法②、労働法②、経済学①、経済原論①、経済政策②、財政学④、経済史①、社会政策③、国際関係③、経営学②
専 門 試 験	森林	森林政策・森林経営学⑬、造林学⑫、林業工学④、林産一般⑤、砂防工学⑥
	農業	栽培学汎論⑤、作物学⑤、園芸学⑤、育種遺伝学⑤、植物病理学④、昆虫学④、土壤肥科学④、植物生理学④、畜産一般②、農業経済一般②
	化学	数学・物理⑦、物理化学⑨、分析化学③、無機化学・無機工業化学⑥、有機化学・有機工業化学⑨、化学工学⑥
	設備	【必須解答】数学・物理⑩、電気工学基礎・機械工学基礎⑩ 【選択解答】電磁気学・電気回路⑥、電気計測・制御・電気機器・電力工学⑤、電子工学・情報・通信工学⑤、材料力学・流体力学・熱力学⑨、機械力学・機械設計・機械材料・機械工作⑤
	建築	数学・物理⑩、構造力学⑤、材料学②、環境原論④、建築史②、建築構造④、建築計画⑤、都市計画③、建築設備②、建築施工③
	総合土木	数学・物理⑨、応用力学⑥、水理学⑥、土質工学④、測量②、材料・施工⑤、農業水利・土地改良・農村環境整備⑩、都市計画②、土木計画⑥

●合格者の決定方法（令和2年度）

2次試験合格者	第1次試験及び第2次試験の合計点による成績に基づいて決定します。
最終合格者	第1次試験、第2次試験及び第3次試験の合計点による成績に基づいて決定します。

●試験実施状況（令和2年度）

区分	採用予定	申込者	1次受験者	1次合格者	2次合格者	最終合格者	最終倍率
行 政 事 務	85	536	435	213	128	106	4.1
森 林	6	17	15	12	11	6	2.5
農 業	7	28	24	21	14	7	3.4
化 学	3	30	25	16	9	3	8.3
設 備	2	23	18	12	6	2	9.0
建 築	2	9	6	6	4	2	3.0
総 合 土 木	10	49	40	32	20	12	3.3

一般行政、設備、総合土木、建築、化学、農業、林業

●受験資格（令和2年度）

共 通	平成2年4月2日から平成11年4月1日までに生まれた者
-----	-----------------------------

●試験日程（令和2年度）

受験申込受付(WEB)	5月8日(金)～5月21日(木)
1次試験日	6月28日(日)
1次試験合格発表日	7月7日(火)
2次試験日	1回目 7月14日(火)～7月17日(金) 2回目 8月3日(月)～8月21日(金)
最終合格発表日	9月1日(火)

●試験概要（令和2年度）

試験種目	区分	解答時間	試験内容	
1次試験	教養試験	120分	多肢択一式(50問中40問解答) 公務員として必要な一般的知識及び知能について、多肢択一式により行います。 【知能分野】22問必須解答 【知識分野】28問中18問選択解答	
	専門試験	一般行政	120分	多肢択一式(50問中40問解答) 事務職員としての専門的知識、その他の能力について、多肢択一式により行います。
		設備、総合土木、建築、化学、農業、林業	120分	多肢択一式(40問必須解答) 職種に応じた専門的知識、技術、その他の能力について、多肢択一式により行います。
2次試験	論文試験	75分	文章による表現力、課題に対する理解力、思考力、その他の能力について、900字～1,100字の記述式による筆記試験を行います。	
	人物試験	—	社会性、積極性、信頼性、達成力などについて、集団討論及び個別面接(2回)による試験を行います。また、人物試験の参考とするため、公務員として職務遂行上必要な素質及び適性についての検査を行います。	

●配点比率（令和2年度）

一般行政、設備、総合土木、建築、化学、農業、林業					合計
第一次試験		第二次試験			
教養試験	専門試験	論文試験	集団討論	個別面接	
100	100	100	100	300	700

●筆記試験 出題科目一覧 (令和2年度)

試験種目	区分	試験内容・出題科目など	
教 養 試 験	一般行政、設備、総合土木、建築、化学、農業、林業	【知能分野】文章理解(英語を含む。)、判断推理、数的推理、資料解釈 【知識分野】社会科学(法律、政治、経済、社会一般)、人文科学(日本史、世界史、地理)、自然科学(物理、化学、生物、地学、数学)	
	一般行政	政治学、社会政策、行政学、憲法、行政法、民法、刑法、労働法、経済学(経済原論、経済政策、経済史)、財政学、国際関係、経営学	
専 門 試 験	設備	I (電気)	数学・物理、電磁気学・電気回路、電気計測・制御、電気機器・電力工学、電子工学、情報・通信工学
		II (機械)	数学・物理、材料力学、流体力学、熱力学、電気工学、機械力学・制御、機械設計、機械材料、機械工作
	総合土木	I (農業土木)	数学、水理学、応用力学、土壌物理、測量、材料・施工、農業水利・土地改良・農村環境整備、農業土木構造物、農学一般、農業機械
		II (土木)	数学・物理、応用力学、水理学、土質工学、材料・施工、都市計画、測量、土木計画
	建築	数学・物理、構造力学、材料学、建築史、環境原論、建築計画、都市計画、建築構造、建築施工、建築設備	
	化学	数学・物理、物理化学、分析化学、無機化学・無機工業化学、有機化学・有機工業化学、化学工学	
	農業	栽培学汎論、作物学、園芸学、育種遺伝学、植物病理学、昆虫学、土壤肥科学、植物生理学、家畜一般、農業経済一般	
	林業	森林政策・森林経営学、造林学(森林生態学、森林保護学を含む。)、林業工学、砂防工学、林産一般	

※「設備」及び「総合土木」は、申込みの際に「I」又は「II」の希望する出題分野を選択。申込受付終了後の変更不可。

●合格者の決定方法 (令和2年度)

最 終 合 格 者	第1次試験、第2次試験の結果を総合して決定します。 ※一定の基準に達しない試験種目がある場合は、他の成績にかかわらず不合格となります
-----------	---

●試験実施状況 (令和2年度)

区分	採用予定	申込者	1次受験者	1次合格者	最終合格者	最終倍率
一 般 行 政	193	1,765	1,260	756	333	3.8
設 備	18	51	40	40	19	2.1
総 合 土 木	36	96	75	71	34	2.2
建 築	3	21	13	13	9	1.4
化 学	2	55	33	11	4	8.3
農 業	16	71	49	47	21	2.3
林 業	6	22	14	12	7	2.0

新方式(設備、総合土木、建築)

●受験資格 (令和2年度)

共 通	平成2年4月2日から平成11年4月1日までに生まれた者
-----	-----------------------------

●試験日程 (令和2年度)

受験申込受付(WEB)	5月8日(金)～5月21日(木)
1次試験日	6月28日(日)
1次試験合格発表日	7月7日(火)
2次試験日	1回目 7月14日(火)～7月17日(金) 2回目 8月3日(月)～8月21日(金)
最終合格発表日	9月1日(火)

●試験概要 (令和2年度)

試験種目	区分	解答時間	試験内容
1次試験	専門試験	120分	多肢択一式(40問必須解答) 職種に応じた専門的知識、技術、その他の能力について、多肢択一式により行います。
2次試験	人物試験	—	社会性、積極性、信頼性、達成力などについて、個別面接(3回、うち1回はプレゼンテーションを含む。)による試験を行います。 また、人物試験の参考とするため、公務員として職務遂行上必要な素質及び適性についての検査を行います。 ※プレゼンテーション試験の問題及び答案用紙は、第1次試験合格者に対し送付します。

●配点比率 (令和2年度)

新方式(設備、総合土木、建築)		
第一次試験(専門試験)	第二次試験(個別面接)	合計
100	400	500

●筆記試験 出題科目一覧 (令和2年度)

試験種目	区分	試験内容・出題科目など	
新方式	設備	I (電気)	数学・物理、電磁気学・電気回路、電気計測・制御、電気機器・電力工学、電子工学、情報・通信工学
		II (機械)	数学・物理、材料力学、流体力学、熱力学、電気工学、機械力学・制御、機械設計、機械材料、機械工作
	総合土木	I (農業土木)	数学、水理学、応用力学、土壌物理、測量、材料・施工、農業水利・土地改良・農村環境整備、農業土木構造物、農学一般、農業機械
		II (土木)	数学・物理、応用力学、水理学、土質工学、材料・施工、都市計画、測量、土木計画
	建築		数学・物理、構造力学、材料学、建築史、環境原論、建築計画、都市計画、建築構造、建築施工、建築設備

※「設備」及び「総合土木」は、申込みの際に「I」又は「II」の希望する出題分野を選択。申込受付終了後の変更不可。

●合格者の決定方法 (令和2年度)

最終合格者	第1次試験、第2次試験の結果を総合して決定します。 ※一定の基準に達しない試験種目がある場合は、他の成績にかかわらず不合格となります。
-------	--

●試験実施状況 (令和2年度)

区分	採用予定	申込者	1次受験者	1次合格者	最終合格者	最終倍率
設備(新方式)	2	13	11	8	3	3.7
総合土木(新方式)	5	13	10	9	3	3.3
建築(新方式)	2	10	8	8	2	4.0

警察事務

●受験資格（令和2年度）

共 通	平成2年4月2日から平成11年4月1日までに生まれた者
-----	-----------------------------

●試験日程（令和2年度）

受験申込受付(WEB)	5月8日(金)～5月21日(木)
1次試験日	6月28日(日)
1次試験合格発表日	7月7日(火)
2次試験日	1回目 7月14日(火)～7月17日(金) 2回目 8月3日(月)～8月21日(金)
最終合格発表日	9月1日(火)

●試験概要（令和2年度）

試験種目	区分	解答時間	試験内容
1次試験	教養試験	警察事務	120分 多肢択一式(50問中40問解答) 公務員として必要な一般的知識及び知能について、選択解答制による多肢択一式により行います。 【知能分野】22問必須解答 【知識分野】28問中18問選択解答
	専門試験	警察事務	120分 多肢択一式(50問中40問解答) 事務職員としての専門的知識、その他の能力について、選択解答制による多肢択一式により行います。
2次試験	論文試験	警察事務	75分 文章による表現力、課題に対する理解力、思考力、その他の能力について900～1,100字の記述式による筆記試験を行います。
	人物試験	警察事務	— 社会性、積極性、信頼性、達成力などについて、集団討論及び個別面接による試験を行います。また、人物試験の参考とするため、公務員として職務遂行上必要な素質及び適性についての検査を行います。

●配点比率（令和2年度）

警察事務					
第一次試験		第二次試験			合計
教養試験	専門試験	論文試験	集団討論	個別面接	
100	100	100	100	200	600

●筆記試験 出題科目一覧（令和2年度）

試験種目	区分	試験内容・出題科目など
教養試験	警察事務	【知能分野】文章理解(英語を含む)、判断推理、数的推理、資料解釈 【知識分野】社会科学(法律、政治、経済、社会一般)、人文科学(日本史、世界史、地理)、自然科学(物理、化学、生物、地学、数学)
専門試験	警察事務	政治学、社会政策、行政学、憲法、行政法、民法、刑法、労働法、経済学(経済原論、経済政策、経済史)、財政学、国際関係、経営学

●合格者の決定方法（令和2年度）

最終合格者	第1次試験、第2次試験の結果を総合して決定します。 ※一定の基準に達しない試験種目がある場合は、他の成績にかかわらず不合格となります。
-------	--

●試験実施状況（令和2年度）

区分	採用予定	申込者	1次受験者	1次合格者	最終合格者	最終倍率
警察事務	20	247	147	66	28	5.3

小・中学校事務

●受験資格（令和2年度）

共 通	平成2年4月2日から平成11年4月1日までに生まれた者
-----	-----------------------------

●試験日程（令和2年度）

受験申込受付(WEB)	5月8日(金)～5月21日(木)
1次試験日	6月28日(日)
1次試験合格発表日	7月7日(火)
2次試験日	1回目 7月14日(火)～7月17日(金) 2回目 8月3日(月)～8月21日(金)
最終合格発表日	9月1日(火)

●試験概要（令和2年度）

試験種目	区分	解答時間	試験内容	
1次試験	教養試験	小・中学校事務	120分	多肢択一式(50問中40問解答) 公務員として必要な一般的知識及び知能について、選択解答制による多肢択一式により行います。 【知能分野】22問必須解答 【知識分野】28問中18問選択解答
2次試験	論文試験	小・中学校事務	75分	文章による表現力、課題に対する理解力、思考力、その他の能力について900～1,100字の記述式による筆記試験を行います。
	人物試験	小・中学校事務	—	社会性、積極性、信頼性、達成力などについて、集団討論及び個別面接(2回)による試験を行います。また、人物試験の参考とするため、公務員として職務遂行上必要な素質及び適性についての検査を行います。

●配点比率（令和2年度）

小・中学校事務				
第一次試験	第二次試験			合計
教養試験	論文試験	集団討論	個別面接	
100	100	100	300	600

●筆記試験 出題科目一覧（令和2年度）

試験種目	区分	試験内容・出題科目など
教 養 試 験	小・中学校事務	【知能分野】文章理解(英語を含む)、判断推理、数的推理、資料解釈 【知識分野】社会科学(法律、政治、経済、社会一般)、人文科学(日本史、世界史、地理)、自然科学(物理、化学、生物、地学、数学)

●合格者の決定方法（令和2年度）

最 終 合 格 者	第1次試験、第2次試験の結果を総合して決定します。 ※一定の基準に達しない試験種目がある場合は、他の成績にかかわらず不合格となります。
-----------	--

●試験実施状況（令和2年度）

区分	採用予定	申込者	1次受験者	1次合格者	最終合格者	最終倍率
小・中学校事務	20	199	152	81	26	5.8

一般行政A、一般行政B、児童指導員、農業、林業、水産、畜産、農業土木、土木、建築、化学、電気、機械

●受験資格（令和2年度）

一般行政A	平成2年4月2日から平成11年4月1日までに生まれた者
一般行政B	昭和60年4月2日から平成8年4月1日までに生まれた者
心理、児童指導員、農業、林業、水産、畜産、農業土木、土木、建築、化学、電気、機械	昭和60年4月2日から平成11年4月1日までに生まれた者

●試験日程（令和2年度）

受験申込受付(WEB)	5月19日(火)～6月2日(火)
1次試験日	6月28日(日)
1次試験合格発表日	7月8日(水)
2次試験日	7月20日(月)～8月26日(水)のうち、指定する2日
最終合格発表日	9月上旬

●試験概要（令和2年度）

試験種目	区分	解答時間	試験内容	
1次試験	教養試験	120分	択一式(50問中40問解答) 各試験職種共通の試験問題による公務員として必要な一般的な知識及び知能についての大学卒業程度の筆記試験。	
	専門試験	一般行政A	120分	択一式(50問中40問解答) 試験職種に応じた専門的な知識・技術・能力等についての大学卒業程度の筆記試験。
		農業	120分	択一式(50問中40問解答(25問必須解答・25問中15問選択解答)) 試験職種に応じた専門的な知識・技術・能力等についての大学卒業程度の筆記試験。
		児童指導員、林業、水産、畜産、農業土木、土木、建築、化学、電気、機械	120分	択一式(40問) 試験職種に応じた専門的な知識・技術・能力等についての大学卒業程度の筆記試験。
	論文試験	90分	記述式(1題) 各試験職種共通の課題についての判断力、専門的知識、文章による表現力、文章構成力その他の能力についての筆記試験。	
自己アピールシート作成	一般行政B	120分	自らの能力・経験等についてのアピールシートを作成。	
2次試験	人物試験	—	【個別面接】主として人柄・志向等についての個別面接による試験 (評定項目:積極性、堅実性、社会性、職務適性等) ※一般行政Bの個別面接においては、自己アピールシートを基にした5分程度のプレゼンテーションを含みます 【集団討論】主として人柄、志向等についての集団討論による試験 (評定項目:社会性、指導性、論理性等) 【適性検査】職員として職務遂行上必要な素質、性格についての検査(質問紙法及び作業検査法)	

●配点比率（令和2年度）

一般行政A、児童指導員、農業、林業、水産、畜産、農業土木、土木、建築、化学、電気、機械				
第一次試験		第二次試験		合計
教養試験	専門試験	論文試験	人物試験	
100	100	100	400	700

一般行政B			
第一次試験	第二次試験		合計
教養試験	論文試験	人物試験	
100	100	400	600

●筆記試験 出題科目一覧（令和2年度）

試験種目	区分	試験内容・出題科目など
教 養 試 験	一般行政A、一般行政B、児童指導員、農業、林業、水産、畜産、農業土木、土木、建築、化学、電気、機械	【必須解答】社会一般、文章理解(英語を含む。)、判断推理、数の処理、資料解釈 【選択解答】法律、政治、経済、世界史、日本史、地理、数学、物理、化学、生物、地学
	一般行政A	政治学、行政学、憲法、行政法、民法、刑法、労働法、経済学、財政学、経営学、社会政策、国際関係
専 門 試 験	児童指導員	社会福祉概論(社会保障を含む。)、社会学概論、心理学概論(社会心理学を含む。)、社会調査
	農業	【必須解答】栽培学汎論、作物学、園芸学、農業経済一般、農業政策 【選択解答】育種遺伝学、植物病理学、昆虫学、土壤肥料学、植物生理学、畜産一般、食品化学、食品加工、人間工学、農村計画
	林業	森林政策・森林経営学、造林学(森林生態学、森林保護学を含む。)、林業工学、林産一般、砂防工学
	水産	水産事情・水産経済・水産法規、水産環境科学、水産生物学、水産資源学、漁業学、増養殖学、水産化学、水産利用学
	畜産	家畜育種学、家畜繁殖学、家畜生理学、家畜飼養学、家畜栄養学、飼料学、家畜管理学、畜産物利用学、畜産経営一般
	農業土木	数学、応用力学、水理学、測量、土壤物理、農業水利・土地改良・農村環境整備、農業土木構造物、材料・施工、農業機械、農学一般
	土木	数学・物理、応用力学、水理学、土質工学、測量、都市計画、土木計画、材料・施工
	建築	数学・物理、構造力学、材料学、環境原論、建築史、建築構造、建築計画、都市計画、建築設備、建築施工
	化学	数学・物理、物理化学、分析化学、無機化学・無機工業化学、有機化学・有機工業化学、化学工学
	電気	数学・物理、電磁気学・電気回路、電気計測・制御、電気機器・電力工学、電子工学、情報・通信工学
	機械	数学・物理、材料力学、流体力学、熱力学、電気工学、機械力学・制御、機械設計、機械材料、機械工作

都道府県

●合格者の決定方法（令和2年度）

最 終 合 格 者	第2次試験の成績に基づいて決定し、第1次試験の成績は反映されません。
-----------	------------------------------------

●試験実施状況（令和2年度）

区分	採用予定	申込者	1次受験者	1次合格者	2次受験者	最終合格者	最終倍率
一般行政 A	100	1,096	746	329	316	206	3.6
一般行政 B	20	146	86	73	65	24	3.6
児童指導員	62	85	74	72	69	63	1.2
農業	34	68	48	48	45	37	1.3
林業	14	27	20	20	20	20	1.0
水産	3	22	17	12	11	7	2.4
畜産	2	14	10	10	8	5	2.0
農業士 木	14	25	20	20	18	16	1.3
士 木	76	118	88	85	78	73	1.2
建築	14	27	19	19	18	18	1.1
化学	9	56	32	27	24	16	2.0
電気	16	39	25	24	20	19	1.3
機械	9	24	15	14	13	10	1.5

警察事務（中級）

●受験資格（令和2年度）

警察事務	平成2年4月2日から平成13年4月1日までに生まれた者
------	-----------------------------

●試験日程（令和2年度）

受験申込受付(WEB)	7月28日(火)～8月17日(月)
1次試験日	9月27日(日)
1次試験合格発表日	10月14日(水)
2次試験日	11月上旬～11月中旬
最終合格発表日	12月上旬

●試験概要（令和2年度）

試験種目		区分	解答時間	試験内容
1次試験	教養試験	警察事務(中級)	120分	択一式(50問) 公務員として必要な一般的な知識及び知能についての筆記試験。
	専門試験	警察事務(中級)	120分	択一式(40問) 専門的な知識・能力等についての筆記試験。
	論文試験	警察事務(中級)	80分	記述式 課題についての判断力、専門的知識、文章による表現力、文章構成力その他の能力についての筆記試験。
2次試験	口述試験	警察事務(中級)	—	主として人柄・性向等についての個別面接による試験。 (評定項目:積極性、堅実性、社会性、職務適性等)
	適性検査	警察事務(中級)	—	職員として職務遂行上必要な素質・性格についての検査(質問紙法及び作業検査法)

●配点比率（令和2年度）

警察事務				
第一次試験		第二次試験		合計
教養試験	専門試験	論文試験	人物試験	
100	100	100	400	700

●筆記試験 出題科目一覧（令和2年度）

試験種目	区分	試験内容・出題科目など
教養試験	警察事務(中級)	法律、政治、経済、社会一般、日本史、世界史、地理、数学、物理、化学、生物、地学、文章理解(英語を含む。)、判断推理、数的処理、資料解釈
専門試験	警察事務(中級)	政治学、行政学、社会学・社会事情、憲法、行政法、民法、経済学、財政学、国際関係

●合格者の決定方法（令和2年度）

最終合格者	第2次試験の成績に基づいて決定し、第1次試験の成績は反映されません。
-------	------------------------------------

●試験実施状況（令和2年度）

区分	採用予定	申込者	1次受験者	1次合格者	2次受験者	最終合格者	最終倍率
警察事務	23	220	132	74	65	34	3.9

I類B【一般方式】 行政、土木、建築、機械、電気、環境検査、林業、畜産、水産、造園

●受験資格（令和2年度）

共通	平成3年4月2日から平成11年4月1日までに生まれた者
----	-----------------------------

●試験日程（令和2年度）

受験申込受付（WEB）	6月2日（火）～6月9日（火）
1次試験日	7月26日（日）
1次試験合格発表日	8月27日（木）
2次試験日	9月15日（火）～10月2日（金）
2次試験合格発表日	10月22日（木）

●試験概要（令和2年度）

試験種目	区分	解答時間	試験内容
1次試験	教養試験	行政（一般方式）、環境検査、林業、畜産、水産、造園	130分 五肢択一式(40問) 一般教養についての五肢択一式
		土木（一般方式）、建築（一般方式）、機械、電気	150分 五肢択一式(44問中40問解答) (知能分野)27題必須解答 (知識分野)社会事情:3題必須解答 その他:14題中10題選択解答 一般教養についての五肢択一式
	専門試験	行政（一般方式）	120分 記述式(10問中3問解答) 職務に必要な専門知識についての記述式
		土木（一般方式）、建築（一般方式）、機械、電気、環境検査、林業、畜産、水産、造園	120分 記述式(5問中3問解答) 職務に必要な専門知識についての記述式
	論文	行政（一般方式）、土木（一般方式）、建築（一般方式）、機械、電気、環境検査、林業、畜産、水産、造園	90分 課題式(1問) 解答文字数:1,000字以上1,500字程度
2次試験	口述試験	行政（一般方式）、土木（一般方式）、建築（一般方式）、機械、電気、環境検査、林業、畜産、水産、造園	— 主として人物についての個別面接

●配点比率（令和2年度）

非公表

●筆記試験 出題科目一覧 (令和2年度)

試験種目	区分	試験内容・出題科目など
教 養 試 験	行政(一般方式)、土木(一般方式)、建築(一般方式)、機械、電気、環境検査、林業、畜産、水産、造園	【知能分野】文章理解、英文理解、判断推理、数的処理、資料解釈、空間概念 【知識分野】人文科学系(文化、歴史、地理)、社会科学系(法律、政治、経済)、自然科学系(物理、化学、生物、地学)、社会事情
	専 門 試 験	憲法、行政法、民法、経済学、財政学、政治学、行政学、社会学、会計学、経営学
	土木(一般方式)	構造力学、水理学、土質工学、土木材料、測量、都市・土木計画、交通・道路工学、衛生工学、橋梁工学、河川・海岸工学、港湾工学、土木施工、技術情勢
	建築(一般方式)	建築史、都市計画、建築計画、建築環境工学、建築整備、構造力学、建築構造、建築材料、建築施工、建築法規、技術情勢
	機械	物理、材料力学、熱力学、熱機関、流体力学、流体機械、機械工作、機械材料、計測・制御、管理工学、技術情勢
	電気	数学、電気磁気学、電気回路、電気機器、電子回路、発送配電、計測・制御、情報・通信、電気応用、電気法規、技術情勢
	環境検査	有機化学、無機化学、分析化学、物理化学、応用化学、生化学、生物学概論、生態学、微生物学
	林業	林政学、森林経理学、造林学、砂防工学、森林土木学、林産一般、生物学概論
	畜産	家畜繁殖学、家畜飼養学、飼料学、家畜衛生学、生物学概論、生態学、育種学
	水産	水産通論、海洋学、水産資源学、水産法制、水産生物学、水産増殖学、漁業学、水産利用学、水産経済学
	造園	造園原論(造園史を含む。)、造園植物(植栽を含む。)、造園工学(測量を含む。)、造園計画設計管理(自然・都市公園、都市・地方計画を含む。)。造園関連基礎(土壌肥科学、花き園芸学等)、生物学概論、生態学

●合格者の決定方法 (令和2年度)

1 次 試 験	全ての科目の成績を合わせた総合成績により決定します。
最 終 合 格 者	第1次試験及び第2次試験の成績を合わせた総合成績により決定します。

●試験実施状況 (令和2年度)

区分	採用予定	申込者	1次受験者	最終合格者	最終倍率
行政(一般方式)	265	3,400	1,626	352	4.6
土木(一般方式)	70	389	201	114	1.8
建築(一般方式)	16	77	37	25	1.5
機 械	22	105	53	29	1.8
電 気	17	107	54	38	1.4
環 境 検 査	6	150	75	9	8.3
林 業	5	63	28	10	2.8
畜 産	2	34	14	5	2.8
水 産	2	56	18	3	6.0
造 園	3	42	23	4	5.8
心 理	15	135	69	22	3.1

I 類B【新方式】 行政、ICT

●受験資格（令和2年度）

共 通	平成3年4月2日から平成11年4月1日までに生まれた者
-----	-----------------------------

●試験日程（令和2年度）

受験申込受付(WEB)	6月2日(火)～6月9日(火)
1 次 試 験 日	7月26日(日)
1次試験合格発表日	8月21日(金)
2 次 試 験 日	9月1日(火)～9月7日(月)
2次試験合格発表日	9月17日(木)
3 次 試 験 日	10月1日(木)～10月7日(水)
最終合格発表日	10月21日(水)

●試験概要（令和2年度）

試験種目	区分	解答時間	試験内容
1次試験	教養試験	行政(新方式)	130分 五肢択一式(40問中35問解答) 一般教養についての五肢択一式
		ICT(新方式)	150分 五肢択一式(40問) 一般教養についての五肢択一式
	プレゼンテーション・シート作成	行政(新方式) ICT(新方式)	90分 都政課題に関するプレゼンテーション・シート作成
2次試験	口述試験	行政(新方式)、 ICT(新方式)	— プレゼンテーション及び人物についての個別面接
3次試験	口述試験	行政(新方式) ICT(新方式)	— グループワーク及び人物についての個別面接

●配点比率（令和2年度）

非公表

●筆記試験 出題科目一覧（令和2年度）

試験種目	区分	試験内容・出題科目など
教 養 試 験	行政(新方式)	【知能分野】文章理解、英文理解、判断推理、数的処理、資料解釈、空間概念 【知識分野】人文科学系(文化、歴史、地理)、社会科学系(法律、政治、経済)、自然科学系(物理、化学、生物、地学)、社会事情(都政における重要施策を含む。)
	ICT(新方式)	【知能分野】文章理解、英文理解、判断推理、数的処理、資料解釈、空間概念 【知識分野】情報通信技術、社会事情(都政における重要施策を含む。) ※情報通信技術 ①テクノロジーに関するもの(基礎理論、情報テクノロジー、情報セキュリティ、開発技術等) ②マネジメントに関するもの(プロジェクトマネジメント、サービスマネジメント等) ③ストラテジに関するもの(システム戦略、経営戦略、関係法令等)

●合格者の決定方法（令和2年度）

1 次 試 験	全ての科目の成績を合わせた総合成績により決定します。
2 次 試 験	第1次試験及び第2次試験の成績を合わせた総合成績により決定します。 ※ただし、第2次試験の成績が一定基準に達しない場合、第1次試験の結果にかかわらず、不合格になります。
最 終 合 格 者	第1次試験、第2次試験及び第3次試験の成績を合わせた総合成績により決定します。 ※ただし、第3次試験の成績が一定基準に達しない場合、第1次試験及び第2次試験の結果にかかわらず、不合格になります。

●試験実施状況（令和2年度）

区分	採用予定	申込者	1次受験者	最終合格者	最終倍率
行政(新方式)	90	886	494	115	4.3
ICT(新方式)	10	78	45	15	3.0

I 類A 事務、土木、建築、機械、電気

●受験資格（令和2年度）

共	通	平成元年4月2日から平成9年4月1日までに生まれた者
---	---	----------------------------

●試験日程（令和2年度）

受験申込受付(WEB)	6月2日(火)～6月9日(火)
1次試験日	7月19日(日)
1次試験合格発表日	9月1日(火)
2次試験日	9月8日(火)～9月11日(金)
最終合格発表日	10月9日(金)

●試験概要（令和2年度）

試験種目	区分	解答時間	試験内容
1次試験	教養試験	事務	130分 五肢択一式(40問) 一般教養についての五肢択一式
		土木、建築、機械、電気	150分 五肢択一式(44問中40問解答) 一般教養についての五肢択一式
	専門試験	事務	150分 記述式(5問中1問解答) 高度な専門知識についての記述式
		土木、建築、機械、電気	150分 記述式(2問中1問解答) 高度な専門知識についての記述式
	論文	事務、土木、建築、機械、電気	90分 課題式(1問) 解答文字数:1,000字以上1,500字程度
2次試験	口述試験	事務、土木、建築、機械、電気	— 職務に関連する専門知識及び人物についての個別面接

●配点比率（令和2年度）

非公表

●筆記試験 出題科目一覧（令和2年度）

試験種目	区分	試験内容・出題科目など
教養試験	事務、土木、建築、機械、電気	【知能分野】文章理解、英文理解、判断推理、数的処理、資料解釈、空間概念 【知識分野】人文科学系(文化、歴史、地理)、社会科学系(法律、政治、経済)、自然科学系(物理、化学、生物、地学)、社会事情
専門試験	事務	【公法】憲法、行政法 【民事法】民法、民事訴訟法 【経済原論】ミクロ経済学、マクロ経済学 【財政学】財政学 【公共政策】法学、政治学、行政学、経済学等を基礎とした公共政策
	土木	構造力学、水理学、土質工学、土木材料、測量、都市・土木計画、交通・道路工学、衛生工学、橋梁工学、河川・海岸工学、港湾工学、土木施工、技術情勢
	建築	建築史、都市計画、建築計画、建築環境工学、建築設備、構造力学、建築構造、建築材料、建築施工、建築法規、技術情勢
	機械	物理、材料力学、熱力学、熱機関、流体力学、流体機械、機械工作、機械材料、計測・制御、管理工学、技術情勢
	電気	数学、電気磁気学、電気回路、電気機器、電子回路、発送配電、計測・制御、情報・通信、電気応用、電気法規、技術情勢

●合格者の決定方法（令和2年度）

1 次 試 験	全ての科目の成績を合わせた総合成績により決定します。
最 終 合 格 者	第1次試験及び第2次試験の成績を合わせた総合成績により決定します。 ※ただし、第2次試験の成績が一定基準に達しない場合、第1次試験の結果にかかわらず、不合格になります。

●試験実施状況（令和2年度）

区分	採用予定	申込者	1次受験者	最終合格者	最終倍率
事 務	63	1,203	638	79	8.1
土 木	20	110	60	31	1.9
建 築	12	50	34	17	2.0
機 械	12	73	44	20	2.2
電 気	11	85	47	15	3.1

I 種試験 行政、農政技術(農業)、農政技術(森林)、総合土木、建設技術(建築)、環境技術、機械、電気

●受験資格 (令和2年度)

共 通	平成2年4月2日から平成11年4月1日までに生まれた者
-----	-----------------------------

●試験日程 (令和2年度)

受験申込受付(WEB)	4月27日(月)～5月11日(月)
1 次 試 験 日	6月28日(日)
1次試験合格発表日	7月8日(水)
2 次 試 験 日	7月13日(月)～8月25日(火)
最終合格発表日	9月4日(金)

●試験概要 (令和2年度)

試験種目	区分	解答時間	試験内容
1次試験	教養試験	行政	120分 択一式(50問中40問解答) 公務員として必要な一般的知識及び知能についての筆記試験
	専門試験	行政	120分 択一式(80問中40問解答) 各試験区分に応じて必要な専門的知識についての筆記試験
		農政技術(農業)、農政技術(森林)、建設技術(建築)、環境技術、機械、電気	120分 択一式(40問) 各試験区分に応じて必要な専門的知識についての筆記試験
		総合土木	120分 択一式(50問中40問解答) 各試験区分に応じて必要な専門的知識についての筆記試験
2次試験	論文試験	行政、農政技術(農業)、農政技術(森林)、総合土木、建設技術(建築)、環境技術、機械、電気	90分 記述式(1問1,200字程度) 思考力、創造力、論理力、柔軟性等についての筆記試験 ※1次試験日に実施
	人物試験	行政、農政技術(農業)、農政技術(森林)、総合土木、建設技術(建築)、環境技術、機械、電気	第1回 15分 第2回 30分 個別面接2回 人柄、性向等についての試験

●配点比率（令和2年度）

行政					
第一次試験		第二次試験			合計
教養試験	専門試験	論文試験	第1回個別面接	第2回個別面接	
100	100	50	50	250	550

農政技術(農業)、農政技術(森林)、総合土木、建設技術(建築)、環境技術、機械、電気					
第一次試験		第二次試験			合計
専門試験	論文試験	第1回個別面接	第2回個別面接		
100	50	50	250		450

●筆記試験 出題科目一覧（令和2年度）

試験種目	区分	試験内容・出題科目など
教 養 試 験	行政	【知識分野(選択解答)】 法律、政治、経済、社会一般、日本史、世界史、地理、物理、化学、生物、地学、数学 【知能分野(必須解答)】 文章理解(英文を含む。)、判断推理(言語、非言語)、数の処理、資料解釈
専 門 試 験	行政	憲法、政治学、行政学、行政法、民法、刑法、労働法から26問 経済学(経済原論、経済政策、経済事情、経済史)、財政学、経営学から23問 社会政策、心理学、統計学、社会学、国際関係(国際政治学、国際経済学、国際法)、教育学から18問 数学・物理、情報・通信工学から13問
	農政技術(農業)	栽培学汎論、作物学、園芸学、育種遺伝学、植物病理学、昆虫学、土壤肥科学、植物生理学、畜産一般、農業経済一般
	農政技術(森林)	森林政策・森林経営学、造林学(森林生態学、森林保護学を含む。)、林業工学、林産一般、砂防工学
	総合土木	【必須解答】 数学・物理、応用力学、水理学、測量、材料・施工 【選択解答】 応用力学、水理学、土質工学、都市計画、土木計画、材料・施工、農業水利・土地改良・農村環境整備、農業土木構造物
	建築技術(建築)	数学・物理、構造力学、材料学、環境原論、建築史、建築構造、建築計画、都市計画、建築設備、建築施工
	環境技術	数学・物理、物理化学、分析化学、無機化学・無機工業化学、有機化学・有機工業化学、化学工学
	機械	数学・物理、材料力学、流体力学、熱力学、電気工学、機械力学・制御、機械設計、機械材料、機械工作
	電気	数学・物理、電磁気学・電気回路、電気計測・制御、電気機器・電力工学、電子工学、情報・通信工学

●合格者の決定方法（令和2年度）

最 終 合 格 者	最終合格者は、第2次試験の結果のみで決定します。
-----------	--------------------------

●試験実施状況（令和2年度）

区分	採用予定	申込者	1次受験者	1次合格者	2次受験者	最終合格者	最終倍率
行 政	110	1,233	705	516	476	217	3.2
農 政 技 術 (農 業)	7	67	41	39	32	9	4.6
農 政 技 術 (森 林)	6	32	25	21	21	8	3.1
総 合 土 木	31	81	46	41	36	28	1.6
建 設 技 術 (建 築)	2	26	9	8	8	3	3.0
環 境 技 術	4	36	24	22	22	6	4.0
機 械	3	18	9	8	6	3	3.0
電 気	8	25	11	10	9	6	1.8

公立小中学校等事務

●受験資格（令和2年度）

共 通	平成2年4月2日から平成11年4月1日までに生まれた者
-----	-----------------------------

●試験日程（令和2年度）

受験申込受付(WEB)	4月27日(月)～5月11日(月)
1次試験日	6月28日(日)
1次試験合格発表日	7月8日(水)
2次試験日	7月13日(月)～8月25日(火)
最終合格発表日	9月4日(金)

●試験概要（令和2年度）

試験種目	区分	解答時間	試験内容
1次試験	教養試験	公立小中学校等事務	120分 択一式(50問中40問解答) 公務員として必要な一般的知識及び知能についての筆記試験
	専門試験	公立小中学校等事務	120分 択一式(80問中40問解答) 各試験区分に応じて必要な専門的知識についての筆記試験
2次試験	論文試験	公立小中学校等事務	60分 記述式(1問800字程度) 思考力、構成力等についての筆記試験 ※1次試験日に実施
	人物試験	公立小中学校等事務	30分 個別面接 人柄、性向等についての試験

●配点比率（令和2年度）

小中学校等事務				
第一次試験		第二次試験		合計
教養試験	専門試験	論文試験	個別面接	
100	100	50	250	500

●筆記試験 出題科目一覧（令和2年度）

試験種目	区分	試験内容・出題科目など
教 養 試 験	公立小中学校等事務	【知識分野(選択解答)】 法律、政治、経済、社会一般、日本史、世界史、地理、物理、化学、生物、地学、数学 【知能分野(必須解答)】 文章理解(英文を含む。)、判断推理(言語、非言語)、数的処理、資料解釈
専 門 試 験	公立小中学校等事務	憲法、政治学、行政学、行政法、民法、刑法、労働法から26問 経済学(経済原論、経済政策、経済事情、経済史)、財政学、経営学から23問 社会政策、心理学、統計学、社会学、国際関係(国際政治学、国際経済学、国際法)、教育学から18問 数学・物理、情報・通信工学から13問

●合格者の決定方法（令和2年度）

最 終 合 格 者	最終合格者は、第2次試験の結果のみで決定します。
-----------	--------------------------

●試験実施状況（令和2年度）

区分	採用予定	申込者	1次受験者	1次合格者	2次受験者	最終合格者	最終倍率
公立小中学校等事務	5	56	33	27	25	5	6.6

I 種試験 警察事務

●受験資格（令和2年度）

共 通	平成2年4月2日から平成11年4月1日までに生まれた者
-----	-----------------------------

●試験日程（令和2年度）

受験申込受付(WEB)	4月27日(月)～5月11日(月)
1 次 試 験 日	6月28日(日)
1次試験合格発表日	7月8日(水)
2 次 試 験 日	7月13日(月)～7月20日(月)
最終試験合格発表日	9月4日(金)

●試験概要（令和2年度）

試験種目		区分	解答時間	試験内容
1次試験	教養試験	警察事務	120分	択一式(50問中40問解答) 公務員として必要な大学卒業程度の一般的知識及び知能についての筆記試験
	専門試験	警察事務	120分	択一式(80問中40問解答) 警察事務に必要な大学卒業程度の専門的知識についての筆記試験
2次試験	論文試験	警察事務	60分	(1問 800字程度)※第1次試験日に実施 思考力、構成力等についての筆記試験
	適性試験	警察事務	—	職務遂行上必要な素質及び適性についての検査
	人物試験	警察事務	約20分	人柄、性向等についての個別面接試験

●配点比率（令和2年度）

警察事務				
第一次試験		第二次試験		合計
教養試験	専門試験	論文試験	人物試験	
100	100	50	200	450

●筆記試験 出題科目一覧（令和2年度）

試験種目	区分	試験内容・出題科目など
教 養 試 験	警察事務	【知識分野】 法律、政治、経済、社会一般、日本史、世界史、地理、物理、化学、生物、地学、数学 【知能分野】 文章理解(英文を含む。)、判断推理(言語、非言語)、数的処理、資料解釈
専 門 試 験	警察事務	憲法、政治学、行政学、行政法、民法、刑法、労働法から26問 経済学(経済原論、経済政策、経済事情、経済史)、財政学、経営学から23問 社会政策、心理学、統計学、社会学、国際関係(国際政治学、国際経済学、国際法)、教育学から18問 数学・物理、情報・通信工学から13問

●合格者の決定方法（令和2年度）

最 終 合 格 者	第2次試験の結果のみで決定します。
-----------	-------------------

●試験実施状況（令和2年度）

区分	採用予定	申込者	1次受験者	1次合格者	2次受験者	最終合格者	最終倍率
警 察 事 務 I 種	15	192	108	62	61	21	5.1

I 種試験 行政（秋季チャレンジ）、総合土木（秋季技術職）

●受験資格（令和2年度）

共 通	平成2年4月2日から平成11年4月1日までに生まれた者
-----	-----------------------------

●試験日程（令和2年度）

受験申込受付(WEB)	9月4日(金)～9月18日(金)
1 次 試 験 日	10月25日(日)
1次試験合格発表日	11月10日(火)
2 次 試 験 日	1回目 11月16日(月)～11月18日(水) 2回目 11月19日(木)～12月3日(木)
2次試験合格発表日	12月11日(金)

●試験概要（令和2年度）

試験種目		区分	解答時間	試験内容
1次試験	基礎教養試験	行政(秋季チャレンジ)	120分	択一式(40問) 公務員として必要な一般的かつ基礎的な知識及び知能についての筆記試験
	自己PRシート	行政(秋季チャレンジ)	60分	記述式 意欲、向上心、行動力等についての筆記試験
	専門試験	総合土木(秋季技術職)	120分	択一式(40問中30問解答) 当該試験区分において必要な専門的知識についての筆記試験
2次試験	論文試験	行政(秋季チャレンジ)、 総合土木(秋季技術職)	90分	記述式(1問 1,200字程度)※第1次試験日に実施。 思考力、創造力、論理力、柔軟性等についての筆記試験
	人物試験	行政(秋季チャレンジ)	-	個別面接2回 人柄、性向等についての試験 第1回個別面接:約15分 ※面接とは別に特別な活動や資格等を評価 第2回個別面接:約35分(5分程度のプレゼンテーションを含む)
		総合土木(秋季技術職)	-	個別面接2回 人柄、性向等についての試験 第1回個別面接:約15分 第2回個別面接:約30分

●配点比率（令和2年度）

行政(秋季チャレンジ)					
第一次試験		第二次試験			合計
基礎教養試験	自己PRシート	論文試験	第1回個別面接	第2回個別面接	
40	60	50	50	250	450

総合土木(秋季技術職)				
第一次試験		第二次試験		合計
専門試験	論文試験	第1回個別面接	第2回個別面接	
200	50	50	250	550

●筆記試験 出題科目一覧（令和2年度）

試験種目	区分	試験内容・出題科目など
基礎教養試験	行政(秋季チャレンジ)	【知識分野】 法律、政治、経済、社会一般、日本史、世界史、地理、物理、化学、生物、数学 【知能分野】 文章理解(英文を含む。)、判断推理(言語、非言語)、数的処理、資料解釈
専門試験	総合土木(秋季技術職)	【必須解答】 数学・物理、応用力学、水理学、測量、材料・施工 【選択解答】 応用力学、水理学、土質工学、都市計画、土木計画、材料・施工、農業水利・土地改良・農村環境整備、農業土木構造物

●合格者の決定方法（令和2年度）

最終合格者	第2次試験の結果のみで決定します。
-------	-------------------

●試験実施状況（令和2年度）

区分	採用予定	申込者	1次受験者	1次合格者	2次受験者	最終合格者	最終倍率
行政(秋季チャレンジ)	42	1,491	700	287	246	47	14.9
総合土木(秋季技術職)	9	67	39	37	29	16	2.4

一般方式(一般行政、一般行政(病院)、警察行政、総合土木、林業、農業、水産、建築、環境、電気、少年警察補導員)

●受験資格(令和2年度)

共 通	平成2年4月2日から平成11年4月1日までに生まれた者
-----	-----------------------------

●試験日程(令和2年度)

受験申込受付(WEB)	5月12日(火)～6月1日(月)
1次試験日	6月28日(日)
1次試験合格発表日	7月8日(水)
2次試験日	面接試験以外 7月15日(水) 面接試験 7月21日(火)～8月5日(水)
最終合格発表日	8月中旬

●試験概要(令和2年度)

試験種目	区分	解答時間	試験内容
1次試験	教養試験	120分	択一式(50問中40問解答) 公務員として必要な一般的知識及び知能について、筆記試験を行います。
	専門試験	120分	択一式(50問中40問) 専門的知識及び能力について、筆記試験を行います。
		120分	択一式(40問) 専門的知識及び能力について、筆記試験を行います。
2次試験	論文試験	75分	記述式(1,000字) 課題の理解力、表現力、文章構成力等について筆記試験を行います。
	面接試験	—	集団討論面接、個別面接 積極性、協調性、柔軟性、責任性等について面接試験を行います。 ※一般行政、一般行政(病院)については、個別面接を同一日に2回行います。 ※福祉行政(心理)の受験者で、福祉行政と併願した者が、両職種で第1次試験に合格した場合は、面接試験を同一日にまとめて1回行います
	適性検査	—	職務遂行上必要な素質及び適性について検査を行います。 面接試験の参考とします。

●配点比率(令和2年度)

一般行政、一般行政(病院)、警察行政、総合土木、林業、農業、水産、建築、環境、電気、少年警察補導員				
第一次試験		第二次試験		合計
教養試験	専門試験	面接試験	論文試験	
100	100	130	20	
				350

●筆記試験 出題科目一覧 (令和2年度)

試験種目	区分	試験内容・出題科目など
教 養 試 験	一般行政、一般行政(病院)、警察行政、総合土木、林業、農業、水産、建築、環境、電気、少年警察補導員	【必須解答】文章理解、判断推理、数的推理、資料解釈 【選択解答】社会科学、人文科学、自然科学
	専 門 試 験	
	一般行政、一般行政(病院)	憲法④、行政法⑤、民法⑥、刑法②、労働法②、経済原論⑫、財政学④、経済政策②、経済史①、経営学②、政治学②、行政学②、社会政策③、国際関係③等
	総合土木	数学・物理⑨、応用力学⑤、水理学⑥、土質工学④、測量②、都市計画②、土木計画⑥、材料・施工④、農業水利・土地改良・農村環境整備⑦、農業土木構造物④、農学一般①等
	林業	森林政策・森林経営学⑬、造林学(森林生態学、森林保護学を含む。)⑫、林業工学④、林産一般⑤、砂防工学⑥等
	農業	作物学⑦、園芸学⑥、育種遺伝学③、植物病理学③、昆虫学③、土壤肥科学③、植物生理学③、農業経済一般②、生物化学②、食品科学②、家畜育種学①、家畜繁殖学①、飼料学①、家畜管理学①、畜産経営一般②等
	水産	水産事情・水産経済・水産法規⑧、水産環境科学⑤、水産生物学⑤、水産資源学④、漁業学④、増養殖学④、水産化学⑤、水産利用学⑤等
	建築	数学・物理⑩、構造力学⑤、材料学②、環境原論④、建築史②、建築構造④、建築計画⑤、都市計画③、建築設備②、建築施工③等
	環境	数学・物理⑥、環境科学④、分析化学③、無機化学・無機工業化学⑤、有機化学・有機工業化学⑦、化学工学⑤、物理化学⑥、生物学④等
	電気	数学・物理⑩、電磁気学・電気回路⑩、電気計測・制御④、電気機器・電力工学⑥、電子工学⑥、情報・通信工学④等
	少年警察補導員	教育心理学⑥、社会心理学⑦、発達心理学⑦、応用心理学⑧、社会学概論⑤、社会福祉概論⑦等

※○の数字は出題予定数

●合格者の決定方法 (令和2年度)

最 終 合 格 者	第2次試験の結果に基づき決定し、第1次試験の成績は反映されません。
-----------	-----------------------------------

●試験実施状況 (令和2年度)

区分	採用予定	申込者	1次受験者	1次合格者	最終合格者	最終倍率
一 般 行 政	38	387	294	130	50	5.5
一 般 行 政 (病 院)	3	3	3	2	0	-
警 察 行 政	1	14	11	4	1	11.0
総 合 土 木	15	34	27	26	18	1.5
林 業	4	16	12	8	4	3.0
農 業	6	35	30	14	6	5.0
水 産	1	11	9	4	1	9.0
建 築	1	4	3	3	1	3.0
環 境	2	21	17	7	2	8.5
電 気	5	10	8	8	5	1.6
保 健 師	2	10	7	6	3	2.3
少 年 警 察 補 導 員	3	13	11	7	3	3.7

新方式(総合土木)

●受験資格 (令和2年度)

共 通	平成2年4月2日から平成11年4月1日までに生まれた者
-----	-----------------------------

●試験日程 (令和2年度)

受験申込受付(WEB)	5月12日(火)～6月1日(月)
1次試験日	6月28日(日)
1次試験合格発表日	7月8日(水)
2次試験日	面接試験以外 7月15日(水) 面接試験 7月21日(火)～8月5日(水)
最終合格発表日	8月中旬

●試験概要 (令和2年度)

試験種目	区分	解答時間	試験内容
1次試験	専門試験 総合土木(新方式)	120分	択一式(50問中40問) 専門的知識及び能力について、筆記試験を行います。
2次試験	プレゼンテーションシート(自己PRシート)作成	75分	記述式 面接試験で使用するプレゼンテーションシート(自己PRシート)の作成を行います。(1,000字) ※ シート自体は評価の対象とはせず、面接試験において評価します。
	プレゼンテーションを含む面接試験	—	集団討論面接、個別面接 積極性、協調性、柔軟性、責任性等について、集団討論面接及び5分間のプレゼンテーションを含む個別面接を行います。
	適性検査	—	職務遂行上必要な素質及び適性について検査を行います。 面接試験の参考とします。

●配点比率 (令和2年度)

総合土木(新方式)		
第一次試験	第二次試験	合計
専門試験	面接試験	
100	130	230

●筆記試験 出題科目一覧 (令和2年度)

試験種目	区分	試験内容・出題科目など
専門試験	総合土木(新方式)	数学・物理⑨、応用力学⑤、水理学⑥、土質工学④、測量②、都市計画②、土木計画⑥、材料・施工④、農業水利・土地改良・農村環境整備⑦、農業土木構造物④、農学一般①等

※○の数字は出題予定数

●合格者の決定方法 (令和2年度)

最終合格者	第2次試験の結果に基づき決定し、第1次試験の成績は反映されません。
-------	-----------------------------------

●試験実施状況 (令和2年度)

区分	採用予定	申込者	1次受験者	1次合格者	最終合格者	最終倍率
総合土木(新方式)	3	6	6	3	2	3.0

●受験資格（令和2年度）

共 通	昭和60年4月2日から平成11年4月1日までに生まれた者
-----	------------------------------

●試験日程（令和2年度）

受験申込受付(WEB)	5月20日(水)～6月2日(火)
1次試験日	6月28日(日)
1次試験合格発表日	7月7日(火)
2次試験日	総合行政 7月17日(金) 7月18日(土) 7月30日(木)～8月7日(金)のうち1日 それ以外の区分 7月17日(金) 7月30日(木)～8月7日(金)のうち1日
最終合格発表日	8月21日(金)

●試験概要（令和2年度）

試験種目	区分	解答時間	試験内容	
1次試験	教養試験	150分	択一式(50問) 一般的知識(社会科学、人文科学、自然科学)及び知能(文章理解、判断推理、数的推理、資料解釈等)についての択一式による試験	
	専門試験	総合行政、警察事務	120分	択一式(50問中40問解答) 専門的知識についての択一式による試験
		農業	120分	択一式(60問中40問解答) 専門的知識についての択一式による試験
		総合土木	120分	択一式(66問中40問解答) 専門的知識についての択一式による試験
		環境、工業研究(電気電子)、林業、水産、建築設備(電気、電気)	120分	択一式(40問) 専門的知識についての択一式による試験
2次試験	論文試験	—	試験区分に応じて与えられた課題についての記述式による試験	
	集団討論	—	指定されたグループごとに与えられた課題についての集団討論	
	個別面接	—	主として人柄、対人的能力等についての個別面接 (指定する同一日に2回)	
	適性検査	—	職務遂行に必要な適性についての検査	

●配点比率（令和2年度）

総合行政、警察事務、環境、工業研究(電気電子)、農業、林業、水産、総合土木、建築設備(電気)、電気					
第一次試験		第二次試験			合計
教養試験	専門試験	論文試験	集団討論	個別面接	
100	160	20	40	380	700

●筆記試験 出題科目一覧（令和2年度）

試験種目	区分	試験内容・出題科目など
教 養 試 験	総合行政、警察事務、環境、工業研究(電気電子)、農業、林業、水産、総合土木、建築設備(電気)、電気	社会科学、人文科学、自然科学、文章理解、判断推理、数的推理、資料解釈等
専 門 試 験	総合行政、警察事務	憲法、行政法、民法、刑法、労働法、経済原論、経済政策、財政学、経済事情、政治学、行政学、社会政策、社会学、国際関係
	環境	数学・物理、物理化学、分析化学、無機化学・無機工業化学、有機化学・有機工業化学、化学工学
	工業研究(電気電子)	数学・物理、電磁気学・電気回路、電気計測・制御、電気機器・電力工学、電子工学、情報・通信工学
	農業	栽培学汎論、作物学、園芸学、育種遺伝学、植物病理学、昆虫学、土壤肥料学、分析化学、有機化学、生物化学、食品科学、家畜有種学、家畜繁殖学、家畜生理学、家畜飼養学、家畜栄養学、飼料学、家畜管理学、畜産物利用学、畜産経営一般
	林業	森林政策・森林経営学、造林学(森林生態学、森林保護学を含む。)、林業工学、林産一般、砂防工学
	水産	水産事情・水産経済・水産法規、水産環境科学、水産生物学、水産資源学、漁業学、増養殖学、水産化学、水産利用学
	総合土木	数学・物理、応用力学、水理学、土質工学、測量、都市計画、土木計画、材料・施工、土壌物理、農業水利・土地改良・農村環境整備、農業土木構造物、農業機械、農学一般
	建築設備(電気)	数学・物理、電磁気学・電気回路、電気計測・制御、電気機器・電力工学、電子工学、情報・通信工学
	電気	数学・物理、電磁気学・電気回路、電気計測・制御、電気機器・電力工学、電子工学、情報・通信工学

●合格者の決定方法（令和2年度）

最 終 合 格 者	上記各試験の結果を総合的に判定し、決定します。
-----------	-------------------------

●試験実施状況（令和2年度）

区分	採用予定	申込者	1次受験者	最終合格者	最終倍率
総合行政	53	279	228	63	3.6
警察事務	13	80	52	9	5.8
心理	2	13	13	2	6.5
社会福祉	2	16	16	3	5.3
環境	1	11	7	1	7.0
工業研究(電気電子)	1	2	2	1	2.0
農業	9	15	15	11	1.4
林業	5	5	4	2	2.0
水産	1	6	4	1	4.0
総合土木	19	30	29	23	1.3
建築設備(電気)	1	0	—	—	—
電気	4	6	3	1	3.0

●受験資格（令和2年度）

共	通	平成3年4月2日から平成11年4月1日までに生まれた者
---	---	-----------------------------

●試験日程（令和2年度）

受験申込受付(WEB)	5月20日(水)～6月8日(月)
1次試験日	6月28日(日)
1次試験合格発表日	7月下旬
2次試験日	7月下旬～8月上旬
最終合格発表日	8月下旬

●試験概要（令和2年度）

試験種目		区分	解答時間	試験内容
1次試験	教養試験	行政、農学(農業・畜産)、林学、水産、総合土木、建築、造園、機械、電気、総合化学、少年警察補導員	150分	択一式(50問) 公務員として必要な一般的知識及び能力について択一式による筆記試験を行います。
	専門試験	行政	120分	択一式(50問中40問) 試験区分に応じて、必要な専門的知識及び能力について択一式による筆記試験を行います。
		農学(農業・畜産)、総合化学	120分	択一式(60問中40問) 試験区分に応じて、必要な専門的知識及び能力について択一式による筆記試験を行います。
		林学、水産、総合土木、建築、造園、機械、電気、少年警察補導員	120分	択一式(40問) 試験区分に応じて、必要な専門的知識及び能力について択一式による筆記試験を行います。
	論文試験	行政、心理、農学(農業・畜産)、林学、水産、総合土木、建築、造園、機械、電気、総合化学、少年警察補導員	70分	課題に対する理解度、思考力及び文章による表現力について論文試験を行います。(800字程度)
適性検査	行政、心理、農学(農業・畜産)、林学、水産、総合土木、建築、造園、機械、電気、総合化学、少年警察補導員	—	職務の遂行に必要な素質及び適性について検査を行います。	
2次試験	口述試験	行政	—	主として人物について、個別面接により試験を行います。 また、集団討論面接もを行います。
		農学(農業・畜産)、林学、水産、総合土木、建築、造園、機械、電気、総合化学、少年警察補導員	—	主として人物について、個別面接により試験を行います。

●配点比率（令和2年度）

行政					
第一次試験			第二次試験		合計
教養試験	専門試験	論文試験	個別面接	集団討論	
100	120	80	800	400	1500

農学(農業・畜産)、林学、水産、総合土木、建築、造園、機械、電気、総合化学、少年警察補導員				
第一次試験			第二次試験	合計
教養試験	専門試験	論文試験	個別面接	
100	160	60	800	1120

●筆記試験 出題科目一覧 (令和2年度)

試験種目	区分	試験内容・出題科目など
教 養 試 験	行政、農学(農業・畜産)、林学、水産、総合土木、建築、造園、機械、電気、総合化学、少年警察補導員	社会、国語、英語、理科、判断推理、数の処理、資料解釈等
専 門 試 験	行政	憲法、行政法、民法、刑法、労働法、経済原論、経済政策、財政学、経済事情、政治学、行政学、社会政策、社会学、国際関係等
	農学(林業・畜産)	栽培学汎論、作物学、園芸学、育種遺伝学、植物病理学、昆虫学、土壤肥科学、植物生理学、農業経済一般、家畜育種学、家畜繁殖学、家畜生理学、家畜飼養学、家畜栄養学、飼料学、家畜管理学、畜産物利用学、畜産経営一般等
	林学	森林政策・森林経営学、造林学、森林生態学、森林保護学、林業工学、林産一般、砂防工学等
	水産	水産事情・水産経済・水産法規、水産環境科学、水産生物学、水産資源学、漁業学、増養殖学、水産化学、水産利用学等
	総合土木	数学・物理、応用力学、水理学、土質工学、測量、都市計画、土木計画、材料・施工、土壌物理、農業水利・土地改良・農村環境整備、農業土木構造物、農業機械、農学一般等
	建築	数学・物理、構造力学、材料学、環境原論、建築史、建築構造、建築計画、都市計画、建築設備、建築施工等
	造園	造園学原論、造園材料・施工、造園管理、造園計画・設計、都市・地方計画、造園関連基礎等
	機械	数学・物理、材料力学、流体力学、熱力学、電気工学、機械力学・制御、機械設計、機械材料、機械工作等
	電気	数学・物理、電磁気学・電気回路、電気計測・制御、電気機器・電力工学、電子工学、情報・通信工学等
	総合化学	数学・物理、物理化学、分析化学、無機化学・無機工業化学、有機化学・有機工業化学、化学工学、物理・化学・生物、衛生、薬理、薬剤等
	少年警察補導員	一般心理学、心理学史、発達心理学、社会心理学、教育心理学、産業心理学、臨床心理学、統計学、社会福祉概論、社会保障、社会学概論、社会調査等

●合格者の決定方法 (令和2年度)

最 終 合 格 者	第1次試験及び第2次試験の成績を総合して決定します。
-----------	----------------------------

●試験実施状況 (令和2年度)

区分	採用予定	申込者	1次受験者	1次合格者	最終合格者	最終倍率
行 政	46	301	213	75	58	3.7
農 学 (農 業 ・ 畜 産)	10	24	21	20	11	1.9
林 学	6	15	12	6	5	2.4
水 産	1	6	3	3	1	3.0
総 合 土 木	16	35	31	24	19	1.6
建 築	1	4	3	3	1	3.0
造 園	1	0	0	0	0	-
機 械	1	5	4	3	1	4.0
電 気	1	5	5	3	1	5.0
総 合 化 学	2	15	13	5	3	4.3
少 年 警 察 補 導 員	1	5	5	2	2	2.5

●受験資格（令和2年度）

共 通	昭和61年4月2日から平成11年4月1日までに生まれた者
-----	------------------------------

●試験日程（令和2年度）

受験申込受付(WEB)	5月15日(金)～6月2日(火)
1次試験日	6月28日(日)
1次試験合格発表日	7月9日(木)
2次試験日	7月25日(土)～7月30日(木)のうち指定する2日
最終合格発表日	8月中旬

●試験概要（令和2年度）

試験種目	区分	解答時間	試験内容	
1次試験	教養試験	150分	択一式(50問) 公務員として必要な一般的知識および知能について、択一式による筆記試験を行います。	
	専門試験	行政、警察行政、電気、土木(総合)、建築、化学、農学、林学、水産、機械・金属、生物(警察)	120分	択一式(60問中40問解答) 試験区分に応じた専門的知識および能力について、択一式による筆記試験を行います。
		農学	120分	択一式(80問中40問解答) 試験区分に応じた専門的知識および能力について、択一式による筆記試験を行います。
		土木(総合)	120分	択一式(50問中40問解答) 試験区分に応じた専門的知識および能力について、択一式による筆記試験を行います。
		電気、建築、化学、林学、水産、機械・金属	120分	択一式(40問) 試験区分に応じた専門的知識および能力について、択一式による筆記試験を行います。
適性検査 I	行政、警察行政、電気、土木(総合)、建築、化学、農学、林学、水産、機械・金属、生物(警察)	—	公務員として職務遂行上必要な素質および適性を有するかどうかについて検査を行います。	
2次試験	論文試験	70分	県政の課題に対する理解度、思考力および文章による表現力等について、記述式による筆記試験を行います。	
	口述試験	—	受験者の人柄、性格、職務遂行能力等について、集団討論および個別面接を行います。	
	適性検査 II	行政、警察行政、電気、土木(総合)、建築、化学、農学、林学、水産、機械・金属、生物(警察)	—	公務員として職務遂行上必要な素質および適性を有するかどうかについて検査を行います。
	外国語資格加点	行政、警察行政、電気、土木(総合)、建築、化学、農学、林学、水産、機械・金属、生物(警察)	—	英語の一定水準以上の語学資格を有する方に対して、一定点を加えます。

●配点比率（令和2年度）

行政、警察行政、電気、土木(総合)、建築、化学、農学、林学、水産、機械・金属、生物(警察)				
第一次試験		第二次試験		合計
教養試験	専門試験	論文試験	口述試験	
100	200	100	400	800

●筆記試験 出題科目一覧（令和2年度）

試験種目	区分	試験内容・出題科目など
教 養 試 験	行政、警察行政、電気、土木(総合)、建築、化学、農学、林学、水産、機械・金属、生物(警察)	社会科学、人文科学、自然科学、文章理解、判断推理、数的推理、資料解釈
専 門 試 験	行政、警察事務	憲法、行政法、民法、刑法、労働法、経済原論、経済政策、財政学、経済事情、政治学、行政学、社会政策、社会学、国際関係、心理学、教育学
	電気	数学・物理、電磁気学・電気回路、電気計測・制御、電気機器・電力工学、電子工学、情報・通信工学
	土木(総合)	数学・物理、応用力学、水理学、土質工学、測量、材料・施工、都市計画、土木計画、土壌物理、農業水利、土地改良、農村環境整備、農業土木構造物、農学一般
	建築	数学・物理、構造力学、材料学、環境原論、建築史、建築構造、建築計画、都市計画、建築設備、建築施工
	化学	数学・物理、物理化学、分析化学、無機化学・無機工業化学、有機化学・有機工業化学、化学工学
	農学	栽培学汎論、作物学、園芸学、育種遺伝学、植物病理学、昆虫学、土壤肥科学、植物生理学、農業経済一般、一般化学、分析化学、有機化学、生物化学、食品科学、応用微生物学、家畜育種学、家畜繁殖学、家畜生理学、家畜飼養学、家畜栄養学、飼料学、家畜管理学
	林学	森林政策・森林経営学、造林学(森林生態学、森林保護学を含む。)、林業工学、林産一般、砂防工学
	水産	水産事情・水産経済・水産法規、水産環境科学、水産生物学、水産資源学、漁業学、増養殖学、水産化学、水産利用学
	機械・金属	数学・物理、材料力学、流体力学、熱力学、電気工学、機械力学・制御、機械設計、機械材料、機械工作
	生物(警察)	物理化学、分析化学、無機化学・無機工業化学、有機化学・有機工業化学、生物有機化学、生物化学、応用微生物学、物理・化学・生物(薬学)、薬理、薬剤、法規・制度(薬学)

●合格者の決定方法（令和2年度）

最 終 合 格 者	第1次試験および第2次試験の成績を総合して決定します。
-----------	-----------------------------

●試験実施状況（令和2年度）

区分	採用予定	申込者	1次受験者	1次合格者	2次受験者	最終合格者	最終倍率
行 政	60	239	199	102	97	69	2.9
警 察 事 務	6	71	49	19	16	11	4.5
農 学	10	19	17	15	14	10	1.7
水 産	1	6	6	4	4	2	3.0
建 築	3	6	6	4	3	3	2.0
土 木 (総 合)	14	17	15	12	12	9	1.7
電 気	4	7	7	6	5	4	1.8
化 学	2	5	2	2	2	0	-
生 物 (警 察)	4	97	60	17	17	8	7.5

●受験資格（令和2年度）

共 通	昭和60年4月2日から平成11年4月1日までに生まれた者
-----	------------------------------

●試験日程（令和2年度）

受験申込受付(WEB)	5月13日(水)～6月1日(月)
1次試験日	6月28日(日)
1次試験合格発表日	7月3日(金)
2次試験日	① 7月12日(日) ② 8月7日(金)～8月13日(木)のうち指定する1日
最終合格発表日	8月28日(金)

●試験概要（令和2年度）

試験種目	区分	解答時間	試験内容	
1次試験	教養試験	120分	五肢選択式(50問中40問) 公務員として必要な一般的知識及び知能について、五肢選択式による大学卒業程度の筆記試験を行います。 (出題数 50問のうち、知能分野 20問を必須解答し、知識分野 30問中 20問を選択解答します。)	
	専門試験	行政Ⅰ、警察行政	120分	五肢選択式(50問中40問) 各試験職種に応じた専門的知識、能力等について、五肢選択式による大学卒業程度の筆記試験を行います。
		化学、農業、林業、土木、農業土木、建築、電気、畜産、水産、研究(森林病虫害)、研究(電子)、警察鑑定研究(心理)	120分	五肢選択式(40問) 各試験職種に応じた専門的知識、能力等について、五肢選択式による大学卒業程度の筆記試験を行います。
		司書	120分	五肢選択式及び記述式 各試験職種に応じた専門的知識、能力等について、五肢選択式又は記述式による大学卒業程度の筆記試験を行います。
		文化財主事	120分	記述式(全問解答) 各試験職種に応じた専門的知識、能力等について、記述式による大学卒業程度の筆記試験を行います。
		建築設備	120分	五肢選択式(40問) 各試験職種に応じた専門的知識、能力等について、五肢選択式による大学卒業程度の筆記試験を行います。 ※出願時に出題分野を選択します。
自己アピール試験	行政Ⅱ	90分	記述式 専門試験に代えて、自らの経験等から得た能力・実績についての記述式による試験を行います。	
2次試験	人物試験	—	公務員として職務遂行に必要な素質及び適性を有するかどうかについて適性検査を行います。 表現力、積極性、創造性等について個別面接(2回)を行います。	
	論文試験	行政Ⅰ、行政Ⅱ、警察行政、化学、農業、林業、土木、農業土木、建築、電気、畜産、水産、司書、文化財主事、建築設備、研究(森林病虫害)、研究(電子)、警察鑑定研究(心理)	90分	記述式 文章による表現力、構成力、課題に対する理解力等について記述式による試験を行います。

●配点比率（令和2年度）

行政Ⅰ、警察行政、化学、農業、林業、土木、農業土木、建築、電気、畜産、水産、司書、文化財主事、建築設備、 研究(森林病虫害)、研究(電子)、警察鑑定研究(心理)				
第一次試験		第二次試験		合計
教養試験	専門試験	人物試験	論文試験	
40	40	140	20	240

行政Ⅱ				
第一次試験		第二次試験		合計
教養試験	自己アピール試験	人物試験	論文試験	
20	60	140	20	240

●筆記試験 出題科目一覧（令和2年度）

試験種目	区分	試験内容・出題科目など
教 養 試 験	行政Ⅰ、行政Ⅱ、警察行政、化学、農業、林業、土木、農業土木、建築、電気、畜産、水産、司書、文化財主事、建築設備、研究(森林病虫害)、研究(電子)、警察鑑定研究(心理)	知能分野: 文章理解、判断推理、数的推理、資料解釈 知識分野: 社会科学、人文科学、自然科学
専 門 試 験	行政Ⅰ、警察行政	政治学、行政学、憲法、行政法、民法、刑法、労働法、経済学(経済原論、経済政策、経済史)、財政学、経営学、社会政策、国際関係
	化学	数学・物理、物理化学、分析化学、無機化学・無機工業化学、有機化学・有機工業化学、化学工学
	農業	栽培学汎論、作物学、園芸学、育種遺伝学、植物病理学、昆虫学、土壤肥科学、植物生理学、畜産一般、農業経済一般
	林業	森林政策・森林経営学、造林学(森林生態学、森林保護学を含む。)、林業工学、林産一般、砂防工学
	土木	数学・物理、応用力学、水理学、土質工学、測量、都市計画、土木計画、材料・施工
	農業土木	数学、応用力学、水理学、測量、土壤物理、農業水利・土地改良・農村環境整備、農業土木構造物、材料・施工、農業機械、農業一般
	建築	数学・物理、構造力学、材料学、環境原論、建築史、建築構造、建築計画、都市計画、建築設備、建築施工
	電気	数学・物理、電磁気学・電気回路、電気計測・制御、電気機器・電力工学、電子工学、情報・通信工学
	畜産	家畜育種学、家畜繁殖学、家畜生理学、家畜飼養学、家畜栄養学、飼料学、家畜管理学、畜産物利用学、畜産経営一般
	水産	水産事情・水産経済・水産法規、水産環境科学、水産生物学、水産資源学、漁業学、増養殖学、水産化学、水産利用学
	司書	生涯学習概論、図書館概論、図書館制度・経営論、図書館情報技術論、図書館サービス概論、情報サービス論、図書館情報資源概論、情報資源組織論、児童サービス論
	文化財主事	考古学、歴史学、民俗学、文化財保護行政論
	建築設備	建築分野 数学・物理、構造力学、材料学、環境原論、建築史、建築構造、建築計画、都市計画、建築設備、建築施工 機械分野 数学・物理、材料力学、流体力学、熱力学、電気工学、機械力学・制御、機械設計、機械材料、機械工作 電気分野 数学・物理、電磁気学・電気回路、電気計測・制御、電気機器・電力工学、電子工学、情報・通信工学
	研究(森林病虫害)	植物病理学、昆虫学、土壤肥科学、植物生理学、造林学(森林生態学、森林保護学を含む。)、応用微生物学
	研究(電子)	数学・物理、電磁気学・電気回路、電気計測・制御、電気機器・電力工学、電子工学、情報・通信工学
	警察鑑定研究(心理)	一般心理学(心理学史、発達心理学、社会心理学を含む。)、応用心理学(教育心理学・産業心理学・臨床心理学)、調査・研究法、統計学

都道府県

●合格者の決定方法（令和2年度）

1次試験	教養試験及び専門試験(行政Ⅱの場合は、教養試験及び自己アピール試験)の合計得点の高い順に決定します。
最終合格者	第1次試験、第2次試験の合計得点の高い順に決定します。

●試験実施状況（令和2年度）

区分	採用予定	申込者	1次受験者	1次合格者	2次受験者	最終合格者	最終倍率
行政Ⅰ	57	415	346	122	114	65	5.3
行政Ⅱ	2	9	8	3	2	2	4.0
警察行政	7	45	39	16	16	7	5.6
化学	2	12	10	7	6	3	3.3
農業	7	22	20	16	16	10	2.0
林業	9	17	12	10	10	9	1.3
土木	8	16	15	15	15	10	1.5
農業土木	6	6	6	5	4	2	3.0
建築	3	6	4	4	4	4	1.0
電気	3	13	10	8	7	4	2.5
畜産	2	2	2	2	1	1	2.0
水産	1	6	5	5	4	2	2.5
司書	3	24	20	8	7	3	6.7
文化財主事	1	7	5	3	3	1	5.0
建築設備	1	0	-	-	-	-	-
研究(森林病虫害)	1	1	0	-	-	-	-
研究(電子)	2	0	-	-	-	-	-
警察鑑定研究(心理)	1	10	9	5	5	1	9.0

行政A、化学、電気、機械、農業、水産、林業、総合土木、建築

●受験資格（令和2年度）

共 通	昭和60年4月2日から平成11年4月1日までに生まれた者
-----	------------------------------

●試験日程（令和2年度）

受験申込受付(WEB)	5月7日(木)～5月29日(金)
1 次 試 験 日	6月28日(日)
1次試験合格発表日	7月7日(火)
2 次 試 験 日	第一回 7月中旬～7月下旬 第二回 7月下旬～8月上旬
最終合格発表日	8月下旬

●試験概要（令和2年度）

試験種目		区分	解答時間	試験内容
1次試験	教養試験	行政A	120分	択一式(50問中40問) 大学卒業程度の一般的な知識及び知能についての択一式試験
	基礎能力検査	化学、電気、機械、農業、水産、林業、総合土木、建築	70分	SPI3(能力検査のみ)
	専門試験	行政A、総合土木	120分	択一式(50問中40問) 試験区分に応じた大学卒業程度の専門的な知識及び能力についての択一式試験
		化学、電気、機械、農業、水産、林業、建築	120分	択一式(40問) 試験区分に応じた大学卒業程度の専門的な知識及び能力についての択一式試験
	論文試験	行政A、化学、電気、機械、農業、水産、林業、総合土木、建築	90分	一般的事項についての論文試験(1,200字以内)
2次試験	適性検査	行政A、化学、電気、機械、農業、水産、林業、総合土木、建築	—	職務遂行に必要な適性についての検査
	口述試験	行政A、化学、電気、機械、農業、水産、林業、総合土木、建築	—	集団討論、個別面接(2回)
	外国語資格等の加算	行政A、化学、電気、機械、農業、水産、林業、総合土木、建築	—	英語、中国語、韓国語の一定水準以上の語学資格を有する方に対して、一定点を加算します。

●配点比率（令和2年度）

行政A				
第一次試験		第二次試験		合計
教養試験	専門試験	論文試験	口述試験(適性検査含む)	
400	800	300	900	2400

化学、電気、機械、農業、水産、林業、総合土木、建築				
第一次試験		第二次試験		合計
基礎能力検査	専門試験	論文試験	口述試験(適性検査含む)	
320	800	300	900	2320

●筆記試験 出題科目一覧 (令和2年度)

試験種目	区分	試験内容・出題科目など
教 養 試 験	行政A	【知識分野＝選択解答】社会科学⑩、人文科学⑨、自然科学⑦ 【知能分野＝必須解答】文章理解(英語を含む。)⑧、判断推理⑦、数的処理・資料解釈⑤
	化学、電気、機械、農業、水産、林業、総合土木、建築	SP13(知能分野のみ)
専 門 試 験	行政A	政治学②、行政学②、憲法④、行政法⑤、民法⑥、刑法②、労働法②、経済原論・経済政策(経済事情を含む。)・経済史(経済学説史を含む。)⑩、財政学④、社会政策③、国際関係③、経営学②(※このうち40問を選択解答)
	電気	数学・物理⑩、電磁気学・電気回路⑩、電気計測・制御④、電気機器・電力工学⑥、電子工学⑥、情報・通信工学④
	機械	数学・物理⑩、材料力学④、流体力学④、熱力学④、電気工学②、機械力学・制御④、機械設計⑥、機械材料③、機械工作③
	化学	数学・物理⑦、物理化学⑨、分析化学③、無機化学・無機工業化学⑥、有機化学・有機工業化学⑨、化学工学⑥
	農業	栽培学汎論⑤、作物学⑤、園芸学⑤、育種遺伝学⑤、植物病理学④、昆虫学④、土壌肥科学④、植物生理学④、畜産一般②、農業経済一般②
	水産	水産事情・水産経済・水産法規⑧、水産環境科学⑤、水産生物学⑤、水産資源学④、漁業学④、増養殖学④、水産化学⑤、水産利用学⑤
	総合土木	数学・物理⑩、応用力学⑥、水理学⑥、測量②、材料・施工④、土質工学④、都市計画②、土木計画⑥、農業水利・土地改良・農村環境整備⑥、農業土木構造物③、土壌物理①(※このうち40問を選択解答)
	建築	数学・物理⑩、構造力学⑤、材料学②、環境原論④、建築史②、建築構造④、建築計画⑤、都市計画③、建築設備②、建築施工③
	林業	森林政策・森林経営学⑩、造林学(森林生態学・森林保護学を含む)⑩、林業工学④、林産一般⑤、砂防工学⑥

※○の数字は出題予定数

●合格者の決定方法 (令和2年度)

1 次 試 験	第1次試験の基準を満たす者の合計点の上位者から決定します。
2 次 試 験	資格調査の合格者のうち第2次試験の全ての基準を満たす者の合計点の上位者から決定します。

●試験実施状況 (令和2年度)

区分	採用予定	申込者	1次受験者	1次合格者	2次受験者	最終合格者	最終倍率
行 政 A	50	382	283	164	158	71	4.0
電 気 機 械	15	11	7	5	5	3	2.3
		16	14	7	7	4	3.5
化 学	5	29	20	12	12	5	4.0
農 業	15	49	39	33	30	16	2.4
水 産	若干名	10	8	5	5	2	4.0
総 合 土 木	20	43	35	25	24	22	1.6
建 築	5	7	3	3	3	3	1.5
林 業	10	28	24	18	18	11	2.2

行政B

●受験資格（令和2年度）

共 通	平成3年4月2日から平成11年4月1日までに生まれた者
-----	-----------------------------

●試験日程（令和2年度）

受験申込受付(WEB)	3月9日(月)～3月27日(金)
1次試験日	4月12日(日)
1次試験合格発表日	5月1日(金)
2次試験日	第一回 5月15日(金)または18日(月) 第二回 5月22日(金)または25日(月)
最終合格発表日	6月上旬

●試験概要（令和2年度）

試験種目		区分	解答時間	試験内容
1次試験	基礎能力検査	行政B	70分	SPI3(能力検査のみ)
	自己アピール試験	行政B	90分	自らの経験や実績等をアピールする記述試験 (自己アピールの内容は第2次試験の参考資料としても使用)
	論文試験	行政B	90分	一般的事項についての論文試験(1,200字以内) ※採点は2次試験で行います。
2次試験	外国語資格等の加算	行政B	—	英語、中国語、韓国語の一定水準以上の語学資格を有する方に対して、一定点を加算します。
	適性検査	行政B	—	職務遂行に必要な適性についての検査
	口述試験	行政B	—	集団討論、個別面接(2回)

●配点比率（令和2年度）

行政B				
第一次試験		第二次試験		合計
基礎能力検査	自己アピール試験	論文試験	口述試験	
640	600	300	900	2460

●筆記試験 出題科目一覧（令和2年度）

試験種目	区分	試験内容・出題科目など
基礎能力試験	行政B	SPI3(能力検査のみ)

●合格者の決定方法（令和2年度）

1次試験	第1次試験の基準を満たす者の合計点の上位者から決定します。
最終合格者	資格調査の合格者のうち第2次試験の全ての基準を満たす者の合計点の上位者から決定します。

●試験実施状況（令和2年度）

区分	採用予定	申込者	1次受験者	1次合格者	2次受験者	最終合格者	最終倍率
行政B	25	467	220	100	90	30	7.3

警察職員 行政、鑑識法医

●受験資格（令和2年度）

共 通	昭和60年4月2日から平成11年4月1日までに生まれた者
-----	------------------------------

●試験日程（令和2年度）

受験申込受付(WEB)	5月7日(木)～5月26日(火)
1次試験日	6月28日(日)
1次試験合格発表日	7月上旬
2次試験日	第一回 7月19日(日) 第二回 8月中旬
最終合格発表日	8月下旬

●試験概要（令和2年度）

試験種目	区分	解答時間	試験内容	
1次試験	教養試験	行政、鑑識法医	120分	択一式(50問中40問) 公務員として必要な一般的な知識及び技能についての大学卒業程度の選択解答制による択一式筆記試験
	専門試験	行政	120分	択一式(50問中40問) 専門的な知識及び能力についての大学卒業程度の選択解答制による択一式筆記試験
		鑑識法医	120分	択一式(50問中40問) 専門的な知識及び能力についての大学卒業程度の選択解答制による択一式筆記試験
2次試験	論文試験	行政、鑑識法医	90分	一般的事項についての論文試験(1,200字以内) 【評定項目】論理性、文章力、理解・判断力、構想力
	適性検査	行政、鑑識法医	-	職務遂行上必要な適性についての検査
	口述試験	行政、鑑識法医	-	態度、表現力、協調性、積極性、判断力、堅実性、創造性

●配点比率（令和2年度）

行政、鑑識法医				
一次試験		二次試験		合計
教養試験	専門試験	論文試験	口述試験	
400	400	250	750	1800

●筆記試験 出題科目一覧（令和2年度）

試験種目	区分	試験内容・出題科目など
教養試験	行政、鑑識法医	【知識分野(30題出題20題選択解答)】社会科学⑩、人文科学⑨、自然科学⑦ 【知能分野(20題必須解答)】文章理解(英語を含む。)⑧、判断推理⑦、数的推理・資料解釈⑤
専門試験	行政	【50題出題40題選択解答】政治学②、行政学②、憲法④、行政法⑤、民法⑥、刑法②、労働法②、経済原論・経済政策(経済事情を含む。)・経済史(経済学説史を含む。)⑬、財政学④、社会政策③、国際関係③、経営学②
	鑑識法医	【50題出題40題選択解答】化学⑬、生物学⑩、衛生②、遺伝学⑥、生理学⑥、解剖学②

●合格者の決定方法（令和2年度）

1次試験	第1次試験の基準を満たす者の合計点の上位者から決定します。
最終合格者	資格調査の合格者のうち第2次試験の全ての基準を満たす者の合計点の上位者から決定します。

●試験実施状況（令和2年度）

区分	採用予定	申込者	1次受験者	1次合格者	2次受験者	最終合格者	最終倍率
行政	5	123	76	27	25	6	12.7
鑑識法医	若干名	19	12	12	12	1	12.0

行政B【秋季チャンス】

●受験資格（令和2年度）

共 通	平成3年4月2日から平成11年4月1日までに生まれた者
-----	-----------------------------

●試験日程（令和2年度）

受験申込受付(WEB)	7月28日(火)～9月4日(金)
1次試験日	9月20日(日)
1次試験合格発表日	10月2日(金)
2次試験日	第一回 10月9日(金)、10月12日(月)又は10月13日(火)のいずれか1日 第二回 10月16日(金)又は10月20日(火)のいずれか1日
最終合格発表日	11月上旬

●試験概要（令和2年度）

試験種目		区分	解答時間	試験内容
1次試験	基礎能力検査	行政B(秋季チャンス)	70分	SPI3(能力検査のみ)
	自己アピール試験	行政B(秋季チャンス)	-	自らの経験や実績等をアピールする記述試験 (自己アピールの内容は2次試験の参考資料としても使用)
	論文試験	行政B(秋季チャンス)	90分	一般的事項についての論文試験(1,200字以内) ※採点は2次試験で行います。
2次試験	外国語資格等の加算	行政B(秋季チャンス)	-	英語、中国語、韓国語の一定水準以上の語学資格を有する方に対して、一定点を加算します。
	適性検査	行政B(秋季チャンス)	-	職務遂行上必要な適性についての検査
	口述試験	行政B(秋季チャンス)	-	個別面接(2回) ※一回目はオンライン、二回目は対面で実施

●配点比率（令和2年度）

行政B(秋季チャンス)				
一次試験		二次試験		合計
基礎能力検査	自己アピール試験	論文試験	口述試験	
640	600	300	900	2440

●筆記試験 出題科目一覧（令和2年度）

試験種目	区分	試験内容・出題科目など
基礎能力検査	行政B(秋季チャンス)	SPI3(能力検査のみ)

●合格者の決定方法（令和2年度）

1次試験	第1次試験の基準を満たす者の合計点の上位者から決定します。
最終合格者	資格調査の合格者のうち第2次試験の全ての基準を満たす者の合計点の上位者から決定します。

●試験実施状況（令和2年度）

区分	採用予定	申込者	受験者	1次合格者	2次受験者	最終合格者	最終倍率
行政B (秋季チャンス)	10	429	248	40	35	11	22.5

行政Ⅰ、警察行政、農学、畜産、森林科学、土木、建築、農業土木、電気、機械、化学、水産、市町村立小中学校等事務職員

●受験資格（令和2年度）

共 通	平成3年4月2日から平成11年4月1日までに生まれた者
-----	-----------------------------

●試験日程（令和2年度）

受験申込受付	4月24日(金)～5月15日(金) ※持参または郵送のみ。
1次試験日	6月28日(日)
1次試験合格発表日	7月7日(火)
2次試験日	7月中旬～8月上旬
最終合格発表日	8月下旬

●試験概要（令和2年度）

試験種目	区分	解答時間	試験内容
1次試験	教養試験	150分	択一式(50問) 択一式による筆記試験を大学卒業程度で行います。
	専門試験	120分	択一式(50問中40問) 専門的知識、技術又はその他の能力について、択一式による筆記試験を大学卒業程度で行います。
		120分	択一式(40問) 専門的知識、技術又はその他の能力について、択一式による筆記試験を大学卒業程度で行います。
	論文試験 ①	60分	識見、論理性、思考力等について試験を行います。 ※第2次試験として評価します。
2次試験	口述試験	—	人物及び専門的知識について個別面接による試験を行います。
	集団討論 試験	—	社会性、協調性、指導力、説得力等について集団討論による試験を行います。
	適性検査	—	職務遂行上必要な素質及び適性について検査を行います。

●配点比率（令和2年度）

行政Ⅰ、農学、畜産、森林科学、土木、建築、農業土木、電気、機械、化学、水産					
一次試験		二次試験			合計
教養試験	専門試験	論文試験	口述試験	集団討論試験	
100	200	100	500	100	1000

警察行政、市町村立小中学校等事務職員					
一次試験		二次試験			合計
教養試験	専門試験	論文試験	口述試験	集団討論試験	
100	200	200	500	300	1300

●筆記試験 出題科目一覧（令和2年度）

試験種目	区分	試験内容・出題科目など
教養試験	行政Ⅰ、警察行政、農学、畜産、森林科学、土木、建築、農業土木、電気、機械、化学、水産、市町村立小中学校等事務職員	一般的知能(文章理解(英語を含む。)、判断推理、数的推理及び資料解釈の能力)及び一般的知識(社会及び現代の社会に関する問題、人文及び自然の知識)
専門試験	行政Ⅰ、警察行政	政治学、行政学、憲法、行政法、民法、刑法、労働法、経済原論、経済政策、経済事情、財政学、社会政策、社会学、国際関係等
	農学	栽培学汎論、作物学、園芸学、育種遺伝学、植物病理学、昆虫学、土壤肥科学、植物生理学、畜産一般、農業経済一般等
	畜産	家畜育種学、家畜繁殖学、家畜生理学、家畜飼養学、家畜栄養学、飼料学、家畜管理學、畜産物利用学、畜産経営一般等
	森林科学	森林政策・森林経営学、造林学(森林生態学、森林保護学を含む)、林業工学、林産一般、砂防工学等
	土木	数学・物理、応用力学、水理学、土質工学、測量、材料・施工、都市計画、土木計画等
	建築	数学・物理、材料学、構造力学、環境原論、建築史、建築構造、建築計画、都市計画、建築設備、建築施工等
	農業土木	数学、応用力学、水理学、測量、土壤物理、農業水利・土地改良・農村環境整備、農業土木構造物、材料・施工、農業機械、農学一般等
	電気	数学・物理、電磁気学・電気回路、電気計測・制御、電気機器・電力工学、電子工学、情報・通信工学等
	機械	数学・物理、材料力学、流体力学、熱力学、電気工学、機械力学・制御、機械設計、機械材料、機械工作等
	化学	数学・物理、物理化学、分析化学、無機化学・無機工業化学、有機化学・有機工業化学、化学工学等
	水産	水産事情・水産経済・水産法規、水産環境科学、水産生物学、水産資源学、漁業学、増養殖学、水産化学、水産利用学等
	市町村立小中学校等事務職員	政治学、行政学、憲法、行政法、民法、刑法、労働法、経済原論、経済政策、経済事情、財政学、社会政策、社会学、国際関係等

●合格者の決定方法（令和2年度）

行政Ⅰ、農学、畜産、森林科学、土木、建築、農業土木、電気、機械、化学、水産	
1次試験合格者	第1次試験の合計得点により決定します。
最終合格者	第2次試験の合計得点及び適性検査の結果により決定されます。ただし第1次試験の得点を算入します

警察行政、市町村立小中学校等事務職員	
1次試験合格者	第1次試験の合計得点により決定します。
最終合格者	第2次試験の合計得点及び適性検査の結果により決定されます。

●試験実施状況（令和2年度）

区分	採用予定	申込者	1次受験者	1次合格者	2次受験者	最終合格者	最終倍率
行政 I	50	292	227	130	126	63	3.6
警察行政	10	55	35	16	14	8	4.4
農学	10	18	15	10	8	6	2.5
畜産	若干名	5	5	2	2	1	5.0
森林科学	10	10	8	7	7	5	1.6
土木	15	27	20	16	16	11	1.8
建築	若干名	9	8	4	4	1	8.0
農業土木	5	13	12	6	6	5	2.4
電気	若干名	7	5	4	4	2	2.5
機械	若干名	7	6	3	2	1	6.0
化学	若干名	10	6	3	2	1	6.0
水産	若干名	5	2	2	1	1	2.0

行政Ⅱ

●受験資格（令和2年度）

共 通	昭和56年4月2日から平成11年4月1日までに生まれた者
-----	------------------------------

●試験日程（令和2年度）

受験申込受付	3月2日(月)～3月23日(月) ※持参または郵送のみ。
1次試験日	7月19日(日)
1次試験合格発表日	8月3日(月)
2次試験日	8月21日(金)、24日(月)
2次試験合格発表日	9月16日(木)
3次試験日	10月9日(金)
最終合格発表日	10月20日(火)

●試験概要（令和2年度）

試験種目		区分	解答時間	試験内容
1次試験	教養試験	行政Ⅱ	60分	択一式(120問) 択一式による筆記試験を大学卒業程度で行います。
	論文試験①	行政Ⅱ	60分	識見、論理性、思考力等について試験を行います。 ※第2次試験として評価します。
	論文試験②	行政Ⅱ	90分	識見、論理性、思考力等について試験を行います。 ※教養試験の得点が一定の基準に達しない場合は採点されません。
2次試験	口述試験	行政Ⅱ	—	人物及び専門的知識について個別面接による試験を行います。
	適性検査	行政Ⅱ	—	職務遂行上必要な素質及び適性について検査を行います。 ※結果を第3次試験でも使用します。
3次試験	口述試験	行政Ⅱ	—	人物及び専門的知識について個別面接による試験を行います。
	集団討論試験	行政Ⅱ	—	社会性、協調性、指導力、説得力等について集団討論による試験を行います。

●配点比率（令和2年度）

行政Ⅱ						
一次試験		二次試験		三次試験		合計
教養試験	論文試験②	論文試験①	口述試験(1次)	口述試験(2次)	集団討論	
100	100	100	400	300	200	1200

●筆記試験 出題科目一覧（令和2年度）

試験種目	区分	試験内容・出題科目など
教 養 試 験	行政Ⅱ	文章読解能力、数的能力、推理判断能力、人文・社会、自然に関する一般知識、基礎英語

●合格者の決定方法（令和2年度）

1次試験	第1次試験の合計得点により決定します。
2次試験	第2次試験の合計得点及び適性検査の結果により決定します。
最終合格者	第2次試験と第3次試験の合計得点及び適性検査の結果により決定されます。

●試験実施状況（令和2年度）

区分	採用予定	申込者	1次受験者	1次合格者	2次受験者	2次合格者	3次受験者	最終合格者	最終倍率
行政Ⅱ	10	379	199	74	58	28	17	9	22.1

●受験資格（令和2年度）

共通	【行政Ⅰ、小中学校事務、警察行政】 平成2年4月2日から平成11年4月1日までに生まれた者
	【行政Ⅱ、行政(静岡 がんセンター情報処理)、土木、農業、林業、農業土木、建築、水産、電気、機械、工業化学 理化学鑑識(生物)】 昭和60年4月2日から平成11年4月1日までに生まれた者

●試験日程（令和2年度）

受験申込受付(WEB)	5月15日(金)～5月29日(金)
1次試験日	6月28日(日)
1次試験合格発表日	7月9日(木)
2次試験日	7月20日(月)～8月18日(火)
最終合格発表日	8月下旬

●試験概要（令和2年度）

試験種目		区分	解答時間	試験内容
1次試験	教養試験	行政Ⅰ、小中学校事務、警察行政、行政(静岡 がんセンター情報処理)、土木、農業、林業、農業土木、建築、水産、電気、機械、工業化学 理化学鑑識(生物)	120分	択一式(50問中40問) 大学卒業程度の一般的知識及び知能についての択一式による筆記試験
	専門試験	行政Ⅰ、小中学校事務、警察行政	120分	択一式(55問中40問解答) 職種に応じた大学卒業程度の専門的知識、技術等についての筆記試験
		土木、農業、林業、農業土木、建築、水産、電気、機械、工業化学 理化学鑑識(生物)	120分	択一式(40問) 職種に応じた大学卒業程度の専門的知識、技術等についての筆記試験
		行政(静岡 がんセンター情報処理)	120分	記述式 職種に応じた大学卒業程度の専門的知識、技術等についての筆記試験
	総合能力試験	行政Ⅱ	120分	択一式(40問) 大学卒業程度の総合的知識及び知能についての択一式による筆記試験
論文試験	行政Ⅱ	90分	記述式 課題に対する理解力、論理性、表現等についての記述式による筆記試験 ※採点は、総合能力試験が一定の基準を達した人についてのみ行います。	
2次試験	論文試験	行政Ⅰ、小中学校事務、警察行政、行政(静岡 がんセンター情報処理)、土木、農業、林業、農業土木、建築、水産、電気、機械、工業化学 理化学鑑識(生物)	90分	記述式 課題に対する理解力、論理性、表現力等についての記述式による筆記試験 ※第1次試験日に実施
	面接試験(1回目)	行政Ⅰ、小中学校事務、警察行政、行政(静岡 がんセンター情報処理)、土木、農業、林業、農業土木、建築、水産、電気、機械、工業化学 理化学鑑識(生物)	—	人物についての個別面接及び集団討論による口述試験
	面接試験(2回目)	行政Ⅰ、行政Ⅱ	—	人物についての個別面接による口述試験
	適性検査	行政Ⅰ、行政Ⅱ、小中学校事務、警察行政、行政(静岡 がんセンター情報処理)、土木、農業、林業、農業土木、建築、水産、電気、機械、工業化学 理化学鑑識(生物)	—	職員としての適性についての検査

●配点比率（令和2年度）

行政Ⅰ、小中学校事務、警察行政、行政(静岡 がんセンター情報処理)				
一次試験		二次試験		合計
教養試験	専門試験	論文試験	面接試験	
40	40	40	480	600

行政Ⅱ				
一次試験		二次試験		合計
総合能力試験	論文試験	面接試験		
50	50	500		600

土木、農業、林業、農業土木、建築、水産、電気、機械、工業化学 理化学鑑識(生物)				
一次試験		二次試験		合計
教養試験	専門試験	論文試験	面接試験	
32	48	40	480	600

●筆記試験 出題科目一覧（令和2年度）

試験種目	区分	試験内容・出題科目など
教 養 試 験	行政Ⅰ、小中学校事務、警察行政、行政(静岡 がんセンター情報処理)、土木、農業、林業、農業土木、建築、水産、電気、機械、工業化学 理化学鑑識(生物)	【知識分野】社会科学⑨、人文科学⑨、自然科学⑦のうち15題選択回答 【知能分野】文章理解⑧、判断推理⑩、数的推理・資料解釈⑦
	専 門 試 験	政治学②、行政学②、憲法④、行政法⑤、民法⑤、刑法①、労働法②、経済原論⑧、経済事情①、経済政策③、財政学④、社会政策③、国際関係④、経営学③、教育学③、心理学②、社会福祉③
	行政(静岡 がんセンター情報処理)	(記述式)基礎理論、コンピュータシステム、データベース、ネットワーク、情報セキュリティ、アルゴリズム、プログラミング
	土木	数学・物理⑩、応用力学⑥、水理学⑥、土質工学④、測量②、都市計画②、土木計画⑥、材料・施工④
	農業	栽培学汎論⑤、作物学⑤、園芸学⑤、育種遺伝学⑤、植物病理学④、昆虫学④、土壤肥科学④、植物生理学④、畜産一般②、農業経済一般②
	林業	森林政策・森林経営学⑬、造林学(森林生態学、森林保護学を含む。)⑫、林業工学④、林産一般⑤、砂防工学⑥
	農業土木	数学③、応用力学③、水理学④、測量②、土壌物理②、農業水利・土地改良・農村環境整備⑭、農業土木構造物⑤、材料・施工②、農業機械②、農学一般③
	建築	数学・物理⑩、構造力学⑤、材料学②、環境原論④、建築史②、建築構造④、建築計画⑤、都市計画③、建築整備②、建築施工③
	水産	水産事情・水産経済・水産法規⑧、水産環境科学⑤、水産生物学⑤、水産資源学④、漁業学④、増養殖学④、水産化学⑤、水産利用学⑤
	電気	数学・物理⑩、電磁気学・電気回路⑩、電気計測・制御④、電気機器・電力工学⑥、電子工学⑥、情報・通信工学④
	機械	数学・物理⑩、材料力学④、流体力学④、熱力学④、電気工学②、機械力学・制御④、機械設計⑥、機械材料③、機械工作③
	工業化学	数学・物理⑦、物理化学⑨、分析化学③、無機化学・無機工業化学⑥、有機化学・有機工業化学⑨、化学工学⑥
	理化学鑑識(生物)	分子生物学⑩、生化学⑦、血清③、生理学③、遺伝学⑥、有機化学⑥、無機化学③、数学②
総 合 能 力 試 験	行政Ⅱ	【総合能力試験1(90分)】現代社会(時事)⑤、文章理解⑬、判断推理⑤、数的推理・資料解釈⑦ 【総合能力試験2(30分)】社会政策⑤、国際関係⑤

※○の数字は出題予定数

●合格者の決定方法（令和2年度）

最終合格者 第1次試験の得点と第2次試験の得点を合計した総合得点の高い順に決定します。

●試験実施状況（令和2年度）

区分	採用予定	申込者	1次受験者	1次合格者	2次受験者	最終合格者	最終倍率
行政 I	71	408	318	217	206	81	3.9
行政 II	37	374	260	113	100	41	6.3
小中学校事務	7	39	29	17	16	7	4.1
警察行政	17	81	60	38	38	21	2.9
行政(静岡がんセンター情報処理)	1	8	6	5	5	1	6.0
土木	17	42	31	27	27	18	1.7
農業	5	63	45	20	18	6	7.5
林業	5	30	24	20	19	6	4.0
農業土木	7	19	17	17	17	8	2.1
建築	5	15	8	6	5	4	2.0
水産	1	12	7	7	6	1	7.0
電気	5	11	8	8	8	5	1.6
機械	3	15	8	7	6	3	2.7
工業化学	2	13	9	9	7	2	4.5
理化学鑑識(生物)	1	11	7	7	7	1	7.0

県職員(行政Ⅰ、行政Ⅱ、司書、電気、化学、環境工学、農学、畜産、水産、林学、農業土木、土木、建築)

●受験資格 (令和2年度)

共 通	平成3年4月2日から平成11年4月1日までに生まれた者
-----	-----------------------------

●試験日程 (令和2年度)

受験申込受付(WEB)	4月22日(水)～5月25日(月)
1次試験日	6月28日(日)
1次試験合格発表日	7月10日(金)
2次試験日	7月18日(土)～8月3日(月)
最終合格発表日	8月17日(月)

●試験概要 (令和2年度)

試験種目		区分	解答時間	試験内容
1次試験	教養試験	行政Ⅰ、行政Ⅱ、司書、電気、化学、環境工学、農学、畜産、水産、林学、農業土木、土木、建築	150分	択一式(50問) 全ての試験区分を通じて、職員として必要な一般的な知識及び知能について、大学卒業程度の択一式による筆記試験を行います。
	専門試験	行政Ⅰ	120分	択一式(50問中40問) 試験区分に応じた専門的な知識及び能力について、大学卒業程度の筆記試験を行います。
		電気、化学、農学、畜産、水産、林学、農業土木、土木、建築	120分	択一式(40問) 試験区分に応じた専門的な知識及び能力について、大学卒業程度の筆記試験を行います。
		環境工学	120分	記述式(10問) 試験区分に応じた専門的な知識及び能力について、大学卒業程度の筆記試験を行います。
	論文試験	行政Ⅱ	120分	職員として必要な思考力、表現力等をみるため、一定の課題による筆記試験を行います。
2次試験	論文試験	行政Ⅰ、司書、心理、社会福祉、電気、化学、環境工学、農学、畜産、水産、林学、農業土木、土木、建築	90分	職員として必要な思考力、表現力等をみるため、一定の課題による筆記試験を行います。
	口述試験	行政Ⅰ、司書、電気、化学、環境工学、農学、畜産、水産、林学、農業土木、土木、建築	—	主として人物について、面接による試験を行います。
		行政Ⅱ	—	主として人物について、面接及び集団討論による試験を行います。
	適性検査	行政Ⅰ、司書、電気、化学、環境工学、農学、畜産、水産、林学、農業土木、土木、建築	—	職員として必要な素質及び適性をみるため、簡単な試験を行います。

●配点比率 (令和2年度)

行政Ⅰ、司書、電気、化学、環境工学、農学、畜産、水産、林学、農業土木、土木、建築				
教養試験	専門試験	論文試験	口述試験	合計
15	30	10	45	100
行政Ⅱ				
教養試験	論文試験	口述試験	合計	
30	15	55	100	

●筆記試験 出題科目一覧（令和2年度）

試験種目	区分	試験内容・出題科目など
専門試験	行政Ⅰ	憲法、行政法、民法、刑法、労働法、経済原論、経済政策、財政学、経済事情、政治学、行政学、社会政策、社会学、国際関係等
	司書	図書館概論、図書館制度・経営論、図書館情報技術論、図書館サービス概論、情報サービス論、児童サービス論、図書館情報資源概論、情報資源組織論等
	電気	数学・物理、電磁気学・電気回路、電気計測・制御、電気機器・電力工学、電子工学、情報・通信工学等
	化学	数学・物理、物理化学、分析化学、無機化学・無機工業化学、有機化学・有機工業化学、化学工学等
	環境工学	環境設計工学（環境計画、環境アセスメント、物質循環）、環境化学、地球環境学、生態学、気象学、水理学、保全生物学等
	農学	栽培学汎論、作物学、園芸学、育種遺伝学、植物病理学、昆虫学、土壌肥科学、植物生理学、畜産一般、農業経済一般等
	畜産	家畜育種学、家畜繁殖学、家畜生理学、家畜飼養学、家畜栄養学、飼料学、家畜管理學、畜産物利用学、畜産経営一般等
	水産	水産事情・水産経済・水産法規、水産環境科学、水産生物学、水産資源学、漁業学、増養殖学、水産化学、水産利用学等
	林学	森林政策・森林経営学、造林学（森林生態学、森林保護学を含む）、林業工学、林産一般、砂防工学等
	農業土木	数学、応用力学、水理学、測量、土壌物理、農業水利・土地改良・農村環境整備、農業土木構造物、材料・施工、農業機械、農学一般等
	土木	数学・物理、応用力学、水理学、土質工学、測量、都市計画、土木計画、材料・施工等
	建築	数学・物理、構造力学、材料学、環境原論、建築史、建築構造、建築計画、都市計画、建築設備、建築施工等

●合格者の決定方法（令和2年度）

非公表

●試験実施状況（令和2年度）

職 員	区分	採用予定	申込者	1次受験者	1次合格者	最終合格者	最終倍率
	行政Ⅰ	130	1051	769	384	208	3.7
	行政Ⅱ	40	514	294	103	48	6.1
	司書	若干名	36	31	14	1	31.0
	薬剤師	10	34	23	21	13	1.8
	電気	若干名	15	8	7	1	8.0
	化学	5	33	16	14	10	1.6
	環境工学	若干名	12	10	7	2	5.0
	農学	15	72	55	42	15	3.7
	畜産	5	13	10	9	4	2.5
	水産	5	23	16	14	4	4.0
	林学	10	16	13	12	8	1.6
	農業土木	10	20	18	18	12	1.5
	土木	35	71	53	49	37	1.4
	建築	10	20	12	12	8	1.5

警察職員(行政Ⅰ、行政Ⅱ、情報管理、電気、機械、農芸化学、建築)

●受験資格 (令和2年度)

共 通	平成3年4月2日から平成11年4月1日までに生まれた者
-----	-----------------------------

●試験日程 (令和2年度)

受験申込受付(WEB)	4月22日(水)～5月25日(月)
1次試験日	6月28日(日)
1次試験合格発表日	7月10日(金)
2次試験日	7月18日(土)～8月3日(月)
最終合格発表日	8月31日(月)

●試験概要 (令和2年度)

試験種目		区分	解答時間	試験内容
1次試験	教養試験	行政Ⅰ、行政Ⅱ、情報管理、電気、機械、農芸化学、建築	150分	択一式(50問) 全ての試験区分を通じて、職員として必要な一般的な知識及び能力について、大学卒業程度の択一式による筆記試験を行います。
	専門試験	行政Ⅰ	120分	択一式(50問中40問) 試験区分に応じた専門的な知識及び能力について、大学卒業程度の筆記試験を行います。
		電気、機械、農芸化学、建築	120分	択一式(40問) 試験区分に応じた専門的な知識及び能力について、大学卒業程度の筆記試験を行います。
		情報管理	120分	記述式(4題) 試験区分に応じた専門的な知識及び能力について、大学卒業程度の筆記試験を行います。
	論文試験	行政Ⅱ	120分	警察職員として必要な思考力、表現力等をみるため、一定の課題による筆記試験を行います。
2次試験	論文試験	行政Ⅰ、情報管理、電気、機械、農芸化学、建築	90分	警察職員として必要な思考力、表現力等をみるため、一定の課題による筆記試験を行います。
	口述試験	行政Ⅰ、情報管理、電気、機械、農芸化学、建築	—	主として人物について、面接による試験を行います。
		行政Ⅱ	—	主として人物について、面接及び集団討論による試験を行います。
	適性検査	行政Ⅰ、行政Ⅱ、情報管理、電気、機械、農芸化学、建築	—	警察職員として必要な素質及び適性をみるため、簡単な試験を行います。

●配点比率 (令和2年度)

行政Ⅰ、情報管理、電気、機械、農芸化学、建築				
一次試験		二次試験		合計
教養試験	専門試験	論文試験	口述試験	
15	30	10	45	100

行政Ⅱ				
一次試験		二次試験		合計
教養試験	論文試験	口述試験		
30	15	55		100

●筆記試験 出題科目一覧（令和2年度）

試験種目	区分	試験内容・出題科目など
専門試験	行政Ⅰ	憲法、行政法、民法、刑法、労働法、経済原論、経済政策、財政学、経済事情、政治学、行政学、社会政策、社会学、国際関係等
	情報管理	(記述式)数学、物理(電子工学を含む。)、情報工学(通信工学を含む。)、経営工学等
	電気	数学・物理、電磁気学・電気回路、電気計測・制御、電気機器・電力工学、電子工学、情報・通信工学等
	機械	数学・物理、材料力学、液体力学、熱力学、電気工学、機械力学・制御、機械設計、機械材料、機械工作等
	農芸化学	一般化学、分析化学、有機化学、生物有機化学、生物化学、土壌学・植物栄養学、食品科学、応用微生物学等
	建築	数学・物理、構造力学、材料学、環境原論、建築史、建築構造、建築計画、都市計画、建築設備、建築施工等

●合格者の決定方法（令和2年度）

非公表

●試験実施状況（令和2年度）

区分		採用予定	申込者	1次受験者	1次合格者	最終合格者	最終倍率
警察職員	行政Ⅰ	15	128	90	54	13	6.9
	行政Ⅱ	5	124	81	26	5	16.2
	情報管理	若干名	11	11	6	2	5.5
	電気	若干名	4	2	2	1	2.0
	機械	若干名	8	1	1	0	-
	農芸化学	若干名	28	18	5	1	18.0
	建築	若干名	3	3	2	1	0

行政Ⅰ、福祉技術、環境化学、農学、林学、水産、総合土木、建築、電気、機械

●受験資格（令和2年度）

共	通	平成3年4月2日から平成11年4月1日までに生まれた者
---	---	-----------------------------

●試験日程（令和2年度）

受験申込受付(WEB)	5月15日(金)～6月8日(月)
1次試験日	6月28日(日)
1次試験合格発表日	7月15日(水)
2次試験日	1日目 7月23日(木) 2日目 7月30日(木)～8月10日(月)
最終合格発表日	8月17日(月)

●試験概要（令和2年度）

試験種目		区分	解答時間	試験内容
1次試験	教養試験	行政Ⅰ、福祉技術、環境化学、農学、林学、水産、総合土木、建築、電気、機械	150分	択一式(50問) 公務員として必要な一般的知識及び知能についての択一式による筆記試験を行います。
	専門試験	行政Ⅰ	120分	択一式(50問中40問) 試験区分に応じ、それぞれに必要な専門的知識及び能力についての択一式による筆記試験を行います。
		福祉技術、環境化学、農学、林学、水産、総合土木、建築、電気、機械	120分	択一式(40問) 試験区分に応じ、それぞれに必要な専門的知識及び能力についての択一式による筆記試験を行います。
2次試験	論文試験	福祉技術、環境化学、農学、林学、水産、総合土木、建築、電気、機械	90分	記述式 総合的な判断力・思考力・表現力等の能力についての記述式による筆記試験を行います。
	総合人物試験	福祉技術、環境化学、農学、林学、水産、総合土木、建築、電気、機械	—	人柄、性格等についての個別面接、集団討論及び適性検査を行います。
	英語資格加算点	行政Ⅰ、福祉技術、環境化学、農学、林学、水産、総合土木、建築、電気、機械	—	資格等に応じ、10点または5点を加算します。

●配点比率（令和2年度）

行政Ⅰ、福祉技術、環境化学、農学、林学、水産、総合土木、建築、電気、機械				
一次試験		二次試験		合計
教養試験	専門試験	論文試験	総合人物試験	
100	100	100	300	600

●筆記試験 出題科目一覧 (令和2年度)

試験種目	区分	試験内容・出題科目など
教 養 試 験	行政Ⅰ、福祉技術、環境化学、農学、林学、水産、総合土木、建築、電気、機械	【一般知識分野】社会科学、人文科学、自然科学 【一般知能分野】文章理解、判断推理、数的推理、資料解釈
	専 門 試 験	行政Ⅰ
	福祉技術	一般心理学、応用心理学、社会福祉概論、社会学概論、社会調査、教育学
	環境化学	数学・物理、物理化学、分析化学、無機化学・無機工業化学、有機化学・有機工業化学、化学工学
	農学	栽培学汎論、作物学、園芸学、育種遺伝学、植物病理学、昆虫学、土壤肥科学、植物生理学、畜産一般、農業経済一般
	林学	森林政策・森林経営学、造林学(森林生態学、森林保護学を含む。)、林業工学、林産一般、砂防工学
	水産	水産事情・水産経済・水産法規、水産環境科学、水産生物学、水産資源学、漁業学、増養殖学、水産化学、水産利用学
	総合土木	【Ⅰ】数学、応用力学、水理学、測量、土壌物理、農業水利・土地改良・農村環境整備、農業土木構造物、材料・施工、農業機械、農学一般 【Ⅱ】数学・物理、応用力学、水理学、土質工学、測量、都市計画、土木計画、材料・施工 ※申込みの際にⅠまたはⅡのいずれか希望する出題分野を選択していただきます
	建築	数学・物理、構造力学、材料学、環境原論、建築史、建築構造、建築計画、都市計画、建築設備、建築施工
	電気	数学・物理、電磁気学・電気回路、電気計測・制御、電気機器・電力工学、電子工学、情報・通信工学
	機械	数学・物理、材料力学、流体力学、熱力学、電気工学、機械力学・制御、機械設計、機械材料、機械工作

●合格者の決定方法 (令和2年度)

最 終 合 格 者	第1次試験と第2次試験の結果を総合して決定します。
-----------	---------------------------

●試験実施状況 (令和2年度)

区分	採用予定	申込者	1次受験者	1次合格者	2次受験者	最終合格者	最終倍率
行 政 Ⅰ	58	340	274	115	113	78	3.5
福 祉 技 術	4	20	14	8	8	5	2.8
環 境 化 学	6	22	19	14	13	6	3.2
農 学	15	38	33	24	22	15	2.2
林 学	7	15	15	10	10	7	2.1
水 産	4	17	12	9	9	4	3.0
総 合 土 木	16	25	21	19	19	16	1.3
建 築	2	7	7	4	4	2	3.5
電 気	2	5	4	4	4	2	2.0
機 械	1	10	9	4	3	1	9.0

行政Ⅱ

●受験資格（令和2年度）

行 政 Ⅱ	昭和63年4月2日から平成11年4月1日までに生まれた者
-------	------------------------------

●試験日程（令和2年度）

受験申込受付(WEB)	5月15日(金)～6月8日(月)
1次試験日	6月28日(日)
1次試験合格発表日	7月15日(水)
2次試験日	1日目 7月23日(木) 2日目 7月30日(木)～8月10日(月)
2次試験合格発表日	8月17日(月)
3次試験日	8月29日(土)～8月30日(日)
最終合格発表日	9月10日(木)

●試験概要（令和2年度）

試験種目	区分	解答時間	試験内容
1次試験	教養試験	行政Ⅱ	150分 択一式(50問) 公務員として必要な一般的知識及び知能についての択一式による筆記試験を行います。
	エントリーシート試験	行政Ⅱ	90分 記述式 これまでの経験、自己アピール等についての記述式による筆記試験を行います。
2次試験	論文試験	行政Ⅱ	90分 記述式 総合的な知識力・理解度、論理的表現力、論理的思考力等の能力についての記述式による筆記試験を行います。
	総合人物試験	行政Ⅱ	— 人柄、性格等についての個別面接、集団討論及び適性検査を行います。
	英語資格加算点	行政Ⅱ	— 資格等に応じ、10点または5点を加算します。
3次試験	自己アピール面接	行政Ⅱ	30分 自己アピール書を使用した自己アピール面接を行います。 (自己アピール面接(30分程度)では、5分程度の自己アピールを実施します。)

●配点比率（令和2年度）

行政Ⅱ					合計
一次試験		二次試験		三次試験	
教養試験	エントリーシート試験	論文試験	総合人物試験	自己アピール面接	
100	100	100	300	200	800

●筆記試験 出題科目一覧（令和2年度）

試験種目	区分	試験内容・出題科目など
教 養 試 験	行政Ⅱ	【一般知識分野】社会科学、人文科学、自然科学 【一般知能分野】文章理解、判断推理、数的推理、資料解釈

●合格者の決定方法（令和2年度）

最 終 合 格 者	第1次試験から第3次試験までの結果を総合して決定します。
-----------	------------------------------

●試験実施状況（令和2年度）

区分	採用予定	申込者	1次受験者	1次合格者	2次受験者	2次合格者	3次受験者	最終合格者	最終倍率
行 政 Ⅱ	15	86	69	28	28	18	17	15	4.6

警察事務、学校事務、司書

●受験資格（令和2年度）

共 通	平成4年4月2日から平成12年4月1日までに生まれた者
-----	-----------------------------

●試験日程（令和2年度）

受験申込受付(WEB)	7月26日(金)～8月26日(月)
1次試験日	9月29日(日)
1次試験合格発表日	10月15日(火)
2次試験日	10月24日(木)午後 10月29日(火)～11月1日(金)
最終合格発表日	11月13日(水)

●試験概要（令和2年度）

試験種目		区分	解答時間	試験内容
1次試験	教養試験	警察事務、学校事務、司書	150分	択一式(50問) 公務員として必要な一般的知識及び知能についての択一式による筆記試験を行います。
	専門試験	警察事務、学校事務、司書	120分	択一式(40問) 試験区分に応じ、それぞれに必要な専門的知識及び能力についての択一式による筆記試験を行います。
2次試験	論文試験	警察事務、学校事務、司書	90分	記述式 総合的な知識力・理解度、論理的表現力、論理的思考力等の能力についての記述式による筆記試験を行います。
	総合人物試験	警察事務、学校事務、司書	—	人柄、性格等についての個別面接及び適性検査を行います。

●配点比率（令和2年度）

警察事務、学校事務、司書				
一次試験		二次試験		合計
教養試験	専門試験	論文試験	総合人物試験	
100	100	100	300	600

●筆記試験 出題科目一覧（令和2年度）

試験種目	区分	試験内容・出題科目など
教 養 試 験	警察事務、学校事務、司書	一般知識分野(25題)・・・社会科学、人文科学、自然科学 一般知能分野(25題)・・・文章理解、判断推理、数的推理、資料解釈
専 門 試 験	警察事務、学校事務	政治学、行政学、社会学、社会事情、憲法、行政法、民法、労働法、経済学、財政学、国際関係
	司書	生涯学習概論、図書館概論(図書館制度を含む)、図書館経営論、図書館サービス論、情報サービス論、図書館情報資源論、情報資源組織論、児童サービス論

●合格者の決定方法（令和2年度）

最 終 合 格 者	第1次試験と第2次試験の結果を総合して決定します。
-----------	---------------------------

●試験実施状況（令和2年度）

区分	採用予定	申込者	1次受験者	1次合格者	2次受験者	最終合格者	最終倍率
警 察 事 務	8	106	76	22	19	11	6.9
学 校 事 務	22	139	102	36	29	22	4.6
司 書	1	18	16	4	4	1	16.0

行政(専門試験型)、警察事務、環境行政、化学、農業、林業、水産、建築、電気(電気工学)、総合土木

●受験資格 (令和2年度)

共 通	昭和61年4月2日から平成11年4月1日までに生まれた者
-----	------------------------------

●試験日程 (令和2年度)

受験申込受付(WEB)	5月18日(月)～6月8日(月)
1 次 試 験 日	6月28日(日)および7月中旬
1次試験合格発表日	7月下旬
2 次 試 験 日	7月下旬～8月上旬
最終合格発表日	8月中旬

●試験概要 (令和2年度)

試験種目	区分	解答時間	試験内容	
1次試験	教養試験	120分	択一式(47問中40問解答) 公務員として必要な社会、人文および自然の各科学、現代の社会に関する知識(知識分野)ならびに文章理解、判断推理、数的推理、資料解釈等に関する能力(知能分野)についての筆記試験	
	専門試験	行政(専門試験型)、警察事務	120分	択一式(50問中40問) 各試験区分に応じて必要な専門的知識および能力についての筆記試験
		総合土木	120分	択一式(70問中40問) 各試験区分に応じて必要な専門的知識および能力についての筆記試験
		環境行政、化学、農業、林業、水産、建築、電気(電気工学)	120分	択一式(40問) 各試験区分に応じて必要な専門的知識および能力についての筆記試験
	口述試験	-	人物についての個別面接による試験	
2次試験	論文試験	90分	識見、思考力、表現力等についての筆記試験	
	口述試験	-	人物についての個別面接および集団討論による試験	
	適性検査	-	公務員として必要な適性についての検査	

●配点比率（令和2年度）

行政(専門試験型)、警察事務、環境行政、化学、農業、林業、水産、建築、電気(電気工学)、総合土木					
一次試験			二次試験		合計
教養試験	専門試験	口述試験(1次)	論文試験	口述試験(2次)	
100	100	100	100	300	700

●筆記試験 出題科目一覧（令和2年度）

試験種目	区分	試験内容・出題科目など
教養試験	行政(専門試験型)、警察事務、環境行政、化学、農業、林業、水産、建築、電気(電気工学)、総合土木	知能分野: 文章理解⑨、判断推理⑩、数的推理⑤、資料解釈① 知識分野: 人権①、県関連①、社会科学⑧、人文科学⑥、自然科学⑥
専門試験	行政(専門試験型)、警察事務	政治学②、行政学②、憲法④、行政法⑤、民法④、刑法②、労働法②、経済学⑥、経営学③、財政学③、社会政策③、国際関係③、統計学②、心理学概論③、社会学概論③、教育学③
	環境行政	環境法③、環境政策・計画③、環境経済学③、憲法④、行政法④、経済学④、環境化学③、環境工学③、生態学③、物理化学⑤、生物化学⑤
	化学	数学・物理⑦、物理化学⑨、分析化学③、無機化学・無機工業化学⑥、有機化学・有機工業化学⑨、化学工学⑥
	農業	栽培学汎論⑤、作物学④、園芸学④、育種遺伝学④、植物病理学④、昆虫学④、土壌肥料学④、植物生理学④、畜産一般②、農業経済一般②、食品科学③
	林業	森林政策・森林経営学⑬、造林学⑫、林業工学④、林産一般⑤、砂防工学⑥
	建築	数学・物理⑩、構造力学⑤、材料学②、環境原論④、建築史②、建築構造④、建築計画⑤、都市計画③、建築設備②、建築施工③
	電気(電気工学)	数学・物理⑩、電磁気学・電気回路⑩、電気計測・制御④、電気機器・電気工学⑥、電子工学⑥、情報・通信工学④
	総合土木	数学・物理⑩、応用力学③、水理学④、測量②、材料・施工②、土質工学④、都市計画②、土木計画⑥、土壌物理①、農業水利・土地改良・農村環境整備⑧、農業土木構造物②、農学一般①

※○の数字は出題予定数

●合格者の決定方法（令和2年度）

非公表

●試験実施状況（令和2年度）

区分	採用予定	申込者	1次筆記受験者	1次口述受験者	1次合格者	2次受験者	最終合格者	最終倍率
行政(専門試験型)	50	441	351	211	100	99	63	5.6
警察事務	6	64	50	28	14	14	6	8.3
環境行政	2	10	9	8	4	4	2	4.5
化学	2	19	17	11	3	3	2	8.5
農業	7	23	17	15	11	11	7	2.4
林業	2	8	8	8	6	6	4	2.0
建築	3	10	7	7	4	4	3	2.3
電気(電気工学)	3	4	3	3	3	3	2	1.5
総合土木	13	39	28	24	18	17	14	2.0

行政(アピール試験型)

●受験資格 (令和2年度)

共 通	平成6年4月2日から平成11年4月1日までに生まれた者
-----	-----------------------------

●試験日程 (令和2年度)

受験申込受付(WEB)	5月18日(月)～6月8日(月)
1次試験日	6月20日(土)および7月中旬
1次試験合格発表日	7月下旬
2次試験日	7月下旬～8月上旬
最終合格発表日	8月中旬

●試験概要 (令和2年度)

試験種目	区分	解答時間	試験内容	
1次試験	能力検査	行政(アピール試験型)	70分	SPI(能力検査のみ)
	口述試験	行政(アピール試験型)	-	人物についての個別面接(プレゼンテーションを含む。)による試験
2次試験	論文試験	行政(アピール試験型)	90分	識見、思考力、表現力等についての筆記試験
	口述試験	行政(アピール試験型)	-	人物についての個別面接および集団討論による試験
	適性検査	行政(アピール試験型)	-	公務員として必要な適性についての検査

●配点比率 (令和2年度)

行政(アピール試験型)				
一次試験		二次試験		合計
能力検査	口述試験(1次)	論文試験	口述試験(2次)	
100	100	100	300	600

●筆記試験 出題科目一覧 (令和2年度)

試験種目	区分	試験内容・出題科目など
能力検査	行政(アピール試験型)	SPI(能力検査のみ)

●合格者の決定方法 (令和2年度)

非公表

●試験実施状況 (令和2年度)

区分	採用予定	申込者	1次筆記受験者	1次口述受験者	1次合格者	2次受験者	最終合格者	最終倍率
行政(アピール試験型)	10	223	168	51	32	30	12	14.0

※総合政策分野：全国型／法律分野：法律専門型／経済分野：経済専門型

行政 I A、機械、総合土木、電気・電子工学(知事部局・警察)、建築、化学(知事部局・警察)、農業、畜産、林業、水産、環境

●受験資格（令和2年度）

行政 I A	平成6年4月2日から平成11年4月1日までに生まれた者
総合土木	昭和55年4月2日から平成11年4月1日までに生まれた者
上記以外	昭和60年4月2日から平成11年4月1日までに生まれた者

●試験日程（令和2年度）

受験申込受付(WEB)	5月11日(月)～6月1日(月)
1次試験日	筆記試験:6月28日(日) 口述試験:7月10日(金)～7月17日(金)
1次試験合格発表日	7月22日(水)
2次試験日	7月30日(木)～8月9日(日)
最終合格発表日	8月18日(火)

●試験概要（令和2年度）

試験種目	区分	解答時間	試験内容	
1次試験	教養試験	行政 I A	120分 多肢選択式(40問) 公務員に必要な一般的知識及び知能についての筆記試験	
		機械、電気・電子工学(知事部局・警察)、建築、化学(知事部局・警察)、農業、畜産、林業、水産、環境	90分 多肢選択式(25問) 公務員に必要な一般的知識及び知能についての筆記試験	
	基礎能力試験	総合土木	70分 多様な業務に共通して求められる汎用的な知的能力についての筆記試験(SPI3)	
	専門試験	機械、電気・電子工学(知事部局・警察)、建築、化学(知事部局・警察)、農業、畜産、林業、水産、環境	90分	多肢選択式(40問) それぞれの試験区分に応じた必要な専門的知識についての筆記試験 ※行政 I Aは、専門試験時間内に「総合政策」・「法律」・「経済」の中から1科目を選択
		総合土木	90分	多肢選択式(60問中40問) それぞれの試験区分に応じた必要な専門的知識についての筆記試験
	論文試験	行政 I A、機械、総合土木、機械、電気・電子工学(知事部局・警察)、建築、化学(知事部局・警察)、農業、畜産、林業、水産、環境、建築、化学、農業、畜産、林業、水産、環境	90分	課題に対する理解力、分析力、思考力、表現力等についての記述試験(採点は2次試験で行う。)
	適性検査	行政 I A、機械、総合土木、電気・電子工学(知事部局・警察)、建築、化学(知事部局・警察)、農業、畜産、林業、水産、環境	—	職務の遂行に必要な適性についての検査(口述試験等受験者が対象。判定は2次試験で行う。)
口述試験	行政 I A、機械、総合土木、電気・電子工学(知事部局・警察)、建築、化学(知事部局・警察)、農業、畜産、林業、水産、環境	—	1グループ5名程度に対する集団面接	
2次試験	口述試験	行政 I A、機械、総合土木、電気・電子工学(知事部局・警察)、建築、化学(知事部局・警察)、農業、畜産、林業、水産、環境	—	個別面接及びグループワーク※(第1次試験合格者が対象) ※与えられた課題について、6～8人程度のグループで作業等を行う。

●配点比率（令和2年度）

行政 I A						合計
1次試験			2次試験			
教養試験	専門試験	集団面接	個別面接	グループワーク	論文試験	
75	150	125	400	100	100	950

機械、総合土木、電気・電子工学(知事部局・警察)、建築、化学(知事部局・警察)、農業、畜産、林業、水産、環境							合計
1次試験			2次試験				
教養試験/基礎能力試験(SPI)	専門試験	集団面接	個別面接	グループワーク	論文試験	専門試験	
75	150	125	300	100	100	100	600点満点で評価

●筆記試験 出題科目一覧（令和2年度）

試験種目	区分	試験内容・出題科目など
教 養 試 験	行政 I A	社会科学⑮(法律・政治③、経済④、社会⑥、人権②)、文章理解⑨(英文⑥、現代文③)、判断推理⑩、数的推理⑤、資料解釈①
	機械、総合土木、電気・電子工学(知事部局・警察)、建築、化学(知事部局・警察)、農業、畜産、林業、水産、環境	社会科学②(人権②)、文章理解⑧(英文⑤、現代文③)、判断推理⑩、数的推理⑤
専 門 試 験	行政 I A	【総合政策】政治学②、行政学②、憲法④、行政法⑤、民法④、刑法②、労働法②、経済学⑩、財政学③、社会政策③、国際関係② 【法律】憲法⑤、行政法⑫、民法⑫、刑法③、労働法③、経済学⑤ 【経済】経済原論⑬、財政学④、経済史④、統計学②、経済事情④、経済政策③、憲法及び民法⑤
	電気・電子工学(知事部局・警察)	数学・物理⑩、電磁気学・電気回路⑩、電気計測・制御④、電気機器・電力工学⑥、電子工学⑥、情報・通信工学④
	機械	数学・物理⑩、材料力学④、流体力学④、熱力学④、電気工学②、機械力学・制御④、機械設計⑥、機械材料③、機械工作③
	総合土木	数学⑥、応用力学⑥、水理学⑥、測量②、材料・施工④、土質工学④、都市計画②、土木計画⑥、物理④、土壌物理②、農業水利・土地改良・農村環境整備⑨、農業土木構造学④、農業機械②、農学一般③ ※上記の出題範囲のうち、必須解答は20問(数学、応用力学、水理学、測量、材料・施工)、ほか選択解答20問
	建築	数学・物理⑩、構造力学⑤、材料学②、環境原論④、建築史②、建築構造④、建築計画⑤、都市計画③、建築設備②、建築施工③
	化学(知事部局・警察)	数学・物理⑦、物理化学⑨、分析化学③、無機化学・無機工業化学⑥、有機化学・有機工業化学⑨、化学工学⑥
	農業	栽培学汎論⑤、作物学⑤、園芸学⑤、育種遺伝学⑤、植物病理学④、昆虫学④、土壌肥料学④、植物生理学④、畜産一般②、農業経済一般②
	畜産	家畜育種学⑤、家畜繁殖学④、家畜生理学④、家畜飼養学④、家畜栄養学④、飼料学③、家畜管理学⑥、畜産物利用学⑤、畜産経営一般⑤
	林業	森林政策・森林経営学⑬、造林学(森林生態学、森林保護学を含む。)⑫、林業工学④、林産一般⑤、砂防工学⑥
	水産	水産事情・水産経済・水産法規⑧、水産環境科学⑤、水産生物学⑤、水産資源学④、漁業学④、増養殖学④、水産化学⑤、水産利用学⑤
	環境	数学・物理・化学⑧、環境概論⑤、廃棄物・資源循環工学⑤、エネルギー⑤、環境経済学③、大気・水・土壌環境学⑤、生態学⑤、環境衛生学④

●合格者の決定方法（令和2年度）

最 終 合 格 者	第2次試験の結果及び第1次試験の論文試験の結果に基づき決定します。 (行政の試験区分については、第1次試験結果をリセットします。)
-----------	--

行政IB

●受験資格（令和2年度）

行政IB	平成6年4月2日から平成11年4月1日までに生まれた者
------	-----------------------------

●試験日程（令和2年度）

受験申込受付(WEB)	5月11日(月)～6月1日(月)
1次試験日	筆記試験:6月28日(日) 口述試験:7月10日(金)～7月17日(金)
1次試験合格発表日	7月22日(水)
2次試験日	7月30日(木)～8月9日(日)
最終合格発表日	8月18日(火)

●試験概要（令和2年度）

試験種目		区分	解答時間	試験内容
一次試験	基礎能力試験	行政IB	70分	多様な業務に共通して求められる汎用的な知的能力についての筆記試験(SPI3)
	自己アピール試験	行政IB	90分	自らの経験や意欲等をアピールする記述試験
	論文試験	行政IB	90分	課題に対する理解力、分析力、思考力、表現力等についての記述試験 (採点は2次試験で行う。)
	適性検査	行政IB	—	職務の遂行に必要な適性についての検査 (口述試験等受験者が対象。判定は2次試験で行う。)
	口述試験	行政IB	—	自己アピール試験 アピール型個別面接で記述した内容について自己アピールを行った後、個別面接
2次試験	口述試験	行政IB	—	個別面接及びグループワーク※(第1次試験合格者が対象) ※与えられた課題について、6～8人程度のグループで作業等を行う。

●配点比率（令和2年度）

行政IB						
1次試験			2次試験			合計
基礎能力試験(SPI)	自己アピール試験	アピール型個別面接	個別面接	グループワーク	論文試験	
100	125	125	400	100	100	950

行政IA(10月)

●受験資格（令和2年度）

行政IA(10月)	令和2年10月1日の採用に応じられる方で、平成5年4月2日から平成10年4月1日までに生まれた者
-----------	--

●試験日程（令和2年度）

受験申込受付(WEB)	5月11日(月)～6月1日(月)
1次試験日	筆記試験:6月28日(日) 口述試験:7月10日(金)～7月17日(金)
1次試験合格発表日	7月22日(水)
2次試験日	7月30日(木)～8月9日(日)
最終合格発表日	8月18日(火)

●試験概要（令和2年度）

試験種目	区分	解答時間	試験内容
1次試験	教養試験	行政 I A(10月)	120 分 多肢選択式(40 問) 公務員に必要な一般的知識及び知能についての筆記試験
	専門試験	行政 I A(10月)	90 分 多肢選択式(40 問) それぞれの試験区分に応じた必要な専門的知識についての筆記試験 ※専門試験時間内に「総合政策」・「法律」・「経済」の中から1科目を選択
	論文試験	行政 I A(10月)	90 分 課題に対する理解力、分析力、思考力、表現力等についての記述試験 (採点は2次試験で行う。)
	適性検査	行政 I A(10月)	－ 職務の遂行に必要な適性についての検査 (口述試験等受験者が対象。判定は2次試験で行う。)
	口述試験	行政 I A(10月)	－ 1グループ5名程度に対する集団面接
2次試験	口述試験	行政 I A(10月)	－ 個別面接及びグループワーク※(第1次試験合格者が対象) ※与えられた課題について、6～8人程度のグループで作業等を行う。

●配点比率（令和2年度）

行政 I A(10月)						
1次試験			2次試験			合計
教養試験	専門試験	集団面接	個別面接	グループワーク	論文試験	
75	150	125	400	100	100	950

●筆記試験 出題科目一覧（令和2年度）

試験種目	区分	試験内容・出題科目など
教 養 試 験	行政 I A(10月)	社会科学⑮(法律・政治③、経済④、社会⑥、人権②)、文章理解⑨(英文⑥、現代文③)、判断推理⑩、数的推理⑤、資料解釈①
専 門 試 験	行政 I A(10月)	【総合政策】政治学②、行政学②、憲法④、行政法⑤、民法④、刑法②、労働法②、経済学⑩、財政学③、社会政策③、国際関係② 【法律】憲法⑤、行政法⑩、民法⑩、刑法③、労働法③、経済学⑤ 【経済】経済原論⑮、財政学④、経済史④、統計学②、経済事情④、経済政策③、憲法及び民法⑤

●合格者の決定方法（令和2年度）

最 終 合 格 者	第2次試験の結果及び第1次試験の論文試験の結果に基づき決定します。 (行政の試験区分については、第1次試験結果をリセットします。)
-----------	--

●試験実施状況（令和2年度）

区分	採用予定	申込者	1次受験者	1次合格者	2次受験者	最終合格者	最終倍率
行 政 I A	115	614	384	226	217	115	3.3
行 政 I B		143	81	15	13	8	10.1
行 政 I (1 0 月)		53	32	15	14	8	4.0
電気・電子工学(知事部局)	若干名	5	3	3	2	1	3.0
電気・電子工学(警察)	若干名	5	2	1	1	0	－
機 械	若干名	17	7	6	6	5	1.4
総 合 土 木	40	42	24	18	18	16	1.5
建 築	若干名	17	7	6	6	5	1.4
化学(知事部局)	5	27	17	12	12	6	2.8
化 学 (警 察)	若干名	28	16	3	3	1	16.0
農 業	10	46	30	24	23	16	1.9
畜 産	5	6	4	3	3	2	2.0
林 業	5	20	13	9	9	7	1.9
水 産	若干名	7	3	2	2	1	3.0
環 境	若干名	12	7	3	3	2	3.5

警察事務職員 A

●受験資格（令和2年度）

警察事務職員 A	平成6年4月2日以降に生まれた者
----------	------------------

●試験日程（令和2年度）

受験申込受付(WEB)	8月7日(金)～8月21日(金)
1次試験日	筆記試験:9月27日(日) 口述試験:10月上旬～中旬
1次試験合格発表日	10月22日(木)
2次試験日	10月下旬～11月中旬
最終合格発表日	11月27日(金)

●試験概要（令和2年度）

試験種目		区分	解答時間	試験内容
1次試験	教養試験	警察事務職員 A	120分	多肢選択式(50問中45問選択解答) 公務員として必要な一般的知識及び知能について、筆記試験を行います。
	作文試験	警察事務職員 A	60分	文章表現力をみる作文試験を行います。 (採点は2次試験で行う。)
	口述試験	警察事務職員 A	—	集団面接
2次試験	適性検査	警察事務職員 A	—	職務の遂行に必要な適性について検査します。
	口述試験	警察事務職員 A	—	個別面接

●配点比率（令和2年度）

警察事務職員 A					
		1次試験		2次試験	合計
		口述試験	作文試験	口述試験	
教養試験	100	100	100	300	600

●筆記試験 出題科目一覧（令和2年度）

試験種目	区分	試験内容・出題科目など
教養試験	警察事務職員 A	【必須解答(34題)】 社会科学(法律・政治③、経済②、社会②、人権②)、文章理解(英文③、現代文⑤)、判断推理⑨、数的推理⑥、資料解釈② 【選択解答(16題中11題)】 人文科学(国語②、地理③、日本史②、世界史②)、自然科学(数学・物理②、化学②、生物②、地学①)

●合格者の決定方法（令和2年度）

最終合格者	最終合格者は、第2次試験の結果及び第1次試験の作文試験の結果に基づき決定します。 教養試験又は専門試験において、一定の基準に達しない場合は、総合得点にかかわらず不合格となります。
-------	--

●試験実施状況（令和2年度）

区分	採用予定	申込者	1次受験者	1次合格者	2次受験者	最終合格者	最終倍率
警察事務職員 A	15	249	160	40	32	14	11.4

行政（22-25）

●受験資格（令和2年度）

行政（22-25） 平成7年4月2日から平成11年4月1日までに生まれた者

●試験日程（令和2年度）

受験申込受付（WEB）	4月1日（水）～4月20日（月）
1次試験日	5月17日（日）
1次試験合格発表日	6月5日（金）
2次試験日	論文 6月28日（日） 個別面接 6月6日（金）～6月29日（月）
2次試験合格発表日	7月20日（月）
3次試験日	7月25日（土）～7月27日（月）
最終合格発表日	8月19日（水）

●試験概要（令和2年度）

試験種目	区分	解答時間	試験内容	
1次試験	S P I 3	行政(22-25)	約70分	言語的理解力や数的処理能力、論理的思考力を問います。
	エントリーシート	行政(22-25)	60分	意欲、行動力などを問います。（事前提出ではなく、第1次試験当日に試験会場で記入します。具体的な質問事項は、第1次試験当日に提示します。試験時間中に資料等の閲覧はできません。）
2次試験	論文	行政(22-25)	60分	次の(1)、(2)の2つの分野から出題します。受験申込み時に、いずれか1分野を選択してください。申込み後に、選択した分野の変更はできません。 (1)見識又は法律・経済分野・・・①見識(社会事象に対する基礎的知識や、論理的思考力、企画提案力、文章作成力などを問います。)、②憲法、③行政法、④民法、⑤経済原論、⑥財政学、⑦経済政策、⑧経営学 に関する問題を出題します。(①から⑧のうち、1科目を第2次試験当日に選択) (2)情報分野・・・情報処理に関連する分野の論文と、情報処理の基礎的な知識を問う記述式の問題を出題します。
	個別面接	行政(22-25)	—	—
3次試験	個別面接	行政(22-25)	—	2回実施します。
	グループワーク	行政(22-25)	—	5人から8人程度のグループで、与えられた課題についての作業などを行います。

●配点比率（令和2年度）

非公表

●合格者の決定方法（令和2年度）

最終合格者 第1次試験、第2次試験及び第3次試験の結果を総合的に判定し、決定します。

●試験実施状況（令和2年度）

区分	採用予定	申込者	1次受験者	1次合格者	2次受験者	2次合格者	3次受験者	最終合格者	最終倍率
行政（22-25）	115	2013	693	578	546	333	325	181	3.8

土木（「造園分野」を含む。）、建築、機械、電気、環境、農学、農業工学、林学

●受験資格（令和2年度）

技 術	平成3年4月2日から平成11年4月1日までに生まれた者
-----	-----------------------------

●試験日程（令和2年度）

受験申込受付(WEB)	4月1日(水)～4月20日(月)
1次試験日	5月17日(日)
1次試験合格発表日	6月5日(金)
2次試験日	専門試験(記述式) 6月28日(日) 個別面接 6月26日(金)～6月29日(月)
2次試験合格発表日	7月15日(水)
3次試験日	7月25日(土)～7月27日(月)
最終合格発表日	8月6日(木)

●試験概要（令和2年度）

試験種目		区分	解答時間	試験内容
1次試験	S P I 3	土木（「造園分野」を含む。）、建築、機械、電気、環境、農学、農業工学、林学	約70分	言語的理解力や数的処理能力、論理的思考力を問います。
	エントリーシート	土木（「造園分野」を含む。）、建築、機械、電気、環境、農学、農業工学、林学	60分	意欲、行動力などを問います。（事前提出ではなく、第1次試験当日に試験会場で記入します。具体的な質問事項は、第1次試験当日に提示します。試験時間中に資料等の閲覧はできません。）
2次試験	専門試験	土木（「造園分野」を含む。）、建築、機械、電気、環境、農学、農業工学、林学	90分	記述式
	個別面接	土木（「造園分野」を含む。）、建築、機械、電気、環境、農学、農業工学、林学	—	—
3次試験	個別面接	土木（「造園分野」を含む。）、建築、機械、電気、環境、農学、農業工学、林学	—	2回実施します。

●配点比率（令和2年度）

非公表

●筆記試験 出題科目一覧（令和2年度）

試験種目	区分	試験内容・出題科目など
専門試験	土木（「造園分野」を含む。）	構造力学、水理学、土質、材料、施工、測量、都市計画、河川、道路、港湾、衛生、交通等 申込み時に「土木（造園分野）」を選択した人には、構造力学、水理学、土質、測量、都市計画の5分野に造園学原論、造園計画・設計、造園管理、造園材料・施工等が加わります。 ※受験申込み時、「土木」又は「土木（造園分野）」のいずれか1分野を選択してください。申込み後に、選択した分野の変更はできません。
	建築	構造力学、建築構造、建築史、建築計画、都市計画、建築環境工学、建築設備、建築材料、建築関係法規、建築施工等
	機械	材料力学、機械力学、流体力学、流体機械、熱力学（熱機関連含む。）、機械材料、制御工学、機械加工、機械設計等
	電気	電磁気学、電気回路、電子回路、情報工学、電力工学、電気応用、通信工学、電器機器、電気計測、制御工学、電気関係法規等
	環境	環境概論、環境化学、大気汚染、水質汚濁、騒音・振動、廃棄物、地球環境、エネルギー、化学物質管理等
	農学	栽培学汎論、植物防疫一般、土壌肥科学、植物生理学、農業政策、生物化学、食品化学、食品衛生学、農村計画学等
	農業工学	水理学、構造力学、土質力学、測量、材料、施工、水資源利用、水環境学、土地利用・農村計画学、農業土木施設、農業政策等
	林学	森林政策、森林利用、森林育成、砂防工学、自然環境計画、森林生態、森林病理学等

●合格者の決定方法（令和2年度）

最終合格者	第1次試験、第2次試験及び第3次試験の結果を総合的に判定し、決定します。
-------	--------------------------------------

●試験実施状況（令和2年度）

区分	採用予定	申込者	1次・2次 受験者	2次合格者	3次受験者	最終合格者	最終倍率
土木	30	138	41	33	32	28	1.5
建築	10	39	9	6	6	6	1.5
機械	1～3	41	13	9	9	5	2.6
電気	5	35	10	8	8	5	2.0
環境	10	61	26	15	14	9	2.9
農学	5	44	8	6	5	5	1.6
農業工学	5	10	2	2	2	2	1.0
林学	5	25	9	8	7	7	1.3

警察行政

●受験資格（令和2年度）

共 通	平成3年4月2日から平成11年4月1日までに生まれた者
-----	-----------------------------

●試験日程（令和2年度）

受験申込受付(WEB)	5月11日(月)～6月1日(月)
1次試験日	6月28日(日)
1次試験合格発表日	7月7日(火)
2次試験日	7月16日(木)～7月21日(火)
2次合格発表日	7月28日(火)
3次試験日	8月7日(金)～8月11日(火)
最終合格発表日	8月19日(水)

●試験概要（令和2年度）

試験種目		区分	解答時間	試験内容
1次試験	教養試験	警察行政	120分	択一式(40問)
2次試験	論文 (専門)	警察行政	60分	次の(1)、(2)の2つの分野から出題します。受験申込み時に、いずれか1分野を選択してください。申込み後に、選択した分野の変更はできません。 (1)法律・経済分野・・・憲法、行政法、民法、経済原論、財政学、経済政策、経営学のうち1科目選択 (2)情報分野・・・数学・物理、情報工学、数理工学、経営工学、通信工学、コンピュータ(ハードウェア、ソフトウェア、ネットワーク)等の知識を問う記述式の問題 ※1次試験日に実施
		警察行政	60分	社会事象に対する基礎的知識や論理的思考力、企画提案力、文章作成力などを問う試験を行います。 ※1次試験日に実施
	個別面接	警察行政	—	—
	適性検査	警察行政	—	—
3次試験	個別面接	警察行政	—	—
	集団討論	警察行政	—	5人から8人程度のグループで、与えられた課題についての討論・意見の取りまとめ等を行います。

●配点比率（令和2年度）

非公開

●筆記試験 出題科目一覧（令和2年度）

試験種目	区分	試験内容・出題科目など
教養試験	警察行政	現代文・英文理解、判断推理、数的推理、資料解釈、社会一般(人権関係等を含む。)

●合格者の決定方法（令和2年度）

最終合格者	第1次試験、第2次試験及び第3次試験の結果を総合的に判定し、決定します。
-------	--------------------------------------

●試験実施状況（令和2年度）

区分	採用予定	申込者	1次受験者	1次合格者	2次受験者	2次合格者	3次受験者	最終合格者	最終倍率
警察行政	25	257	135	98	94	50	50	30	4.5

●受験資格（令和2年度）

共 通	平成5年4月2日から平成11年4月1日までに生まれた者
-----	-----------------------------

●試験日程（令和2年度）

受験申込受付(WEB)	5月11日(月)～5月27日(水)
筆記試験日	6月28日(日)
筆記試験合格発表日	7月3日(金)
1次面接試験日	7月9日(木)～7月22日(水)
1次面接合格発表日	8月4日(火)
最終面接試験日	8月11日(火)～8月21日(金)
最終合格発表日	8月31日(月)

●試験概要（令和2年度）

試験種目		区分	解答時間	試験内容
筆記試験	教養試験	一般事務職、警察事務職、教育事務職、小中学校事務職	150分	択一式(55問中45問解答) 大学卒業程度の一般教養について択一式により試験を行います。
		専門試験	120分	択一式(65問中40問解答) 各職種に必要な大学卒業程度の専門的知識について択一式により試験を行います。
	林学職、水産職、環境科学職、建築職、機械職、電気職	120分	択一式(40問) 各職種に必要な大学卒業程度の専門的知識について択一式により試験を行います。	
		農学職、総合土木職	120分	択一式(60問中40問解答) 各職種に必要な大学卒業程度の専門的知識について択一式により試験を行います。
	論文試験	一般事務職、警察事務職、教育事務職、農学職、林学職、水産職、環境科学職、総合土木、建築職、機械職、電気職、小中学校事務職	90分	(1題 1,200字) 一般的な課題により大学卒業程度の理解力・判断力、独創性・説得力、文章表現力・文章構成力について試験を行います。
1次面接	面接試験	一般事務職、警察事務職、教育事務職、農学職、林学職、水産職、環境科学職、総合土木、建築職、機械職、電気職、小中学校事務職	20～25分	1人あたり20～25分程度で、若者らしいバイタリティや行動力等について、試験を行います。
	適性検査	一般事務職、警察事務職、教育事務職、農学職、林学職、水産職、環境科学職、総合土木、建築職、機械職、電気職、小中学校事務職	—	職務の遂行に必要な適性について検査します。
最終面接	面接試験	一般事務職、警察事務職、教育事務職、農学職、林学職、水産職、環境科学職、総合土木、建築職、機械職、電気職、小中学校事務職	25～30分	1人あたり25～30分程度で、思考の論理性や柔軟性、判断力や使命感等の職員としての適性について、試験を行います。
	集団討論	一般事務職、警察事務職、教育事務職、農学職、林学職、水産職、環境科学職、総合土木、建築職、機械職、電気職、小中学校事務職	—	6人程度のグループで実施します。与えられた課題に関し、各自が意見を発表し、議論するもので、論理的表現力、協調性、指導性について試験を行います。

●配点比率（令和2年度）

一般事務職、警察事務職、教育事務職、農学職、林学職、水産職、環境科学職、総合土木、建築職、機械職、電気職、小中学校事務職		
筆記試験	1次面接試験	最終面接試験
150	450	400

●筆記試験 出題科目一覧（令和2年度）

試験種目	区分	試験内容・出題科目など
教 養 試 験	一般事務職、警察事務職、教育事務職、小中学校事務職	【知識分野】県関係、時事、政治・法律、経済、社会、日本史、世界史、地理、数学、物理、化学、生物、地学など 【知識分野】現代文、古文、英文、判断推理、数的推理、資料解釈など
	専 門 試 験	政治学、行政学、憲法、行政法、民法、刑法、労働法、経済原論、財政学、経済史、統計学、経済事情、経済政策、経営学、社会政策、社会福祉、国際関係など
	農学職	栽培学汎論、作物学、園芸学、育種遺伝学、植物病理学、昆虫学、土壤肥科学、植物生理学、畜産一般、農業経済一般、家畜育種学、家畜繁殖学、家畜生理学、家畜飼養学、家畜栄養学、飼料学、家畜管理学、畜産物利用学、畜産経営一般など
	林学職	森林政策、森林経営学、造林学、林業工学、林産一般、砂防工学など
	水産職	水産事情・水産経済・水産法規、水産環境科学、水産生物学、水産資源学、漁業学、増養殖学、水産化学、水産利用学など
	環境科学職	数学・物理、化学、生物学、環境概論、環境化学、環境生物・生態学、環境法概論、環境工学、廃棄物資源工学など
	総合土木職	数学・物理、応用力学、水理学、測量、土質工学、都市計画、土木計画、土壌物理、農業水利、土地改良、農村環境整備、農業土木構造物、材料・施工、農業機械、農学一般、造園学原論、造園材料・施工、造園管理、造園計画・設計（都市・地方計画を含む）、園芸学、造園関連基礎など
	建築職	数学・物理、構造力学、材料学、環境原論、建築史、建築構造、建築計画、都市計画、建築設備、建築施工など
	機械職	数学・物理、材料力学、流体力学、熱力学、電気工学、機械力学・制御、機械設計、機械材料、機械工作など
	電気職	数学・物理、電磁気学・電気回路、電気計測・制御、電気機器、電力工学、電子工学、情報・通信工学など

●合格者の決定方法（令和2年度）

筆 記 試 験	教養試験、専門試験の合計得点順(事務系職種)、専門試験(技術系職種)の得点順に決定します。
1 次 面 接 試 験	面接試験の得点に筆記試験(教養(事務系職種のみ)・専門・論文)の得点を加算した合計得点順に決定します。
最 終 合 格 者	最終面接試験の結果に基づき決定し、筆記試験、1次面接試験の結果は反映されません。

●試験実施状況（令和2年度）

区分	採用予定	申込者	1次受験者	最終合格者	最終倍率
一 般 事 務 職	83	795	541	103	5.3
警 察 事 務 職	9	72	51	11	4.6
教 育 事 務 職	23	75	65	27	2.4
小 中 学 校 事 務 職	22	80	60	25	2.4
農 学 職	16	87	59	18	3.3
林 学 職	5	32	21	8	2.6
水 産 職	4	20	15	5	3.0
環 境 科 学 職	2	18	10	3	3.3
総 合 土 木 職	25	63	42	32	1.3
建 築 職	4	17	12	6	2.0
機 械 職	2	10	4	2	2.0
電 気 職	2	10	4	3	1.3

●受験資格（令和2年度）

共 通	平成3年4月2日から平成11年4月1日までに生まれた者
-----	-----------------------------

●試験日程（令和2年度）

受験申込受付(WEB)	5月14日(木)～6月1日(月)
1 次 試 験 日	筆記試験 6月28日(日) 口述試験 7月9日(木)～7月14日(火)
1次試験合格発表日	7月21日(火)
2 次 試 験 日	7月30日(木)～8月16日(日)
最終合格発表日	8月21日(金)

●試験概要（令和2年度）

試験種目		区分	解答時間	試験内容
1次試験	教養試験	行政A、行政B、総合土木、建築、設備(電気、機械)、化学、農学、林学、畜産、警察行政	105分	択一式(50問中35問) 公務員として必要な一般的知識及び知能について、大学卒業程度で択一式による試験を行います。
		専門試験	行政A、警察行政	90分
		総合土木、建築、設備(電気、機械)、化学、農学、林学、畜産	90分	択一式(40問中30問) 専門的知識及び能力について、大学卒業程度で択一式による試験を行います。
	論文試験	行政A、総合土木、建築、設備(電気、機械)、化学、農学、林学、畜産、警察行政	75分	各分野ごとの課題により大学卒業程度の知識、構成力、上限界などについて筆記試験を行います。(800字程度) ※採点は2次試験で実施
	時事論文試験	行政B	75分	時事問題等に関する課題により、大学卒業程度の分析力、解決力、発想力、構成力などについて筆記試験を行います。(800字程度)
	口述試験	行政A、行政B、総合土木、建築、設備(電気、機械)、化学、農学、林学、畜産、警察行政	—	集団面接による試験を行います。
	適性検査	行政A、行政B、総合土木、建築、設備(電気、機械)、化学、農学、林学、畜産、警察行政	—	公務員として必要な適性について検査を行います。
2次試験	口述試験	行政A、総合土木、建築、設備(電気、機械)、化学、農学、林学、畜産、警察行政	—	グループワーク及び個別面接による試験を行います。
		行政B	—	グループワーク及び個別プレゼンテーション面接(自己アピールを内容とした5分程度のプレゼンテーションをしていただきます。)による試験を行います。

●配点比率（令和2年度）

行政A、総合土木、建築、設備(電気、機械)、化学、農学、林学、畜産、警察行政					
教養試験	専門試験	論文試験	口述試験(1次)	口述試験(2次)	合計
100	100	100	300	400	1000

行政B				
教養試験	時事論文試験	口述試験(1次)	口述試験(2次)	合計
100	100	300	400	900

●筆記試験 出題科目一覧（令和2年度）

試験種目	区分	試験内容・出題科目など
教養試験	行政A、行政B、総合土木、建築、設備(電気、機械)、化学、農学、林学、畜産、警察行政	文章理解、判断推理、数的推理、資料解釈、人権関連、社会科学、人文科学、自然科学等
	専門試験	政治学、行政学、憲法、行政法、民法、刑法、労働法、経済学、財政学、経済事情、経営学、社会政策、国際関係、一般心理学、統計学、社会学概論等、数学・物理学等
専門試験	総合土木	数学・物理、応用力学、水理学、土質工学、測量、材料・施工、都市計画、土木計画、造園一般、農業工学一般等
	建築	数学・物理、材料学、構造力学、環境原論、建築史、建築構造、建築計画、都市計画、建築設備、建築施工等
	設備(電気)	数学・物理、電磁気学・電気回路、電気計測・制御、電気工学、電気機器・電力工学、情報・通信工学等
	設備(機械)	数学・物理、材料力学、流体力学、熱力学、電気工学、機械力学・制御、機械設計、樹林材料、機械工作等
	化学	数学・物理、物理化学、分析化学、無機化学、無機工業化学、有機化学、有機工業化学、化学工学等
	農学	栽培学汎論、作物学、園芸学、育種遺伝学、植物病理学、昆虫学、土壤肥料学、植物生理学、畜産一般、農業経済一般等
	林学	森林政策・森林経営学、造林学(森林生態学及び森林保護学を含む。)、林業工学、林産一般、砌妨工学等
	畜産	家畜育種学、家畜繁殖学、家畜生理学、家畜飼養学、家畜養学、飼科学、家畜管理学、畜産物利用学、畜産経営一般等

●合格者の決定方法（令和2年度）

行政A、総合土木、建築、設備(電気、機械)、化学、農学、林学、畜産、警察行政	
1次試験	教養試験、専門試験及び口述試験の合計得点(500点満点)により決定します。
2次試験	論文試験及び口述試験の合計得点(500点満点)により決定します。
行政B	
1次試験	教養試験、時事論文試験及び口述試験の合計得点(500点満点)により決定します。
2次試験	口述試験の得点(400点満点)により決定します。

●試験実施状況（令和2年度）

区分	採用予定	申込者	1次受験者	1次合格者	2次受験者	最終合格者	最終倍率
行政A	58	313	229	116	115	59	3.9
行政B	10	62	48	30	28	12	4.0
総合土木	18	27	24	18	18	17	1.4
建築	10	9	8	5	5	4	2.0
設備	3	11	8	7	7	3	2.7
化学	6	14	9	7	7	6	1.5
農学	4	13	11	8	7	4	2.8
林学	8	18	16	15	15	8	2.0
畜産	2	2	2	2	2	2	1.0
警察行政	2	18	14	6	6	2	7.0

※法律分野：法律専門型／経済分野：経済専門型／総合A分野：全国型／総合B分野：その他

一般行政職（通常枠）、警察事務職、情報職 A・B、総合土木職、建築職、電気職、機械職、化学職 A・B、農学職、林学職、水産職

●受験資格（令和2年度）

共 通	昭和60年4月2日から平成11年4月1日までに生まれた者
-----	------------------------------

●試験日程（令和2年度）

受験申込受付（WEB）	4月21日（火）～5月22日（金）
1 次 試 験 日	6月28日（日）
1次試験合格発表日	7月10日（金）
2 次 試 験 日	個別面接①、論文試験 7月21日（火）から7月31日（金） 個別面接②、集団討論 8月18日（火）から8月28日（金）
最終合格発表日	9月4日（金）

●試験概要（令和2年度）

試験種目	区分	解答時間	試験内容	
1次試験	教養試験	120分	択一式(55問中40問) 公務員として必要な一般的知識及び能力についての筆記試験	
	専門試験	一般行政職(通常枠)、警察事務職	120分	択一式(40問) 試験区分に応じた専門的知識及び能力についての筆記試験 受験申込時に4科目(法律、経済、総合A及び総合B)から1科目を選択する。 法律又は経済を選択…40題を全問必須解答(択一式) 総合A又は総合Bを選択…60題中40題を選択解答(択一式)
		総合土木職	120分	択一式(45問中40問解答) 試験区分に応じた専門的知識及び能力についての筆記試験
		情報職 A・B	120分	記述式及び択一式(40問) 試験区分に応じた専門的知識及び能力についての筆記試験
		建築職、電気職、機械職、化学職 A・B、農学職、林学職、水産職	120分	択一式(40問) 試験区分に応じた専門的知識及び能力についての筆記試験
適性検査	—	通常の職務遂行に必要な適性についての検査		
2次試験	論文試験	90分	一定のテーマによる識見、表現力、判断力等についての記述試験(1,200字程度)	
	面接試験	一般行政職(通常枠)	—	人物、能力、性格等についての個別面接(2回)及び集団討論
警察事務職、情報職、総合土木職、建築職、電気職、機械職、化学職 A・B、農学職、林学職、水産職		—	人物、能力、性格等についての個別面接	

●配点比率（令和2年度）

一般行政職(通常枠)、警察事務職、情報職A・B、総合土木職、建築職、電気職、機械職、化学職A・B、農学職、林学職、水産職			
一次試験		二次試験	
教養試験	専門試験	論文試験	面接試験
400	600	200	(通常枠):1,800/(通常枠)以外:1,400

●筆記試験 出題科目一覧（令和2年度）

試験種目	区分	試験内容・出題科目など
教養試験	一般行政職(通常枠)、警察事務職、情報職A・B、総合土木職、建築職、電気職、機械職、化学職A・B、農学職、林学職、水産職	【選択解答】社会科学、人文科学、自然科学 【必須解答】文章理解、判断推理、数的推理及び資料解釈
専門試験	一般行政職(通常枠)、警察事務職	【法律】憲法⑤、行政法⑫、民法⑫、刑法③、労働法③、経済学・財政学⑤ 【経済】経済原論⑬、財政学④、経済史④、統計学②、経済事情④、経済政策③、憲法・行政法・民法⑤ 【総合A】政治学②、行政学②、憲法④、行政法⑤、民法④、刑法②、労働法②、経済学⑩、財政学③、社会政策③、国際関係②、教育学⑤、社会福祉概論⑤、社会学概論⑤、心理学概論⑤ 【総合B】政治学②、行政学②、憲法④、行政法⑤、民法④、刑法②、労働法②、経済学⑩、財政学③、社会政策③、国際関係②、数学・物理・化学②
	情報職A	数学・物理③、情報・通信工学④、情報基礎理論③、通信・ネットワーク⑮、システム開発・運用⑤、情報セキュリティ⑧、ICT関係の政策②
	情報職B	数学・物理⑩、情報・通信工学⑧、情報基礎理論⑥、通信・ネットワーク⑤、システム開発・運用⑤、情報セキュリティ⑥
	総合土木職	数学・物理⑩、応用力学⑤、水理学⑥、土質工学④、測量②、都市計画①、土木計画⑤、材料・施工⑤、土壌物理①、農業水利・土地改良・農村環境整備⑤、農業土木構造物①
	建築職	数学・物理⑩、構造力学⑤、材料学②、環境原論④、建築史②、建築構造④、建築計画⑤、都市計画③、建築設備②、建築施工③
	電気職	数学・物理⑩、電磁気学・電気回路⑩、電気計測・制御④、電気機器・電力工学⑥、電子工学⑥、情報・通信工学④
	機械職	数学・物理⑩、材料力学④、流体力学④、熱力学④、電気工学②、機械力学・制御④、機械設計⑥、機械材料③、機械工作③
	化学職A・B	数学・物理⑦、物理化学⑨、分析化学③、無機化学・無機工業化学⑥、有機化学・有機工業化学⑨、化学工学⑥
	農学職	栽培学汎論④、作物学④、園芸学⑤、育種遺伝学⑤、植物病理学④、昆虫学④、土壌肥料学④、植物生理学④、畜産一般②、農業経済一般②、食品科学②
	林学職	森林政策・森林経営学⑬、造林学(森林生態学及び森林保護学を含む。)⑫、林業工学④、林産一般⑤、砂防工学⑥
	水産職	水産事情・水産経済・水産法規⑧、水産環境科学⑤、水産生物学⑤、水産資源学④、漁業学④、増養殖学④、水産化学⑤、水産利用学⑤

※○の数字は出題予定数

●合格者の決定方法（令和2年度）

1次試験	各試験種目の総合得点順に決定します。
最終合格者	第1次試験及び第2次試験を合わせた総合得点順に決定します。

●試験実施状況（令和2年度）

区分	採用予定	申込者	1次受験者	1次合格者	2次受験者	最終合格者	最終倍率
一般行政職(通常枠)	82	428	328	247	226	87	3.8
警察事務職	4	22	17	12	12	4	4.3
情報職 A	2	10	10	5	5	2	5.0
情報職 B	1	2	2	2	1	1	2.0
総合土木職	13	25	16	16	16	13	1.2
建築職	3	9	6	4	2	1	6.0
電気職	2	4	3	3	3	2	1.5
機械職	1	3	3	1	1	1	3.0
化学職 A	2	14	9	7	5	2	4.5
化学職 B	1	6	3	3	3	1	3.0
農学職	8	22	19	19	19	8	2.4
林学職	6	9	7	4	4	2	3.5
水産職	2	7	4	4	4	2	2.0

一般行政職（特別枠）

●受験資格（令和2年度）

共 通	昭和60年4月2日から平成11年4月1日までに生まれた者
-----	------------------------------

●試験日程（令和2年度）

受験申込受付(WEB)	4月21日(火)～5月22日(金)
1次試験日	6月28日(日)
1次試験合格発表日	7月10日(金)
2次試験日	論文試験、個別面接 7月16日(木)又は7月20日(月)
最終合格発表日	8月17日(金)

●試験概要（令和2年度）

試験種目		区分	解答時間	試験内容
1次試験	教養試験	一般行政職(特別枠)	120分	択一式(55問中40問解答) 公務員として必要な一般的知識及び能力についての筆記試験
	専門試験	一般行政職(特別枠)	120分	択一式(40問) 受験申込時に4科目(法律、経済、総合A及び総合B)から1科目を選択する。 法律又は経済を選択…40題を全問必須解答(択一式) 総合A又は総合Bを選択…60題中40題を選択解答(択一式)
	アピール論文試験	一般行政職(特別枠)	—	高度な能力や実績等の特筆性、取得の困難性及びその能力等を得る過程で培った意欲・行動力・精神力をアピールする論文試験 (1,200字以内、申込時に提出)
	適性検査	一般行政職(特別枠)	—	通常の職務遂行に必要な適性についての検査
2次試験	論文試験	一般行政職(特別枠)	90分	一定のテーマによる識見、表現力、判断力等についての記述試験(1,200字程度)
	面接試験	一般行政職(特別枠)	—	人物、能力、性格等についての個別面接(自身が培った意欲・行動力・精神力を県政にどのように生かすか等)

●配点比率（令和2年度）

一般行政職(特別枠)					
教養試験	専門試験	アピール論文試験	論文試験	面接試験	合計
120	180	700	200	1400	2600

●筆記試験 出題科目一覧（令和2年度）

試験種目	区分	試験内容・出題科目など
教養試験	一般行政職(特別枠)	【選択解答】社会科学、人文科学、自然科学 【必須解答】文章理解、判断推理、数的推理及び資料解釈
専門試験	一般行政職(特別枠)	【法律】憲法⑤、行政法⑫、民法⑫、刑法③、労働法③、経済学・財法学⑤ 【経済】経済原論⑬、財法学④、経済史④、統計学②、経済事情④、経済政策③、憲法・行政法・民法⑤ 【総合A】政治学②、行政学②、憲法④、行政法⑤、民法④、刑法②、労働法②、経済学①、財法学③、社会政策③、国際関係②、教育学⑤、社会福祉概論⑤、社会学概論⑤、心理学概論⑤ 【総合B】政治学②、行政学②、憲法④、行政法⑤、民法④、刑法②、労働法②、経済学①、財法学③、社会政策③、国際関係②、数学・物理・化学⑳

●合格者の決定方法（令和2年度）

1次試験	各試験種目の総合得点順に決定します。
最終合格者	第1次試験及び第2次試験を合わせた総合得点順に決定します。

●試験実施状況（令和2年度）

区分	採用予定	申込者	1次受験者	1次合格者	2次受験者	最終合格者	最終倍率
一般行政職(特別枠)	5	21	18	13	13	5	3.6

事務（一般コース・総合分野コース）、総合化学（一般コース・食品化学コース）、農業、林業、土木、畜産、水産、建築

●受験資格（令和2年度）

共通 昭和60年4月2日から平成11年4月1日までに生まれた者

●試験日程（令和2年度）

受験申込受付（WEB）	4月30日（木）～5月25日（月）
1次試験日	6月28日（日）
1次試験合格発表日	7月9日（木）
2次試験日	8月4日（火）～8月30日（日）
最終合格発表日	9月4日（金）

●試験概要（令和2年度）

試験種目	区分	解答時間	試験内容
1次試験	教養試験	150分	多肢選択式(50問) 公務員として必要な一般的な知識及び知能についての筆記試験
	専門試験	120分	多肢選択式(40問) 必要な専門的知識についての筆記試験
		120分	多肢選択式(50問中40問) 必要な専門的知識についての筆記試験
	エントリーシート	120分	①志望理由、②自己PR、③チャレンジした経験の4つのテーマで出題します。(事前提出ではなく、第1次試験当日に試験会場で記入します。具体的な質問事項は、第1次試験当日に提示します。なお、試験時間中に資料等を見ることはできません。) ※エントリーシートは、第2次試験の人物試験の参考資料としても使用します。
	論文試験	60分	(1問) 公務員として必要な識見、思考力、表現力等の能力についての筆記試験
	適性検査	—	職務遂行に関する適性についての検査
2次試験	人物試験	—	集団討論及び個別面接による人物についての口述試験
		—	集団討論及び個別面接による人物、専門的知識についての口述試験

●配点比率（令和2年度）

事務(一般コース)				
教養試験	専門試験	論文試験	人物試験	合計
150	160	120	600	1030
事務(総合分野コース)				
教養試験	エントリーシート	論文試験	人物試験	合計
100	100	120	600	920
総合化学(一般コース・食品化学コース)、農業、林業、土木、畜産、水産、建築				
教養試験	専門試験	論文試験	人物試験	合計
150	300	120	600	1170

●筆記試験 出題科目一覧（令和2年度）

試験種目	区分	試験内容・出題科目など
教養試験	事務(一般コース、総合分野コース)、総合化学(一般コース・食品化学コース)、農業、林業、土木、畜産、建築	社会科学・人文科学・自然科学に関する知識 文章理解・判断推理・数的推理・資料解釈等の能力
専門試験	事務(一般コース)	政治学、行政学、憲法、行政法、民法、刑法、労働法、経済学、財政学、社会政策、国際関係
	総合化学(一般コース)	数学・物理、物理化学、分析化学、無機化学・無機工業化学、有機化学・有機工業化学、化学工学
	総合化学(食品化学コース)	一般化学、分析化学、有機化学、生物有機化学、生物化学、土壌学・植物栄養学、食品科学、応用微生物学
	農業	栽培学汎論、作物学、園芸学、育種遺伝学、植物病理学、昆虫学、土壌肥料学、植物生理学、畜産一般、農業経済一般
	林業	森林政策・森林経営学、造林学(森林生態学、森林保護学を含む。)、林業工学、林産一般、砂防工学
	土木	数学・物理、応用力学、水理学、土質工学、測量、都市計画、土木計画、材料・施工、農業水利・土地改良・農村環境整備、農業土木構造物、造林学(森林生態学、森林保護学を含む。)、林業工学、砂防工学
	畜産	家畜育種学、家畜繁殖学、家畜生理学、家畜飼養学、家畜栄養学、飼料学、家畜管理学、畜産物利用学、畜産経営一般
建築	数学・物理、構造力学、材料学、環境原論、建築史、建築構造、建築計画、都市計画、建築設備、建築施工	

●合格者の決定方法（令和2年度）

事務(一般コース)、総合化学(一般コース)、総合化学(食品化学コース)、農業、林業、土木、畜産、建築	
1次試験	第1次試験の教養試験と専門試験の得点を合算した得点の高い順により決定します。
採用候補者	第1次試験で実施する論文試験と第2次試験で実施する人物試験の得点を合算した得点の高い順により決定します。
事務(総合分野コース)	
1次試験	第1次試験の教養試験とエントリーシートの得点を合算した得点の高い順により決定します。
採用候補者	第1次試験で実施する論文試験と第2次試験で実施する人物試験の得点を合算した得点の高い順により決定します。

●試験実施状況（令和2年度）

区分	採用予定	申込者	1次受験者	1次合格者	2次受験者	採用候補者	最終倍率
事務(一般コース)	33	131	89	65	62	33	2.7
事務(総合分野コース)	5	28	19	14	13	5	3.8
総合化学(一般コース)	1	7	6	4	4	1	6.0
総合化学(食品化学コース)	2	5	4	4	3	2	2.0
農業	9	26	17	14	14	9	1.9
林業	3	11	6	4	4	3	2.0
土木	5	10	9	9	9	5	1.8
畜産	1	2	2	1	0	-	-
建築	1	2	2	2	2	1	2.0

事務（キャリア総合コース）

●受験資格（令和2年度）

共 通	昭和60年4月2日から平成11年4月1日までに生まれた者
-----	------------------------------

●試験日程（令和2年度）

受験申込受付(WEB)	3月6日(金)～4月6日(月)
1次試験日	6月21日
1次試験合格発表日	7月9日
2次試験日	8月3日(月)～8月8日(土)
最終合格発表日	8月25日(火)

●試験概要（令和2年度）

試験種目		区分	解答時間	試験内容
1次試験	基礎能力試験	事務 (キャリア総合コース)	70分	SP13 公務員として必要な一般的な知識及び知能についての筆記試験
	アピールシート	事務 (キャリア総合コース)	90分	県職員として働く上で有用と考える経験等のテーマで出題します。 (事前提出ではなく、第1次試験当日に試験会場で記入します。 具体的な質問事項は、第1次試験当日に提示します。なお、試験時間中に資料等を見ることはできません。) ※アピールシートは、第2次試験の人物試験の参考資料とするとともに、人物試験において記載内容をアピールしていただく予定です。
	適性検査	事務 (キャリア総合コース)	—	職務遂行に関する適性についての検査
2次試験	人物試験	事務 (キャリア総合コース)	—	集団討論及び個別面接による人物についての口述試験

●配点比率（令和2年度）

事務(キャリア総合コース)		
基礎能力試験・アピールシート	人物試験	合計
200	600	800

●筆記試験 出題科目一覧（令和2年度）

試験種目	区分	試験内容・出題科目など
基礎能力試験	事務(キャリア総合コース)	SP13

●合格者の決定方法（令和2年度）

事務(キャリア総合コース)	
1次試験	第1次試験の基礎能力試験とアピールシートの得点を合計した得点の高い順により決定します。
採用候補者	第2次試験で実施する人物試験の得点の高い順により決定します。

●試験実施状況（令和2年度）

区分	採用予定	申込者	1次受験者	1次合格者	2次受験者	採用候補者	最終倍率
事務 (キャリア総合コース)	25	374	216	57	49	25	8.6

警察行政

●受験資格（令和2年度）

共 通	昭和60年4月2日から平成11年4月1日までに生まれた者
-----	------------------------------

●試験日程（令和2年度）

受験申込受付(WEB)	4月30日(木)～5月19日(火)
1次試験日	6月28日(日)
1次試験合格発表日	7月9日(木)
2次試験日	8月5日(水)
最終合格発表日	8月24日(月)

●試験概要（令和2年度）

試験種目	区分	解答時間	試験内容
1次試験	教養試験	警察行政	150分 多肢選択式(50問) 公務員として必要な一般的な知識及び知能についての筆記試験
	適性検査	警察行政	— 職務遂行に関する適性についての検査
2次試験	人物試験	警察行政	— 個別面接による人物についての口述試験
	論文試験	警察行政	60分 ※1次試験日に実施 公務員として必要な識見、思考力、表現力等の能力についての筆記試験
	身体検査	警察行政	— 職務遂行に必要な健康度の調査

●配点比率（令和2年度）

警察行政		
教養試験	論文試験	人物試験
150	200	500

●筆記試験 出題科目一覧（令和2年度）

試験種目	区分	試験内容・出題科目など
教養試験	警察行政	社会科学・人文科学・自然科学に関する知識、文章理解・判断推理・数的推理・資料解釈等の能力

●合格者の決定方法（令和2年度）

1次試験	第1次試験の教養試験の得点を合計した得点の高い順により決定します。
採用候補者	第1次試験の教養試験の得点にかかわらず、第2次試験の結果により決定します。

●試験実施状況（令和2年度）

区分	採用予定	申込者	1次受験者	1次合格者	2次受験者	最終合格者	最終倍率
警察行政	8	27	20	12	11	8	2.5

行政 A

●受験資格（令和2年度）

共 通 平成3年4月2日から平成11年4月1日までに生まれた者

●試験日程（令和2年度）

受験申込受付(WEB)	5月1日(金)～5月27日(水)
1次試験日	筆記試験 6月28日(日) 面接試験 7月14日(水)または15日(木)
1次試験合格発表日	7月22日(木)
2次試験日	8月1日(土)～8月7日(金)
最終合格発表日	8月下旬

●試験概要（令和2年度）

試験種目	区分	解答時間	試験内容
1次試験	教養試験	行政 A	150分 択一式(50問) 公務員として必要な知識及び知能について、択一式による筆記試験を行います。
	専門試験	行政 A	90分 択一式(55問中20問) 専門的な知識及び能力について、択一式による筆記試験を行います。
	面接試験	行政 A	— 択一試験結果の上位の方を対象に個別面接を行います。
2次試験	論文試験	行政 A	90分 文章による表現力、課題に対する理解力等について論文試験を行います。※1次試験日に実施
	面接試験	行政 A	— 職務遂行能力等をみる目的で個別面接を行います。 また、集団討論もを行います。
	適性検査	行政 A	— 職務遂行に必要な適性を検査します。

●配点比率（令和2年度）

行政 A						
教養試験	専門試験	面接試験(1次)	論文試験	面接試験(2次)	集団討論	合計
120	60	120	200	300	200	1000

●筆記試験 出題科目一覧（令和2年度）

試験種目	区分	試験内容・出題科目など
教養試験	行政 A	文章理解、判断推理、数的推理・資料解釈、社会科学、人文科学、自然科学
専門試験	行政 A	【法律分野⑳】 憲法、行政法、民法、刑法、労働法 【経済分野㉑】 経済学、財政学、経済史、統計学、経済事情、経済政策 【行政分野㉒】 政治学、行政学、社会政策、国際関係 【その他㉓】 経営学、教育学

※○の数字は出題予定数

●合格者の決定方法（令和2年度）

最終合格者 第2次試験の評価のみで決定します。

●試験実施状況（令和2年度）

区分	採用予定	申込者	1次受験者	1次合格者	2次受験者	最終合格者	最終倍率
行政 A	56	149	118	97	94	57	2.1

行政B

●受験資格（令和2年度）

共 通	昭和63年4月2日から平成11年4月1日までに生まれた者
-----	------------------------------

●試験日程（令和2年度）

受験申込受付(WEB)	2月20日(木)～3月19日(木)	
1次試験日	6月28日(日)	
1次試験合格発表日	日程変更のため不明	
2次試験日	適性検査、集団討論試験 7月25日(土)	
	面接試験①	7月26日(日)
	面接試験②	8月1日(土)または8月2日(日)
最終合格発表日	日程変更のため不明	

●試験概要（令和2年度）

試験種目	区分	解答時間	試験内容	
1次試験	基礎能力試験	行政B	70分	SP3
	自己アピール論文試験	行政B	120分	県職員として働く意欲及びこれまでの経験を通じて培った能力や成果等について自己アピールを行う論文試験を行います
2次試験	集団討論試験	行政B	90分	集団内における個人の適応性や社会性をみる目的で集団討論を行います。
	面接試験①	行政B	—	職務遂行能力等をみる目的で個別面接を行います。(事前に自己紹介書を提出していただきます。) ※面接の冒頭で、自己アピール論文試験で作成した論文に基づくプレゼンテーションを5分間程度実施していただきます。(メモ等を見ずに口頭で行っていただきます。当日、面接試験室内においては、プレゼンテーションのための資料やパソコンの使用はできません。)
	面接試験②	行政B	—	職務遂行能力等をみる目的で個別面接を行います。
	適性検査	行政B	—	職務遂行に必要な適性を検査します。

●配点比率（令和2年度）

行政B					
基礎能力試験	自己アピール論文試験	集団討論試験	面接試験①	面接試験②	合計
100	60	200	200	300	1000

●筆記試験 出題科目一覧（令和2年度）

試験種目	区分	試験内容・出題科目など
基礎能力試験	行政B	SP3

●合格者の決定方法（令和2年度）

最終合格者	第2次試験の評価のみで決定します。
-------	-------------------

●試験実施状況（令和2年度）

区分	採用予定	申込者	1次受験者	1次合格者	2次受験者	最終合格者	最終倍率
行政B	10	217	81	26	25	18	4.5

化学、農業、畜産、林業、水産、総合土木、建築、機械、電気、情報処理、警察事務

●受験資格（令和2年度）

総合土木以外	昭和63年4月2日から平成11年4月1日までに生まれた者
総合土木	平成3年4月2日から平成11年4月1日までに生まれた者

●試験日程（令和2年度）

受験申込受付(WEB)	5月1日(金)～5月27日(水)
1次試験日	筆記試験 6月28日(日) 面接試験 7月14日(水)または15日(木)
1次試験合格発表日	7月10日(金)
2次試験日	8月1日(土)～8月7日(金)
最終合格発表日	8月下旬

●試験概要（令和2年度）

試験種目		区分	解答時間	試験内容
1次試験	教養試験	化学、農業、畜産、林業、水産、総合土木、建築、機械、電気、情報処理、警察事務	150分	択一式(50問) 公務員として必要な知識及び知能について、択一式による筆記試験を行います。
	専門試験	化学、農業、畜産、林業、水産、総合土木、建築、機械	120分	択一式(40問) 専門的な知識及び能力について、択一式による筆記試験を行います。
		情報処理	120分	択一式および記述式 専門的な知識及び能力について、択一式及び記述式による筆記試験を行います
		警察事務	90分	択一式(55問中20問) 専門的な知識及び能力について、択一式による筆記試験を行います
2次試験	論文試験	化学、農業、畜産、林業、水産、総合土木、建築、機械、電気、情報処理、警察事務	90分	文章による表現力、課題に対する理解力等について論文試験を行います。 ※1次試験日に実施
	面接試験	化学、農業、畜産、林業、水産、総合土木、建築、機械、電気、情報処理、警察事務	—	職務遂行能力等をみる目的で個別面接を行います
	適性検査	化学、農業、畜産、林業、水産、総合土木、建築、機械、電気、情報処理、警察事務	—	職務遂行に必要な適性を検査します。
	筆記実技試験	建築	—	「建築設計」の筆記実技試験

●配点比率（令和2年度）

化学、農業、畜産、林業、水産、総合土木、機械、電気、情報処理					
教養試験	専門試験	論文試験	面接試験	合計	
150	150	200	500	1000	
建築					
教養試験	専門試験	論文試験	面接試験	筆記実技試験	合計
150	150	200	500	200	1200
警察事務					
教養試験	専門試験	論文試験	面接試験	合計	
200	100	200	500	1000	

●筆記試験 出題科目一覧（令和2年度）

試験種目	区分	試験内容・出題科目など
教 養 試 験	化学、農業、畜産、林業、水産、総合土木、建築、機械、電気、情報処理、警察事務	文章理解、判断推理、数的推理・資料解釈、社会科学、人文科学、自然科学
	警察事務	【法律分野⑳】 憲法、行政法、民法、刑法、労働法 【経済分野㉑】 経済学、財政学、経済史、統計学、経済事情、経済政策 【行政分野㉒】 政治学、行政学、社会政策、国際関係 【その他㉓】 経営学、教育学
専 門 試 験	化学	数学・物理、物理化学、分析化学、無機化学・無機工業化学、有機化学・有機工業化学、化学工学
	農業	栽培学汎論、作物学、園芸学、育種遺伝学、植物病理学、昆虫学、土壌肥科学、植物生理学、畜産一般、農業経済一般
	畜産	家畜育種学、家畜繁殖学、家畜生理学、家畜飼養学、家畜栄養学、飼料学、家畜管理学、畜産物利用学、畜産経営一般
	林業	森林政策・森林経営学、造林学(森林生態学及び森林保護学を含む)、林業工学、林産一般、砂防工学
	水産	水産事情・水産経済・水産法規、水産環境科学、水産生物学、水産資源学、漁業学、増養殖学、水産化学、水産利用学
	総合土木	数学・物理、応用力学、水理学、土質工学、測量、都市計画、土木計画、材料・施工、農業水利・土地改良・農村環境整備、農業土木構造物
	建築	数学・物理、構造力学、材料学、環境原論、建築史、建築構造、建築計画、都市計画、建築設備、建築施工
	機械	数学・物理、材料力学、流体力学、熱力学、電気工学、機械力学・制御、機械設計、機械材料、機械工作
	電気	数学・物理、電磁気学・電気回路、電気計測・制御、電気機器・電力工学、電子工学、情報・通信工学
	情報処理	アルゴリズムとプログラミング、コンピューターシステム、ヒューマンインターフェース、ネットワーク、データベース、セキュリティ、開発技術、プロジェクトマネジメント、システム企画、法務

※○の数字は出題予定数

●合格者の決定方法（令和元年度）

非公表

●試験実施状況（令和2年度）

区分	採用予定	申込者	1次受験者	1次合格者	2次受験者	最終合格者	最終倍率
化 学	1	5	3	2	2	1	3.0
農 業	13	22	16	15	15	10	1.6
畜 産	4	5	5	3	3	2	2.5
林 業	7	9	7	7	7	7	1.0
水 産	1	2	1	1	0	-	-
総 合 土 木	15	24	18	15	15	13	1.4
建 築	2	7	6	3	3	3	2.0
機 械	2	3	2	2	2	1	2.0
電 気	6	10	8	7	6	5	1.6
情 報 処 理	1	1	1	1	1	1	1.0
警 察 事 務	4	14	11	9	7	4	2.8

行政、化学、衛生、農業、土木、農業土木、畜産、林業、建築、電気

●受験資格（令和2年度）

共 通	平成2年4月2日から平成11年4月1日までに生まれた者
-----	-----------------------------

●試験日程（令和2年度）

受験申込受付（WEB）	4月24日（金）～5月22日（金）
1 次 試 験 日	6月28日（日）
1次試験合格発表日	7月8日（水）
2 次 試 験 日	口述試験① 7月21日（火）～7月30日（木） 口述試験② 8月16日（日）～8月25日（火）
最終合格発表日	8月31日（月）

●試験概要（令和2年度）

試験種目		区分	解答時間	試験内容
1次試験	教養試験	行政、化学、衛生、農業、土木、農業土木、畜産、林業、建築、電気	150分	択一式(50問) 大学卒業程度の一般的知識及び知能
	専門試験	行政、化学、衛生、農業、土木、農業土木、畜産、林業、建築、電気	120分	択一式(40問)
	適性検査	行政、化学、衛生、農業、土木、農業土木、畜産、林業、建築、電気	20分	性格、心理等について、検査を行います。
2次試験	口述試験①	行政、化学、衛生、農業、土木、農業土木、畜産、林業、建築、電気	—	人柄や特性等について、第一次個別面接により行う試験 コミュニケーション能力、積極性、忍耐力・堅実性、協調性、創造力・企画力等を評価します
	口述試験②	行政、化学、衛生、農業、土木、農業土木、畜産、林業、建築、電気	—	人柄や特性等について、第二次個別面接により行う試験 表現力・構成力、コミュニケーション能力、積極性、忍耐力・堅実性、協調性、創造力・企画力等を評価します。 冒頭3分程度で自己PRを行っていただきます。

●配点比率（令和2年度）

行政、化学、衛生、農業、土木、農業土木、畜産、林業、建築、電気				
一次試験		二次試験		合計
教養試験	専門試験	口述試験①	口述試験②	
100	120	150	400	770

●筆記試験 出題科目一覧（令和2年度）

試験種目	区分	試験内容・出題科目など
教 養 試 験	行政、化学、農業、土木、農業土木、畜産、林業、建築、電気	社会、人文、自然、文章理解、判断推理、数的推理、資料解釈等
専 門 試 験	行政	政治学、行政学、憲法、行政法、民法、刑法、労働法、経済学、財政学、社会政策、国際関係等
	化学	数学・物理、物理化学、分析化学、無機化学・無機工業化学、有機化学・有機工業化学、化学工学等
	衛生	公衆衛生看護学、水産利用学、応用微生物学、畜産一般、食品科学、物理・化学・生物、衛生、分析化学、有機化学、一般化学、生物有機化学等
	農業	栽培学汎論、作物学、園芸学、育種遺伝学、植物病理学、昆虫学、土壤肥科学、植物生理学、畜産一般、農業経済一般等
	土木	数学・物理、応用力学、水理学、土質工学、測量、都市計画、土木計画、材料・施工等
	農業土木	数学、応用力学、水理学、測量、土壤物理、農業水利・土地改良・農村環境整備、農業土木構造物、材料・施工、農業機械、農学一般等
	畜産	家畜育種学、家畜繁殖学、家畜生理学、家畜飼養学、家畜栄養学、飼科学、家畜管理学、畜産物利用学、畜産経営一般等
	林業	森林政策・森林経営学、造林学(森林生態学、森林保護学を含む)、林業工学、林産一般、砂防工学等
	建築	数学・物理、構造力学、材料学、環境原論、建築史、建築構造、建築計画、都市計画、建築設備、建築施工等
	電気	数学・物理、電磁気学・電気回路、電気計測・制御、電気機器・電力工学、電子工学、情報・通信工学等

●合格者の決定方法（令和2年度）

1 次 試 験	教養試験と専門試験の合計得点の高い順により決定します。
2 次 試 験	第1次試験の成績にかかわらず、論文試験、口述試験①及び口述試験②の合計得点の高い順により決定します。

●試験実施状況（令和2年度）

区分	採用予定	申込者	1次受験者	1次合格者	2次受験者	最終合格者	最終倍率
行 政	49	456	306	148	143	74	4.1
化 学	2	29	19	8	8	3	6.3
衛 生	2	9	8	7	6	2	4.0
農 業	14	45	36	34	31	18	2.0
土 木	17	18	12	11	11	7	1.7
農 業 土 木	7	9	6	6	6	6	1.0
畜 産	2	6	5	5	5	3	1.7
林 業	4	7	7	6	6	6	1.1
建 築	1	8	4	3	2	1	4.0
電 気	4	14	7	7	7	3	2.3

警察行政職員 A

●受験資格（令和2年度）

共 通	平成2年4月2日から平成11年4月1日までに生まれた者
-----	-----------------------------

●試験日程（令和2年度）

受験申込受付(WEB)	4月24日(金)～5月22日(金)
1次試験日	6月28日(日)
1次試験合格発表日	7月15日(水)
2次試験日	8月8日(土)～8月9日(日)
最終合格発表日	8月19日(水)

●試験概要（令和2年度）

試験種目		区分	解答時間	試験内容
1次試験	教養試験	警察行政職員 A	150分	択一式(50問) 大学卒業程度の一般的知識及び知能
	論文試験	警察行政職員 A	90分	与えられた課題についての記述試験(1,200字以内) 表現力、理解力、構成力、企画力等を評価します。
	適性検査	警察行政職員 A	110分	性格、心理等について、3種類の検査を行います。
2次試験	口述試験	警察行政職員 A	-	人柄や特性等について、集団面接及び個別面接により行う試験 ○集団面接では、コミュニケーション能力、正義感、自己統制力等を評価します。(40点) ○個別面接では、コミュニケーション能力、積極性・指導力、堅実性・忍耐力、協調性、責任感・使命感等を評価します。(300点)

●配点比率（令和2年度）

警察行政職員 A				
一次試験		二次試験		合計
教養試験	論文試験	口述試験		
100	40	340		480

●筆記試験 出題科目一覧（令和2年度）

試験種目	区分	試験内容・出題科目など
教 養 試 験	警察行政職員A	社会、人文、自然、文章理解、判断推理、数的推理、資料解釈等

●合格者の決定方法（令和2年度）

1 次 試 験	教養試験と論文試験の合計得点の高い順により決定します。
2 次 試 験	第1次試験の成績にかかわらず、口述試験の得点の高い順により決定します。

●試験実施状況（令和元年度）

区分	採用予定	申込者	1次受験者	1次合格者	2次受験者	最終合格者	最終倍率
警察行政職員 A	5	180	115	33	32	9	12.8

A採用試験 行政（アピール型）

●受験資格（令和2年度）

共 通	平成6年4月2日から平成11年4月1日までに生まれた者
-----	-----------------------------

●試験日程（令和2年度）

受験申込受付(WEB)	3月1日(日)～3月31日(火)
1次試験日	6月1日(月)～6月15日(月)
1次試験合格発表日	6月19日(金)
2次試験日	口述試験①、② 7月4日(土) 口述試験③ 7月5日(日)
最終合格発表日	7月20日(月)

●試験概要（令和元年度）

試験種目		区分	解答時間	試験内容
1次試験	基礎能力試験(SPI3)	行政(アピール型)	70分	択一式(70問) 言語的理解力や数量的処理能力、論理的思考力についての筆記試験
	アピールシート試験	行政(アピール型)	90分	自らの経験や県政に携わる意欲等をアピールする記述試験 ①チャレンジした経験、②リーダーシップを発揮した経験、③経験等の県政への活用 の3つのテーマで出題します。 (各600字以内) (積極性、調整力・コミュニケーション能力、意欲、表現力・国語力等を評価します。)
	適性検査	行政(アピール型)	40分	性格、心理等について、検査を行います。
試験2次	口述試験①	行政(アピール型)	-	与えられた課題について、グループワークにより行う試験 (説明能力、リーダーシップを評価します。)
	口述試験②	行政(アピール型)	-	経験や能力等について、第一次個別面接により行う試験 (経験の有用性、主体性・行動力、コミュニケーション能力、公務に対する意欲を評価します。)
	口述試験③	行政(アピール型)	-	人柄や特性等について、第二次個別面接により行う試験 (コミュニケーション能力、積極性、忍耐力・堅実性、協調性、想像力・企画力を評価します。)

●配点比率（令和2年度）

行政(アピール型)					
基礎能力試験(SPI3)	アピールシート試験	口述試験①	口述試験②	口述試験③	合計
100	100	150	150	400	900

●合格者の決定方法（令和2年度）

1次試験	基礎能力試験(SPI3)とアピールシート試験の合計得点の高い順により決定します。
2次試験	口述試験①、口述試験②及び口述試験③の合計得点の高い順により決定します。

●試験実施状況（令和2年度）

区分	採用予定	申込者	1次受験者	1次合格者	2次受験者	最終合格者	最終倍率
行政(アピール型)	10	253	170	40	34	15	11.3

※行政分野：全国型／法律分野：法律専門型／経済分野：経済専門型

一般事務 A、小中学校事務、警察事務、衛生一般、農業、林業、畜産一般、水産、工業(食品)、工業(機械)、工業(電気)、工業(鑑識化学)、総合土木、建築

●受験資格（令和2年度）

共 通	平成3年4月2日から平成11年4月1日まで生まれた者
-----	----------------------------

●試験日程（令和2年度）

受験申込受付(WEB)	5月19日(火)～6月10日(水)
1 次 試 験 日	6月28日(日)
1次試験合格発表日	7月10日(金)
2 次 試 験 日	7月21日(火)～8月12日(水)
最終合格発表日	8月17日(月)

●試験概要（令和2年度）

試験種目		区分	解答時間	試験内容
1次試験	教養試験	一般事務A、小中学校事務、警察事務、衛生一般、農業、林業、畜産一般、水産、工業(食品)、工業(機械)、工業(電気)、工業(鑑識化学)、総合土木、建築	150分	択一式(55問中45問) 公務員として必要な一般的知識及び知能についての筆記試験
		専門試験	120分	択一式 各試験区分に応じた専門的知識、能力、技術等についての筆記試験
		水産、総合土木	120分	択一式(50問中40問解答) 各試験区分に応じた専門的知識、能力、技術等についての筆記試験
	論文試験	一般事務A、小中学校事務、警察事務	90分	思考力、構成力等についての筆記試験(800字程度)
	専門記述試験	衛生一般、農業、林業、畜産一般、工業(食品)、工業(機械)、工業(電気)、工業(鑑識化学)、建築	90分	各試験区分の専門分野に応じた思考力、構成力等についての論述式による筆記試験(B4判用紙1枚)
2次試験	面接試験	一般事務A、小中学校事務、警察事務、衛生一般、農業、林業、畜産一般、水産、工業(食品)、工業(機械)、工業(電気)、工業(鑑識化学)、総合土木、建築	—	使命感、信頼感、コミュニケーション力、判断力、積極性、達成力等についての面接試験 ※2段階の個別面接を実施します。

●配点比率（令和2年度）

一般事務A、小中学校事務、警察事務				
教養試験	一次試験		二次試験	合計
	専門試験	論文試験	面接試験	
45	55	20	60	180

衛生一般、農業、林業、畜産一般、水産、工業(食品)、工業(機械)、工業(電気)、工業(鑑識化学)、総合土木、建築				
教養試験	一次試験		二次試験	合計
	専門試験	専門記述試験	面接試験	
45	55	20	60	180

●筆記試験 出題科目一覧（令和2年度）

試験種目	区分	試験内容・出題科目など	
教 養 試 験	一般事務A、小中学校事務、警察事務、衛生一般、農業、林業、畜産一般、水産、工業(食品)、工業(機械)、工業(電気)、工業(鑑識化学)、総合土木、建築	知能分野:文章理解、判断推理、数的推理、資料解釈等 知識分野:社会科学、人文科学、自然科学等	
専 門 試 験	一般事務A、小中学校事務、警察事務	行政	政治学、行政学、憲法、行政法、民法、刑法、労働法、経済学、財政学、社会政策、国際関係
		法律	憲法、行政法、民法、刑法、労働法、経済学
		経済	経済原論、財政学、経済史、統計学、経済事情、経済政策、憲法及び民法
	衛生(衛生一般)	生物※	応用獣医学、疫学、保健統計学、畜産物利用学、水産利用学、食品科学、応用微生物学、生物化学、衛生
		化学※	環境化学(環境保全・廃棄物対策)、疫学、物理化学、分析化学、無機化学・無機工業化学、有機化学・有機工業化学、生物化学
	農業	栽培学汎論、作物学、園芸学、育種遺伝学、植物病理学、昆虫学、土壤肥科学、植物生理学、農業経済一般、応用微生物学、生物化学、食品科学、情報処理	
	林業	森林政策・森林経営学、造林学(森林生態学、森林保護学を含む。)、林業工学、林産一般、砂防工学	
	畜産一般	家畜育種学、家畜繁殖学、家畜生理学、家畜飼養学、家畜栄養学、飼料学、家畜管理学、畜産物利用学、畜産経営一般	
	水産	水産事情・水産経済・水産法規、水産環境科学、水産生物学、水産資源学、漁業学、増養殖学、水産化学、水産利用学、基礎航海学、航海情報計測学、漁船運用学、漁船安全学、内燃機関、船舶機関システム学、舶用補機、伝熱工学	
	工業(食品)	数学・物理、物理化学、生物化学、食品化学、応用微生物学、化学工学、食品工学、食品加工学	
	工業(機械)	数学・物理、材料力学、流体力学、熱力学、電気工学、機械力学・制御、機械設計、機械材料、機械工作	
	工業(電気)	数学・物理、電磁気学・電気回路、電気計測・制御、電気機器・電力工学、電子工学、情報・通信工学	
	工業(鑑識化学)	数学・物理、物理化学、分析化学、無機化学・無機工業化学、有機化学・有機工業化学、化学工学、生物工学	
	総合土木	数学・物理、応用力学、水理学、土質工学、測量、都市計画、土木計画、材料・施工、土壌物理、農業水利・土地改良・農村環境整備、農業土木構造物、農業機械、農学一般	
	建築	数学・物理、構造力学、材料学、環境原論、建築史、建築構造、建築計画、都市計画、建築設備、建築施工	

●合格者の決定方法（令和2年度）

最終合格者	第2次試験と第1次試験の論文試験又は専門記述試験の成績に基づき決定し、第1次試験のうち、教養試験と専門試験の成績は反映されません。
-------	---

●試験実施状況（令和2年度）

区分	採用予定	申込者	1次受験者	1次合格者	2次受験者	最終合格者	最終倍率
一般事務 A	55	481	363	179	171	84	4.3
小中学校事務	10	37	28	16	16	11	3.3
警察事務	11	57	42	22	22	13	6.6
衛生（衛生一般）	4	18	14	8	8	4	3.5
農業	7	30	24	17	17	8	3.0
林業	3	6	6	5	5	4	1.5
畜産一般	1	10	9	7	7	2	4.5
水産	2	13	11	8	8	3	3.7
工業（食品）	1	6	4	3	2	1	4.0
工業（機械）	2	6	5	4	4	3	1.7
工業（電気）	5	11	8	7	7	5	1.6
工業（鑑識化学）	1	9	7	5	5	1	7.0
総合土木	12	46	34	30	28	19	1.8
建築	2	11	11	8	6	2	5.5

一般事務B

●受験資格（令和2年度）

共 通	平成6年4月2日から平成11年4月1日までに生まれた者
-----	-----------------------------

●試験日程（令和2年度）

受験申込受付(WEB)	5月19日(水)～6月10日(水)
1次試験日	6月28日(日)
1次試験合格発表日	7月10日(金)
2次試験日	7月21日(火)～7月29日(水)
2次試験合格発表日	7月31日(金)
3次試験日	8月17日(月)～8月19日(水)
最終合格発表日	8月28日(金)

●試験概要（令和2年度）

試験種目		区分	解答時間	試験内容
1次試験	教養試験	一般事務B	150分	択一式(55問中45問解答) 公務員として必要な一般的知識及び知能についての筆記試験
	アピールシート試験	一般事務B	60分	県職員として働く意欲、これまでの様々な活動を通じて培った能力や成果等に関する自己アピール
	論文試験	一般事務B	90分	思考力、構成力等についての筆記試験(800字程度)
2次試験	面接試験	一般事務B	—	使命感、信頼感、コミュニケーション力、判断力、積極性、達成力等についての面接試験 ※2段階の個別面接を実施します。このうち2回目の個別面接の冒頭で、事前に示す課題に基づいてプレゼンテーションを行っていただきます。
3次試験	面接試験	一般事務B	—	使命感、信頼感、コミュニケーション力、判断力、積極性、達成力等についての面接試験※個別面接を実施します。

●配点比率（令和2年度）

一般事務B					
一次試験			二次試験	三次試験	合計
教養試験	アピールシート試験	論文試験	面接試験(2次)	面接試験(3次)	
45	45	20	60	120	290

●筆記試験 出題科目一覧（令和2年度）

試験種目	区分	試験内容・出題科目など
教 養 試 験	一般事務B	知能分野:文章理解、判断推理、数的推理、資料解釈等 知識分野:社会科学、人文科学、自然科学等

●合格者の決定方法（令和2年度）

2次試験	第2次試験と第1次試験の論文試験の成績に基づき決定し、第1次試験のうち、教養試験とアピールシート試験の成績は反映されません。
最終合格者	第2次試験の成績及び第3次試験の成績に基づき決定します。

●試験実施状況（令和2年度）

区分	採用予定	申込者	1次受験者	1次合格者	2次受験者	2次合格者	3次受験者	最終合格者	最終比率
一般事務B	21	114	88	64	62	48	48	23	3.8

●受験資格（令和2年度）

共 通	平成3年4月2日から平成11年4月1日までに生まれた者
-----	-----------------------------

●試験日程（令和2年度）

受験申込受付(WEB)	5月15日(金)～5月29日(金)
1次試験日	6月28日(日)
1次試験合格発表日	7月9日(木)
2次試験日	7月25日(土)～8月4日(火)
最終合格発表日	8月下旬

●試験概要（令和2年度）

試験種目		区分	解答時間	試験内容
1次試験	教養試験	行政、警察行政、土木、建築、農業、農業土木、林業、畜産、水産、機械、電気、化学	150分	択一式(50問) 公務員として必要な一般的な知識及び智謀についての教養試験
	専門試験	行政、警察行政、土木、建築、農業、農業土木、林業、畜産、水産、機械、電気、化学	120分	択一式(40問) 職務に必要な専門的な知識及び技術に関する専門試験
2次試験	論文試験	行政、警察行政、土木、建築、農業、農業土木、林業、畜産、水産、機械、電気、化学	90分	思考力、表現力及び構成力等の総合的能力について全職種共通の課題による筆記試験を行います。
	口述試験等	行政、警察行政、土木、建築、農業、農業土木、林業、畜産、水産、機械、電気、化学	—	人物について総合的に評定するため、個別面接、集団討論及び適性検査を行います。

●配点比率（令和2年度）

行政、警察行政、土木、建築、農業、農業土木、林業、畜産、水産、機械、電気、化学			
教養試験	専門試験	論文試験	口述試験等
40	60	60	140

●筆記試験 出題科目一覧 (令和2年度)

試験種目	区分	試験内容・出題科目など
教 養 試 験	行政、警察行政、土木、 建築、農業、農業土木、 林業、畜産、水産、機 械、電気、化学	社会科学、人文科学、自然科学、文章理解、判断推理、数的推理、資料解釈
	行政、警察行政	政治学、行政学、憲法、行政法、民法、刑法、労働法、経済学、財政学、社会政策、国際関係
専 門 試 験	土木	数学・物理、応用力学、水理学、土質工学、測量、都市計画、土木計画、材料・施工
	建築	数学・物理、構造力学、材料学、環境原論、建築史、建築構造、建築計画、都市計画、建築設備、建築施工
	農業	栽培学汎論、作物学、園芸学、育種遺伝学、植物病理学、昆虫学、土壌肥科学、植物生理学、畜産一般、農業経済一般
	農業土木	数学、応用力学、水理学、測量、土壌物理、農業水利・土地改良・農村環境整備、農業土木構造物、材料・施工、農業機械、農学一般
	林業	森林政策・森林経営学、造林学(森林生態学、森林保護学を含む。)、林業工学、林産一般、砂防工学
	畜産	家畜育種学、家畜繁殖学、家畜生理学、家畜飼養学、家畜栄養学、飼科学、家畜管理学、畜産物利用学、畜産経営一般
	水産	水産事情・水産経済・水産法規、水産環境科学、水産生物学、水産資源学、漁業学、増養殖学、水産化学、水産利用学
	機械	数学・物理、材料力学、流体力学、熱力学、電気工学、機械力学・制御、機械設計、機械材料、機械工作
	化学	数学・物理、物理化学、分析化学、無機化学・無機工業化学、有機化学・有機工業化学、化学工学

●合格者の決定方法 (令和2年度)

行政、警察行政	
1 次 試 験	教養試験及び専門試験の各得点を合計した得点の高い順に決定します。
最 終 合 格 者	第1次試験の得点にかかわらず、第2次試験の得点順に決定します。
土木、建築、農業、農業土木、林業、畜産、水産、機械、化学	
1 次 試 験	教養試験及び専門試験の各得点を合計した得点の高い順に決定します。
最 終 合 格 者	第1次試験の専門試験の得点と第2次試験の各得点を合計した得点の高い順に決定します。

●試験実施状況 (令和2年度)

区分	採用予定	申込者	1次受験者	1次合格者	2次受験者	最終合格者	最終倍率
行 政	40	331	260	127	121	86	3.0
警 察 行 政	3	19	13	10	9	4	3.3
社会福祉(一般)	2	14	14	10	9	5	2.8
社会福祉(心理)	2	7	5	4	4	3	1.7
土 木	3	23	11	8	8	8	1.4
建 築	2	5	4	4	3	3	1.3
農 業	5	14	13	12	12	10	1.3
農 業 土 木	2	2	1	1	1	1	1.0
林 業	3	1	1	1	1	1	1.0
畜 産	1	1	1	1	1	1	1.0
水 産	1	5	5	3	3	2	2.5
機 械	1	7	4	3	2	1	4.0
化 学	1	15	11	5	5	3	3.7
衛 生 薬 学	1	2	2	2	2	2	1.0
衛 生 監 視	1	12	7	5	4	4	1.8
保 健 師	3	15	14	14	14	13	1.1

●受験資格（令和2年度）

総合土木以外	昭和59年4月2日から平成11年4月1日までに生まれた者
総合土木	平成2年4月2日から平成11年4月1日までに生まれた者

●試験日程（令和2年度）

受験申込受付(WEB)	5月15日(金)～6月2日(火)
1次試験日	6月28日(日)
1次試験合格発表日	7月上旬
2次試験日	論文試験・適性検査 7月16日(木) 口述試験 7月19日(日)～8月5日(木)
最終合格発表日	8月中旬

●試験概要（令和2年度）

試験種目		区分	解答時間	試験内容
1次試験	教養試験	行政事務、学校事務、警察事務、電気 A、電気 B、機械、建築 A、建築 B、総合土木、農業、農業(畜産)、林業、水産、化学	150分	択一式(50問) 公務員として必要な一般的知識、知能について、大学卒業程度の筆記試験を行います。
		専門試験	135分	択一式(95問中45問) 各試験区分に応じて、それぞれの専門的知識及び能力について、大学卒業程度の筆記試験を行います。
		総合土木	120分	択一式(50問中40問) 各試験区分に応じて、それぞれの専門的知識及び能力について、大学卒業程度の筆記試験を行います。
		学校事務、警察事務、電気 A、電気 B、機械、建築 A、建築 B、農業、農業(畜産)、林業、水産、化学	120分	択一式(40問) 各試験区分に応じて、それぞれの専門的知識及び能力について、大学卒業程度の筆記試験を行います。
2次試験	論文試験	行政事務、学校事務、警察事務、電気 A、電気 B、機械、建築 A、建築 B、総合土木、農業、農業(畜産)、林業、水産、化学	90分	(1問 約1,000字) 公務員として必要な課題について、課題に対する理解力、論理性、文章による表現力等を有するかどうかをみるための論文試験を行います。
	口述試験	行政事務、学校事務、警察事務、電気 A、電気 B、機械、建築 A、建築 B、総合土木、農業、農業(畜産)、林業、水産、化学	—	主として人柄、能力、性格等をみるため、プレゼンテーション及び個別面接2回を行います。 ※学校事務・警察事務・建築 B は、プレゼンテーション及び個別面接1回とし、個別面接の冒頭にプレゼンテーションを行います。 【プレゼンテーション】第1次試験合格通知に記載された課題について、個別に自分の考えを1分以上2分以内で述べてもらいます。
	適性検査	行政事務、学校事務、警察事務、電気 A、電気 B、機械、建築 A、建築 B、総合土木、農業、農業(畜産)、林業、水産、化学	—	公務員として職務遂行上必要な素質及び適性について、書面による検査を行います

●配点比率（令和2年度）

行政事務、学校事務、警察事務、電気 A、電気 B、機械、建築 A、建築 B、総合土木、農業、農業(畜産)、林業、水産、化学				
一次試験		二次試験		合計
教養試験	専門試験	論文試験	口述試験	
40	60	40	160	300

●筆記試験 出題科目一覧 (令和2年度)

試験種目	区分	試験内容・出題科目など		
教養試験	行政事務、学校事務、警察事務、電気A、電気B、機械、建築A、建築B、総合土木、農業、農業(畜産)、林業、水産、化学	知識(社会、人文、自然、現代の社会に関する問題等)及び知能(文章理解、判断推理、数的推理、資料解釈等)		
専門試験	行政事務	必須問題	【40問】政治学、行政学、憲法、行政法、民法、刑法、労働法、経済学、財政学、社会政策、国際関係、経営学等	
		選択問題※	社会科学Ⅰ	【15問】行政法、民法、経済政策、経済事情、統計学、経済史、国際関係、経営学等
			社会科学Ⅱ	【15問】社会福祉概論(社会保障を含む。)、一般心理学(心理学史、発達心理学、社会心理学を含む。)、応用心理学(教育心理学・産業心理学・臨床心理学)、教育学等
			自然科学Ⅰ	【15問】建築構造、建築計画、都市計画、建築設備、建築施工、応用力学、水理学、土質工学、測量、土木計画、無機化学・無機工業化学、有機化学・有機工業化学、食品科学等
			自然科学Ⅱ	【10問】栽培学汎論、育種遺伝学、植物病理学、畜産一般、農業経済一般、森林政策・森林経営学、造林学(森林生態学、森林保護学を含む。)、林業工学、林産一般、砂防工学等
	学校事務、警察事務	政治学、行政学、憲法、行政法、民法、刑法、労働法、経済学、財政学、社会政策、国際関係、経営学等		
	電気A、電気B	数学・物理、電磁気学・電気回路、電気計測・制御、電気機器・電力工学、電子工学、情報・通信工学等		
	機械	数学・物理、材料力学、流体力学、熱力学、電気工学、機械力学・制御、機械設計、樹林材料、機械工作等		
	建築A、建築B	数学・物理、構造力学、材料学、環境原論、建築史、建築構造、建築計画、都市計画、建築設備、建築施工等		
	総合土木	数学・物理、応用力学、水理学、土質工学、測量、都市計画、土木計画、材料・施工、土壌物理、農業水利・土地改良・農村環境整備、農業土木構造物、農業機械、農学一般等		
	農業	栽培学汎論、作物学、園芸学、育種遺伝学、植物病理学、昆虫学、土壌肥科学、植物生理学、畜産一般、農業経済一般等		
農業(畜産)	家畜育種学、家畜繁殖学、家畜生理学、家畜飼養学、家畜栄養学、飼科学、家畜管理学、畜産物利用学、畜産経営一般等			
林業	森林政策・森林経営学、造林学(森林生態学、森林保護学を含む。)、林業工学、林産一般、砂防工学等			
水産	水産事情・水産経済・水産法規、水産環境科学、水産生物学、水産資源学、漁業学、増養殖学、水産化学、水産利用学等			
化学	数学・物理、物理化学、分析化学、無機化学・無機工業化学、有機化学・有機工業化学、化学工学、生物化学、化学土壌学・植物栄養学、食品科学、応用微生物学等			

※専門試験「行政事務」の選択問題は、全分野合わせて55問のうちから5問を選択解答。

●合格者の決定方法 (令和2年度)

最終合格者	第1次試験の得点と第2次試験の得点を合計した総合得点の高い順に決定します。
-------	---------------------------------------

●試験実施状況 (令和2年度)

区分	採用予定	申込者	1次受験者	1次合格者	2次受験者	最終合格者	最終倍率
行政事務	55	502	403	110	104	70	5.8
学校事務	7	94	82	24	23	12	6.8
警察事務	4	67	57	12	11	8	7.1
電気A	3	15	12	6	6	4	3.0
電気B	1	6	5	4	4	3	1.7
機械	2	7	4	3	3	3	1.3
建築A	7	11	9	8	8	7	1.3
総合土木	18	30	25	17	15	14	1.8
農業	20	50	44	32	30	21	2.1
農業(畜産)	2	1	1	1	1	1	1.0
林業	10	18	13	7	7	5	2.6
水産	3	12	10	7	6	3	3.3
化学	2	11	9	6	5	1	9.0
建築B	1	1	1	1	1	1	1.0

一般行政事務 A、学校事務、警察行政事務、電気 A、電気B、電子、機械 A、機械B、化学、森林科学、農業、畜産、農業土木、水産、建築、土木、警察化学(化学)

●受験資格 (令和2年度)

共 通	平成3年4月2日から平成11年4月1日までに生まれた者
-----	-----------------------------

●試験日程 (令和2年度)

受験申込受付(WEB)	5月21日(木)～6月5日(金)
1次試験日	6月28日(日)
1次試験合格発表日	7月10日(金)
2次試験日	集団討論、適性検査 7月中旬 個別面接 8月上旬～8月中旬
最終合格発表日	8月中旬～8月下旬

●試験概要 (令和2年度)

試験種目		区分	解答時間	試験内容
1次試験	教養試験	一般行政事務A、学校事務、警察行政事務、電気A、電気B、電子、機械A、機械B、化学、森林科学、農業、畜産、農業土木、水産、建築、土木、警察化学(化学)	150分	択一式(50問) 公務員として必要な一般的知識及び知能について行います。
	専門試験	一般行政事務A、学校事務、警察行政事務、電気A、電気B、電子、機械A、機械B、化学、森林科学、農業、畜産、農業土木、水産、建築、土木、警察化学(化学)	120分	択一式(40問) 各試験区分に応じて必要な専門的知識、技術等の能力について行います。
	論文試験	一般行政事務A、学校事務、警察行政事務、電気A、電気B、電子、機械A、機械B、化学、森林科学、農業、畜産、農業土木、水産、建築、土木、警察化学(化学)	90分	文章による表現力、構成力、論理性等について行います。 ※評価は2次試験
2次試験	適性検査	一般行政事務A、学校事務、警察行政事務、電気A、電気B、電子、機械A、機械B、化学、森林科学、農業、畜産、農業土木、水産、建築、土木	—	職務遂行に必要な素質・適性について検査します。
	集団討論 個別面接	一般行政事務A、学校事務、警察行政事務、電気A、電気B、電子、機械A、機械B、化学、森林科学、農業、畜産、農業土木、水産、建築、土木、警察化学(化学)	—	積極性、使命感、社会性、創造力、表現力等人物について、集団討論及び個別面接を行います。

●配点比率（令和2年度）

一般行政事務A、学校事務、警察行政事務、電気A、電気B、電子、機械A、機械B、化学、森林科学、農業、畜産、農業土木、水産、建築、土木			
教養試験	専門試験	集団討論	個別面接
400	400	配点非公開	

●筆記試験 出題科目一覧（令和2年度）

試験種目	区分	試験内容・出題科目など
教 養 試 験	一般行政事務 A、学校事務、警察行政事務、電気A、電気B、電子、機械 A、機械 B、化学、森林科学、農業、畜産、農業土木、水産、建築、土木、警察科学(化学)	一般知識分野:社会科学、人文科学、自然科学 一般知能分野:文章理解、判断推理、数的推理、資料解釈
	専 門 試 験	政治学、行政学、憲法、行政法、民法、刑法、労働法、経済学、財政学、経営学、社会政策、国際関係
	電気A、電気B、電子	数学・物理、電磁気学・電気回路、電気計測・制御、電気機器・電力工学、電子工学、情報・通信工学
	機械A、機械B	数学・物理、材料力学、流体力学、熱力学、電気工学、機械力学・制御、機械設計、機械材料、機械工作
	化学	数学・物理、物理化学、分析化学、無機化学・無機工業化学、有機化学・有機工業化学、化学工学
	森林科学	森林政策・森林経営学、造林学(森林生態学、森林保護学を含む。)、林業工学、林産一般、硝子工学
	農業	栽培学汎論、作物学、園芸学、育種遺伝学、植物病理学、昆虫学、土壌肥科学、植物生理学、畜産一般、農業経済一般、食品科学
	畜産	家畜育種学、家畜繁殖学、家畜生理学、家畜飼養学、家畜栄養学、飼科学、家畜管理学、畜産物利用学、畜産経営一般
	農業土木	数学、応用力学、水理学、測量、土壌物理、農業水利・土地改良、農村環境整備、農業土木構造物、材料・施工、農業機械、農学一般
	水産	水産事情・水産経済・水産法規、水産環境科学、水産生物学、水産資源学、漁業学、増養殖学、水産化学、水産利用学
	建築	数学・物理、構造力学、材料学、環境原論、建築史、建築構造、建築計画、都市計画、建築設備、建築施工
	土木	数学・物理、応用力学、水理学、土質工学、測量、都市計画、土木計画、材料・施工

●合格者の決定方法（令和2年度）

1 次 試 験	教養試験及び専門試験の得点の合計(800点満点)で合格者を決定します。
最 終 合 格 者	第2次試験の試験成績に基づいて決定します。

●試験実施状況（令和2年度）

区分	採用予定	申込者	1次受験者	1次合格者	2次受験者	最終合格者	最終倍率
一般行政事務 A	60	343	281	102	101	73	3.8
学 校 事 務	8	36	30	14	13	8	3.8
警 察 行 政 事 務	9	38	31	20	20	11	2.8
電 気 A	1	6	3	3	2	1	3.0
電 気 B	1	1	1	1	1	1	1.0
電 子	1	4	2	2	2	1	2.0
機 械 A	1	3	3	2	2	1	3.0
機 械 B	2	3	3	3	3	2	1.5
化 学	1	10	7	3	3	1	7.0
森 林 科 学	3	4	2	2	2	2	1.0
農 業	8	25	20	16	16	8	2.5
畜 産	1	2	2	2	2	1	2.0
農 業 土 木	4	5	5	5	5	4	1.3
水 産	1	6	5	4	3	2	2.5
建 築	1	3	2	2	2	1	2.0
土 木	6	15	15	12	12	6	2.5
警 察 科 学 (化 学)	1	3	2	1	1	1	2.0

一般事務行政B

●受験資格（令和2年度）

共 通	平成3年4月2日から平成11年4月1日までに生まれた者
-----	-----------------------------

●試験日程（令和2年度）

受験申込受付(WEB)	5月21日(木)～6月5日(金)
1次試験日	6月28日(日)
1次試験合格発表日	7月10日(金)
2次試験日	集団討論、適性検査 7月中旬 個別面接 8月上旬～8月中旬
最終合格発表日	8月中旬～8月下旬

●試験概要（令和2年度）

試験種目		区分	解答時間	試験内容
1次試験	基礎能力検査	一般行政事務B	70分	SPI3
	自己アピール試験	一般行政事務B	90分	経験、意欲、文章による表現力、構成力、論理性等について評価します。
2次試験	適性検査	一般行政事務B	—	職務遂行に必要な素質・適性について検査します。
	集団討論 個別面接	一般行政事務B	—	積極性、使命感、社会性、創造力、表現力等人物について、集団討論及び個別面接を行います。

●配点比率（令和2年度）

一般行政事務B			
基礎能力検査	自己アピール試験	集団討論	個別面接
400	400	配点非公開	

●筆記試験 出題科目一覧（令和2年度）

試験種目	区分	試験内容・出題科目など
基礎能力検査	一般行政事務B	SPI3

●合格者の決定方法（令和2年度）

1次試験	教養試験及び専門試験の得点の合計(800点満点)で合格者を決定します。
最終合格者	第2次試験の試験成績に基づいて決定します。

●試験実施状況（令和2年度）

区分	採用予定	申込者	1次受験者	1次合格者	2次受験者	最終合格者	最終倍率
一般行政事務B	5	67	53	15	12	6	8.8

行政事務A、行政事務（情報）、学校事務、警察事務、警察事務(情報)、総合土木、建築、農業、畜産、林業、水産、電気・電子、化学、機械

●受験資格（令和2年度）

共	通	昭和61年4月2日から平成11年4月1日までに生まれた者
---	---	------------------------------

●試験日程（令和2年度）

受験申込受付（WEB）	5月18日（日）～6月5日（金）
1次試験日	6月28日（日）
1次試験合格発表日	7月上旬
2次試験日	7月中旬～8月上旬
最終合格発表日	8月中旬

●試験概要（令和2年度）

試験種目	区分	解答時間	試験内容
1次試験	教養試験	150分	択一式(50問) 大学卒業程度の一般的知識及び知能について、筆記試験を行います。
	専門試験	120分	択一式(40問) 各試験区分に応じて大学卒業程度の専門的知識及び技能について、筆記試験を行います。
2次試験	口述試験	—	人物について総合的に評定するため、個別面接及び集団討論を行います。
	作文試験	60分	(1問) 識見、思考力、表現力等について、作文試験を行います。
	適性検査	—	職務遂行に必要な適性について、検査を行います。

●配点比率（令和2年度）

行政事務A、行政事務（情報）、学校事務、警察事務、警察事務(情報)				
一次試験		二次試験		合計
教養試験	専門試験	口述試験	作文試験	
50	40	290	50	430

総合土木、建築、農業、畜産、林業、水産、電気・電子、化学、機械				
一次試験		二次試験		合計
専門試験		口述試験	作文試験	
90		290	50	430

●筆記試験 出題科目一覧（令和2年度）

試験種目	区分	試験内容・出題科目など
専門試験	行政事務A、学校事務、警察事務	政治学、行政学、憲法、行政法、民法、刑法、労働法、経済学、経営学、財政学、社会政策、国際関係
	行政事務(情報)、警察事務(情報)	政治学、行政学、憲法、行政法、民法、経済学、数学・物理、電子工学、情報・通信工学、情報処理論、コンピューターネットワーク
	総合土木	数学・物理、応用力学、水理学、土質工学、測量、都市計画、土木計画、農業水利・土地改良・農村環境整備、農業土木構造物、材料・施工
	建築	数学・物理、構造力学、材料学、環境原論、建築史、建築構造、建築計画、都市計画、建築設備、建築施工
	農業	栽培学汎論、作物学、園芸学、育種遺伝学、植物病理学、昆虫学、土壤肥科学、植物生理学、畜産一般、農業経済一般
	畜産	家畜育種学、家畜繁殖学、家畜生理学、家畜飼養学、家畜栄養学、飼料学、家畜管理学、畜産物利用学、畜産経営一般
	林業	森林政策・森林経営学、造林学(森林生態学、森林保護学を含む)、林業工学、林産一般、砂防工学
	水産	水産事情・水産経済・水産法規、水産環境科学、水産生物学、水産資源学、漁業学、増養殖学、水産化学、水産利用学
	電気・電子	数学・物理、電磁気学・電気回路、電気計測・制御、電気機器・電力工学、電子工学、情報・通信工学
	化学	数学・物理、物理化学、分析化学、無機化学・無機工業化学、有機化学・有機工業化学、化学工学
機械	数学・物理、材料力学、流体力学、熱力学、電気工学、機械力学・制御、機械設計、機械材料、機械工作	

●合格者の決定方法（令和2年度）

1次試験	各試験・種目の合計得点の高い順に決定します。
最終合格者	第1次試験の得点と第2次試験の得点を合計した総合得点の高い順に決定します。

●試験実施状況（令和2年度）

区分	採用予定	申込者	1次受験者	1次合格者	最終合格者	最終倍率
行政事務A	70	460	359	177	79	4.5
行政事務(情報)	3	9	7	4	3	2.3
学校事務	22	89	72	54	24	3.0
警察事務	8	78	60	24	12	5.0
警察事務(情報)	1	2	2	2	1	2.0
総合土木	25	30	19	18	14	1.4
建築	4	11	8	7	5	1.6
農業	16	46	41	39	16	2.6
畜産	1	2	2	2	1	2.0
林業	4	9	7	5	4	1.8
水産	3	20	15	10	3	5.0
電気・電子	1	6	5	4	1	5.0
化学	4	19	13	12	4	3.3
機械	1	6	5	4	1	5.0

行政事務B

●受験資格（令和2年度）

共 通	平成5年4月2日から平成11年4月1日までに生まれた者
-----	-----------------------------

●試験日程（令和2年度）

受験申込受付(WEB)	3月10日(火)～3月24日(金)
1 次 試 験 日	基礎能力検査受験期間 4月2日(木)～4月12日(日) 自己アピール試験登録(提出)期間 受験申し込みと同時に提出
1次試験合格発表日	5月中旬
2 次 試 験 日	5月下旬～6月上旬
最終合格発表日	6月中旬

●試験概要（令和2年度）

試験種目		区分	解答時間	試験内容
一次試験	基礎能力検査(SPI3)	行政事務B	110分	多肢選択式 多様な業務に共通して求められる汎用的な知的能力についての筆記試験を行います。
	自己アピール試験	行政事務B	60分	自らの経験や意欲等について、受付期間内に登録(提出)された自己アピール内容により審査します
2次試験	口述試験	行政事務B	—	人物について総合的に評定するため、個別面接及び集団討論、集団面接を行います。
	作文試験	行政事務B	60分	(1問) 識見、思考力、表現力等について、作文試験を行います。
	適性検査	行政事務B	—	職務遂行に必要な適性について、検査を行います。

●配点比率（令和2年度）

行政事務B				
一次試験		二次試験		合計
基礎能力検査	自己アピール試験	口述試験	作文試験	
40	30	310	50	430

●筆記試験 出題科目一覧（令和2年度）

試験種目	区分	試験内容・出題科目など
基礎能力検査	行政事務B	SPI3

●合格者の決定方法（令和2年度）

1 次 試 験	各試験・検査種目の合計得点の高い順に決定します。
最 終 合 格 者	第1次試験の得点と第2次試験の得点を合計した総合得点の高い順に決定します。

●試験実施状況（令和2年度）

区分	採用予定	申込者	1次受験者	1次合格者	最終合格者	最終倍率
行政事務B	15	394	315	44	16	19.7

●受験資格（令和2年度）

共 通	平成3年4月2日から平成11年4月1日までに生まれた者
-----	-----------------------------

●試験日程（令和2年度）

受験申込受付(WEB)	4月10日(金)～5月22日(金)
1次試験日	6月28日(日)
1次試験合格発表日	7月上旬
2次試験日	論文試験・適性検査 7月19日(日) 口述試験 7月30日(木)～8月9日(日)
最終合格発表日	8月中旬

●試験概要（令和2年度）

試験種目		区分	解答時間	試験内容
1次試験	教養試験	行政、警察事務、教育事務、土木、建築、農業、林業、水産、化学、農芸化学、電気	150分	五肢択一式(55問中45問解答) 公務員として必要な大学卒業程度の一般的知識及び知能に関する五肢択一式による筆記試験
	専門試験	行政、警察事務、教育事務、土木、建築、農業、林業、水産、化学、農芸化学、電気	120分	五肢択一式(40問) 職務に必要な専門的知識、技術等に関する五肢択一式による筆記試験
2次試験	論文試験	行政、警察事務、教育事務、土木、建築、農業、林業、水産、化学、農芸化学、電気	—	職務遂行に必要な識見、判断力、思考力等に関する筆記試験
	口述試験	行政、警察事務、教育事務、土木、建築、農業、林業、水産、化学、農芸化学、電気	—	人物、人柄等に関する集団討論及び個別面接による試験(個別面接は2回行います。)
	適性検査	行政、警察事務、教育事務、土木、建築、農業、林業、水産、化学、農芸化学、電気	—	職務遂行に必要な適格性に関する検査

●配点比率（令和2年度）

行政、警察事務、教育事務				
一次試験		二次試験		合計
教養試験	専門試験	論文試験	口述試験	
50	50	50	150	300

土木、建築、農業、林業、水産、化学、農芸化学、電気				
一次試験		二次試験		合計
教養試験	専門試験	論文試験	口述試験	
40	60	50	150	300

●筆記試験 出題科目一覧（令和2年度）

試験種目	区分	試験内容・出題科目など
教 養 試 験	行政、警察事務、教育事務、土木、建築、農業、林業、水産、化学農芸化学、電気	社会、人文、自然、文章理解、判断推理、数的推理、資料解釈、現代の社会に関する問題
	専 門 試 験	政治学、行政学、憲法、行政法、民法、刑法、労働法、経済学、財政学、社会政策、国際関係、経営学
	土木	数学・物理、応用力学、水理学、土質工学、測量、都市計画、土木計画、材料・施工
	建築	数学・物理、構造力学、材料学、環境原論、建築史、建築構造、建築計画、都市計画、建築設備、建築施工
	農業	栽培学汎論、作物学、園芸学、育種遺伝学、植物病理学、昆虫学、土壌肥科学、植物生理学、畜産一般、農業経済一般
	林業	森林政策・森林経営学、造林学(森林生態学、森林保護学を含む)、林業工学、林産一般、砂防工学
	水産	水産事情・水産経済・水産法規、水産環境科学、水産生物学、水産資源学、漁業学、増養殖学、水産化学、水産利用学
	化学	数学・物理、物理化学、分析化学、無機化学・無機工業化学、有機化学・有機工業化学、化学工学
	農芸化学	一般化学、分析化学、有機化学、生物有機化学、生物化学、土壌学・植物栄養学、食品科学、応用微生物学
	電気	数学・物理、電磁気学・電気回路、電気計測・制御、電気機器・電力工学、電子工学、情報・通信工学

●合格者の決定方法（令和2年度）

最 終 合 格 者	第1次試験と第2次試験の総合得点(300点満点)に基づいて決定します。
-----------	-------------------------------------

●試験実施状況（令和2年度）

区分	採用予定	申込者		1次受験者		1次合格者	2次受験者	最終合格者	最終倍率
		第1志望	第2志望	第1志望	第2志望				
行 政	50	247	31	187	21	100	96	50	-
警 察 事 務	3	12	57	11	42	9	8	4	-
教 育 事 務	9	24	139	20	113	27	25	9	-
土 木	15		16		11	7	6	4	2.8
建 築	2		3		3	2	2	1	3.0
農 業	13		27		21	18	18	12	1.8
林 業	9		5		5	3	3	3	1.7
水 産	3		11		7	6	5	3	2.3
化 学	2		7		6	5	5	3	3.0
農 芸 化 学	2		3		3	3	3	2	1.5
電 気	2		5		4	3	2	2	2.0

●受験資格（令和2年度）

共 通	平成3年4月2日から平成11年4月1日までに生まれた者
-----	-----------------------------

●試験日程（令和2年度）

受験申込受付(WEB)	5月11日(月)～5月19日(火)
1次試験日	6月28日(日)
1次試験合格発表日	7月上旬
2次試験日	7月中旬～7月下旬
最終合格発表日	8月中旬

●試験概要（令和2年度）

試験種目		区分	解答時間	試験内容
1次試験	教養試験	行政、教育行政、警察行政、土木、建築、機械、電気、化学、農業、農業土木、林業、畜産、水産	150分	五肢択一式(50問) 公務員として必要な一般的な知識及び知能についての択一式による筆記試験
	専門試験	行政、教育行政、警察行政、土木、建築、機械、電気、化学、農業、農業土木、林業、畜産、水産	120分	五肢択一式(40問) 各試験区分に必要な専門的知識等の能力についての択一式による筆記試験
2次試験	論文試験	行政、教育行政、警察行政、土木、建築、機械、電気、化学、農業、農業土木、林業、畜産、水産	—	専門的知識、文章による表現力、文章構成力等の能力についての筆記試験
	人物試験	行政、教育行政、警察行政、土木、建築、機械、電気、化学、農業、農業土木、林業、畜産、水産	—	人柄等についての個別面接、集団討論及び適性検査による試験

●配点比率（令和2年度）

行政、教育行政、警察行政				
一次試験		二次試験		合計
教養試験	専門試験	論文試験	人物試験	
50	50	20	100	220

土木、建築、機械、電気、化学、農業、農業土木、林業、畜産、水産				
一次試験		二次試験		合計
教養試験	専門試験	論文試験	人物試験	
40	60	20	100	220

●筆記試験 出題科目一覧（令和2年度）

試験種目	区分	試験内容・出題科目など
専門試験	行政、教育行政、警察行政	政治学、行政学、憲法、行政法、民法、刑法、労働法、経済学、財政学、経営学、社会政策、国際関係
	土木	数学、物理、応用力学、水理学、土質工学、測量、都市計画、土木計画、材料・施工
	建築	数学、物理、構造力学、材料学、環境原論、建築史、建築構造、建築計画、都市計画、建築設備、建築施工
	機械	数学、物理、材料力学、流体力学、熱力学、電気工学、機械力学・制御、機械設計、機械材料、機械工作
	電気	数学、物理、電磁気学、電気回路、電気計測、制御、電気機器、電力工学、電子工学、情報・通信工学
	化学	数学、物理、物理化学、分析化学、無機化学、無機工業化学、有機化学、有機工業化学、化学工学
	農業	栽培学汎論、作物学、園芸学、育種遺伝学、植物病理学、昆虫学、土壤肥科学、植物生理学、畜産一般、農業経済一般
	農業土木	数学、応用力学、水理学、測量、土壤物理、農業水利、土地改良、農村環境整備、農業土木構造物、材料・施工、農業機械、農学一般
	林業	森林政策、森林経営学、造林学(森林生態学、森林保護学を含む。)、林業工学、林産一般、砂防工学
	畜産	家畜育種学、家畜繁殖学、家畜生理学、家畜飼養学、家畜栄養学、飼料学、家畜管理学、畜産物利用学、畜産経営一般
水産	水産事情、水産経済、水産法規、水産環境科学、水産生物学、水産資源学、漁業学、増養殖学、水産化学、水産利用学	

●合格者の決定方法（令和2年度）

最終合格者	第2次試験の結果に基づき決定し、第1次試験の結果は反映されません。
-------	-----------------------------------

●試験実施状況（令和2年度）

区分	採用予定	申込者	1次受験者	1次合格者	2次受験者	最終合格者	最終倍率
行政	45	826	520	90	84	55	9.5
教育行政	19	195	155	49	48	22	7.0
警察行政	8	108	77	24	24	9	8.6
土木	4	45	17	12	12	6	2.8
建築	8	26	12	9	8	8	1.5
機械	3	25	10	9	7	3	3.3
電気	2	19	11	7	5	3	3.7
化学	2	43	24	7	7	2	12.0
農業	18	68	49	45	44	19	2.6
農業土木	3	10	6	4	2	2	3.0
林業	7	22	15	11	11	8	1.9
畜産	2	8	5	5	4	3	1.7
水産	3	24	16	9	8	3	5.3

行政、教育行政、警察事務、電気、総合土木、建築、化学、農政、林業、水産

●受験資格（令和2年度）

共	通	平成3年4月2日から平成11年4月1日までに生まれた者
---	---	-----------------------------

●試験日程（令和2年度）

受験申込受付(WEB)	5月11日(月)～5月29日(金)
1次試験日	6月28日(日)
1次試験合格発表日	7月8日(水)
2次試験日	7月15日(水)～7月24日(金)
最終合格発表日	8月上旬

●試験概要（令和2年度）

試験種目	区分	解答時間	試験内容
1次試験	教養試験	150分	五肢択一式(50問) 筆記試験
	専門試験	120分	五肢択一式(40問) 筆記試験
	語学資格保有者への加点	—	英語、中国語、韓国語、フランス語について、相当高い程度の語学資格を保有すると認められる人を対象に加点
2次試験	論文試験	90分	思考力、論理性及び文章による表現力等を総合的に評価する筆記試験(一般的課題を出題)
	面接試験	50分程度	職員として適する人物かどうかを評価する個別面接(2回の面接を同日中に実施) ※1人当たり25分程度の面接を2回

●配点比率（令和2年度）

行政、教育行政、警察事務、電気、総合土木、建築、化学、農政、林業、水産						合計
一次試験			二次試験			
教養試験	専門試験	語学資格保有者への加点	論文試験	面接試験Ⅰ	面接試験Ⅱ	
80	120	20	100	200	100	620

●筆記試験 出題科目一覧（令和2年度）

試験種目	区分	試験内容・出題科目など
教 養 試 験	行政、教育行政、警察事務、電気、総合土木、建築、化学、農政、林業、水産	社会科学(法律、政治、経済、社会一般、人権等)、人文科学(日本史、世界史、地理、思想・哲学、文学・芸術等)、自然科学(数学、物理、化学、生物、地学等)、文章理解、判断推理、数的推理、資料解釈、現代の社会に関する問題等
	行政、教育行政、警察事務	政治学、行政学、憲法、行政法、民法、刑法、労働法、経済学、財政学、社会政策、国際関係、経営学、教育学 等
専 門 試 験	電気	数学・物理、電磁気学・電気回路、電気計測・制御、電気機器・電力工学、電子工学、情報・通信工学等
	総合土木	数学・物理、応用力学、水理学、土質工学、測量、都市計画、土木計画、材料・施工、土壌物理、農業水利、土地改良、農村環境整備、農業土木構築物、農業機械、農学一般 等
	建築	数学・物理、構造力学、材料学、環境原論、建築史、建築構造、建築計画、都市計画、建築設備、建築施工 等
	化学	数学・物理、物理化学、分析化学、無機化学・無機工業化学、有機化学・有機工業化学、化学工学 等
	農政	栽培学汎論、作物学、園芸学、育種遺伝学、植物病理学、昆虫学、土壤肥科学、植物生理学、畜産一般、農業経済一般 等
	林業	森林政策・森林経営学、造林学(森林生態学、森林保護学を含む)、林業工学、林産一般、砂防工学 等
	水産	水産事情・水産経済・水産法規、水産環境科学、水産生物学、水産資源学、漁業学、増養殖学、水産化学、水産利用学 等

●合格者の決定方法（令和2年度）

1次試験合格者	教養試験及び専門試験のそれぞれの得点を合計した得点(200点満点)の高点順に決定します。
最終合格者	第1次試験、第2次試験(論文試験及び面接試験)の得点を合計した総合得点の高点順に決定します。

●試験実施状況（令和2年度）

区分	採用予定	申込者	1次受験者	1次合格者	2次受験者	最終合格者	最終倍率
行 政	23	217	187	46	46	23	8.1
教 育 行 政	15	57	49	30	30	15	3.3
警 察 事 務	5	32	30	14	14	7	4.3
電 気	2	3	3	3	2	2	1.5
総 合 土 木	10	31	27	20	20	10	2.7
建 築	5	9	8	6	6	5	1.6
化 学	1	14	8	3	3	1	8.0
農 政	10	32	30	20	20	11	2.7
林 業	3	7	5	3	2	2	2.5
水 産	1	7	4	3	3	1	4.0

行政特別枠、教育行政特別枠

●受験資格（令和2年度）

共 通	平成7年4月2日から平成11年4月1日までに生まれた者
-----	-----------------------------

●試験日程（令和2年度）

受験申込受付(WEB)	3月2日(月)～3月19日(木)
1次試験日	4月12日(日)
1次試験合格発表日	4月24日(金)
2次試験日	佐賀市 5月11日(月)～5月15日(金) 東京都 5月15日(金)～5月17日(日)
2次試験合格発表日	5月下旬
3次試験日	6月1日(月)～6月7日(日)
最終合格発表日	6月中旬

●試験概要（令和2年度）

試験種目	区分	解答時間	試験内容	
1次試験	教養試験	60分	五肢択一式(120問) 筆記試験	
	書類選考	—	受験申込時に提出するアピールシートによる審査	
	語学加点	—	英語、中国語、韓国語、フランス語について、相当高い程度の語学資格を保有すると認められる場合に加点	
	論文試験	90分	思考力、論理性及び文章による表現力等を総合的に評価する筆記試験(一般的課題を出題) ※2次試験で採点	
2次試験	面接試験 I	行政特別枠、教育行政特別枠	25～30分	職員として適する人物かどうかを評価する個別面接(1回)
3次試験	面接試験 II	行政特別枠、教育行政特別枠	25～30分	職員として適する人物かどうかを評価する個別面接(1回)

●配点比率（令和2年度）

行政特別枠、教育行政特別枠					合計
一次試験		二次試験		三次試験	
教養試験	語学加点	論文試験	面接試験 I	面接試験 II	
120	12	100	200	300	462

●筆記試験 出題科目一覧（令和2年度）

試験種目	区分	試験内容・出題科目など
教 養 試 験	行政特別枠、教育行政特別枠	文章読解能力、数的能力、推理判断能力、人文・社会、自然に関する一般知識、基礎英語

●合格者の決定方法（令和2年度）

1次試験	教養試験の得点(120点満点)と語学加点(12点満点)の高点順に決定します。
2次試験	論文試験及び面接試験 I の合計得点(300点満点)の高点順に決定します。
最終合格者	第3次試験の得点(300点満点)の高点順に決定します。

●試験実施状況（令和2年度）

区分	採用予定	申込者	1次受験者	1次合格者	2次受験者	最終合格者	最終倍率
行政特別枠	44	490	437	180	156	44	9.9
教育行政特別枠	15	83	75	60	55	15	5.0

●受験資格（令和2年度）

共 通	平成3年4月2日から平成11年4月1日までに生まれた者
-----	-----------------------------

●試験日程（令和2年度）

受験申込受付(WEB)	5月11日(月)～5月29日(金)
1 次 試 験 日	6月28日(日)
1次試験合格発表日	7月6日(月)
2 次 試 験 日	7月中旬～8月上旬
最終合格発表日	8月下旬

●試験概要（令和2年度）

試験種目		区分	解答時間	試験内容
1次試験	教養試験	行政、教育事務、警察事務、水産、農業、畜産、林業、農業土木、土木、建築、社会福祉	150分	五枝択一式(50問) 公務員として必要な一般的な知識及び知能についての大学卒業程度の五枝択一式による筆記試験
	専門試験	行政、教育事務、警察事務、水産、農業、畜産、林業、農業土木、土木、建築、社会福祉	120分	五枝択一式(40問) 専門的知識及び能力についての五枝択一式による筆記試験
	基礎能力試験	行政(特別枠)	60分	択一式(120問) 一般的な知識及び知能についての筆記試験
	事務能力試験	行政(特別枠)	50分	職務遂行に必要な事務能力についての筆記試験
	プレゼンテーションシート作成	行政(特別枠)	60分	県政への熱意など、自己アピールのためのシートを第1次試験当日に試験会場で作成していただきます。なお、試験時間中に資料を見ることはできません。 ※プレゼンテーションシートは、第2次試験(人物試験)で使用しません。
2次試験	人物試験	行政、教育事務、警察事務、水産、農業、畜産、林業、農業土木、土木、建築、社会福祉	—	グループワーク及び人柄等についての個別面接による試験
		行政(特別枠)	—	グループワーク及び人柄等についての個別面接による試験 冒頭5分程度第1次試験で記載したシートの内容について、プレゼンテーションを行っていただきます。
	適性検査	行政、行政(特別枠)、教育事務、警察事務、水産、農業、畜産、林業、農業土木、土木、建築、社会福祉	—	職務遂行に必要な適性についての検査
	論文試験	行政、行政(特別枠)、教育事務、警察事務	90分	職務遂行に必要な思考力、判断力、構成力等についての論文試験(1,200字)
	専門論述試験	水産、農業、畜産、林業、農業土木、土木、建築、社会福祉	90分	職務遂行に必要な専門的知識等についての論述試験(3問)

●配点比率（令和2年度）

行政、行政(特別枠)、教育事務、警察事務	
人物試験 600	論文試験 180

水産、農業、畜産、林業、農業土木、土木、建築、社会福祉	
人物試験 600	専門論述試験 180

●筆記試験 出題科目一覧（令和2年度）

試験種目	区分	試験内容・出題科目など
教 養 試 験	行政、教育事務、警察事務、水産、農業、畜産、林業、農業土木、土木、建築、社会福祉	一般知識:社会、人文、自然 一般知能:文章理解(英文を含む)、判断推理、数的推理、資料解釈
基 礎 能 力 試 験	行政(特別枠)	文章読解力、数的能力、推理判断能力、人文・社会、自然に関する一般知識、基礎英語
専 門 試 験	行政、教育事務、警察事務	政治学、行政学、憲法、行政法、民法、刑法、労働法、経済学、財政学、社会政策、国際関係、経営学
専 門 択 一 試 験	水産	水産事情・水産経済・水産法規、水産環境科学、水産生物学、水産資源学、漁業学、増養殖学、水産化学、水産利用学
専 門 論 述 試 験	農業	栽培学汎論、作物学、園芸学、育種遺伝学、植物病理学、昆虫学、土壤肥科学、植物生理学、畜産一般、農業経済一般
	畜産	家畜育種学、家畜繁殖学、家畜生理学、家畜飼養学、家畜栄養学、飼料学、家畜管理学、畜産物利用学、畜産経営一般
	林業	森林政策・森林経営学、造林学(森林生態学、森林保護学を含む)、林業工学、林産一般、砂防工学
	農業土木	数学、応用力学、水理学、測量、土壌物理、農業水利・土地改良・農村環境整備、農業土木構造物、材料・施工、農業機械、農学一般
	土木	数学・物理、応用力学、水理学、土質工学、測量、都市計画、土木計画、材料・施工
	建築	数学・物理、構造力学、材料学、環境原論、建築史、建築構造、建築計画、都市計画、建築設備、建築施工
	社会福祉	社会福祉概論(社会保障含む)、社会学概論、心理学概論(社会心理学を含む)、社会調査

●合格者の決定方法（令和2年度）

1 次 試 験	各試験種目の標準点を合計した総合得点の高い順に決定します。 ※行政(特別枠)は、基礎能力試験及び事務能力試験のそれぞれの標準点を合計した総合得点の高い順に決定します。
最 終 合 格 者	第2次試験の得点の高い順に決定し、第1次試験の得点は反映されません。

●試験実施状況（令和2年度）

区分	採用予定	申込者	1次受験者	1次合格者	2次受験者	最終合格者	最終倍率
行政	27	218	162	50	49	37	4.4
行政（特別枠）	10	59	38	25	23	12	3.2
教育事務	24	107	88	45	44	30	2.9
警察事務	3	35	30	11	11	2	15.0
水産	5	26	19	11	9	7	2.7
農業	8	16	15	11	11	9	1.7
畜産	1	2	2	2	1	0	—
林業	4	13	9	8	8	6	1.5
農業土木	2	4	3	3	3	2	1.5
土木	7	22	11	7	7	6	1.8
建築	5	12	8	6	6	6	1.3
社会福祉	2	12	9	3	3	2	4.5

●受験資格（令和2年度）

共 通	昭和60年4月2日から平成11年4月1日までに生まれた者
-----	------------------------------

●試験日程（令和2年度）

受験申込受付（WEB）	4月30日（木）～5月17日（日）
1次試験日	6月28日（日）
1次試験合格発表日	7月3日（金）
2次試験日	7月13日（月）～7月20日（月）
2次試験合格発表日	7月下旬
3次試験日	7月30日（木）～8月6日（木）
最終合格発表日	8月中旬

●試験概要（令和2年度）

試験種目		区分	解答時間	試験内容
1次試験	教養試験	行政、警察行政、教育行政、心理判定員、総合土木、建築、機械、電気、農学、林学、畜産、水産	150分	択一式(50問中40問解答) 一般的知識及び能力等について、択一式による筆記試験を行います。
		行政、警察行政、教育行政	120分	択一式(80問中40問解答) 専門的知識及び能力等について、択一式による筆記試験を行います。
	専門試験	総合土木	120分	択一式(60問中40問解答) 専門的知識及び能力等について、択一式による筆記試験を行います。
		心理判定員、建築、機械、電気、農学、林学、畜産、水産	120分	択一式(40問) 専門的知識及び能力等について、択一式による筆記試験を行います。
2次試験	論文試験	行政、警察行政、教育行政、心理判定員、総合土木、建築、機械、電気、農学、林学、畜産、水産	90分	記述式 職務遂行に必要な識見や表現力、論理性などについて、記述式による筆記試験を行います。※1次試験日に実施
	面接試験	行政、警察行政、教育行政、心理判定員、総合土木、建築、機械、電気、農学、林学、畜産、水産	—	表現力、積極性、協調性、堅実性、理解力などについて、個別面接による口述試験を行います。 なお、第3次試験の参考とするために、適性検査を行います。
3次試験	面接試験	行政、警察行政、教育行政、心理判定員、総合土木、建築、機械、電気、農学、林学、畜産、水産	—	表現力、積極性、協調性、堅実性、理解力などについて、個別面接及び集団討論による口述試験を行います。

●配点比率（令和2年度）

行政、警察行政、教育行政、心理判定員、総合土木、建築、機械、電気、農学、林学、畜産、水産				
教養試験	専門試験	論文試験	面接試験(2次)	面接試験(3次)
200	240	50	200	300

●筆記試験 出題科目一覧 (令和2年度)

試験種目	区分	試験内容・出題科目など
教 養 試 験	行政、警察行政、教育行政、心理判定員、総合土木、建築、機械、電気、農学、林学、畜産、水産	【知能分野(必須解答)】 社会一般、文章理解(英語含む。)、判断推理、数的推理、資料解釈 【知識分野(選択解答)】 社会一般、地理、日本史、世界史、数学、物理、化学、生物、地学 等
	専 門 試 験	行政、警察行政、教育行政
	心理判定員	【必須解答】民法②、憲法③、経済学⑤ 【選択解答】民法⑩、行政法⑫、憲法②、労働法③、刑法③、経済学⑥、経営学②、財政学④、経済原論⑦、経済史③、統計学②、経済事情③、経済政策③、国際関係③、社会政策③、政治学②、行政学②
	総合土木	一般心理学(心理学史、発達心理学、社会心理学を含む)⑥ 応用心理学(教育心理学・産業心理学・臨床心理学)⑨、調査・研究法②、統計学③
	建築	【必須解答】数学④、応用力学⑤、水理学⑤、測量②、材料・施工④ 【選択解答】数学・物理⑥、応用力学①、水理学①、土質工学④、都市計画②、土木計画⑥、土壌物理①、農業水利・土地改良・農村環境整備⑩、農業土木構造物⑤、農業機械①、農業一般②
	機械	数学・物理⑩、構造力学⑤、材料学②、環境原論④、建築史②、建築構造④、建築計画⑤、都市計画③、建築設備②、建築施工③
	電気	数学・物理⑩、材料力学④、流体力学④、熱力学④、電気工学②、機械力学・制御④、機械設計⑥、機械材料③、機械工作③
	農学	数学・物理⑩、電磁気学・電気回路⑩、電気計測・制御④、電気機器・電力工学⑥、電子工学⑥、情報・通信工学④
	林学	栽培学汎論⑤、作物学⑤、園芸学⑤、育種遺伝学⑤、植物病理学④、昆虫学④、土壌肥科学④、植物生理学④、畜産一般②、農業経済一般②
	畜産	森林政策・森林経営学⑬、造林学(森林生態学、森林保護学を含む。)⑫、林業工学④、林産一般⑤、砂防工学⑥
	水産	家畜育種学⑤、家畜繁殖学④、家畜生理学④、家畜飼養学④、家畜栄養学④、飼料学③、家畜管理学⑥、畜産物利用学⑤、畜産経営一般⑤
		水産事情・水産経済・水産法規⑧、水産環境科学⑤、水産生物学⑤、水産資源学④、漁業学④、増養殖学④、水産化学⑤、水産利用学⑤

※○の数字は出題予定数

●合格者の決定方法 (令和2年度)

最 終 合 格 者	第1次試験、第2次試験及び第3次試験の合格者は、それぞれ総合得点の高い順に決定されます。 第1次試験の結果は第2次試験及び第3次試験に、第2次試験の結果は第3次試験に反映されません。
-----------	--

●試験実施状況 (令和2年度)

区分	採用予定	申込者	1次受験者	1次合格者	2次合格者	3次受験者	最終合格者	最終倍率	
行 政	74	621	422	223	95	92	74	5.7	
警 察 行 政	7	43	32	12	7	7	7	4.6	
教 育 行 政	13	90	66	33	20	20	13	5.1	
心 理 判 定 員	5	19	13	10	8	8	5	2.6	
総 合 土 木	18	48	20	15	15	15	14	1.4	
建 築	知事部局	3	18	10	9	5	5	3	3.0
	警察本部	1			5	3	3	1	5.0
機 械	1	4	2	2	1	1	1	2.0	
電 気	1	9	4	2	2	2	0	—	
農 学	10	44	31	26	15	15	10	3.1	
林 学	4	18	12	7	5	5	4	4.0	
畜 産	3	12	8	6	4	4	3	2.7	
水 産	2	17	15	6	4	4	2	7.5	
社 会 福 祉	3	12	9	6	5	5	3	3.0	
保 健 師	5	11	9	7	6	6	5	1.8	

●受験資格（令和2年度）

共 通	平成3年4月2日から平成11年4月1日までに生まれた者
-----	-----------------------------

●試験日程（令和2年度）

受験申込受付(WEB)	5月11日(月)～5月29日(金)
1次試験日	6月28日(日)
1次試験合格発表日	7月7日(火)
2次試験日	7月15日(水)～8月上旬
最終合格発表日	8月下旬

●試験概要（令和2年度）

試験種目		区分	解答時間	試験内容
1次試験	教養試験	行政、教育事務、警察事務、心理、司書、建築、化学、農業、畜産、林業、水産、機械、電気、鑑定(工学)	150分	五枝択一式(50問) 公務員として必要な一般的知識及び知能についての筆記試験
		総合土木	70分	SPI3 択一式(70問) 多様な業務に共通して求められる汎用的な知的能力についての筆記試験
	専門試験	行政、教育事務、警察事務、心理、司書、建築、化学、農業、畜産、林業、水産、機械、電気、鑑定(工学)、総合土木	120分	五枝択一式(40問) 専門的知識、技術等の能力についての筆記試験
2次試験	論文試験	行政、教育事務、警察事務	80分	職務の遂行に必要な論理性、表現力等についての筆記試験(1,000字以内)
	専門試験	心理、司書、建築、化学、農業、畜産、林業、水産、機械、電気、鑑定(工学)、総合土木	90分	記述式 専門的知識、技術等の能力についての記述式による筆記試験
	適性検査	行政、教育事務、警察事務、心理、司書、建築、化学、農業、畜産、林業、水産、機械、電気、鑑定(工学)、総合土木	—	職務の遂行に必要な適応性についての性格検査
	面接試験	行政、教育事務、警察事務、心理、司書、建築、化学、農業、畜産、林業、水産、機械、電気、鑑定(工学)、総合土木	—	【個別面接】「コミュニケーション能力」「責任感・倫理観」「積極性・行動力」「考察力・柔軟性」等についての個別面接(1回20分～30分程度の面接を3回実施)

●配点比率（令和2年度）

行政、教育事務、警察事務			
教養試験	専門択一	論文試験	面接試験
80	120	60	340
心理、司書、建築、化学、農業、畜産、林業、水産、総合土木、機械、電気			
教養試験	専門択一	専門記述	面接試験
80	120	100	300

●筆記試験 出題科目一覧 (令和2年度)

試験種目	区分	試験内容・出題科目など
教 養 試 験	行政、教育事務、警察事務、心理、司書、建築、化学、農業、畜産、林業、水産、機械、電気、鑑定(工学)	一般知識: 社会、人文、自然 一般知能: 文章理解(英文を含む。)、判断推理、数的推理、資料解釈
	総合土木	能力検査 SPI3
専 門 択 一	行政、教育事務、警察事務	政治学、行政学、憲法、行政法、民法、刑法、労働法、経済学、経営学、財政学、社会政策、国際関係
	心理	一般心理学(心理学史、発達心理学、社会心理学を含む)、応用心理学(教育心理学・産業心理学・臨床心理学)、調査・研究法、統計学
	司書	生涯学習概論、図書館概論(図書館制度を含む。)、図書館経営論、図書館サービス論、情報サービス論、図書館情報誌原論、情報資源組織論、児童サービス論
	建築	数学・物理、構造力学、材料学、環境原論、建築史、建築構造、建築計画、都市計画、建築設備、建築施工
	化学	数学・物理、物理化学、分析化学、無機化学・無機工業化学、有機化学・有機工業化学、化学工学
	農業	栽培学汎論、作物学、園芸学、育種遺伝学、植物病理学、昆虫学、土壤肥料学、植物生理学、畜産一般、農業経済一般
	畜産	家畜育種学、家畜繁殖学、家畜生理学、家畜飼養学、家畜栄養学、飼料学、家畜管理学、畜産物利用学、畜産経営一般
	林業	森林政策・森林経営学、造林学(森林生態学、森林保護学を含む。)、林業工学、林産一般、砂防工学
	水産	水産事情・水産経済・水産法規、水産環境科学、水産生物学、水産資源学、漁業学、増養殖学、水産化学、水産利用学
	総合土木	数学・物理、応用力学、水理学、土質工学、測量、都市計画、土木計画、材料・施工、農業水利・土地改良・農村環境整備、農業土木構造物
	機械	数学・物理、材料力学、流体力学、熱力学、電気工学、機械力学・制御、機械設計、機械材料、機械工作
	電気	数学・物理、電磁気学・電気回路、電気計測・制御、電気機器・電力工学、電子工学、情報・通信工学
	鑑定(工学)	電気計測・制御、電気機器・電力工学、情報・通信工学、材料力学、熱力学、電気工学、機械力学・制御、機械設計、機械材料、機械工作
	専 門 記 述	心理
司書		図書館制度・経営論、図書館サービス概論、情報サービス論、児童サービス論
建築		建築計画、構造力学、建築構造、建築法規、建築施工
化学		分析化学、無機化学、有機化学、環境工学
農業		栽培学汎論、植物生理学、農業経済学、農村社会学
畜産		家畜繁殖学、家畜飼養学、飼料学、畜産経営一般
林業		森林政策・森林経営学、造林学(森林生態学、森林保護学を含む。)、林業工学
水産		水産生物学、水産資源学、水産増殖学、水産経済学
総合土木		土質工学、構造力学、水理学、土木計画(河川・道路・都市計画)、建設環境、測量学、農業水利、農村環境整備、農業土木構造物、農地工学
機械		材料力学、機械力学(制御を含む。)、流体力学、熱力学(熱機関を含む。)
電気		電磁気学、電気回路、電気計測・制御、電力工学、電気機器工学
鑑定(工学)		情報工学、材料力学、機械力学、機械工作

●合格者の決定方法 (令和2年度)

1 次 試 験	教養試験及び専門試験それぞれの得点を合計した得点の高得点順に決定します。
最 終 合 格 者	第1次試験及び第2次試験の得点を合計した総合得点の高得点順に決定します。 最終合格ラインに同点者がいる場合は、第2次試験の得点により決定します。 さらになお、同点者がいる場合は、面接試験の得点により決定します。

●試験実施状況（令和2年度）

区分	採用予定	申込者	1次受験者	1次合格者	最終合格者	最終倍率
行政	95	394	332	195	114	2.9
教育事務	21	59	45	25	18	2.5
警察事務	4	23	21	12	4	5.3
心理	3	13	11	5	3	3.7
司書	3	25	25	10	3	8.3
建築	4	10	5	2	2	2.5
化学	4	19	12	10	4	3.0
農業	13	29	28	18	11	2.5
畜産	5	6	5	3	3	1.7
林業	5	13	10	5	5	2.0
水産	1	6	6	4	1	6.0
総合土木	29	106	32	22	19	1.7
機械	3	11	8	7	3	2.7
電気	3	7	4	3	2	2.0
鑑定（工学）	1	3	3	1	1	3.0
管理栄養士	4	36	32	12	4	8.0
保健師	14	19	19	15	10	1.9

●受験資格（令和2年度）

共	通	平成3年4月2日から平成11年4月1日までに生まれた者
---	---	-----------------------------

●試験日程（令和2年度）

受験申込受付(WEB)	5月11日(月)～5月29日(金)
1次試験日	6月28日(日)
1次試験合格発表日	7月6日(月)
2次試験日	7月13日(月)～8月6日(木)
最終合格発表日	8月17日(月)

●試験概要（令和2年度）

試験種目		区分	解答時間	試験内容
1次試験	教養試験	一般行政、警察事務、社会福祉	150分	多肢選択式(50問) 公務員として必要な一般的な知識及び知能についての多肢選択式による筆記試験
		心理、電気、機械、土木、建築、化学、農業、農業土木、畜産、林業、水産、管理栄養士、保健師	150分	多肢選択式(25問) 公務員として必要な一般的な知識及び知能についての多肢選択式による筆記試験
	専門試験	一般行政、警察事務、社会福祉、心理、電気、機械、土木、建築、化学、農業、農業土木、畜産、林業、水産、管理栄養士、保健師	120分	多肢選択式(40問) 専門的な知識、技術その他の能力についての多肢選択式による筆記試験
2次試験	論文試験	一般行政・警察事務・管理栄養士・保健師のみ	90分	記述式 表現力、批判力、文章構成力、課題に対する知識その他の能力についての記述式による筆記試験
	専門論文試験	社会福祉、心理、電気、機械、土木、建築、化学、農業、農業土木、畜産、林業、水産	90分	記述式 専門分野に応じた表現力、批判力、文章構成力、課題に対する知識その他の能力についての記述式による筆記試験
	人物試験	一般行政、警察事務、社会福祉、心理、電気、機械、土木、建築、化学、農業、農業土木、畜産、林業、水産、管理栄養士、保健師	—	個別面接、集団討論及び適性検査

●配点比率（令和2年度）

一般行政、警察事務、(管理栄養士・保健師)			
教養試験	専門試験	論文試験	人物試験
100	100(200)	60(30)	360(460)
心理、電気、機械、土木、建築、化学、農業、農業土木、畜産、林業、水産、(社会福祉)			
教養試験	専門試験	専門論文試験	人物試験
100	200(100)	90(60)	540(360)

●筆記試験 出題科目一覧（令和2年度）

試験種目	区分	試験内容・出題科目など
専門試験（択一）	一般行政、警察事務	政治学、行政学、憲法、行政法、民法、刑法、労働法、経済学、財政学、社会政策、国際関係、経営学等
専門試験 （択一・論文）	心理	一般心理学(心理学史、発達心理学及社会心理学を含む。)、応用心理学(教育心理学・産業心理学・臨床心理学、調査・研究法、統計学等)
	社会福祉	社会福祉概論(社会保障含む)、社会学概論、心理学概論(社会心理学含む。)、社会調査等
	電気	数学、物理、電磁気学、電気回路、電気計測・制御、電気機器、電力工学、電子工学、情報・通信工学等
	機械	数学、物理、材料力学、流体力学、熱力学、電気工学、機械力学・制御、機械設計、機械材料、機械工作等
	土木	数学、物理、応用力学、水理学、土質工学、測量、都市計画、土木計画、材料・施工等
	建築	数学、物理、材料学、構造力学、環境原論、建築史、建築構造、建築計画、都市計画、建築設備、建築施工等
	化学	数学、物理、物理化学、分析化学、無機化学、無機工業化学、有機化学、有機工業化学、化学工学等
	農業	栽培学汎論、作物学、園芸学、育種遺伝学、植物病理学、昆虫学、土壤肥科学、植物生理学、畜産一般、農業経済一般等
	農業土木	数学、応用力学、水理学、測量、土壌物理、農業水利・土地改良・農村環境整備、農業土木構造物、材料・施工、農業機械、農学一般等
	畜産	家畜育種学、家畜繁殖学、家畜生理学、家畜飼養学、家畜栄養学、飼料学、家畜管理学、畜産物利用学、畜産経営一般等
	林業	森林政策・森林経営学、造林学(森林生態学、森林保護学を含む。)、林業工学、林産一般、砂防工学等
	水産	水産事情、水産経済、水産法規、水産環境科学、水産生物学、水産資源学、漁業学、増養殖学、水産化学、水産利用学等
	管理栄養士	社会・環境と健康、人体の構造と機能及び疾病の成り立ち、食べ物と健康、基礎栄養学、応用栄養学、栄養教育論、臨床栄養学、公衆栄養学、給食経営管理論等

●合格者の決定方法（令和2年度）

非公表

●試験実施状況（令和2年度）

区分	採用予定	申込者	1次受験者	1次合格者	2次受験者	最終合格者	最終倍率
一般行政	39	228	170	104	100	60	2.8
警察事務	2	23	13	6	5	4	3.3
心理	3	3	3	3	3	2	1.5
社会福祉	3	10	7	7	7	4	1.8
電気	2	12	11	6	6	3	3.7
機械	3	4	4	4	4	3	1.3
土木	16	21	13	12	12	11	1.2
建築	3	8	6	6	6	4	1.5
化学	1	16	14	5	5	2	7.0
農業	11	35	27	27	27	15	1.8
農業土木	5	6	5	5	5	3	1.7
畜産	6	13	11	11	11	7	1.6
林業	4	12	10	9	9	5	2.0
水産	4	13	10	10	8	5	2.0
管理栄養士	2	31	29	6	6	3	9.7
保健師	2	16	13	8	8	4	3.3

※必須解答型：全国型／選択解答型：その他

行政、警察事務、心理、農業、畜産、農業土木、林業、水産、土木、建築、電気、化学Ⅰ、化学Ⅱ、保健師

●受験資格（令和2年度）

共 通	平成3年4月2日から平成11年4月1日までに生まれた者
-----	-----------------------------

●試験日程（令和2年度）

受験申込受付(WEB)	5月11日(月)～5月25日(月)
1次試験日	6月28日(日)
1次試験合格発表日	7月7日(火)
2次試験日	7月21日(火)～8月6日(木)
最終合格発表日	8月下旬

●試験概要（令和2年度）

試験種目	区分	解答時間	試験内容
1次試験	教養試験	150分	択一式(50問) 全試験区分共通の一般教養について択一式により行います。
	専門試験	120分	試験区分に応じた基礎的専門知識について択一式により行います。 どちらかを選んで解答。 【40問必須解答型】択一式(12分野40問必須解答) 【選択解答型】択一式(12分野40問中30問解答と10分野40問中10問解答)
		120分	択一式(40問) 試験区分に応じた基礎的専門知識について択一式により行います。
2次試験	論文試験	90分	記述式 一般的知識、理解力、構成力、表現力等について(1,000字以内)行います。
	論文試験	60分	専門知識、理解力、構成力、表現力等について記述式(800字以内)により行います。
	専門試験	120分	記述式 試験区分に応じた専門知識、構成力、表現力等について行います。
	面接試験	—	人物について個別面接(2回)により行います。 同日中に実施します。
	適性検査	—	職務遂行に必要な適性について検査を行います。

●配点比率（令和2年度）

行政			
教養試験	専門試験	論文試験	面接試験
100	150	100	400
警察事務			
教養試験	専門試験	論文試験	面接試験
100	100	100	400

心理、農業、畜産、農業土木、林業、水産、土木、建築、電気、化学Ⅰ、化学Ⅱ			
教養試験	専門試験(1次)	専門試験(2次)	面接試験
100	100	100	300

保健師			
教養試験	専門試験(1次)	論文試験	面接試験
100	—	100	300

●筆記試験 出題科目一覧 (令和2年度)

試験種目	区分	試験内容・出題科目など
教 養 試 験	全区分	社会、人文、自然、文章理解、判断推理、数的推理、資料解釈
専 門 試 験 (1 次)	行政	【40問必須解答型】政治学、行政学、憲法、行政法、民法、刑法、労働法、経済学、経営学、財政学、社会政策、国際関係 【選択解答型】一般心理学、応用心理学、統計学、社会福祉概論、社会学概論、心理学概論、社会調査、教育学、数学・物理、情報・通信工学
	警察事務	政治学、行政学、憲法、行政法、民法、刑法、労働法、経済学、経営学、財政学、社会政策、国際関係
	心理	一般心理学(心理学史、発達心理学及社会心理学を含む。)、応用心理学(教育心理学・産業心理学・臨床心理学、調査・研究法、統計学等)
	農業	栽培学汎論、作物学、園芸学、育種遺伝学、植物病理学、昆虫学、土壌肥科学、植物生理学、畜産一般、農業経営一般
	畜産	家畜育種学、家畜繁殖学、家畜生理学、家畜飼養学、家畜栄養学、飼料学、家畜管理学、畜産物利用学、畜産経営一般
	農業土木	数学、応用力学、水理学、測量、土壌物理、農業水利・土地改良・農村環境整備、農業土木構造物、材料・施工、農業機械、農学一般
	林業	森林政策・森林経営学、造林学(森林生態学、森林保護学を含む。)、林業工学、林産一般、砂防工学
	水産	水産事情・水産経済・水産法規、水産環境科学、水産生物学、水産資源学、漁業学、増養殖学、水産化学、水産利用学
	土木	数学・物理、応用力学、水理学、土質工学、測量、都市計画、土木計画、材料・施工
	建築	数学・物理、構造力学、材料学、環境原論、建築史、建築構造、建築計画、都市計画、建築設備、建築施工
	電気	数学・物理、電磁気学・電気回路、電気計測・制御、電気機器・電力工学、電子工学、情報・通信工学
	化学Ⅰ	数学・物理、物理化学、分析化学、無機化学・無機工業化学、有機化学・有機工業化学、化学工学
	化学Ⅱ	一般化学、分析化学、有機化学、生物有機化学、生物化学、食品科学、応用微生物学、公衆衛生学、食品衛生学
	専 門 試 験 (2 次)	心理
農業		作物学、園芸学、育種遺伝学、植物病理学、昆虫学、土壌肥科学の6科目のうちから2科目選択、農業政策に関する論文
畜産		家畜育種学、家畜繁殖学、家畜飼養学、家畜管理学、畜産経営一般
農業土木		農業水利、土地改良、農村環境整備、材料・施工
林業		森林経営学、造林学、林業工学、林産一般、砂防工学の5科目のうちから2科目選択と森林政策の計3科目
水産		水産環境科学、水産生物学、水産資源学、漁業学、増養殖学、水産利用学の6科目のうちから2科目選択
土木		河川、道路、海岸、港湾、コンクリート、土質
建築		建築設計製図及び設計趣旨等の記述
電気		電磁気学、電気回路、電気計測・制御、電気機器、電力工学
化学Ⅰ		無機系化学分野(無機化学及び無機工業化学)、有機系化学分野(有機化学及び有機工業化学)、物理化学と化学工学の2科目のうちから1科目選択、環境問題に関する論文
化学Ⅱ		生物化学、食品科学、応用微生物学、公衆衛生学、食品衛生学の5科目のうちから2科目選択

都道府県

●合格者の決定方法（令和2年度）

最終合格者	第2次試験の結果に基づき決定し、第1次試験の結果は反映されません。
-------	-----------------------------------

●試験実施状況（令和2年度）

区分	採用予定	申込者	1次受験者	1次合格者	2次受験者	最終合格者	最終倍率
行政	25	395	321	92	91	50	6.4
警察事務	5	29	21	14	14	5	4.2
心理	5	14	9	9	9	7	1.3
農業	16	22	17	16	16	14	1.2
畜産	7	13	10	9	8	6	1.7
農業士	6	8	7	6	6	5	1.4
林業	2	11	8	5	5	3	2.7
水産	2	11	8	7	7	2	4.0
土木	9	34	18	17	17	14	1.3
建築	2	7	7	6	5	2	3.5
電気	1	8	6	5	5	1	6.0
化学Ⅰ	3	11	9	9	9	3	3.0
化学Ⅱ	3	11	7	7	6	3	2.3
保健師	6	21	15	14	14	12	1.3

行政特別枠

●受験資格（令和2年度）

共 通	平成7年4月2日から平成11年4月1日までに生まれた者
-----	-----------------------------

●試験日程（令和2年度）

受験申込受付(WEB)	3月9日(月)～3月23日(月)
1次試験日	5月25日(月)～6月3日(水)
1次試験合格発表日	6月22日(月)
2次試験日	7月6日(月)～7月10日(金)
最終合格発表日	7月下旬

●試験概要（令和2年度）

試験種目		区分	解答時間	試験内容
1次試験	基礎能力試験①	行政特別枠	35分	職務に共通して求められる基礎的な能力について択一式により試験を行います。
	適性検査	行政特別枠	30分	職務遂行に必要な適性について検査を行います。
	PR論文試験	行政特別枠	—	課題に沿った自己アピール等について記述式(1200字以内)により行います(郵送で提出)
2次試験	面接試験	行政特別枠	—	人物について個別面接(2回)により行います。同日中に実施します。
	基礎能力試験②	行政特別枠	35分	職務に共通して求められる基礎的な能力について択一式により試験を行います。

●配点比率（令和2年度）

行政特別枠			
基礎能力試験①(1次)	PR論文試験	面接試験	基礎能力試験②(2次)
—	100	400	80

●筆記試験 出題科目一覧（令和2年度）

試験種目	区分	試験内容・出題科目など
基礎能力試験 ① ② 共 通	行政特別枠	SPI3(WEBテスト)

●合格者の決定方法（令和2年度）

最終合格者	第2次試験の結果に基づき決定し、第1次試験の結果は反映されません。
-------	-----------------------------------

●試験実施状況（令和2年度）

区分	採用予定	申込者	1次受験者	1次合格者	2次受験者	最終合格者	最終倍率
行政特別枠	20	345	212	89	84	29	7.3

●受験資格（令和2年度）

共 通	昭和60年4月2日から平成11年4月1日までに生まれた者
-----	------------------------------

●試験日程（令和2年度）

受験申込受付(WEB)	5月11日(月)～5月20日(水)
1次試験日	6月28日(日)
1次試験合格発表日	7月8日(水)
2次試験日	7月中旬～8月上旬
最終合格発表日	8月中旬

●試験概要（令和2年度）

試験種目		区分	解答時間	試験内容
1次試験	教養試験 (事務系)	行政Ⅰ、心理、社会福祉、 病院事務、警察事務	150分	択一式(50問) 公務員として必要な一般的な知識及び知能についての択一式による大学卒業程度の筆記試験を行います。
	教養試験 (技術系)	電気、機械、土木、建築、化学、 農業、農業土木、農芸化学、畜産、林業、水産	120分	択一式(30問) 公務員として必要な一般的な知識及び知能についての択一式による大学卒業程度の筆記試験を行います。
	専門試験 (事務系)	行政Ⅰ、心理、社会福祉、 病院事務、警察事務	120分	択一式(40問) 各試験区分に必要な専門的知識、能力等についての択一式による大学卒業程度の筆記試験を行います。
	専門試験 (技術系)	電気、機械、土木、建築、化学、 農業、農業土木、農芸化学、畜産、林業、水産	120分	択一式(40問) 各試験区分に必要な専門的知識、能力等についての択一式による大学卒業程度の筆記試験を行います。
2次試験	個別面接	行政Ⅰ、心理、社会福祉、 電気、機械、土木、建築、化学、 農業、農業土木、農芸化学、畜産、 林業、水産、病院事務、警察事務	—	主として人物について個別面接による試験を行います。 なお、個別面接の参考とするため適性検査を行います。
	集団討論	行政Ⅰ、心理、社会福祉、 電気、機械、土木、建築、化学、 農業、農業土木、農芸化学、畜産、 林業、水産、病院事務、警察事務	—	個別面接を補完し、多角的かつ総合的な人物評価を行うため集団討論による試験を行います。
	論文試験	行政Ⅰ、心理、社会福祉、 電気、機械、土木、建築、化学、 農業、農業土木、農芸化学、畜産、 林業、水産、病院事務、警察事務	120分	思考力、総合的判断力、文章構成力、表現力についての筆記試験(1,000字以内)を行います。

●配点比率（令和2年度）

行政Ⅰ、心理、社会福祉、病院事務、警察事務				
教養試験	専門試験	個別面接	集団討論	論文試験
100	100	120	30	60

電気、機械、土木、建築、化学、農業、農業土木、農芸化学、畜産、林業、水産				
教養試験	専門試験	個別面接	集団討論	論文試験
80	120	120	30	60

●筆記試験 出題科目一覧 (令和2年度)

試験種目	区分	試験内容・出題科目など
教 養 試 験	行政 I、心理、社会福祉、病院事務、警察事務	社会、人文、自然、文章理解、判断推理、数的推理・資料解釈、現代の社会に関する問題
	電気、機械、土木、建築、化学、農業、農業土木、農芸化学、畜産、林業、水産	社会、文章理解、判断推理、数的推理・資料解釈、現代の社会に関する問題
専 門 試 験	行政 I、病院事務、警察事務	政治学、行政学、憲法、行政法、民法、刑法、労働法、経済学、財政学、社会政策、国際関係、経営学
	心理	一般心理学(心理学史、発達心理学及社会心理学を含む。)、応用心理学(教育心理学・産業心理学・臨床心理学、調査・研究法、統計学等)
	社会福祉	社会福祉概論(社会保障含む)、社会学概論、心理学概論(社会心理学含む。)、社会調査等
	電気	数学・物理、電磁気学・電気回路、電気計測・制御、電気機器・電力工学、電子工学、情報・通信工学
	機械	数学・物理、材料力学、流体力学、熱力学、電気工学、機械力学・制御、機械設計、機械材料、機械工作
	土木	数学・物理、応用力学、水理学、土質工学、測量、都市計画、土木計画、材料・施工
	建築	数学・物理、構造力学、材料学、環境原論、建築史、建築構造、建築計画、都市計画、建築設備、建築施工
	化学	数学・物理、物理化学、分析化学、無機化学・無機工業化学、有機化学・有機工業化学、化学工学
	農業	栽培学汎論、作物学、園芸学、育種遺伝学、植物病理学、昆虫学、土壌肥料学、植物生理学、畜産一般、農業経済一般
	農業土木	数学、応用力学、水理学、測量、土壌物理、農業水利・土地改良・農村環境整備、農業土木構造物、材料・施工、農業機械、農学一般
	農芸化学	一般化学、分析化学、生物有機化学、有機化学、生物化学、土壌学・植物栄養学、食品科学、応用微生物学
	畜産	家畜育種学、家畜繁殖学、家畜生理学、家畜飼養学、家畜栄養学、飼料学、家畜管理学、畜産物利用学、畜産経営一般
	林業	森林政策・森林経営学、造林学(森林生態学、森林保護学を含む。)、林業工学、林産一般、砂防工学
	水産	水産事情・水産経済・水産法規、水産環境科学、水産生物学、水産資源学、漁業学、増養殖学、水産化学、水産利用学

●合格者の決定方法 (令和2年度)

非公表

●試験実施状況 (令和2年度)

区分	採用予定	申込者	1次受験者	1次合格者	2次受験者	最終合格者	最終倍率
行 政 I	25	1,020	845	78	70	64	13.2
心 理	若干名	14	14	5	4	2	7.0
社 会 福 祉	9	62	49	15	15	10	4.9
電 気	若干名	21	14	9	9	6	2.3
機 械	若干名	27	22	6	6	5	4.4
土 木	26	28	23	14	14	14	1.6
建 築	若干名	23	20	18	17	16	1.3
化 学	若干名	14	13	8	7	5	2.6
農 業	8	37	31	16	16	15	2.1
農 業 土 木	14	24	22	14	14	12	1.8
農 芸 化 学	若干名	17	16	5	5	1	16.0
畜 産	若干名	7	7	4	4	3	2.3
林 業	若干名	10	7	4	4	2	3.5
水 産	若干名	14	14	12	11	8	1.8
病 院 事 務	20	117	100	40	35	30	3.3
警 察 事 務	6	100	86	26	26	13	6.6

●受験資格（令和2年度）

共 通	平成元年4月2日から平成11年4月1日までに生まれた者
-----	-----------------------------

●試験日程（令和2年度）

受験申込受付(WEB)	3月19日(木)～5月1日(金)
1 次 試 験 日	7月26日(日)
1次試験合格発表日	10月8日(木)
2 次 試 験 日	11月2日(日)～11月9日(月)
最終合格発表日	11月20日(金)

●試験概要（令和2年度）

試験種目		区分	解答時間	試験内容
1次試験	教養試験	事務、土木造園(土木)、 土木造園(造園)、建築、 機械、電気	120分	五枝択一式(48問中40問) 一般教養についての五枝択一式
	専門試験	事務	90分	五枝択一式(55問中40問) 一般行政事務に必要な基礎知識についての五枝択一式
		土木造園(土木)、土木 造園(造園)、建築、 機械、電気	90分	記述式、語群選択式等(6題中4題) それぞれの試験区分に必要な専門的知識についての記述式、語 群選択式等
	論文試験	事務、土木造園(土木)、 土木造園(造園)、建築、 機械、電気	80分	課題式(2題中1題選択解答) 字数は1,000字以上1,500字程度 社会事象への関心、思考力、論理性等を問います。
2次試験	口述試験	事務、土木造園(土木)、 土木造園(造園)、建築、 機械、電気	—	人物及び職務に関連する知識等についての個別面接

●配点比率（令和2年度）

非公表

●筆記試験 出題科目一覧（令和2年度）

試験種目	区分	試験内容・出題科目など
教 養 試 験	事務、土木造園（土木）、土木造園（造園）、建築、機械、電気	【知能分野（28 題必須解答）】 文章理解（英文を含む。）、判断推理、数的処理、資料解釈及び空間把握 【知識分野（20 題中 12 題選択解答）】 人文科学④：倫理・哲学、歴史及び地理 社会科学④：法律、政治及び経済 自然科学⑧：物理、化学、生物及び地学 社会事情④：社会事情
	専 門 試 験	憲法、行政法、民法1〔総則・物権〕、民法2〔債権・親族・相続〕、ミクロ経済学、マクロ経済学、財政学、経営学、政治学、行政学、社会学
	土木造園（土木）	応用力学、土質工学、測量、土木施工、道路・橋梁、都市計画
	土木造園（造園）	造園史、造園計画、造園植物、植栽・土壌肥科学、生態学、造園施工・管理
	建築	建築史、建築計画、都市計画、建築設備、建築構造、建築施工、建築法規
	機械	物理、材料力学、熱力学・熱機関、流体力学・流体機械、計測・制御、機械材料
	電気	電気・電子回路、電気磁気学、材料・制御（電気応用を含む。）、電気機器、発送配電、情報・通信

※○の数字は出題予定数

●合格者の決定方法（令和2年度）

最 終 合 格 者	第1次試験、第2次試験及び資格審査の結果を総合的に判定し、最終合格者を決定します。
-----------	---

●試験実施状況（令和2年度）

区分	採用予定	申込者	1次受験者	1次合格者	2次受験者	最終合格者	最終倍率
事 務	906	14,339	8,121	4,791	2,197	1,741	4.7
土 木 造 園（ 土 木 ）	48	432	201	180	77	66	3.0
土 木 造 園（ 造 園 ）	6	87	44	32	15	12	3.7
建 築	50	160	101	88	45	40	2.5
機 械	16	123	57	48	22	16	3.6
電 気	21	161	72	58	32	23	3.1
福 祉	87	567	347	315	200	165	2.1
心 理	26	292	170	132	79	45	3.8
衛 生 監 視（ 衛 生 ）	33	191	120	106	85	72	1.7
衛 生 管 理（ 化 学 ）	5	103	42	30	9	7	6.0
保 健 師	78	405	291	258	171	155	1.9

●各特別区等の採用予定数一覧（I 類事務）

年度	千代田区	中央区	港区	新宿区	文京区	台東区	墨田区	江東区	品川区
令和2年	20	18	23	29	33	31	25	36	40
令和元年	23	33	40	39	45	45	27	17	39
平成30年	33	31	40	35	30	42	35	37	52
年度	目黒区	大田区	世田谷区	渋谷区	中野区	杉並区	豊島区	北区	荒川区
令和2年	37	96	80	36	43	48	18	35	15
令和元年	46	65	67	30	40	70	17	28	46
平成30年	65	88	128	23	35	70	26	37	40
年度	板橋区	練馬区	足立区	葛飾区	江戸川区	人厚組合	競馬組合	清掃組合	
令和2年	60	55	50	42	25	若干名	若干名	若干名	
令和元年	56	63	33	36	50	若干名	若干名	若干名	
平成30年	49	87	50	44	50	若干名	若干名	若干名	

特別区

一般事務（行政コース）、学校事務

●受験資格（令和2年度）

共	通	平成3年4月2日以降に生まれた者
---	---	------------------

●試験日程（令和2年度）

受験申込受付	4月28日(火)～5月15日(金)
筆記試験日	6月28日(日)
筆記試験合格発表日	7月3日(金)
1次面接試験日	7月9日(木)～7月12日(日)
1次面接試験合格発表日	7月17日(金)
2次試験日	7月上旬～8月上旬
最終合格発表日	8月中旬

●試験概要（令和2年度）

試験種目		区分	解答時間	試験内容
1次試験	総合試験	一般事務(行政コース)、 学校事務	120分	択一式 (教養系20問、専門系45問中20問解答)
	面接カード 記入	一般事務(行政コース)、 学校事務	20分	面接シート(あなた自身に関することをテーマに沿って記入するもの)を記入していただきます。
	面接試験	一般事務(行政コース)、 学校事務	—	個別面談を実施します。
2次試験	面接試験	一般事務(行政コース)、 学校事務	—	個別面接により、主として人物評価をします。

●配点比率（令和2年度）

非公表

●筆記試験 出題科目一覧（令和2年度）

試験種目	区分	試験内容・出題科目など
総合試験 (教養系)	一般事務(行政コース)、 学校事務	【必須科目】[文章理解(現代文・英語)]⑧、[判断推理、数的推理、資料解釈]⑫
総合試験 (専門系)	一般事務(行政コース)、 学校事務	【選択科目】[憲法、民法、行政法]⑬、[経済学、経営学、財政学]⑭、[行政学、政治学、社会事情(国際情勢を含む)]⑯

※○の数字は出題予定数

●合格者の決定方法（令和2年度）

非公表

●試験実施状況（令和2年度）

区分	採用予定	申込者	1次受験者	1次面接対象者	1次合格者	2次受験者	最終合格者	最終倍率
一般事務(行政コース)	155	1,125	756	398	252	250	147	5.1
学校事務	6	75	53	25	12	12	6	8.8

一般技術（土木、建築、電気、機械、衛生、造園）

●受験資格（令和2年度）

共	通	平成3年4月2日以降に生まれた者
---	---	------------------

●試験日程（令和2年度）

受験申込受付(WEB)	4月28日(火)～5月15日(金)
1次試験日	6月28日(日)
1次試験合格発表日	7月7日(火)
2次試験日	7月上旬～8月上旬
最終合格発表日	8月中旬

●試験概要（令和2年度）

試験種目		区分	解答時間	試験内容
1次試験	総合試験	土木、建築、電気、機械	120分	択一式(教養系20問、専門系20問)
		衛生、造園	120分	択一式(教養系20問、専門系30問中20問解答)
	面接カード記入	土木、建築、電気、機械、衛生、造園	20分	面接カード(あなた自身に関することをテーマに沿って)を記入していただきます。
2次試験	面接試験	土木、建築、電気、機械、衛生、造園	—	個別面接により、主として人物評価をします。

●配点比率（令和2年度）

非公表

●筆記試験 出題科目一覧（令和2年度）

試験種目	区分	試験内容・出題科目など
総合試験 (教養系)	土木、建築、電気、機械、衛生、造園	【必須科目】[文章理解(現代文・英語)]⑧、[判断推理、数的推理、資料解釈]⑫
総合試験 (専門系)	土木	【必須科目】[応用力学、水理学、土質工学]⑪、[材料・施工、測量]④、[都市計画、土木計画]⑤
	建築	【必須科目】[構造力学、建築構造、材料学]⑧、[建築史、建築計画、都市計画]⑦、[建築施工、建築設備、環境原論]⑤
	電気	【必須科目】[電磁気学・電気回路]⑥、[電気計測・制御、電気機器・電力工学]⑦、[電子工学、情報・通信工学]⑦
	機械	【必須科目】[材料力学、流体力学、熱力学]⑨、[機械力学・制御、電気工学]④、[機械設計、機械材料、機械工作]⑦
	衛生	【必須科目】[分析化学、有機化学、生化学、応用微生物学]⑩ 【選択科目】[物理化学、無機化学、生物有機化学、衛生化学、薬理学]⑩、[食品科学、水産利用学、畜産物利用学]⑥、[獣医寄生虫病学、獣医公衆衛生学]④
造園	【必須科目】[造園学原論、造園計画・設計(都市・地方計画を含む)、栽培学汎論]⑩ 【選択科目】[造園材料・施工、造園管理]⑨、[園芸学(土壌肥料学を含む)、作物学、造園学(森林生態学、森林保護学を含む)]⑪	

●合格者の決定方法（令和2年度）

非公表

●試験実施状況（令和2年度）

区分	採用予定	申込者	1次受験者	1次合格者	2次受験者	最終合格者	最終倍率	
土	木	25	79	64	52	50	27	2.4
建	築	5	30	23	16	15	5	4.6
電	気	15	29	24	24	21	11	2.2
機	械	7	22	18	15	14	7	2.6
衛	生	10	63	45	29	25	14	3.2
造	園	5	18	15	12	11	4	3.8

事務

●受験資格（令和2年度）

共 通	昭和60年4月2日から平成11年4月1日までに生まれた者
-----	------------------------------

●試験日程（令和2年度）

受験申込受付(郵送のみ)	4月22日(水)～5月19日(火)
筆記試験日	6月28日(日)
筆記試験合格発表日	7月3日(金)
1次面接試験日	7月9日(木)～7月12日(日)
1次面接試験合格発表日	7月17日(金)
2次試験日	7月30日(木)～8月下旬
最終合格発表日	9月2日(水)

●試験概要（令和2年度）

試験種目		区分	解答時間	試験内容
1次試験	教養試験	事務	120分	五肢択一式(45問中40問) 公務員として必要な一般的知識及び知能についての五肢択一式による筆記試験
	専門試験	事務	120分	五肢択一式(56問中40問) 試験の種類及び試験区分に応じた必要な専門的知識、技術等の能力についての五肢択一式による筆記試験
	面接試験	事務	—	1グループ3人程度で行う集団面接
2次試験	論文試験	事務	120分	記述式(1,200字程度) 出題されたテーマに対する記述式による筆記試験
	適性検査	事務	—	性格適性又は職務適性についての心理学的検査
	面接試験	事務	—	個別面接

●配点比率（令和2年度）

事務				
教養試験	専門試験	集団面接	論文試験	個別面接
100	100	600	100	300

●筆記試験 出題科目一覧（令和2年度）

試験種目	区分	試験内容・出題科目など
教養試験	事務	【必須解答】社会科学、社会事情等の知識問題及び文章理解、判断推理、数的推理、資料解釈等の知能問題 【選択解答】必須解答の分野に加え、人文科学、自然科学等の知識問題
専門試験	事務	【必須解答】政治学、行政学、憲法、行政法、民法、経済学、財政学、経済事情、社会政策、国際関係、社会事情等 【選択解答】必須解答の分野に加え、刑法、労働法、経営学、心理学、社会福祉、社会学、教育学等

●合格者の決定方法（令和2年度）

最終合格者	第2次試験の結果により決定します。
-------	-------------------

●試験実施状況（令和2年度）

区分	採用予定	申込者	1次受験者	1次合格者	2次受験者	最終合格者	最終倍率
事務	90	729	623	126	125	98	6.4

土木、建築、機械、電気、化学、造園

●受験資格（令和2年度）

共	通	昭和60年4月2日から平成11年4月1日までに生まれた者
---	---	------------------------------

●試験日程（令和2年度）

受験申込受付(郵送のみ)	4月22日(水)～5月19日(火)
1次試験日	6月28日(日)
1次試験合格発表日	7月8日(水)
2次試験日	7月30日(木)～8月下旬
最終合格発表日	9月2日(水)

●試験概要（令和2年度）

試験種目		区分	解答時間	試験内容
1次試験	教養試験	土木、建築、機械、電気、化学、造園	120分	五肢択一式(45問中40問) 公務員として必要な一般的知識及び知能についての五肢択一式による筆記試験
	専門試験	土木、建築、機械、電気、化学、造園	120分	五肢択一式(40問) 試験の種類及び試験区分に応じて必要な専門的知識、技術等の能力についての五肢択一式による筆記試験
2次試験	論文試験	土木、建築、機械、電気、化学、造園	120分	記述式(1,200字程度) 出題されたテーマに対する記述式による筆記試験
	適性検査	土木、建築、機械、電気、化学、造園	—	性格適性又は職務適性についての心理学的検査
	面接試験	土木、建築、機械、電気、化学、造園	—	個別面接

●配点比率（令和2年度）

衛生、土木、建築、機械、電気、化学、造園			
教養試験	専門試験	論文試験	面接試験
100	100	100	300

●筆記試験 出題科目一覧（令和2年度）

試験種目	区分	試験内容・出題科目など
教養試験	土木、建築、機械、電気、化学、造園	【必須解答】社会科学、社会事情等の知識問題及び文章理解、判断推理、数的推理、資料解釈等の知能問題 【選択解答】必須解答の分野に加え、人文科学、自然科学等の知識問題
専門試験	土木	数学・物理、応用力学、水理学、土質工学、測量、都市計画、土木計画、材料・施工等
	建築	数学・物理、構造力学、材料学、環境原論、建築史、建築構造、建築計画、都市計画、建築設備、建築施工等
	機械	数学・物理、材料力学、流体力学、熱力学、電気工学、機械力学・制御、機械設備、機械材料、機械工作等
	電気	数学・物理、電磁気学・電気回路、電気計測・制御、電気機器・電力工学、電子工学、情報・通信工学等
	化学	数学・物理、物理化学、分析化学、無機化学・無機工業化学、有機化学・有機工業化学、化学工学等
	造園	造園学原論、造園材料・施工、造園管理、造園計画・設計(都市・地方計画を含む)、造園関連基礎等

●合格者の決定方法（令和2年度）

最終合格者	第2次試験の結果により決定します。
-------	-------------------

●試験実施状況（令和2年度）

区分	採用予定	申込者	1次受験者	1次合格者	2次受験者	最終合格者	最終倍率
福祉	5	51	45	26	26	13	3.5
衛生	5	22	18	17	17	10	1.8
土木	20	40	33	26	24	18	1.8
建築	5	18	18	13	12	7	2.6
機械	10	20	15	12	12	6	2.5
電気	10	26	21	19	16	9	2.3
化学	5	14	12	12	11	7	1.7
造園	若干名	13	13	10	8	5	2.6

さいたま市

【教養】 全国型
【専門】 全国型

●受験資格（令和2年度）

共 通	平成5年4月2日から平成11年4月1日まで生まれた者
-----	----------------------------

●試験日程（令和2年度）

受験申込受付(WEB)	5月7日(木)～5月20日(水)
1次試験日	6月28日(日)
1次試験合格発表日	7月7日(火)
2次試験日	7月中旬～8月中旬
最終合格発表日	8月下旬

●試験概要（令和2年度）

試験種目	区分	解答時間	試験内容	
1次試験	教養試験	120分	択一式(50問中40問) 公務員として必要な一般教養について、大学卒業程度の活字印刷文による筆記試験	
	S P I 3	70分	職務遂行に必要な総合的な基礎能力についての検査	
	専門試験	行政事務A	120分	択一式(50問中40問) 各区分における必要な専門知識について、大学卒業程度の活字印刷文による筆記試験
		土木、建築、電気、化学	120分	択一式(40問) 各区分における必要な専門知識について、大学卒業程度の活字印刷文による筆記試験
2次試験	論文試験	60分	記述式(1,000字程度) 出題されたテーマについて記述する筆記試験 (思考力、文章構成力、表現力等について評価)	
	面接試験	—	個別面接及び集団面接による試験 (主として人物、性格、識見等についての面接)	

●配点比率（令和2年度）

行政事務A				
教養試験	専門試験	論文試験	集団面接	個別面接
120	80	100	100	300
行政事務B				
SPI3	論文試験	集団面接	個別面接	
80	100	100	300	
学校事務				
教養試験	論文試験	集団面接	個別面接	
120	100	100	300	
土木、建築、電気、化学				
教養試験	専門試験	論文試験	集団面接	個別面接
80	120	100	100	300

●筆記試験 出題科目一覧（令和2年度）

試験種目	区分	試験内容・出題科目など
教 養 試 験	行政事務A、学校事務、 土木、建築、電気、化学	【知能分野】 文章理解、判断推理、数的推理・資料解釈 【知識分野】 社会科学・現代社会、人文科学、自然科学 市政問題
専 門 試 験	行政事務A	政治学、行政学、憲法、行政法、民法、労働法、経済学、財政学、社会政策、国際関係、経営学、教育学、社会福祉概論(社会保障を含む。)
	土木	数学・物理、応用力学、水理学、土質工学、測量、都市計画、土木計画、材料・施工
	建築	数学・物理、構造力学、材料学、環境原論、建築史、建築構造、建築計画、都市計画、建築設備、建築施工
	電気	数学・物理、電磁気学・電気回路、電気計測・制御、電気機器・電力工学、電子工学、情報・通信工学
	化学	数学・物理、物理化学、分析化学、無機化学・無機工業化学、有機化学・有機工業化学、化学工学

●合格者の決定方法（令和2年度）

1 次 試 験	「行政事務B」についてはSPI3、「学校事務」については教養試験の成績により、その他の区分については教養試験と専門試験の総合成績により決定します。
最 終 合 格 者	第2次試験の成績により決定します(第1次試験の成績は反映されません。)

●試験実施状況（令和2年度）

区分	採用予定	申込者	1次受験者	1次合格者	2次受験者	最終合格者	最終倍率
行 政 事 務 A	100	958	659	351	326	207	3.2
行 政 事 務 B	11	335	218	51	36	18	12.1
福 祉 社 会 事 務 員	20	71	61	51	49	31	2.0
学 校 事 務 員	6	102	73	22	20	9	8.1
土 木 技 術 士	19	58	41	37	32	26	1.6
建 築 技 術 士	7	15	12	12	8	7	1.7
電 気 技 術 士	2	14	7	7	6	3	2.3
機 械 技 術 士	1	9	5	3	3	1	5.0
化 学 技 術 士	2	11	6	5	4	2	3.0
心 理 士	19	38	32	26	25	19	1.7
精 神 保 健 福 祉 士	1	16	14	6	6	1	14.0
薬 剤 師	2	16	14	10	10	5	2.8
獣 医 師	1	3	2	2	1	1	2.0
保 健 師	8	56	51	32	32	23	2.2

千葉市

【教養】 全国型
【専門】 全国型

●受験資格（令和2年度）

行政 B 以外	平成4年4月2日から平成11年4月1日までに生まれた者
行政 B	昭和36年4月2日から平成11年4月1日までに生まれた者

●試験日程（令和2年度）

受験申込受付（WEB）	5月18日（月）～6月1日（月）
筆記試験日	6月28日（日）
1次試験合格発表日	7月17日（金）
2次試験日	7月28日（火）～8月28日（金）
最終合格発表日	8月下旬～9月上旬

●試験概要（令和2年度）

試験種目	区分	解答時間	試験内容
1次試験	教養試験	行政、土木、建築、電気、機械、化学、造園、畜産	択一式(55問中45問) 公務員として必要な一般教養について、大学卒業程度の活字印刷文による筆記試験
		行政B	75分 択一式60問全問解答 社会についての関心や基礎的・常識的な知識、職務遂行に必要な基礎的な言語能力・論理的思考力について、高等学校卒業程度の活字印刷文による筆記試験
	専門試験	行政A	120分 択一式(50問中40問) 試験区分に応じた専門的知識について、大学卒業程度の活字印刷文による筆記試験
		土木、建築、電気、機械、化学、造園、畜産	120分 択一式(40問) 試験区分に応じた専門的知識について、大学卒業程度の活字印刷文による筆記試験
	集団討論試験	行政B	— 与えられたテーマに対する討論形式での口述試験 (態度、表現力、積極性、指導力、協調性、社会性等)
2次試験	適性検査	行政 A、行政 B、土木、建築、電気、機械、化学、造園、畜産	— 性格適性及び職務適性等についての検査(WEB方式)
	面接試験	行政 A、行政 B、土木、建築、電気、機械、化学、造園、畜産	— 主として人物、性格等についての個別面接による試験 (態度、表現力、積極性、協調性、専門性、堅実性、ストレス耐性等)

●配点比率（令和2年度）

行政A			
教養試験	専門試験	面接試験	
100	100	150	
行政B			
教養試験	集団討論試験	面接試験	語学加算
100	200	150	10
土木、建築、電気、機械、化学、造園、畜産			
教養試験	専門試験	面接試験	
80	120	150	

●筆記試験 出題科目一覧（令和2年度）

試験種目	区分	試験内容・出題科目など
教 養 試 験	行政 A、土木、建築、電気、機械、化学、造園、畜産	【知識分野】 社会科学、人文科学、自然科学 【知能分野】 文章理解、判断推理、数的推理、資料解釈
	行政B	社会についての関心や基礎的・常識的な知識、職務遂行に必要な基礎的な言語能力・論理的思考力
専 門 試 験	行政A	政治学、行政学、憲法、行政法、民法、労働法、経済学、財政学、社会政策、国際関係、経営学、教育学、社会福祉概論(社会保障を含む。)、社会学概論
	土木	数学・物理、応用力学、水理学、土質工学、測量、都市計画、土木計画、材料・施工
	建築	数学・物理、構造力学、材料学、環境原論、建築史、建築構造、建築計画、都市計画、建築設備、建築施工
	電気	数学・物理、電磁気学・電気回路、電気計測・制御、電気機器・電力工学、電子工学、情報・通信工学
	機械	数学・物理、材料力学、流体力学、熱力学、電気工学、機械力学・制御、機械設計、機械材料、機械工作
	化学	数学・物理、物理化学、分析化学、無機化学・無機工業化学、有機化学・有機工業化学、化学工学
	造園	造園学原論、造園材料・施工、造園管理、造園計画・設計(都市・地方計画を含む。)、造園関連基礎
	畜産	家畜育種学、家畜繁殖学、家畜生理学、家畜飼養学、家畜栄養学、飼料学、家畜管理学、畜産物利用学、畜産経営一般

●合格者の決定方法（令和2年度）

1 次 試 験	筆記試験の成績と、他の試験の成績(行政 B の場合は集団討論試験の成績)を総合して決定します。
最 終 合 格 者	第2次試験の結果により決定し、第1次試験の成績は反映されません。

●試験実施状況（令和2年度）

区分	採用予定	申込者	1次受験者	1次合格者	2次受験者	最終合格者	最終倍率
行 政 A	50	594	479	203	201	91	5.3
行 政 B	5	169	124	15	14	9	13.8
福 祉	12	30	28	26	26	13	2.2
情 報	若干名	5	5	5	5	2	2.5
土 木	12	25	21	20	19	13	1.6
建 築	6	24	20	18	16	10	2.0
電 気	6	10	9	8	8	6	1.5
機 械	4	15	13	9	9	4	3.3
化 学	6	26	24	15	14	8	3.0
造 園	4	12	11	11	11	6	1.8
畜 産	若干名	24	17	7	7	2	8.5

事務

●受験資格（令和2年度）

共 通	平成2年4月2日から平成11年4月1日までに生まれた者
-----	-----------------------------

●試験日程（令和2年度）

受験申込受付(WEB)	4月15日(水)～5月13日(水)
1次試験日	6月28日(日)
1次試験合格発表日	7月14日(火)
2次試験日	7月19日(日)～7月23日(木)
2次試験合格発表日	8月5日(水)
3次試験日	8月11日(火)～8月20日(木)(土日を除く。)
最終合格発表日	8月28日(金)

●試験概要（令和2年度）

試験種目		区分	解答時間	試験内容
1次試験	一般教養	事務	150分	択一式(50問) 大学卒業程度の一般的知識及び一般的知能についての筆記試験
2次試験	論文	事務	60分	与えられた課題に対する論文(字数750字以内) ※1次試験日に実施
	面談	事務	ー	個別面談(一部屋に3～5組、机をはさんだ対面式)
3次試験	面接	事務	ー	個別面接

●配点比率（令和2年度）

事務									
1次試験		2次試験			3次試験				
一般教養	合計	面談	論文	合計	一般教養(1次)	面談(2次)	論文(2次)	面接(3次)	合計
510	510	200	100	300	15	30	15	600	660

●筆記試験 出題科目一覧（令和2年度）

試験種目	区分	試験内容・出題科目など
一般教養	事務	一般的知識:法律・政治、経済、社会・一般事情 一般的知能:文章理解、英文理解、判断推理、数的推理、資料解釈

●合格者の決定方法（令和2年度）

1次試験	第1次試験(一般教養)の結果により決定します。
2次試験	面談及び論文の結果により決定します。
最終合格者	第1次試験及び第2次試験の結果と第3次試験(面接)の結果を総合して決定します。

●試験実施状況（令和2年度）

区分	採用予定	申込者	1次受験者	1次合格者	2次合格者	最終合格者	最終倍率
事務	260	2,534	1,918	1,222	880	381	5.0

土木、建築、機械、電気、農業、造園、環境、学校事務

●受験資格（令和2年度）

共 通	平成2年4月2日から平成11年4月1日までに生まれた者
-----	-----------------------------

●試験日程（令和2年度）

受験申込受付(WEB)	4月15日(水)～5月13日(水)
1次試験日	6月28日(日)
1次試験合格発表日	7月14日(火)
2次試験日	7月28日(火)～8月7日(金) (土日を除く。)
最終合格発表日	8月14日(金)

●試験概要（令和2年度）

試験種目		区分	解答時間	試験内容
1次試験	一般教養	学校事務	150分	択一式(50問) 大学卒業程度の一般的知識及び一般的知能についての筆記試験
		土木、建築、機械、電気、農業、造園、環境	120分	択一式(40問) 大学卒業程度の一般的知識及び一般的知能についての筆記試験
	専門	土木、建築、機械、電気、農業、造園、環境	120分	択一式(40問) 専門的知識についての筆記試験
2次試験	論文	学校事務、土木、建築、機械、電気、農業、造園、環境	60分	記述式(字数750字以内) 与えられた課題に対する論文 ※1次試験日に実施
	面接	学校事務、土木、建築、機械、電気、農業、造園、環境	—	個別面接

●配点比率（令和2年度）

学校事務					
1次試験		2次試験			
一般教養	合計	一般教養(1次)	面接	論文	合計
510	510	40	300	100	440

土木、建築、機械、電気、農業、造園、環境							
1次試験			2次試験				
一般教養	専門	合計	一般教養(1次)	専門(1次)	面接	論文	合計
400	400	800	20	20	300	100	440

●筆記試験 出題科目一覧 (令和2年度)

試験種目	区分	試験内容・出題科目など
教 養 試 験	学校事務、土木、建築、機械、電気、農業、造園、環境	一般的知識:法律・政治、経済、社会・一般事情 一般的知能:文章理解、英文理解、判断推理、数的推理、資料解釈
	専 門 試 験	数学・物理、応用力学、水理学、土質工学、測量、都市計画、土木計画、材料・施工
	建築	数学・物理、構造力学、材料学、環境原論、建築史、建築構造、建築計画、都市計画、建築設備、建築施工
	機械	数学・物理、材料力学、流体力学、熱力学、電気工学、機械力学・制御、機械設計、機械材料、機械工作
	電気	数学・物理、電磁気学・電気回路、電気計測・制御、電気機器・電力工学、電子工学、情報・通信工学
	農業	栽培学汎論、作物学、園芸学、育種遺伝学、植物病理学、昆虫学、土壤肥科学、植物生理学、畜産一般、農業経済一般
	造園	造園学原論、造園材料・施工、造園管理、造園計画・設計(都市・地方計画を含む。)、造園関連基礎
	環境	数学・物理、化学・生物、環境科学、生物化学、分析化学、無機化学・無機工業化学、有機化学・有機工業化学、物理化学、化学工学

●合格者の決定方法 (令和2年度)

1 次 試 験	第1次試験(学校事務は教養、その他の試験区分は教養・専門)の結果により決定します。
最 終 合 格 者	第1次試験の結果と、第2次試験(面接及び論文)の結果を総合して決定します。

●試験実施状況 (令和2年度)

区分	採用予定	申込者	1次受験者	1次合格者	最終合格者	最終倍率
社 会 福 祉	80	204	161	146	111	1.5
情 報 処 理	数人	14	11	9	2	5.5
土 木	60	121	102	100	59	1.7
建 築	10	54	38	36	24	1.6
機 械	10	27	20	20	12	1.7
電 気	20	18	15	15	8	1.9
農 業	数人	21	11	11	5	2.2
造 園	数人	40	28	22	9	3.1
環 境	数人	67	53	11	3	17.7
衛 生 監 視 員	15	94	80	55	23	3.5
保 健 師	15	100	85	69	42	2.0
学 校 事 務	20	118	87	59	25	3.5

●受験資格（令和2年度）

共	通	平成3年4月2日から平成11年4月1日までに生まれた者
---	---	-----------------------------

●試験日程（令和2年度）

受験申込受付(WEB)	4月15日(水)～5月22日(金)
筆記試験日	6月28日(日)
筆記試験合格発表日	7月6日(月)
面談試験日	7月10日(金)～7月17日(金)
1次試験合格発表日	7月27日(月)
2次試験日	7月31日(金)～8月20日(木)
最終合格発表日	8月27日(木)

●試験概要（令和2年度）

試験種目		区分	解答時間	試験内容
1次試験	総合筆記試験	行政事務、学校事務、土木、電気、機械、造園、建築、化学	180分	択一式(60問) 知能系20問程度、知識系40問程度
	面談試験	行政事務、学校事務、土木、電気、機械、造園、建築、化学	20分	机を挟んだ対話形式(2対1)の個別面談を行い、人物的な側面、仕事に対する意欲・適性、コミュニケーション能力などを評価します。
2次試験	面接試験	行政事務、学校事務、土木、電気、機械、造園、建築、化学	—	【個別面接】(30分程度) 個別面接(3対1)を行い、人物的な側面、仕事に対する意欲・適性、コミュニケーション能力などを評価します。
	小論文試験	行政事務、学校事務	80分	一般的な行政課題や時事問題などの課題を与え、問題意識、論理性、表現力などを評価します。(1,000字以上、1,200字以内)

●配点比率（令和2年度）

行政事務、学校事務、土木、電気、機械、造園、建築、化学	
第1次試験	第2次試験
300	700

●筆記試験 出題科目一覧（令和2年度）

試験種目	区分	試験内容・出題科目など
総合筆記試験 （知能系）	行政事務、学校事務、土木、電気、機械、造園、建築、化学	文章理解(現代文・英文)、判断推理、数的処理、資料解釈
総合筆記試験 （知識系）	行政事務、学校事務	法律(憲法・民法・行政法)、政治、経済、社会事情、財政
	土木	数学・物理、応用力学、水理学、土質工学、測量、都市計画、土木計画、材料・施工
	電気	数学・物理、電磁気学・電気回路、電気計測・制御、電気機器・電力工学、電子工学、情報・通信工学
	機械	数学・物理、材料力学、流体力学、熱力学、電気工学、機械力学・制御、機械設計、機械材料、機械工作
	造園	造園学原論、造園材料・施工、造園管理、造園計画・設計(都市・地方計画を含む。)、造園関連基礎
	建築	数学・物理、構造力学、材料学、環境原論、建築史、建築構造、建築計画、都市計画、建築設備、建築施工
	化学	数学・物理、物理化学、分析化学、無機化学・無機工業化学、有機化学・有機工業化学、化学工学

●合格者の決定方法（令和2年度）

1次試験	各試験科目の結果を総合して決定します。
最終合格者	第1次試験及び第2次試験の結果を総合して決定します。

●試験実施状況（令和2年度）

区分	採用予定	申込者	1次受験者	面談対象者	1次合格者	最終合格者	最終倍率
行政事務	120	1,483	901	635	361	209	4.3
社会福祉	20	93	71	66	48	35	2.0
心理	5	39	32	24	15	7	4.6
学校事務	5	57	39	17	12	6	6.5
土木	15	55	27	20	19	14	1.9
電気	10	26	19	17	12	10	1.9
機械	10	23	11	8	6	5	2.2
造園	若干名	16	12	11	8	5	2.4
建築	5	33	19	18	12	12	1.6
化学	若干名	25	17	11	8	4	4.3

行政

●受験資格（令和2年度）

共	通	昭和60年4月2日から平成11年4月1日までに生まれた者
---	---	------------------------------

●試験日程（令和2年度）

受験申込受付(WEB)	4月15日(水)～5月13日(水)
1次試験日	6月28日(日)
1次試験合格発表日	7月2日(木)
2次試験日	7月11日(土)～7月下旬
2次試験合格発表日	8月4日(火)
3次試験日	8月中旬
最終合格発表日	8月25日(火)

●試験概要（令和2年度）

試験種目		区分	解答時間	試験内容
1次試験	教養試験	行政	—	択一式(30問)
2次試験	論述試験	行政	—	与えられた状況設定(ケース)に対して、発生している問題とその原因・解決策を記述する問題です。 ※対象者に郵送する面接カードを記入して持参。
	適性検査	行政	—	事務能力診断検査など。
	個別面談	行政	—	対象者は7月11日(土)に実施する論述試験、適性検査の結果により決定します。
3次試験	個別面接	行政	—	個別面接

●配点比率（令和2年度）

行政			
教養	論述	個別面談(2次)	個別面接(3次)
120	100	240	240

●筆記試験 出題科目一覧（令和2年度）

試験種目	区分	試験内容・出題科目など
教養試験	行政	社会及び時事に関する問題、文章理解、判断推理、数的推理、資料解釈など

●合格者の決定方法（令和2年度）

1次試験	第1次試験の結果により決定します。
2次試験	第2次試験の結果により決定します。(第1次試験の結果は反映されません。)
最終合格者	第3次試験の合格者は、第3次試験の結果により決定します。(第1、2次試験の結果は反映されません。)

●試験実施状況（令和2年度）

区分	採用予定	申込者	1次受験者	1次合格者	2次受験者	2次合格者	3次受験者	最終合格者	最終倍率
行政	76	936	632	328	321	126	125	70	9.0

学校事務

●受験資格（令和2年度）

共通 昭和60年4月2日から平成11年4月1日までに生まれた者

●試験日程（令和2年度）

受験申込受付(WEB)	4月15日(木)～5月13日(木)
1次試験日	6月28日(日)～7月13日(月)
1次試験合格発表日	7月16日(木)
2次試験日	7月下旬～8月上旬
最終合格発表日	8月13日(木)

●試験概要（令和2年度）

試験種目		区分	解答時間	試験内容
1次試験	教養試験	学校事務	—	択一式(30問)
	適性検査	学校事務	—	事務能力診断検査など。
	集団面接	学校事務	—	集団面接 ※対象者に郵送する面接カードを記入して持参。
2次試験	個別面接	学校事務	—	個別面接

●配点比率（令和2年度）

学校事務		
教養	集団面接	個別面接
120	120	240

●筆記試験 出題科目一覧（令和2年度）

試験種目	区分	試験内容・出題科目など
教養試験	学校事務	社会及び時事に関する問題、文章理解、判断推理、数的推理、資料解釈など

●合格者の決定方法（令和2年度）

1次試験	第1次試験の結果により決定します。
最終合格者	第2次試験の結果により決定します。(第1次試験の結果は反映されません。)

●試験実施状況（令和2年度）

区分	採用予定	申込者	1次受験者	1次合格者	2次受験者	最終合格者	最終倍率
学校事務	5	53	43	10	10	5	8.6

土木、建築、電気、

●受験資格（令和2年度）

共	通	昭和60年4月2日から平成11年4月1日までに生まれた者
---	---	------------------------------

●試験日程（令和2年度）

受験申込受付(WEB)	4月15日(木)～5月13日(木)
1次試験日	6月28日(日)～7月20日(土)
1次試験合格発表日	7月22日(水)
2次試験日	7月下旬～8月上旬
最終合格発表日	8月13日(木)

●試験概要（令和2年度）

試験種目		区分	解答時間	試験内容
1次試験	専門試験	土木、建築、電気	—	記述式(4問)及び択一式(40問)
	個別面接	土木	—	個別面接 ※対象者に郵送する面接カードを記入して持参。
	集団面接	建築、電気	—	集団面接 ※対象者に郵送する面接カードを記入して持参。
	適性検査	土木、建築、電気	—	事務能力診断検査など。
2次試験	個別面接	土木、建築、電気	—	個別面接

●配点比率（令和2年度）

土木、建築、設備、電気、化学			
専門択一	専門記述	面接(1次)	個別面接(2次)
120	120	120	240

●筆記試験 出題科目一覧（令和2年度）

試験種目	区分	試験内容・出題科目など
専門試験	土木	数学・物理、応用力学、水理学、土質工学、測量、都市計画、土木計画、材料・施工など
	建築	数学・物理、構造力学、材料学、環境原論、建築史、建築構造、建築計画、都市計画、建築設備、建築施工など
	電気	数学・物理、電磁気学・電気回路、電気計測・制御、電気機器・電力工学、電子工学、情報・通信工学など

●合格者の決定方法（令和2年度）

1次試験	第1次試験の結果により決定します。
最終合格者	第2次試験の結果により決定します。(第1次試験の結果は反映されません。)

●試験実施状況（令和2年度）

区分	採用予定	申込者	1次受験者	1次合格者	2次受験者	最終合格者	最終倍率
土	木	25	30	21	9	8	2.6
建	築	4	12	8	4	2	4.0
電	気	2	13	6	3	3	2.0

新潟市

【教養】 全国型
【専門】 全国型

一般行政 A、一般行政 B

●受験資格（令和2年度）

共 通	平成4年4月2日から平成11年4月1日までに生まれた者
-----	-----------------------------

●試験日程（令和2年度）

受験申込受付(WEB)	4月27日(月)～5月15日(金)
1 次 試 験 日	6月28日(日)
1次試験合格発表日	7月8日(水)
2 次 試 験 日	7月14日(火)～7月17日(金)
2次試験合格発表日	7月27日(月)
3 次 試 験 日	8月16日(日)～8月20日(木)
最終合格発表日	8月28日(金)

●試験概要（令和2年度）

試験種目		区分	解答時間	試験内容
1次試験	教養試験	一般行政 A、一般行政 B	120 分	択一式(40 問) 公務員として必要な大学卒業程度の一般知識及び知能についての筆記試験
	専門試験	一般行政 A	120 分	択一式(40 問) 公務員として必要な大学卒業程度の専門的知識及び能力についての筆記試験
2次試験	面接試験	一般行政 A、一般行政 B	—	個別面接
3次試験	論文試験	一般行政 A、一般行政 B	60 分	記述式(1,200 字程度)
	適性検査	一般行政 A、一般行政 B	—	適性検査
	面接試験	一般行政 A、一般行政 B	—	個別面接(2回)

●配点比率（令和2年度）

一般行政 A				
教養試験	専門試験	面接試験(2次)	面接試験(3次)	論文試験
80	120	80	280	70
一般行政 B				
教養試験	面接試験(2次)	面接試験(3次)	論文試験	
80	80	280	70	

●筆記試験 出題科目一覧（令和2年度）

試験種目	区分	試験内容・出題科目など
教 養 試 験	一般行政 A、一般行政 B	社会、人文及び自然に関する一般知識並びに文章理解、判断推理、数的推理及び資料解釈に関する一般知識並びに現代の社会に関する問題
専 門 試 験	一般行政 A	政治学、行政学、憲法、行政法、民法、刑法、労働法、経済学、財政学、社会政策、国際関係

●合格者の決定方法（令和2年度）

1 次 試 験	第1次試験の結果により決定します。
2 次 試 験	第2次試験の結果により決定します。
3 次 試 験	第3次試験の結果により決定します。

●試験実施状況（令和2年度）

区分	採用予定	申込者	1次受験者	1次合格者	2次受験者	2次合格者	3次受験者	最終合格者	最終倍率
一 般 行 政 A	12	264	175	92	89	31	31	13	13.4
一 般 行 政 B	3	73	60	21	20	7	6	2	30.0

土木、土木（水道）、建築、電気、電気（水道）、機械、機械（水道）、農業

●受験資格（令和2年度）

共 通	平成2年4月2日から平成11年4月1日までに生まれた者
-----	-----------------------------

●試験日程（令和2年度）

受験申込受付(WEB)	4月27日(月)～5月15日(金)
1次試験日	6月28日(日)
1次試験合格発表日	7月8日(水)
2次試験日	7月27日(月)～8月4日(火)
最終合格発表日	8月13日(木)

●試験概要（令和2年度）

試験種目		区分	解答時間	試験内容
1次試験	教養試験	土木、土木(水道)、建築、電気、電気(水道)、機械、機械(水道)、農業	120分	択一式(40問) 公務員として必要な大学卒業程度の一般知識及び知能についての筆記試験
	専門試験	土木、土木(水道)、建築、電気、電気(水道)、機械、機械(水道)、農業	120分	択一式(40問) 公務員として必要な大学卒業程度の専門的知識及び能力についての筆記試験
2次試験	論文試験	土木、土木(水道)、建築、電気、電気(水道)、機械、機械(水道)、農業	60分	記述式(1,200字程度)
	適性検査	土木、土木(水道)、建築、電気、電気(水道)、機械、機械(水道)、農業	—	適性検査
	個別面接試験	土木、土木(水道)、建築、電気、電気(水道)、機械、機械(水道)、農業	—	個別面接(2回)

●配点比率（令和2年度）

土木、土木(水道)、建築、電気、電気(水道)、機械、農業			
教養試験	専門試験	面接試験	論文試験
80	120	280	70

●筆記試験 出題科目一覧（令和2年度）

試験種目	区分	試験内容・出題科目など
教養試験	土木、土木(水道)、建築、電気、電気(水道)、機械、機械(水道)、農業	社会、人文及び自然に関する一般知識並びに文章理解、判断推理、数的推理及び資料解釈に関する一般知能並びに現代の社会に関する問題
専門試験	土木、土木(水道)	数学・物理、応用力学、水理学、土質工学、測量、都市計画、土木計画、材料・施工
	建築	数学・物理、構造力学、材料学、環境原論、建築史、建築構造、建築計画、都市計画、建築設備、建築施工
	電気、電気(水道)	数学・物理、電磁気学・電気回路、電気計測・制御、電子工学、電気機器・電力工学、情報・通信工学
	機械、機械(水道)	数学・物理、材料力学、流体力学、熱力学、電気工学、機械設計、機械力学・制御、機械材料、機械工作
	農業	栽培学汎論、作物学、園芸学、育種遺伝学、植物病理学、昆虫学、土壤肥科学、植物生理学、畜産一般、農業経済一般

●合格者の決定方法（令和2年度）

1次試験	第1次試験の結果により決定します。
2次試験	第2次試験の結果により決定します。(第1次試験の結果は反映されません。)

●試験実施状況（令和2年度）

区分	採用予定	申込者	1次受験者	1次合格者	2次受験者	最終合格者	最終倍率
土木	3	12	6	6	5	3	2.0
土木(水道)	3	4	3	3	3	3	1.0
建築	2	8	6	6	6	2	3.0
電気	3	7	6	6	6	3	2.0
電気(水道)	4	6	3	3	3	2	1.5
機械	4	11	7	5	5	3	2.3
機械(水道)	3	3	2	2	2	1	2.0
農業	1	9	6	6	5	0	—

事務A、事務B、土木、建築、電気、機械、化学、小中学校事務

●受験資格（令和2年度）

共通 平成2年4月2日から平成11年4月1日までに生まれた者

●試験日程（令和2年度）

受験申込受付(WEB)	5月7日(木)～5月26日(火)
筆記試験日	6月28日(日)
筆記試験合格発表日	7月3日(金)
1次面接試験日	7月9日(木)～7月21日(火)
1次試験合格発表日	7月28日(火)
2次試験日	8月1日(土)～8月28日(金)
最終合格発表日	9月上旬

●試験概要（令和2年度）

試験種目		区分	解答時間	試験内容
1次試験	教養試験	事務A、小中学校事務	150分	択一式(55問) 大学卒業程度の一般的知識及び知能についての択一式筆記試験
	専門試験	事務B	150分	択一式(55問) 大学卒業程度の専門的知識についての択一式筆記試験
		土木、建築、電気、機械、化学	120分	択一式(40問) 大学卒業程度の専門的知識についての択一式筆記試験
	面接試験	事務A、事務B、小中学校事務	—	職務適性、対人関係能力等についてのグループワーク試験
		土木、建築、電気、機械、化学	—	職務適性、対人関係能力等についての個別面接試験
2次試験	面接試験	事務A、事務B、小中学校事務、土木、建築、電気、機械、化学	—	主として人物、識見等についての個別面接試験 ※事務A、事務Bは1日に2回実施します。
	筆記試験	事務A、事務B、小中学校事務	60分	記述式(85問) 一般教養(漢字の読み書き、計算等)、時事及び市政に関する記述式筆記試験 ※時事及び市政に関する記述式筆記試験の出題形式は穴埋めとします。
	適性検査	事務A、事務B、小中学校事務	10分	社会性、職業生活への適応性等についての検査

●配点比率（令和2年度）

事務A			
教養試験	グループワーク	筆記試験	個別面接
100	105	70	600
事務B			
専門試験	グループワーク	筆記試験	個別面接
100	105	70	600
土木、建築、電気、機械、化学			
専門試験	個別面接	個別面接	個別面接
100	105		400
小中学校事務			
教養試験	グループワーク	筆記試験	個別面接
100	105	70	400

●筆記試験 出題科目一覧（令和2年度）

試験種目	区分	試験内容・出題科目など
教 養 試 験	事務A、小中学校事務	一般的知識：社会科学・人文科学・自然科学・現代社会
		一般的知能：文章理解・判断推理・数的推理・資料解釈
専 門 試 験	事務B	政治学、行政学、憲法、行政法、民法、経済・経営学、財政学、社会政策、国際関係
	土木	数学・物理、応用力学、水理学、土質工学、測量、都市計画、土木計画、材料・施工
	建築	数学・物理、構造力学、材料学、環境原論、建築史、建築構造、建築計画、都市計画、建築設備、建築施工
	電気	数学・物理、電磁気学・電気回路、電気計測・制御、電気機器・電力工学、電子工学、情報・通信工学
	機械	数学・物理、材料力学、流体力学、熱力学、電気工学、機械力学・制御、機械設計、機械材料、機械工作
	化学	数学・物理、物理化学、分析化学、無機化学・無機工業化学、有機化学・有機工業化学、化学工学

●合格者の決定方法（令和2年度）

最 終 合 格 者	第2次試験の結果のみで決定します(第1次試験の結果は反映されません。)
-----------	-------------------------------------

●試験実施状況（令和2年度）

区分	採用予定	申込者	筆記試験受験者	面接試験対象者	1次合格者	2次受験者	最終合格者	最終倍率
事 務 A	80	488	389	211	132	131	73	5.3
事 務 B		42	29	17	11	11	6	4.8
事 務 (学 芸 員)	若干名	6	5	4	4	4	1	5.0
福 祉	若干名	23	18	16	8	8	3	6.0
心 理	若干名	10	9	6	4	4	2	4.5
土 木	5	19	14	10	8	8	5	2.8
建 築	3	10	8	8	8	8	3	2.7
電 気	若干名	11	8	7	4	4	1	8.0
機 械	若干名	4	4	3	3	3	1	4.0
化 学	若干名	19	16	10	8	8	1	16.0
小 中 学 校 事 務	若干名	35	28	17	12	12	4	7.0

事務（創造力枠）

●受験資格（令和2年度）

共 通	昭和55年4月2日から平成11年4月1日までに生まれた者
-----	------------------------------

●試験日程（令和2年度）

受験申込受付（WEB）	5月7日（木）～5月26日（火）
1次試験日	6月28日（日）
1次試験合格発表日	7月28日（火）
2次試験日	8月23日（日）
最終合格発表日	9月上旬

●試験概要（令和2年度）

試験種目		区分	解答時間	試験内容
1次試験	基礎能力試験（SPI）	事務（創造力枠）	70分	択一式（70問） 一般的な知識及び知能についての択一式筆記試験
	論文試験	事務（創造力枠）	90分	記述式（1,200字程度） これまでの経験を通じて培った知識や能力等をアピールする記述試験
	適性検査	事務（創造力枠）	10分	社会性、職業生活への適応性等についての検査
2次試験	プレゼンテーション面接試験	事務（創造力枠）	—	・誰にも負けない「経験・能力・知識」を市政にどのように活かすことができるかについてのプレゼンテーション ・人物、知識、識見等についての個別面接試験

●配点比率（令和2年度）

事務（創造力枠）		
基礎能力試験	論文試験	プレゼンテーション面接試験
100	150	400

●筆記試験 出題科目一覧（令和2年度）

—

●合格者の決定方法（令和2年度）

最終合格者	第2次試験の結果のみで決定します。（第1次試験の結果は反映されません。）
-------	--------------------------------------

●試験実施状況（令和2年度）

区分	採用予定	申込者	1次受験者	1次合格者	2次受験者	最終合格者	最終倍率
事務（創造力枠）	若干名	72	45	10	9	2	22.5

浜松市

【教養】 全国型
【専門】 全国型

●受験資格（令和2年度）

共	通	平成4年4月2日以降に生まれた者
---	---	------------------

●試験日程（令和2年度）

受験申込受付(WEB)	5月7日(木)～5月29日(金)
1次試験日	6月28日(日)
1次試験合格発表日	7月上旬
2次試験日	7月中旬
2次合格発表日	8月上旬
3次試験日	8月下旬
最終合格発表日	9月上旬

●試験概要（令和2年度）

試験種目		区分	解答時間	試験内容
1次試験	教養試験	行政 A、学校事務、土木 A、建築、機械、化学	—	択一式(50問) 公務員として必要な一般知識及び知能について、筆記試験を行います。
	専門試験	行政 A、学校事務、土木 A、土木 B 建築、機械、化学	—	択一式(40問) 専門的知識及び能力について、筆記試験を行います。
	性格検査	行政 A、学校事務、土木 A、建築、機械、化学	—	面接試験の参考資料とするため、職務遂行上必要な素質、適性等について主に性格的な面から検査します。
	適性検査 (SPI3)	行政 B、土木 B	—	言語的理解、論理的思考、数量的処理など公務の遂行に必要な基礎能力について、SPI3 による筆記試験を行います。また、面接試験の参考とするため、職務遂行上必要な資質、適性等について、主に性格的な面から検査します。
	作文	行政 B	—	公務に対する意識や適性等について、論述試験を行います。
2次試験	面接試験	行政 A、行政 B、学校事務、土木 A、土木 B、建築、機械、化学	—	人柄、意欲、対人関係能力等について面接試験を行います。
	事務適性検査	行政 A、行政 B、学校事務、土木 A、土木 B、建築、機械、化学	—	職務遂行上必要な職員としての適応性を、正確さ、迅速さ等の作業能力の面から検査します。
	職場適応性検査	行政 A、行政 B、学校事務、土木 A、土木 B、建築、機械、化学	—	第3次試験での面接試験の参考資料とするため、職務遂行上必要な職場への適応性を職務や対人関係に関連する性格的な面から検査します。
3次試験	面接試験	行政 A、行政 B、学校事務、土木 A、土木 B、建築、機械、化学	—	人柄、意欲、対人関係能力等について、面接試験を行います。
	小論文	行政 A、行政 B、学校事務、土木 A、土木 B、建築、機械、化学	—	課題の理解力、表現力、文章構成力等について、論述試験を行います。

●配点比率（令和2年度）

行政A、学校事務					
教養試験	専門試験	面接試験(2次)	事務適性検査	面接試験(3次)	小論文
1	1	3	1	3	1
行政B					
適性検査SPI3	作文	面接試験(2次)	事務適性検査	面接試験(3次)	小論文
3	1	3	1	3	1
土木A、建築、機械、化学					
教養試験	専門試験	面接試験(2次)	事務適性検査	面接試験(3次)	小論文
2	3	3	1	3	1
土木B					
適性検査SPI3	専門試験	面接試験(2次)	事務適性検査	面接試験(3次)	小論文
2	3	3	1	3	1

●筆記試験 出題科目一覧（令和2年度）

試験種目	区分	試験内容・出題科目など
教 養 試 験	行政 A、学校事務、土木 A、建築、機械、化学	大学卒業程度の社会、人文、自然、文章理解、判断推理、数的推理、資料解釈、現代の社会に関する問題
	行政A、学校事務	政治学、行政学、憲法、行政法、民法、刑法、労働法、経済学、財政学、社会政策、国際関係、経営学、教育学
専 門 試 験	土木 A、土木 B	数学・物理、応用力学、水理学、土質工学、測量、都市計画、土木計画、材料・施工
	建築	数学・物理、構造力学、材料学、環境原論、建築史、建築構造、建築計画、都市計画、建築設備、建築施工
	機械	数学・物理、材料力学、流体力学、熱力学、電気工学、機械力学・制御、機械設計、機械材料、機械工作
	化学	数学・物理、物理化学、分析化学、無機化学・無機工業化学、有機化学・有機工業化学、化学工学

●合格者の決定方法（令和2年度）

合 格 者	それぞれの試験段階において、各試験科目の得点を合計したものによって決定します。
-------	---

●試験実施状況（令和2年度）

区分	採用予定	申込者	受験者	1次合格者	2次合格者	最終合格者	最終倍率
行 政 A	55	195	145	93	57	50	2.9
行 政 B	15	191	135	35	19	16	8.4
社 会 福 祉 士	若干名	12	10	6	3	2	5.0
学 校 事 務	3	14	13	6	3	3	4.3
土 木 A	9	10	9	9	9	8	1.1
土 木 B	5	5	3	2	1	1	3.0
建 築	3	6	5	4	2	2	2.5
電 気	3	4	2	2	2	2	1.0
機 械	若干名	2	0	0	—	—	—
化 学	若干名	5	5	3	3	1	5.0

名古屋市

【教養】 ※¹
【専門】 ※²

※¹行政一般：全国型／法律：その他／経済：その他
※²行政一般：－／法律：法律専門型／経済：経済専門型

行政一般、法律、経済

●受験資格（令和2年度）

共 通	平成2年4月2日から平成11年4月1日までに生まれた者
-----	-----------------------------

●試験日程（令和2年度）

受験申込受付(WEB)	4月30日(木)～5月18日(月)
1次試験日	6月28日(日)
1次試験合格発表日	7月8日(水)
2次個別面接試験日	7月16日(木)～7月21日(火)
2次個別面接合格発表日	7月28日(火)
最終個別面接試験日	8月8日(土)～8月15日(日)
最終合格発表日	8月25日(火)

●試験概要（令和2年度）

試験種目		区分	解答時間	試験内容
1次試験	教養試験	行政一般	150分	択一式(50問) 公務員として必要な一般的な知識及び知能をみる試験
		法律、経済	90分	択一式(30問) 公務員として必要な一般的な知識及び知能をみる試験
	専門試験	法律、経済	120分	択一式(40問) 各試験区分に応じた専門的な知識をみる試験
2次試験	論文試験	行政一般、法律、経済	60分	与えられた課題についての記述式試験 ※第1次試験日に実施
	口述試験	行政一般、法律、経済	－	個別面接①、個別面接②

●配点比率（令和2年度）

行政一般			
教養試験	論文試験	個別面接①	個別面接②
600	600	600	1,200
法律、経済			
教養試験	専門試験	論文試験	口述試験
210	390	600	1,800

●筆記試験 出題科目一覧（令和2年度）

試験種目	区分	試験内容・出題科目など
教 養 試 験	行政一般	【知識分野(25問必須解答)】人文科学、自然科学、社会科学(時事問題等含む) 【知能分野(25問必須解答)】文章理解、判断推理、数的推理、資料解釈
	法律、経済	【知識分野(15問必須解答)】社会科学(時事問題等含む) 【知能分野(15問必須解答)】文章理解、判断推理、数的推理、資料解釈
専 門 試 験	法律	憲法、行政法、民法、刑法、労働法、経済学
	経済	経済原論、財政学、経済史、統計学、経済事情、経済政策、憲法及び民法

●合格者の決定方法（令和2年度）

最 終 合 格 者	第1次試験及び第2次試験の得点を合計して決定します。
-----------	----------------------------

●試験実施状況（令和2年度）

区分	採用予定	申込者	1次受験者	1次合格者数	個別面接2対象者	最終合格者	最終倍率
行 政 一 般	100	994	623	306	207	125	5.0
法 律	50	330	232	149	105	78	3.0
経 済	50	224	178	157	105	78	2.3

土木、建築、機械、電気、応用化学、造園、研究（機械）、研究（電子）、研究（応用化学）、学校事務

●受験資格（令和2年度）

共 通	平成2年4月2日から平成11年4月1日までに生まれた者
-----	-----------------------------

●試験日程（令和2年度）

受験申込受付(WEB)	4月30日(木)～5月18日(月)
1次試験日	6月28日(日)
1次試験合格発表日	7月8日(水)
2次試験日	7月29日(水)～8月5日(水)
最終合格発表日	8月25日(火)

●試験概要（令和2年度）

試験種目		区分	解答時間	試験内容
1次試験	教養試験	土木、建築、機械、電気、応用化学、造園、研究(機械)、研究(電子)、研究(応用化学)	90分	択一式(30問) 公務員として必要な一般的な知識及び知能をみる試験
		学校事務	150分	択一式(50問) 公務員として必要な一般的な知識及び知能をみる試験
	専門試験	土木、建築、機械、電気、応用化学、造園	120分	択一式(40問) 各試験区分に応じた専門的な知識をみる試験
		研究(機械)、研究(電子)、研究(応用化学)	60分	択一式(20問) 研究職として必要とされる各試験区分の分野に関連する知識をみる試験
2次試験	論文試験	土木、建築、機械、電気、応用化学、造園、研究(機械)、研究(電子)、研究(応用化学)、学校事務	60分	与えられた課題についての記述式試験 ※第1次試験日に実施
	口述試験	土木、建築、機械、電気、応用化学、造園、研究(機械)、研究(電子)、研究(応用化学)、学校事務	—	個別面接
		研究(機械)、研究(電子)、研究(応用化学)	—	専門面接(専門分野に関する個別面接)

●配点比率（令和2年度）

土木、建築、機械、電気、応用科学、造園			
教養試験	専門試験	論文試験	口述試験
210	390	600	1,800

研究(機械)、研究(電子)、研究(応用化学)				
教養試験	専門試験	論文試験	専門面接	個別面接
210	390	600	900	900

学校事務		
教養試験	論文試験	口述試験
600	600	1,800

●筆記試験 出題科目一覧 (令和2年度)

試験種目	区分	試験内容・出題科目など
教 養 試 験	土木、建築、機械、電気、応用化学、造園、研究(機械)、研究(電子)	【知識分野(15問必須解答)】社会科学(時事問題等含む) 【知能分野(15問必須解答)】文章理解、判断推理、数的推理、資料解釈
	学校事務	【知識分野(25問必須解答)】人文科学、自然科学、社会科学(時事問題等含む) 【知能分野(25問必須解答)】文章理解、判断推理、数的推理、資料解釈
専 門 試 験	土木	数学・物理、応用力学、水理学、土質工学、測量、都市計画、土木計画、材料・施工
	建築	数学・物理、構造力学、材料学、環境原論、建築史、建築構造、建築計画、都市計画、建築設備、建築施工
	機械	数学・物理、材料力学、流体力学、熱力学、電気工学、機械力学・制御、機械設計、機械材料、機械工作
	電気	数学・物理、電磁気学・電気回路、電気計測・制御、電気機器・電力工学、電子工学、情報・通信工学
	応用化学	数学・物理、物理化学、分析化学、無機化学・無機工業化学、有機化学・有機工業化学、化学工学
	造園	造園学原論、造園材料・施工、造園管理、造園計画・設計(都市・地方計画を含む)、造園関連基礎

●合格者の決定方法 (令和2年度)

最 終 合 格 者	第1次試験及び第2次試験の得点を合計して決定します。
-----------	----------------------------

●試験実施状況 (令和2年度)

区分	採用予定	申込者	1次受験者	1次合格者	最終合格者	最終倍率
社 会 福 祉	20	95	66	55	29	2.3
土 木	35	86	48	38	34	1.4
建 築	5	33	18	11	7	2.6
機 械	5	23	13	13	6	2.2
電 気	10	31	23	19	14	1.6
応 用 化 学	若干名	26	20	13	3	6.7
造 園	若干名	11	7	4	2	3.5
研 究 (機 械)	若干名	0	—	—	—	—
研 究 (電 子)	若干名	5	2	2	1	2.0
研 究 (薬 学)	若干名	11	5	5	3	1.7
学 校 事 務	10	59	45	40	14	3.2

一般方式（行政）

●受験資格（令和2年度）

共通 平成2年4月2日から平成11年4月1日までに生まれた者

●試験日程（令和2年度）

受験申込受付（WEB）	5月14日（金）～6月1日（月）
筆記試験日	6月28日（日）
筆記試験合格発表日	7月上旬
1次口述試験日	7月上旬
1次口述試験合格発表日	7月中旬
2次試験日	7月下旬～8月上旬
2次試験合格発表日	8月中旬
3次試験日	8月中旬～下旬
最終合格発表日	9月上旬

●試験概要（令和2年度）

試験種目		区分	解答時間	試験内容
1次試験	教養試験	行政	90分	択一式(30問)
	専門試験	行政	90分	択一式(40問中30問解答)
	作文試験	行政	40分	専門知識ではなく、一般的な内容を問うもの(600字以内) ※評価は2次試験で実施
	口述試験	行政	—	個別面接
2次試験	口述試験	行政	—	個別面接
3次試験	口述試験	行政	—	個別面接

●配点比率（令和2年度）

非公表

●筆記試験 出題科目一覧（令和2年度）

試験種目	区分	試験内容・出題科目など
教養試験	行政	文章理解、判断推理、数的推理、資料解釈などの一般知能分野及び時事問題等
専門試験	行政	政治学、行政学、憲法、行政法、民法、労働法、経済学、財政学、経営学、社会政策、国際関係

●合格者の決定方法（令和2年度）

1次口述試験	教養試験、専門試験の総合得点で決定
1次試験	教養試験、専門試験、第1次口述試験の総合成績で決定
2次試験	作文試験、第2次口述試験の総合成績で決定
最終合格者	第3次口述試験の成績で決定

●試験実施状況（令和2年度）

区分	採用予定	申込者	受験者	1次試験合格者	1次合格者	2次合格者	最終合格者	最終倍率
行政（一般方式）	100	647	506	347	232	147	93	5.4
行政		57	44	32	14	8	6	7.3
福祉	15	39	30	25	23	—	11	2.7

一般方式（土木、建築、電気、機械、化学、造園、畜水産（畜産）、環境）

●受験資格（令和2年度）

共 通	平成2年4月2日から平成11年4月1日までに生まれた者
-----	-----------------------------

●試験日程（令和2年度）

受験申込受付(WEB)	5月14日(木)～6月1日(月)
1次試験日	6月28日(日)
1次試験合格発表日	7月上旬
2次試験日	7月中旬
最終合格発表日	8月中旬

●試験概要（令和2年度）

試験種目		区分	解答時間	試験内容
1次試験	教養試験	土木、建築、電気、機械、化学、造園、畜水産（畜産）、環境	90分	択一式(30問)
	専門試験	土木、建築、電気、機械、化学、造園、畜水産（畜産）、環境	105分	択一式(40問)
	作文試験	土木、建築、電気、機械、化学、造園、畜水産（畜産）、環境	40分	専門知識ではなく、一般的な内容を問うもの(600字以内) ※評価は第2次試験で行います。
2次試験	口述試験	土木、建築、電気、機械、化学、造園、畜水産（畜産）、環境	—	個別面接

●配点比率（令和2年度）

非公表

●筆記試験 出題科目一覧（令和2年度）

試験種目	区分	試験内容・出題科目など
教 養 試 験	土木、建築、電気、機械、化学、造園、畜水産（畜産）、環境	文章理解、判断推理、数的推理、資料解釈などの一般知能分野及び時事問題等
専 門 試 験	土木	数学・物理、応用力学、水理学、土質工学、測量、都市計画、土木計画、材料・施工
	建築	数学・物理、構造力学、材料学、環境原論、建築史、建築構造、建築計画、都市計画、建築設備、建築施工
	電気	数学・物理、電磁気学・電気回路、電気計測・制御、電気機器・電力工学、電子工学、情報・通信工学
	機械	数学・物理、材料力学、流体力学、熱力学、電気工学、機械力学・制御、機械設計、機械材料、機械工作
	化学	数学・物理、物理化学、分析化学、無機化学・無機工業化学、有機化学・有機工業化学、化学工学
	造園	造園学原論、造園材料・施工、造園管理、造園計画・設計(都市・地方計画を含む。)、造園関連基礎
	畜水産(畜産)	家畜育種学、家畜繁殖学、家畜生理学、家畜飼養学、家畜栄養学、飼料学、分類学、動物生態学、保全生物学、動物行動学、動物衛生学
	環境	数学・物理、環境政策、環境工学、環境汚染対策、廃棄物対策、地球環境対策、環境教育・学習、自然環境保全対策、無機化学、有機化学

●合格者の決定方法（令和2年度）

1次試験	教養試験、専門試験の総合得点で決定
最終合格者	作文試験、口述試験の総合成績で決定

●試験実施状況（令和2年度）

区分	採用予定	申込者	1次受験者	1次合格者	最終合格者	最終倍率
土木	15	30	17	14	6	2.8
建築	10	27	25	21	9	2.8
電気	10	21	13	10	4	3.3
機械	10	22	14	11	6	2.3
化学	若干名	14	6	4	1	6.0
造園	若干名	13	8	4	1	8.0
畜水産（畜産）	若干名	44	32	9	2	16.0
環境	5	13	9	7	4	2.3

京都方式（行政）

●受験資格（令和2年度）

共 通	平成6年4月2日から平成11年4月1日までに生まれた者
-----	-----------------------------

●試験日程（令和2年度）

受験申込受付(WEB)	3月2日(月)～4月13日(月)
1次試験日	5月7日(木), 8日(金), 11日(月)～13日(水)
1次試験合格発表日	5月中旬
2次試験日	5月下旬
2次試験合格発表日	6月上旬
3次試験日	6月15日(月)
3次試験合格発表日	6月中旬
4次試験日	6月28日(日)
最終合格発表日	7月上旬

●試験概要（令和2年度）

試験種目		区分	解答時間	試験内容
1次試験	口述試験	行政	—	個別面接
2次試験	口述試験	行政	—	個別試験
3次試験	基礎能力検査	行政	60分程度	言語的能力, 数理的能力, 論理的思考力及び英語知識
	グループディスカッション	行政	60分程度	特定のテーマについてグループで議論し, 提案・発表を行うもの(テーマは試験当日に発表)
	課題作文	行政	60分	京都市政に関する内容を問うもの(課題は試験当日に発表) ※評価は第4次試験で行います。
4次試験	口述試験	行政	—	個別面接

●配点比率（令和2年度）

非公表

●筆記試験 出題科目一覧（令和2年度）

—

●合格者の決定方法（令和2年度）

1次試験	第1次口述試験の成績で決定
2次試験	第2次口述試験の成績で決定
3次試験	基礎能力検査、グループディスカッションの総合成績で決定
最終合格者	課題作文、第4次口述試験の総合成績で決定

●試験実施状況（令和2年度）

区分	採用予定	申込者	1次受験者	1次合格者	2次合格者	3次合格者	最終合格者	最終倍率
行政	50	863	685	180	76	—	52	13.2

事務行政（22-25）

●受験資格（令和2年度）

共通 平成7年4月2日から平成11年4月1日までに生まれた者

●試験日程（令和2年度）

受験申込受付（WEB）	5月15日（金）～5月25日（月）
1次試験日	6月28日（日）
1次試験合格発表日	7月7日（火）
2次試験日	7月27日（月）～7月31日（金）
2次試験合格発表日	8月12日（水）
3次試験日	8月25日（火）～8月28日（金）
最終合格発表日	9月8日（火）

●試験概要（令和2年度）

試験種目		区分	解答時間	試験内容
1次試験	筆記試験	事務行政(22-25)	90分	論文(行政)又は択一式(法律)の選択制となります。 申込み後に選択区分を変更することはできません。 【論文(行政)】記述式 企画提案に必要な論理的思考や発想力を問います。 【択一式(法律)】(30問中25問) 法律面における素養(リーガルマインド)などを問います。 ※第1次試験合格者について第2次試験で評価します。
	適性試験	事務行政(22-25)	60分程度	言語的理解力、数的処理能力及び論理的思考力などを問います。
2次試験	口述試験	事務行政(22-25)	—	個別面接を行います。
3次試験	口述試験	事務行政(22-25)	—	個別面接を行います。

●配点比率（令和2年度）

非公表

●筆記試験 出題科目一覧（令和2年度）

試験種目	区分	試験内容・出題科目など
択一式（法律）	事務行政(22-25)	憲法、民法、行政法、刑法、政治学・行政学、社会事情

●合格者の決定方法（令和2年度）

1次試験	適性試験の結果により判定して決定します。
2次試験	第1次試験及び第2次試験の結果を総合的に判定して決定します。
3次試験	第1次試験、第2次試験及び第3次試験の結果を総合的に判定して決定します。

●試験実施状況（令和2年度）

区分	採用予定	申込者	1次受験者	1次合格者	2次受験者	2次合格者	3次受験者	最終合格者	最終倍率
事務行政（22-25）	240	1,176	734	403	382	322	315	282	2.6

都市建設（主に土木）、建築、機械、電気、化学、造園

●受験資格（令和2年度）

共 通	平成3年4月2日から平成11年4月1日までに生まれた者
-----	-----------------------------

●試験日程（令和2年度）

受験申込受付(WEB)	5月15日(金)～5月25日(月)
1次試験日	6月28日(日)
1次試験合格発表日	7月27日(月)
2次試験日	8月11日(火), 8月12日(水)
最終合格発表日	8月31日(月)

●試験概要（令和2年度）

試験種目	区分	解答時間	試験内容
1次試験	専門試験	90分	主として記述式
	適性試験	60分程度	言語的理解力、数的処理能力及び論理的思考力などを問います。 ※第1次試験合格者について第2次試験で評価します
2次試験	口述試験	—	個別面接を行います。

●配点比率（令和2年度）

非公表

●筆記試験 出題科目一覧（令和2年度）

試験種目	区分	試験内容・出題科目など
専門試験	都市建設(主に土木)	都市建設(構造、土質、水理、計画、材料、施工、都市環境など)についての基礎的問題
	建築	建築(計画、設計、構造、材料、施工、建築法規など)についての基礎的問題
	機械	機械(材料力学、流体力学、熱力学、電気工学、機械工学、制御工学、機械設計、機械材料、機械工作など)についての基礎的問題
	電気	電気(電磁気学、電気回路、電気計測、制御工学、電気機器、電力工学、電子工学、情報工学、通信工学など)についての基礎的問題
	化学	化学(有機化学・無機化学、生化学・応用微生物学、応用科学・化学工学、環境化学・衛生化学など)についての基礎的問題
	造園	造園(造園学原論、造園計画・設計、造園管理、造園材料など)についての基礎的問題

●合格者の決定方法（令和2年度）

1次試験	専門試験の結果により決定します。
2次試験	第2次試験の結果を総合的に判定して決定します。(前段階の試験の成績は加算しません。)

●試験実施状況（令和2年度）

区分	採用予定	申込者	1次受験者	1次合格者	2次受験者	最終合格者	最終倍率
都市建設(主に土木)	50	87	53	50	50	43	1.2
建築	25	44	27	26	24	21	1.3
機械	5	19	15	11	11	6	2.5
電気	10	27	13	10	9	7	1.9
化学	5	43	28	12	12	6	4.7
造園	5	20	12	9	9	6	2.0

事務（一般枠）

●受験資格（令和2年度）

共	通	平成4年4月2日から平成11年4月1日までに生まれた者（学歴不問）
---	---	-----------------------------------

●試験日程（令和2年度）

受験申込受付（WEB）	5月11日（月）～5月25日（月）
1次試験日	6月28日（日）
1次試験合格発表日	7月上旬
2次試験日	【筆記】7月19日（日）【面接】7月27日（月）～7月31日（金）
2次試験合格発表日	8月中旬
3次試験日	8月22日（土）～8月23日（日）
最終合格発表日	8月下旬

●試験概要（令和2年度）

試験種目		区分	解答時間	試験内容
1次試験	基礎能力試験	事務（一般枠）	90分	択一式（30問）
	専門試験	事務（一般枠）	120分	択一式（40問）
2次試験	論文試験	事務（一般枠）	60分	記述式（800字程度） 出題された課題について記述するもの
	面接試験	事務（一般枠）	—	個別面接
3次試験	面接試験	事務（一般枠）	—	個別面接

●配点比率（令和2年度）

事務（一般枠）						
試験区分	1次試験		2次試験		3次試験	合計
	基礎能力試験	専門試験	論文試験	面接試験	面接試験	
1次試験	60	80	—	—	—	140
2次試験	—	—	100	300	—	400
3次試験	—	—	50	150	300	500

●筆記試験 出題科目一覧（令和2年度）

試験種目	区分	試験内容・出題科目など
基礎能力試験	事務（一般枠）	文章理解・判断推理・数的推理・資料解釈に関する一般知能、時事問題等
専門試験	事務（一般枠）	憲法、行政法、民法、労働法、行政学、経済学、経営学、財政学、政治学、社会政策、国際関係等

●合格者の決定方法（令和2年度）

1次試験	総合得点順に決定します。
2次試験	第2次試験の結果を総合して決定します。
最終合格者	第2次試験の結果と第3次試験の結果を総合して決定します。

●試験実施状況（令和2年度）

区分	採用予定	申込者	1次受験者	1次合格者	2次受験者	2次合格者	3次受験者	最終合格者	最終倍率
事務（一般枠）	42	355	194	153	136	71	71	45	4.3

土木、建築、機械、電気、化学

●受験資格（令和2年度）

共 通	平成2年4月2日から平成11年4月1日までに生まれた者（学歴不問）
-----	-----------------------------------

●試験日程（令和2年度）

受験申込受付(WEB)	4月6日(月)～4月20日(月)
1次試験日	5月17日(日)
1次試験合格発表日	5月下旬
2次試験日	【筆記】5月31日(日) 【面接】6月13日(土)または6月14日(日)
最終合格発表日	6月下旬

●試験概要（令和2年度）

試験種目	区分	解答時間	試験内容
1次試験	適性試験 (SPI3)	70分	択一式(70問)
2次試験	専門試験	120分	記述式・3問解答(3問中2問選択解答(各400字程度))・1問必須解答(800字程度)
	論文試験	60分	記述式(800字程度) 各試験区分の専門分野に関して出題された課題について記述するもの
	面接試験	—	個別面接

●配点比率（令和2年度）

試験区分	土木、建築、機械、電気、化学			合計
	1次試験 適性検査(SPI3)	2次試験 専門試験	2次試験 面接試験	
1次試験	100	—	—	100
2次試験	—	150	300	450

●筆記試験 出題科目一覧（令和2年度）

試験種目	区分	試験内容・出題科目など
専門試験	建築	数学・物理、構造力学、材料学、環境原論、建築史、建築構造、建築計画、都市計画、建築設備、建築施工等

●合格者の決定方法（令和2年度）

1次試験	総合得点順に決定します。
最終合格者	第2次試験の結果を総合して決定します。

●試験実施状況（令和2年度）

区分	採用予定	申込者	1次受験者	1次合格者	2次受験者	最終合格者	最終倍率
土 木	25	96	51	45	38	21	2.4
建 築	若干名	26	12	8	6	3	4.0
機 械	3	15	9	6	6	2	4.5
電 気	3	17	9	7	7	3	3.0
化 学	若干名	43	15	8	6	2	7.5

事務（プレゼン型）

●受験資格（令和2年度）

共 通	平成4年4月2日から平成11年4月1日までに生まれた者
-----	-----------------------------

●試験日程（令和2年度）

受験申込受付（WEB）	4月6日（月）～4月20日（月）
1次試験日	5月17日（日）
1次合格発表日	5月下旬
2次試験日	【筆記】5月31日（日） 【面接】6月13日（土）または6月14日（日）
最終合格発表日	6月下旬

●試験概要（令和2年度）

試験種目		区分	解答時間	試験内容
1次試験	適性検査（SPI3）	事務（プレゼン型）	70分	択一式（70問）
2次試験	論文試験	事務（プレゼン型）	60分	記述式（800字程度） 出題された課題に対して記述するもの
	面接試験	事務（プレゼン型）	—	個別面接①（自己アピールプレゼンテーションを含む。） 個別面接②（プレゼンテーションを含む）

●配点比率（令和2年度）

事務（特別枠）					
試験区分	1次試験		2次試験		合計
	適性検査（SPI3）		論文試験	面接試験	
1次試験	100		—	—	100
2次試験	—		150	面接試験①300 面接試験②300	750

●筆記試験 出題科目一覧（令和2年度）

記述なし

●合格者の決定方法（令和2年度）

1次試験	総合得点順に決定します。
最終合格者	第2次試験の結果を総合して決定します。

（注）語学資格の点数加算については、英語、中国語、韓国語の高度な語学資格を有すると認められる場合、適性検査の点数に加算する

●試験実施状況（令和2年度）

区分	採用予定	申込者	受験者	1次合格者	2次受験者	最終合格者	最終倍率
事務（プレゼン型）	15	434	232	92	74	26	8.9

神戸市

【教養】 独自
【専門】 独自

一般枠（総合事務、土木、建築、電気、機械、化学、生物、環境、農業、造園、畜産、水産、生命科学）

●受験資格（令和2年度）

共	通	平成5年4月2日以降に生まれた者
---	---	------------------

●試験日程（令和2年度）

受験申込受付(WEB)	4月24日(金)～5月22日(金)
1次試験日	6月28日(日)
1次試験合格発表日	7月上旬
2次試験日	7月17日(金)、7月20日(月)～7月22日(水)のいずれか1日
2次試験合格発表日	8月上旬
3次試験日	8月17日(月)～8月20日(木)のいずれか2日
最終合格発表日	8月下旬

●試験概要（令和2年度）

試験種目		区分	解答時間	試験内容
1次試験	基礎的能力	総合事務、土木、建築、電気、機械、化学、生物、環境、農業、造園、畜産、水産、生命科学	150分	択一式(45問中40問解答) 一般知能:25問(必須解答) 一般知識 20問中15問選択解答 基礎的能力について択一式により行います。
	専門	総合事務、土木、建築、電気、機械、化学、生物、環境、農業、造園、畜産、水産、生命科学	80分	択一式(25問) 試験区分及び選択科目に対応する専門的知識について択一式により行います。
	適性検査	総合事務、土木、建築、電気、機械、化学、生物、環境、農業、造園、畜産、水産、生命科学	60分程度	職務遂行に必要な適性について検査を行います。 (面接試験の参考とします。配点なし。)
2次試験	面接	総合事務、土木、建築、電気、機械、化学、生物、環境、農業、造園、畜産、水産、生命科学	—	個別面接により行います。
3次試験	面接	総合事務、土木、建築、電気、機械、化学、生物、環境、農業、造園、畜産、水産、生命科学	—	個別面接により行います。
	グループワーク	総合事務、土木、建築、電気、機械、化学、生物、環境、農業、造園、畜産、水産、生命科学	—	神戸市を含む基礎的自治体が抱える課題について、グループで議論し、提案・発表を行います。 テーマについては、試験当日に指示します。
	論文	総合事務、土木、建築、電気、機械、化学、生物、環境、農業、造園、畜産、水産、生命科学	—	論文題については、試験当日に指示します。

●配点比率（令和2年度）

試験区分	総合事務、土木、建築、電気、機械、化学、生物、環境、農業、造園、畜産、水産、生命科学						合計
	1次試験		2次試験	3次試験			
	基礎的能力	専門	面接	グループワーク	面接	論文	
1次試験	160	140	—	—	—	—	300
2次試験	150		200	—	—	—	350
3次試験	150		200	100	200	100	750

●筆記試験 出題科目一覧 (令和2年度)

試験種目	区分	試験内容・出題科目など
基礎的能力	総合事務、土木、建築、電気、機械、化学、生物、環境、農業、造園、畜産、水産、生命科学	知能分野:文章理解、判断推理、数的推理、資料解釈 知識分野:社会事情政治・法律、経済、社会・一般事情、時事
	総合事務	憲法、行政法、民法、政治学、行政学、労働法、経済原論、財政学、経済政策、経済事情、経営学、会計学、マーケティング論、英語、国際関係論、国際経済学、国際経営論、教育学、数学、物理
専門試験	土木	応用力学、水理学、土質工学、材料・施工、都市計画、測量、土木計画
	建築	建築構造、構造力学、材料学、建築施工、建築設備、建築計画、環境原論、建築史、都市計画
	電気	電磁気学、電気回路、電気計測・制御、電気機器・電力工学、電子工学、情報・通信工学
	機械	材料力学、流体力学、熱力学、機械力学・制御、機械設計、機械材料、機械工作、電気工学
	化学	物理化学、分析化学、無機化学、無機工業化学、有機化学・有機工業化学、化学工学
	生物	生態学、系統分類学、自然環境保全、生物化学、分子生物学、細胞生物学
	環境	環境概論、環境政策、環境保全、環境汚染、廃棄物、地球環境、環境工学、物理・化学・生物
	農業	栽培学汎論、作物学、土壌肥科学、園芸学、育種遺伝学、植物病理学、農業経済一般
	造園	造園学原論、造園材料・施工、造園管理、造園関連基礎、造園計画・設計(都市・地方計画を含む)
	畜産	家畜育種学、家畜繁殖学、家畜飼養学、家畜栄養学、家畜生理学、家畜管理学(家畜衛生学を含む。)、畜産物利用学
	水産	水産事情・水産経済・水産法規、水産化学、水産利用学、水産生物学、水産資源学、培養殖学、水産環境科学
	生命科学	一般化学、分析化学、有機化学、生物有機化学、生物化学、土壌学・植物栄養学、食品科学、応用微生物学

●合格者の決定方法 (令和2年度)

1次試験	第1次試験の成績により決定します。
2次試験	第1次試験の得点を2分の1に換算し、第2次試験との総合成績により決定します。
最終合格者	第1次試験の得点を2分の1に換算し、第2次試験及び第3次試験との総合成績により決定します。

●試験実施状況 (令和2年度)

区分	採用予定	申込者	1次受験者	1次合格者	2次合格者	最終合格者	最終倍率	
総合事務	75	642	504	351	182	105	4.8	
福祉	5	23	20	10	3	3	6.7	
土木	8	41	32	28	17	12	2.7	
建築	3	15	10	8	5	1	10.0	
電気	若干名	11	8	7	5	3	2.7	
機械		7	5	5	3	2	2.5	
化学		7	5	1	-	-	-	
生物		7	6	4	2	1	6.0	
環境		3	2	-	-	-	-	
獣医		6	-	-	-	-	-	
畜産		2	2	2	-	-	-	
水産		-	-	-	-	-	-	
生命科学		1	1	1	1	-	-	
薬学		6	4	1	1	1	4.0	
農業		11	7	4	2	1	7.0	
造園		3	7	4	3	3	2	2.0

特別枠（総合事務、土木、建築、電気、機械）

●受験資格（令和2年度）

共	通	平成8年4月2日以降に生まれた者
---	---	------------------

●試験日程（令和2年度）

受験申込受付(WEB)	3月1日(日)～3月24日(火)
1次試験日	4月19日(日)
1次試験合格発表日	5月上旬
2次試験日	5月18日(月)～5月20日(水)
2次試験合格発表日	6月上旬
3次試験日	6月14日(日)、6月15日(月)のいずれか1日
最終合格発表日	6月下旬

●試験概要（令和2年度）

試験種目		区分	解答時間	試験内容
1次試験	適性検査 (能力)	総合事務、土木、建築、 電気、機械	90分	言語・文章理解、数的推理などの基礎能力を問います。
			30分	択一式 時事問題について択一式により行います。
	論文	総合事務、土木、建築、 電気、機械	60分	社会事象等に関する論文試験を行います。 論文題については、試験当日に指示します。
2次試験	適性検査 (職務適性)	総合事務、土木、建築、 電気、機械	60分	職務遂行に必要な適性について検査を行います。 (面接試験の参考とします。配点なし。)
	面接	総合事務、土木、建築、 電気、機械	—	個別面接により行います。
	アピール シート	総合事務	—	申込時に添付。
3次試験	面接	総合事務、土木、建築、 電気、機械	—	個別面接により行います。
	グループ ワーク	総合事務、土木、建築、 電気、機械	—	神戸市を含む基礎的自治体が抱える課題について、グループで議論し、提案・発表を行います。テーマについては、試験当日に指示します。

●配点比率（令和2年度）

総合事務							
試験区分	1次試験		2次試験		3次試験		合計
	適性検査 (能力)	論文	面接	アピールシート	面接	グループワーク	
1次試験	150	100	—	—	—	—	250
2次試験	—	—	200	20	—	—	220
3次試験	—	—	200	20	200	100	520

土木、建築、電気、機械							
試験区分	1次試験		2次試験	3次試験		合計	
	専門	論文	面接	面接	グループワーク		
1次試験	150	100	—	—	—	250	
2次試験	—	—	200	—	—	200	
3次試験	—	—	200	200	100	500	

●筆記試験 出題科目一覧（令和2年度）

記述なし

●合格者の決定方法（令和2年度）

1 次 試 験	第1次試験の成績により決定します。
2 次 試 験	第2次試験の成績により決定します。
最 終 合 格 者	第2次試験及び第3次試験の総合成績により決定します。

●試験実施状況（令和2年度）

区分	採用予定	申込者	1次受験者	1次合格者	2次合格者	最終合格者	最終倍率
総 合 事 務	30	410	313	131	71	28	11.2
福 祉 社	若干名	51	38	17	7	5	7.6
土 木	3	15	9	6	4	1	9.0
建 築	3	20	17	14	7	4	4.3
電 気	3	9	6	5	3	1	6.0
機 械		5	2	1	1	1	2.0

●受験資格（令和2年度）

事務一般枠	平成2年4月2日から平成11年4月1日までに生まれた者
事務特別枠	昭和56年4月2日から平成6年4月1日までに生まれた者
土木、造園、建築、機械、電気、化学、農芸化学、水産、畜産	昭和61年4月2日から平成11年4月1日までに生まれた者

●試験日程（令和2年度）

受験申込受付（WEB）	4月24日（金）～5月15日（金）
1次試験日	6月28日（日）
1次試験合格発表日	7月8日（水）
2次試験日	7月中旬～下旬
2次試験合格発表日	8月上旬～8月中旬
3次試験日	8月中旬～下旬
最終合格発表日	9月上旬～9月中旬

●試験概要（令和2年度）

試験種目		区分	解答時間	試験内容
1次試験	教養試験	事務（一般枠）	120分	択一式（40問） 公務員として必要な一般的な知識、知能及び教養について（人文科学・自然科学分野の出題はありません。）
	専門試験	事務（一般枠）、土木、造園、建築、機械、電気、化学、農芸化学、水産、畜産	120分	択一式（40問）
	能力試験（SPI3）	事務（特別枠）	50分	択一式（40問） 文章理解は数量的等の基礎能力について
	エントリーシート	事務（一般枠、特別枠）、土木、造園、建築、機械、電気、化学、農芸化学、水産、畜産	80分	自己PR等 （口述試験で使用し、採点しません。）
2次試験	口述試験等	事務（一般枠、特別枠）、土木、造園、建築、機械、電気、化学、農芸化学、水産、畜産	—	個別面接、適性検査 主として人物、識見、職務適性、対人関係能力等を評価します。 ※適性検査の結果については、口述試験の参考とします。
3次試験	口述試験	事務（一般枠、特別枠）、土木、造園、建築、機械、電気、化学、農芸化学、水産、畜産	—	個別面接、集団討論 主として人物、識見、職務適性、対人関係能力等を評価します。

●配点比率（令和2度）

事務(一般枠)			
教養試験	専門試験	口述試験(2次)	口述試験(3次)
100	100	300	600

事務(特別枠)		
能力試験	口述試験(2次)	口述試験(3次)
100	300	600

土木、造園、建築、機械、電気、化学、農芸化学、水産、畜産		
専門試験	口述試験(2次)	口述試験(3次)
100	300	600

●筆記試験 出題科目一覧（令和2年度）

試験種目	区分	試験内容・出題科目など
専門試験	事務一般枠	政治学、行政学、憲法、行政法、民法、刑法、労働法、経済学、財政学、社会政策、国際関係
	土木	数学・物理、応用力学、水理学、土質工学、測量、都市計画、土木計画、材料・施工
	造園	造園学原論、造園材料・施工、造園管理、造園計画・設計(都市・地方計画を含む)、造園関連基礎
	建築	数学・物理、構造力学、材料学、環境原論、建築史、建築構造、建築計画、都市計画、建築設備、建築施工
	機械	数学・物理、材料力学、流体力学、熱力学、電気工学、機械力学・制御、機械設計、機械材料、機械工作
	電気	数学・物理、電磁気学・電気回路、電気計測・制御、電気機器・電力工学、電子工学、情報・通信工学
	化学	数学・物理、物理化学、分析化学、無機化学・無機工業化学、有機化学・有機工業化学、化学工学

●合格者の決定方法（令和2年度）

非公表

●試験実施状況（令和2年度）

区分	採用予定	申込者	1次受験者	1次合格者	2次受験者	2次合格者	3次受験者	最終合格者	最終倍率
事務一般枠	38	338	193	115	111	80	80	44	4.4
事務特別枠	10	339	288	47	44	20	20	10	28.8
土木	9	16	11	10	9	9	9	6	1.8
造園	1	2	1	1	1	1	1	1	1.0
建築	4	13	11	10	10	7	7	5	2.2
機械	3	17	13	8	7	6	6	3	4.3
電気	4	12	7	6	6	5	5	4	1.8
化学	1	21	13	5	5	3	2	1	13.0

広島市

【教養】 全国型
【専門】 ※

※行政：全国型／法律：法律専門型／経済：経済専門型

●受験資格（令和2年度）

共 通	平成3年4月2日以降に生まれた者
-----	------------------

●試験日程（令和2年度）

受験申込受付(WEB)	5月19日(火)～6月3日(水)
1次試験日	6月28日(日)
1次試験合格発表日	7月3日(金)
2次試験日	7月9日(木)～7月27日(月)
2次試験合格発表日	7月31日(金)
3次試験日	8月7日(金)～8月28日(金)
最終合格発表日	9月4日(金)

●試験概要（令和2年度）

試験種目		区分	解答時間	試験内容
1次試験	教養試験	行政事務、土木、建築、電気、機械、化学、農芸化学、造園、園芸、林業、水産	150分	択一式(55問中45問解答) 一般知能:25問(必須解答) 一般知識:30問中20問選択解答 公務員として必要な大学卒業程度の一般的知識及び知能についての活字印刷文による択一式筆記試験
	専門試験	行政事務、土木、建築、電気、機械、化学、農芸化学、造園、園芸、林業、水産	120分	択一式(40問) 各試験区分に応じて必要な大学卒業程度の専門的知識についての活字印刷文による択一式筆記試験
2次試験	面接試験	行政事務、土木、建築、電気、機械、化学、農芸化学、造園、園芸、林業、水産	—	主として人物、識見等についての個別面接
	小論文試験	行政事務、土木、建築、電気、機械、化学、農芸化学、造園、園芸、林業、水産	60分	文章による表現力等についての筆記試験(約1,000字)
3次試験	面接試験	行政事務、土木、建築、電気、機械、化学、農芸化学、造園、園芸、林業、水産	—	主として人物、識見等についての個別面接
	集団討論試験	行政事務、土木、建築、電気、機械、化学、農芸化学、造園、園芸、林業、水産	50分	一つのテーマについて8人程度のグループで討論

●配点比率（令和2年度）

行政事務					
教養試験	専門試験	面接試験(2次)	小論文試験	面接試験(3次)	集団討論試験
150	150	200	200	300	200
土木、建築、電気、機械、化学、農芸化学、造園、園芸、林業、水産					
教養試験	専門試験	面接試験(2次)	小論文試験	面接試験(3次)	集団討論試験
150	200	200	200	300	200

●筆記試験 出題科目一覧 (令和2年度)

試験種目	区分	試験内容・出題科目など	
教 養 試 験	行政事務、土木、 建築、電気、機械、 化学、農芸化学、 造園、園芸、林業、 水産	一般的知識:社会科学、人文科学、自然科学等 一般的知能:文章理解、判断推理、数的推理、資料解釈等	
		法律	憲法、行政法、民法、刑法、労働法、社会政策、国際関係
専 門 試 験	行政事務	経済	経済原論、財政学、経済史、統計学、経済事情、経済政策、社会政策、国際関係
		行政	政治学、行政学、憲法、行政法、民法、刑法、労働法、経済学、財政学、社会政策、国際関係
		土木	数学・物理、応用力学、水理学、土質工学、測量、都市計画、土木計画、材料・施工
	建築	数学・物理、構造力学、材料学、環境原論、建築史、建築構造、建築計画、都市計画、建築設備、建築施工	
	電気	数学・物理、電磁気学・電気回路、電気計測・制御、電気機器・電力工学、電子工学、情報・通信工学	
	機械	数学・物理、材料力学、流体力学、熱力学、電気工学、機械力学・制御、機械設計、機械材料、機械工作	
	化学	数学・物理、物理化学、分析化学、無機化学・無機工業化学、有機化学・有機工業化学、化学工学	
	農芸化学	一般化学、分析化学、有機化学、生物有機化学、生物化学、土壌学・植物栄養学、食品科学、応用微生物学	
	造園	造園学原論、造園材料・施工、造園管理、造園計画・設計(都市・地方計画を含む。)、造園関連基礎	
	園芸	栽培学汎論、作物学、園芸学、育種遺伝学、植物病理学、昆虫学、土壌肥科学、植物生理学、畜産一般、農業経済一般	
	林業	森林政策・森林経営学、造林学(森林生態学、森林保護学を含む。)、林業工学、林産一般、砂防工学	
	水産	水産事情・水産経済・水産法規、水産環境科学、水産生物学、水産資源学、漁業学、増養殖学、水産化学、水産利用学	

●合格者の決定方法 (令和2年度)

1 次 試 験	教養試験と専門試験の総合成績により決定します。
2 次 試 験	第1次試験と第2次試験の総合成績により決定します。
最 終 合 格 者	第1次試験から第3次試験までの総合成績により決定します。

●試験実施状況 (令和2年度)

区分	採用予定	申込者	1次受験者	1次合格者	2次受験者	2次合格者	3次受験者	最終合格者	最終倍率
行 政 事 務	70	660	488	210	206	140	140	93	5.2
社 会 福 祉	10	25	20	19	18	17	16	11	1.8
心 理 学	5	13	11	9	9	8	8	4	2.8
土 木	30	52	31	26	26	26	25	24	1.3
建 築	5	23	19	18	17	12	12	10	1.9
電 気	5	7	5	5	4	4	4	3	1.7
機 械	5	13	7	6	6	5	5	4	1.8
化 学	若干名	20	14	9	9	4	4	2	7.0
農 芸 化 学	若干名	12	10	5	5	2	2	1	10.0
造 園	若干名	6	5	3	3	3	3	2	2.5
園 芸	若干名	15	8	5	5	2	2	1	8.0
林 業	若干名	5	4	3	3	2	1	1	4.0
水 産	若干名	4	4	4	3	2	2	1	4.0
獣 医 師	若干名	4	4	4	4	4	4	3	1.3
保 健 師	10	38	30	29	29	20	20	13	2.3

行政（総合）、行政、土木、建築、電気、機械、環境

●受験資格（令和2年度）

共 通 平成2年4月2日から平成11年4月1日までに生まれた者

●試験日程（令和2年度）

受験申込受付（WEB）	5月7日（木）～5月25日（月）
第1次試験日	6月28日（日）
筆記試験合格発表日	7月8日（水）
1次口述試験日	7月18日（土）、7月19日（日）のいずれか1日
1次口述試験合格発表日	7月28日（火）
2次試験日	【論述・適性検査等】8月2日（日） 【口述】8月18（火）～21日（金）のいずれか1日
最終合格発表日	8月下旬

●試験概要（令和2年度）

試験種目		区分	解答時間	試験内容
1次試験	教養試験	行政（総合）、行政Ⅰ、土木、建築、電気、機械、環境	150分	択一式（50問） 公務員として必要な一般的知識及び一般的知能について択一式による筆記試験を行います。
	専門試験	行政（総合）、土木、建築、電気、機械、環境	120分	択一式（40問） 専門的知識、能力について択一式による筆記試験を行います。
	小論文	行政Ⅰ	60分	課題を与えます。
	口述試験	行政（総合）、行政Ⅰ、土木、建築、電気、機械、環境	—	個別面接を行います。
2次試験	論述試験	行政（総合）、行政Ⅰ、電気、機械、環境	60分	課題を与えます。
	設計製図	土木、建築	60分	それぞれの専門分野に関する課題を与えます。 建築区分については、製図を行います。
	適性検査	行政（総合）、行政Ⅰ、土木、建築、電気、機械、環境	—	職務に対する適応性について簡単な検査をします
	口述試験	行政（総合）、行政Ⅰ、土木、建築、電気、機械、環境	—	個別面接を行います。

●配点比率（令和2年度）

行政（総合）、電気、機械、環境				
教養試験	専門試験	口述試験（1次）	論述試験	口述試験（2次）
40	60	100	50	100
行政Ⅰ				
教養試験	小論文	口述試験（1次）	論述試験	口述試験（2次）
40	60	100	50	100
土木、建築				
教養試験	専門試験	口述試験（1次）	設計製図	口述試験（2次）
40	60	100	50	100

●筆記試験 出題科目一覧（令和2年度）

試験種目	区分	試験内容・出題科目など
教 養 試 験	行政(総合)、行政Ⅰ、土木、建築、電気、機械、環境	一般的知識:社会、人文、自然等の知識 一般的知能:文章理解、判断推理、数的処理、資料解釈等の能力
	専 門 試 験	行政(総合)
	土木Ⅰ・Ⅱ	数学・物理、応用力学、水理学、土質工学、測量、都市計画、土木計画、材料・施工等
	建築Ⅰ・Ⅱ	数学・物理、構造力学、材料学、環境原論、建築史、建築構造、建築計画、都市計画、建築設備、建築施工等
	電気Ⅰ・Ⅱ	数学・物理、電磁気学・電気回路、電気計測・制御、電気機器・電力工学、電子工学、情報・通信工学等
	機械Ⅰ・Ⅱ	数学・物理、材料力学、流体力学、熱力学、電気工学、機械力学・制御、機械設計、機械材料、機械工作等
	環境Ⅰ・Ⅱ	共通問題 数学、化学、環境学等
		選 択 問 題 A 物理、物理化学、分析化学、無機化学・無機工業化学、有機化学・有機工業化学、化学工学等
		B 生物、生物化学、生態学、分類学、形態学、細胞学、遺伝学、応用微生物学、水産生物学等

●合格者の決定方法（令和2年度）

1 次 試 験	第1次試験の総合成績により決定します。
最 終 合 格 者	第2次試験の総合成績により決定します。

●試験実施状況（令和2年度）

区分	採用予定	申込者	1次受験者	1次合格者	2次受験者	最終合格者	最終倍率
行 政 (総 合)	22	292	187	33	30	26	7.2
行 政 Ⅰ	15	151	118	23	22	17	6.9
社 会 福 祉	4	23	20	7	7	4	5.0
心 理	3	16	9	6	5	4	2.3
土 木 Ⅰ	13	37	21	12	12	9	2.3
土 木 Ⅱ		23	17	8	8	7	2.4
建 築 Ⅰ	3	9	7	4	4	2	3.5
建 築 Ⅱ		7	7	2	2	2	3.5
電 気 Ⅰ	5	13	7	4	4	2	3.5
電 気 Ⅱ		12	10	4	4	3	3.3
機 械 Ⅰ	2	10	7	1	1	0	-
機 械 Ⅱ		12	10	3	3	2	5.0
環 境 Ⅰ A	1	16	10	0	0	0	-
環 境 Ⅰ B		0	0	0	0	0	-
環 境 Ⅱ A		10	9	1	1	1	9.0
環 境 Ⅱ B		6	6	1	1	1	6.0
衛 生 A	3	11	6	4	4	4	1.5
衛 生 B		4	4	2	2	0	-
衛 生 C		3	2	0	0	0	-
衛 生 D		0	0	0	0	0	-
獣 医 師	1	5	4	2	2	2	2.0
保 健 師	8	36	30	19	18	17	1.8

行政・土木・建築（特別枠）

●受験資格（令和2年度）

行政（特別枠）	平成5年4月2日から平成11年4月1日までに生まれた者
土木・建築（特別枠）	平成3年4月2日から平成11年4月1日までに生まれた者

●試験日程（令和2年度）

受験申込受付（WEB）	3月9日（月）～3月30日（月）
書類選考	受験申込時にエントリーシート提出
1次口述試験対象者発表日	4月16日（木）
1次試験日	4月26日（日）
1次試験合格発表日	5月7日（木）
2次試験日	5月14日（木）、5月15日（金）のいずれか1日
2次試験合格発表日	5月下旬
3次試験日	5月下旬
最終合格発表日	6月中旬

●試験概要（令和2年度）

試験種目	区分	解答時間	試験内容
1次試験	書類選考	行政・土木・建築	—
	適性検査	行政・土木・建築	—
	口述試験	行政・土木・建築	—
2次試験	グループワーク	行政・土木・建築	—
	口述試験	行政・土木・建築	—
3次試験	小論文	行政・土木・建築	60分程度
	口述試験	行政・土木・建築	—

●配点比率（令和2年度）

行政・土木・建築						
エントリーシート	適性検査	口述試験(1次)	グループワーク	口述試験(2次)	小論文	口述試験(3次)
50	50	100	100	100	50	100

●筆記試験 出題科目一覧（令和2年度）

非公表

●合格者の決定方法（令和2年度）

書類選考	受験申込時に提出したエントリーシートの成績順に決定します。
1次試験	第1次試験の総合成績により決定します。
2次試験	第2次試験の総合成績により決定します。
最終合格者	第3次試験の総合成績により決定します。

●試験実施状況（令和2年度）

区分	採用予定	申込者	口述対象者	1次受験者	1次合格者	2次受験者	2次合格者	3次受験者	最終合格者	最終倍率
行政（特別枠）	20	432	262	215	114	107	42	39	27	16.0
土木（特別枠）	5	7	7	7	6	6	3	3	1	7.0
建築（特別枠）	若干名	13	12	10	6	6	3	3	2	6.5

行政

●受験資格（令和2年度）

行	政	平成3年4月2日から平成11年4月1日までに生まれた者
---	---	-----------------------------

●試験日程（令和2年度）

受験申込受付(WEB)	5月1日(金)～5月19日(火)
筆記試験日	6月28日(日)
口頭試問受験該当者発表	7月2日(木)
口頭試問	7月11日(土)～7月17日(金)
1次試験合格発表日	7月22日(水)
2次試験日	8月上旬～9月上旬
最終合格発表日	9月中旬

●試験概要（令和2年度）

試験種目		区分	解答時間	試験内容
1次試験	教養試験	行政	150分	5肢択一式(50問) 公務員として必要な一般教養についての5肢択一式による筆記試験を行います
	専門試験	行政	120分	5肢択一式(40問) 各募集区分に必要な専門知識及び能力についての5肢択一式による筆記試験を行います。
	口頭試問	行政	—	個別面接を行います。 態度、服装、印象をはじめ対人関係について、コミュニケーション力、情緒安定性、協調性・関係構築力、責任感・積極性の観点から評定します。
2次試験	論文	行政	90分	論文試験を行います。(1,200字程度) 理解力・問題意識、独自性(自分の考え・意見)、論理性・構成力、表現力の観点から評定します。
	口頭試問	行政	—	個別面接を行います。 ※口頭試問の参考とするために適性検査等を実施します。

●配点比率（令和2年度）

行政				
教養試験	専門試験	口頭試問(1次)	論文	口頭試問(2次)
100	100	180	40	200

●筆記試験 出題科目一覧（令和2年度）

試験種目	区分	試験内容・出題科目など
教養試験	行政	一般的知識:社会・人文・自然 一般的知能:文章理解(英文を含む)、判断推理、数的推理、資料解釈
専門試験	行政	政治学、行政学、憲法、行政法、民法、刑法、労働法、経済学、財政学、社会政策、国際関係、経営学

●合格者の決定方法（令和2年度）

1次口頭試問受験該当者	教養試験及び専門試験により決定します。
1次試験	第1次試験科目の総合成績により決定します
最終合格者	第2次試験科目の総合成績のみにより決定し、第1次試験の成績は反映されません。

●試験実施状況（令和2年度）

区分	採用予定	申込者	1次受験者	1次合格者	2次受験者	最終合格者	最終倍率
行政	60	773	471	194	182	70	6.7
福祉	2	26	13	6	6	2	6.5
心理	2	19	13	6	6	2	6.5

行政（特別枠）

●受験資格（令和2年度）

行政（特別枠） 平成3年4月2日から平成11年4月1日までに生まれた者

●試験日程（令和2年度）

受験申込受付（WEB）	3月2日（月）～3月16日（月）
S P I 試験実施日	4月1日（水）～4月16日（木）
口頭試問受験該当者発表日	4月24日（金） 「面接票」と「アピールシート」の郵送締切日：4月27日（月）消印有効
口頭試問試験日	5月上旬～中旬
1次試験合格発表日	5月15日（金）
2次試験日	【論文】5月下旬 【口頭試問】5月下旬～6月上旬
最終合格発表日	6月中旬

●試験概要（令和2年度）

試験種目		区分	解答時間	試験内容
1次試験	教養試験（SPI）	行政	—	公務員として必要な基礎能力（言語的理解、論理的思考、数量的処理能力）についての試験を行います。 口頭試問の参考とするために、性格検査を実施します。
	口頭試問	行政	—	個別面接を行います。「アピールシート」による自主的アピールを含みます。
2次試験	論文	行政	45分	課題解決シートを作成します。（450字程度）
	口頭試問	行政	—	個別面接を行います。 論文試験で作成した「課題解決シート」の説明を含みます。 口頭試問の参考とするため、適性検査等を実施します。

●配点比率（令和2年度）

行政			
教養試験(SPI)	口述試験(1次)	論文	口述試験(2次)
100	270	40	300

●筆記試験 出題科目一覧（令和2年度）

非公表

●合格者の決定方法（令和2年度）

口頭試問受験該当者	教養試験(SPI)により決定します。
1次試験	第1次試験の総合成績により決定します。
最終合格者	第2次試験の総合成績により決定します。

●試験実施状況（令和2年度）

区分	採用予定	申込者	1次受験者	1次合格者	2次受験者	最終合格者	最終倍率
行政（特別枠）	30	1058	883	72	66	33	26.8

土木、建築、電気、機械、造園

●受験資格（令和2年度）

共通 平成3年4月2日から平成11年4月1日までに生まれた者

●試験日程（令和2年度）

受験申込受付（WEB）	5月1日（金）～5月19日（火）
1次試験日	6月28日（日）
1次試験合格発表日	7月10日（金）
2次試験日	7月中旬～9月上旬
最終合格発表日	9月中旬

●試験概要（令和2年度）

試験種目		区分	解答時間	試験内容
1次試験	教養試験	土木、建築、電気、機械、造園、衛生管理(環境)、衛生管理(動物)	150分	5肢択一式(50問) 公務員として必要な一般教養についての5肢択一式による筆記試験を行います
	専門試験	土木、建築、電気、機械、造園、衛生管理(環境)、衛生管理(動物)	120分	5肢択一式(40問) 各募集区分に必要な専門知識及び能力についての5肢択一式による筆記試験を行います。
2次試験	論文	土木、建築、電気、機械、造園、衛生管理(環境)、衛生管理(動物)	90分	論文試験を行います。(1,200字程度) 理解力・問題意識、独自性(自分の考え・意見)、論理性・構成力、表現力の観点から評定します。
	口頭試問	土木、建築、電気、機械、造園、衛生管理(環境)、衛生管理(動物)	—	個別面接を行います。 ※口頭試問の参考とするために適性検査等を実施します。

●配点比率（令和2年度）

土木、建築、電気、機械、造園			
教養試験	専門試験	論文	口頭試問
100	100	40	200

●筆記試験 出題科目一覧（令和2年度）

試験種目	区分	試験内容・出題科目など
教養試験	土木、建築、電気、機械、造園	一般的知識:社会・人文・自然 一般的知能:文章理解(英文を含む。)、判断推理、数的推理、資料解釈
専門試験	土木	数学・物理、応用力学、水理学、土質工学、測量、都市計画、土木計画、材料・施工
	建築	数学・物理、構造力学、材料学、環境原論、建築史、建築構造、建築計画、都市計画、建築設備、建築施工
	電気	数学・物理、電磁気学・電気回路、電気計測・制御、電気機器・電力工学、電子工学、情報・通信工学
	機械	数学・物理、材料力学、流体力学、熱力学、電気工学、機械力学・制御、機械設計、機械材料、機械工作
	造園	造園学原論、造園材料・施工、造園管理、造園計画・設計(都市・地方計画を含む)、造園関連基礎

●合格者の決定方法（令和2年度）

1次試験	第1次試験科目の総合成績により決定します
最終合格者	第2次試験科目の総合成績のみにより決定し、第1次試験の成績は反映されません。

●試験実施状況（令和2年度）

区分	採用予定	申込者	1次受験者	1次合格者	2次受験者	最終合格者	最終倍率
土木	25	104	62	42	39	26	2.4
建築	12	32	24	14	13	8	3.0
電気	9	32	23	16	12	10	2.3
機械	5	22	15	9	8	6	2.5
造園	2	8	5	4	4	2	2.5
衛生管理(環境)	3	26	22	9	9	3	7.3
衛生管理(動物)	4	64	48	12	12	4	12.0
獣医師	4	12	7	5	4	2	3.5
保健師	15	84	67	31	29	16	4.2

熊本市

【教養】 全国型
【専門】 全国型

事務職、土木、機械、電気、化学、農業

●受験資格（令和2年度）

事務職	昭和63年4月2日から平成11年4月1日までに生まれた者
技術職	昭和63年4月2日から平成11年4月1日までに生まれた者

●試験日程（令和2年度）

受験申込受付（WEB）	4月17日（金）～5月8日（金）
1次試験日	6月28日（日）
1次試験合格発表日	7月21日（火）
2次試験日	8月12日（水）～8月21日（金）
最終合格発表日	8月28日（金）

●試験概要（令和2年度）

試験種目	区分	解答時間	試験内容
1次試験	教養試験	150分	択一式 公務員として必要な一般的な知識及び知能についての大学卒業程度の択一式による筆記試験です。
	専門試験	120分	択一式 職種ごとに必要な知識についての大学卒業程度の択一式による筆記試験です。
	語学資格加 points	—	一定水準以上の語学資格を有する方については、教養試験において10点を加点します（ただし、教養試験の配点に達するまで）。
2次試験	論文試験	90分	課題に対する認識力、論理性、文章構成力等についての筆記試験です。 ※1次試験日に実施。第1次試験合格者のみ、第2次試験で採点を行います。
	口述試験	—	集団討論 課題に対する討論形式による口述試験です。 個別面接 個別面接による口述試験を同日に2回行います。

●配点比率（令和2年度）

事務職				
教養試験	専門試験	論文	集団討論	個別面接
100	100	100	50	250
土木、機械、電気、化学、農業				
教養試験	専門試験	論文	集団討論	個別面接
100	150	100	50	250

●筆記試験 出題科目一覧（令和2年度）

試験種目	区分	試験内容・出題科目など
専門試験	事務職	政治学、行政学、憲法、行政法、民法、刑法、労働法、経済学、財政学、社会政策、国際関係、経営学、教育学等
	土木	数学・物理、応用力学、水理学、土質工学、測量、都市計画、土木計画、材料・施工等
	機械	数学・物理、材料力学、流体力学、熱力学、電気工学、機械力学・制御、機械設計、機械材料、機械工作等
	電気	数学・物理、電磁気学・電気回路、電気計測・制御、電気機器・電力工学、電子工学、情報・通信工学等
	化学	数学・物理、物理化学、分析化学、無機化学・無機工業化学、有機化学・有機工業化学、化学工学等
	農業	栽培学汎論、作物学、園芸学、育種遺伝学、植物病理学、昆虫学、土壤肥科学、植物生理学、畜産一般、農業経済一般等

●合格者の決定方法（令和2年度）

1次試験	第一次試験の総合得点の高い順に決定します。
最終合格者	第二次試験の総合得点の高い順に決定します。

●試験実施状況（令和2年度）

区分	採用予定	申込者	1次受験者	1次合格者	最終合格者	最終倍率
事務職	44	627	365	89	44	8.3
社会福祉職	5	31	23	10	5	4.6
心理相談員	2	15	7	4	2	3.5
土木	10	37	13	10	8	1.6
機械	2	16	11	7	2	5.5
電気	2	14	7	5	2	3.5
化学	1	19	16	5	1	16.0
農業	2	23	12	7	2	6.0
保健師	7	47	28	14	7	4.0

市役所(政令指定都市以外)の試験概要一覧

市役所試験の特徴

第1次試験日

市役所試験は試験実施日を基準として、一部の市を除きいくつかの共通試験日に一斉に実施しています(以下、便宜上A・B・C・D 日程と表記)。なお、一部の市は独自日程で実施している場合や第1次試験日が年度により変更になる場合がありますので、最新情報を逃すことのないよう、日頃から各市のWEBサイトなどで最新情報をチェックしておくことをおすすめします。

試験日程	令和2年度試験日	特徴など
市役所A日程 ※例年6月第4日曜日	6月28日(日)	<ul style="list-style-type: none"> 県庁所在地などの比較的大きな市が実施。 試験問題は地方上級との共通問題が多い。
市役所B日程 ※例年7月第4日曜日	7月12日(日)	<ul style="list-style-type: none"> 実施する市はそれほど多くない。 他の試験と日程が重ならないことから併願受験がしやすい。
市役所C日程 ※例年9月第3・4日曜日	9月20日(日)	<ul style="list-style-type: none"> 全国的に最も多くの市が実施。 専門試験なしで受験可能な市が多い。
市役所D日程 ※例年10月第3日曜日	10月18日(日)	<ul style="list-style-type: none"> 実施する市は非常に少ない。 高卒程度の警察官採用試験等と問題が一部共通しているため、専門択一試験は実施されないことがほとんどである。
独自日程	—	<ul style="list-style-type: none"> 独自問題、SPI、エントリーシート等を実施。

受験申込

近年は公務員試験の受験申込はインターネット申込が主流ですが、市役所の場合は今でも持参や郵送申込の自治体も多く、受験申込時に志望理由などが問われる簡単な面談が実施される場合や、履歴書・エントリーシート・自己PR書などの提出が求められる場合があります。また、志望先の市についての知識が問われる独自問題が実施されたり、択一試験前に性格/適性検査・試験が実施されることもあります。

受験申込直前になって焦ることのないよう、過去の試験情報や最新の試験案内などを確認しておきましょう。

新教養試験について

平成30年度に、市役所や町村職員の採用試験において新しく登場した採用試験の一種です。上記の試験日程などによっていくつかのタイプに分かれています。

Standard	<ul style="list-style-type: none"> 40問/120分：五肢択一式、知能分野20題・知識分野20題 これまでに比べて時事を重視し、社会的に幅広い分野の題材(ICT、環境問題、社会保障など)を出題し、「古文」、「哲学、文学、芸術等」、「国語(漢字の読み、ことわざ等)」の出題はない。 IとIIの難度は、I=大学卒業程度以上の受験者、II=高校卒業程度～大学卒業程度まで幅広い受験者を想定したものである。
Logical	<ul style="list-style-type: none"> 40問/120分：五肢択一式、知能分野27題・知識分野13題 上記のStandardと同様に時事を重視することや、「古文」、「哲学、文学、芸術等」、「国語(漢字の読み、ことわざ等)」の出題がないことも共通しているが、知能分野を増やす一方で、知識分野では「自然科学」の出題がないことが特徴となる。 IとIIの難度は、上記のStandardと同様。
Light	<ul style="list-style-type: none"> 60問/75分：四肢選択式、社会への関心と理解24題・言語的な能力18題・論理的な能力18題 公務員試験の準備をしていない民間企業志望者も受験しやすい試験。 「社会への関心と理解」「言語的な能力」「論理的な能力」の3分野からなる。

適性検査等について

地方公務員試験では、択一試験や論文試験とは別に「適性検査」が実施されることがあります。多くの場合はいわゆる性格検査であり、「職場適応性検査」という名で実施されます。また、この適応性検査と区別して、「事務適性検査」は、大卒程度の試験で実施される「専門択一試験」の代替として使われることが多く、専門択一が出題される市役所で実施されることはほとんどありません。

職場適応性検査	<ul style="list-style-type: none"> 職場への適応性を職務や対人関係に関連する性格の面からみる検査 150題/20分 特に対策は不要
事務適性検査	<ul style="list-style-type: none"> 事務職員としての適応性を正確性、迅速さ等の作業面からみる検査 100題/10分 問題慣れのために2週間程度事前の対策（練習）を推奨します
その他	<ul style="list-style-type: none"> 社会人基礎試験（90分/75問） SCOA-A（基礎能力検査/60分/120問） SCOA-B（パーソナリティ検査） SCOA-C（事務能力検査/50分） TAPOC（事務職適性検査/40分） SPI3（総合適性検査/70分）

■試験概要一覧の見方■

次項からの試験概要は、令和2年度（2020年度）の主に大卒程度試験・行政一般事務系職種の受験案内や、一部TAC受講生からの情報を参考に作成しています。（薄網がかけられている一部の自治体は、過年度の情報を掲載。）試験情報は試験種や年度により異なる場合がありますので、受験の際は必ず最新の試験案内などをご確認ください。

自治体名	1次試験実施日	受験資格（年齢・限）	採用予定数	選考過程							備考		
				教養等	専門	論文	事務適性試験	適性・性格検査	個別面接	集団面接		集団討論・GW	
			(名)	(分)	(問)	(分)	(問)	実施(分)					
函館市	7/14(日)	H2	40	不明	不明	—	—	—	—	①	②③	—	②
1次試験実施日	: 原則として択一試験実施日を記載しています。												
受験資格	: 受験可能な上限年齢の生年を記載しています。 年齢要件の他に、大学卒業、普通免許取得等の要件がある場合もあります。												
採用予定数	: *が付してある場合は、大卒程度の行政事務職以外の区分を含んだ採用予定数です。												
選考過程	: ①＝第1次試験、②＝第2次試験などは、実施のタイミングを表しています（＝実施無し）。												
事務適性試験	: 主に事務能力検査、事務職適性検査などを指します。												
適性・性格検査	: 主にパーソナリティ検査などを指します。												
※教養・専門択一試験は特に注記がない限り、第1次試験として実施されます。													

■北海道

自治体名	1次試験実施日	受験資格(年齢上限)	採用予定数	選考過程											備考
				教養等		専門		論文文		事務適性試験	適性・性格検査	個別面接	集団面接	集団討論・GW	
				(名)	(分)	(問)	(分)	(問)	実施						
函館市	8/16(日)	H3	20	不明	不明	-	-	-	-	-	①	②③	-	-	
小樽市	9/20(日)	S56	若干	-	-	-	-	-	-	-	-	②	-	-	①総合適性検査(60分)
旭川市	※	H2	20	②SPI3	-	-	-	-	-	-	-	③	①	③	①5/18~5/29、書類審査
室蘭市	4/24(金)	S60	7	-	-	-	-	-	-	-	-	③	-	②	①書類審査
釧路市	7/12(日)	H2	10	不明	不明	-	-	①	不明	-	①	②	②	②	
帯広市	※	H3	20*	総合適性試験	-	-	-	-	-	-	-	②③	-	②	①5/13~5/31
北見市	9/27(日)	H2	15*	総合能力検査	-	-	-	②	不明	-	-	③	-	-	
夕張市	9/20(日)	H2	若干	不明	不明	-	-	-	-	-	①	-	②	-	
岩見沢市	7/12(日)	H5	15	不明	不明	-	-	-	-	-	①	③	②	-	
網走市	※	H2	若干	60	※	-	-	①	90	-	②	①②	-	-	①7/4~7/5、基礎能力試験
留萌市	6/20(土)	H2	5	SPI3	-	-	-	-	-	-	-	②	①	-	①ES ②書面審査
苫小牧市	6/21(日)	H3	10*	SPI3	-	-	-	-	-	-	-	①②	-	-	
稚内市	※	H3	6*	110	※	-	-	-	-	-	②	②	②	-	①基礎能力検査
美唄市	9/20(日)	不明	不明	①	不明	-	-	①	不明	-	-	②	-	-	
芦別市	9/20(日)	※	若干*	120	40	-	-	①	60	-	①	②	-	-	①9/15~9/24
江別市	※	H3	5	基礎能力検査	-	-	-	-	-	-	①	②	-	-	
赤平市	9/20(日)	S60	若干*	不明	不明	-	-	①	不明	-	①	②	-	-	
紋別市	※	H4	5~6	120	不明	-	-	①	60	-	①	①②	-	-	
士別市	9/22(日)※	H6	3*	SPI3	-	-	-	②	不明	-	-	①	②	-	
名寄市	6/21(日)*	H3	10	SPI3	-	-	-	②	不明	-	-	②	-	-	
三笠市	9/20(日)	H6	10*	不明	不明	-	-	①	不明	-	①	②	②	-	
根室市	7/26(日)*	S60	若干	総合適性試験	-	-	-	①	不明	-	-	②	-	②	①書類審査
千歳市	6/28(日)*	H5	10*	SPI3	-	-	-	-	-	-	-	②③	-	②	
滝川市	7/12(日)	H6	若干	不明	不明	-	-	①	不明	-	②	②③	②	-	
砂川市	10/18(日)	H7	若干	不明	不明	-	-	-	-	-	①②	②	-	-	
歌志内市	9/20(日)	H3	若干*	不明	不明	-	-	①	不明	①	①	②	-	-	
深川市	7/12(日)	S63	若干	不明	不明	-	-	②	不明	-	-	②	②	-	
富良野市	9/6(日)	H6	若干*	不明	不明	-	-	①	不明	-	①	②	-	-	
登別市	6/13(土)	H2	5	SPI3	-	-	-	①	不明	-	①	②	-	-	
恵庭市	※	H3	2	SPI3	-	-	-	-	-	-	①	③	-	②	
伊達市	7/12(日)	H3	8*	120	不明	-	-	-	-	-	①	②	-	②	[前期]
	9/20(日)	H3	2*	120	不明	-	-	-	-	-	①	②	-	②	[後期]
北広島市	※	H5	若干	SPI3	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	-	-	
石狩市	※	S60	3	-	-	-	-	②	不明	①	①	②	-	②	
北斗市	7/12(日)	H2	若干*	不明	不明	-	-	①	不明	①	①	②	-	-	

- ※稚内市 :1次試験は、7/26(日)に稚内会場、もしくは7/13(月)~7/26(日)にテストセンターにて実施。
- ※芦別市 :学校教育法による大学(短期大学を除く)を卒業した方(令和3年3月までに卒業見込みの方)。
- ※紋別市 :8/29(土)に個別面接試験、8/30(日)に教養試験、作文試験、適性検査を実施。
- ※士別市 :9/2~9/20の期間中は、テストセンターにて受験可。
- ※名寄市 :6月上旬~中旬は、テストセンターにて受験可。
- ※根室市 :地方会場(札幌市、東京都、大阪府など全国約260か所の会場)では7/22(水)から7/31(金)までテストセンター方式によって実施。
- ※千歳市 :道外に居住する受験者のみ、6/22(月)~6/28(日)までのいずれか受験者が選択する日にSPIテストセンターにて実施。
- ※恵庭市 :1次試験は4/8(水)~4/21(火)の間に札幌・仙台・東京・名古屋・大阪・広島・福岡のいずれかの常設会場にて実施。
- ※北広島市 :7/6(月)~8/6(木)実施
- ※石狩市 :6/16(火)~6/27(土)までの間のうち、市が指定する期間

■青森県

自治体名	1次試験実施日	受験資格(年齢上限)	採用予定数	選考過程										備考	
				教養等		専門		論文文		事務適性試験	適性・性格検査	個別面接	集団面接		集団討論・GW
				(名)	(分)	(問)	(分)	(問)	実施						
青森市	7/19(日)	H3	30	120	40	120	40	②	不明	—	①	②	—	—	
弘前市	6/28(日)	H3	12	120	40	120	40	②	不明	—	①②	②	—	—	
八戸市	6/28(日)	※	17	120	40	120	40	②	不明	—	—	②	—	②	
黒石市	※	H3	7	SPI3	—	—	—	—	—	—	—	②③	—	—	
五所川原市	10/18(日)	H3	若干	120	40	120	40	②	60	①	—	②	—	—	
十和田市	9/20(日)	H2	12	120	40	120	40	②	50	①	①②	②	②	—	
三沢市	※	H3	7	120	40	—	—	②	不明	①	—	①②	—	—	
むつ市	※	H2	19*	SPI3	—	—	—	—	—	—	①	②	—	—	
つがる市	10/18(日)	H3	10*	120	40	120	40	②	60	①	—	②	—	—	
平川市	9/20(日)	H3	6	120	40	120	40	②	60	—	①	②	—	—	

※八戸市 : 大学を平成26年3月以降に卒業された方、または現在在学中で令和2年3月に卒業見込の方。
 ※三沢市 : 教養試験、専門試験、事務適性検査は9/20(日)、面接試験は9/19(土)～9/21(月)のうち三沢市が指定する日に実施。
 ※むつ市 : 7/27(月)～8/3(月)

■岩手県

自治体名	1次試験実施日	受験資格(年齢上限)	採用予定数	選考過程										備考	
				教養等		専門		論文文		事務適性試験	適性・性格検査	個別面接	集団面接		集団討論・GW
				(名)	(分)	(問)	(分)	(問)	実施						
盛岡市	7/12(日)	H3	20	120	不明	—	—	①	90	—	—	②	—	②	
宮古市	7/12(日)	H1	10	120	40	—	—	—	—	①	—	②	①	—	
大船渡市	9/16(日)	S62	8	120	40	—	—	①	60	①	①	②③	—	②	
花巻市	9/22(日)	H1	5	SPI3	—	—	—	—	—	①	②③	—	—	—	
北上市	※	S60	8	SPI3	—	—	—	—	—	①	②③	—	—	—	
北上市	※	H2	5	SPI3	—	—	②	60	—	①	③	②	—	—	
北上市	9/20(日)	H2	3*	SPI3	—	—	①	60	—	①	③	②	—	—	
久慈市	7/12(日)	S60	5	不明	不明	—	—	①	不明	—	①	②	—	—	
遠野市	9/20(日)	H2	若干	120	40	—	—	①	60	—	①	②③	—	—	
一関市	※	H2	5	SPI3	—	—	—	—	—	—	①	②③	—	—	
陸前高田市	9/20(日)	H2	2	不明	不明	—	—	①	不明	—	—	②	—	—	
釜石市	※	S60	8*	SPI3	—	—	—	—	—	①	②	—	—	—	
二戸市	9/20(日)	S61	10	120	40	—	—	①	60	①	①	②	—	—	
八幡平市	9/20(日)	H1	若干	120	40	—	—	①	60	①	①	②	—	—	
奥州市	9/20(日)	H5	5	120	40	—	—	—	—	—	①	②	—	—	
滝沢市	9/20(日)	H2	若干	120	40	—	—	—	—	—	①	②	—	—	

※大船渡市 : 6/8(月)～6/26(金)の期間中に、テストセンターで受験。
 ※花巻市 : 7/3(金)～7/17(金)まで
 ※北上市 : 4/21(火)～5/15(金)まで
 ※一関市 : 5/11(月)～5/28(木)まで
 ※釜石市 : 9/1(火)～9/20(日)まで
 ※滝沢市 : 1次試験で自己紹介票の記入・提出あり。

■宮城県

自治体名	1次試験実施日	受験資格(年齢上限)	採用予定数	選考過程											備考
				教養等		専門		論文文		事務適性試験	適性・性格検査	個別面接	集団面接	集団討論・GW	
				(名)	(分)	(問)	(分)	(問)	実施						
石巻市	7/12(日)	H3	13	120	40	120	40	①	60	-	①	②	-		
塩竈市	※	H3	若干	SPI3	-	-	-	-	-	-	①	②	②		
気仙沼市	※	S55	5	SPI3	-	-	-	-	-	-	①	②	-		
白石市	※	H3	3	SPI3	-	-	②	不明	-	①	②	-	②		
名取市	7/12(日)	H3	10	120	不明	120	不明	①	60	-	-	②	-		
角田市	※	H3	7	SPI3	-	-	②	-	-	①	③	②	-		
多賀城市	7/12(日)	H3	15	120	40	120	40	-	-	①	①②	-	②		
岩沼市	7/12(日)	H3	5	120	不明	※	不明	②	60	-	①	②	-	専門択一試験時間 90~120分	
登米市	7/12(日)	S60	16	120	不明	-	-	②	60	-	①	②	-		
栗原市	7/12(日)	S60	5	120	不明	-	-	②	60	-	①	②	-		
東松島市	7/12(日)	H5	1	120	不明	-	-	②	60	-	①	③	②		
大崎市	7/12(日)	H2	10	120	40	※	40	②	90	-	②	②	-	専門択一試験時間 90~120分	
富谷市	7/12(日)	H3	若干	120	40	120	40	②	不明	-	①	②	-		

※塩釜市 : 受験期間は、5/1(金)~5/29(金)。
 ※気仙沼市 : 5/13~5/29 に、インターネット環境のある自宅等のパソコンで各々の時間で受験。
 ※白石市 : 6/1~6/28 にテストセンターで受験。
 ※角田市 : 6/4~6/30 にテストセンターで受験。

■秋田県

自治体名	1次試験実施日	受験資格(年齢上限)	採用予定数	選考過程											備考
				教養等		専門		論文文		事務適性試験	適性・性格検査	個別面接	集団面接	集団討論・GW	
				(名)	(分)	(問)	(分)	(問)	実施						
秋田市	7/12(日)	H3	24	120	不明	120	不明	②	不明	-	②	③	-		
能代市	9/20(日)	S60	10*	120	不明	-	-	②	不明	-	①	②	②		
横手市	6/27(土)	H5	17*	-	-	-	-	①	60	②	①	①②	-	[行政A]	
	6/20(土)	H5	17*	120	不明	-	-	①	60	②	①	②	-	[行政B]	
大館市	9/6(日)	H2	若干	120	40	-	-	②	不明	①	①	②	-		
男鹿市	※	H2	9*	SPI3	-	-	②	不明	-	①	②	①	-		
湯沢市	7/12(日)	S61	4	120	40	-	-	-	-	-	-	②	-		
鹿角市	※	H2	若干	不明	不明	-	-	②	不明	-	②	②	-		
由利本荘市	7/12(日)	H3	10*	130	不明	-	-	②	不明	-	①	②	-		
潟上市	7/12(日)	H3	若干	120	40	-	-	②	不明	-	①	②	-		
大仙市	※	H2	10	SPI3	-	-	-	-	-	①	②	②	-	①6/1~7/31 にテストセンターで受験	
北秋田市	5/31(日)	H3	5~6	120	40	-	-	②	不明	-	①	②	-		
にかほ市	7/12(日)	H3	3	120	40	-	-	②	不明	-	②	②	-		
仙北市	9/19(日)	S56	若干	120	40	-	-	②	不明	-	-	②	-		

※男鹿市 : 5/25(月)~6/12(金)までの受験者が選択する日時
 ※鹿角市 : 受験案内メールで指定した期間のうち、受験者が選択する日時

■山形県

自治体名	1次試験実施日	受験資格(年齢上限)	採用予定数	選考過程										備考	
				教養等		専門		論文文		事務適性試験	適性・性格検査	個別面接	集団面接		集団討論・GW
				(名)	(分)	(問)	(分)	(問)	実施						
山形市	6/28(日)	S61	10	120	不明	120	不明	②	不明	—	②	②	—	②	
米沢市	6/28(日)	H1	9	110	SPI3	120	不明	—	—	—	①	②	—	—	
鶴岡市	※	S61	15	60	不明	—	—	②	不明	—	—	①	②	—	
酒田市	7/12(日)	S61	10	120	40	120	40	—	—	—	—	②	—	②	
新庄市	8/2(日)	H2	若干	120	不明	120	不明	②	不明	—	①	②	—	—	
寒河江市	9/20(日)	H2	若干	120	不明	120	不明	②	不明	—	—	②	②	—	
上山市	9/20(日)	H3	若干	120	不明	120	不明	②	不明	—	②	②	—	②	
村山市	9/20(日)	S61	若干	120	40	—	—	—	不明	—	①	②	—	—	
長井市	6/28(日)	S60	11*	120	不明	—	—	②	不明	—	①	②	—	②	
天童市	6/28(日)	H1	若干	60	不明	—	—	②	不明	①	②	②	—	—	①基礎能力検査、事務能力検査(各60分)
東根市	9/20(日)	H4	若干	120	40	120	40	②	不明	—	①	②	—	②	
尾花沢市	9/20(日)	S61	5	不明	不明	—	—	②	不明	①	①	②	—	②	
南陽市	※	H2	若干	※	不明	—	—	—	—	①	①	②	②	—	8/11(火)～8/28(金)の間で「性格」+「基礎能力」試験で65分

※鶴岡市 : マークシート方式(7/12(日)に鶴岡市内で実施)、テストセンター方式(7/7(火)～7/20(月)のいずれかを選択。マークシート方式は山形県庄内地域在住の受験者のみ受験可能。

■福島県

自治体名	1次試験実施日	受験資格(年齢上限)	採用予定数	選考過程										備考	
				教養等		専門		論文文		事務適性試験	適性・性格検査	個別面接	集団面接		集団討論・GW
				(名)	(分)	(問)	(分)	(問)	実施						
福島市	6/28(日)	H2	12	不明	不明	不明	不明	②	不明	—	②	②	—	—	
会津若松市	6/28(日)	H3	7	120	不明	—	—	②	不明	—	②	③	②	②	[教養試験コース]①ES試験
郡山市	6/28(日)	H3	4	SPI3	—	—	—	②	不明	—	②	③	②	②	[SPI試験コース]①ES試験
	6/28(日)	H2	7	SPI3	—	—	—	—	—	—	②	②③	—	③	[一般行政A(SPI試験コース)]
いわき市	6/28(日)	S55	5	SPI3	—	—	—	—	—	—	②	②③	—	③	[一般行政B(社会人SPIコース)]
	6/28(日)	H2	22	不明	不明	不明	不明	②	不明	—	②	②	—	—	
白河市	6/28(日)	S61	3	不明	不明	不明	不明	②	不明	—	①	②	—	②	
須賀川市	6/28(日)	H3	7	不明	不明	不明	不明	①	不明	—	①	②	—	②	
喜多方市	6/28(日)	S60	5	120	不明	120	不明	②	不明	—	②	②	—	—	
相馬市	6/28(日)	S60	4	不明	不明	不明	不明	②	不明	—	①	②	—	②	
二本松市	9/20(日)	H3	10	120	40	—	—	②	不明	—	①	②	—	—	
田村市	5/24(日)	S60	若干	SPI3	—	—	—	①	90	—	①	②	—	②	SPI(性格+教養)で90分 ※予備面接 (注)延期前の日程
南相馬市	11/14(土)	H2	1	不明	不明	不明	不明	①	不明	—	①	②③	—	—	
伊達市	6/28(日)	H2	10	120	不明	120	不明	②	不明	—	②	②	②	—	
本宮市	9/20(日)	H2	4	120	40	—	—	②	不明	—	①	②	②	—	[一般行政B]

■茨城県

自治体名	1次試験実施日	受験資格(年齢上限)	採用予定数	選考過程										備考	
				教養等		専門		論文文		事務適性試験	適性・性格検査	個別面接	集団面接		集団討論・GW
				(名)	(分)	(問)	(分)	(問)	実施						
水戸市	※	H2	若干	120	不明	-	-	①	80	-	①	②	①		
日立市	※	H2	18	不明	不明	-	-	①	不明	-	①	②③	①	[教養コース]	
	※	H2		SPI3		-	-	①	不明	-	①	②③	①	[SPIコース]	
土浦市	※	H4	18	50	※不明	-	-	-	-	-	②	②	-	7/6(月)~7/12(日)情報分析力検査をWeb実施	
古河市	9/20(日)	H2	18	不明	不明	-	-	①	不明	-	-	②③	②	[一般行政A] [一般行政B]	
石岡市	7/12(日)	S60	若干	120	不明	-	-	①	60	-	①	-	①	②自己PR試験	
結城市	9/20(日)	H3	7	120	不明	-	-	①	60	-	①	②	-	②	
龍ヶ崎市	9/20(日)	H3	4	SPI3-H※		-	-	①	90	-	-	②	-	②	※ペーパーテスト方式。性格検査+能力検査で1時間 50分
下妻市	9/20(日)	H3	5	不明	不明	-	-	②	不明	①	①	②	-	②	
常総市	9/20(日)	S50	5	Light		-	-	-	-	-	②	③	②	-	
常陸太田市	9/20(日)	H3	8	120	不明	-	-	②	60	①	①	②	-	②	
高萩市	9/20(日)	H2	3	120	不明	-	-	-	-	-	①	②	-	-	
	9/20(日)	H2		75	不明	-	-	-	-	-	①	②	-	-	
北茨城市	9/20(日)	S60	7	不明	不明	-	-	①	不明	①	①	②	-	-	
笠間市	※	H5	10	SPI3		-	-	-	-	②	①	②	-	②	
	7/12(日)	H5	10	不明	不明	-	-	-	-	②	①	②	-	②	
取手市	9/20(日)	H2	17	120	不明	-	-	①	60	-	②	③	-	②	
牛久市	9/20(日)	H3	20	120	40	120	40	-	-	-	②	②③	-	②自己PRシート	
つくば市	※	S36	30	107	※①	-	-	-	-	-	①	②③	-	-	
				45	※②	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
ひたちなか市	※	H2	5	不明	不明	-	-	-	-	-	①	②③	-	②	
	※	H2	4	SPI3		-	-	-	-	-	①	②③	-	②	
鹿嶋市	7/12(日)	H4	8	不明	不明	-	-	②	不明	-	②	②③	-	-	
潮来市	9/20(日)	S60	若干	不明	不明	-	-	①	不明	-	②	②③	②		
守谷市	※	H3	5	※	SPI3-H※	-	-	③	不明	-	-	②	-	-	
											③	④	-	-	
													-	①総合適性検査WEB方式(基礎能力検査と性格試験で65分)	
常陸大宮市	9/20(日)	S60	10	不明	不明	-	-	①	不明	-	①	②	-	②	
那珂市	9/20(日)	H2	5	不明	不明	-	-	①	不明	①	①	②③	-	②	
筑西市	9/20(日)	H5	20	60	※	-	-	①	70	-	①	③	-	②	
坂東市	9/20(日)	S60	若干	不明	不明	-	-	①	不明	-	①②	②	-	-	
稲敷市	9/20(日)	S60	15	120	40	-	-	②	不明	②	②	②	-	②	
かすみがうら市	9/20(日)	H3	6	不明	不明	-	-	①	不明	-	②	③	-	②	
桜川市	9/20(日)	H3	15	不明	不明	-	-	②	不明	②	②	②③	③		
神栖市	7/12(日)	H2	15	不明	不明	-	-	①	不明	-	-	③	-	-	
行方市	10/18(日)	H2	10	不明	不明	-	-	①	不明	-	①	②③	-	②	
鉾田市	7/12(日)	H2	若干	不明	不明	-	-	①	不明	-	-	②	②		
つくばみらい市	9/20(日)	S50	5	不明	不明	-	-	②	不明	-	①	②③	-	-	
小美玉市	7/12(日)	H3	若干	SPI3		-	-	①	不明	②	①	②	②	②	
	9/20(日)	S60	若干	SPI3		-	-	①	不明	②	①	②	②	②	

※水戸市 : 1次試験は9/20(日)教養試験、論文試験、適性検査、9/21(月)集団討論を実施。
 ※日立市 : 8/29(土)面接試験、8/30(日)筆記試験を実施。
 ※笠間市 : 7/12(日)までの指定された期間内に実施。
 ※つくば市 : 7/13(月)~7/22(水)まで
 ※ひたちなか市 : 9/20(日)に筆記試験、9/21(月)又は9/22(火)に面接試験を実施。
 ※守谷市 : 8/14(金)~8/24(月)まで自宅等で実施

市役所

■栃木県

自治体名	1次試験実施日	受験資格(年齢上限)	採用予定数	選考過程										備考						
				教養等		専門		論文文		事務適性試験		適性・性格検査			個別面接		集団面接		集団討論・GW	
				(名)	(分)	(問)	(分)	(問)	実施	(分)										
宇都宮市	5/10(日)	H3	60	60	不明	—	—	②	不明	—	②	②③	①	③						
足利市	9/20(日)	H3	25	120	40	—	—	①	90	—	—	①②③	—	—	①申込時に短時間の面接試験					
栃木市	9/20(日)	H3	4	120	不明	—	—	②	不明	—	②	③	②	—						
佐野市	9/20(日)	H4	7	不明	不明	—	—	②	不明	—	②	②	—	—						
鹿沼市	※	H2	15	100	60	—	—	—	—	—	①	①②	①	—	①自己アピール面接					
日光市	6/28(日)	S63	5	SPI3		—	—	②	不明	—	②	③	—	②						
小山市	9/20(日)	H3	7	120	不明	—	—	②	不明	—	②	②	—	②						
真岡市	9/20(日)	H3	10	※	不明	—	—	②	不明	—	①	②	②	—	※教養試験+適性検査で165分					
大田原市	9/20(日)	H2	5	120	不明	—	—	②	60	—	①	②	—	②						
矢板市	9/20(日)	H2	5	75	不明	—	—	②	不明	—	①②	②	①	—						
那須塩原市	9/20(日)	H3	15	120	不明	—	—	①	90	—	①	③	②	③						
さくら市	9/20(日)	S60	3	Light		—	—	—	—	—	①※	②③	—	—	①エントリーシート、SPI3(性格検査)					
那須烏山市	9/20(日)	S62	10	120	不明	—	—	②	不明	—	①②	①③	②	—						
下野市	9/20(日)	H2	9	120	不明	—	—	②	不明	—	②	②	—	②						

※鹿沼市 :1次試験は7/11(土)集団面接試験、7/12(日)教養試験、適性検査を実施。

■群馬県

自治体名	1次試験実施日	受験資格(年齢上限)	採用予定数	選考過程										備考						
				教養等		専門		論文文		事務適性試験		適性・性格検査			個別面接		集団面接		集団討論・GW	
				(名)	(分)	(問)	(分)	(問)	実施	(分)										
前橋市	6/14(日)	H3	25	不明	不明	—	—	—	—	—	①	②③	—	—						
高崎市	6/14(日)	H3	22	60	不明	—	—	—	—	—	①	③	②	—						
桐生市	7/12(日)	H3	10	120	40	—	—	—	—	—	①	②③	—	—						
伊勢崎市	7/25(土)	H4	9	120	40	—	—	—	—	—	①	②③	②	—						
太田市	6/28(日)	H2	26	120	不明	—	—	①②	※	—	—	—	—	②※	①小論文30分、②小論文時間不明、 ディベート形式による集団面接					
沼田市	9/20(日)	S56	10	120	不明	—	—	①	60	—	①	③	②	—						
館林市	※	H3	10	不明	不明	—	—	①	不明	—	①	③④	①	②						
渋川市	9/20(日)	H2	若干	不明	不明	—	—	①	不明	—	①	②③	—	—						
藤岡市	9/20(日)	S63	5	120	不明	—	—	—	—	—	①	②	—	—						
富岡市	9/20(日)	H3	若干	不明	不明	—	—	①	不明	—	②	③	②	—						
安中市	9/20(日)	H4	10	不明	不明	—	—	①	不明	—	①	③	②	—						
みどり市	7/12(日)	H3	10	不明	不明	—	—	①	不明	①	—	③	②	②						

※館林市 :1次試験は7/12(日)筆記試験、7/13(月)~7/15(水)集団面接試験を実施。

■埼玉県

自治体名	1次試験実施日	受験資格(年齢上限)	採用予定数 (名)	選考過程										備考						
				教養等		専門		論文文		事務適性試験		適性・性格検査			個別面接		集団面接		集団討論・GW	
				(分)	(問)	(分)	(問)	実施	(分)	(分)	(問)	(分)	(問)		(分)	(問)	(分)	(問)	(分)	(問)
川越市	※	H2	26	120	不明	-	-	②	90	-	②	①②	-	②						
熊谷市	9/20(日)	H2	20	120	不明	-	-	①	60	-	②	③④	②							
川口市	※	H1	60	120	不明	-	-	-	-	-	②	①②	-							
行田市	9/20(日)	H6	15	120	不明	-	-	①	60	-	②	②③	-	③						
秩父市	9/20(日)	H5	13	不明	不明	-	-	②	不明	-	②	①②	-							
所沢市	5/3(日)	H7	20	②SPI3	-	-	-	-	-	-	-	③	③	-				[春]※		
	9/20(日)	H7	10	120	40	-	-	-	-	-	②	③	③	②				[秋]②面接カード		
飯能市	※	H2	20	SPI3	-	-	-	-	-	-	①②	①③	-	-				①[「志望の動機・理由」、エントリーシート		
加須市	9/20(日)	H1	15	120	不明	-	-	①	70	-	①	②	-	②						
本庄市	※	H2	10	60	120	-	-	②	60	-	①	②③	-	-						
東松山市	6/14(日)	H8	6	※ SPI3	-	-	-	-	-	-	①	②	②	-				[前期]①能力検査+性格検査で110分、エントリーシート作成(60分)		
	9/20(日)	H2	7	不明	不明	-	-	②	不明	①	②	②	②	-				[後期]		
春日部市	7/12(日)	H7	20	120	40	-	-	①	90	-	②	③	②	-						
狭山市	※	H4	20	120	不明	-	-	-	-	①	①	①②	-	-				[教養]		
	※	H4	20	SPI3	-	-	-	-	-	-	①	①②	-	-				[SPI]		
羽生市	9/20(日)	H2	若干	120	不明	-	-	①	90	-	①	②③	-	-						
鴻巣市	9/20(日)	H4	10	不明	不明	-	-	①	不明	-	①	②③	-	-						
深谷市	9/20(日)	H2	14	120	40	-	-	①	90	-	①	③	②	②						
上尾市	9/20(日)	H5	12	120	不明	-	-	②	60	-	②	②③	-	-						
草加市	9/20(日)	H7	25	120	不明	120	不明	①	60	-	②	③	②	-				[大卒A区分]		
	9/20(日)	H7	25	120	不明	-	-	①	60	-	②	③	②	-				[大卒B区分]		
越谷市	9/20(日)	※	20	120	40	-	-	①	60	-	③	③	②	-				大学院修士課程修了以上(見込可)はH5、大学卒業(見込可)はH7。		
蕨市	9/22(日)	H6	5	60	不明	-	-	①	60	-	①	②③	-	-						
戸田市	※	H2	15	-	-	-	-	-	-	-	①②	②③	-	-						
入間市	※	H2	16	120	不明	-	-	-	①	①	①②	②	-	-				①クレバリン検査、②自己PRシート作成		
朝霞市	9/20(日)	H4	10	120	不明	-	-	②	60	①	-	③	②	-						
志木市	9/20(日)	H2	10	不明	不明	-	-	①	不明	-	①	②	-	②				[公務員試験]1次試験前に書類選考を実施		
	9/20(日)	H2	10	SPI3	-	-	-	①	不明	-	①	②	-	②				[民間型試験]1次試験前に書類選考を実施		
和光市	9/20(日)	H2	10	120	不明	-	-	①	60	-	①	③	-	②				[A方式]		
	9/20(日)	H2	10	SPI3	-	-	-	①	60	-	①	③	-	②				[B方式]		
新座市	9/20(日)	H4	10	120	不明	-	-	①	60	①	①	③	-	②						
桶川市	※	H7	10	120	不明	-	-	①	60	-	①	①③	②	-						
久喜市	※	H2	23	120	不明	-	-	②	60	-	②	①③	-	-				①8/17(月)～8/21(金)、②教養試験等		
北本市	※	H4	3	70	SPI3	-	-	-	-	-	①	①③	-	-				1次試験前に書類選考、①7/13(月)、14(火)、②SPI3		
八潮市	9/20(日)	H6	5	120	不明	-	-	①	90	-	①	②	②	-						
富士見市	※	H7	10	※ SPI3	-	-	-	-	-	-	①	②③	-	-				[前期]①5/17(日)～5/29(金)、能力検査+性格検査で65分、エントリーシートの事前提出		
	9/20(日)	H7	8	120	不明	-	-	①	50	-	①	②③	-	-				[後期]		
三郷市	6/28(日)	H5	20	120	不明	-	-	-	-	-	-	②③	-	-						
蓮田市	9/20(日)	H6	10	120	不明	-	-	①	60	-	①	②	-	-						
坂戸市	※	H4	15	SPI3	-	-	-	②	不明	-	①	①②③	-	-				①SPI3は6月上旬を予定。		
幸手市	9/20(日)	H2	若干	120	不明	-	-	①	90	-	-	②	-	②						
鶴ヶ島市	9/20(日)	H4	8	120	不明	-	-	①	90	-	①	②③	-	②						
日高市	9/20(日)	H3	10	70	SPI3	-	-	①	60	-	①	②	①※	-				申し込み状況により9/21に集団面接を実施		
吉川市	7/12(日)	H4	10	120	不明	-	-	-	-	-	④	④	③	④				[第1回]①自己セールスシート、②教養試験		
ふじみ野市	※	H2	21	②不明	-	-	-	②	不明	-	②	①③	-	③				①8/1(土)～8/5(水)		
	※	H2	21	②SPI3	-	-	-	②	不明	-	②	①③	-	③				①8/1(土)～8/5(水)		
白岡市	9/20(日)	H2	10	120	不明	-	-	①	90	-	①	②	-	-						

- ※川越市 : 1次試験は8/2(日)か8/9(日)いずれかに面接試験、9/20(日)筆記試験を実施。
- ※川口市 : 1次試験は8/24(月)～9/6(日)いずれかに面接試験、9/20(日)筆記試験を実施。
- ※所沢市(春) : 1次試験でエントリーシートの作成、2次試験でプレゼンテーション型面接、SPI試験を実施。
- ※飯能市 : 1次試験は7/30(木)～8/2(日)の個人面接試験を実施。
- ※本庄市 : 1次試験は8/15(土)～8/31(月)受験者が選択したテストセンター会場にて実施。
- ※狭山市 : 1次試験は8/12(水)～8/16(日)いずれかに面接試験、9/20(日)に筆記試験を実施。
- ※戸田市 : 1次試験は9/2(水)～9/8(火)にテストセンターにて、もしくは9/5(土)に戸田市役所にて実施。
- ※入間市 : 1次試験は7/30(木)～8/1(土)申込受付時に面接試験、9/20(日)にその他の試験を実施。
- ※桶川市 : 1次試験は9/20(日)筆記試験、9/24(木)～9/30(水)(土日を除く)面接試験を実施。

■千葉県

自治体名	1次試験実施日	受験資格(年齢上限)	採用予定数	選考過程										備考	
				教養等		専門		論文文		事務適性試験	適性・性格検査	個別面接	集団面接		集団討論・GW
				(名)	(分)	(分)	(分)	実施	(分)						
銚子市	9/20(日)	H2	3	120	40	-	-	-	-	①	-	②	-	[一般方式]	
	※	H2	5	SPI3		-	-	-	-	-	①	②③	-	[SPI方式]エントリーシート①9/14~9/30	
市川市	6/28(日)	H4	40	SPI3		-	-	-	-	-	-	②③	-	①エントリーシート審査	
船橋市	6/28(日)	H2	30	120	40	120	40	-	-	-	②	③	②	[A区分]	
	6/28(日)	H2	30	45	70	-	-	-	-	-	②	③	②	[B区分]	
館山市	9/20(日)	S60	14	75	60	-	-	①	60	-	-	-	-	2次試験以降の詳細不明	
木更津市	※	H2	18	120	40	120	40	-	-	-	①	①②	-		
松戸市	6/28(日)	H2	30	不明	不明	不明	不明	-	-	-	②	③	②		
野田市	9/20(日)	H2	10	120	不明	120	不明	-	-	-	-	②③	-		
茂原市	※	S60	8	-	-	-	-	-	-	-	②	②③	-	①エントリーシート審査9/1(火)~9/16(水)	
成田市	7/12(日)	H2	15	120	40	90	30	-	-	-	-	②③	-	[専門試験有り]	
	7/12(日)	H2	5	120	40	-	-	-	-	-	-	②③	-	[専門試験無し]	
佐倉市	7/12(日)	H2	15	120	40	90	30	-	-	-	-	②	-		
東金市	9/20(日)	H2	12	120	40	-	-	-	-	-	①	③	-	②	
旭市	9/20(日)	H2	8	120	40	-	-	-	-	①	-	③	-	②	
習志野市	9/20(日)	H2	13	不明	不明	不明	不明	①	不明	-	②	②③	-		
柏市	※	H6	30	不明	不明	不明	不明	-	-	-	-	③	②	[一般事務A]①エントリーシート、④教養試験、専門試験	
	※	H6	15	SPI3		-	-	-	-	-	①	③	②	[一般事務B]①エントリーシート	
勝浦市	9/20(日)	H2	若干	120	40	-	-	①	60	-	①	-	-		
市原市	6/21(日)	H5	10	120	40	120	40	-	-	-	②	②	-	②プレゼンテーション試験	
流山市	9/20(日)	S60	25	120	40	120	40	-	-	-	①	③	②		
八千代市	9/20(日)	H2	20	不明	不明	-	-	-	-	-	②	③	-	②	
	9/20(日)	H2		SPI3		-	-	-	-	-	②	③	-	②	
我孫子市	9/20(日)	S55	15	60	不明	-	-	-	-	-	①	②③	-	1次合格者は選考の参考のため作文を提出	
鴨川市	9/20(日)	S60	2	75	60	-	-	①	60	-	②	②	-		
鎌ヶ谷市	7/12(日)	S60	若干	120	不明	120	不明	-	-	-	①	②③	-		
君津市	10/18(日)	H7	8	75	60	-	-	①	60	①	-	②※	-	①基礎能力検査(60分)、②Web面接	
												③	-		
富津市	9/20(日)	S60	4	120	40	120	40	-	-	-	①	②	-	②	
浦安市	7/19(日)	H4	10	60	不明	-	-	①	60	-	①	③	-	②	
四街道市	7/12(日)	H2	20	120	40	90	30	-	-	-	-	-	-	②エントリーシート	
袖ヶ浦市	4/5(日)	H1	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	[第1回]詳細不明、9/1採用	
	7/5(日)	H1	若干	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	[第2回]詳細不明、10/1採用	
	9/20(日)	H2	2	120	不明	-	-	-	-	-	-	②③	-	[第3回]※SPI:実務基礎能力及び職場適応についての検査(100分)	
				SPI3※		-	-	-	-	-	-	-	-		
八街市	7/12(日)	S60	7	120	40	90	30	-	-	-	-	-	-	2次試験以降の詳細は1次合格者に通知	
印西市	7/12(日)	S60	15	120	40	90	30	-	-	-	※	-	-	2次試験以降の詳細不明	
白井市	7/12(日)	S60	5	120	40	90	30	-	-	-	-	-	-	②	
富里市	7/12(日)	S60	5	120	40	90	30	-	-	-	-	-	-	2次試験以降の詳細不明	
南房総市	9/20(日)	H2	11	75	60	-	-	①	60	-	②	②③	-		
匝瑳市	9/20(日)	H2	5	120	40	120	40	-	-	-	-	-	-	2次試験以降の詳細不明	
香取市	7/12(日)	H2	5	120	40	120	40	-	-	-	①	-	-		
山武市	9/20(日)	H5	5	120	40	-	-	-	-	-	②	②③	-	(上級)	
	9/20(日)	H5	5	SPI3		-	-	-	-	-	②	②③	-	(上級・SPI方式)	
いすみ市	9/20(日)	H4	若干	120	40	-	-	①	60	①	①	②	-		
大網白里市	9/20(日)	S60	2	120	40	-	-	-	-	-	②	③	-	②	

※木更津市 :1次試験は9/20(日)筆記試験、10/21(水)人物試験、適性検査を実施。

※印西市 :1次合格者を対象に、第2次試験実施間に実施。

※柏市 :エントリーシートを5/25(月)までに提出。

※袖ヶ浦市 :1次試験でエントリーシート作成(60分)、3次試験でプレゼンテーションによる試験を実施。

■東京都

自治体名	1次試験実施日	受験資格(年齢上限)	採用予定数 (名)	選考過程										備考	
				教養等		専門		論文文 実施	事務適性試験 (分)	適性・性格検査	個別面接	集団面接	集団討論・GW		
				(分)	(問)	(分)	(問)								
八王子市	※	H1	50	30	15	—	—	①	不明	—	③	②④	—	③	③Web方式
立川市	※	H6	15	45	不明	—	—	—	—	—	—	③	④	②	①事務能力試験(50分程度)
武蔵野市	※	H2	30	80	※	—	—	②	不明	—	①	③④	—	②	[WEB試験方式]
三鷹市	7/26(日)	H3	20	120	不明	120	不明	—	—	—	—	②③	—	—	[A方式]②エントリー審査
	7/26(日)	H3		70	※	—	—	①	90	—	—	②③	—	—	[B方式]①能力検査(言語能力+非言語能力)、②エントリー審査
青梅市	※	H4	25*	※	—	—	②	不明	※	②	②③	—	②	1次試験前に書類審査、①基礎能力試験、事務能力試験	
府中市	※	H2	35	※	—	—	—	—	※	—	—	—	—	—	基礎能力試験(60分)、事務能力試験(50分)、①文章要約(60分)、2次以降不明
昭島市	9/20(日)	H5	若干*	②120	不明	—	—	②	60	—	②	—	①③ ④⑤	—	①エントリーシート審査
調布市	※	H3	若干*	②SPI3	—	—	④	不明	—	②	③④⑤	—	—	—	①書類審査
町田市	※	H2	25	35	SPI3	—	—	③	不明	—	①	②③	—	—	②Web方式③GAB(知的能力テスト)
小金井市	※	H5	若干	—	—	—	—	①	不明	—	②	③④	—	—	②事務能力診断検査(50分)、自己PR審査
小平市	9/20(日)	H8	若干	105	不明	—	—	①	60	—	①	②③	—	—	—
日野市	※	H7	50	※	—	—	—	—	—	—	—	③	④	②	1次試験前に書類選考あり、①事務能力試験(55分)、基礎能力試験(45分)
東村山市	6/21(日)	H3	20*	120	不明	—	—	①	90	①	②	②③	—	②	③プレゼンテーションを含む
国分寺市	5/24(日)	S55	若干	—	—	—	—	—	—	①	①②③	—	—	—	1次試験前に書類選考あり、①SPI検査
国立市	※	S60	若干	35	SPI3	—	—	—	—	①②	②③	—	—	—	—
福生市	9/20(日)	H4	若干	35	Web方式	—	—	—	—	①	—	③ ④	②	—	—
狛江市	※	H5	若干	SPI3	—	—	③④⑤	不明	—	①	—	①② ③④⑤	—	—	1次受験前に書類選考あり、3次～5次試験の詳細は合格者に通知
東大和市	6/14(日)	H7	若干*	60	不明	—	—	—	—	①	③	③	②	—	—
清瀬市	9/20(日)	H5	若干	不明	不明	—	—	—	—	—	—	—	—	—	①事務能力検査、2次～最終(4次)試験の詳細は合格者に通知
東久留米市	※	H3	若干	②120	40	—	—	②	60	—	—	④	—	③	①受験申込書による書類選考
武蔵村山市	9/20(日)	H2	若干	120	不明	—	—	①	90	①※	③	—	—	②	①事務の適応性等について2種類
多摩市	※	H2	25*	②60	不明	—	—	—	—	②	③④	③	—	③	①エントリーシート内容につき、書類選考
稲城市	※	H6	若干*	②※	—	—	—	—	②	—	—	③ ④	—	—	②基礎能力検査+事務適正検査で約120分
羽村市	9/20(日)	H3	若干*	120	40	—	—	①	60	①	②	③ ④	②	②	—
あきる野市	9/20(日)	H4	10*	120	不明	—	—	②	90	①	②	②③	—	—	—
西東京市	※	H3	10	※	—	—	—	—	—	①	—	② ③	—	②	1次選考前に書類選考あり、①基礎的な能力及び性格検査

- ※八王子市 :1次試験は9/4～9/7に実施。教養試験はWeb方式、作文試験はメール提出。
- ※立川市 :1次試験は8/20(木)～9/1(火)のうち受験者が希望する1日に実施。
- ※武蔵野市 :5/11(月)～5/17(日)の期間中に、WEBテスト(GAB)で受験。
- ※青梅市 :9/5(土)～9/16(水)の期間中に、テストセンターで受験。
- ※府中市 :9/16(水)～9/27(日)のうち受験者が選択する日程に、テストセンターで受験。
- ※調布市 :1次試験は7/22(水)から7/31(金)までに提出した申込書で審査。2次試験は、8/22(土)～8/30(日)にテストセンターにて実施。
- ※町田市 :6/1(月)～6/10(水)の期間中に、WEB方式にて自宅で受験。
- ※小金井市 :8/3(月)～9/4(金)に郵送にて提出。
- ※日野市 :5/18(月)～5/27(水)の期間中に、テストセンターで受験。
- ※国立市 :7/8(水)～7/14(火)の期間中に、WEB方式にて自宅で受験。
- ※稲城市 :8/17(月)～8/24(月)の申し込み時に記入したエントリーシートによる書類選考
- ※西東京市 :9/1(火)～9/15(火)の期間中に、テストセンター方式もしくはWeb方式で受験。

■神奈川県

自治体名	1次試験実施日	受験資格(年齢上限)	採用予定数	選考過程										備考	
				教養等		専門		論文文		事務適性試験	適性・性格検査	個別面接	集団面接		集団討論・GW
				(名)	(分)	(問)	(分)	(問)	実施						
横須賀市	6/28(日)	H3	20	35	SPI3	-	-	-	-	-	①	②③④	-	①エントリーシート、2次以降の詳細は合格者に通知	
平塚市	※	H7	15	2	SPI3	-	-	-	-	-	③④	-	①③	1次試験前に書類選考あり	
鎌倉市	※	S61	30	※	-	-	-	※	不明	-	①	②③	-	①WEB試験②本人確認テスト	
藤沢市	※	H5	40	③	不明	-	-	③	不明	-	③	③④	②	④	1次試験前に自己紹介シートの提出
小田原市	※	H4	15	-	-	-	-	-	-	-	①②	①②③	-	③	①4/17(金)~4/19(日)
茅ヶ崎市	※	H5	5	-	-	-	-	-	-	-	②	③④	②	-	
逗子市	※	H5	5	-	-	-	-	-	-	-	①	②③	-	-	①能力・適性試験
三浦市	9/20(日)	H2	若干	120	不明	-	-	-	-	-	①	③	②	-	
秦野市	7/12(日)	S60	15	不明	不明	-	-	①	不明	-	②	③	-	②	1次試験前にエントリーシートの提出
厚木市	6/28(日)	H2	30	120	不明	-	-	-	-	-	③④	②	-	-	
大和市	※	S55	10	※	※	-	-	-	-	-	②③	-	-	-	6/15(月)~6/28(日)自宅等からWEB試験を受験
伊勢原市	※	H7	若干	③	不明	-	-	-	-	③	-	②④	①	-	①8/22(土)~8/31(日)のうち指定する1日
海老名市	6/23(日)	H2	若干	120	不明	-	-	-	-	-	①	③④	②	-	
座間市	※	H3	8	③60	※	-	-	-	-	-	③	②④	-	①	①個人又は少人数によるワーク、②プレゼンテーション、③総合適性検査(60分)
南足柄市	9/20(日)	H2	若干	75	不明	-	-	①	60	-	①	②③	-	②	
綾瀬市	7/12(日)	H2	15	不明	不明	-	-	①	不明	-	①	③④	②	-	

- ※平塚市 : 1次試験は6/1(月)~6/5(金)の期間中にグループ討論を実施。
- ※鎌倉市 : 1次試験前に論文I・IIを含む必要書類を7/15(水)~7/31(金)に提出。
- ※藤沢市 : 1次試験は8/19(水)~8/30(日)の期間中に受験者の自宅等からWEB試験を受験。
- ※茅ヶ崎市 : 4/3(金)~6/1(月)の申込期間に提出したエントリーシートの書類選考。
- ※逗子市 : 6/5(金)~6/21(日)までの間に受験者が選択するテストセンターにて受験。
- ※座間市 : 7/23(木)、7/24(金)に1次試験を実施。

■新潟県

自治体名	1次試験実施日	受験資格(年齢上限)	採用予定数	選考過程										備考	
				教養等		専門		論文文		事務適性試験	適性・性格検査	個別面接	集団面接		集団討論・GW
				(名)	(分)	(問)	(分)	(問)	実施						
長岡市	8/23(日)	H5	15	120	不明	-	-	①	不明	-	①	②③	-	-	
三条市	7/26(日)	S60	7	70	※	-	-	①	90	-	②	③	②	-	①基礎能力試験、95問か70問を選択
柏崎市	9/6(日)	H8	6	120	40	-	-	①	60	-	①	②③	-	-	
新発田市	7/19(日)	H4	7	※	SPI3	-	-	③	不明	-	①	②③	-	-	①基礎能力試験+適性検査で110分
小千谷市	※	S60	4	-	-	-	-	②	不明	-	①	②③	-	-	①基礎能力検査+性格検査で65分
加茂市	9/6(日)	H2	若干	120	不明	-	-	①	60	①	-	②	-	-	
十日町市	7/12(日)	H3	5	不明	不明	-	-	①	不明	-	①	③	②	-	
見附市	8/30(日)	H3	6	120	不明	-	-	①	60	-	①	②③	-	-	[一般方式]
	8/30(日)	H3	7	120	※	-	-	①	60	-	①	②③	-	-	[SPI方式]①能力検査
村上市	7/12(日)	H3	3	120	40	120	不明	-	-	-	①	②	-	-	
燕市	※	H3	10	35	※	-	-	②	不明	-	①	②③	-	-	①基礎能力試験・性格診断検査(WEB)、自己アピールシート試験
糸魚川市	※	H1	2	120	不明	120	不明	①	60	-	①②	②	①	-	1次試験は7/11(土)集団面談、7/12(日)筆記試験を実施。
妙高市	8/23(日)	H3	2	120	40	-	-	①	60	-	①	②	-	-	
五泉市	6/28(日)	H4	若干	不明	不明	-	-	①	不明	-	①	②	-	-	
上越市	8/30(日)	H6	16	※	※	120	40	-	-	-	①	②	-	-	1次試験で教養①(60分120題程度)、教養②(20分20題程度)
阿賀野市	7/12(日)	H3	若干	不明	※	不明	不明	-	-	-	①	②	-	-	
佐渡市	7/12(日)	H2	5	不明	不明	-	-	①	不明	①	①	②	-	②	
魚沼市	9/6(日)	H3	6	70	※	-	-	-	-	-	①	②③	-	-	①基礎能力試験
南魚沼市	7/26(日)	S63	5	120	40	120	40	-	-	-	①	②	-	②	
胎内市	7/12(日)	S60	2	120	40	120	40	-	-	-	①	②	-	②	

- ※小千谷市 : 7月下旬~8月上旬の指定された日に実施。
- ※燕市 : 5月下旬~6月上旬の指定する期間に実施。

■富山県

自治体名	1次試験実施日	受験資格(年齢上限)	採用予定数	選考過程										備考	
				教養等		専門		論文文		事務適性試験	適性・性格検査	個別面接	集団面接		集団討論・GW
				(名)	(分)	(問)	(分)	(問)	実施						
富山市	6/28(日)	H2	25	不明	不明	不明	不明	①	不明	-	①	②	-	-	①短文論述試験
高岡市	6/28(日)	H5	10	120	不明	120	不明	①	80	-	②	②	-	②	
魚津市	6/28(日)	S60	若干	120	40	-	-	①	60	-	①②	②	-	-	
氷見市	6/28(日)	S60	15	不明	不明	不明	不明	①	不明	-	①	②	-	-	[前期]②プレゼンテーション
	9/20(日)	S60		不明	不明	不明	不明	①	不明	-	①	②	-	-	[後期]②プレゼンテーション
滑川市	7/12(日)	H1	若干	120	40	-	-	①	60	-	①	②	-	-	
黒部市	6/28(日)	S60	若干	75	不明	-	-	①	60	-	①	①②	-	-	
砺波市	7/12(日)	S60	7	120	不明	120	不明	-	-	-	②	③	-	②	
小矢部市	7/12(日)	H2	2	120	40	120	40	②	不明	-	①	②	-	-	②プレゼンテーション試験
南砺市	7/12(日)	S61	5	不明	不明	不明	不明	-	-	-	-	②③	-	②③	
射水市	6/28(日)	S63	9	60	※	-	-	①	60	-	①	②	-	-	①基礎能力検査、事務能力検査(50分)

■石川県

自治体名	1次試験実施日	受験資格(年齢上限)	採用予定数	選考過程										備考	
				教養等		専門		論文文		事務適性試験	適性・性格検査	個別面接	集団面接		集団討論・GW
				(名)	(分)	(問)	(分)	(問)	実施						
金沢市	6/28(日)	H3	49	120	不明	120	不明	①	70	-	①	②	-	-	②自己PR動画、個別面談
七尾市	6/28(日)	H2	3	120	不明	-	-	①	60	-	-	②	-	-	
小松市	6/28(日)	H3	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	試験詳細不明
輪島市	9/20(日)	H2	7	不明	不明	不明	不明	①	不明	-	①	②	-	-	
珠洲市	9/20(日)	H2	1	不明	不明	-	-	①	不明	-	①	②	-	-	
加賀市	6/28(日)	H3	10	SPI3	-	-	-	①	不明	-	①	②	-	-	
羽咋市	9/20(日)	H2	4	不明	不明	-	-	①	不明	-	①	②	-	②	
かほく市	9/20(日)	H3	8	120	不明	-	-	①	50	-	①	②	-	-	
白山市	6/28(日)	H3	10	120	不明	120	不明	①	60	-	①	②	-	①	
能美市	6/28(日)	H2	5	60	不明	-	-	①	60	-	①	②	-	-	
野々市市	6/28(日)	H3	若干	不明	不明	-	-	①	不明	-	①	②③	-	-	

■福井県

自治体名	1次試験実施日	受験資格(年齢上限)	採用予定数	選考過程										備考	
				教養等		専門		論文文		事務適性試験	適性・性格検査	個別面接	集団面接		集団討論・GW
				(名)	(分)	(問)	(分)	(問)	実施						
福井市	6/28(日)	S60	13	120	不明	120	不明	①	60	-	①②	②	-	②	
敦賀市	7/26(日)	H2	5	120	不明	-	-	-	-	①	①	②	-	②	
小浜市	9/19(土)	S52	若干	不明	※	-	-	-	-	-	②	②	①	②	①自己PRシート、②基礎能力試験、英語資格加 points
大野市	7/19(日)	H2	6	不明	不明	-	-	①	不明	-	①	②	-	-	[前期]
勝山市	9/20(日)	S56	3	120	40	-	-	①	60	-	①	②	-	②	
鯖江市	※	H2	2	50	※	-	-	②	不明	-	②	②	-	②	①情報分析基礎力検査、事務能力診断検査
あわら市	7/12(日)	S60	4	不明	不明	-	-	①	不明	-	①	②	-	②	
越前市	※	H5	7	50	※	-	-	-	-	①	①	②	-	-	[A日程]①エントリーシート、情報分析基礎力検査
坂井市	7/12(日)	H2	10	120	不明	-	-	①	60	-	-	②	-	-	

※鯖江市 :6/29(月)~7/3(金)にWeb試験を受験。
 ※越前市 A日程 :6/10(水)~6/24(水)にエントリーシート提出、6/27(土)~7/5(日)にWeb試験を受験。

■山梨県

自治体名	1次試験実施日	受験資格(年齢上限)	採用予定数	選考過程										備考
				教養等		専門		論文文	事務適性試験	適性・性格検査	個別面接	集団面接	集団討論・GW	
				(名)	(分)	(問)	(分)	(問)						
甲府市	9/20(日)	H2	20	120	不明	—	—	—	—	①	①	②	②	
富士吉田市	9/20(日)	H4	3*	不明	不明	—	—	②	不明	①	—	②③	—	①書類選考
都留市	9/20(日)	H3	5*	120	不明	—	—	②	90	①	①	②③	—	
山梨市	9/20(日)	H2	8	120	不明	120	不明	②	不明	①	②	②	—	②
大月市	9/20(日)	H2	5*	不明	不明	—	—	②	不明	①	①	②	—	
韮崎市	9/20(日)	H2	3	120	不明	120	不明	①	90	—	①	③	—	②
南アルプス市	9/20(日)	S63	7	120	不明	120	不明	②	90	①	①	③	②	—
北杜市	9/20(日)	H2	若干*	120	不明	120	不明	②	90	①	①	②	—	②
甲斐市	9/20(日)	H2	10*	120	不明	120	不明	②	90	①	—	②③	—	②
笛吹市	9/20(日)	S62	7*	120	不明	120	不明	②	60	①	②	③	②	③プレゼンテーション
上野原市	9/6(日)	H4	若干*	—	—	—	—	③	不明	—	①	③	②	—
甲州市	9/20(日)	S62	2*	120	不明	—	—	①	不明	—	①	②	—	①能力検査(70分)
中央市	9/20(日)	S63	6	120	不明	120	不明	②	90	①	①	③	—	②
														③プレゼンテーション

■長野県

自治体名	1次試験実施日	受験資格(年齢上限)	採用予定数	選考過程										備考
				教養等		専門		論文文	事務適性試験	適性・性格検査	個別面接	集団面接	集団討論・GW	
				(名)	(分)	(問)	(分)	(問)						
長野市	6/28(日)	H6	若干	60	不明	120	不明	①	90	①	—	②③	②	—
松本市	6/28(日)	H3	30	75	60	120	40	③	不明	—	①	②③	②	—
上田市	7/12(日)	H6	30	60	120	120	40	①	60	—	①	③	—	②
岡谷市	7/12(日)	H2	若干	120	不明	—	—	—	—	—	②③	②③④	—	①エントリーシート
飯田市	※	S61	5*	※	SPI3	—	—	①	—	—	①	②③	—	①適性検査を含めて120分
諏訪市	7/12(日)	S60	7	120	不明	—	—	—	—	—	①	②※③	—	②課題提出及び面接
須坂市	7/12(日)	S61	若干*	120	40	—	—	①	60	①	①	②③	—	②③
小諸市	7/12(日)	H2	若干	120	40	120	40	①	60	—	①	②③	②③	
伊那市	※	S60	7	60	120	—	—	②	60	—	—	②③	②	①事務能力検査
駒ヶ根市	※	H2	若干	※	SPI3	—	—	②	不明	—	①	②③	—	①適性検査を含めて110分
中野市	7/12(日)	H2	若干	120	40	120	40	①	60	—	①	②③	—	
大町市	7/12(日)	H2	若干	120	40	120	40	①	90	①	①	②	—	②プレゼンテーション
飯山市	6/28(日)	H3	若干	120	不明	120	不明	①	70	—	①	②	—	
茅野市	7/12(日)	不明	不明	不明	不明	不明	不明	—	—	—	①	②	②	②
塩尻市	8/2(日)	H2	若干	120	40	—	—	①	—	—	①	②③	—	②
佐久市	6/28(日)	S63	10*	不明	不明	—	—	①	不明	—	①	③④	②	
千曲市	6/28(日)	H5	若干	120	40	120	40	①	50	—	①	②	—	—
東御市	9/20(日)	H3	若干	120	40	90	30	①	60	—	①	②③	—	
安曇野市	6/28(日)	S60	14	120	40	120	40	②	不明	—	—	②	—	②
														③

※飯田市 :5/1(金)~5/27(水)に小論文を提出、6/6(土)~6/12(金)のうち受験者が選択する日時にSPIをテストセンターにて受験。
 ※伊那市 :伊那市役所会場は7/12(日)実施、テストセンター会場は7/5(日)~7/17(金)のうち受験者が選択する1日に実施。
 ※駒ヶ根市 :会場受験は7/19(日)、テストセンター受験は指定期間7/13(月)~22(水)の期間内。

■岐阜県

自治体名	1次試験実施日	受験資格(年齢上限)	採用予定数 (名)	選考過程											備考
				教養等		専門		論文文	事務適性試験	適性・性格検査	個別面接	集団面接	集団討論・GW		
				(分)	(問)	(分)	(問)	実施(分)							
岐阜市	6/28(日)	H3	30	120	40	120	40	②	不明	-	②	②	-	②	
大垣市	7/12(日)	H5	21	120	不明	120	不明	③	不明	-	-	③	-	②	
高山市	7/12(日)	H3	2	不明	不明	-	-	①	不明	-	-	②	-	②	適性検査、性格診断検査(時期不明)
多治見市	7/12(日)	H7	3	-	-	-	-	①	不明	-	①	②③	-	-	①基礎能力検査
関市	7/12(日)	H2	10	不明	不明	-	-	①	不明	-	①	②	-	②	
中津川市	7/12(日)	S56	10	60	不明	-	-	①	60	-	①	②③	-	-	
美濃市	9/20(日)	H4	10	120	40	-	-	②	不明	①	①	②	-	②	
瑞浪市	7/12(日)	H2	3	不明	※	-	-	-	-	-	①	①②	-	-	①事務能力試験
羽島市	7/12(日)	H5	若干	-	-	-	-	②	不明	-	①	②	-	②	1次試験前に書類選考、①基礎能力検査(60分)、事務能力検査(50分)
恵那市	7/12(日)	S60	4	不明	※	-	-	②	不明	-	①	③	-	②	①基礎能力試験
美濃加茂市	7/12(日)	H6	5	120	不明	-	-	-	-	①	②	③	②	②	
土岐市	7/12(日)	H5	2	-	-	-	-	②	不明	-	①	②③	-	-	①基礎能力検査
各務原市	7/12(日)	H3	20	120	不明	-	-	-	-	①	①	②③	-	②	
可児市	6/28(日)	H6	-	-	-	-	-	-	-	①	②	①②③	-	-	[A区分]
	※	S59	18	-	-	-	-	-	-	①	②	①②③	-	-	[F区分]①6/20、6/21のうち希望する日
山県市	9/20(日)	H3	若干	120	40	-	-	②	60	①	-	②	-	②	
瑞穂市	7/12(日)	H2	若干	120	不明	-	-	-	-	①	-	-	-	-	2次試験以降の詳細は不明
飛騨市	7/12(日)	H5	2	120	40	-	-	②	不明	①	①	②	-	-	
	9/20(日)	S36	2	90	※	-	-	②	不明	-	①	②	-	-	「ふるさと枠」①職務基礎力試験
本巣市	7/12(日)	H4	若干*	120	40	-	-	②	不明	①	①	②	-	-	
郡上市	7/12(日)	S51	若干*	不明	不明	-	-	②	不明	①	①	②	-	②	
	10/18(日)	S51	若干*	不明	不明	-	-	②	不明	①	①	②	-	②	
下呂市	6/28(日)	H2	4	不明	不明	-	-	②	不明	-	①	②	-	①	
海津市	7/22(日)	S58	若干	120	不明	-	-	-	-	①	①	②	-	②	

市役所

■静岡県

自治体名	1次試験実施日	受験資格(年齢上限)	採用予定数	選考過程										備考	
				教養等		専門		論文文		事務適性試験	適性・性格検査	個別面接	集団面接		集団討論・GW
				(名)	(分)	(問)	(分)	(問)	実施						
沼津市	8/2(日)	H3	13	不明	不明	-	-	②	不明	-	②	②③	-		
熱海市	7/12(日)	H2	5	不明	※	-	-	③	不明	①	①	②③	-	①基礎能力試験	
三島市	9/20(日)	H2	若干	60	※	-	-	①	60	①	③	②③	-	申込み時に自己アピール書を提出、①基礎能力検査	
富士宮市	7/12(日)	H4	10	120	不明	-	-	②	不明	-	②	②③	-		
伊東市	7/12(日)	H2	10	SPI3	-	-	①	不明	-	①	②③	-			
島田市	7/12(日)	H2	20	不明	不明	-	-	①	不明	-	①	②③	-		
富士市	※	H7	10	※	SPI3	-	-	-	-	-	①	-	-	[春日程]①性格検査を含めて120分、③プレゼンテーション試験	
	7/12(日)	H2	5	120	不明	-	-	①	60	-	①	②③	-	[夏日程]③プレゼンテーション試験	
磐田市	※	H7※	10	②	SPI3	-	-	②	不明	-	②	③④	-	①※ 院卒 H5	
焼津市	7/12(日)	H4	10	不明	不明	-	-	-	-	-	-	①②	-		
掛川市	6/28(日)	H5	20	不明	※	-	-	①	不明	-	③	-	②	①総合能力試験	
藤枝市	7/12(日)	H2	30	不明	不明	-	-	-	-	-	①	②③	-		
御殿場市	7/12(日)	H5	数	120	不明	-	-	①	30	-	①	②	-		
袋井市	6/28(日)	H7	3	不明	不明	-	-	①	不明	-	①	③	-	② [従来型]	
	不明※	H7	2	SPI3	-	-	-	-	-	-	-	②	-	② [チャレンジ枠(SPI採用)]①書類審査、5/10(日)から再延期	
下田市	7/12(日)	S63	2	不明	不明	-	-	①	不明	②	-	②	-		
裾野市	7/12(日)	H4	4	不明	不明	-	-	②	不明	①	①	①②③	-		
湖西市	6/28(日)	S60	5	①	SPI3	-	-	-	-	-	①	②③	-	② [前期試験]	
	11/22(日)	S60	5	①	SPI3	-	-	-	-	-	①	②③	-	② [後期試験]	
伊豆市	7/12(日)	H3	3	75	※	-	-	①	60	①	-	③	②	①書類選考、新教養試験	
御前崎市	7/12(日)	H3	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	試験の詳細不明	
菊川市	※	H3	12	②	SPI3	-	-	②	不明	-	②	③	①②	-	
伊豆の国市	7/12(日)	S59	8	不明	不明	-	-	①	不明	-	①	②③	-		
牧之原市	7/12(日)	H5	4	※	SPI3	-	-	①	60	-	①	③	②	-	①適性試験と合わせて110分

※富士市(春) :6/2(火)~6/6(土)のいずれか1日にWEB個別面接を実施。
 ※磐田市 :ES審査後、1次試験は6/23(火)~7/3(金)のいずれかに個別面接試験、7/12にグループワークを実施。
 ※菊川市 :1次試験は6/27(土)集団面接試験、6/28(日)筆記試験(SPI)を実施。

■愛知県

自治体名	1次試験実施日	受験資格(年齢上限)	採用予定数 (名)	選考過程										備考	
				教養等		専門		論文文 実施(分)	事務適性試験	適性・性格検査	個別面接	集団面接	集団討論・GW		
				(分)	(問)	(分)	(問)								
豊橋市	6/28(日)	H2	40	不明	不明	-	-	-	-	②	①②③	-	②	6/29~7/11の間で指定する1日にWeb面接	
岡崎市	※	H5	45	③SPI3		-	-	-	-	②	①②③	-	-	[SPIコース]①Web面接③自己PR試験	
	※	H5		②不明	②不明	-	-	-	-	②	②③	-	-	[教養コース]②録画面面接	
一宮市	7/12(日)	H4	35	不明	不明	-	-	②	不明	②	-	②③	-	-	
瀬戸市	※	H6	14	③不明	③不明	-	-	-	-	③	③	②	-	①自己PR書③職種別試験、3分間自己PR	
半田市	※	H5	4	不明	※	-	-	-	-	②	②③	①	②	[A日程]受付時に個人面接②基礎能力検査	
	※	H5	3	不明	不明	-	-	②	不明	-	②③	①	②	[B日程]申込時に自己紹介書を提出	
春日井市	7/12(日)	H2	20	不明	不明	-	-	-	①	-	②	②	-	-	
豊川市	※	H4	25	35	②SPI3	-	-	③	不明	-	③	①	②	[SPI方式]①書類審査	
	※	H4		120	不明	-	-	②	不明	-	①	②	①	②	[一般方式]①書類審査
津島市	7/12(日)	H2	10	不明	不明	-	-	-	-	①	②③	②	-	-	
碧南市	7/12(日)	H2	8	SPI3		-	-	②	不明	①	-	②③	①	-	
刈谷市	※	H6	10	-	-	-	-	②	不明	①	①	②	-	②	5/27~6/2にWEB面接、①自己PR試験
	7/12(日)	H6	10	不明	不明	-	-	②	不明	-	①	-	②	②	[B日程]6/17(水)~6/23(火)に面接
豊田市	※	H5	40	②SPI3		-	-	-	-	-	①※③	-	③	-	
安城市	6/21(日)	H2	20	不明	※	-	-	-	-	①	-	不明	-	[A日程(自己PR方式)]書類選考、①基礎能力試験	
	※	S55		不明	不明	-	-	-	-	-	①	②	-	①	[B日程(一般方式)]書類選考
西尾市	7/12(日)	H2	7	不明	不明	-	-	②	不明	-	①	②	-	②	1次試験前にESによる書類選考
蒲郡市	7/12(日)	H2	10	不明	不明	-	-	①	不明	-	①②	②	-	①	書類審査
犬山市	※	H5	15	120	40	-	-	-	-	①	①	②	①	-	
常滑市	7/12(日)	S55	7	不明	不明	-	-	-	-	①	②③	-	②	-	
江南市	7/12(日)	H5	2	不明	不明	-	-	-	-	-	①	③	②	-	申込時に自己PRシートを提出
小牧市	7/12(日)	H4	10	不明	不明	-	-	②	不明	-	①	②③	-	②	
稲沢市	7/12(日)	H4	3	不明	不明	-	-	③	不明	-	①	③	-	②	
新城市	7/12(日)	H4	若干	不明	不明	-	-	①	不明	-	①	②③	-	②	
東海市	7/12(日)	H2	7	不明	不明	-	-	①	不明	-	②	※③	②	-	
大府市	5/26(火)	H3	5	-	-	-	-	①	不明	①	①②	③	②	①	①適性検査に知的能力を含む
知多市	7/12(日)	H2	8	120	不明	-	-	①	80	-	①	②③	-	-	申込時に自己紹介書を提出
知立市	※	H4	7	75	不明	-	-	-	-	①	①	①②	②	-	1次試験前に書類選考
尾張旭市	7/12(日)	H6	5	不明	※	-	-	-	-	①②	③	②	-	①	①基礎能力検査(60分)
高浜市	※	S60	8	75	不明	-	-	②	不明	-	①	②	①	-	
岩倉市	7/12(日)	S60	2	不明	※	-	-	②	不明	-	①	③	-	②	①SPI 150分②自己PR
豊明市	6/28(日)	H2	4	SPI3		-	-	③	不明	-	②	②③	-	-	
日進市	※	H5	10	不明	※	-	-	-	-	-	①	②③	-	-	書類選考、①総合能力検査(SPI)
田原市	6/27(土)	H4	5	不明	※	-	-	②	不明	-	①②	①②③	-	-	[総合能力試験]①基礎能力検査
	7/12(日)	H4	6	不明	不明	-	-	①	不明	-	①	②	-	-	[一般採用試験]
愛西市	7/12(日)	H7	10	不明	不明	-	-	①	不明	-	①	②	-	②	
清須市	7/12(日)	H6	2	不明	不明	-	-	①	不明	-	①	-	②	-	
北名古屋市	7/12(日)	H2	3	不明	不明	-	-	①	不明	-	①	②③	-	-	[A区分]
	※	H2	7	②SPI3		-	-	②	不明	-	-	①②③	-	-	[B区分]①7/13(月)~7/17(金)
弥富市	9/20(日)	H8	6	不明	※	-	-	②	不明	-	①	②	-	②	①教養試験(標準タイプ)
みよし市	※	H5	若干	-	-	-	-	③	不明	-	-	②③	-	③	①日程および実施方法を変更、申込者に個別に通知
あま市	※	H4	5	不明	不明	-	-	-	-	-	①	②	①	②	
長久手市	※	H7	4	SPI3		-	-	-	-	-	①	③	-	②	1次試験前に書類選考、②プレゼンテーション試験

※岡崎市[SPI] :4/28(火)~5/14(木)にWebで個人面接を実施。
 ※岡崎市[教養] :1次試験で予定されていた教養試験を6/28(日)の2次試験にて実施。
 ※瀬戸市 :7/20(月)~8/7(金)に提出した書類にて選考。
 ※半田市A :5/9(土)~5/12(火)のうち指定する日時に実施。
 ※半田市B :7/9(木)~7/12(日)のうちいずれか1日に実施。
 ※豊川市[SPI] :5/18(月)~5/22(金)に実施。
 ※豊川市[一般] :7/6(月)~7/17(金)、教養等は7/12(日)に実施。
 ※碧南市 :1次試験は受験者多数の場合、7/11(土)、7/12(日)の2日間実施の場合あり。
 ※豊田市 :5/25(月)~6/1(月)に録画面面接を実施。
 ※安城市[B日程] :1次試験は7/16(木)~7/17(金)のいずれか1日に集団討議試験、7/12(日)教養試験及び性格検査を実施。
 ※犬山市 :1次試験は7/12(日)に筆記試験を実施、7/14(火)、7/20(月)~7/22(水)のうち指定日に集団面接を実施。

- ※東海市 : 1次合格者を対象に個人説明会を実施(業務内容等に関する質疑応答及び申込書記載内容等についての聴き取り)
- ※知立市 : 1次試験は7/12(日)筆記試験、7/21(火)～7/23(木)のいずれかに面接試験を実施。
- ※高浜市 : 1次試験は7/11(土)集団面接、7/12(日)筆記試験を実施。
- ※日進市 : 1次試験は6/16(火)～7/26(日)のうち受験者が選択する日時にテストセンター会場にて実施。
- ※あま市 : 1次試験は7/11(土)集団面接、7/12(日)筆記試験を実施。
- ※長久手市 : 1次試験は6/1(月)～6/21(日)のうち受験者が選択する日時に実施。

■三重県

自治体名	1次試験実施日	受験資格(年齢上限)	採用予定数	選考過程										備考	
				教養等		専門		論文文		事務適性試験	適性・性格検査	個別面接	集団面接		集団討論・GW
				(名)	(分)	(問)	(分)	(問)	実施						
津市	9/20(日)	S60	20	不明	不明	—	—	—	—	①	②	②③	—	②③	②課題解決力試験
四日市市	9/20(日)	H3	45	※	※	—	—	③	不明	②	①	②③	②	①	①教養試験(短答記述式90分と択一式120分)
伊勢市	9/20(日)	S61	12	不明	不明	—	—	—	—	①	②③	③	—	—	—
松阪市	※	S60	10	不明	不明	—	—	②	不明	②	②	②	②	—	—
桑名市	※	S61	10	SPI3		—	—	—	—	—	③	—	②	—	—
鈴鹿市	10/18(日)	H2	11	120	不明	—	—	—	—	①	②	③	②	—	—
名張市	※	H3	4	③75	不明	—	—	③	90	—	②	③	①②	③	①エントリーシート審査
尾鷲市	9/20(日)	S60	2	75	不明	—	—	①	60	①	①	②	—	②	—
亀山市	9/20(日)	H2	3	—	—	—	—	①	不明	—	①	②	—	②	②プレゼンテーション
鳥羽市	9/20(日)	S60	5	不明	不明	—	—	①	不明	①	①	③	②	②	—
熊野市	9/20(日)	H3	7	75	60	—	—	②	不明	①	①	②	—	②	—
いなべ市	6/28(日)	H3	3	120	不明	—	—	①	60	①	①②	②③	—	—	[事務職員A(教養試験)]
	6/28(日)	H3	2	70	SPI3	—	—	①	60	①	①②	②③	—	—	[事務職員B(SPI試験)]
志摩市	6/21(日)	H3	5	120	不明	—	—	—	—	—	①②	③	②	②	[前期]
	9/20(日)	S61	7	120	不明	—	—	—	—	①	②	③	②	②	[後期]
伊賀市	7/12(日)	H3	6	不明	※	—	—	—	—	①	②	②③	—	—	①基礎能力検査(60分)

- ※松阪市 : 1次試験は6/20(土)～7/5(日)にテストセンター方式にて実施。
- ※桑名市 : 1次試験は6/1(月)～6/30(火)の期間中にテストセンターにて実施。
- ※名張市 : 1次試験は7/23(木)を実施予定日とするが、受験申込者数の状況により7/25(土)、7/26(日)に実施する場合あり。

■滋賀県

自治体名	1次試験実施日	受験資格(年齢上限)	採用予定数	選考過程										備考	
				教養等		専門		論文文		事務適性試験	適性・性格検査	個別面接	集団面接		集団討論・GW
				(名)	(分)	(問)	(分)	(問)	実施						
大津市	8/10(日)	H4	46	不明	※	—	—	—	—	①	②③④	—	—	①	①基礎能力検査、②Web面接
彦根市	※	H2	15	※	※	—	—	②	不明	—	②③	①	—	—	—
長浜市	7/12(日)	H5	17	※	※	—	—	②	不明	②	②③	—	—	—	—
近江八幡市	7/12(日)	H6	12	75	60	—	—	※	不明	—	※	—	—	—	—
草津市	9/20(日)	H8	11	120	不明	—	—	—	—	①	③	②	②	—	[教養]
	9/19(土)	H8	—	90	SPI3	—	—	—	—	①	③	②	②	—	[SPI]
守山市	9/20(日)	H4※	10	不明	不明	—	—	—	—	②	①②③	—	—	—	新卒枠はH8
栗東市	7/24(日)	S63	4	120	不明	120	不明	②	不明	—	②③	—	②	—	—
甲賀市	9/20(日)	H3	13	120	不明	—	—	②	不明	—	②	—	②	—	—
野洲市	7/12(日)	S60	10	120	不明	—	—	③	不明	②	③	②	②	—	—
湖南市	7/12(日)	H4	6	120	不明	—	—	—	—	—	②③	①	②	—	②ゲーム形式による集団試験
高島市	※	H2	8	60	※	—	—	②※	60	①	②	②③	—	—	①SPI②課題解決力試験③プレゼンテーション型面接
東近江市	6/28(日)	H5	22	不明	不明	—	—	③	不明	①	③	—	②	—	—
米原市	7/12(日)	H2	—	70	SPI3	—	—	③	不明	②	③	①②	—	—	[基礎能力検査選択]
	7/12(日)	H2	7	※	※	—	—	③	不明	①	②	③	①	—	[総合適性検査選択]①基礎能力検査(事務能力と合わせて110分)

- ※彦根市 : 1次試験は、教養試験(6/28(日)実施、120分)または基礎能力検査(SPI、7/4(土)実施、90分)のどちらか一方を選択。
- ※長浜市 : 1次試験は、教養試験(120分)またはSPI試験(90分)のいずれかを受験。
- ※近江八幡市 : 2次試験及び3次試験で口述試験、作文試験、性格検査等を実施。
- ※高島市 : 6/29(月)～7/31(金)の期間中にテストセンターにて受験。

■京都府

自治体名	1次試験実施日	受験資格(年齢上限)	採用予定数	選考過程										備考	
				教養等		専門		論文文 実施	事務適性試験	適性・性格検査	個別面接	集団面接	集団討論・GW		
				(名)	(分)	(問)	(分)								(問)
福知山市	5/10(日)	S61	10	②120	40	-	-	③	30	-	③	①③	-	[一般教養試験]③プレゼンテーション	
	5/10(日)	S61	10	②70	70	-	-	③	30	-	③	①③	-	[SPI試験]③プレゼンテーション	
舞鶴市	7/12(日)	H4	10*	不明	不明	-	-	②	不明	①	-	②③	-	②	
綾部市	7/12(日)	H4	若干*	120	40	-	-	②	不明	①	-	②③	-		
宇治市	※	H2	若干*	②SPI3	-	-	-	②	不明	-	-	③④	①	-	①12/19(土)、12/20(日)のうち1日
宮津市	7/12(日)	H4	若干*	120	40	-	-	①	50	①	-	②	-	-	
	10/18(日)	H4	若干*	120	40	-	-	①	50	①	-	②	-	-	
亀岡市	9/20(日)	S60	若干*	-	-	-	-	-	①	不明	-	②③	①	-	[かめおか・未来・チャレンジ方式]
	9/20(日)	H6	若干*	120	不明	-	-	-	-	-	-	②③	-	-	[一般方式]
城陽市	※	H4	5*	-	-	-	-	-	-	①	③	②③④	-	-	
向日市	9/20(日)	H9	10*	SPI3	-	-	-	-	-	-	①	②③	-	-	1次試験前にエントリーシートによる書類選考
長岡京市	9/20(日)	H7	9	不明	※	-	-	①	不明	-	②	③	-	②	①基礎能力試験
八幡市	9/20(日)	H5	4*	不明	不明	-	-	①	不明	-	②	②③	-	-	
京田辺市	9/20(日)	H7	若干*	不明	不明	-	-	②	不明	-	②	②③	-	-	
京丹後市	7/12(日)	H2	15*	120	不明	-	-	①	60	-	①	②③	-	-	[第1回]
	10/18(日)	H2	10*	120	不明	-	-	①	60	-	①	②③	-	-	[第2回]
南丹市	※	H7	5*	60	※	-	-	-	-	①	-	②③	-	-	[前期]①基礎能力試験
	10/18(日)	H7	5*	60	※	-	-	-	-	①	-	②③	-	-	[後期]①基礎能力試験
木津川市	6/21(日)	H5	若干*	※	SPI3	-	-	②	不明	-	①	②③	-	-	[前期]①基礎能力試験+性格検査110分
	8/30(日)	H5	若干*	120	40	-	-	②	不明	-	①	②③	-	-	[後期]

※福知山市 : 一般教養試験または SPI3 は 2 次試験で実施。
 ※城陽市 : 7/22(水)～8/4(火)にテストセンターにて実施。
 ※南丹市 : 5/31(日)から延期。延期後の日程不明。

■大阪府

自治体名	1次試験実施日	受験資格(年齢上限)	採用予定数	選考過程											備考
				教養等		専門		論文文	事務適性試験	適性・性格検査	個別面接	集団面接	集団討論・GW		
				(名)	(分)	(問)	(分)	(問)						実施	
岸和田市	※	S60	5	②30	不明	—	—	②	不明	—	①	①③	②	—	[7月実施]①記述式試験
	※	H2	7	150	不明	—	—	②	不明	—	②	①③	②	—	[9月実施]
豊中市	6/28(日)	S56	10	150	不明	—	—	②	不明	—	—	②	—	—	[一般教養試験枠]②面接、小論文以外不明
	※	S56	10	※	SPI3	—	—	②	不明	—	—	—	—	—	[SPI3枠]②面接、小論文以外詳細不明
池田市	※	H5	5	②	不明	—	—	—	—	②	—	①	—	—	[事務B]③詳細不明
吹田市	※	H7	25	①SPI3		—	—	—	—	—	①③	③	②	②	[行政I・SPI選択]
	6/28(日)	H7		不明	不明	—	—	—	—	—	②③	③	②	②	[行政I・一般教養選択]
泉大津市	9/20(日)	H2	7	120	不明	—	—	—	—	—	※	②③	—	②	WEBで適性検査を実施
高槻市	6/28(日)	H2	25	不明	不明	—	—	—	—	—	②	②③④	—	③	
貝塚市	※	H2	10	120	40	—	—	—	—	—	②	③	②	—	①7/18(土)または7/19(日)
守口市	※	S60	10	②※	※	—	—	—	—	※	③	②③	①	③	②総合適性検査(基礎・事務能力)
枚方市	※	H7	16	②SCOA		—	—	④	不明	—	②	③④	—	—	大学卒①申込時エントリーシート審査、②SCOA、③Web
	※	S36	8	②SCOA		—	—	④	不明	—	②	③④	—	—	[一般枠]①申込時エントリーシート審査、②SCOA、③Web
茨木市	※	H2	20	※	※	—	—	—	—	—	—	②	—	—	①エントリーシート、総合能力試験、2次以降不明
八尾市	9/20(日)	H8	4	③60	不明	—	—	—	—	—	—	②③	①	—	[事務職A]
	9/20(日)	H4	4	③60	不明	—	—	—	—	—	—	②③	①	—	[事務職B]
泉佐野市	※	H4	2	不明	不明	—	—	①	不明	②	②	①③	—	—	
富田林市	9/20(日)	H3	3	105	※	—	—	②	不明	※	※	③	—	②	①総合適性検査
寝屋川市	※	S63	36	—	—	—	—	—	—	—	—	①③	—	—	①録画面面接②ディベート
河内長野市	※	H3	3	SPI3		—	—	—	—	—	—	③	②	—	
松原市	6/14(日)	H3	10	不明	不明	—	—	③	不明	※	※	②③	②	—	②総合適性検査
大東市	※	S61	10	SCOA		—	—	—	—	①	—	③	②	—	1次試験前にエントリーシート選考
和泉市	9/20(日)	H7	4	60	※	—	—	②	不明	—	—	②③	—	③	①能力適性検査
箕面市	※	H1	20	SPI3		—	—	※	※	—	—	—	②	—	
柏原市	9/20(日)	H2	5	150	不明	—	—	—	—	—	②	③	②	②	
羽曳野市	9/20(日)	H2	6	150	不明	—	—	③	不明	—	②	③	②	—	
門真市	※	H2	10	—	—	—	—	—	—	①	①	③	—	②	②書類選考
摂津市	※	S60	5	—	—	—	—	—	—	※	※	②③	—	—	①エントリーシート(申込時提出)、①総合適性検査
高石市	9/20(日)	S55	5	150	不明	—	—	①	60	—	②	②③	②	—	
藤井寺市	※	H6	10	60	※	—	—	②	不明	※	—	③	②	③	1次試験前に事務職適性検査をウェブ受検
東大阪市	※	H8	40	※	※	—	—	—	—	—	②	②③	—	③	①②基礎能力検査
泉南市	※	H2	4	不明	※	—	—	—	—	—	①	①②③	—	—	①基礎能力検査
四條畷市	※	S51	4	—	—	—	—	—	—	—	②	①②③	—	—	①事前録画面面接、②Web個人面接、③対面
交野市	※	H6	4	60	※	—	—	②	不明	—	①	③	—	②	①基礎能力検査
大阪狭山市	6/14(日)	H1	10	60	※	—	—	—	—	①	①	②	②	—	①基礎能力検査、③詳細は不明
阪南市	9/20(日)	S61	7	不明	※	—	—	—	—	—	①	①	①②	—	①基礎能力検査

※岸和田市(7月):1次試験は7/26(日)筆記試験、8/22(土)~8/23(日)面接試験を実施。
 ※岸和田市(9月):1次試験は9/20(日)筆記試験、10/17(土)~10/18(日)面接試験を実施。
 ※豊中市[SPI3枠]:6/12(金)~6/22(月)の期間中に各自WEB上で受験。
 ※池田市[事務A]:6/22(月)~6/26(金)のうち指定された1日に個人面接を実施。
 ※池田市[事務B]:6/13(土)~6/21(日)の期間中、受験者本人が選択した日時に実施。
 ※吹田市:6/8(月)~7/3(金)の期間中に性格検査を各自WEB上で、能力検査をテストセンターにて受験。
 ※守口市:7/21(火)~7/26(日)のうち指定する1日に実施。
 ※枚方市:7/17(金)~7/27(月)の期間内に申込み。
 ※茨木市:6/15(月)~7/17(金)に受験可能。
 ※泉佐野市:1次試験は9/20(日)に筆記試験を実施、筆記試験合格者を対象に10/10(土)に面接試験を実施。
 ※河内長野市:7/23(木・祝)~8/10(月・祝)までのいずれか1日のうち受験者が選択する日にリクルートテストセンターで受験。
 ※大東市:9/19(土)~9/27(日)の受験期間内にテストセンター方式にて実施。
 ※箕面市:申込時に小論文を提出。1次試験は7/22(水)~8/9(日)のうち、いずれかで都合のよい時間を選択。
 ※門真市:8/29(土)~9/13(日)の期間中にテストセンターにて受験。
 ※摂津市:6/26(金)~7/5(日)の期間中にテストセンターにて総合適性検査を受検。
 ※藤井寺市:9/21(月)~9/28(月)の期間中にテストセンターにて総合適性検査を受検。
 ※東大阪市:9/10(木)~9/24(木)の間に受験者自身で受験日時・会場を予約しテストセンター方式にて受験。
 ※泉南市:1次試験は8/27(木)~9/7(月)までの受験生が選択する日時に総合適性検査、9/20(日)~9/22(祝)の市が指定する日時に面接試験。
 ※四條畷市:9/1(火)~9/14(月)の期間中にビデオによる個人面接を実施。
 ※交野市:10/15(木)~10/25(日)の間にテストセンターにて実施。

■兵庫県

自治体名	1次試験実施日	受験資格(年齢上限)	採用予定数 (名)	選考過程										備考	
				教養等		専門		論文文 実施	事務適性試験	適性・性格検査	個別面接	集団面接	集団討論・GW		
				(分)	(問)	(分)	(問)								(分)
姫路市	7/12(日)	H7	20	120	不明	120	不明	②	※	-	②	②③	-	-	[A区分]②事例式課題論文
	9/20(日)	H7	10	120	不明	-	-	②	※	①	②	②③	-	-	[B区分]②事例式課題論文
尼崎市	※	H8	10	不明	※	-	-	-	-	-	①	③	②	③	[A]①基礎能力検査
	※	H3		不明	※	-	-	-	-	-	①	③	②	③	[B]①基礎能力検査
明石市	※	S36	15	※	※	※	※	-	-	-	-	②③	-	②	①エントリーシート作成、資格加点
	西宮市	6/28(日)	H4	70	SPI3	-	-	②	不明	-	②	②	-	-	[A-1]
洲本市	7/12(日)	H4	若干	45	不明	90	不明	②	不明	-	②	③	-	-	[A-2]
	9/20(日)	H5		120	不明	120	不明	-	-	-	①	③	-	②	
芦屋市	※	H4	4	※	不明	-	-	-	-	①	-	-	-	-	[A]①事務能力診断120分、2次以降不明
	※	S55	1	※	不明	-	-	-	-	①	-	-	-	-	[B]①事務能力診断120分、2次以降不明
伊丹市	7/12(日)	H7	若干	※	※	※	※	②	不明	-	-	②③	-	-	[A]
	7/12(日)	H7		※	※	※	※	②	不明	-	-	②③	-	-	[B]
相生市	※	H2	2	120	不明	-	-	①	60	-	①	②	①	②	
豊岡市	9/20(日)	S60	6	120	不明	-	-	②	80	-	②	③	②	③	[A(教養試験枠)]
	※	S60	7	65	SPI3	-	-	②	80	-	②	③	②	③	[B(SPI枠)]
加古川市	※	H5	24	※	SPI3	-	-	-	-	-	①	①②	-	-	①適性検査と合わせて100分
赤穂市	※	H2	4	120	不明	-	-	①	不明	②	-	②	①	-	
西脇市	※	H8	10	②120	不明	-	-	-	-	-	②	②	-	-	①書面審査
宝塚市	7/12(日)	H3	10	120	不明	90	不明	-	-	-	-	-	-	-	[A]2次以降不明
	7/12(日)	H3		70	-	-	-	-	①※	-	-	-	-	-	[A2]①能力検査、2次以降不明
三木市	7/12(日)	H9	5	120	不明	-	-	-	-	①	②	③	②	-	
高砂市	※	H5	10	-	-	-	-	①②	※	-	①	①③	②	-	
川西市	7/12(日)	H5	10	60	不明	-	-	③	不明	①	-	②③	-	-	
小野市	6/20(土)	H8	4	120	不明	-	-	③	不明	①	①	③	②	-	
三田市	※	H7	7	※	SPI3	-	-	②	不明	-	-	②③	-	②	1次試験前に書類選考あり
加西市	※	H5	10	110	SPI3	-	-	①	60	-	-	①②③	-	-	[SPI試験]
	※	H5		120	不明	-	-	①	60	-	-	①②③	-	-	[公務員教養試験]
丹波篠山市	7/12(日)	H6	若干	120	不明	-	-	②	不明	-	①	③	②	-	
養父市	7/12(日)	※	若干	120	不明	-	-	②	不明	-	①	②	-	-	
丹波市	9/20(日)	H7	3	120	不明	-	-	①	60	-	①	②	-	-	
南あわじ市	9/20(日)	H2	5	不明	不明	-	-	-	-	①	①	②③	-	-	
朝来市	7/12(日)	H7	3	75	不明	-	-	①	90	-	①	②③	-	-	[教養試験]
	※	H7		35	SPI3	-	-	②	不明	-	①	②③	-	-	[SPI試験]
淡路市	9/20(日)	H7	5	70	※	-	-	-	-	①	③	②	-	-	①基礎能力検査
宍粟市	9/20(日)	H4	8	120	不明	-	-	①	60	①	①	③	②	②	
加東市	7/12(日)	H2	5	不明	SPI3	-	-	-	-	-	-	②③	-	③	[前期]③個別面接プレゼンテーション含む
	9/20(日)	H2	4	不明	SPI3	-	-	-	-	-	-	②③	-	③	[後期]③個別面接プレゼンテーション含む
たつの市	※	H5	5	120	不明	120	不明	①	90	①	-	②	①	-	[A(専門試験あり)]
	※	H5		120	不明	-	-	①	90	①	-	②	①	-	[B(専門試験なし)]

- ※尼崎市 :9/7(月)～9/22(火)の期間中にテストセンターにて受験。
- ※明石市 :1次試験は10/16(金)までにエントリーシートをWebで提出、10/30(金)～11/3(火)のいずれかに個別面接を実施。
2次試験でAコース(教養試験・集団討論)またはBコース(公務員専門試験)のどちらかを受験。
- ※芦屋市 :7/18(土)～7/26(日)までの受験者が選択する日時にテストセンターにて受験。
- ※伊丹市 :1次試験は①教養試験＋専門試験、②SPI3のいずれかを選択。
- ※相生市 :1次試験は7/12(日)筆記試験、7/13(月)集団面接を実施。
- ※豊岡市B :8/28(金)～9/19(土)の期間中にテストセンターにて受験。
- ※加古川市 :1次は7/20(月)～8/3(月)の間で基礎能力及び適性検査をテストセンターにて、8/21(金)～8/23(日)のうち指定する1日に個人面接、面接シートの審査を実施。
- ※赤穂市 :1次試験は7/12(日)筆記試験、7/13(月)集団面接を実施。
- ※西脇市 :5/25(月)～6/12(金)の受験申込時提出の受験申込書による書面審査を実施。
- ※高砂市 :1次試験は7/26(日)筆記試験、8/8(土)～8/9(日)面接試験を実施。1次の小作文等(作文及びエントリーシートの作成)は60分。
- ※三田市 :6/27(土)～7/4(土)のいずれかにテストセンターで受験。
- ※加西市 :1次試験は6/14(日)筆記試験、6/15(月)面接試験を実施。
- ※養父市 :令和2年度中(令和3年3月末まで)に大学、短大、大学院、高専のいずれかの課程を修了し、卒業する見込みの人。
- ※朝来市 :1次試験は7/1(水)～7/11(土)の期間中にテストセンターにて受験。
- ※たつの市 :1次試験は7/12(日)筆記試験、7/13(月)集団面接を実施。

市役所

■奈良県

自治体名	1次試験実施日	受験資格(年齢上限)	採用予定数	選考過程										備考	
				教養等		専門		論文文	事務適性試験	適性・性格検査	個別面接	集団面接	集団討論・GW		
				(名)	(分)	(問)	(分)	(問)	実施	(分)					
奈良市	※	H5	20	不明	※	-	-	-	-	-	①	②③	①	③	①受験申込時の提出書類選考、基礎能力試験
大和高田市	7/12(日)	S60	16	不明	不明	-	-	③	不明	-	②	③	-	②	
大和郡山市	※	H4	12	60	※	-	-	-	-	①	②	②	-	-	①基礎能力試験
天理市	※	H6	11	不明	※	-	-	-	-	-	①	②③	-	②	①基礎能力試験
橿原市	※	H3	5	不明	※	-	-	-	-	※	※	②	-	-	②社会人基礎試験として職務基礎能力試験(90分75問)、職務適応性検査(20分150問)を実施。
桜井市	9/20(日)	H7	6	不明	不明	-	-	-	-	①	③	②③	-	-	②プレゼンテーション面接(口頭試験を含む)
五條市	※	H3	3	不明	※	-	-	-	-	①※	①	①②	-	-	①基礎能力試験、実技試験(パソコン入力等の事務処理能力試験)
御所市	※	H3	5	不明	※	-	-	②	不明	-	-	③	②	-	①総合能力試験
生駒市	※	H5	15	不明	SPI3	-	-	③	不明	-	-	②③④	-	-	
香芝市	9/20(日)	H7	8	不明	不明	-	-	②	不明	-	②	③	②	-	
葛城市	※	S61	4	不明	※	-	-	②	不明	①	-	③	-	②	①基礎能力試験
宇陀市	7/12(日)	H5	5	120	不明	-	-	※	不明	-	①	※	-	-	

※奈良市 :1次試験は、4月下旬～5月上旬に集団面接を実施し、集団面接及び受験申込時提出書類の書類選考で一定の点数に達している人に対し、受験依頼メールで指定した日から5/20までの期間のうち、受験者が選択する日時に総合能力試験を実施。

※大和郡山市 :9/12(土)～9/22(火)の期間中にテストセンターにて受験。

※天理市 :6/18(木)～7/10(金)の期間のうち、受験者が選択する日時にテストセンターにて実施。

※橿原市 :6/22(月)～7/3(金)の期間中に受付した録画動画による選考を実施。

※五條市 :1次試験は9/20(日)、9/21(月・祝)の2日間実施。

※御所市 :8/1(土)～8/10(月)の期間中にテストセンター方式にて実施。

※生駒市 :4/25(土)～5/5(火)の期間中にテストセンターで受験。

※葛城市 :9/17(木)～10/1(木)の期間中にテストセンターで受験。

※宇陀市 :2次試験、3次試験においてグループディスカッション、面接、小論文を実施。

■和歌山県

自治体名	1次試験実施日	受験資格(年齢上限)	採用予定数	選考過程										備考	
				教養等		専門		論文文	事務適性試験	適性・性格検査	個別面接	集団面接	集団討論・GW		
				(名)	(分)	(問)	(分)	(問)	実施	(分)					
和歌山市	6/28(日)	S60	7	120	不明	120	不明	②	90	-	②	②	②	-	[1型]
	6/28(日)	S60	11	60	不明	-	-	③	90	②	②③	②③	②	-	[2型]
海南市	9/20(日)	S61	5	75	不明	-	-	-	-	-	-	②③	-	-	
橋本市	9/20(日)	H3	7	120	40	-	-	-	-	-	①②	③	-	②	
有田市	※	S61	4	※	② SPI3	-	-	②	60	-	②	①③④	-	-	②性格検査と合わせて110分
御坊市	9/20(日)	S60	3	75	不明	-	-	①	60	-	①	②③	-	-	
田辺市	9/20(日)	S60	17	120	不明	-	-	②	60	①	②	②	-	-	
新宮市	※	H5	3	120	不明	-	-	②	90	①	①	①②	②	-	
紀の川市	9/20(日)	H7	10	120	40	-	-	②	60	-	①	③	②	②	
岩出市	9/22(日)	H4	3	不明	不明	不明	不明	②	不明	②	-	②	-	-	

※有田市 :1次試験は9/12(土)、9/13(日)に実施。

※新宮市 :1次試験は9/20(日)筆記試験、10月中旬～10月下旬に1次面接を実施。

■鳥取県

自治体名	1次試験実施日	受験資格(年齢上限)	採用予定数	選考過程										備考	
				教養等		専門		論文文 実施(分)	事務適性試験	適性・性格検査	個別面接	集団面接	集団討論・GW		
				(名)	(分)	(問)	(分)								(問)
鳥取市	6/28(日)	H3	32	120	不明	—	—	②	90	①	②	②	—	—	②自己アピール審査
米子市	※	S60	7	不明	※	—	—	②	60	—	①	②③	—	—	①基礎能力試験
倉吉市	9/20(日)	S63	1	75	60	—	—	②	60	①	②	③	—	—	—
境港市	9/20(日)	H2	5	120	不明	—	—	①	60	—	①	②	—	—	②申込時に自己紹介文を提出

※米子市 :6/8(月)~6/25(木)の期間中にテストセンターにて受験。

■島根県

自治体名	1次試験実施日	受験資格(年齢上限)	採用予定数	選考過程										備考	
				教養等		専門		論文文 実施(分)	事務適性試験	適性・性格検査	個別面接	集団面接	集団討論・GW		
				(名)	(分)	(問)	(分)								(問)
松江市	※	H3	30	不明	不明	—	—	①	不明	—	①	①②	—	—	—
浜田市	6/23(日)	H5	4	120	不明	—	—	①	60	①	①	②	—	—	②
出雲市	※	H3	5	120	不明	—	—	①	60	—	①	①②	—	—	—
益田市	10/18(日)	H4	5	120	40	—	—	①	60	①	①	②	—	—	—
大田市	8/2(日)	S60	5	不明	不明	—	—	②	不明	①	①	②	—	—	②
安来市	6/28(日)	H3	4	120	不明	—	—	①	90	①	①	②	—	—	—
江津市	9/20(日)	S63	5	不明	不明	—	—	②	※	①	①	②	—	—	②作文試験は、1次試験日に実施し、採点は2次試験で行う。
雲南市	6/28(日)	S61	若干	120	不明	—	—	①	80	①	①	②	—	—	—

※松江市 :1次試験は6/28(日)筆記試験、7/17(金)~7/19(日)のいずれかに面接試験を実施。

※出雲市 :1次試験は6/28(日)筆記試験、7/18(土)~7/19(日)のいずれかに筆記試験結果の上位の人を対象とした個別面接を実施。

■岡山県

自治体名	1次試験実施日	受験資格(年齢上限)	採用予定数	選考過程										備考	
				教養等		専門		論文文		事務適性試験	適性・性格検査	個別面接	集団面接		集団討論・GW
				(名)	(分)	(問)	(分)	(問)	実施						
倉敷市	6/28(日)	H3	18	120	不明	120	不明	①	60	-	-	②③	②	[A区分]	
	6/28(日)	H3	10	-	-	-	-	①	60	-	①	①②③	②	[B区分]	
津山市	7/12(日)	H4	10	120	不明	-	-	②	不明	-	①②	③	②	③	
玉野市	6/28(日)	H4	5	②75	不明	-	-	※	※	-	②	②③	①	②	①自己PRの動画撮影
笠岡市	6/28(日)	S63	若干	120	不明	-	-	-	-	-	①②	②	-	-	
井原市	7/12(日)	H2	8	120	不明	-	-	②	不明	-	①②	②③	-	[A]	
	7/12(日)	H2	-	-	-	-	-	②	不明	-	①②	①②③	-	[B(アピール枠)]	
総社市	6/28(日)	H2	5	120	不明	-	-	-	-	-	①②	②③	-	③プレゼンテーション討論	
高梁市	※	H5	5	120	不明	-	-	①	30	①	①	②	-	①	
新見市	7/12(日)	S60	7	120	不明	-	-	①	60	①	①	②	-	-	
備前市	7/12(日)	S63	3	75	不明	-	-	③	不明	-	③	②③	-	①文章完成試験(記述式/10分)	
瀬戸内市	7/12(日)	S36	10	120	不明	-	-	①	60	①	②	②③	②	①申込時のエントリーシート審査	
赤磐市	7/12(日)	H2	10	不明	不明	-	-	-	-	-	①※	②③	-	②	①申込時提出の書類選考、適性試験(SPI)
真庭市	7/12(日)	S63	5	120	不明	-	-	②	不明	①	②	③	-	[前期]①ES(60分)②課題討論試験③記述試験	
	9/20(日)	S60	3	120	不明	-	-	②	不明	①	②	③	-	[後期]①ES(60分)②課題討論試験③記述試験	
	9/20(日)	S60	若干	120	不明	-	-	-	-	①	①	②③	-	[後期(自己アピール型)]①ES(60分)②プレゼン	
美作市	7/12(日)	H3	8	120	不明	-	-	③	不明	-	①	②※③	②	②プレゼンテーション面接、ストレス耐性検査	
浅口市	9/20(日)	H2	若干	120	不明	-	-	②	不明	-	①	②	-	-	

※玉野市 : 作文は1次試験合格後に課題として出題され、2次試験の受付時に提出。

※高梁市 : 1次試験は7/12(日)に筆記試験、7/23(木)に集団討論を実施。

■広島県

自治体名	1次試験実施日	受験資格(年齢上限)	採用予定数	選考過程										備考	
				教養等		専門		論文文		事務適性試験	適性・性格検査	個別面接	集団面接		集団討論・GW
				(名)	(分)	(問)	(分)	(問)	実施						
呉市	6/28(日)	S61	23	不明	不明	不明	不明	-	-	-	-	②③	-	②	
竹原市	9/20(日)	H5	若干	120	不明	-	-	①	50	-	②	③	③	②	
三原市	7/12(日)	H5	6	120	不明	-	-	②	50	①	②	③	②	③	
尾道市	8/2(日)	H2	7	※	※	-	-	-	-	-	①	②	①	-	①基礎能力試験、性格適性試験と合わせて110分、②プレゼンテーション面接
福山市	※	S62	30	120	40	120	40	②	90	-	①	②	①	②	[1種A]
	※	S62	10	120	40	-	-	①	90	-	①	②	①	②	[1種B]
府中市	※	H2	35	60	不明	-	-	②※	60	-	①	①	-	-	②記述式試験(文章要約)、2次以降不明
三次市	9/20(日)	H3	10	60	※	-	-	②	60	-	①	②※③	-	-	①総合適性検査、ES(60分)、②プレゼンテーション面接
庄原市	8/23(日)	H2	若干	120	不明	-	-	①	60	-	①	③	-	②	[前期]
	10/18(日)	H2	若干	120	不明	-	-	①	60	-	①	③	-	②	[後期]
大竹市	9/20(日)	H2	若干	120	不明	-	-	②	60	-	①	②③	-	②	
東広島市	9/20(日)	H3	14	120	不明	-	-	①	60	-	②③	③	②	②	
廿日市市	9/20(日)	H2	13	120	不明	-	-	①	60	-	①	②③	②	②	[教養]③プレゼンテーション面接を含む
	9/20(日)	H2	13	70	SPI3	-	-	①	60	-	①	②③	②	②	[SPI]③プレゼンテーション面接を含む
安芸高田市	9/20(日)	H11	4	-	-	-	-	-	-	①	①	①②	-	-	[A]①基礎能力検査(60分)
	9/20(日)	S60	5	-	-	-	-	-	-	①	①	①②	-	-	[B]①基礎能力検査(60分)
江田島市	9/20(日)	H3	2	120	不明	-	-	①	60	-	①	②	-	②	

※福山市 : 1次試験は7/11(土)集団面接、7/12(日)筆記試験を実施。

※府中市 : 1次試験は9/16(水)～9/27(日)のうち受験生が選択する日程に基礎能力検査、事務能力検査をテストセンターにて、性格適性検査をWEB受験、9/20(日)筆記試験を実施。

■山口県

自治体名	1次試験実施日	受験資格(年齢上限)	採用予定数 (名)	選考過程										備考	
				教養等		専門		論文文 実施	事務適性試験	適性・性格検査	個別面接	集団面接	集団討論・GW		
				(分)	(問)	(分)	(問)								(分)
下関市	7/12(日)	H4	10	120	不明	120	不明	③	60	-	②	③	-	②	
宇部市	6/28(日)	H5	10	120	不明	-	-	-	-	-	①	②③	-	-	
山口市	6/28(日)	S61	10	60	※	-	-	③	不明	-	①	②③	-	②	先行実施枠①基礎能力検査、エントリーシート(50分)
	7/12(日)	H3	10	120	不明	120	不明	③	不明	-	①	②③	-	②	
萩防府市	7/12(日)	H5	5	不明	不明	-	-	①	不明	①	①	②	①	-	
	6/28(日)	不明	6	-	-	-	-	③	不明	-	-	②③	-	-	[A方式]①職務基礎力試験
	7/12(日)	H3	3	120	不明	120	不明	②	不明	-	①	②	-	-	[B方式]
下松市	7/28(日)	H3	4	120	40	-	-	③	不明	-	③	③	-	②	
岩国市	7/12(日)	H3	13	不明	不明	不明	不明	③	不明	-	②	②③	-	-	
光市	7/12(日)	H3	3	120	不明	120	不明	②	不明	-	①	②③	-	-	
長門市	7/12(日)	H5	10	120	不明	120	不明	①	90	-	①	②	-	②	
柳井市	7/12(日)	H3	4	不明	不明	不明	不明	②	不明	①	①	②	-	-	
美祿市	7/12(日)	H3	若干	120	不明	120	不明	①	90	①	-	③	-	②	
周南市	7/12(日)	H5	15	※	SP3	-	-	①	40	-	①	②③	-	②	①性格検査と合わせて110分
山陽小野田市	7/12(日)	H4	2	60	不明	-	-	-	-	-	①	②③	-	-	①エントリーシート作成(60分)

■徳島県

自治体名	1次試験実施日	受験資格(年齢上限)	採用予定数 (名)	選考過程										備考	
				教養等		専門		論文文 実施	事務適性試験	適性・性格検査	個別面接	集団面接	集団討論・GW		
				(分)	(問)	(分)	(問)								(分)
徳島市	9/20(日)	S60	22	不明	不明	不明	不明	-	-	-	②	③	-	②	②課題解決力試験、プレゼンテーション試験
鳴門市	10/18(日)	H2	4	120	不明	120	不明	②	不明	-	②SP3	②③	-	③	
小松島市	10/18(日)	H2	4	120	不明	120	不明	②	不明	-	-	②	-	-	
阿南市	9/20(日)	H2	5	不明	不明	不明	不明	②	不明	-	①	③	-	②	
	6/28(日)	H3	6	不明	不明	不明	不明	②	不明	-	②	②	-	②	[A方式]
	7/5(日)	H3	6	60	※	-	-	②	不明	-	②	②	-	②	[B方式]①基礎能力検査
阿波市	9/20(日)	H1	7	120	40	120	40	②	不明	-	②	②	-	-	②プレゼンテーション試験
美馬市	9/20(日)	S60	若干	60	※	-	-	②	60	①	①	③	-	-	①基礎能力検査②プレゼンテーション面接(15分)
三好市	10/18(日)	S50	若干	120	40	-	-	-	-	①	①	②	-	-	

■香川県

自治体名	1次試験実施日	受験資格(年齢上限)	採用予定数 (名)	選考過程										備考	
				教養等		専門		論文文 実施	事務適性試験	適性・性格検査	個別面接	集団面接	集団討論・GW		
				(分)	(問)	(分)	(問)								(分)
高松市	6/28(日)	S63	20	120	不明	120	不明	-	-	-	①	③	②	-	
丸亀市	6/28(日)	H3	15	不明	不明	不明	不明	①	不明	-	①	③	-	②	
坂出市	9/20(日)	H3	3	不明	不明	不明	不明	-	-	-	①	②	-	-	
善通寺市	9/20(日)	S60	5	不明	不明	不明	不明	-	-	-	①	②	③	-	
観音寺市	7/12(日)	S61	7	120	40	120	40	②	不明	-	-	②	②	-	
さぬき市	9/20(日)	H3	3	120	不明	120	不明	②	不明	-	②	②	-	②	
東かがわ市	9/20(日)	H3	3	不明	不明	不明	不明	①	不明	-	-	②	-	-	①受験申込時の録画面接
三豊市	7/12(日)	S63	13	120	不明	-	-	-	-	①	-	③	②	-	

■愛媛県

自治体名	1次試験実施日	受験資格(年齢上限)	採用予定数	選考過程										備考	
				教養等		専門		論文文	事務適性試験	適性・性格検査	個別面接	集団面接	集団討論・GW		
				(名)	(分)	(問)	(分)								(問)
松山市	6/7(日)	S62	41	120	40	120	40	—	—	①	②	②③	②	②	
今治市	7/12(日)	H3	10	不明	不明	不明	不明	—	—	—	①	②③		②	
宇和島市	※	H2	12	120	40	—	—	—	—	—	①	①②		—	
八幡浜市	7/12(日)	S62	6	不明	不明	不明	不明	①	不明	—	①	②	—	—	①6月中旬に書類選考
新居浜市	7/12(日)	H3	10	120	不明	90	不明	②	不明	—	①	②③	②	—	[A区分]①自己アピール書(20分)、②プレゼンテーション試験
	7/12(日)	H3		60	※	—	—	②	不明	①	①	②③	②	—	[B区分]①基礎能力試験、自己アピール書(20分)、②プレゼンテーション試験
西条市	7/12(日)	S60	27	不明	不明	不明	不明	—	—	—	①	②	—	—	[A]
	7/12(日)	S60		SPI3	—	—	—	—	—	—	①	②	—	—	—
大洲市	7/23(日)	S59	4	不明	不明	不明	不明	①	不明	①	①	②	②	②	
	7/23(日)	S59	2	—	—	—	—	①	不明	—	①	②	②	②	
伊予市	9/20(日)	H2	4	不明	不明	—	—	②	不明	①	①②	②	③	①	—
四国中央市	7/12(日)	H3	10	不明	不明	—	—	②	不明	—	①	②	③	—	② [前期A日程]
	6/28(日)	S61	5	不明	※	—	—	②	不明	①	①	①※	②③	—	—
西予市	7/12(日)	H2	4	Logical-I	—	—	—	①	不明	—	①	②	②	—	—
東温市	7/12(日)	H3	若干	不明	不明	不明	不明	②	不明	—	①	②	②	—	—

※宇和島市 :1次試験は7/11(土)又は7/12(日)に個別面接、7/12(日)筆記試験を実施。

■高知県

自治体名	1次試験実施日	受験資格(年齢上限)	採用予定数	選考過程										備考	
				教養等		専門		論文文	事務適性試験	適性・性格検査	個別面接	集団面接	集団討論・GW		
				(名)	(分)	(問)	(分)								(問)
高知市	6/28(日)	H3	30	不明	不明	不明	不明	②	不明	②	②	②③	—	②	[上期]
	※	H3	25	不明	不明	—	—	②	不明	①	②	②③	—	②	[下期]①書類試験
室戸市	8/16(日)	H2	若干	60	※	—	—	—	—	①	①	②③	—	—	①基礎能力検査、②ケーススタディ
安芸市	9/13(日)	H2	4	60	※	—	—	③	不明	①	②※	②③	③	—	①基礎能力試験、②ケーススタディ試験、適性検査・情報分析基礎力検査(WEB実施)
南国市	※	H3	若干	②60	120	—	—	③	不明	※	②	③	②	—	
土佐市	9/20(日)	S60	5	不明	不明	—	—	—	—	—	①	—	—	—	2次試験、3次試験の詳細は合格者のみに別途通知
須崎市	9/20(日)	S61	5	不明	不明	—	—	—	—	—	①	—	—	—	2次試験の詳細不明
宿毛市	10/18(日)	S61	6	75	不明	—	—	—	—	①	①	—	—	—	2次試験の詳細不明
土佐清水市	10/18(日)	S56	若干	120	40	—	—	②	不明	①	—	②	—	②	
四万十市	8/30(日)	H3	6	60	不明	—	—	③	60	①	①	③	—	②	
香南市	10/20(日)	H1	4	—	—	—	—	—	—	①	①	③	②	—	①基礎能力検査(60分)
香美市	※	H3	5	②120	不明	—	—	④	不明	※	②	④	—	③	

※高知市 :1次試験は10/4(日)高知会場、9/19(土)～10/4(日)全国のテストセンターのいずれかを申込みの際に選択。

※南国市 :1次試験は9/17(木)～9/23(水)の期間中にWEB試験方式で情報分析力検査(42分、24問)を実施。

※香美市 :1次試験は9/11(金)～9/17(木)の期間中にWEB試験方式で情報分析力試験(42分)を実施。

■福岡県

自治体名	1次試験実施日	受験資格(年齢上限)	採用予定数 (名)	選考過程										備考	
				教養等		専門		論文文 実施(分)	事務 適性試験	適性・ 性格検査	個別面接	集団面接	集団討論・ GW		
				(分)	(間)	(分)	(間)								
大牟田市	9/20(日)	H3	6	—	—	—	—	—	—	①	①	③	②	②	③課題試験
久留米市	※	S60	3	120	不明	120	不明	—	—	①	①	①②	—	—	[A(専門)]
	※	S60	3	※	※	—	—	①	90	①	①	①②	—	—	[B(論文)]①基礎能力試験、適性 検査と合わせて120分
直方市	※	H2	若干	不明	SPI3	—	—	②	不明	—	①	③	②	—	
飯塚市	9/20(日)	H4	13	120	40	—	—	②	不明	①	①②	③	②	②	
田川市	9/20(日)	H5	5	120	不明	—	—	②	不明	①	②	③	—	②	
柳川市	9/20(日)	H3	5	60	不明	—	—	②	90	①	①	—	②	②	
八女市	※	H3	6	60	※	—	—	—	—	①	②※	③	②	—	①基礎能力検査、性格検査:2次 試験合格者を対象にWEB方式
筑後市	※	S60	4	不明	不明	—	—	—	—	①	①	②③	②	—	
大川市	9/20(日)	H2	4	120	不明	—	—	②	不明	①	①	②	②	—	
行橋市	9/20(日)	H5	5	不明	不明	不明	不明	③	※	—	—	③	—	②	③2次合格者のみ作文課題を事 前提出
豊前市	10/18(日)	H4	1	不明	不明	不明	不明	②	不明	—	—	②	—	—	①自己PRシート作成
中間市	※	H5	3	60	※	—	—	—	—	①	②※	②	—	—	①基礎能力検査、②適性検査: WEB方式
小郡市	9/20(日)	S56	2	120	40	—	—	—	—	①	①	③	②	②	
筑紫野市	10/18(日)	H5	4	120	不明	—	—	—	—	①	②	③	②	②	
春日市	※	H1	4	不明	SPI3	—	—	④	不明	—	①	④	②③	—	
大野城市	7/12(日)	H6	6	120	40	—	—	②	90	①	①	②③	—	—	
宗像市	※	H7	5	②SPI3	—	—	—	—	—	—	—	③④	—	—	
太宰府市	8/30(日)	S60	10	120	不明	—	—	—	—	—	②	③	②	—	①自己PRシート作成
古賀市	9/20(日)	H1	4	不明	不明	—	—	①	※	—	—	②③	—	②	①ケーススタディ試験
福津市	※	H6	6	SPI3	—	—	—	—	—	①	③	—	②	—	
うきは市	9/20(日)	H3	2	Light	—	—	③	不明	①	①	②③	②③	—	—	
宮若市	10/18(日)	H2	3	120	不明	—	—	②	不明	—	②	—	②	—	
嘉麻市	※	H6	3	SPI3	—	—	—	—	—	①	②③	—	—	—	
朝倉市	9/20(日)	H2	12	Light	—	—	②	不明	①	①	②	—	—	—	
みやま市	9/20(日)	H3	3	120	40	—	—	②	不明	—	①	②	—	—	
糸島市	9/20(日)	S60	11	120	不明	—	—	—	—	①	②	③	—	②	
那珂川市	※	H5	4	※	SPI3	—	—	③	不明	—	—	②③	—	—	①性格検査と合わせて65分

- ※久留米市A :1次試験は6/28(日)教養試験、専門試験、事務能力試験を実施、
得点が一定の基準を超える人を対象に7/14(火)~7/16(木)適性検査、面接試験を実施。
- ※久留米市B :1次試験は6/28(日)基礎能力試験、論文試験、事務能力試験を実施、
論文試験を除き得点が一定の基準を超える人を対象に7/14(火)~7/16(木)面接試験を実施。
- ※直方市 :8/3(月)~9/3(木)までに各自インターネットの専用サイトにて受検。
- ※八女市 :7/13(月)~7/26(日)の期間中にテストセンター方式にて実施。
- ※筑後市 :1次試験は9/20(日)に集合方式、もしくは9/17(木)~9/23(水)の期間中にテストセンター方式で受検。
2次試験の実施日前までに、性格適性検査を各自WEB方式で受検。
- ※中間市 :9/26(土)~10/9(金)の期間内で受験日を選択し、テストセンターにて実施。
- ※春日市 :6/1(月)~6/28(日)までの期間のうち、受験者が選択する日時にテストセンターにて実施。
- ※宗像市 :10/2(月)~11/4(水)までの期間中に応募者情報の登録、ヒアリングシートの登録、録画面接の登録。
- ※福津市 :4/27(月)~5/22(金)の期間中にテストセンターにて受検。
- ※嘉麻市 :9/1(火)~9/16(水)の期間中にテストセンターにて受検。
- ※那珂川市 :9/1(火)~9/27(日)までの期間のうち、受験者が選択する日時にテストセンターにて実施。

市役所

■佐賀県

自治体名	1次試験実施日	受験資格(年齢上限)	採用予定数	選考過程										備考	
				教養等		専門		論文文		事務適性試験	適性・性格検査	個別面接	集団面接		集団討論・GW
				(分)	(問)	(分)	(問)	実施	(分)						
佐賀市	※	S60	10	60	※	-	-	②	60	-	①	②③	-	-	①基礎能力試験
唐津市	9/20(日)	H3	10	120	40	-	-	②	不明	-	-	③	②	-	
鳥栖市	※	H3	7	SCOA	-	-	②	60	②	①	②③	②③	-	-	①基礎能力検査
多久市	※	H7	若干	②	※	-	-	②	不明	②	③	③	-	③※	②基礎能力試験、③集団作業試験
伊万里市	9/20(日)	S60	10	120	40	-	-	③	90	-	②	③	②	-	
武雄市	9/20(日)	※	若干	120	40	-	-	②	不明	-	-	②	-	-	
鹿島市	9/20(日)	H2	若干	120	40	-	-	②	不明	-	-	③	②	-	
小城市	9/20(日)	H2	10	120	40	-	-	②	不明	-	②	-	②	-	
嬉野市	9/20(日)	H5	3	75	60	-	-	③	不明	-	②	③	-	-	②筆記試験
神埼市	9/20(日)	H5	2	120	40	-	-	②	不明	-	①	②	-	-	

※佐賀市 :8/17(月)～8/31(月)の期間中にテストセンターにて受験。
 ※鳥栖市 :10/16(金)～10/29(木)までに全国のテストセンターにて受験。
 ※多久市 :1次試験は受付期間8/3(月)～9/18(金)に提出のエントリーシート選考を実施。
 ※武雄市 :平成11年4月1日までに生まれた人。

■長崎県

自治体名	1次試験実施日	受験資格(年齢上限)	採用予定数	選考過程										備考	
				教養等		専門		論文文		事務適性試験	適性・性格検査	個別面接	集団面接		集団討論・GW
				(分)	(問)	(分)	(問)	実施	(分)						
長崎市	6/28(日)	H6	35	※	SPI3	-	-	-	-	-	①	②③	-	-	[SPI]①適性検査と合わせて120分
	6/28(日)	H6		120	不明	-	-	-	-	-	①	②③	-	-	[教養]
佐世保市	6/28(日)	H2	10	60	不明	-	-	①	90	-	①	②③	-	-	
島原市	※	S56	若干	120	不明	120	不明	①	60	-	-	②	-	-	
諫早市	9/20(日)	H2	若干	120	不明	-	-	②③	不明	-	-	③	-	②	
大村市	9/20(日)	H3	若干	120	不明	-	-	①	60	-	①	②③	-	-	[教養]①資格加点
	9/20(日)	H3		SPI3	-	-	①	60	-	①	②③	-	-	[SPI]①資格加点	
平戸市	10/18(日)	H3	若干	120	不明	120	不明	②	不明	-	①	②	-	-	
松浦市	9/20(日)	H3	若干	120	不明	120	不明	②	不明	①	①	②	-	-	
対馬市	9/20(日)	H6	3	120	40	120	40	②	不明	①	①	②	-	-	
壱岐市	7/12(日)	H3	若干	120	不明	120	不明	②	不明	-	-	②	-	②	
五島市	7/12(日)	H3	16	120	不明	90	不明	②	不明	-	-	②	-	-	
西海市	9/20(日)	H3	13	120	不明	120	不明	②	不明	-	-	②	-	②	
雲仙市	9/20(日)	H1	若干	120	不明	120	不明	①	60	-	①	②	-	②	
南島原市	10/18(日)	H2	若干	120	不明	120	不明	②	不明	-	①	②	-	-	

※島原市 :1次試験は10/17(土)体力試験、10/18(日)学力試験を実施。

■熊本県

自治体名	1次試験実施日	受験資格(年齢上限)	採用予定数	選考過程										備考	
				(名)	教養等		専門		論文文 実施(分)	事務適性試験	適性・性格検査	個別面接	集団面接		集団討論・GW
					(分)	(問)	(分)	(問)							
八代市	6/28(日)	S62	21	120	不明	—	—	①	90	—	①	②	—	②	①資格加点
人吉市	9/20(日)	H2	1	120	40	—	—	①	120	①	①	②	—	②	
荒尾市	9/20(日)	S60	3	120	不明	—	—	②	60	—	①	③	—	②	
水俣市	9/20(日)	S62	4	不明	不明	不明	不明	②	不明	—	①	②	—	—	
玉名市	10/18(日)	H2	2	120	40	120	50	①	60	—	①	②	②	—	
山鹿市	10/18(日)	H2	8	不明	不明	不明	不明	①	不明	—	①	②	②	②	
菊池市	10/18(日)	S63	10	不明	不明	不明	不明	①	不明	—	①	②	—	—	
宇土市	6/28(日)	H3	2	不明	不明	—	—	①	不明	—	①	②	—	②	②プレゼンテーション試験
上天草市	7/12(日)	S60	若干	120	不明	120	不明	①	60	—	①	②	—	②	
宇城市	※	S63	8	60	※	—	—	①	60	—	①	②	①	—	[A日程]①基礎能力検査
	8/1(土)	S63	4	120	不明	120	不明	①	60	—	①	②	—	—	[B日程]
阿蘇市	10/18(日)	S55	5	不明	不明	—	—	①	不明	—	①	②	—	—	
上天草市	9/22(日)	H1	6	不明	不明	—	—	①	不明	①	①	②	—	②	
合志市	10/18(日)	H3	5	120	40	120	不明	①	60	—	①	③	②	—	

※宇城市 A :5/30(土)～6/17(水)までにテストセンターにて実施、集団面接、論文試験等は6/20(土)に実施。

■大分県

自治体名	1次試験実施日	受験資格(年齢上限)	採用予定数	選考過程										備考	
				(名)	教養等		専門		論文文 実施(分)	事務適性試験	適性・性格検査	個別面接	集団面接		集団討論・GW
					(分)	(問)	(分)	(問)							
大分市	※	H5	25	60	不明	120	不明	—	—	—	②	③	②	—	[I種]
	※	H7	5	60	不明	—	—	②	不明	—	②	③	②	—	[II種]
別府市	※	H2	4	60	不明	—	—	—	—	①	—	②	①②	②	
中津市	※	※	15	SPI3	—	—	—	—	—	—	①	③	②	②	
日田市	8/2(日)	H9	6	120	不明	—	—	②	不明	②	①	③	②	②	[教養試験選択]③プレゼンテーション
	※	H9		60	不明	—	—	②	不明	②	①	③	②	②	[総合適性検査選択]③プレゼンテーション
佐伯市	※	H3	若干	SPI3	—	—	—	—	—	①	②	②	②		
臼杵市	※	H1	3	不明	SPI3	—	—	—	—	②SPI3	③	②	②		
津久見市	6/9(日)	H3	1	不明	不明	—	—	②	不明	—	①	②	—	②	[第1回]
	9/20(日)	H4	4	不明	不明	—	—	②	不明	—	①	②	—	②	[第2回]
竹田市	10/20(日)	S57	若干	SPI3	—	—	—	②	不明	—	—	③	—	—	②エンリリーシート確認
豊後高田市	※	S63	6	SCOA	—	—	—	②	不明	—	①	②	—	—	①語学加点
杵築市	10/20(日)	H2	4	60	不明	—	—	①	60	—	①	③	②	②	
宇佐市	※	H5	10	不明	不明	—	—	②	不明	—	①	②③	—	—	
豊後大野市	※	H5	若干	不明	※	—	—	②	不明	—	①	②	—	—	①総合適性試験
由布市	10/18(日)	H5	4	120	不明	—	—	②	不明	②	①	②	②	—	
国東市	10/18(日)	H3	15	120	不明	—	—	②	不明	—	①	③	②	—	

※大分市 :9/14(月)～10/4(日)の期間中にテストセンターにて実施。

※別府市 :1次試験は10/11(日)又は17(土)に集団面接、10/5(月)～10/18(日)に教養試験・事務能力検査をテストセンター方式にて実施。

※中津市 :中津市役所での受験は5/30(土)、テストセンターでの受験は指定した期間のうち受験者が選択する日時に実施。

※日田市(総合適性検査選択):1次試験は、日田市役所での受験は8/2(日)、テストセンターでの受験は7/29(水)～8/3(月)の期間中に受験。

※佐伯市 :6/8(月)～6/30(金)の期間中にテストセンターにて受験。

※臼杵市 :9月上旬にテストセンターにて実施。募集終了後、受験者にメールで案内。

※豊後高田市 :豊後高田市役所で受験する場合10/18(日)、テストセンターで受験する場合10/18(日)～10/24(土)までの間の任意の日。

※宇佐市 :10/18(日)に実施。テストセンターで受験する場合10/5(月)～10/18(日)までの間。

※豊後大野市 :全国のテストセンターでの受験希望者(原則)は7/3(金)～7/20(月)の期間、豊後大野市役所での受験希望者は7/19(日)。

■宮崎県

自治体名	1次試験実施日	受験資格(年齢上限)	採用予定数	選考過程										備考	
				教養等		専門		論文文		事務適性試験	適性・性格検査	個別面接	集団面接		集団討論・GW
				(名)	(分)	(問)	(分)	(問)	実施						
宮崎市	6/28(日)	H4	20	120	不明	-	-	①	60	-	①	②③	-	②	[A区分]
	6/28(日)	H4	10	総合能力試験		-	-	-	-	-	①	②③	-	-	[B区分]
都城市	※	不明	不明	SPI3		-	-	-	-	-	-	②③	-	③	②Web録画面接
延岡市	8/16(日)	H2	若干	120	※	-	-	③	-	-	-	②	-	-	総合能力試験 ②Web録画面接
日南市	※	H2	若干	SPI3		-	-	-	-	-	-	③	③	②	
小林市	9/20(日)	S60	14	不明	不明	-	-	②	不明	-	②	②	-	②	
日向市	※	H5	5	SCOA		-	-	-	-	③	②	②③	-	③	②Web面接
串間市	10/18(日)	H3	1	Light		-	-	②	不明	-	①	②	-	②	
西都市	10/18(日)	H2	若干	120	40	-	-	②	不明	-	-	②	-	-	
えびの市	9/20(日)	H4	5	不明	不明	-	-	②	不明	-	①	②	-	-	

※都市 : 1次試験は5/1(金)~5/27(水)までの期間のうち受験者が選択する日時や場所にて実施(WEBテスト)。

※日南市 : 6/1(月)~6/23(火)の期間中にテストセンターにて実施。

※日向市 : 10/1(木)~10/18(日)の期間中にテストセンターにて受験。

■鹿児島県

自治体名	1次試験実施日	受験資格(年齢上限)	採用予定数	選考過程										備考	
				教養等		専門		論文文		事務適性試験	適性・性格検査	個別面接	集団面接		集団討論・GW
				(名)	(分)	(問)	(分)	(問)	実施						
鹿児島市	7/12(日)	H3	50	不明	不明	不明	不明	-	-	-	②	②	-	②	
鹿屋市	9/20(日)	H3	10	120	不明	-	-	-	-	-	①	②	-	-	③プレゼンテーション面接
枕崎市	9/20(日)	S60	8	不明	不明	-	-	①	不明	-	①	②	-	②	
阿久根市	10/18(日)	H3	10	不明	不明	-	-	①	不明	①	①	②	-	-	
出水市	9/20(日)	H3	4	60	※	-	-	②	60	①	①	②	①	-	①基礎能力検査
指宿市	9/20(日)	H3	若干	75	不明	-	-	①	60	-	①	②	-	-	
西之表市	10/18(日)	S60	6	75	不明	-	-	①	60	①	①	②	-	-	
垂水市	10/18(日)	H2	5	120	不明	-	-	①	60	-	①	②	-	-	
薩摩川内市	9/20(日)	H5	若干	不明	不明	-	-	①	不明	-	①	②③	-	-	
日置市	9/20(日)	H2	若干	120	不明	-	-	①	60	-	①	①②③	-	-	
曾於市	10/18(日)	S63	2	75	不明	-	-	①	60	-	①	②	-	②	
霧島市	9/20(日)	H2	10	120	不明	-	-	-	-	-	①	②	-	②	
いちき串木野市	9/20(日)	S60	若干	不明	※	-	-	②	不明	①	①	②③	②	②	①基礎能力試験
南さつま市	9/20(日)	H3	若干	120	不明	-	-	①	40	①	①	②③	-	②	
志布志市	9/22(日)	H1	若干	120	不明	-	-	①	60	-	①	②③	-	②	
奄美市	10/18(日)	H2	若干	120	40	-	-	①	60	-	②	③	-	②	
南九州市	9/20(日)	H2	若干	120	不明	-	-	①	60	-	①	②	-	-	
伊佐市	9/20(日)	H2	若干	不明	不明	-	-	①	不明	-	-	②	-	-	
始良市	※	H4	10	不明	不明	-	-	-	-	-	①	①	①②	②	①書類試験

※始良市 : 1次試験は9/20(日)筆記試験、9/21(月・祝)面接試験を実施。

■沖縄県

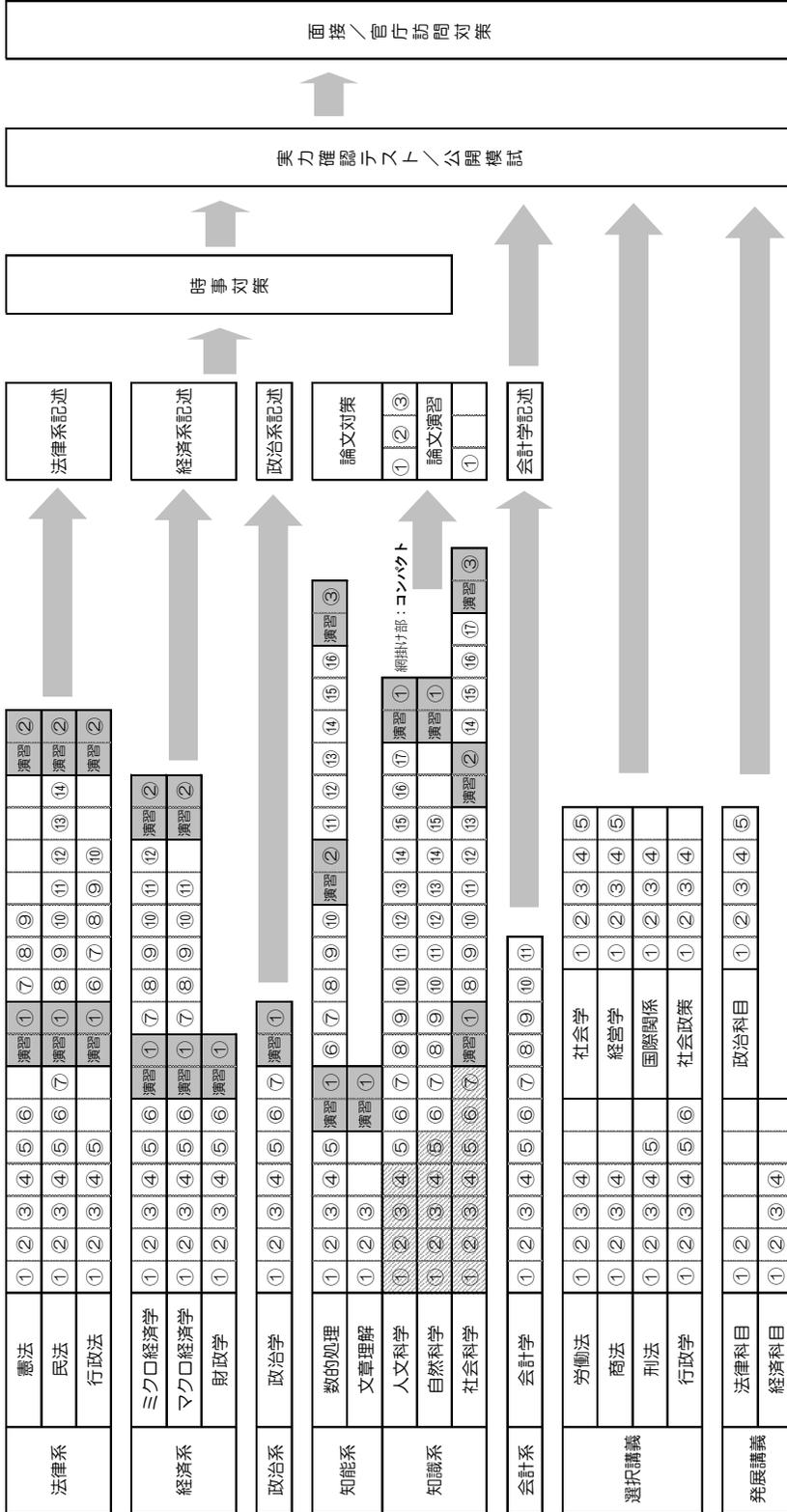
自治体名	1次試験実施日	受験資格(年齢上限)	採用予定数	選考過程											備考
				教養等		専門		論文文		事務適性試験	適性・性格検査	個別面接	集団面接	集団討論・GW	
				(名)	(分)	(問)	(分)	(問)	実施						
那覇市	9/20(日)	H3	40	120	40	120	40	—	—	—	①	②	②	—	②課題解決力試験
宜野湾市	9/20(日)	H3	若干	120	不明	120	不明	②	不明	—	②	②	②	—	
石垣市	9/20(日)	S55	若干	120	不明	120	不明	②	不明	—	①	②	—	—	
浦添市	9/20(日)	H3	7	120	40	120	40	—	—	—	①	②	—	—	②プレゼンテーション試験
名護市	9/20(日)	H3	若干	120	40	120	40	—	—	—	—	—	—	—	2次試験の詳細不明
糸満市	9/20(日)	H1	若干	120	不明	120	不明	②	不明	—	②	②	—	②	
沖縄市	9/20(日)	H3	若干	120	不明	120	不明	—	—	—	②	②	—	②	
豊見城市	9/20(日)	H3	若干	120	不明	120	不明	②	不明	—	②	③	—	—	
うるま市	9/20(日)	H3	若干	120	40	120	40	②	60※	—	②	②	—	—	②ケーススタディ記述試験
宮古島市	9/20(日)	H3	若干	120	不明	—	—	②	90	—	—	③	—	—	
南城市	9/20(日)	H3	若干	120	不明	90	不明	②	60	—	②	③	—	②	

市役所

卷末

卷
末

【ナビゲーションチェックシート（地方上級・国家一般職）】 ※2022年合格目標 TAC総合本科生



【公務員試験の鉄則】

- ・ 試験科目は問題出題され、繰出事項はどの分野なのかを把握しよう。
- ・ 広く深く学習し、理解はしっかりとしよう。
- ・ 併願をにらんで学習しよう。
- ・ 試験勉強は、知識の習得である。同じ教材を何度も回すことと心得よう。
- ・ ある程度基礎ができたなら、すぐに問題演習を実施しよう。
- ・ ①専門科目（法律系・経済系・政治系）②知能系③知識系の順で優先しよう。
- ・ 得意科目を作るより苦手科目を減らそう。1点の差は大違い。
- ・ 新聞や本を、理解しようとしながら読むことで、論理的に考えるくせをつけよう。

【科目系統別学習ポイント】

- ・ 数的処理
 - ①基礎事項の確実な理解
 - ②判例・通説に沿ったの学習
- ・ 法律科目
 - ①基本的枠組・用語の習得
 - ②体系的な理解
- ・ 経済科目
 - ①体系的な理解
 - ②問題演習
- ・ 政治科目
 - ①キーワードの記憶と理解
 - ②問題演習

22 公務員 オリエンテーションブック

2021年2月1日 初版第1刷発行

編 者 T A C 公 務 員 講 座
発 行 者 多 田 敏 男
発 行 所 T A C 株 式 会 社
〒101-8383
東京都千代田区神田三崎町3-2-18
T A C 本 社 ビ ル
印刷・製本 株式会社 ワコープラネット

落丁・乱丁本はお取り替えいたします。

本書は、「著作権法」によって、著作権等の権利が保護されている著作物です。本書の全部または一部につき、無断で転載、複写、その他の方法で記録されると、著作権等の権利侵害となります。上記のような使い方をされる場合には、あらかじめ小社宛許諾を求めてください。

Printed in Japan